

松本市の公民館

(令和5年度)

令和5年9月
松本市教育委員会

松本市の概要

1 市の沿革

松本市は、長野県のほぼ中央部西側に位置し、西は中部山岳国立公園に包含される日本アルプスの連峰を望み、東は美ヶ原高原に続く地域で、多くの河川による扇状地などから形成されています。

平安時代中期に編まれた『和名類聚抄』^{わみょうるいじょうしやう}には、信濃の国府の所在地が筑摩郡と記され、この頃にはすでに政治文化の中心地であったことが分かります。江戸時代には、松本城を中心とした6万石の城下町として発展し、産業の町としても繁栄しました。

明治4年、廃藩置県により筑摩県となり、明治9年長野県と合併するまで県庁が置かれました。明治40年には市制を施行し、その後隣村との合併等を経て、長野県の産業・文化の中心地として大きく飛躍してきました。

平成12年11月1日には特例市の指定を受け、地方分権の推進と個性豊かなまちづくりを進め、平成17年4月の四賀村、安曇村、奈川村及び梓川村との合併、また、平成22年3月の波田町との合併により、新たな松本市として歩み始めました。

令和3年4月1日には中核市に移行し、県から新たに約2,300の事務権限の移譲を受け、多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応するとともに、自立した行政運営を図りながら、20年、30年先を見据えた持続可能なまちづくりを進めています。

2 市の位置・面積（基準 松本市役所）

位置 東経 137° 58' 19" 北緯 36° 14' 17"
 面積 978.47 km²
 広さ 東西 52.2 km 南北 41.3 km
 標高 592.21 m

3 面積と人口の推移（各年5月1日現在）

年	面積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人口(人)			人口密度 (人口/km ²)	備 考
			総数	男	女		
明治40年	12.17	6,641	31,866	15,667	16,199	2,618	市制施行
大正5年	12.17	8,374	42,737	21,031	21,706	3,512	
大正9年	12.17	9,541	49,607	23,271	26,336	4,076	第1回国勢調査
昭和5年	18.80	14,648	72,165	35,797	36,368	3,839	大正14年1村合併による
昭和20年	19.87	16,753	76,532	35,080	41,452	3,852	昭和18年1部合併による
昭和30年	214.85	30,925	145,228	71,047	74,181	676	昭和29年13カ村合併による
昭和35年	226.14	34,800	148,710	71,626	77,084	658	
昭和40年	226.20	39,789	154,131	73,840	80,291	681	
昭和45年	226.20	45,421	162,931	78,733	84,198	720	
昭和50年	264.30	55,007	185,595	89,886	95,709	702	昭和49年本郷村との合併による
昭和55年	264.30	60,594	192,085	93,731	98,354	727	
昭和60年	264.60	64,192	197,340	96,803	100,537	746	
平成12年	265.87	80,367	208,056	102,430	105,626	782	特例市の指定を受ける
平成17年	919.35	90,308	228,376	112,211	116,165	248	平成17年四賀村・安曇村・奈川村・梓川村との合併による
平成21年	919.35	92,715	227,615	111,679	115,936	247	
平成22年	978.77	98,597	243,055	119,182	123,873	248	
平成23年	978.77	99,443	243,075	119,132	123,943	248	平成22年3月波田町との合併による
平成24年	978.77	100,418	243,753	119,484	124,269	249	
平成25年	978.77	101,604	243,064	119,131	123,933	248	
平成26年	978.77	102,275	242,458	118,684	123,774	247	
平成27年	978.47	102,834	241,846	118,375	123,471	247	
平成28年	978.47	103,350	241,279	118,161	123,118	247	
平成29年	978.47	104,070	240,470	117,740	122,730	246	
平成30年	978.47	104,971	239,757	117,427	122,330	245	
令和元年	978.47	105,681	238,990	116,974	122,016	244	
令和2年	978.47	106,452	238,249	116,733	121,516	243	
令和3年	978.47	107,422	237,617	116,465	121,152	243	中核市に移行する
令和4年	978.47	108,059	236,640	115,975	120,665	242	
令和5年	978.47	109,006	235,933	115,691	120,242	241	

資料：DX推進本部

教育の基本計画

1 第3次松本市教育振興基本計画

(1) 「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」の実現に向けて

ア 策定の趣旨

令和4年6月、松本市の教育の目指すべき方向性及び目標を明らかにし、その目標ごとの具体的な事業などを定めた第3次松本市教育振興基本計画「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」を策定しました。

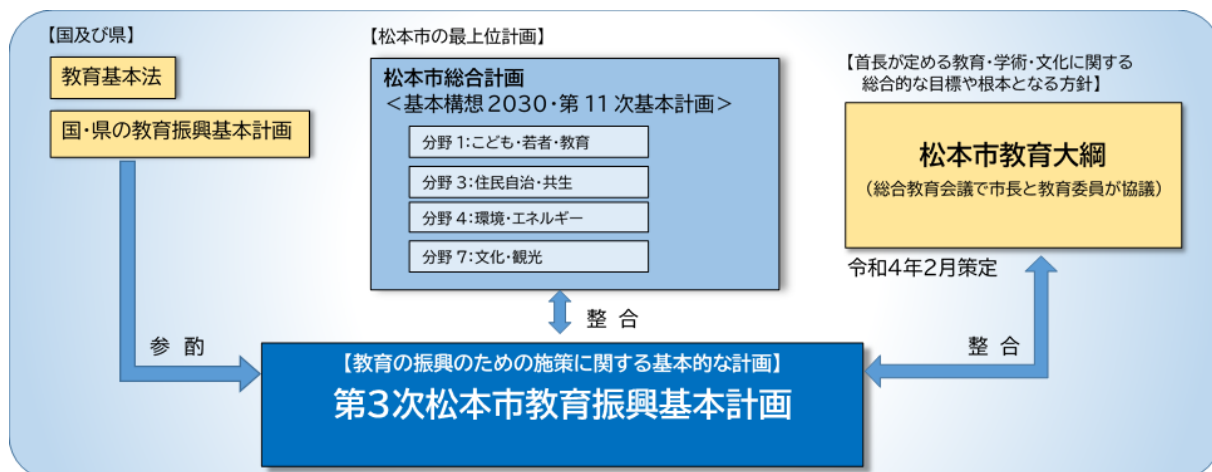
この計画は、『学びに、遊びや体験を。生涯を通じた学びを保障する松本まると学都構想』を具現化するため、各分野の方針ごとに【現状と課題】【施策の方向性】【主要事業一覧】の3つで構成されています。

急速に変化する社会情勢や、多様化する市民ニーズ（アンケート調査結果など）を踏まえて【現状と課題】を概括し、今後5年間の計画期間で特に重点的に取り組む【施策の方向性】を記載しています。また、【主要事業一覧】は、この【施策の方向性】に関連する既存（令和3年度）の事業を一覧で掲載しています。

イ 位置付け

地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の目標や根本となる方針として、令和4年2月に市長が新たに教育大綱を定めました。

第2次計画の策定から5年が経過し、教育を取り巻く環境が目まぐるしく変化する状況の中、市民アンケート等を基に教育大綱と整合を図り、これからの松本市の教育の目指す姿を見据え、新たに第3次の教育振興基本計画を策定しました。



ウ 策定経過

策定に当たっては学校教育関係者、社会教育関係者など13名で構成する松本市教育振興基本計画策定委員会を設置して協議を行いました。

日付	会議等	内容
R2.10.30 ～11.30	教育に関するアンケート実施	策定の基礎資料として、児童生徒、保護者、教職員、一般を対象に実施
12.24	第1回庁内調整会議 幹事会	第2次計画の評価・検証、第3次計画の策定方法について協議

R3. 2.22	第1回策定委員会	アンケート結果報告、第3次計画の策定方法について協議
3.18	教育委員研究会	アンケート結果報告
29	第2回策定委員会	第2次計画の振返り、第3次計画の策定に向けた課題を協議
4.28	第3回策定委員会	第2次計画の振返り、第3次計画の策定に向けた課題を協議
5.6	教育委員研究会	教育大綱及び第3次計画の策定について協議
20	第2回定例教育委員会	アンケート結果報告
6.17	教育委員研究会	アンケート結果及び課題を検証
21	第4回策定委員会	教育大綱策定に係る市長との意見交換
28	教育委員研究会	アンケート結果及び課題を検証
7.21	第5回策定委員会	大綱と計画との整合性、計画の柱について協議
9.1	第6回策定委員会	第3次計画の体系図の構成を協議
10.7	第7回策定委員会	体系図の分野、方針を協議
11.5	第8回策定委員会	体系図の分野、方針を協議
12.23	第9回定例教育委員会	計画策定の進捗状況を報告
R4. 1.17	第9回策定委員会	方針ごとの「現状と課題」「施策の方向性」「主要事業」を協議
27	第10回定例教育委員会	計画案を協議
2.1	庁議	計画案を協議
3.10	市議会経済文教委員協議会	計画案を協議
3.11 ~4.10	パブリックコメント 実施	提出意見 79件
3.23	第10回策定委員会	市議会意見・パブリックコメント意見を報告、対応案を協議
5.12	教育委員研究会	計画策定の進捗状況を報告
18	第2回定例教育委員会	計画案を協議
30	庁議	計画策定（パブリックコメント結果）を報告
6.17	市議会経済文教委員協議会	計画策定（パブリックコメント結果）を報告

(2) 基本的理念 ~子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本~

生きることは学ぶこと。学ぶことは生きること。

自分らしく生きるために欠かすことのできない学び。

そのためには、一人ひとりのいのちの尊厳が守られなければなりません。

すべての人が互いを認め合い、自分らしく生きていく、その権利を保障していく。

すべての人がさまざまな経験を積み重ね、自分らしい学びを深めていく、その機会を保障していく。

松本市は「子どもの権利に関する条例」を制定し、「すべての子どもにやさしいまち」を目指しています。

子どもにやさしいまちは、すべての市民にとっても、魅力あるまちとなります。

大人は、子どもの声に耳を傾け、その思いや気持ちを受け止め、健やかな育ちと豊かな学

びを支えていく。

子どもも大人も、生涯を通じて学び続け、ともに成長し、自分らしく生きていく。

松本市は、「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」を実現していきます。

(3) 特徴

ア 組織を横断する複合的な体系

第3次計画では、常に組織横断的な視点をもって各種事業を推進することを大切にしています。そこで、複数の担当課が一つの事業を連携・協働して推進する姿勢を複合的な体系図として示すこととしました。

イ 遊びや体験の重視

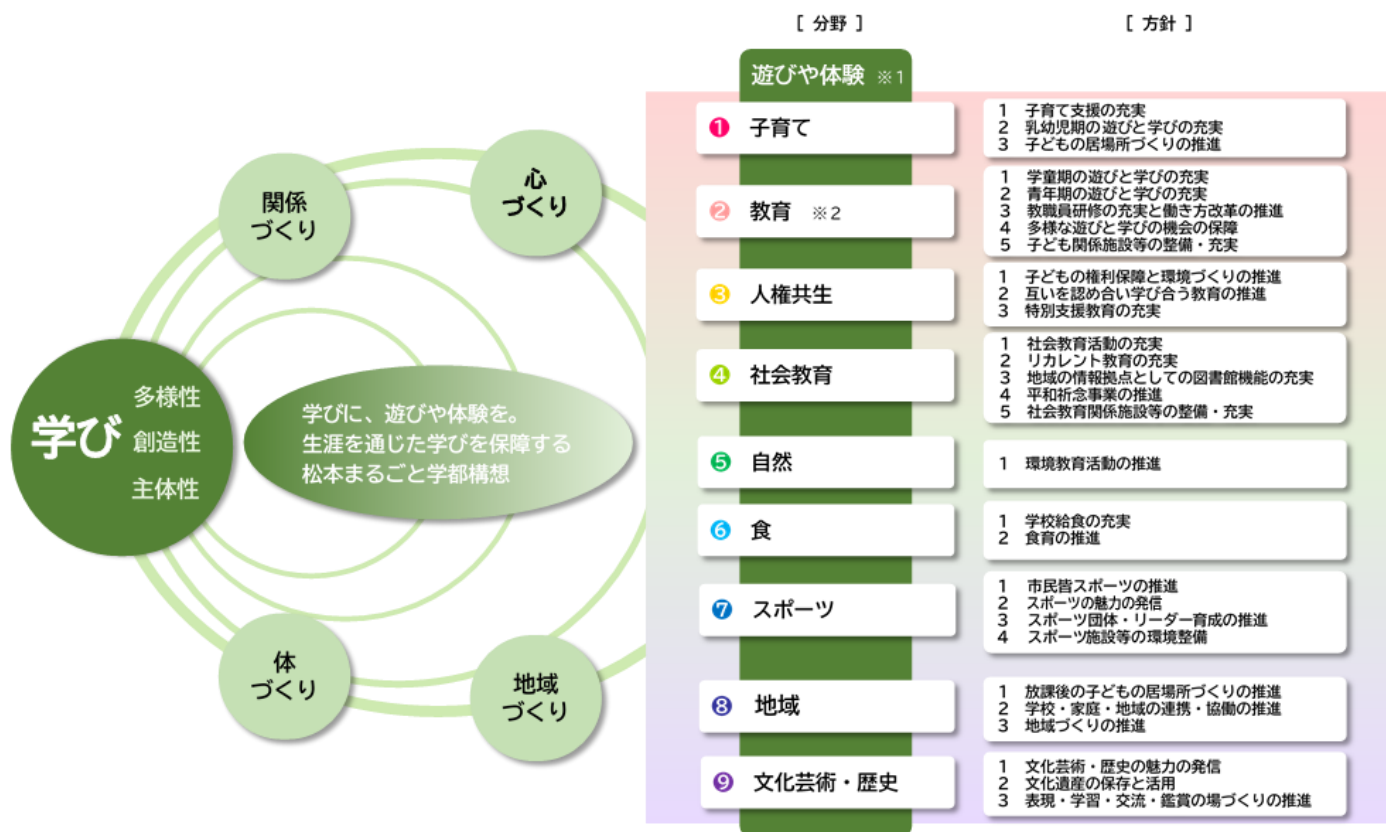
私たちは、学びを支える「楽しさ」を奪い、子どもにとっての豊かな学びの可能性を狭めてこなかったでしょうか。

学びを動かしていく原動力には、もっと知りたい、もっと深めたいという興味・関心や好奇心があります。

夢中になって遊ぶこと（遊育）。他者との関わりのなかで心を動かされること（情動）。

こうした経験の積み重ねが、学びに対する意欲を喚起し、多様性・創造性・主体性を育む資質や能力の育成につながっていくものと考えます。

そこで、第3次計画では、教育にかかわるすべての事業を、「遊び」や「体験」の要素を意識して推進していくこととしました。



2 松本市教育大綱

令和4年2月14日に総合教育会議を開催し、教育長及び教育委員との協議を経て、教育の目標や施策に関する根本的な方針として、市長が松本市教育大綱を策定しました。教育の具体的な計画は、教育大綱との整合を図り教育振興基本計画で定めています。

(1) 学都松本の主人公は子どもです

すべての子どもは、かけがえのない存在です。

すべての子どもは、自ら学び、成長していく力を持っています。

すべての子どもは、生まれ育った環境などに左右されることなく、学びの機会が保障されなければなりません。

すべての子どもが、健やかに成長していく。

すべての子どもが、自由に自分を表現していく。

すべての子どもが、身近な大人の支援を受けることができる。

そして、すべての子どもの違いが、「自分らしさ」として認められていく。

学都松本は、「すべての子どもにやさしいまち」をめざします。

(2) 学都松本のシンカ

子どもは、さまざまな経験を通じて、日々成長していきます。

大人は、子どもの声に耳を傾け、その思いや気持ちを受け止め、健やかな育ちと豊かな学びを支えていきます。

そして、子どもも大人も、生涯を通じて学び続け、ともに成長し、自分らしく生きていくことを叶えていきます。

松本市は、「子どもを主人公とし、その学びを地域社会全体で支えること」を学都松本の根本に据え、先人たちが築き上げてきた礎のもと、「学都松本のシンカ」に挑んでいきます。

(3) 学びの3つの視点

子どもを主人公とする学都松本では、「多様性」「創造性」「主体性」を大切にしていきます。

この3つの視点には、「これからの社会を創る子どもたちに大切な価値として受け止めてほしい」という子どもへの期待と、「学びの環境を整え支えていく支援者の大人に常に心に留めてほしい」という大人への期待が込められています。

「多様性」一人ひとりの個性や能力を尊重した多様な学び

「創造性」未来を切り拓き、新しい価値を生み出す創造的な学び

「主体性」自己や他者と対話しながら、社会に参画する主体的な学び

3 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（開始年度 平成21年度）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、毎年、教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価をしています。

点検及び評価にあたっては、各課で年度末に事務事業の総括と自己評価を行い、外部意見を聴取したうえで教育委員会の改善方針をまとめ、市議会への報告と市ホームページへの公開をしています。外部点検及び評価については、松本市教育委員会事務点検評価委員会を設置し、当該委員会の委員の職務としています。

4 令和4年度生涯学習課・中央公民館重点目標の成果・課題、令和5年度生涯学習課課概要及び重点目標の内容

(1) 令和4年度 概要及び重点目標の自己評価（成果・課題）

ア 概要

生涯学習の施設整備や地域住民の主体的な学習活動の支援を行い、自治能力を高める学習活動の推進及び生涯学習による地域づくりを目指します。

地区公民館を総合的な地域づくりの拠点と位置づけ、地域課題と向き合い、地域住民が主体的に解決するための学習・実践を充実させ、松本らしい公民館活動を展開します。

イ 総合評価

(ア) 重点目標の達成度

B（おおむね達成）

- ・公民館事業におけるICT活用については、DX推進本部と連携し、デジタル活用を支援する人材の育成や初心者向けのスマホ講座などを実施しました。
- ・コミュニティスクール事業については、あり方検討会での検討などを踏まえ、国型のコミュニティスクールをモデル校（大野川小中学校）に導入することとしました。
- ・成人式のあり方について、市内高校生へのアンケートなどを実施し、従来どおり20歳の方を対象とすることとし、式典名を「ハタチの記念式典」へ変更し、開催しました。
- ・公民館等長寿命化事業として、建設から23年を経過したMウイングの中間改修工事に着手し、令和7年度までの4か年で工事を進めます。

(イ) 社会情勢への対応

- ・公民館講座の申込の電子申請や施設使用料のキャッシュレス化など、デジタル技術の導入を促進しました。
- ・町内公民館振興事業として、コロナ禍で各町会での事業が思うように実施できない中、市内の町内公民館活動の先進事例などの動画研修資料を作成し、各地区の町内公民館長会で研修を実施しました。

(ウ) 事務事業の効率化

- ・コミュニティスクール事業については、令和5年度から地域学校協働活動推進員の配置やトライやるエコスクール事業費の統合などに着手することにより、学校の負担軽減や事業費の柔軟な執行ができるよう調整を図りました。
- ・奈川文化センター夢の森の中間改修工事に合わせ、同施設内に福祉ひろばを集約しました。

ウ 重点目標の成果・課題

(ア) DXを活用した多様な学びとコミュニティ創出事業（継続）

a 主な進め方など

いつでも誰でも学ぶことができる学習機会の充実、多世代かつ多様な住民が主体的に学び、つながりや住民自治を育むためのコミュニティづくりを推進。ICT活用支援やメディアリテラシー教育の取組みを検討

b 実施内容（成果）

講座の申込みのデジタル化、施設使用料のキャッシュレス化など、デジタル技術導入を進めました。各地区公民館で初心者を対象にスマホ講座などを開催しました。

c 課題と方向性

コロナウイルスが収束しつつあり、公民館事業も動き出す中で、デジタルを活用し

たつながりをどのように進めるかが課題となります。博物館や図書館とも連携し、デジタルを活用した学びの方策について、今後検討が必要です。

(イ) 松本版コミュニティスクール事業（継続）

a 主な進め方など

地域、保護者、学校などが子どもや地域に対する願いや思いを共有し、連携・協働しながら子どもを育てる「地域とともにある学校づくり」を推進。コミュニティスクール事業のあり方検討会で、国の制度導入に向けた研究や検討の実施

b 実施内容（成果）

コミュニティスクール事業のあり方検討会等で、国の制度導入に向けて検討し、令和5年度にモデル校を設置、その効果検証をしたうえで、今後の導入について検討するよう整理しました。また、モデル校への国制度導入に伴い、学校運営協議会規則を制定しました。モデル校には、学校の負担軽減につなげるため、地域学校協働活動推進員を配置、トライやるエコスクール事業を統合・委託料化することで、地域連携事業を柔軟に運営できるよう調整しました。

c 課題と方向性

令和5年度から、大野川小中学校をモデル校として、地教行法に基づく学校運営協議会の設置及び地域学校協働活動推進員の配置をします。モデル校の効果検証を踏まえ、今後の展開を検討します。

(ウ) 若者の居場所づくりと社会参画事業（継続）

a 主な進め方など

若者の魅力ある居場所づくりと環境づくりを進め、交流を通じて他者との関係性の構築や学び直し支援を進め、生きる力を培うことを支援。また、若者の社会参画を関係機関と連携支援

b 実施内容（成果）

ひきこもりの若者の居場所づくりの一環として、NPO法人ジョイフルとの共催により、けん玉体験会の開催、また毎週日曜日になんなんひろば1階喫茶室を若者に開放する「若者カフェ」を開設しました。

成人式のあり方については、市内高校生に対するアンケートを実施、結果を参考に検討し、従来通り二十歳の方を祝い励ます式典とすることとしました。故郷松本の良さをアピールする内容で企画する方針となり、式典名は「ハタチの記念式典」に変更しました。

c 課題と方向性

若者対象の事業で共通する課題である周知方法について、関係機関と連携し、可能な限り統一した媒体を作り、情報発信することが重要であると考え、現在若者会議のスタッフ内でも検討中です。

ひきこもりの若者の居場所づくりについては「若者カフェ」の活性化を来年度実施予定です。また「ひきこもり講座」を開催し、若者をはじめ一般市民の方々に若年層をはじめとしたひきこもりの特徴を知り、理解するための内容で検討中です。NPO法人ジョイフル、市の関係課、関連団体にも参加・協力を呼びかけていきます。

(エ) 公民館等長寿命化事業（継続）

a 主な進め方など

公民館等の長寿命化。当面は、設備機器（照明・トイレ）の中間補修を実施し、施設の機能維持・回復。主には、奈川文化センター夢の森、Mウイングの中間補修工事を実施。特にMウイングは権利者の合意を得ながら4カ年の工事を計画的に実施

b 実施内容（成果）

奈川文化センター夢の森は、屋根・外壁補修の他、照明LED化、トイレ洋式化及び空調改修等を実施し、建設から28年経過し老朽化した施設・設備等の環境整備を完

了。Mウイング（中央公民館）も建設から23年経過していますが、大規模施設のため4か年計画で利用に配慮しつつ工事を実施します。1年目となる本年度は、落下の危険性が指摘されていた外壁の補修、外灯照明のLED化等のほか、故障して漏水していた給水ポンプを更新しました。このように公民館の利用環境は計画的に改善されています。

加えて、松南地区公民館中間改修工事の実施設計も終え、次年度工事の準備も整いました。

c 課題と方向性

個別施設計画に基づき、当面は中間改修工事により、老朽化した施設・設備を更新していきます。

(オ) 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震事業（継続）

a 主な進め方など

平成30年度から6カ年、耐震補強工事を実施。国庫補助事業計画に基づき、令和4年度は、耐震補強工事（本館Ⅲ期）を実施。令和5年度には、耐震補強工事（本館Ⅳ期）を予定。また、令和3年度耐震補強工事において、床下の蒸気配管保温材からアスベストが検出されたため、蒸気配管を全て除去

b 実施内容（成果）

耐震補強工事（本館Ⅲ期）を完了しました。アスベストを含有している床下蒸気配管をすべて除去しました。

c 課題と方向性

令和5年度（本館Ⅵ期）を実施し、平成30年度から6カ年計画で実施してきた耐震事業終了します。

(2) 令和5年度 概要及び重点目標の内容

ア 概要

生涯学習の施設整備や地域住民の主体的な学習活動の支援を行い、自治能力を高める学びの推進及び生涯学習による地域づくりを目指します。地区公民館を総合的な地域づくりの拠点と位置づけ、地域課題と向き合い、地域住民が主体的に解決するための学習・実践を充実させ、松本らしい公民館活動を展開します。

イ 重点目標の内容

(ア) コミュニティスクール事業

国制度のコミュニティ・スクールをモデル校の大野川小中学校に導入し、効果検証を行い、他地区への展開について検討します。また、学校の負担軽減などに向けた検討を進めます。コミュニティスクール事業を通して、地域・保護者・学校などが子どもや地域に対する願いや思いを共有し、連携・協働しながら子どもを育てる「地域とともにある学校づくり」を推進します。

(イ) 子ども・若者の居場所づくりと社会参画事業

若者の居場所として中央公民館（Mウイング）2階のフリースペースを拡充し、多様なニーズに対応できる魅力ある居場所づくりと環境づくりを進めます。また、地区公民館において、小中学校の長期休業に合わせた施設開放や、家庭で過ごしている子ども・若者の居場所づくりなど、地域づくりセンターと連携し、子ども・若者の居場所づくりを推進します。

青少年ホームでは、若者のニーズに合わせた講座やイベントを開催し、魅力のある若者の居場所づくりを進めます。また、ひきこもりの若者支援として、交流を通じて他者

との関係性の構築や学び直しの事業に取り組みます。若者が成長し、社会で活躍できるきっかけづくりとして、関係機関と連携し、まちづくりに取り組む場の提供など、若者の多様な社会参画を推進します。

(ウ) ICTを活用した多様な学びとコミュニティ創出事業

ICTの活用により、いつでも・だれでも・どこでも学ぶことができる学習の場をさらに充実させ、多世代かつ多様な住民が主体的に学び、つながりや住民自治を育むためのコミュニティづくりを推進します。また、デジタル社会ですべての人が活躍し続けるため、ICTの活用支援やメディアリテラシー教育の取組みの検討を進めます。

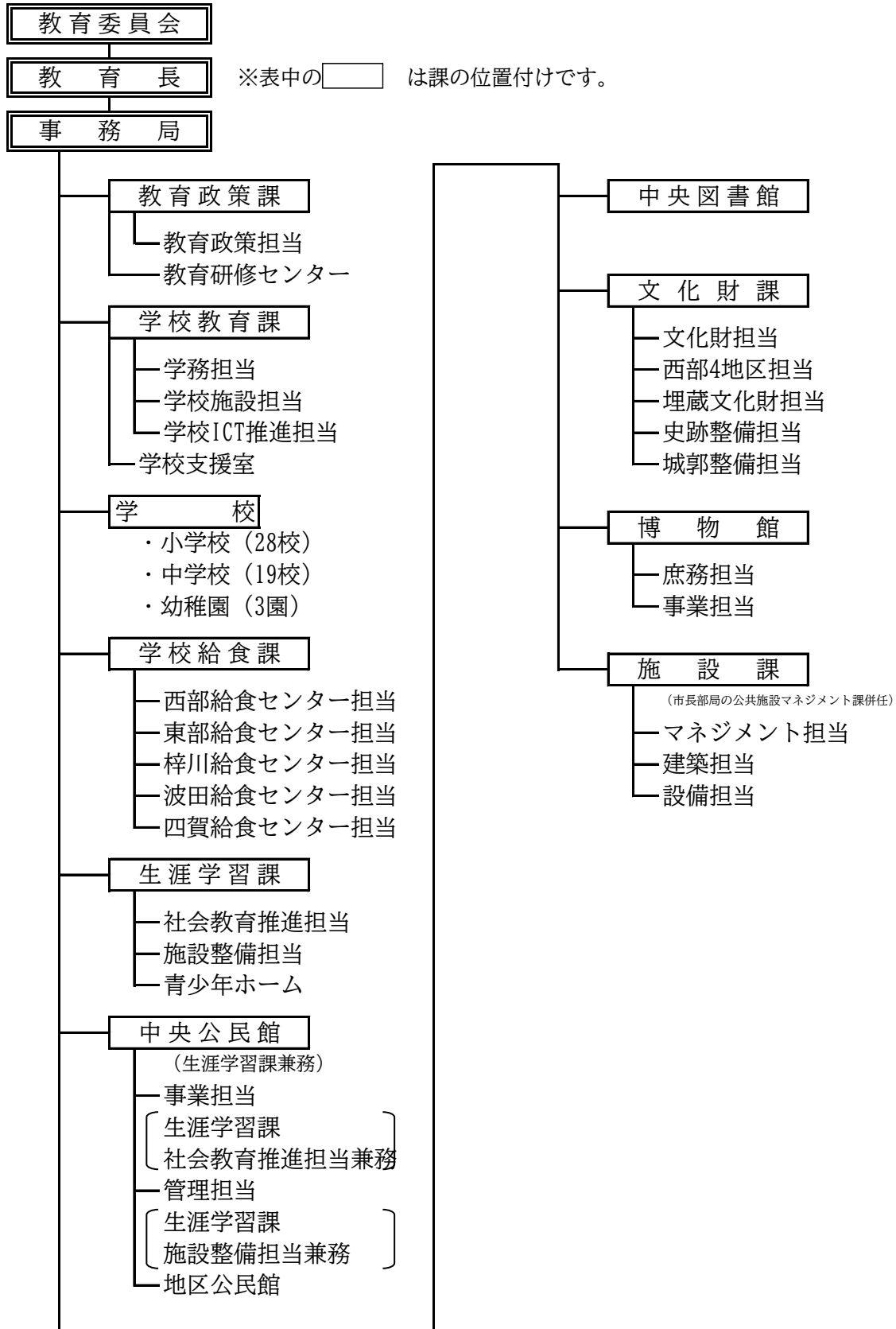
(エ) 公民館等長寿命化事業

個別施設計画に基づく中間補修及び大規模改修等により、公民館等の長寿命化を図ります。当面は、設備機器（照明・トイレ）の更新をメインとする中間補修を行うこととし、施設の機能維持・回復に努めます。

(オ) 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震事業

平成28年度に策定した保存活用計画等を基に、平成30年度から6カ年の予定で耐震補強工事を実施しています。最終年度となる今年度は、本館北棟の耐震補強工事を行います。

教育委員会組織図 (R5.4.1)



（附属施設等一覧）

教育政策課	
教育文化センター	視聴覚センター 科学博物館
学校教育課	
美ヶ原少年自然の家 教員住宅	
学校給食課	
西部学校給食センター 東部学校給食センター 梓川学校給食センター 波田学校給食センター 四賀学校給食センター	
生涯学習課	
あがたの森文化会館 同和教育集会所 池上百竹亭 ふれあいパーク乗鞍 奈川文化センター夢の森 青少年ホーム	
中央公民館	
地区公民館	
第一地区公民館	神林公民館
第二地区公民館	笹賀公民館
第三地区公民館	芳川公民館
東部公民館	寿公民館
城北公民館	寿台公民館
大手公民館	岡田公民館
安原地区公民館	入山辺公民館
城東公民館	里山辺公民館
白板地区公民館	今井公民館
田川公民館	内田公民館
庄内地区公民館	本郷公民館
鎌田地区公民館	松原地区公民館
松南地区公民館	四賀公民館
中山公民館	安曇公民館
島内公民館	奈川公民館
島立公民館	梓川公民館
新村公民館	波田公民館
和田公民館	
Mウイング文化センター	

中央図書館
図書館分館
南部図書館
あがたの森図書館
鎌田図書館
寿台図書館
本郷図書館
中山文庫
島内図書館
空港図書館
梓川図書館
波田図書館
博物館
博物館分館
国宝旧開智学校校舎
松本民芸館
旧山辺学校校舎
考古博物館
はかり資料館
旧司祭館
旧制高等学校記念館
窪田空穂記念館
重要文化財馬場家住宅
歴史の里
時計博物館
山と自然博物館
高橋家住宅
四賀化石館
安曇資料館

教育委員会職員数 (R5. 5. 1現在)

()内は市長部局との併任

区 分	教育長 部 長	課 長	課 長 補 佐	係 長	主 査	主査補	事務系	技術系	会計年度 任用職員	合 計	備 考	
教 育 長	1									1		
教 育 次 長	1 (1)									1 (1)	()内 総務部長	
教 育 監	1									1		
事 務 局	教育政策課		2	1	2	4		2		6	17	
	学校教育課		2	3	1	1		11	2	5	25	
	学校支援室		(1)	1		5				52	課長補佐1名は主任指導主事、主査は指導主事 ()内は教育監事務取扱	
	学校給食課		1	4	5	3	0	2	52	109	176	職名栄養士、調理員、 栄養教諭は技術系
	生涯学習課		1	4	1	2	1	6		12	27	課長は中央公民館 長兼務
	文化財課		3	2	4	3		11		17	40	会計年度任用職員 3名は研究専門員
	施 設 課		(1)	(3)	(1)	(2)		(6)	(8)	(2)	(23)	()内 公共施設 マネジメント課
	小 計	3 (1)	9 (2)	15 (3)	13 (1)	18 (2)	1 0	32 (6)	54 (8)	201 (2)	346 (25)	
教 育 機 関	小 学 校						1	8		64	73	職名栄養士、調理 員は技術系
	中 学 校					2		4		35	41	小中統合校は全て小 学校に含む
	幼 稚 園				2	3		5	4	10	24	幼稚園教諭は事務 系に含む
	中央公民館		(35)		1			34		38	73 (35)	会計年度任用職員35名 は地区公民館長。併任 は地域づくりセンター 長(館課長)
	中央図書館		1		3	4		8		44	60	会計年度任用職員 10名は分館長
	博 物 館		1	1	3	1		9		22	37	会計年度任用職員8 名は分館長 係長1名は生涯学習 課係長兼務
	小 計		2 (35)	1	9	10	1	56	16	213	308 (35)	
合 計	3 (1)	11 (37)	16 (3)	22 (1)	28 (2)	2 0	88 (6)	70 (8)	414 (2)	654 (60)		

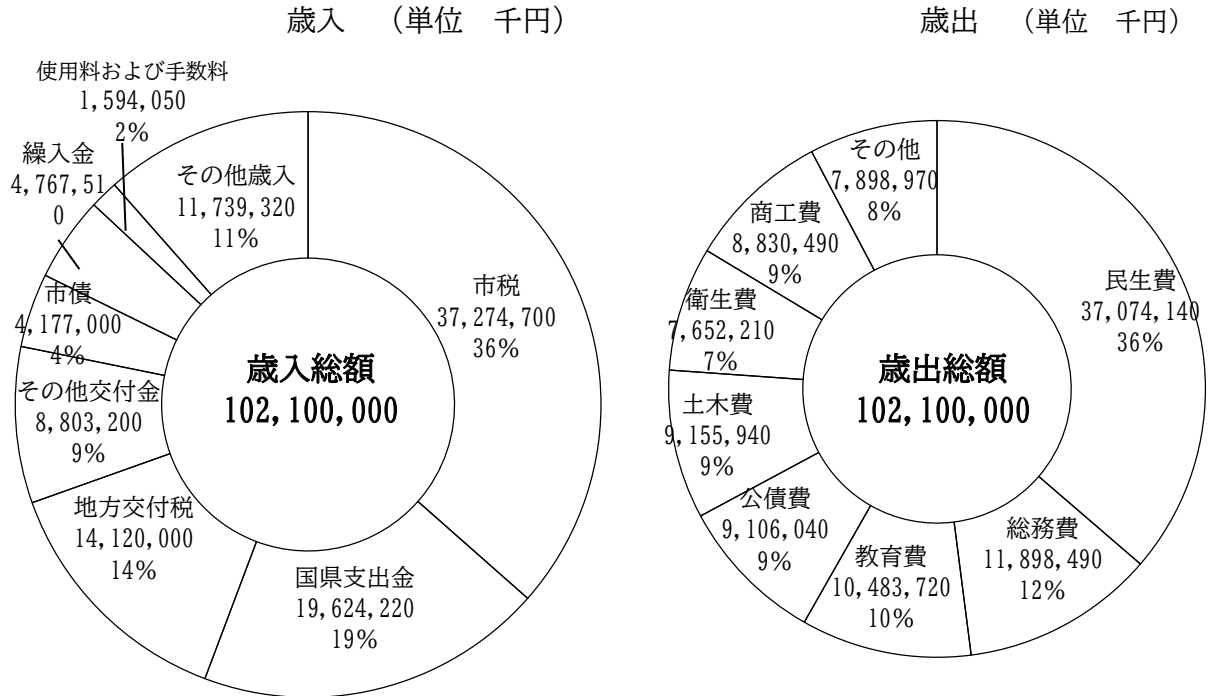
派遣等職員数

派 遣 先	課 長	課 長 補 佐	係 長	主 査	主査補	事務系	技術系	合 計	備 考
松本市・山形村・朝日村中学校組合			1				1	2	
合 計			1				1	2	

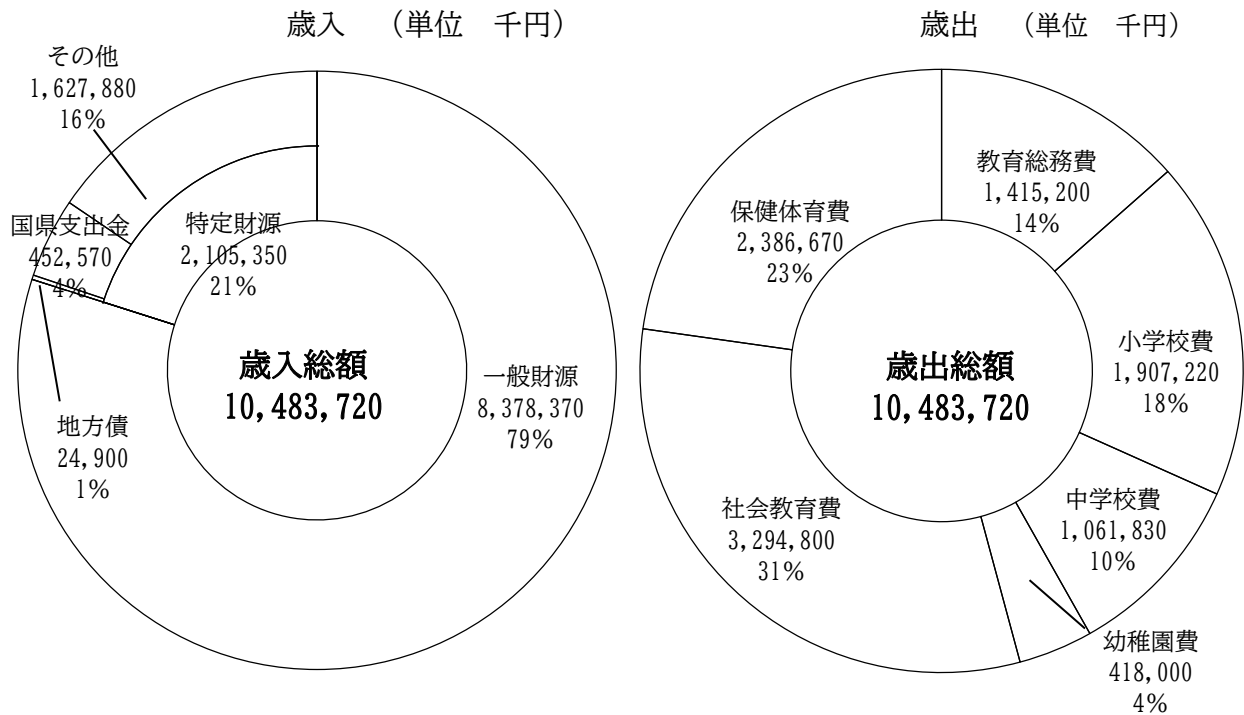
教育財政

1 教育関係予算の概要（令和5年度 当初予算）

(1) 一般会計予算



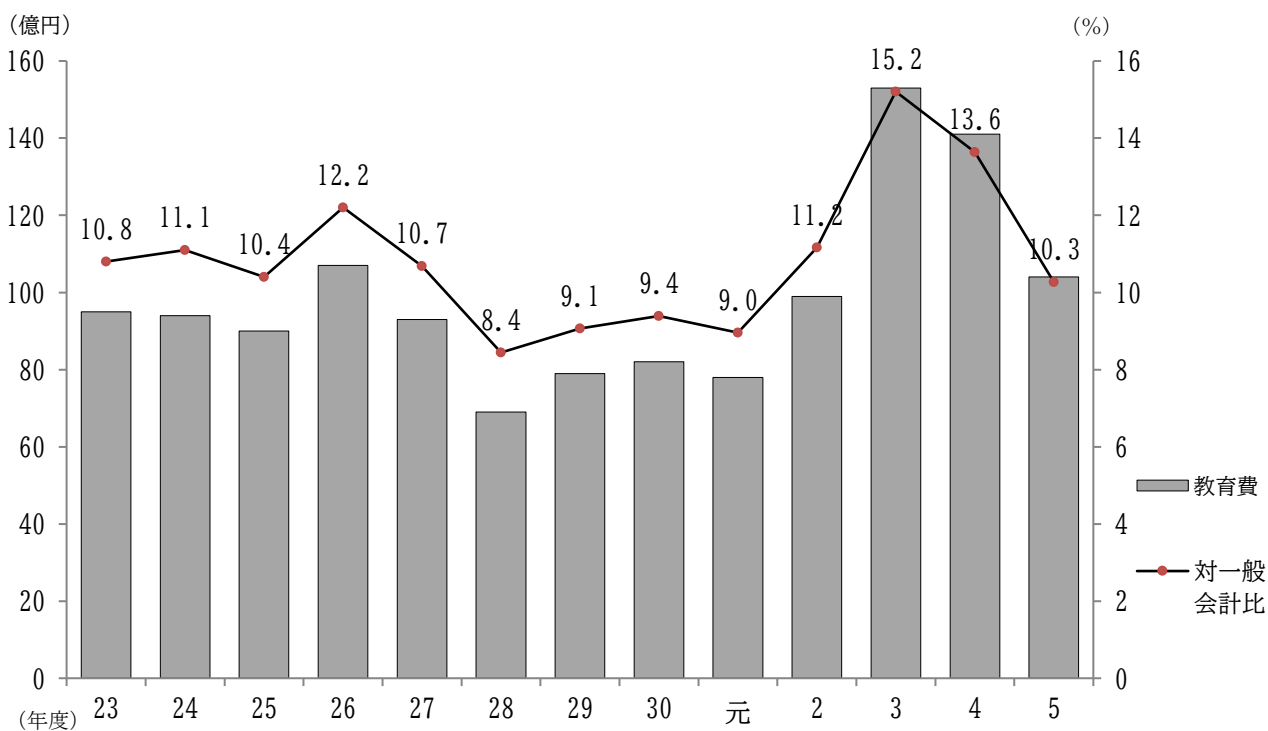
(2) 教育費関係予算



(3) 予算と決算の推移 一歳 出一

年度	当初予算額			決算額		
	一般会計	教育費	対一般会計比	一般会計	教育費	対一般会計比
	千円	千円	%	千円	千円	%
H23	88,540,000	9,562,940	10.8	94,004,163	11,085,885	11.8
H24	84,930,000	9,468,780	11.1	89,839,673	11,783,020	13.1
H25	86,450,000	9,020,740	10.4	90,047,663	11,819,846	13.1
H26	87,780,000	10,727,910	12.2	91,524,927	12,985,022	14.2
H27	87,960,000	9,398,530	10.7	88,622,111	7,851,332	8.9
H28	82,290,000	6,947,440	8.4	90,490,021	9,858,114	10.9
H29	87,270,000	7,910,390	9.1	89,611,460	9,262,262	10.3
H30	87,780,000	8,239,180	9.4	87,443,590	8,342,842	9.5
R元	88,010,000	7,884,110	9.0	92,223,509	9,623,536	10.4
R2	89,510,000	9,993,670	11.2	127,472,420	13,815,801	10.8
R3	101,160,000	15,382,840	15.2	110,611,019	16,254,810	14.7
R4	103,389,240	14,102,840	13.6	111,903,295	14,957,000	13.4
R5	102,100,000	10,483,720	10.3			

教育費及び対一般会計比の推移（当初予算）



(4) 令和4年度教育費項目別の予算額（令和5.5.1）

区分	予算額	構成比	児童生徒 一人当り	備考
総額	千円 10,483,720	% 100	円	市民一人当り44,435円
教育総務	1,415,200	13.5		教育委員会費、事務局費、私立学校振興費 (報酬、事務局職員給与を含む)
小学校	1,907,220	18.2	164,899	学校管理費、教育振興費、学校施設費関係(市費学校 職員給与を含む)
中学校	1,061,830	10.1	186,613	学校管理費、教育振興費、学校施設費関係(市費学校 職員給与を含む)
幼稚園	418,000	4.0		幼稚園費(職員給与を含む)
社会教育	3,294,800	31.4		社会教育総務費、公民館費、図書館費、博物館費、文 化費、美術館費、教育文化センター費(教育機関職員 給与を含む)
保健体育	2,386,670	22.8		保健体育総務費、学校給食センター費(給食センター 職員給与を含む)

(注) 1 市人口は令和5年5月1日現在の数による。(235,933人)

2 児童生徒数は令和5年5月1日現在の数による。

小学生 11,566人

中学生 5,690人

計 17,256人

生涯学習の推進(社会教育)

1 概 要

近年の急激な社会構造の変化（少子高齢社会・情報化社会等）を背景とした学習需要の多様化に伴い、社会教育行政においては、身近な生活の場所で誰もが、いつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう、ハード、ソフト両面の条件整備が求められています。

そこで、松本市教育振興基本計画に掲げる、「子どもの育ちと市民の学びを支える学都松本」の実現に向け、多世代の多様なニーズに応じた学習機会や施設等の充実を図り、誰もが豊かな人生を送り、活躍できる生涯学習社会を目指します。

2 重点施策

(1) 生涯学習の推進

- ア 学習情報の収集と提供
- イ 地域の人的・物的資源の発掘と連携による特色ある地域づくりの促進
- ウ 自発的活動の支援
- エ 生涯学習の啓発
- オ 市民活動などのコーディネート

(2) 社会教育施設の整備等

- ア 地区公民館等の整備・改修
- イ 町内公民館の整備促進

3 事業の内容

(1) 公民館活動の推進（「公民館の学びを通じた地域づくり」参照）

社会教育・地域づくりの拠点として公民館を活用・整備し、学習機会の充実・松本らしい地域づくりを目指した活動を推進しています。

(2) 生涯学習の推進

- ア 松本市出前講座「いい街つくろう！パートナーシップまつもと」の実施

(ア) 経過

市民と職員とがパートナーとなり、協働して街づくりを進めるため、出前講座を開講しています。

現在市が行っている業務や政策の中から、市民の生活に密着したものなど130講座をメニュー化し、要望に応じて担当職員等が地域に出向き講座を実施しています。

(イ) 現状

市関係課等の協力を得て、講座の新設や見直し等を行っています。

令和4年度実績 380回 16,943人参加

実施した主な講座は、交通安全、防災、子育て、健康等

- イ 生涯学習情報誌「学びの森いんふおめーしょん」の発行

市民の生涯学習活動を支援するため、生涯学習支援登録団体及び関係機関の情報を収集して、

町内回覧、公共施設での配布及び市公式ホームページにより情報提供を行っています。

(7) 発行回数

年4回（5月、8月、11月、2月）

(イ) 主な掲載内容

- a 生涯学習情報 …… 市民が参加できるイベントに関する情報
- b 生涯学習ファイル …… 市内近郊で活動している団体の会員募集情報

ウ 生涯学習支援登録制度による情報提供

市民の多様な生涯学習を支援するため、地域に在住する専門的な知識、経験を有する指導者や自発的活動を行っているグループ等の情報を登録し、市公式ホームページ等を利用した情報提供を行っています。

[登録数]（令和4年度末現在）

指導者 159名、グループ 401団体

(3) 社会教育施設の整備等

社会教育・地域活動の充実に寄与することを目指して、中央公民館及び地区公民館（35館）等の社会教育施設を整備しています。重点課題として施設の機能維持・ユニバーサルデザインの導入・エコ改修に取り組んでいます。

ア 社会教育施設等の整備状況（令和4年度実施）

区分	事業名	事業内容	事業費 (千円)
社会教育施設	奈川文化センター夢の森（奈川公民館）中間改修工事	建設から28年を経過した施設の中間改修工事を行い、あわせて福祉ひろばを集約しました。	251,338
	Mウイング整備事業	中間改修第1期工事（全4期）を行いました。個別施設計画に基づき、中間改修の実施設計を行いました。	106,389
	松南地区公民館中間改修工事		11,330

イ 町内公民館整備補助金

町会が所有・管理する町内公民館の整備等について、補助金による支援を行い、一定の負担軽減を図ります。また、整備等による各施設の機能維持・充実をとおして、町会における社会教育、その他多様な住民活動に寄与します。

令和3年度から、一般改修の補助率を現行の1/2から2/3へ引き上げ、解体補助(補助率1/2、限度額200万円)を新設する等の要綱改正を行い、支援の充実を図っています。

(7) 町内公民館整備補助金交付制度概要（令和5年度）

区分		補助率	限度額
建物	新築	未設置町会等	2/3 1,000万円（福祉関連含む）
		既設置町会等	1/2 1,000万円（福祉関連含む）
	改築	1/2	1,000万円（福祉関連含む）

	増 築	1/2	600 万円 ただし、新改築時補助を受けている場合は、400 万円
	改 修	2/3	一般改修（500 万円）
		2/3	福祉関連・耐震補強（500 万円）
	既設置建物取得	1/2	800 万円
	未設置建物取得	2/3	1,000 万円
土地	敷地取得	2/3	1,000 万円 （建築基準法に基づき適正面積で計算）1 回のみ
	借地・借家	1/2	5 万円
	解体除却	1/2	200 万円

※ ただし、2館目以降の限度額は、上記の金額の8割とする

(1) 補助金交付件数

年度	新築	改築	増築	改修	解体	取得		福祉	耐震	借地	借家	合計 件数	金額
						建物	敷地						
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	千円
2	0	1	1	79	-	0	1	11	0	38	3	134	84,167
3	0	2	0	76	3	0	1	7	1	36	3	129	97,053
4	0	1	0	97	1	0	0	12	1	33	2	147	81,275

ウ 重要文化財旧松本高等学校校舎耐震化事業

(ア) 事業概要

平成22年度に実施した耐震予備診断の結果において、基準値を満たさない項目があったため、文化庁が定めた「重要文化財（建造物）耐震診断指針」に沿い、耐震化事業を進めています。

平成26・27年度に耐震基礎診断を実施。平成28年度は壁の耐久力実験を行い、データに基づいた補強案を作成しました。また、重要文化財旧松本高等学校保存活用計画策定委員会を設置し、建物の保護と活用の方針を検討し、防災計画を含めた保存活用計画の策定をしました。

平成29年度は文化庁指導の基、「糸魚川-静岡構造線断層帯」を起因とする地震動を考慮した追加の耐震基礎診断を実施し、その結果を踏まえた耐震補強工事の実施設計を行いました。平成30年度から講堂、本館の順に6年間の計画で耐震補強工事を進めています。

(イ) 今後の取組み

令和2年度に着手した本館耐震化工事は、令和5年度が最終年度となります。工区毎に部分休館しながら耐震補強工事を行います。

(4) 青少年ホームの活動

平成27年に勤労青少年福祉法が改正され、勤労青少年ホームの設置根拠が削除されたことに伴い、条例を改正して、平成29年4月から名称を松本市勤労青少年ホームから松本市青少年ホームと改称し、対象者を35歳未満の勤労青少年から15歳以上35歳未満の青少年一般としました。

若者が気軽に集まれる魅力ある居場所づくりを通じ、自分づくり、仲間づくりを進めるとともに、ひきこもりの若者を含め、社会で生きていく力を培うことを支援しています。

また、若者が成長し、社会で活躍できるように、若者の多様な社会参画を進めています。

ア コーディネーターと連携し、ひきこもりの若者も参加しやすい講座、イベントの実施

イ 若者に人気のある運動・文化系の講座「ヤングスクール」の実施

ウ 青少年の将来の選択肢を広げる「職人から学ぶ講座」、キャリアアップセミナーの実施

エ 若者が自由に過ごし、交流できるゆるやかな居場所スペースとして「若者カフェ」の開設

オ ひきこもりの若者に対し、家族や地域住民が気持ちを理解し、支援することを目的とした「ひきこもり支援研修会」の実施

カ 若者が地域や企業に働きかけ、まちづくりに参加する「松本若者会議」の参加・協力

キ 青少年ホーム利用者の会の自主活動、所属クラブの育成・支援

ク 若者の職業生活や人生問題等に関する相談事業「若者お悩み相談室」の開設

ケ 二十歳の対象者で構成する実行委員会による、ハタチの記念式典の企画、運営の実施

青少年ホームの活動状況

年度	登録者数 (人)	平均年齢 (歳)	開館日数 (日)	利用状況(人)		
				計	ホーム	体育館
2	198	27.5	297	4,304	1,565	2,739
3	178	27.9	296	3,570	1,564	2,006
4	167	27.4	297	6,149	3,820	2,329

(5) 松本市ハタチの記念式典

二十歳の方々の門出を祝い励まし、故郷松本の良さを再認識することで、将来松本にUターンし、活躍する若者を増やすことを目的に、毎年開催しています。平成29年度(平成30年松本市成人式)から、教育委員会が担当で取り組んでいます。

ア 年度別参加者

年度	令和元年度 (令和2年成人式)	令和2年度 (令和3年成人式)	令和3年度 (令和4年成人式)	令和4年度 (ハタチの記念式典)
参加者	1,938人	803人※1	1,801人	1,740人

※1 令和3年成人式は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止としましたが、開催を求める声が多数寄せられ、令和4年8月に「令和4年成人のつどい」として開催。

イ 成年年齢引き下げについて

令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、これまで「成人式」として行ってきた式典について、令和5年1月開催式典から、「ハタチの記念式典」に名称を変更しました。対象については、従来通り成人の日の前年4月2日からその年の4月1日までに20歳になる方を対象としています。

4 社会教育施設

(1) 松本市あがたの森文化会館

第一期地名校の誇り、大正ロマンあふれる木造校舎 市民や同窓生の熱意によって保存された建物は、今も多くの市民の学びの場として愛されています。			
位 置	松本市県3丁目1番1号	電 話	32-1812
概 要	<p>あがたの森文化会館は、大正8年に開校した旧松本高等学校校舎の保存と活用のため、昭和54年に開館しました。大正9年から11年にかけて建築された校舎は、昭和25年の松本高等学校閉校後も信州大学の文理学部・人文学部校舎として使用されたことにより、全国的に旧制高等学校の遺構が少なくなっている中で、大正時代の木造洋風建築がもっとも良好に保存されているものといわれており、学校建築史上貴重な建造物として重要文化財の指定を受けています。</p> <p>現在は、校舎を文化財として保存するとともに、市民の教育文化活動施設として活用しています。(図書館併設)</p>		
沿 革	<p>大正 7年 松本市に高等学校設置決定 大正 8年 4月 松本高等学校設立、同年9月に松本中学校校舎を仮校舎として開校 大正 9年 8月 県町(現在地)に校舎(本館)が落成 大正 11年 9月 講堂が建てられ全校舎落成 昭和 24年 5月 国立新制大学が発足、信州大学文理学部が設置される。学部再編後は人文学部校舎となる 昭和 48年 4月 人文学部が旭町キャンパスに移り、校舎は閉鎖される 昭和 52年 3月 松本市が建物及び敷地の一部を国から買い取り、文化財としての保存と活用を決め、以後施設の補修等実施 昭和 54年 10月 『あがたの森文化会館』として開館。公民館、図書館を併設 昭和 56年 2月 本館、講堂とも長野県宝に指定される 平成 19年 6月 本館、講堂が重要文化財に指定される</p>		
文化財の種類	重要文化財	指定日	平成19年6月18日
名 称	旧松本高等学校本館・講堂	構 造	木造2階建て
建物延面積	3,611.11㎡	開 館	昭和54年10月1日
休 館 日	毎週月曜日、12月29日～翌1月3日、日曜日以外の祝日(月曜日が祝日及び振替休日の場合は月・火曜休館)		

ア 施設内容

区 分	部 屋 数	収容人員(人)	面 積 (㎡)	備 考
ホ ー ル	1	350	331	
大会議室	4	50~100	455	
中会議室	10	30~50	663	
小会議室	5	25	183	

あがたの森図書館については別頁掲載

イ 使用料及び冷暖房料

(単位：円)

区 分	午 前	午 後	夜 間	午前～午後	午後～夜間	全 日	上段：冷房料 下段：暖房料 (1 回)
	9:00～12:30	13:00～17:00	17:30～22:00	9:00～17:00	13:00～22:00	9:00～22:00	
ホール	1,780	3,140	4,400	4,670	7,160	8,380	3,240 1,780
大会議室	830	1,040	1,250	1,770	2,170	2,800	1,460 830
中会議室	730	940	1,150	1,580	1,980	2,530	1,460 830
小会議室	520	620	730	1,080	1,280	1,680	— 410

※ 冷暖房の1回とは午前、午後、夜間をそれぞれ単位とする

※ 企業等が入場料等を徴収しないで使用する場合は200/100に相当する額、入場料等を徴収して使用する場合は250/100に相当する額とする

ウ 利用実績

年 度	利用者総数 人	利用総件数 件	減免団体利用件数 (減免団体数) 件	使 用 料 円
2	24,867	2,366	1,936 (244)	1,876,640
3	26,951	3,093	2,626 (228)	2,287,590
4	29,237	3,309	2,809 (218)	2,809,600

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で4月中旬～6月下旬まで貸館停止、耐震補強工事の影響で4月の講堂貸館を停止

※ 令和3年度は本館南棟について耐震補強工事の影響で部分的に貸館を制限した期間があったほか、新型コロナウイルス感染症の影響で貸館利用を自粛した期間あり(9月上旬～下旬、1月中旬～2月下旬)

※ 令和4年度は耐震補強工事に伴い、本館北棟と南棟一部に貸館の制限あり。

(2) 池上百竹亭

呉服商・池上喜作が多く文化人と交流を深めたゆかりの旧邸。茶道、華道等の学習活動にご活用いただけます。			
位 置	松本市丸の内10番31号	電 話	32-0141
概 要	故池上喜作氏の遺族から建物の寄贈を受けて、住居、茶室、庭園等を整備し、市民に広く施設の提供を行うことにより、教育文化活動の振興を図っています。		
開館時間	午前9時～午後9時	敷地面積	1,038.74㎡
施設面積 (建物)	居 宅 122.60㎡ 茶 室 16.52㎡	施設面積 (庭園)	茶 庭 約95.75㎡ 日本庭園 約216.00㎡
休 館 日	月曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日にあたる場合は、当該日以外の休日に当たらない最初の日）、12月29日～翌1月3日		
管理運営	指定管理者制度を導入 平成19年 (社)松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託 平成23～28年 (一社)梓川ふるさと振興公社を指定管理者として管理委託 平成29年～ (公社)松本地域シルバー人材センターを指定管理者として管理委託		

ア 使用料及び器具使用料

使用区分	午前	午後	夜間	午前～午後	午後～夜間	全日
	円	円	円	円	円	円
上座敷	310	410	520	620	830	1,040
下座敷	310	410	520	620	830	1,040
中の間	310	410	520	620	830	1,040
茶室	3,240	3,240	3,240	6,180	6,180	8,900
ストーブ	1台1回410円					

イ 利用実績

年度	開館 日数	利用 日数	利 用 内 訳				使用料 円
			公的団体等 件	文化団体 件	そ の 他 件	総 数 件	
2	307	104	1	71	40	112	66,450
3	311	145	0	57	83	140	178,620
4	313	204	9	137	109	255	289,240

(3) ふれあいパーク乗鞍

様々な学習活動に対応した「ふれあいパーク乗鞍」は、周辺の豊かな自然を活用した幅広い学習にご利用いただけます。			
位 置	松本市安曇4855番地100	電 話	93-1122
概 要	旧安曇村時代に一般廃棄物最終処分場を当地に建設するにあたり、その影響を少しでも緩和し、地域のコミュニティ形成の一助とする目的で建設されました。		
構 造	鉄骨造平屋建	敷地面積	11,997 m ²
施設面積	979.15 m ²	建設費	318,627 千円
施設内容	多目的ホール、カルチャー教室、調理室、和室、事務室、団らんホール、屋根付広場、自転車置場、駐車場		
竣 工	平成15年3月31日	開 館	平成15年4月1日
開館時間	午前9時～午後9時	休 館 日	12月29日～翌1月3日
管理運営	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度から指定管理者制度を導入 指定管理者 ふれあいパーク乗鞍管理委員会 		

ア 使用料及び器具使用料

区分		単位	金額
施設	多目的ホール	1日1回	円 1,020
	カルチャー教室		1,020
	畳室		1,020
	調理室		1,020
	全館		5,140
器具	陶芸窯	1回	3,080
	土練機		1,020
	プロジェクター		1,020
	音響機器（一式）		1,020
	そば打ち道具（一式）		1,020

イ 利用実績

年度	利用件数			利用者数			使用料 円
	有料 件	無料 件	総数 件	有料 人	無料 人	総数 人	
2	6	102	108	58	1,131	1,189	15,640
3	11	135	146	100	1,707	1,807	27,080
4	8	147	155	141	1,677	1,818	22,950

(4) 奈川文化センター夢の森

奈川地区の拠点として、また都市農村交流による活性化促進施設として設置された本施設は、コンベンションホールを活用した芸術・文化活動をはじめ、様々な学習活動にご利用いただけます。

位 置	松本市奈川3301番地	電 話	79-2304
概 要	旧奈川村時代に村の活力低下、山村の課題解決のため、村の風土・文化にふさわしい価値観や自然を最大限に活かした、都会にはないゆとりとふれあいの里を創造していく目的で建設されました。		
構 造	鉄筋コンクリート造3階建	敷地面積	17,456㎡
施設面積	2,448.61㎡	建設費	1,199,300千円
施設内容	コンベンションホール、会議室、調理室・図書室、和室、事務室、視聴覚室、茶室、駐車場		
竣 工	平成6年6月	開 館	平成6年7月14日
開館時間	午前9時～午後9時	休 館 日	12月29日～翌1月3日、祝日

ア 使用料

区分	9:00～17:00 (1時間につき)	17:00～21:00 (1時間につき)	全日
コンベンションホール	円 3,300	円 3,840	円 33,000
1階ホール	220	320	2,200
2階ホール	220	320	2,200
会議室	220	320	3,300
視聴覚室	540	760	7,700
実習室	440	660	5,500
研修室	440	660	5,500
和室	440	660	5,500
全館	5,500	7,700	55,000

※冷房又は暖房を使用するときは、当該区分の定める額の130/100に相当する額

イ 利用実績

年度	利用件数			利用者数			使用料 円
	有料 件	無料 件	総数 件	有料 人	無料 人	総数 人	
2	1	209	210	10	3,562	3,572	440
3	8	432	440	77	3,635	3,712	3,300
4	7	404	411	70	3,402	3,472	2,200

松本のお宝は松本城だけじゃない！

第2回

歩いて探そう！
お宝探訪
ウォークラリー

地域再発見！

主催：まちなかウォークラリー実行委員会
(第一地区・第二地区・第三地区・東部・城東・大手公民館)
共催：各地区地域づくりセンター（福祉ひろば）

令和5年3月21日（火・祝）
10時00分～13時00分
Mウイング6階 ホール

参加費 無料

昨年度好評だった講座の第2回！
普段何気なく歩いているけど、実は市街地には隠れた名所がいっぱいあります！
見過ごしがちな松本市街地の名所をウォークラリーしながら見つけてみませんか？

お宝探訪ウォークラリー 募集チラシ
(第一、第二、第三、東部、城東、大手公民館)

松本市広報 No.4-10
内田公民館だより No.4-14
令和4年9月28日
発行：内田公民館

夜の
馬場家探検
&内田ナイトウォーキング

10月28日 金

午後6時集合(1時間程度)

☆ 集合場所 内田公民館
☆ 申込み 公民館窓口、電話、FAX、E-mail(裏面参照)
☆ 距離 約2.6km(往復)
☆ 対象 どなたでも参加OK
※中学生以下のお子さんは保護者同伴
☆ 定員 20名程度
☆ 持ち物 動きやすい服装、懐中電灯、反射材、雨具

参加無料

主催 内田公民館、内田地区福祉ひろば、馬場家住宅

馬場家探索&内田ナイトウォーキング
募集チラシ (内田公民館)

あかちゃんのタッチケア講座

タッチケアって？
赤ちゃんが寝てくつめ合い、遊びながら赤ちゃんの肌触りにしっかり触れてあげたり、マッサージをしてあげたりするスキップの魔法の1つです。

※対象 岡田地区に住んでいる
歩き出す前の赤ちゃんとその保護者

※講師 中野 明子さん(助産師)

【日時】 令和4年11月25日(金)
午前10:00～11:00

【場所】 岡田地区福祉ひろば(松本市岡田町517-1)

【持ち物】 バスタオル
ベビーオイル(なくてもOK!)
母子手帳(計測をご希望の方のみ)

【申込み】 11月16日(水)午前9時から
岡田公民館へ電話(☎46-2313) またはQRコードから
※定員10組とさせていただきます。

【その他】
※参加費は無料です。
※保護者の方はマスクの着用をお願いします。
※発熱や体調不良のある方は参加をお控えください。
※新型コロナウイルス感染状況等の理由で事業を中止することがあります。ご承知おきください。

ひろばや公民館を利用したことのない方も大歓迎!!

主催：岡田地区福祉ひろば、岡田公民館
松本市保健所健康づくり課

あかちゃんのタッチケア講座
募集チラシ (岡田公民館)

地区公民館×中央図書館コラボ企画

参加費 無料

敵を知り倒す！外来種駆除体験講座

外来植物に悩まされていませんか？

河川敷、公園、おうちの庭など私たちの身近にいる外来植物。普段から目にしているあの植物も実は外来種かもしれません。外来種には、生態系、人の生命や身体に影響を及ぼすものもあります。松本の自然を守るため、本と知識を武器と一緒に戦いましょう！

【知る！】
日時 4月17日(月) 午前9時30分～正午
会場 中央図書館
内容 図書館の使い方、目的の本へとり着く方法を学びます。植物や園芸の本、外来種に関する本を探してみましょう！意外な発見があるかも!?

申込み 庄内地区公民館(詳細は裏面をご覧ください。)

【倒す！】
日時 5月22日(月) 午前10時～正午
会場 市内の河川敷(申込み受付後に別途ご案内)
内容 講師からのレクチャーを受け、実際に外来植物の駆除を体験します。
講師 高野 宏平 氏(長野県環境保全研究所 自然環境部研究員)
持ち物 申込み受付後に別途ご案内

【主催】庄内地区公民館、和田公民館、内田公民館、中央図書館

外来種駆除体験講座 募集チラシ
(庄内、和田、内田公民館、中央図書館)

公民館の学びを通じた地域づくり

1 概 要

超少子高齢型人口減少社会に対応したまちづくりに向け、主役である市民が身近な地域で学び、考え、具体的に実践する機会が必要となっています。

また、地域では、地域連帯意識の希薄化や家庭機能の低下など、課題の増大や複雑化に伴い行政だけの解決、また地域だけでの解決は困難な状況となっています。

このような現状の中で、本市の公民館は、松本市教育振興基本計画のもと、市民一人ひとりの幅広い学習や活動を支援し、総合的な地域づくりの拠点としての役割を担うことができる体制づくりを進めるとともに、学習活動などを通じて地域課題と向き合い、市民自らが地域課題の解決に向けた学習機会を充実させ、実践していく、松本らしい地域づくりをめざした公民館活動を展開しています。

2 重点施策

- (1) 松本らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連帯を育む学習機能の充実を図ります。
- (2) 人権尊重のための学習活動を進めます。
- (3) 男女共同参画社会をめざして、女性問題等解決のための啓発学習を進めます。
- (4) 少子高齢・国際・情報化社会に対応する学習活動の推進を図ります。
- (5) 町内公民館の振興と活動支援を図ります。
- (6) 住民主体の公民館活動推進のリーダーとなる公民館委員の組織強化を図ります。
- (7) ふるさとづくり、まちづくりのため、地域の歴史の掘り起こしと伝承文化の振興を図ります。
- (8) 住民の自治能力を高めるための学習活動を進めます。
- (9) 市民のニーズに合わせた生涯学習活動の推進のための支援体制の整備を行います。
- (10) 次代を担う青年の学習・相談、クラブ活動等の場の提供と講座・行事を開催します。

3 公民館事業の概要

(1) 令和5年度中央公民館主要事業計画

項 目	主な事業名	実施時期	事 業 内 容
	第39回公民館研究集会 (未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い)	2月	住民・大学・NPO等や市関係部局の幅広い参画により、自治を基盤とした協働の実践事例を題材に、自治力の必要性や高め方、協働のあり方等について考える集会を開催
	町内公民館館長研修会	通年	町内公民館長の資質向上のための研修 ・新任町内公民館長研修会(2つのブロックに分けて開催、6月) ・ブロック別研修会(7月～8月) ・ほか女性館長研修、理事研修など(随時)
地域交流・まちづくり事業	聴覚障がい者と学ぶ成人学校	10月～2月	障がい者とともに暮らす地域づくり事業
	手話教室	5月～2月	初心者を対象にした、やさしい日常会話からの手話教室と、通訳者レベルを見越した中級者教室、高校生向け手話教室を開催
	第13回こいこい松本 松本国際ふるさと祭り	6月	多文化共生社会の実現をめざしたふれあい交流会
	日本老民考学習会	通年	地域福祉、時事ネタ(原発・憲法)等について学ぶ事業
日本語講座		通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める

項目	主な事業名	実施時期	事業内容
	木曜午前ボランティア日本語教室	通年	日常生活に必要な日本語の習得及び学習を通じて相互理解を深める
	松本市ヤングにほんご教室	通年	外国由来の青少年への学習支援
	松本みんなのにほんご教室	4月 ～2月	学齢期を過ぎた外国由来の青少年への学習支援、就学・就労希望の外国籍住民への日本語支援
	コミュニティスクール事業	通年	子どもたちを地域全体で見守り育てる「地域に開かれた学校」をつくることを目指す（市内全地区／35地区で実施）
	市民教育講座	3月	地域活動実施団体（若者団体）等の活動事例の発表の場・学習会
	松本市出前講座	通年	より開かれた市政と、市民と協働のまちづくりを推進
	第23回松本手まり時計まつり	5月	Mウイング公益施設及び利用団体がタイアップして実施
文化活動	芸術文化祭	4月 ～1月	第64回松本市芸術文化祭
	公民館活動発表会	5月	第45回公民館活動グループ発表会（ステージ部門・展示部門）
	お城盆踊り	8月	第75回お城盆踊り
広報活動	公民館報の発行	年6回	全市版、地域課題や学習資料の提供
	資料集等の作成	通年	公民館活動資料
	人権教育	通年	学級講座、各地区懇談会等
町内公民館活動	町内公民館長会	通年	住民の自主的な社会教育活動推進への援助

(2) 令和5年度各公民館共通事業

項目	実施時期	実施内容	主な事業内容
人権教育	4月 ～3月	人権教育をあらゆる事業の中に入れ、差別を許さない、差別をしない明るい社会づくりを進めます。	学級講座、各地区懇談会、町内懇談会、隣組単位集会、各種指導者研修会、各種啓発事業
町内公民館活動の推進	4月 ～3月	町内公民館の自主的な活動の推進を図るため各町会へ委託料を交付するとともに、館長研修会、町内公民館との共催講座等を実施します。	町内公民館振興業務委託 町内公民館長研修会 町内公民館学級講座
芸術文化活動	4月 ～3月	市民の自主的な芸術文化活動の助長を図り、更に芸術文化の香り高い市民性の涵養と親睦を深めます。	地区文化祭、史跡の愛護保護、盆おどり、伝承文化の継承
スポーツ活動	4月 ～3月	スポーツを通し、健康の保持、スポーツの向上を図るとともに地域社会づくりの協調性を養い、親睦を深めます。	市民スポーツ大会参加、地区運動会、各種スポーツ大会の開催、スポーツ教室の実施
視聴覚教育	4月 ～3月	各種講座及び町内公民館活動等の中に視聴覚機材の活用を積極的に図ります。	VTR・OHP・パソコン等の活用、映画会等の開催
広報活動	4月 ～3月	学習課題や地域住民のための身近な資料の提供や、住民の意向を反映させる館報等の発行	各地区版公民館報隔月年6回発行 各種お知らせ（公民館ニュース他）
地域づくり	4月 ～3月	地域の課題を共有し、課題解決へ向けた学習と実践を展開しながら、地域連帯を育みます。	地域交流ネットワーク事業として、地域資源や機能を活用した総合的な地域づくりを展開 地区担当職員による学習会の実施
青少年教育	4月 ～3月	各地区子ども会育成会などと連携を密にし、地域ぐるみで次代を背負う青少年の健全な育成活動を推進します。	松本子どもまつり参加、講演会、各種スポーツ大会、映画会、遊びと伝統行事の伝承等事業
図書活動	4月 ～3月	図書館の配布所として各公民館に300～800冊の本を配布し巡回方式により、住民に提供します。図書館との連携を図りながら町会を単位とする身近な文庫活動を支援します。	地区公民館配本、町会文庫配本 こども文庫活動促進 読み聞かせ、創作絵本活動 パネルシアターの実施
食育事業	4月 ～3月	食生活の改善など自ら「食」の在り方を学ぶことにより生涯にわたって生きいきと暮らすことを目指します。	料理教室、食に関する講演会、地域食生活改善協議会・健康づくり推進員等との連携による事業の展開

4 公民館施設一覧

名 称	位 置	沿 革	公民館 床面積 (㎡)
中央公民館	中央1丁目18番1号 (0263-32-1132)	大正6年10月 松本市公会堂として建築 昭和22年4月 松本市公民館として発足 昭和23年10月 松本市第1公民館と呼称 昭和27年6月 松本市公民館と呼称 昭和34年4月 松本市中央公民館と呼称 昭和40年5月 解体のため仮事務所へ移転 昭和41年7月 厚生文化会館へ移転 昭和60年4月 厚生文化会館の廃止に伴い独立館として発足 平成11年4月 中央西開発ビル公益施設内へ移転新たに女性センターを設置、働く婦人の家を付属施設とし、勤労青少年ホーム業務を労政課から移管 ※勤労青少年ホーム 松本市芳野4-1 ※働く婦人の家 松本市中央4-7-28 平成12年4月 女性センター、働く婦人の家を男女共生課へ移管	5,381.55
第一地区公民館	中央1丁目18番1号 (0263-32-1550)	平成22年4月 Mウイング内に地区公民館(事務室のみ)として発足	104.39
第二地区公民館	本庄2丁目3番23号 (0263-39-3601)	平成10年4月 地区公民館として発足	706.86
第三地区公民館	中央4丁目7番28号 (0263-36-7040)	昭和54年10月 中央公民館分館(あがたの森公民館)として発足 平成20年4月 地区公民館として発足	445.97
東部公民館	女鳥羽2丁目1番25号 (0263-36-8565)	平成9年4月 地区公民館として発足	632.72
城北公民館	開智2丁目3番39号 (0263-38-0120)	平成12年4月 同上	700.04
大手公民館	大手3丁目8番1号 (0263-39-5711)	平成14年7月 同上	603.27
安原地区公民館	旭2丁目11番13号 (0263-39-0701)	平成13年1月 同上	660.58
城東公民館	元町3丁目7番1号 (0263-34-0191)	平成11年4月 同上	725.13
白板地区公民館	城西1丁目6番17-3号 (0263-35-7740)	昭和57年6月 同上 平成27年4月 移転、北部から白板地区へ名称変更	696.73
田川公民館	渚3丁目2番7号 (0263-27-3840)	平成13年4月 地区公民館として発足	670.45
庄内地区公民館	出川1丁目5番9号 (0263-24-1811)	平成18年4月 同上	1,003.64
鎌田地区公民館	両島5番50号 (0263-26-0206)	昭和59年6月 同上 平成27年4月 西部から鎌田地区へ名称変更	797.31
松南地区公民館	芳野4番1号 (0263-26-1083)	昭和62年4月 地区公民館として発足 平成26年4月 南部から松南地区へ名称変更	2,060.24

併設施設	改修状況等			エレベーター 設置状況	備 考
	構造	竣工年度	改修年度		
女性センター 中央保健センター 体育館 第一地区福祉ひろば 第一地区公民館	S 地上7F地下1F	平成 10年度		平成 10年度	Mウイング(官 民共有施設)内 に設置
福祉ひろば	RC 2F	平成 9年度		平成 9年度	
トライ・あい松本 福祉ひろば	S 2F	平成 19年度		平成 19年度	トライ・あい松 本に増築
デイサービスセンター 福祉ひろば	S 2F	平成 8年度		平成 8年度	
福祉ひろば	RC 2F	平成 11年度		平成 23年度	
同上	RC 2F	平成 14年度		平成 14年度	
同上	RC 2F	平成 12年度		平成 12年度	
北部地域包括支援センター 北部ヘルパーステーション 北部保健センター	RC 3F	平成 10年度		平成 10年度	ふくふくらい ず内に設置
	RC 2F	昭和 56年度	平成 26年度	平成 26年度	
	RC 2F	平成 12年度		平成 12年度	
体育館 屋内プール トレーニングルーム	RC 地上4F地下2F	平成 17年度		平成 17年度	ゆめひろば庄 内内に設置
図書館 体育館 福祉ひろば 児童センター	RC 2F	昭和 59年度	平成 26年度	平成 26年度	
青少年ホーム 図書館 体育館	RC 3F	平成 元年度		平成 元年度	なんなんひろ ば内に設置

名 称	位 置	沿 革	公民館 床面積 (㎡)
島内公民館	大字島内 4970 番地 1 (0263-47-0264)	昭和 29 年 4 月 合併によって分館として発足 昭和 34 年 4 月 地区公民館として発足	1,115.22
中山公民館	大字中山 3746 番地 1 (0263-58-5822)	同上	742.67
島立公民館	大字島立 3298 番地 2 (0263-47-2049)	同上	714.62
新村公民館	大字新村 2179 番地 7 (0263-48-0375)	同上	523.42
和田公民館	大字和田 2240 番地 31 (0263-48-5445)	同上	590.13
神林公民館	大字神林 1557 番地 1 (0263-58-2039)	同上	662.00
笹賀公民館	大字笹賀 2929 番地 (0263-58-2046)	同上	1,321.97
芳川公民館	野溝東 2 丁目 10 番 1 号 (0263-58-2034)	同上	960.06
寿公民館	大字寿豊丘 424 番地 (0263-58-2038)	同上	709.81
寿台公民館	大字寿豊丘 649 番地 1 (0263-58-6561)	昭和 51 年 9 月 地区公民館として発足	702.82
松原地区公民館	松原 39 番地 1 (0263-57-2322)	平成 22 年 4 月 同上	481.05
岡田公民館	大字岡田町 517 番地 1 (0263-46-2313)	昭和 29 年 8 月 合併によって分館として発足 昭和 34 年 4 月 地区公民館として発足	717.10
入山辺公民館	大字入山辺 1509 番地 1 (0263-32-1389)	同上	912.90
里山辺公民館	大字里山辺 2943 番地 1 (0263-32-1077)	昭和 29 年 8 月 同上 昭和 34 年 4 月 同上 令和 4 年 4 月 教育文化センター内から移転	1,107.37
今井公民館	大字今井 2231 番地 1 (0263-59-2001)	昭和 29 年 8 月 合併によって分館として発足 昭和 34 年 4 月 地区公民館として発	1,121.72
内田公民館	大字内田 2203 番地 1 (0263-58-2494)	昭和 35 年 4 月 合併によって地区公民館として発足	504.98
本郷公民館	浅間温泉 2 丁目 9 番 1 号 (0263-46-1500)	昭和 49 年 5 月 同上	1,083.73
四賀公民館	会田 1001 番地 1 (0263-64-3112)	平成 17 年 4 月 同上	
安曇公民館	安曇 2741 番地の 1 (0263-94-2301)	同上	774.86
奈川公民館	奈川 2546 番地 (0263-79-2121)	同上	906.68
梓川公民館	梓川梓 2285 番地 1 (0263-78-3000)	同上	1,432.00
波田公民館	波田 4417 番地 1 (0263-92-2268)	平成 22 年 3 月 同上 平成 29 年 7 月 波田支所内に移転	1,413.54

併設施設は敷地内の施設を掲載

参考 一公民館設置基準面積一

1,200 世帯まで 450 ㎡ (床面積) 1,200~5,000 世帯まで 660 ㎡ (床面積)
5,000 世帯以上 900 ㎡ (床面積) ※出張所管内は出張所面積分 50 ㎡増

併設施設	改修状況等			エレベーター 設置状況	備 考
	構造	竣工年度	改修年度		
出張所 図書館 福祉ひろば 河西部地域包括支援センター デイサービスセンター	RC一部S 1F	平成 9年度			
出張所 福祉ひろば	RC 2F	平成 13年度		平成 13年度	
出張所 体育館	RC 2F	昭和 63年度		平成 21年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	平成 8年度		平成 25年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	昭和 62年度	平成 30年度	平成 30年度	
出張所 福祉ひろば 体育館 農村広場	RC 2F	昭和 57年度	平成 24年度	平成 24年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	昭和 61年度	平成 29年度	平成 20年度	農村環境改善 センター
出張所 福祉ひろば デイサービス センター 体育館 南部屋内庭球場	RC 2F	平成 4年度		平成 18年度	
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2F	昭和 62年度		平成 22年度	
図書館	RC 2F	平成 2年度		平成 24年度	
福祉ひろば	S 1F	平成 21年度			
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2F	平成 元年度		平成 17年度	
出張所	RC 2F	昭和 54年度	平成 16年度	平成 16年度	
出張所 福祉ひろば	RC 2F	令和 4年度		令和 4年度	
出張所 福祉ひろば 体育館	RC 2F	昭和 59年度	平成 27年度	平成 19年度	農村環境改善 センター
出張所 福祉ひろば	RC 2F	昭和 61年度	平成 28年度	平成 28年度	
支所 図書館	RC 2F	平成 5年度		平成 16年度	
保健福祉センター	RC 3F	平成 14年度		平成 14年度	支所内に事務 室のみ設置
	RC 2F	昭和 53年度	平成 20年度	平成 20年度	基幹集落セン ター
	RC 2F	昭和 52年度			
	RC 2F	昭和 50年度	平成 22年度	平成 22年度	
	SRC 2F	昭和 50年度		平成 9年度	

5 利用状況並びに活動状況

(1) 中央公民館の利用状況

年 度	総 数		公 民 館		Mウイング文化センター	
	利用件数	利用人数	利用件数		利用件数	利用人数
2	件 3,153	人 35,993	件 2,721	人 33,486	件 432	人 2,507
3	3,628	77,003	3,274	71,272	354	5,731
4	4,378	103,338	3,991	96,825	387	6,513

(2) 中央公民館の活動状況

年 度	学級・講座・講演会・展示会等							芸術文化
	健康福祉 スポーツ	環境問題	子ども・青少年 教 育	人権平和 男女共同参画	地域づくり まちづくり	趣味・教養	地域文化	芸術文化祭
2	事業 2	0	0	7	2	0	1	
	人 180	0	0	2,908	78	0	79	6,480
3	事業 2	0	-	7	3	0	3	-
	人 54	0	-	1,456	196	0	126	5,094
4	事業 2	0	-	7	3	0	3	-
	人 183	0	-	1,679	213	0	146	16,532

(3) 地区公民館活動状況の変移

年 度	利用件数				利用人数			
	利用総件数	公民館活動以外の利用			公民館活動 の利用件数	公民館活動利用人数		
		件数（貸館分）				学級・講座		
		総数	有料	無料		成人	女性	高齢者
	①+②件	①=A+B	A	B	②件	C	D	E
2	35,702	31,504	373	31,131	4,198	10,645	1,908	2,095
3	41,450	36,378	394	35,984	5,072	11,235	1,534	1,898
4	46,681	41,355	536	40,819	5,326	13,794	805	3,259

芸術文化活動		各種集会・研修会等				参加合計
お城盆踊り	公民館活動発表	課題別集会 まちづくり集会	公民館 研究集会	町内公民館 関係	団体育成 関係	
		80	1	25	0	
0	0	1,598	108	268	0	11,699
		78	1	27	0	
200	200	1,932	300	208	0	9,766
		78	1	27	0	
300	597	1,540	430	253	0	21,873

利用人数								
公民館活動利用人数							公民館 活動以外 の利用人数 (貸館分)	利用 総数
学級・講座			諸集会・会議等			公民館活 動の利用 人数		
家庭教育	青少年	その他	体育	文化	その他			
F	G	H	I	J	K	③C~K人	④	③+④
1,561	5,871	2,663	5,598	14,615	15,616	60,572	275,325	335,897
1,643	5,344	4,136	8,178	16,688	19,817	70,473	309,095	379,568
2,082	5,661	5,690	10,252	21,731	21,551	84,825	368,608	453,433

(4) 令和4年度 地区公民館活動状況

公民館名	利 用 件 数				利用人数			
	利 用 総件数	公民館活動以外の利用件数 (貸館分)			公民館活動 の利用件数	公民館活動利用人数		
		総 数	有 料	無 料		学 級 ・ 講 座		
	①+② 件	①=A+B件	A件	B件	②件	成人	女性	高齢者
					C人	D人	E人	
第一地区公民館	87	0	0	0	87	388	0	0
第二地区公民館	1,414	1,270	73	1,197	144	1,001	46	301
第三地区公民館	1,686	1,573	64	1,509	113	39		306
東 部 公 民 館	1,381	1,342	6	1,336	39	737	0	0
城 北 公 民 館	1,577	1,397	2	1,395	180	0	0	0
大 手 公 民 館	1,575	1,418	0	1,418	157	696	0	0
安原地区公民館	1,607	1,427	41	1,386	180	765	0	0
城 東 公 民 館	2,690	2,658	9	2,649	32	183	0	0
白板地区公民館	1,298	1,241	9	1,232	57	364	0	0
田 川 公 民 館	1,435	1,169	20	1,149	266	753	0	7
庄内地区公民館	2,823	2,750	34	2,716	73	0	0	9
鎌田地区公民館	2,360	2,203	10	2,193	157	1,115	0	0
松南地区公民館	3,826	3,598	92	3,506	228	395	0	14
島 内 公 民 館	1,817	1,706	0	1,706	111	379	0	15
中 山 公 民 館	641	514	3	511	127	616	615	864
島 立 公 民 館	1,085	987	15	972	98	0	0	0
新 村 公 民 館	382	316	1	315	66	512	0	0
和 田 公 民 館	409	355	2	353	54	180	9	0
神 林 公 民 館	803	701	3	698	102	342	0	121
笹 賀 公 民 館	1,663	1,615	2	1,613	48	215	0	32
芳 川 公 民 館	1,646	1,300	51	1,249	346	0	0	948
寿 公 民 館	864	752	8	744	112	0	0	0
寿 台 公 民 館	1,431	1,353	1	1,352	78	289	0	0
松原地区公民館	1,802	1,694	0	1,694	108	218	0	109
岡 田 公 民 館	911	848	8	840	63	245	0	0
入山辺公民館	809	747	8	739	62	316	0	0
里山辺公民館	842	800	2	798	42	540	0	0
今 井 公 民 館	949	861	5	856	88	364	0	0
内 田 公 民 館	448	398	1	397	50	25	0	0
本 郷 公 民 館	2,214	2,150	14	2,136	64	228	0	21
四 賀 公 民 館	35	0	0	0	35	1,376	0	0
安 曇 公 民 館	171	108	0	108	63	539	0	0
奈 川 公 民 館	411	186	7	179	225	209	76	0
梓 川 公 民 館	1,255	1,197	39	1,158	58	187	59	254
波 田 公 民 館	2,334	721	6	715	1,613	578	0	258
合 計	46,681	41,355	536	40,819	5,326	13,794	805	3,259

利 用 人 数								
公民館活動利用人数						公民館活 動以外の 利用人数 (貸館分)	利用 総数	
学 級 ・ 講 座			諸集会・会議等					
家庭教育	青少年	その他	体 育	文 化	その他	公民館活 動の利用 人数		
F 人	G 人	H 人	I 人	J 人	K 人	③C~K人	④ 人	③+④人
62	51	0	0	0	227	728	0	728
0	0	0	87	486	307	2,228	9,578	11,806
9	0	13	65	60	818	1,310	15,109	16,419
0	309	3	0	407	0	1,456	7,551	9,007
0	0	686	34	617	1,670	3,007	12,627	15,634
23	27	161	0	107	1,384	2,398	12,731	15,129
0	7	0	555	192	679	2,198	12,809	15,007
74	0	67	5	29	177	535	20,598	21,133
0	29	11	0	430	79	913	8,844	9,757
12	44	13	1,631	697	795	3,952	10,630	14,582
147	164	220	0	297	243	1,080	20,107	21,187
0	486	135	353	0	523	2,612	19,994	22,606
137	801	215	390	2,190	326	4,468	31,702	36,170
650	85	43	110	7,800	431	9,513	20,461	29,974
0	350	60	80	43	100	2,728	3,207	5,935
56	84	94	314	478	948	1,974	8,327	10,301
138	0	0	206	166	821	1,843	2,818	4,661
0	50	0	124	380	0	743	3,814	4,557
0	57	0	71	265	218	1,074	6,109	7,183
0	12	0	48	106	54	467	20,731	21,198
450	144	225	141	225	2,336	4,469	11,084	15,553
0	0	177	0	0	1,651	1,828	5,855	7,683
0	19	0	111	124	124	667	9,153	9,820
0	204	7	238	261	32	1,069	12,874	13,943
115	390	0	20	214	856	1,840	6,591	8,431
0	0	0	161	460	109	1,046	9,395	10,441
113	285	1,309	105	300	40	2,692	6,776	9,468
0	54	0	141	764	201	1,524	9,315	10,839
96	11	0	132	74	152	490	3,664	4,154
0	146	350	22	202	107	1,076	19,028	20,104
0	304	259	48	102	3,200	5,289	0	5,289
0	125	0	6	33	93	796	1,285	2,081
0	1,102	0	11	5	30	1,433	1,916	3,349
0	10	100	17	0	177	804	10,525	11,329
0	311	1,542	5,026	4,217	2,643	14,575	13,400	27,975
2,082	5,661	5,690	10,252	21,731	21,551	84,825	368,608	453,433

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
S21		1 社会教育課新設 1 寺中作雄「公民館の振興と公民館の発想」☆ 7 文部次官通牒「公民館の設置・運営について」(寺中構想) 9 県依命通牒「町村公民館の設置並びに運営について」* 11 「日本国憲法」公布☆ 11 松筑公民館設置
22	4 松本市公会堂を松本市公民館と改称 8 第1回お城盆踊り開催	3 教育基本法公布☆ 9 市立図書館にアメリカ民間読書室(CIE)設置
23	2 CIE読書室が図書館から松本市公民館へ移る 10 松本市公民館を第1公民館と呼称、第2公民館を大名町に開館(30年12月焼失)	6 社会教育法制定☆ 11 社会教育課
24	1 松本市ナトコ運営協議会設置 11 松本市公民館使用条例を廃止し松本市公民館条例制定 12 松本市公民館運営審議会発足	
25	7 第1回成人学校を開設(この地方では初めて、全国では川崎市に次いで2番目)	3 長野県公民館運営協議会結成*
26		6 再び社会教育課設置
27	5 松本市視聴覚教育協議会発足 6 松本市第1公民館を松本市公民館と改称 11 芳川村公民館で第1回婦人学級開催 11 松本市において第1回長野県公民館大会開催	6 中央教育審議会設置☆ 7 社会教育主事講習職員1名派遣 11 教育委員会発足 11 社会教育課に公民館係設置
28		8 青年学級振興法制定☆
29	4~8 合併により旧村役場は出張所に、役場内に併設の公民館は分館として位置付けられる	4 島内・中山・島立が松本市と合併 8 新村・和田・神林・笹賀・芳川・寿・岡田・入山辺・里山辺・今井が松本市と合併
30	6 神林地区青年、演劇サークル「あざみ会」結成 8 中央公民館に専任の館長おかれる	
32	4 入山辺図書館の分室16か所に設置される 一 町内公民館の建設費助成を開始	
34	3 松本市公民館報創刊 4 松本市公民館を松本市中央公民館と改称、各分館は地区公民館として位置づけられ再発足	4 社会教育法一部改正☆ 5 松本市役所庁舎完成
35	4 松本市公民館条例施行規則制定 3 公民館報(全市版)発刊 4 松本市公民館関係者研修会開催(町内公民館活動について話し合われる) 4 各町内公民館に平均5,000円を配布 4 内田公民館発足 11 市民芸術祭として第1回芸術文化祭開催 一 第1回松本市公民館大会開催(38年まで) 一 神林地区が県の同和教育モデル地区に指定	12 文部省「公民館の設置及び運営に関する基準」☆ 4 内田が松本市と合併 一 教育委員会で『松本市における市街地の現況～社会教育調査資料』を発刊
36	3 神林公民館館報「かんばやし」で同和教育特集号掲載 4 中央公民館(事業機関)、社会教育課(条件整備)の範囲明	9 長野県公民館研究集会開催*
37	9 第1回「松本市婦人のつどい」開催	
38	4 松本市公民館長会規約を定める	
39	4 松本市公民館使用条例、松本市公民館条例、同施行規則を廃止、新たに松本市公民館条例・同施行規則制定 4 公民館委員が制度化される(任意設置) 9 社会教育課で第1回地区公民館巡回懇談会開催、『地区公民館の現状報告』をまとめる 一 松本市町内公民館建設補助金交付要綱が制定 一 家庭教育学級が各公民館ではじまる	3 新産業都市構想 4 出張所縮小と職員の引き上げ 一 文部省の家庭教育学級補助制度はじまる☆
40		4 松本市で社会教育委員制度発足 一 ユネスコで学習宣言、ボールラングランが「生涯教育」を提 一 市青連芸術文化祭はじまる
41	7 厚生文化会館落成、中央公民館は厚生文化会館に移転	
42	5 松本市婦人会「21世紀松本諏訪地方未来像シンポジウム」を	9 全国公民館連合会「公民館のあるべき姿と今日的指標」☆
43	4 町内公民館学級振興業務委託内規制定(2000円・58館) 11 寿地区一周駅伝大会はじまる	
44	3 中央公民館で『成人学校のあゆみ』発刊	7 同和对策事業特別措置法公布☆
45	3 公運審「松本市公民館運営に関する諮問」 6 公運審「松本市公民館運営に関する諮問」の答申	4 社教審答申「急激な社会構造の変化に対処する社会教育のあり方について」☆ 12 同和对策審議会答申「松本市における同和对策はいかにあるべきか」
46	4 主事研修会が月2回の定例化 5 全市事業の情報紙「公民館ニュース」創刊 一 公運審へ「都市化に対応する公民館のあり方」諮問 8 地区公民館主事連名で主事の専任化について陳情	4 松本市第一次基本計画策定(市内を8つの行政ブロックに分け各1館のコミュニティセンターを設置する構想)
47	1 同和教育市民テキスト第1集刊行 4 公民館主事が専任化される 4 同和教育学級講座(県費補助)始まる 8 公運審答申「都市化に対応する公民館のあり方」 11 中央公民館「ろうあ者成人学校」はじまる	7 ユネスコ第3回世界成人教育会議が東京で開催☆
47	一 今井公民館報で地域課題特集はじまる	

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
48	4 新任主事研修会はじまる 12 公民館主事会で「松本市公民館実態白書」刊行 一 芳川公民館で保育付母親学級がはじまる	5 松本市勤労青少年ホームオープン 12 松本市生活簡素化実行委員会結成
49	6 松本市公民館制度研究委員会発足（館長会・補佐会各3名、主事会4名、社会教育課5名） 8 主事会新聞発刊 12 制度研究委員会第1年次報告「公民館充実をめざして」（配置・器具器材・職員態勢主事）	4 社教審建議「在学青少年に対する社会教育のあり方」☆ 4 社会教育課に同和教育係設置 5 本郷村が松本市と合併
50	2 主事会で教育長に勤務体制・専門職制の確立を要求 7 社会教育主事講習受講機会拡大（2名） 8 『松本の住民運動と住民の学習』発刊 11 公民館主事をつくった学習資料「市民のくらしーその実態」発刊	1 社会教育委員会答申「公民館の条件整備のすすめ方について」 一 国連婦人10年（～60年）☆
51	3 制度研究委員会第2年次報告「公民館充実をめざして」（職員態勢館長・制度改善・町内公民館活動） 3 「町内公民館活動のてびき」発刊 5 教育委員会組織規則改正、公民館主事（社会教育主事有資格者）が専門職として位置づけ 9 寿台公民館開館、芳川公民館・出張所移転	3 第二次基本計画（コミュニティセンター構想を再検討） 4 内田地区の「ささら踊り」を松本市の重要無形文化財第1号に指定 9 部落解放都市宣言
52	3 制度研究委員会第3年次報告「公民館充実をめざして」（施設、町内公民館） 3 松本市婦人国内研修はじまる 10 公運審諮問「公民館事業実施にかかる経費等について」 11 公運審答申「公民館事業実施にかかる経費等について」	
53	4 町内公民館振興業務委託料、1町会10,000円となる 4 公民館主事に調整給支給される 12 主事宿泊研修が県外研修となる	5 文部省「生涯教育の実施状況等に関する実態調査」を発表☆
54	2 公民館報全市版100号記念（この号のみ8ページ） 3 第1回公民館学級終了作品展開催 4 町内公民館振興業務委託料傾斜配分（平均15,000円、最高30,000円） 7 松本市町内公民館館長会発足（9第1回研修会） 10 あがたの森文化会館内にあがたの森公民館開館	6 中教審答申「地域社会と文化について」☆
55	3 「松本市芸術文化祭20年の歩み」刊行 4 館報ことばき縮刷版刊行 5 入山辺公民館改築（社会教育課による地区公民館の整備事業開始） 7 和田出張所内に公民館図書室開設	4 神奈川県茅ヶ崎市で市民の手でつくったはじめての公民館が開館☆
56	2 あがたの森（旧制高等学校校舎）が県宝に指定 5 芝沢公民館開館（新村・和田の両公民館が分館となる） 11 松本市公民館大会が開催直前で中止 11 山辺歴史研究会『山辺の民話』発刊	3 第三次基本計画（コミュニティセンター構想を廃止、現施設の拡充と市街地東西南北に公民館設置となる＝22館構想） 6 中教審答申「生涯教育について」☆
57	3 島内公民館改築 4 公民館条例施行規則公民館委員に文化委員が新設 4 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり30,000円の一律配 6 北部公民館開館	一 松本にカルチャーセンター（松本中日文化センター）オープン
58	2 公民館委員が条例施行規則上必置となる 4 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり27,000円 5 神林公民館改築 11 里山辺公民館が教育文化センター内に併設される	1 本郷村誌刊行 11 教育文化センター開館
59	3 館報よしかわ縮刷版刊行 4 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり26,000円 6 西部公民館開館、旧市唯一の陶芸窯設置 一 新村公民館高齢者学級記録「新村のくらし（前編・続編）」が	5 松本女性史の会『買春許すまじ』発刊 8 臨時教育審議会設置☆ 11 今井農村改善センター開館
60	1 公民館制度見直し委員会発足 3 館報しまだち縮刷版刊行 3 『松本市の公民館制度充実をめざして』（制度研究委員会報告）発刊 4 厚生文化会館を廃止し、中央公民館に一元化 4 今井公民館・出張所移転 6 町内公民館振興業務委託料、1町会あたり25,000円	3 ユネスコ「学習権宣言」☆ 4 新村多目的研修センター開館 6 臨教審「教育改革に関する第1次答申」☆
61	3 第1回松本市公民館研究集会開催 4 笹賀公民館新設開館 4 中山公民館改築 4 モデル町内公民館指定事業始まる 4 松本市公民館条例の一部改正「公民館使用料の改定及び運用の全館統一」	10 「松本市青年団運動史」発刊 10 音楽文化ホール開館 3 松本市婦人国内計画策定 4 松本市第四次基本計画策定（市民生涯学習の推進・男女平等教育の推進、婦人の生涯学習の充実） 4 臨教審答申「教育改革に関する第2次答申」提出、生涯学習体系化を強調☆
61	4 松本市教育委員会組織規則の一部改正「中央公民館連絡調整機能の明確化」	

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
	7 中央公民館図書室兼保育室新設、事務室が2階へ移転	
	8 岡田公民館「おかだ夏まつり」はじまる	
	4 内田公民館改築	
	4 南部公民館開館（勤労青少年ホーム内に設置）	
	10 松本市公民館及びあがたの森文化会館利用に関する内規、松本市公民館使用料の還付に関する内規制定	
62	1 笹賀公民館戦時中生活体験記録集『平和の祈り』発行	3 「長野県公民館活動史」発行*
	1 公民館運営審議会諮問「①中央公民館の施設整備について、②公民館休館日の設定について」	3 「地域改善対策特別措置法（地対法）」が「地対財特法」へ移行☆
	4 寿公民館改築	8 臨教審「教育改革に関する最終答申」☆
63	4 里山辺および入山辺公民館で「信濃の明日香松本山辺の里お花見歩け歩け大会」はじまる	4 文部省「生涯学習モデル市町村事業」開始
	5 公運審答申「中央公民館の施設整備について」	7 文部省に生涯学習局新設☆
	5 北部公民館利用者団体連絡協議会「北友会」発足	- 県「生涯学習のまちづくり推進事業」はじまる*
	5 和田公民館改築	
	10 主事会有志で生涯学習について自主研修をはじめ	
	12 公民館活動推進功労者感謝状贈呈（同内規制定）	
	4 島立公民館改築	
	4 ふるさとづくりモデル事業始まる	
	9 公民館主事会で「生涯学習研究小委員会」発足	
	11 松本市芸術文化祭30周年特別企画展開催	
H1	3 中山公民館『ふるさと中山縄文のむかしから』第1集発行（第2集…4年、第3集…8年）	8 教育委員会総務課に生涯学習担当配置
	4 岡田公民館移転改築	11 「子どもの権利条約」国連で採択☆
	4 中央公民館夜間等警備委託化	12 厚生省で「高齢者保健福祉推進10か年戦略」（ゴールドプラン）策定☆
2	4 南部公民館移転改築（愛称：なんなんひろば）	1 中教審答申「生涯学習の基盤整備について」☆
	8 なんなんひろばカリヨン「平和の鐘」設置	4 教育委員会総務課を中心に「生涯学習プロジェクトチーム」を組織
	10 松本市芸術文化祭特別展「小中図工美術秀作展」開催	6 「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」制定☆
	10 新村公民館図書室が多目的研修センターに開設	
	10 公運審諮問「生涯学習時代における松本市公民館のあり方」について	
	3 中央公民館にエレベーター及び身障者用リフト設置	
	3 寿台公民館移転改築	
	4 公民館運営審議会中間答申「生涯学習時代における松本市公民館のあり方」について	
3	5 公民館報紙面拡大（B4版からA4版へ）	6 生涯学習審議会中間発表「公民館の整備・運営の在り方について」☆
	6 なんなんひろば利用者の会発足	7 松本市第五次基本計画「市民生涯学習の推進」
	8 松本で第31回社会教育研究全国集会松本集会開催、市民の実践を掘り起こした「松本の学び根っこワーキング」を刊行	8 松本市総合体育館完成（体育課移転）
	11 婦人のつどい30周年記念事業開催、記念誌『松本市婦人のつどい30年のあゆみ』刊行	9 市立松本図書館が中央図書館に新築開館、分館を結ぶコンピュータネットワーク
		10 松本市生涯学習推進本部設置（本部長：教育長）
		10 県生涯学習基本構想策定*
4	4 神林公民館で「すこやか健康教室」始まる	1 松本市生涯学習推進懇話会発足
	5 公民館報がページ増（全市版4p、地区版2p）	4 教育委員会総務課に生涯学習係設置
	- 南部公民館（なんなんひろば）で「信州年寄り通信」発行、以後定期的に発行	9 学校第2土曜日が休日となる☆
5	1 公民館研究集会分科会の運営に市民が参画	3 松本市老人保健福祉計画策定
	3 芳川公民館移転改築	3 提言書「松本市生涯学習推進計画づくりにむけて」（松本市生涯学習懇話会）発行
	3 中山公民館国庫補助事業「中山10の宝」発行	5 西部公民館内に設置されていた西部図書館が別棟移転となる
	3 「町内公民館活動リーダー必携」発行	
	4 公民館主事手当が条例化	
	7 松本城400年まつりにより、お城盆踊りが休止	
6	1 公民館報が「声の館報」としてテープ化	3 松本市生涯学習基本計画「ずくだせZUKUDASU学びの森づくり」策定
	3 本郷公民館移転改築	4 「子どもの権利条約」批准☆
	3 新村公民館で「新村のくらしー改訂版」発行	4 教育委員会の組織改正により社会教育課内に生涯学習係及び青少年係が設置、文化課が新設
	3 岡田公民館文化委員で「岡田の里、地名のおこりとその移り変わり」発行	5 生涯学習情報紙「学びの森いんふぉめーしょん」発行
	3 神林公民館で館報200号合冊版「かんばやし」発行	
	5 松本市成人学校が第100回記念講座開催	6 福祉計画課が中心となり「29地区福祉拠点事業推進研究会」
	6 「29地区福祉拠点事業推進研究会」に主事3名参加	
	6 中央公民館と中央図書館の共催で「第1回公民館図書委員のつどい」開催	
	7 社会教育主事講習受講枠（新潟大学）が2名が1名へ	
6	11 市民公開講座「地域福祉のまちづくり」はじまる（信大、市、市教委、市社協合同主催）	
7	4 町内公民館振興業務委託料が世帯割で傾斜配分され増額（29,500円・30,500円・31,500円）	3 生涯学習記録「学びの森を生きる」発行

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市	
6	6 本郷公民館「公民館を語る会」発足	4 「地区福祉ひろば」の設置はじまる	
	7 なんなんひろば「石のモニュメント」完成	4 町内公民館へ「福祉関連整備費補助制度」	
	12 女性の実践活動記録「学びと歩みのハーモニー」が婦人のつどい実行委員会により発刊される	9 文部省通知「社会教育法における民間営利社会教育事業者に関する解釈について」☆	
	8	1 公民館研究集会幹事会に分科会市民運営委員参加	12 第六次基本計画（公民館29地区29館構想）
		3 今井公民館『上條端司伝』発刊	4 生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の充実方
		3 入山辺公民館『入山辺の民俗』発刊	4 塩尻市に長野県生涯学習センター開館*
		3 寿公民館館報合冊版『館報ことばき』発刊	4 県社会教育課が生涯学習課へ*
		3 中山公民館『館報200 号合冊版』発刊	10 市民と職員による「福祉ビジョン懇話会」設置（公民館職2名参加）
		3 里山辺公民館報合冊版「館報さやまべ」発刊	11 社会教育課主催「学びの森市民フォーラム」はじまる
	9	4 公民館に公共利用予約案内システムが導入される	12 「男女共同参画2000年プラン」策定☆
4 中央公民館管理業務1名シルバー人材センターへ委託			
5 笹賀公民館利用グループの会発足			
8 新村公民館が移転新築開館（公民館と福祉ひろば併設の第1			
10 公民館で日本語講座はじまる			
11 松本市芸術文化祭ハイライトが県松本文化会館で開催			
11 神林公民館で地域を考える「井戸端会議」はじまる			
9 2 内田公民館報縮刷版『はちぶせ』発刊		3 女性室「男女共生地域フォーラム」はじまる（実行委員として公民館職員参加）	
3 本郷公民館・福祉ひろばで『遠い太鼓』発刊		3 松本市障害者福祉長期行動計画	
4 東部公民館開館		4 公立社会教育施設建設補助金廃止☆	
10	4 コミュニティ構想の名残りである芝沢公民館が廃止	7 地方分権推進委員会第二次勧告（公運審必置制や館長・主事の専任規定の廃止が打ち出される）☆	
	4 和田公民館が増築開館	10 県公民館運営協議会「重点事業調査」「分館実態調査」が行われる	
	4 公民館運営審議会が『公民館政策への提言』を提出		
	5 日本社会教育学会「長野県公民館調査」の一環で松本市公民館の調査が行われる（3月まで）		
	5 公民館ニュースが学びの森いんふおめーしょんへ統合		
	7 島内公民館が移転新築開館		
	1 中山公民館館報号外（地区産廃処理施設問題）	3 「福祉ビジョン懇話会」最終報告	
	2 今井公民館『館報200 号合冊版』発刊	3 生涯学習審議会「社会変化に対応した今後社会教育行政の在り方について（中間まとめ）」☆	
	4 第二地区公民館開館	3 地区福祉ひろば実践報告集『福祉ひろば・ふれあいレポート』発刊	
	5 公運審諮問「21世紀に向けての松本市公民館のあり方」	3 「男女共生プランまつもと」策定	
11	8 国の生涯学習審議会中間まとめをうけ、公民館・社会教育関係者合同研修会を開催	3 特定非営利活動促進法（NPO法）成立☆	
	9 第1回公民館委員のつどいが開催	4 県費補助事業が指導者養成講座を残し廃止、人権教育推進市町村事業に移行☆*	
	10 今井公民館ひだまりコンサート実行委員会でCD『今井のとうちゃん』制作	5 県公運協専門委員会「公民館あり方研究会」設置*	
	11 和光大学移動大学が本郷公民館を会場に開催される	9 生涯学習審議会「社会変化に対応した今後の社会教育行政の在り方について」答申☆	
	11 公運審提言「公民館長の任命手続きについて」	12 「公民館の設置及び運営に関する基準」の公民館長・主事の専任」項目が廃止☆	
	12 教育委員会内規「松本市地区公民館長の任命方針」制定 - 北部公民館の地域づくり講座はじまる		
	1 全国公民館連合会専門委員会による松本市公民館運営審議会の取組み調査	1 県公運協専門委員会「公民館のあり方研究会」が「これからの長野県公民館及び県公運協のあり方」を提言*	
	4 城東公民館開館	3 福祉ビジョン懇話会提言書を踏まえた『福祉の青い鳥を求めて』発行	
	4 中央公民館が中央西再開発ビル公益施設内へ移転。新たに女性センター設置、働く婦人の家を付属施設とし、勤労青少年ホームを労政課から移管	4 同和教育関係の県費補助事業が廃止*	
	5 公民館運営審議会「21世紀に向けての松本市公民館のあり方」答申	5 国宝松本城太鼓門復元記念まつり開催	
12	10 中央公民館ふれあいロビーに文部省教育情報衛星通信ネットワーク（エル・ネット）受信機が設置	7 社会教育法改定、青年学級振興法廃止などを含めた地方分権一括法が成立☆	
	11 松本市芸術文化祭『40年のあゆみ』発刊		
	1 『松本市公民館活動史』『学習活動実践事例集～学びを創り未来をひらく』発刊	3 県公運協あり方研究会「県下公民館実態調査に基づく考察と提言」	
	3 笹賀公民館「ふるさとマップ」作成	4 改正された社会教育法が施行	
	4 城北公民館開館	12 教育改革国民会議報告「教育を変える17の提案」☆	
	4 女性センター、働く婦人の家を男女共生課へ移管		
	9~文部省委嘱事業「エルネットモデル事業」を中央公民館で実		
	13 1 安原地区公民館開館	1 文部科学省「21世紀教育新生プラン」発表☆	
	1 市内の公民館でIT講習はじまる	4 中山文庫開館	
	1 中山公民館「中山の歳時記」発刊	4 島根県出雲市で社会教育部門が首長部局へ移管☆	
3 神林公民館「ふるさとマップ」作成	4 県公運協「公民館の基礎知識（13年度版）」発刊*		
3 中央公民館「まちなか再発見！」事業記録発刊	6 社会教育法一部改正（社会奉仕体験・自然体験活動の促進、家庭教育の体制整備）☆		
4 田川公民館開館	9 松本市男女共同参画推進委員会条例制定		

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
13	4 Mウイング文化センター設置(同条例施行) 4 中央公民館長と男女共生課長が兼務となる 6 公民館運営審議会「調査研究報告書」提出 6 第1回女性センターまつり開催 7 芸術文化祭「市民会館さよならコンサート」開催 9 公民館委員(体育・図書視聴覚委員)研修開催	10 全国公民館研究集会長野大会が長野市で開催☆ 11 文部科学大臣が中教審に対し「教育振興計画の策定と教育基本法の在り方について」諮問☆
14	3 Mウイング・女性センターにキッズコーナー開設 3 第二地区公民館「歴史マップ」作成 4 Mウイングにふれあい国際・情報センター開設 6 島内公民館で四賀村と交流会を開催 6 町内公民館長会に女性部が発足 7 大手公民館開館	4 学校週5日制が完全実施される☆ 5 松本市・四賀村「任意合併協議会」設置 11 中教審中間答申 11 文部科学省内に「『公民館の設置及び運営に関する基準』見直し検討委員会」発足 11 松本市コミュニティ懇話会が設置、地区・町会・自治組織について検討が行われる 12 平成7年度より東京大学佐藤ゼミ・日本社会教育学会が中心となり行ってきた長野県公民館の調査研究を踏まえた「長野県公民館学習会」が開催*
15	10 第50回記念長野県公民館大会が松本市で開催 10 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「市町村合併から考える住民自治講座」開催 2 中央公民館・南部公民館共催「公民館入門講座」開催 4 「公民館の設置及び運営に関する基準」に対し、公民館長会・公民館主事会・公民館運営審議会・社会教育委員会・町内公民館長会連名で、文部科学省に意見書を提出 4 町内公民館振興業務委託料が増額(30,000円・31,000円・32,000円) 9 北部公民館「地域交流～こんな町つくろう」で中学生の発案による「街角コンサート」が実施される 10 公民館運営審議会報告書「公民館運営と公民館運営審議会のあり方について」 11 四賀村公民館大会で松本市公民館の概要報告と交流	1 松本市が松本市西部広域施設組合構成町村に合併の申し入れ 3 中教審答申「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」☆ 3 松本市男女共同参画計画策定 4 松原町会が自治組織としての地区として独立 4 日本公民館学会が設立される☆ 4 社会教育課で「生涯学習基本構想」見直し作業が開始される 5 長野県公民館運営協議会で「公民館の設置及び運営に関する基準」に対し意見書を提出* 6 松本市男女共同参画推進条例施行 6 「公民館の設置及び運営に関する基準」改正☆ 6 地方自治法改正、公の施設を民間会社等に委託できる指定管理者制度の導入☆ 7 新市民会館にかかる住民投票条例案を市議会で否決 7 松本市・四賀村法定合併協議会設立 8 関東甲信越静公民館研究大会で「市町村合併と公民館についての緊急アピール」が採択☆ 10 「松本市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例」施行 12 地域・家庭教育活性化推進補助金(人権促進事業費等)が廃止される☆
16	1 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「合併したらどうなる? 地域自治と公民館のあり方を考える講座」開催 3 公民館委員研修「文化委員研修会」開催 4 公共施設予約案内システムが新システムへ移行 4 松本市公民館条例施行規則改正、趣味・サークル活動に対し冷暖房料徴収の項目が追加 5 新村公民館・福祉ひろば・松本大学による「ものぐさ大学」発足 5 『松本市生涯学習基本構想』見直しプロジェクト発足、公民館主事2名参加 6 中央公民館・南部公民館・松本大学エクステンションセンター共同企画「合併最前線を学ぶ講座」開催 7 松本市福祉ひろば庁内研究会発足、主事6名参加 9 市民公益活動との協働事業推進庁内ワーキンググループ発足、公民館主事3名参加 11 中央公民館長が専任に戻る 11 入山辺公民館、大規模改修工事	1 文部科学省に「地域づくり支援室」設置☆ 3 中央教育審議会生涯学習分科会「今後の生涯学習振興方策について(審議経過の報告)」☆ 3 第二次「全国公民館連合会 基本構想」☆ 4 松本市の公の施設のうち84施設に指定管理者制度を導入 5 指定管理者制度導入状況のなかで、長野県公民館運営協議会が「公民館の支援について」を各都市公民館運営協議会に依頼* 7 松本市に文化振興課が市長部局に新設、文化財関係を除く文化振興部門が教育委員会から移管される 7 菅谷市長と語る会が30地区で開催 8 松原地区に福祉ひろばコーディネーターを配置し地区福祉ひろば事業をスタート 11 社会教育課による「いい街つくろう、パートナーシップまつもと」出前講座がスタート
17	1 公民館主事会で「スーパー公民館構想」を職員提案 1 公運審諮問「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」 2 島内公民館「館報縮刷版」発刊 2 『町内公民館活動のてびき』第5次改訂版、『松本市町内公民館活動実践集』発刊 3 芳川公民館保育ボランティア「ゆりかご会」で10年のあゆみを発刊 4 寿台公民館に松原地区担当の公民館主事を配置、公民館事業先行実施として3月から公民館報松原地区版が発刊開始	1 地区福祉ひろば庁内研究会職員提案 3 「松本市生涯学習基本構想」見直し改訂 3 「松本市次世代育成支援行動計画」策定 4 四賀村、梓川村、安曇村、奈川村が松本市と合併 4 松本市役所大手事務所開設、教育委員会が入所 4 長野県公民館運営協議会規約改正、長野市及び松本市から毎年役員選出となる*

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
17	<p>4 公民館委員手当てが報酬から報償費へ費目変更</p> <p>4 合併により、四賀公民館、梓川公民館、安曇公民館、奈川公民館が地区公民館として発足</p> <p>9 教育委員会組織改正にかかり主事研修会で論議</p> <p>9 公運審答申作業にかかり、公運審委員・館長・主事のワーキンググループ設置</p> <p>10 中央公民館・南部公民館共催で「公共施設の民営化に反対ですか」講座が始まる</p> <p>11 中央公民館と社会教育課が統合して生涯学習課とし、中央公民館は貸館機能を残し、地区公民館は生涯学習課の一部門となる組織改正が提案される</p>	<p>4 熟年体育大学が元となった「いきいき健康ひろば」事業をNPO法人に委託</p> <p>6 中央教育審議会諮問「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」「青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促す方策について」☆</p> <p>6 全国公民館連合会で14年ぶりに『全国公民館名鑑』を発刊☆</p> <p>7 「食育基本法」施行☆</p> <p>7 菅谷市長との市政まちかどトーク、ティータイムトークが始まる</p> <p>9 大手事務所に「市民活動サポートセンター」開設</p> <p>9 文部科学省生涯学習局長通知「地域における防犯教育・防犯活動及び防犯ボランティア活動の推進について」（警察と連携して実施）☆</p> <p>10 内閣府、文科省、国土交通省連携による「地域における防災に係る教育・啓発活動の推進について」☆</p> <p>11 長野県公民館運営協議会で主催研修会のあり方について検討開始*</p> <p>11 文部科学省、経済産業省通知「地域におけるエネルギー教育・啓発活動の推進について」☆</p> <p>12 日本公民館学会第4回研究大会が松本大学を会場に開催☆</p> <p>12 第28次地方制度調査会「地方の自主性・自律性の拡大及び地方議会のあり方に関する答申」（教育委員会設置を自治体判断に、社会教育分野を首長部局に置く選択措置の提案）☆</p>
18	<p>3 市長公約の3Kプラン推進に向け、地域づくりシステム検討会議発足、中央公民館が参画</p> <p>4 社会教育課が中央公民館と統合し生涯学習課・中央公民館へ組織改正（中央公民館機能は残し地区公民館の位置づけは変更なし、中央公民館職員は兼務）</p> <p>4 庄内地区公民館開館（29地区29館構想の最後）</p> <p>4 「松本市第8次基本計画」（34地区34公民館構想）、地区公民館と地区福祉ひろばはコミュニティ活動施設として位置づけられ</p> <p>5 公民館運営審議会「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」答申</p> <p>6 都市内分権に向けた地域づくり支援モデル事業が安原地区・本郷地区・芳川地区でスタート（公民館も関わる）</p> <p>8 ユネスコアジア文化センターで松本市の公民館活動について視察（北部・新村ほか）</p> <p>10 惣社公民館館報合冊版『館報けやき』発刊</p> <p>12 主事会の県外研修に公運審委員4名が参加しての、合同研修を実施（大阪府枚方市へ）</p>	<p>4 教育委員会組織改正、教育総務課が教育政策を担う教育政策課へ改変、青少年課が新設（勤労青少年ホームの所管が中央公民館より移管）</p> <p>4 四賀・梓川・奈川・安曇地区で福祉ひろば事業スタート</p> <p>4 教育基本法改正案が閣議決定、文部科学省内に教育基本法改正推進本部設置☆</p> <p>4 長野市で都市内分権がスタート*</p> <p>5 「長野県公民館主事研修会並びに総会」が松本市で開催*</p> <p>10 長野県公民館運営協議会「長野県公民館活動史Ⅱ」編さんにかかる県内公民館実態調査の実施*</p> <p>10 松本市図書館でサポーター制度を導入</p> <p>11 松本市「市民協働提案制度」がはじまる</p> <p>11 松本市「市民活動推進委員会」が発足</p> <p>11 「松本市地域づくり推進懇談会」発足</p> <p>12 教育基本法改正法が成立・公布・施行☆</p> <p>12 「道州制特別区域における広域行政の推進に関する法律」施行☆</p>
19	<p>3 中央公民館を見つめ直す座談会が開催。公民館発足60周年を前に、中央公民館が四柱神社隣にあった時代に関わった市民・職員などを交え、中央公民館のあり方などを話し合う</p> <p>3 戦争体験の聞き取り事業が開始（松本大学生とのコラボ企画）</p> <p>4 公民館発足60周年記念事業（地区特別講座）が開催・・通年</p> <p>4 市制施行100周年地区イベントが各地区で実施される（多くの公民館で事務局等の役割を担う）</p> <p>5 主事会にて公民館委員会プロジェクトチームと生涯学習課・中央公民館一本化プロジェクトチームが設置され検討が行われる</p> <p>5 学びの森インフォメーションに統合した「公民館ニュース」が他の学習情報に統合される</p> <p>7 第1回公民館報編集委員交流会が開催され、全市版と地区版が一同に会し、研修会・情報交換会が行われる</p> <p>9 松本市公民館発足60周年記念事業『地域交流と活動のつどい』があがたの森文化会館にて開催。34地区からステージや展示による発表、市民団体による激アツコミュニケーションC a f eなどが行われる</p> <p>11 館長会にて教育実践活動策定について説明</p> <p>11 医務課が各地区で実施する災害時医療救護活動講座に地区公民館が協力（年次計画により34地区で実施）</p> <p>12 中央公民館にて、「しゃべりばinちゅーこー」や“クリスマスコンサート”などが開催され、若者を交えた事業がなされる</p>	<p>2 松本市教育委員会および木曾町教育委員会で「平和のための信州戦争展」の後援を辞退</p> <p>3 全国公民館連合会「第1回全国公民館報コンクール」を実施（以後、ホームページコンクールと合わせ、隔年で実施）☆</p> <p>3 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」改正（文化財を除く文化・スポーツの事務を首長が担当できるようになる）☆</p> <p>4 飯田市で地域自治組織導入（公民館は先5年間を教育委員会に残し、その後所管を検討）*</p> <p>5 松本市制施行100年を迎える</p> <p>5 松本市食育推進計画庁内調整会議が開催</p> <p>6 社会教育法等改正法（学校施設利用等）☆</p> <p>6 「旧松本高等学校本館・講堂」が国の重要文化財となる</p> <p>9 医療制度改革施行☆</p> <p>9 長野県公民館大会（小諸大会）で「公民館の充実を求める緊急アピール」が採択*</p> <p>11 教育政策課による教育実践活動策定に向け教育部職員を対象にワーキンググループが始動</p> <p>12 教育実践活動についての地域懇談会が始まる</p>

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
19		12 松本市地域づくり推進市民会議が、地域づくり推進のための指針を市長に提出
20	2 松本市公民館発足60周年記念の一環として第23回松本市公民館研究集会（地域活動市民のつどい）が2日間にわたり開催 3 市民団体「中信多文化共生ネットワーク」設立 3 地域防災計画改正で26地区の公民館が新たに指定避難所となる（要援護者優先） 4 第三地区公民館 開館。（あがたの森公民館が閉館） 4 公民館委員報酬費が月額単価から回数単価に変更 4 四賀、安曇、梓川、奈川公民館業務が支所へ移管（教委の補助執行） 5 公民館が学校と地域のコーディネートを行う学校サポート（学校応援団）事業がスタート 6 ユネスコ「世界寺子屋運動」関係者国内研修（庄内地区公民館、神田・井川城下・上土町の町内公民館） 6 地域づくり推進事業のモデル地区事業がスタート（城北・松原・安原）し、公民館が中心的に関わる 6 公民館運営審議会「総合的な地域づくりの拠点としての公民館のあり方について」答申に続き「意見書」を提出 8 第2回公民館報編集委員交流会 開催 9 町内公民館館長会30周年記念の集い 開催 9 町内公民館パンフレット 製作 9 耐震診断費用補助対象が拡大され、昭和56年以前に建設された町内公民館も対象となる	2 教育基本法改正を受けた社会教育法改正案が閣議決定☆ 3 長野県公民館運営協議会で地域課題に関する調査* 3 松本市放課後子どもプランが策定 4 和田地区に西原町会誕生。里山辺地区の林町会と大高崎町会が合併し、林町会となる 4 安曇野市にて公募の地区公民館長が任命される 4 松本市第2次男女共生参画計画 策定 5 松本市地域づくり推進基本方針 策定 5 『長野県公民館活動史II』発刊* 5 地方分権推進委員会第一次勧告で「教育委員会設置の選択制、首長部局との連携による教育行政の充実と総合行政の推進」 6 社会教育法改正（衆参両院で附帯決議付）☆ 7 全国公民館連合会による全国公民館実態調査が行われる☆ 7 教育振興基本計画が閣議決定☆ 9 松本市ユニバーサルデザイン基本方針が策定 11 長野県「つながる つらなる 信州 人づくりビジョン」（長野県教育振興基本計画）策定* 12 地方分権推進委員会第二次勧告における「義務付け・梓つけの見直し」の中で、社会教育法第12条、第15条2項、第23条1項、第30条を、存置を許容するメルクマールに該当しないと提言☆
21	1 文部科学省の公民館の海外発信事業としてユネスコ・アジア文化センターによる「公民館の国際発信に関する調査研究」でユネスコ調査団が新村公民館と二美町2丁目町内公民館を視察 3 主事会「生涯学習課と中央公民館のあり方」プロジェクトで検討結果報告 3 全国公民館報コンクールで梓川地区公民館報が優良賞を受賞 9 「松本市公民館あり方検討委員会」発足（館長・主事・公運審）12 松本市芸術文化祭50周年記念式典開催	3 全国公民館報コンクールで飯綱町公民館報が最優秀賞、富士見町公民館報が優秀賞を受賞* 4 「学びの森インフォメーション」が全戸配布から各戸配布となる 4 須坂市公民館職員が首長部局市民共創部所属となり、公民館業務は補助執行となる* 4 佐久市生涯学習センター（野沢地区館併設）が指定管理者導入* 9 「多文化共生プラン（仮称）」策定に向けた「多文化共生庁内ワーキング会議」発足 10 県生涯学習審議会答申「新しい時代にふさわしい長野県の生涯学習振興のあり方について」* 3 県公民館運営協議会「公民館の基礎知識（H22）」発刊
22	3 「松本市公民館あり方検討委員会」中間報告を中央公民館長へ提出 3 波田町合併に伴い、波田公民館が地区公民館として発足 4 松原地区公民館が新築開館。第一地区公民館が、中央公民館（Mウイング）内に開館。（35地区すべてに公民館が設置完了） 4 地区再発行情報発信事業始まる（初年度6地区～25年度に全地区終了） 5 ベトナム学習振興会が鎌ヶ崎西町内公民館を視察 6 韓国・公州大学校教授および大学院生が、城北公民館、城北地区福祉ひろば、大手公民館、徒士町「おかちまち市場」、巾上西「いばらん亭」を視察（名古屋大学社会教育調査実習と合同） 11 梓川公民館大規模改修事業 竣工	6 「松本市地域づくり推進行動計画」策定。地域づくり推進に向けた庁内組織の検討はじまる 7 学都松本に向けた取組みを定める
23	5 市公民館運営審議会提言書「もう一度公民館の意義、役割を考えよう」	11 松本市の教育に関するアンケート調査報告 12 地域主権改革第2次一括法により社会教育法改正（公運審委員委嘱は文科省令基準を参酌）
24	9 「第53回関東甲信越静公民館研究大会（長野県松本大会）」を開催 9 松本市公民館活動実践事例集（地域・くらしと学びをつなぐ）を発刊 12 第4回全国公民館報コンクールで波田公民館が奨励賞を受賞	3 県公民館運営協議会「長野県らしい公民館に磨きをかけよう」（提言） 3 松本市教育振興基本計画「学都松本をめざして」を策定
25	3 神林公民館大規模改修事業竣工 3 大手公民館会館10周年記念誌『語り継ぐまちなか』発刊 6 松本市公民館運営審議会より「松本らしい地域づくりに向けた公民館の役割について」答申が示される 6 松原地区公民館が住民の戦時中体験をまとめた『語り伝えておきたくて』を発刊 10 文部科学省委託事業（公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム）「公民館の学びがつなぐ松本らしい地域づくり・人づくり」事業が採択され、全7講座が取り組まれる（記録集3月発行）	3 松本市地域づくり実行計画策定 9 第1回学都松本フォーラム（学都松本を目指して）を開催 2 松本市第3次男女共同参画計画 策定 3 健康寿命延伸都市宣言 4 市内15地区公民館（出張所機能を持たない館）に、地域づくりセンター準備職員を配置 4 松本市子どもの権利に関する条例を制定 6 学都松本のイメージカラーを薄緑色、9月を「学びの9月」と定める

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
25		6 社会教育法一部改正☆ 6 第二期教育振興基本計画閣議決定☆ 10 文部科学省委託事業（公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム）「若者が創る信濃の国再発見物語」を6市町村（上田市、飯田市、松川町、麻績村、山形村、朝日村）へ再委託 4 長野市立長沼公民館が指定管理者導入*
26	2 第29回松本市公民館研究集会在歴史的大雪により初めて中止となる 4 南部公民館が、松南地区公民館に名称変更する 6 文部科学省委託事業「公民館の学びがつなく松本らしい地域づくり・人づくり」事業が2年目の採択をされ、全7講座が取り組まれる（記録集3月発行） 9 松本市芸術文化祭55周年記念特別公演「わが想いとどけよ彼方の空に」がまつもと市民芸術館で開催される 12 入山辺公民館「入山辺文化誌（館報400号合冊版）」発刊 12 寿地区学校応援団が、優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞	4 地域づくりセンターが各地区に設置される 4 改正地方教育行政法が可決、成立☆ 6 国民投票法、学校教育法、国立大学法人法改正案が可決、成立☆ 6 「健康寿命延伸都市・松本」に「美しく生きる。」のキャッチコピーを追加する 10 「ESD推進のための公民館-CLC国際会議」開催(岡山県岡山市) ☆(松本市の公民館から事例発表) 12 「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」閣議決定☆ 12 特定秘密保護法施行☆
27	2 第30回松本市公民館研究集会在基調講演、過去最大数の11分科会により開催される 3 全国公民館報コンクールで、第一地区公民館・中央公民館が奨励賞を受賞 3 西部公民館、北部公民館大規模改修事業竣工 4 西部公民館が鎌田地区公民館へ、北部公民館が白板地区公民館に名称変更する 6 「全国身体障害者補助犬サミットin松本」が、中央公民館共催により開催される 8 文部科学省委託事業（公民館の学びがつなく、松本らしい地域づくり・人づくり事業）の委託期間終了後、市単独事業としてプロジェクトチームによる取組みへ発展 9 地域学習テキストをモデル3地区（白板、本郷、波田）で発刊	3 松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画策定 3 松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画策定 4 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律施行☆ 4 諮問「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方について」☆ 4 施行に伴い、本市でも市長が主宰する総合教育会議の設置、松本市教育大綱の策定、教育委員長と教育長を一本化して「新教育長」の配置 4 地域づくり部(地域づくり課、地域づくりセンター)及び文化スポーツ部(スポーツ推進課を含める・旧体育課)の新設 4 「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」が、「セイジ・オザワ松本フェスティバル」に名称変更 7 「学習の自由と公民館」に関する教育研究団体連絡会議発足☆ 8 「第20回松本市平和記念式典、松本市平和の集い」開催 10 勤労青少年福祉法大幅改正（勤労青少年ホームの法的設置根拠がなくなる）☆ 10 「健康寿命延伸都市・松本」地方創生総合戦略策定 12 中央教育審議会から、地方創生を踏まえた今後の学校教育と社会教育のあり方に関する3本の答申☆ 184号「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」 185号「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」 186号「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方針について」
28	2 公民館発足70周年記念事業「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会 松本大会」の準備会が立ち上がる 3 今井公民館大規模改修事業竣工 3 歴史文化基本構想策定に関する各公民館を中心とした調査終了 4 スウェーデン「ソッレンテューナ市」の社会教育学研究者等の視察受入 5 韓国「烏山市」の市長や生涯学習関係職員等の視察受入 6 「未来を拓く松本大会」関係者学習会を実施 7 学びの森生涯学習ファイル更新（2年に1回）	1 南部福祉総合施設「なんぶくプラザ」供用開始 2 第1回地方創生全国コンファレンス「学びで地域を元気に」が国立オリンピックセンターで開催される☆ 4 県生涯学習推進センターに、公民館支援専門アドバイザーを配置* 4 小中学校9年間を、共通の教育課程で学習する「義務教育学校」を全国22校開校☆ 5 県政タウンミーティングを阿智村で開催* 5 県公運協主事会の幹事に、飯田市を固定枠化* 8 松本市第10次基本計画策定 9 地域包括ケアシステム推進事業が、3地区でモデルにスタート（第二地区、岡田地区、四賀地区） 9 「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議まとめ」を中教審初等中等教育分科会教育課程部会提出☆ 12 「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会確保等に関する法律」（教育機会確保法）成立☆
29	1 全国規模の集会である「未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す研究集会 松本大会」が、まつもと市民芸術館、中央公民館で開催され、全国各地から延1,115人が参加（1/28、29：松本市公民館70周年事業として開催）	3 あがたの森文化会館として活用されている「重要文化財旧松本高等学校校舎及び講堂保存計画」策定

松本市公民館関係略年表

年	松本市公民館のあゆみ	※項目前の数字は月をあらわす 取り巻く状況 *県 ☆国ほか 無印は松本市
29	<p>3 内田公民館大規模改修事業竣工</p> <p>7 町内公民館の手引き改訂版編集委員会発足</p> <p>7 波田公民館が波田庁舎内へ移転開館（旧波田公民館は30年3月に解体）</p> <p>9 文科省組織改編に対し、社会教育委員会議、公民館運営審議会、町内公民館長会連名で意見書を提出</p>	<p>3 中高、飯水の都市公運協を統合し「中飯」へ*</p> <p>3 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（学校運営協議会の設置が努力義務化）☆</p> <p>5 第2次松本市教育振興基本計画策定</p> <p>5 第2次松本市地域づくり実行計画策定</p>
30	<p>2 松本市公民館研究集会と、地域づくり課所管の地域づくり市民活動研究集会を「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第33回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」として合同開催（以降毎年合同開催）</p> <p>3 笹賀公民館大規模改修事業竣工</p> <p>3 大手公民館・中央地区福祉ひろば開館15周年記念「まち歩き講座から見た後世に残したい地区の文化財」発刊</p> <p>4 学校サポート事業を統合した松本版コミュニティスクール事業開始</p> <p>8 住民自治を基盤とした持続可能な地域づくりに向け、町内公民館機能に着目した「多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業を、東京大学牧野研究室との共同事業として開始（3力年の事業）</p>	<p>8 文部科学省次年度概算要求において、文部科学省の組織改編が示される☆</p> <p>9 文科省の組織改編に対し松本市教育委員会から要望書を提出</p> <p>3 県総合5か年計画策定（自治と学びが柱に据わる）*</p> <p>12 中央教育審議会で「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）」を取りまとめ☆</p>
31	<p>3 和田公民館大規模改修事業竣工</p>	<p>1 松本大学・松本大学松商短期大学部と包括的連携協定を締結</p> <p>4 第2層生活支援コーディネーター（地区生活支援員）が7地区（第二、中央、里山辺、寿台、四賀、梓川、波田）に配置</p>
R1	<p>6 『町内公民館活動のてびき（第6次改訂版）』発刊</p> <p>7 公民館運営審議会が提言集を中央公民館に提出</p> <p>8 中山公民館「中山の民話」発刊</p>	<p>6 「第9次地方分権一括法（地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律）」公布(6/7)☆（公立社会教育機関について、一定の担保措置を講じて条例により首長が所管することが可能となる）</p> <p>9 旧開智学校校舎国宝指定</p> <p>9 社会教育委員会議提言書「松本版コミュニティスクールへの提言～すべてに対してやさしくおもいやり生きる大人へ～」</p>
2	<p>2 第三地区公民館が、文部科学省の第72回優良公民館表彰を受賞(2/14)</p> <p>2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第35回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」で、市民提案によるテーマでの分科会を実施</p> <p>2 城北公民館・城北地区福祉ひろば開館二十周年記念誌発刊</p> <p>3 第三地区公民館が、長野県教育委員会の令和元年度公民館活動アワードを受賞(3/12)</p> <p>3 岡田公民館「岡田再発見を読み解く」（岡田歴史研究会編著）発刊</p> <p>3 「松本市芸術文化祭60年の歩み」発刊</p> <p>4 新型コロナウイルス感染症の影響で約1か月間貸館を休止(4/7～5/31)</p> <p>6 島内地区歴史文化財調査委員会（事務局：島内公民館）「島内の歴史と文化遺産」発刊</p> <p>7 7月豪雨により地区公民館（一部除く）に避難所を開設</p>	<p>3 菅谷昭市長退任</p> <p>臥雲義尚市長就任</p>
3	<p>1 新型コロナウイルス感染症の影響で貸館の新規受付を停止(1/8～12/4)</p> <p>2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第36回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会」が新型コロナウイルス感染症の影響により、基調講演・鼎談のみ実施となる（You Tubeでオンラインライブ配信）</p>	<p>1 松本市成人式が新型コロナウイルス感染症の影響で延期</p>
4	<p>2 安原地区公民館・福祉ひろば開館20周年記念冊子発刊</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症の拡大により、貸館の新規受付を停止(1/15～2/20)</p> <p>1 コミュニティスクール事業のあり方検討会を立ち上げ、国型導入等についての検討を始める</p> <p>2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第37回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会」を対面とオンラインのハイブリッド形式で開催。</p> <p>3 里山辺公民館が移転新築</p>	<p>1 長野県内にまん延防止等重点措置が適用(1/15～3/6)</p> <p>1 令和4年成人式を2部に分けて開催</p> <p>2 松本市教育大綱を策定</p>
5	<p>2 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第38回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会」の基調講演を対面とYouTubeライブ配信のハイブリッド形式で開催。</p>	<p>8 松本市成人のつどい（延期になった令和3年成人式の代替事業）を開催</p> <p>1 令和5年松本市ハタチの記念式典を開催</p> <p>(5 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行(5/8～))</p>



— 令和4年度 公民館事業報告 —

中央公民館…………… 48	白板地区公民館…131	和田公民館……………211	里山辺公民館……………299
第一地区公民館… 59	田川公民館……………139	神林公民館……………220	今井公民館……………311
第二地区公民館… 67	庄内地区公民館…145	笹賀公民館……………228	内田公民館……………323
第三地区公民館… 75	鎌田地区公民館…151	芳川公民館……………238	本郷公民館……………332
東部公民館…………… 81	松南地区公民館…160	寿公民館……………251	四賀公民館……………338
城北公民館…………… 88	島内公民館……………166	寿台公民館……………260	安曇公民館……………351
大手公民館……………100	中山公民館……………176	松原地区公民館…267	奈川公民館……………358
安原地区公民館…113	島立公民館……………184	岡田公民館……………279	梓川公民館……………362
城東公民館……………124	新村公民館……………194	入山辺公民館……………285	波田公民館……………371

令和4年度 事業報告の概要

中央公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】 「公民館の学びを通じた地域づくり」</p> <p>超少子高齢型人口減少社会に対応したまちづくりに向け、主役である市民が身近な地域で学び、考え、具体的に実践する機会が必要となっています。</p> <p>また、地域では、地域連帯意識の希薄化や家庭機能の低下など、課題の増大や複雑化に伴い行政だけの解決、また地域だけでの解決は困難な状況となっています。</p> <p>このような現状の中で、本市の公民館は、松本市生涯学習基本構想のもと、市民一人ひとりの幅広い学習や活動を支援し、総合的な地域づくりの拠点としての役割を担うことができる体制づくりを進めるとともに、学習活動などを通じて地域課題と向き合い、市民自らが地域課題の解決に向けた学習機会を充実させ、実践していく、松本らしい地域づくりをめざした公民館活動を展開しています。</p>										<ol style="list-style-type: none"> 1 松本らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連帯を育む学習機能の充実を図ります。 2 人権尊重のための学習活動を進めます。 3 男女共同参画社会をめざして、女性問題等解決のための啓発学習を進めます。 4 少子高齢・国際・情報化社会に対応する学習活動の推進を図ります。 5 町内公民館の振興を図ります。 6 住民主体の公民館活動推進のリーダーとなる公民館委員の組織強化を図ります。 7 ふるさとづくり、まちづくりのため、地域の歴史の掘り起こしと伝承文化の振興を図ります。 8 住民の自治能力を高めるための学習活動を進めます。 9 市民のニーズに合わせた生涯学習活動の推進のための支援体制の整備を行います。 10 時代を担う青年の学習・相談、クラブ活動等の場の提供と講座・行事を開催します。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	5	4	1	3	0	0	0	0	6	0	5	1	5	1
延べ 参加人数	990	709	0	16678	0	0	0	0	77	0	1740	430	1867	430

令和4年度 事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
新任公民館職員研修	4月26日	1回	その他	その他	17人	令和4年度に配属された新任職員を対象に、公民館（活動）の基礎学習及び、近年の動向について研修する。今年度は、松本大学向井健氏を講師に研修を行う。 （内容） ・公民館基礎学習 ・関係法令と運用 ・松本市公民館の概要と近年の動向	公民館基礎学習について、ポイントを捉えやすくするため、内容等を講師を依頼した松本大学の向井准教授と調整する。	新任職員でも理解できるように、内容をシンプルにしつつもポイントを押さえるなかで、「公民館や社会教育」をイメージしやすくするために、松本大学の向井准教授と調整した結果、参加した職員からも概ね好評であった。	
中級者向け手話教室「手話で学ぶ手話教室」	5月8日 ～10月5日	20回	福祉健康	成人	187人	ろう者と聴者の橋渡しとなる通訳者の育成を視野に、手話奉仕員養成講座と県の通訳者養成講座の中間的な位置づけで開催。手話奉仕員養成講座修了程度を対象に、手話通訳を配置せずろう者2名の講師体制で、手話表現及び読み取りの技術向上を目指した。昼・夜の2部制（10回×2部）	主催の松本市聴覚障害者協会、市障がい福祉課の手話通訳者コーディネーターと話し合いを行った。	受講者と講師（ろう者）が通訳者を介さずに講義をする形式となっているため、受講者には比較的高いレベルの手話技術が必要となってくるため、途中で離脱する受講者もいたが、全体的には出席率も高く、おおむね満足をいただけた。	
地域に伝わる民謡講習会	5月11日 ～3月17日	13回	地域文化	成人	130人	「お城盆踊り」の踊りの実演者の育成と、地域に伝わる民謡の周知と保存のために開催。中央公民館と城東公民館の両館で開催している。地区に地元の民謡が広まるようにしたい。	講師は、松本レクリエーション協会民謡部の会員による。	新規で受講する市民は少ないながらも関心を持って参加している。より多くの市民に受講してもらえよう、周知方法なども工夫したい。 「お城盆踊り」での踊りの実演者の育成という観点では踊りの継承につながる講習会になっている。 若者に興味を持ってもらえるよう、広報にも力を入れたい。	
工芸の五月ワークショップ	5月15日 5月21日	3回	地域文化	成人	16人	「工芸の五月」の一環として、日々の暮らしのなかで使う身近な道具を自らの手で作ることで、ものづくりの楽しさを知るとともに、自然・環境・暮らしを見つめなおす機会とする。 ・5/15「皮革ミニショルダー」午前・午後 ・5/21「フレグランスキャンドル」	共催：工芸の五月企画室	前年に引き続き、2講座3回実施した。なお、令和5年度は、共催事業としては終了（主催：工芸の五月へ）	
第22回松本手まり時計まつり	5月28日 29日	1回	地域事業（文化）	成人	680人	【ねらい】 中心市街地の活性化を図るとともに、Mウイングに集う人たちの新たな出会い・交流を促進する。 【事業内容】 公民館利用団体の展示部門発表、ステージ部門発表	Mウイング公益施設関係（生涯学習課・中央公民館、人権共生課、多文化共生プラザ、福祉ひろば、中央保健センター、松本ヘルス・ラボ）、伊勢町商店街振興組合、利用団体、市民から構成された実行委員会及び運営委員により運営。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小して開催。展示部門8団体、ステージ部門8団体次年度の実施に当たって、参加団体同士の交流や団体の掘り起こし等参加団体を増やす工夫が必要。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
公民館活動発表会 展示部門	5月28日 29日	2回	地域事業 (文化)	その他	297人	市内公民館で活動するサークル、団体等の活動発表および交流の場とする。「手まり時計まつり」にあわせて開催している。	参加8団体による実行委員会を組織(うち5団体が新規参加)実行委員長を置く。「手まり時計まつり実行委員」に参画	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小しての開催となった。展示会場の様子を撮影し、YouTubeで配信した。高齢化が進み、例年参加団体数は減少しており、作業にあたっては困難も多い。次年度の実施に当たって、参加団体同士の交流や来場者にサークル活動に興味を持ってもらう工夫が必要。	
公民館活動発表会 ステージ部門	5月29日	1回	地域事業 (文化)	成人	300人	市内公民館とあがたの森文化会館で活動する団体等の活動発表および交流の場とする。今年で44回目となる。	発表団体で、公民館活動発表会実行委員会を組織。実行委員会3回。当日の運営も当番役回りでやっている。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い導入した配信機材を用い、当日の一般来場者の他に、YouTubeでのオンライン配信を行った。(1,100再生)次年度の実施に当たって、参加団体同士の交流や団体の掘り起こし等参加団体を増やす工夫が必要。	
第12回こいこい松本—多文化共生と国際交流の祭り—	6月29日	1回	地域事業 (文化)	その他	163人	【ねらい】松本市及びその周辺に住む外国人・外国由来の人たちを中心とした交流、ネットワークづくりの場として、お互いの文化に触れ、理解を深め、親睦を図るきっかけづくりとして開催 【実施内容】 ・Mウイングホールにて各国のブースを開設(イタリア・アルゼンチン・ベトナム・ロシア・フィリピン・米国・オランダ・タイ・スウェーデン・モンゴル・スリランカ・ノルウェー・中国・ドイツ・台湾・マレーシア・韓国) ・YouTubeオンライン配信「こいこい松本2022」	【主催】こいこい松本実行委員会(在住の外国由来の人たち、NPO法人中信多文化共生ネットワーク、信大生) 【共催】中央公民館 実行委員会を組織し企画運営。公民館は実行委員会のサポート役として参画	新型コロナウイルス感染症対策をとりながら対面で開催。各国のブースを開設して、中央の空間で踊りや演奏などを実施。飲食やステージ発表はなし。広報まつもとでの周知もしなかった。三密を避けるためにホール内人数を100人になるように、出入口で人数カウントアプリを使用して調整した。入場時の検温及び記名を実施。	
高校生向け手話教室	8月 8日 9日 12日	3回	福祉健康	青少年	28人	従来の入門者教室及び中級者教室に加え高校生対象教室を新設。手話を通じて人間関係を深め、将来に結び付けることを目的に開催。通学時の安全性を考慮して昼のみ開催。	主催の松本市聴覚障害者協会、市障がい福祉課の手話通訳者コーディネーターと話し合いを行った。通訳者は講師が障がい福祉課を通して依頼	令和4年度新たに高校生向けに開催。市内の高校にチラシを配布した。SNSでも周知したが、高校でチラシを見て申込んだ受講生が多かった。受講生も偏らず様々な高校から参加していた。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
第74回「お城盆踊り」	8月14日 15日 16日		地域事業 (文化)	成人	300人	国宝松本城での盆踊りを通じて、市民と観光客がひと夏の思い出をつくるとともに、郷土に伝わる民踊を市民が知って郷土に愛着と誇りをもってもらえるよう開催したい。また、踊り手の高齢化もあり、地域に伝わる民踊の保全を図る一助となりたい。踊りをとおして心身ともにリフレッシュを図り、健康寿命の延伸に繋げたい。	当日の実演担当の松本レクリエーション協会と、年間をとおして踊りの講習を行うとともに、当日どのようにすれば参加した方たちに踊りを伝える事ができるか等を検討した。	より大勢の方に民踊に興味をもってもらうため、SNSを使用した広報方法や開催方法について、検討を進めていく。	
初心者向け手話教室	10月19日～ 3月1日	20回	福祉健康	その他	374人	ろう者の生活文化に理解を深めること、手話を学び続けたいという意欲を高めて手話奉仕員養成講座等の次の学習ステップにつなげることを目的に開催。初心者を対象に日常生活に関する基礎的な手話の習得を目指した。昼・夜の2部制(10回×2部)	主催の松本市聴覚障害者協会、市障がい福祉課の手話通訳者コーディネーターと話し合いを行った。通訳者は講師が障がい福祉課を通して依頼。	市SNSで周知をしたところ反響が大きく、今年度は受付開始初日に満員となり、急遽定員を増やして開催した。そのため、講師に加え補助講師を依頼した。また今後手話を生かして仕事に臨むことやろう者との交流に積極的に携わるようにしていきたいという前向きな声も多かったため、今後も継続をしていきたい。 障がい福祉課が開催する手話奉仕員養成講座との接続を考慮して、年度の後半に開催した。	
聴覚障害者と学ぶ成人学校「世界の料理文化いろいろ」	①10月20日 ②1月17日 ③12月15日 ④1月9日 ⑤2月16日	5回	人権平和	成人	63人	【ねらい】 昭和47年の開講当初に掲げた聴覚障がい者の学習権の保障に加え、ろう者と聴者の相互理解を深める場、地域社会の一員として尊重し合える関係づくりに寄与する場として開講。 【内容】 「多文化共生」をテーマに実施。外国人住民に講師を依頼し、ろう者と聴者と一緒の世界の料理や文化を学習した。 (①台湾料理と食文化「豆花」14人参加、②ベトナム料理と文化「ネムラン」13人参加、③フィリピン料理と文化「レチエ・フラン」14人参加、④アルゼンチン料理と文化「ヌガトン」11人参加、⑤タイ料理と文化「サバ缶のレッドカレー」11人参加)	・地区公民館での活動団体である日本語学習サロン「日本語いろいろ」がコロナ禍で活動が縮小したため外国料理のレシピ本を作成したことによる。「日本語いろいろ」が料理教室を中心に市民と外国由来の住民との多文化交流を望んでおり、一方例年講座内容について助言をいただいている松本市聴覚障害者協会からは料理教室など気軽に参加できる講座を望む意見が出ていた。そのため、両者の要望を繋げたことにより今回の企画に至った。 ・講師及びアシスタントは中央公民館から、通訳者及び要約筆記者は障がい福祉課を通して依頼。 ・事前に講師と個別に打合せを実施	・例年参加者が固定化されていたが、市SNS(特にLINE)での周知が功を奏して若年層の申込みが増えた。 ・コロナ禍での当日キャンセルを見越して定員より3名超過して申込みを受け付けた。また、受付時にさらにキャンセル枠を3名分設定したため、より多くの希望者に参加してもらうことができた。 ・多文化または料理に興味がある参加者が、講座をきっかけにろう者へ興味を広げ、手話表現を教わるなど交流が広がった。	

令和4年度 事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
松本市の公民館（事務報告書）冊子作成・発行	11月		その他	成人		松本市公民館等に関する情報を1冊にまとめ発刊する。	各館より事務報告書の提出。公民館の基礎データ、年表、教育要覧掲載情報を集約し冊子へまとめる。	掲載内容については常に精査するなど、次年度以降も継続して発刊する。	
景観から地域づくりを考えるプロジェクト「看板学講座」	11月11日 ～12月2日	5回	その他	成人	60人	平成25年から2年間、文部科学省委託事業「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」の一環として開催されたものから始まり、「松本看板学会」として組織したプロジェクトチームにより、看板を切り口にまちの景観を考える講座を展開している。	コーディネーターに倉澤聡氏（都市計画家）、コメンテーターに長谷川繁幸氏（建築士）・高田美果氏（イラストレーター）を迎え、都市計画課と連携するなかで複数回講座の内容等について検討する。	令和4年度では、「看板解剖学」と題し、初心に戻り、改めて看板そのものに焦点を当て、看板の楽しさ、奥深さに迫った。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第38回公民館研究集会 令和4年度地域づくり市民活動研究集会～	2月19日 4月～2月に市民・職員で企画準備	1回	地域事業 (その他)	成人	430人	<p>「学び」を大切にする松本市の公民館の理念を柱に、住民、市民活動団体、行政職員等の様々な主体が一堂に会し、身近な課題への理解を深め、幅広い議論を通して、気づき、学び合いながら、自分にできることを発見し、実践することを生み出す場として、開催した。</p> <p>全体テーマ「未来を切り拓く学びと自治～ポストコロナにおける地域再生～」</p> <p><全体会> 開会式、基調講演・対談「未来に託せる地域を目指す人々の学びと取り組み」／講師：石井山竜平（東北大学大学院教育学研究科准教授）、対談聞き手：向井健（松本大学総合経営学部准教授）／ホールとYouTubeライブ配信のハイブリット開催</p> <p><分科会> 6の分科会を設定 ①子どもたちの生きる力を高めるために～地域を舞台とした体験・学びから見えるもの～ ②松本の伝統行事を次世代につなげよう！～ぼんぼんと青山様・三九郎～ ③「地域行事」って必要な？～現代における地域行事は今～ ④顔が見える関係づくり～気軽に使える町内公民館～ ⑤誰もが安心して暮らせる地域を目指して！！～地域包括ケア・生活支援体制整備～ ⑥地域防災を進めるために必要なこと～地域づくりの視点から考える～ ⑦ワカモノ×地域＝賑わす～若い世代の地域参加を考えよう～ ⑧中山間地域の持続可能な地域づくり～奈川・四賀の事例から考える～</p>	<p>市民実行委員及び公民館・関係課職員による実行委員会を組織 ・実行委員会2回（オンライン形式） ・幹事会 2回 ・世話会 1回 ・その他、各分科会運営委員会、準備会、世話会などを順次開催。延べ700人以上が企画準備参加</p>	<p>昨年度から、令和3年度に引き続き、地域から実践事例の掘り起こし調査を実施し、調査をもとに分科会テーマを選定した。 ポストコロナに向け、つながりを生み出すことを重視し一会場開催に戻したが、コロナ禍で得たオンライン技術を生かし、四賀地区のサテライト会場も設置し、分科会テーマに即した立地の会場を実現した。 また全体会はYouTube配信し、広く視聴を可能にした。 地域づくりセンター事業と公民館活動の両者を扱う集会として、分科会のあり方を模索することができた一方、公民館研究集会そのものの意義を問い直す必要も感じた。 今後は実行委員会の開始時期を早めるなどし、分科会運営委員会を丁寧に進める見直しが必要。</p>	○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
第63回松本市芸術文化祭	4月～3月		地域文化	その他	16,532人	多くの市民が気軽に楽しく文化芸術に触れあう機会を創出し、市民による主体的、継続的な文化芸術活動の推進を図るもの。 和・洋・玄人・素人を問わず、市民が参画して、展示会・上演会等を通して、芸術文化の振興を図る。 展示部門各種展示会（14部門）参加者11,435人 上演部門各種発表会・演奏会（16部門）参加者5,097人	松本市芸術文化祭実行委員会により運営	新型コロナウイルス感染拡大の影響で練習機会の喪失、イベントの中止、観客来場者数の減少がみられるも、工夫により開催できるイベントが増えてきており、参加者数も回復傾向にある。 団体構成員の高齢化により、後継者の育成に努める必要がある。	
多世代参画型地域共生コミュニティづくりモデル事業	4月～3月		地域事業（その他）	成人	70人	様々な地域課題に対して、東京大学大学院の牧野篤教授の研究室との共同事業により、町内公民館を活用した、人々が集い、楽しく学び、生きていく場として、「多世代参画型地域共生コミュニティ（新たな社会保障システム）」の構築をめざすもの 【実施内容】 ・多世代が参画する人材育成（担い手づくり）を促進するプログラムの実践、検証 ・コロナ禍においての地域コミュニティの構築と活動の検証 ・中央地区鷹匠町町会、里山辺地区新井町会、安曇地区橋場町会をモデル町会とし、実践内容を全35地区に共有し、松本モデルとしての発信	東京大学大学院の牧野篤教授の研究室との共同事業とし開催	・職員によるモデル3町会へのヒアリングを実施し、コロナ禍での活動の現状と今後の方向性について確認。 ・牧野教授によるモデル3町会への現地調査を行い、現状と課題を再確認すると共に、牧野教授の助言を基に課題解決に向けたグループワークを実施。 なお、牧野教授からの提案を受け、令和5年度末まで事業を継続することになった。 今後は、事業終了後の各地区展開を見据えたまとめが必要。	
松本みんなのほんご教室（共催事業）	4月～2月	70回	人権平和	その他	450人	学齢期を過ぎた外国由来の青少年や就学および就労希望でありながらも日本語が不十分という理由で希望がかなわない外国籍住民を対象に、日本語習得の場として開催。 ●毎週月・木 9:30～12:30	NPO法人中信多文化共生ネットワークが運営	4つの日本語教室の中で唯一教室形式での日本語支援につとめており、週1回スタッフの勉強会やミーティングを行っている。受講者のニーズが多様化している中、対応できる支援員不足が課題である。	
松本市ヤングにほんご教室（共催事業）	4月～2月	42回	人権平和	青少年	105人	日本語を母語としない外国由来の子どもたちを対象に、日本語指導及び教科指導、居場所づくりを行う。 ●毎週火曜日 18:00～20:00	NPO法人中信多文化共生ネットワークが運営	学習時間の間に休憩時間を設け、生徒間のコミュニケーションを図っている。かつてはボランティアの大半が大学生だったが、コロナのためボランティアが減少。安定的なスタッフの確保が難しい状況である。	

令和4年度 事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
3歳児健診時の絵本読み聞かせ	4月～2月	中止	子育て	その他	0人	中央保健センター3歳児健診に訪れた親子を対象に、読み聞かせを月1回実施。健診時の読み聞かせを通し、図書委員会の活動を周知、図書室の利用促進につなげる。	図書委員会 新型コロナウイルス対策のため中止	中央保健センターで実施する3歳児健診の方法が、新型コロナウイルス感染対策の対応になっているため、読み聞かせを実施することができなかった。令和5年度は実施予定。	
学びの森いんふおめーしょん	5月1日 8月1日 11月1日 2月1日	4回	その他	成人		市民に生涯学習関連情報（生涯学習支援登録制度登録団体等の活動情報など）を提供し、市民の多様化した生涯学習活動を補助・促進するもの。 発行は年4回（5月、8月、11月、2月）。1回につき13,500部	生涯学習支援登録制度に登録している団体の情報を中心に掲載している。 生涯学習支援登録制度に登録しているグループ、指導者が掲載されているホームページ「学びの森生涯学習ファイル」のQRコードを紙面に貼り、紙面に載りきらないグループ、指導者の周知に努めた。	配布方法が町内回覧であり、必要な時に情報が得られないことが課題のため、当冊子を「情報提供の入口」と位置づけ、QRコード等でホームページへリンク案内するようにし、冊子のページ数を減らした。今後、オンラインの多様な媒体と連携し、必要な市民に届く情報発信を図る。	
日本語講座	5月～3月	41回	人権平和	その他	256人	外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供することで、受講者とボランティアスタッフが学習を通じて相互理解を深めることを目的に開催。多文化共生社会の実現を目指す。受講者のニーズや日本語能力にあわせたクラス設定を行い、きめ細かい学習を行っている。スタッフ会議等を開催し、スタッフ間の意思疎通を図っている。 ●毎週火曜日 19:00～20:30	ボランティアスタッフによる運営	夜間の講座であるため、十分なミーティングの時間が取れないことや教室運営の体制に苦慮している。R3から代表を決めず各クラスの世話人及び連絡係を通じて連絡を取っている。ボランティアスタッフと密に関わり、主体的で継続的な運営体制を目指したい。コロナウイルス感染拡大防止のため、4月から5月下旬まで休講とした。	
木曜午前ボランティア日本語教室	6月～3月	32回	人権平和	その他	116人	外国籍住民を対象に日本語習得の機会を提供することで、受講者とボランティアスタッフが学習を通じて相互理解を深めることを目的に開催。多文化共生社会の実現を目指す。受講者のニーズや日本語能力にあわせたクラス設定を行い、きめ細かい学習を行っている。スタッフ会議等を開催し、スタッフ間の意思疎通を図っている。 ●毎週木曜日 10:00～11:30	ボランティアスタッフによる運営 共催：多文化共生プラザ	スタッフ会議、グループミーティングを行い、受講者およびスタッフの交流・連携を図っている。コロナウイルス感染拡大防止のため、4月から6月中旬まで休室としたが、一部試験的にスタッフによるオンラインでの授業などを実施した。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
生涯学習支援登録制度	通年		その他	成人		<p>多様化する市民の生涯学習に関するニーズに対応するため、地域で活動するグループや指導者を登録、情報提供をすることにより、市民の生涯学習活動を補助・促進するもの。</p> <p>○4月17日現在 登録数 指導者 159名 グループ 400団体</p>	<p>制度をよりわかりやすくするため、ホームページに各グループの写真やグループの特徴を掲載するなど工夫した。</p> <p>制度の申請をしやすいようにオンラインでの申し込みができるようにした。</p> <p>主事会で制度の紹介をするなど、地区公民館への周知に努めた。</p>	<p>グループ登録の場合『学びの森いんふおめーしょん』に記事を掲載するための条件であることから、登録が活発である。</p> <p>指導者登録の場合は、新規登録者のみが『学びの森いんふおめーしょん』に掲載される。そのため、指導者の活用を地区公民館等に仲介する仕組みづくりが望まれる。</p> <p>ホームページでの掲載情報の更なる改善を進めるとともに、市民団体等と連携し情報発信媒体の多様化を進める。</p>	
松本市出前講座 「いい街つくろう！パートナーシップまつもと」	通年		その他	その他		<p>市役所やその他の行政機関などが行っている施策について市民から要望のあった講座を開講し、市民と職員がパートナーとなり、学びを通して顔の見える関係をつくりながら、共にいい街をつくっていく学びの講座。</p>	<p>各課および関係機関に講座の継続開講や新規開講等の調査を行い、毎年出前講座メニューを更新している。</p> <p>令和4年度は、オンライン手続き及びオンライン講座を実施できるようにした。ホームページで人気の講座やおすすめ講座を紹介するなどして、周知の工夫を図った。</p>	<p>令和5年度もオンライン申請・受講の積極的な活用を促したい。</p> <p>ホームページのさらなる充実を図り、市民への周知を工夫していく。</p>	
日本老民考	通年	12回	福祉健康	高齢者	120人	<p>世界情勢から日本の政治、戦中・戦後の日本社会、福祉などを切り口に日本の歩みを検証し、老後の生活（生き方）について意見交換するなかで、それぞれの生き方を考える。</p> <p>毎月1回第4金曜日に開催する。</p>	<p>手塚英男氏（社会教育実践者／『日本老民考-さまざまな老い それぞれの終い』著者）が設定したテーマ、参加者から提供される話題を切り口に、議論を展開。</p>	<p>コロナ禍の生活様式や情報の取捨選択について意見を交わすことも多々あり、混乱した世の中でも前向きに暮らすことのきっかけになっている。</p> <p>また、新聞の社説欄等から現代の社会情勢について意見を交わしたり、参加者が各々取り組んでいる活動を話題として取り上げ、情報交換を行った。</p> <p>会は参加者同士が自由に意見を交換できる空気であり、参加者の生きがいの場にもなっている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大により、1回開催を中止</p>	

令和4年度 事業報告

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
松本市町内公民館館長会	通年	—	公民館委員会・各種会議等	その他	253人	<p>【ねらい】 各町内公民館の振興及び町内公民館相互の連絡を図るために必要な研修等を行う。</p> <p>【事業内容】 ★各種会議 ・総会（書面表決） ・理事会5回、三役会6回、広報部7回、研修部2回 ★研修及び学習会 〈企画部〉 ・新旧理事歓送迎会 ・理事視察研修会「飯田市公民館、飯田市美術博物館見学」 〈広報部〉 ・町内公民館長会だよりの編集、封入作業 〈研修部〉 ・新任町内公民館長研修会（午前午後の2部に分けて開催）、ブロック別研修会（動画資料作成、DVD又はYouTubeで視聴） 〈女性部〉 ・意見交換会2回 ・クラフト講座（計画するも中止） ★広報 ・「町内公民館長会だよりの」79号～81号の発行</p>	各地区町内公民館館長会からの代表者を理事として1名選出し、特任理事4名を加えて計39名で理事会を運営。会長1名、副会長3名、会計1名、事務局長1名、4つの専門部（企画・広報・研修・女性）を必要に応じて開催	新型コロナウイルス感染症の影響から事業の中止等が相次いだ。対策として、理事会では毎回Zoomでのオンライン参加も可能とした。対面でのブロック別研修会開催の代わりに、動画資料を作成した。各地区公民館での研修会でDVD視聴又は自宅でのYouTube視聴を促した。	
松本市公民館長会 ・定例会 ・理事会	通年 各月1回	25回	公民館委員会・各種会議等	その他	570人	館長相互の研修を図り、公民館活動の促進に寄与する。	<p>・定例公民館長会（毎月第3水曜日、午後1時30分から開催、研修内容は理事会で検討し、定例会議で正式に決定）</p> <p>・理事会 必要に応じて開催（原則として第2火曜日、午後1時30分～）</p>	公民館事業を進めるにあたり、幅広いテーマで講師を招き講義を受けると共に、課題と今後の対応についてグループワークを行った。 10月の研修会では、これからの学校と地域の関係のあり方について、荒井教育顧問と意見交換を行った。 新型コロナウイルス感染症により中止となっていた姫路市との姉妹都市交流事業公民館交流学習会と県外視察研修を行った。	

中央公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
公民館主事会 ・公民館主事研修会 ・主事会プロジェクト	通年 月2回	22回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	613人	公民館主事の資質向上を図り、公民館活動の推進に寄与する。	①公民館主事研修会（毎月第2第4木曜日） ②幹事会（毎月第1月曜日） ③主事会プロジェクト（不定期）	公民館主事としての知識・理解を深めるため、公民館の理念や実務的な内容を研修テーマに設定した。 また、地域の実践者等、住民との研修を行うことで、常に住民の声に寄り添う態度を養うことに努めた。本市の公民館活動や地域づくりの動向を相対的に捉えなおす機会となった。 ポストコロナに向け、公民館主事同士のつながりを再生させ、議論できる学ぶ組織づくりとして、チームビルディングの視点でも研修を企画した。（ロゲイニング、講座企画ワークショップ等） 令和3年度に設置したチームを改組し、公民館主事会プロジェクトとして3チームと2つのオブザーバーチーム（※）を設置 ・貸館・規則改正チーム ・デジタル化チーム ・町内公民館振興・支援チーム ・公民館・図書館連携チーム※ ・フューチャーデザインチーム※	
中央公民館図書委員会	通年	9回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	43人	中央公民館図書室を主な活動拠点として子どもから高齢者までを対象に、地域の特性を生かしながら、イベントや選書を行い、図書の普及を図る。 今年度は新型コロナウイルスの影響で例年参加している手まり時計まつり、3歳児健診の読み聞かせ、クッキー作りが中止となったが、読み聞かせ会等、コロナ対策を万全にしたうえで、精力的に活動した。	委員5名。委員長を置く。	親子を対象とした読み聞かせ会以外にも、ご年配の方に向けた読み聞かせ会にも挑戦するなど、新たな試みもできた。 来年度は図書室を含めた2階スペースの空間利用について、利用者がより使いやすくなるよう、検討をしていく。	
公民館報全市版編集委員会	通年	15回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	388人	住民自らが編集する公民館の機関誌として、地域住民と公民館を結びつけ、地域課題・生活課題の学習素材を提供するとともに、将来への足跡として公民館活動を記録するもの。	各地区から1名ずつ編集委員を選出。また令和3年度より、大学生を1名委員に選出。編集長1名、副委員長4名を置く。	紙面構成の見直し等により、地域や生活・暮らしについて幅広く話し合うことができた。 今後、館報のデジタル化について、館報のあり方や発信方法などについて、改めて見つめなおすとともに、デジタル化について検討を進めていく。	

令和4年度 事業報告の概要

第一地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区住民の生活、暮らしに根付く様々な課題を共有し、地域づくりセンター、福祉ひろば、地区生活支援員、町会連合会、地区関係団体と共に改善に向けて取り組む活動の場とする。 ・ウィズコロナの時代を迎え、地区住民の命と健康を第一に考えた上で、健康づくり、居場所や仲間づくり、伝統文化の継承など各種事業を再開していく。 ・高齢者のみならず普段公民館にあまり顔を出さない子育て世代や若者に向けた事業を展開し、遊びや体験を取り入れた学習、仲間づくりの場を提供する。 										<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様新型コロナウイルスの影響を受けた一年だったが、感染症予防対策を徹底しながらも徐々に事業を再開し始め、コロナ禍以前の恒例行事であった餅つき大会を3年ぶりに開催することができた。 ・定例的に開催している講座は勿論、子どもを対象とした生け花講座を行うなどの新規講座の企画運営にも取り組み、概ね好評を得ることができた。 ・今後はより一層地区住民の生涯学習に寄与することができるよう、計画性を持って事業を展開していきたい。また、関係団体（地域づくりセンター、福祉ひろば等）との連絡体制をより密にし、協力しながら公民館の運営を行っていく。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	4	2	4	0	3	0	0	0	2	2	0	3	0
延べ 参加人数	16	234	68	97	0	70	0	0	0	53	45	0	145	0

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
人権啓発視察研修	4月28日	1回	人権平和	成人	16人	【内容】 ・満蒙開拓祈念館を訪れ、戦争の悲惨さを通して人権について考える機会とする。 【ねらい】 ・地区人権の意識高揚に活かす。	【準備過程】 ・福祉ひろばと企画を検討。地区内広報で周知。 【共催団体等】 ・福祉ひろば、人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・歴史について知ることが出来ただけでなく、人権についても深く考えるきっかけとなった。 【今後の方針】 ・今後も人権に関する視察研修は定期的に企画していきたい。	
はじめよう！お散歩写真 初級編	5月～9月	4回	趣味教養	成人	36人	【内容】 ・デジタルカメラでの撮影方法等を学ぶ初心者向け講座を開催。学習会2回、撮影会2回実施した。 【ねらい】 ・デジタルカメラでの撮影技術の向上及び視聴覚委員の人材発掘と育成を図る。	【準備過程】 ・視聴覚委員会で企画を検討。地区内広報で周知。 【共催団体等】 ・公民館視聴覚委員会	【評価と反省】 ・新しい参加者はいたものの、後に続かずその回限りになってしまうことが多かった。 ・撮影会を2回としたことで、より様々な地域の風景を肌で感じながら撮影することが出来た。 【今後の方針】 ・勉強会と撮影会との間に講座としてのつながりを作るなど、継続して参加しやすい企画を検討する。	
はじめよう！お散歩写真 中級編	10月～2月	4回	趣味教養	成人	25人	【内容】 ・デジタルカメラでの撮影方法等を学ぶ中級者向け講座を開催。学習会2回、撮影会2回実施した。 【ねらい】 ・デジタルカメラでの撮影技術の向上及び視聴覚委員の人材発掘と育成を図る。	【準備過程】 ・視聴覚委員会で企画を検討。地区内広報で周知。 【共催団体等】 ・公民館視聴覚委員会	【評価と反省】 ・勉強会にて参加者が撮影した写真を持ち寄って講師の先生の講評をいただき共有することで、参加者同士の技術向上と交流の深化に寄与することができた。 ・新規の参加者は初級編と比べるとやや少なく感じた。 【今後の方針】 ・新規参加者が参加しやすい講座づくりや、地域の行事や風景を撮影できる機会の拡充に注力していきたい。	
はじめよう！お散歩写真 写真展	3月	1回	趣味教養	その他	9人	【内容】 ・デジカメ講座参加者による写真展をMウイングふれあいロビーで開催した。 【ねらい】 ・参加者の活動成果を発表する場として開催するもの。 ・講座の存在を知ってもらい、講座への参加に繋げたい。	【準備過程】 ・視聴覚委員会で企画を検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・公民館視聴覚委員会	【評価と反省】 ・作品を展示することにより、写真撮影に対するモチベーションが上がり、技術向上へとつながっている。 ・地区行事（ふれあいまつり）に合わせて開催したところ、たくさんの来場者の方に作品を見ていただけた。 【今後の方針】 ・活動発表の場は必要であるため、今後も企画していきたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
春の視察研修	6月8日	1回	地域文化	成人	17人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山晋平記念館を訪れ、その生涯や作品について学ぶ。また、見頃のバラ園にてウォーキングを行う。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土出身の偉人について深く知ることで、郷土愛の醸成と文化教養の向上を図る。 ・ウォーキングにより参加者の健康づくりに資する。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内公民館長会と企画を検討。地区内広報で周知。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内公民館長会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の満足度は高いように感じる事が出来た。ウォーキングの行程など、参加者への事前周知は徹底していきたい。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内公民館長会との共催としての視察研修の在り方について、今後十分検討していきたい。 	
秋の視察研修	12月5日	1回	地域文化	成人	19人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桔梗屋信玄餅工場を訪れ、その製造過程や銘菓としての地域との関わり方を学ぶ。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の銘菓を通してその風土や文化を学ぶ機会とする。 ・参加者同士の親睦を深める機会とする。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内公民館長会と企画を検討。地区内広報で周知。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内公民館長会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修よりも観光的な要素が強くなってしまった。参加者同士の親睦を深めることはできたように思うが、研修としての在り方については十分に協議が必要。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内公民館長会との共催としての視察研修の在り方について、今後十分検討していきたい。 	
マレットゴルフ大会	6月18日 9月10日	2回	地域事業 (体育)	成人	31人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルプス公園マレットゴルフ場で大会を開催した。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マレットゴルフを通じて地区住民の健康増進と親睦を図る。また競い合うことで技術の向上を図る。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育事業実行委員会と企画検討した。地区内広報で周知した。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも屋外で運動できる機会として開催することが出来た。 ・他団体と大会の日程が重なっていたことがあったため、事前のスケジュール把握は徹底したい。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に大会運営ができるよう十分配慮し、地区体育事業の推進のため継続して実施したい。 ・会場までの交通手段について、マイカーでの乗り合わせは交通事故等のリスクを伴うため、庁用バスを利用して遠方の会場へ赴くなども計画していきたい。 	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ボウリング大会	7月16日 1月21日	2回	地域事業 (体育)	成人	22人	【内容】 ・地域住民の交流と健康増進のため、ボウリング大会とミニ講座を併せて計画した。 (講師：地区住民) 【ねらい】 ・多世代で楽しめるボウリングを通じて、地区住民の健康増進と親睦を図る。	【準備過程】 ・体育事業実行委員会での企画検討。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・スポーツ協会	【評価と反省】 ・成人のほか、子どもを含めたご家族でのご参加もあり大いに賑わった。 ・様々な世代の参加はあったものの、参加者同士の交流はあまり活発ではなかった。初対面の参加者同士でも気軽に盛り上げられるような仕掛けが必要。 【今後の方針】 ・気温の変化で屋外スポーツの実施が厳しい時期に、地区住民の健康増進のため、室内で出来るスポーツを企画していきたい。	
そば打ち講座	7月29日 12月21日	2回	地域文化	成人	18人	【内容】 ・伝統食である蕎麦打ちを体験し、自身で年越しそばを打てるようになる。 (講師：地区住民) 【ねらい】 ・蕎麦打ちを体験しながら、地域住民の交流を深める。	【準備過程】 ・地区内のそば打ち名人と入念な打ち合わせを行い、企画運営を行った。	【評価と反省】 ・感染症対策としてその場での試食はせず、打ち上がったそばは持ち帰りとした。今後は講座後の試食についても検討していきたい。 ・参加者のそば打ち技術の向上や、参加者同士の交流の機会となった。 【今後の方針】 ・参加者も多く人気があるため、定期的に開催をし、サークル化を目指したい。 ・さらにいろんな世代が参加できる機会を増やすため、土日開催についても検討していきたい。	
生涯骨太！クッキング講座	10月20日	1回	福祉健康	成人	12人	【内容】 ・骨太をテーマにした献立について、その効果などを学習しながら調理実習を行う。 【ねらい】 ・調理技術の向上 ・骨太料理を通して健康への関心を高める。	【準備過程】 ・食生活改善推進協議会で企画検討した。地区内広報で周知した。 【共催団体等】 ・食生活改善推進協議会	【評価と反省】 ・感染症対策で料理の持ち帰りができるよう、講師の先生に献立を工夫していただいた。 ・参加者の料理講座への関心は高く、また開催してほしいとの声も多く聞かれた。 【今後の方針】 ・今後も参加者の健康づくりに資するような料理講座を、食生活改善推進協議会と連携を密にして開催していきたい。	

令和4年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
こどもいけばな	10月22日	1回	子育て	青少年	6人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生以下の子どもを持つ親子を対象に、季節の草花を使った生け花と工作を楽しむ。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生け花などで花や植物に触れ合う機会を通じて、子どもの情操教育の一助とする。 子育て世代の親子の居場所、仲間づくりの場とする。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区周辺にお住いの講師から講座についてご提案をいただき、入念な打ち合わせの上開催した。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども会育成会（周知） 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区広報での周知のほか、子ども会育成会への周知依頼や図書館へのチラシ配架など、広報に力を入れた結果、定員を超える参加者が集まった。 講座アンケートでも満足度が非常に高く、今後への発展が見込める講座となった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師の先生とも相談をしながら、子育て世代に向けた講座を定期的で開催していきたい。 	
ご近所ひろばだよ！全員集合！	10月26日 11月28日	2回	福祉健康	その他	30人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民の身近な場所で講座などを行い、住民がより参加しやすい交流の場を設けるために開催した。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの地域住民が参加しやすいよう、身近な施設で講座等を行い、地域づくりにつなげる。 4年度から配置される生活支援コーディネーターの活動のきっかけとする。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域づくりセンター職員で企画運営をした。地区内広報で周知を行った。 <p>【共催団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域づくりセンター、福祉ひろば 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 普段とは違う場所で体操やレクリエーションをすることで、参加者同士の親睦が深まった。 普段から公民館や福祉ひろばに来られている方の参加が多く、広報の方法について改めて検討していきたい。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域づくりや地区課題の吸い上げに有益であるため継続して実施したい。 普段あまり公民館に来られない方にも気軽に参加してもらえよう、広報や開催内容についてももしっかり検討していきたい。 	
食育視察研修	11月7日	1回	福祉健康	成人	12人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鷹山ファミリー牧場を訪れ、ソーセージ作りやバター作りなどの体験を行う。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 牧場で採れた牛乳や肉肉を使うことで、命をいただく有難さや食に関する関心を深める。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食生活改善推進協議会で企画検討した。地区内広報で周知した。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食生活改善推進協議会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 命を直に感じることができる食育体験はとて有意味であった。 行程としてもうーか所くらしいは食に関する視察先を設定してもよいと感じた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も食生活推進協議会と連携しながら食育に関する視察研修を継続して企画していきたい。 	

令和4年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
青山様ぼんぼん練り歩き	8月4日	中止	地域事業 (文化)	青少年		<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古くから地域に伝わる伝統行事「青山様」「ぼんぼん」を行う。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統行事「青山様」「ぼんぼん」を地域の大人から子どもへと伝承し、郷土の歴史や文化を学ぶ機会とする。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実行委員会を組織し、企画運営を行った。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館文化委員会、子ども会育成会、民生主任児童委員、松本交通安全協会駅前支部 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナまん延防止の観点から中止とした。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の伝統行事であると同時に世代間交流の場となっているため、今度も継続して実施したい。 	
餅つき大会	12月3日	1回	地域事業 (文化)	青少年	45人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 餅つきの体験と鏡餅に関するミニ講座、昔ながらのお正月遊び体験を行った。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昔ながらの臼と杵を用いた餅つきの体験を通して、食文化の伝承を図り、子どもから高齢者まで地域住民の交流を深めるもの。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実行委員会を組織し、企画運営を行った。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館文化委員会、子ども会育成会、食生活改善推進協議会、民生主任児童委員 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症予防策を徹底した上で開催した。 餅つき体験はもちろん、お正月遊び体験も非常に賑わいを見せ、また参加したいというお声も多かった。 当日その場での試食はせずに持ち帰りとしたが、餅の量が足りなかった。これ以上大量の餅を準備するのは難しいため定員管理も必要になってくる。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 若い世代の方々が地域にかかわるきっかけとしていくためにも、今後も継続して実施したい。 	
第2回歩いて探そうお宝探訪ウォークラリー	3月21日	1回	地域文化	その他	43人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の見どころがちな史跡をウォークラリーで巡り、その後、講座で史跡について学んだ。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩いて史跡をめぐることで、地域を再発見することで、地域愛を醸成する。 参加した住民同士が交流することで、地域間交流を図る。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内6地区公民館主事を中心に、公民館長の協力を得て企画検討を行った。 各地区内広報、および市民タイムスで周知した。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二、第三、東部、城東、大手公民館 第一、第二、第三、東部、城東、中央地区地域づくりセンター(福祉ひろばを含む) 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6館合同の企画としての開催であったが、各館協力し合い参加者からも好評であった。 前回はコースが長すぎたという声があったので、今年度は地区を絞ってコースを短くした。 参加者は前回より約半減(82名→43名)となったが、開催規模としてもほぼ適切であった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「普段なら気付かない地域の魅力に気づくことができた」等、参加者からは概ね講評であったので、次年度以降も継続して開催していきたい。 	

令和4年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
かんたんストレッチ	通年	11回	福祉健康	成人	180人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康運動指導士から転倒予防や筋力維持のための正しいストレッチ方法を学んだ。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動初心者向けの講座として開催し、定期的を実施することで運動習慣を身に付け、健康への意識向上を図る。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師と職員で企画を検討した。地区内広報で周知した。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉ひろば事業推進協議会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 筋力アップのための体操を中心に、参加者の体力維持に役立った。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体力維持ができるよう、講師にプログラムの内容を相談しながら、実施していきたい。 	
すくすくひろば	通年	11回	子育て	家庭教育	62人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 未就学児と保護者を対象に、英語や親子体操、季節の行事などを取り入れ異なるテーマで、学びや遊びを実施した。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 就学前の子どもと保護者が気軽に交流できる場を設け、子育ての不安や悩み事が相談できる場として、子育て支援の推進を図る。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員で企画を検討した。地区内広報で周知した。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民生児童推進協議会、食生活改善推進協議会、福祉ひろば事業推進協議会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 親子で楽しく交流する機会となった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て世代への支援は必要とされる事業であるため、テーマを検討して今後も実施していきたい。 	
地域だよりの発行	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他		<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区内の情報や公民館と福祉ひろばの講座案内等を掲載した「地域だよりの」を、広報まつもとの配布に合せ毎月発行した。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町会連合会、地区団体、公民館、福祉ひろば等の諸活動について周知を図り、地域の活性化に向けて。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町会連合会広報委員会で紙面の編集と発行を行った。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町会連合会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度は必要に応じ、新型コロナウイルス感染拡大防止の注意喚起を掲載し啓発活動を行った。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> より多くの地域住民に見てもらえるようにするため、広報委員会で検討をしていきたい。 	
館報の発行	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	その他		<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「第一地区版」公民館報を2カ月毎に編集発行した。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区の諸活動を記録、共有するため、地区住民から選出された委員によって編集を行う。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発行月毎に館報委員会を開催し、内容等を検討した。 視聴覚委員会は、地区の「今」を写真として記録するため、季節の写真や行事等の写真を撮影し掲載した。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 館報委員会、視聴覚委員会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で様々な行事が中止となり、掲載記事に苦慮しながらも委員それぞれが、現状を把握する中で工夫を凝らして記事を掲載することができた。 各委員とは、館報委員会以外でもコミュニケーションを図り調整した。毎月発行日を厳守することができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区内の諸活動を幅広く掲載できるよう、紙面の充実を図りたい。 	

令和4年度 事業報告

第一地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館員会	通年	40回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	145人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営、館報、文化、視聴覚、事業内容に応じた委員会を組織し、公民館事業を企画、運営、評価等を行った。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の公民館活動を推進する。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会ごとに随時開催した。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は当初の計画通りに委員会主催事業等を実施することができなかった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況を見ながら、委員会活動の充実を図っていきたい。 	

令和4年度 事業報告の概要

第二地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】 各種公民館事業の実施に際し、前年度事業をベースにして、それぞれの講座及び事業を継続実施した。前年度の反省を踏まえて各種事業のより一層の充実と、新規講座等開設を重点目標として取り組んだ。 新型コロナウイルス感染症予防対策として、講座の前に消毒や換気を徹底した。また、コロナ禍で今年度も中止を余儀なくされた盆踊りも、中止までの意思決定のプロセスを評価したい。コロナ禍にあっても開催できた事業には感染拡大防止に配慮しながら取り組んだ。 新規事業として定着した感のあるポッチャ大会を気軽に取り組めるスポーツとして地区内での認知度を上げていきたい。 昨年度、初めて取り組んだ合同三九郎は、伝統行事に参加する体験と多世代交流の捉えて地区行事として定着させていきたい。</p>	<p>通年実施している講座については、参加者と講師の関係も良く、講座参加者からはとても楽しい講座だから継続実施して欲しいとの声があるが、新規講座を実施する財源を確保するためにも長年続く講座はサークル化を促す等で自立した運営ができるよう働きかけていく必要がある。 令和2年度に発足した歴史文化継承委員会の活動により地区内18件の文化財が「まつもと文化遺産」に認定された。これ契機に地区の文化財・歴史に関心をもっていけるような事業を展開していきたい。 新型コロナウイルスの感染症対策の影響はこれまでよりも弱まっていくことが予想されるが、地区を挙げて取り組む盆踊り大会・文化祭の開催形態を改めて検討し、安心して参加できる公民館事業としていきたい。</p>

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	0	0	5	1	3	4	0	2	0	1	1	5	0
延べ 参加人数	12	0	0	197	19	959	453	0	26	0	230	100	306	0

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
図書コーナーの図書入替	5月25日 11月30日	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	13人	【内容】 図書視聴覚委員会の活動として年2回、図書コーナーの図書500冊を入れ替えるため、中央図書館へ図書を返却し新たに団体貸出しを受ける。 【ねらい】 地区住民への身近な場所での読書機会の提供。聴覚委員の活動活性化	【準備過程】 団体図書借受けの日時を中央図書館と調整 図書の運搬手段の確保	【評価と反省】 図書視聴覚委員会の活動として定着しており、公民館図書コーナーでの本の貸し借りは住民の需要もあるが、読みたい本のリクエストを受ける、書架の整理をしながら人気の図書の傾向を掴む等の活動にはつながっていない。 【今後の方針】 図書コーナーのリニューアル等、図書視聴覚委員の活動の機会を設け、同委員会の存在感をアピールしていく。	
わらび狩りウォーキング	5月30日	1回	その他	成人	15人	【内容】 小谷村でわらび狩りを兼ねたウォーキングを実施 【ねらい】 傾斜地を歩くことで通常よりも足腰に負荷がかかるウォーキングができ、旬の山菜を探す季節感を感じながら参加者間の交流を図る。	【準備過程】 公民館だよりとともにわらび狩りの募集チラシを回覧 受け入れ先との調整 【協力団体】 福祉ひろば	【評価と反省】 参加者の大半が70代以上の高齢者だったが、事故なく事業を完了できた。参加者は一様に好天の下でのわらび狩りを楽しみながら交流していたが、安全対策・救護体制を事前にもっと検討すべきであった。 【今後の方針】 高齢者にも人気の事業であり、継続していくためにも安全対策は不可欠なものとして徹底していく。	
盆踊り大会実行委員会	8月12日	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	45人	【内容】 第二地区の恒例行事として毎年8月12日に開催。令和4年度で21回を数える。 【ねらい】 子どもから大人まで、地域住民が集える機会の提供。相互の親睦を深め、地域の活性化と地域づくりの推進を図る。	【準備過程】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束しない中、実行委員会で開催の可否、条件等を審議 →開催日までに感染警戒レベルが4以上になった時点で中止を決定する旨を申し合わせた。 →7月20日付けでレベル4に達したため、中止を決定。同日付けで実行委員及び各町会へ周知	【評価と反省】 過去2年(令和2、3年)にわたりコロナ禍の影響で中止されていたため、開催を望む声大きいことを承知したうえで「レベル4以上で中止」の申し合わせができたことは地区独自の意思決定として評価できる。 【今後の方針】 次回以降の開催に向けた準備・情報収集の仕組みを作っていきたい。	

令和4年度 事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ウォーキング&自然観察会	10月14日	1回	環境	成人	19人	【内容】 上高地の大正池から河童橋までの植生、河川の状況等について講師から説明を受けながらウォーキングを楽しむ。 【ねらい】 地区住民の親睦を深めながら、健康増進、環境保護の意識を高揚を図る。	【準備過程】 講師の依頼 ウォーキングコースの選定 公民館だよりで地域住民へ周知 【共催団体】 第二地区福祉ひろば	【評価と反省】 10月中旬の上高地でみられる植物の開花、年々浅くなっていく大正池の姿を見ながら講師の説明を聞くことで、一口に「自然保護」と言っても様々な考え、立場があることを学んだ。ウォーキングに専念できたとは言えないものの、清々しい空気の中を歩きながら心身のリフレッシュと参加者の交流ができた。 【今後の方針】 高齢者にも無理のないよう距離を短縮しながらも十分に自然観察ができるようコースを工夫した。同様の配慮をしながら継続していく講座としたい。	
第二地区文化祭	11月12日	1回	地域事業(文化)	その他	230人	【内容】 地区住民・公民館利用団体が作品展示、ステージ発表で日頃の文化活動の成果を発表し、互いに鑑賞しあって交流を深める文化事業。 【ねらい】 コロナ禍にあって3年ぶりの開催となり、地区行事の復活と継続の機運を高める契機とする。	【準備過程】 盆踊り大会を中止した経過を踏まえ、文化祭の開催の可否を審議するための公民館運営委員会を2回開催 →2日間の開催を1日にする、企画ブースを減らす等で規模を縮小し、会場内の飲食禁止等の感染防止策を講じて開催 【共催団体】 第二地区内各種団体	【評価と反省】 開催については賛否両論があったが、規模を縮小した開催に落ち着いた。作品も予想よりも多くの点数が出品された。 「やって良かった」との声もあり、文化祭の開催自体は好意的に受け止められた。 次回以降の開催形態、役員体制等の再検討の必要性を指摘する意見もあるが、文化祭を継続していく意思の表れといえる。 【今後の方針】 次回以降の開催形態(2日間か1日か)、企画・運営体制等、アフターコロナの文化祭のあり方を検討する。	
そば打ち講習会	11月16日 11月30日 12月8日	3回	地域文化	成人	10人	【内容】 年末を控え、そば打ちに関心が高まる時期でもあり、例年11月から12月にかけて実施するそば打ち講習会 【ねらい】 20年来続く講習会であり、参加者が相互に教えあう場面もあるため参加者同士の交流の機会としている。	公民館だよりで講座日程・講座への参加方法を地域住民へ周知	【評価と反省】 参加者の技量は様々だが、初心者でもそばの形になるように指導していただいているが、講師が勇退されたので、指導者の発掘が必要になっている。 【今後の方針】 信州の郷土食ともいえる蕎麦打ちを体験する機会として継続していきたい。	

令和4年度 事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
歴史文化継承講演会	11月26日	1回	地域文化	成人	22人	<p>【内容】 松本文書館の窪田特別研究員を講師にまつもと文化遺産認定記念講演「先人から受け継ぐ信仰と暮らしー深神社を中心にー」を開催した。</p> <p>【ねらい】 まつもと文化遺産認定を契機に、第二地区の歴史文化の継承への関心を高める。</p>	<p>【準備過程】 講師依頼 チラシを作成し、地域住民へ周知</p>	<p>【評価と反省】 歴史文化講演会は令和2年度から開催しているが、毎回、テーマを変えて第二地区歴史文化の解説をしていただき、今回は社寺等を中心とする認定文化財群と庶民の生活との関わりの解説が好評だった。</p> <p>【今後の方針】 「まつもと文化遺産認定がゴールではない」との講師の言葉どおり、歴史文化継承委員会を中心に第二地区の歴史探訪等、身近な文化財への関心を高める活動を継続していく。</p>	
ボウリング大会	12月4日	1回	スポーツ	成人	21人	<p>【内容】 地区内へ広く参加者を募って実施するボウリング大会。4～5名で1チームとすることでチーム内の交流を図る。</p> <p>【ねらい】 公民館から離れて実施することで日頃、公民館を利用しない参加者にも訴求し、参加者の裾野を広げる。</p>	<p>【準備過程】 12月第1日曜日を実施日として定着させている 公民館体育委員が会場手配、当日の設営等を担当</p> <p>【共催団体】 第二地区福祉ひろば 社協第二地区支会協賛</p>	<p>【評価と反省】 会場までの交通手段の確保、会場使用料が発生するため参加の要件があることはマイナス要因だが、親子での参加や公民館へ足を運ぶ機会のない人の参加もあり、公民館事業の一形態として定着している。</p> <p>【今後の方針】 「12月の第1日曜日開催」を継続し、第二地区公民館の事業として、より一層の定着を図る。</p>	
町内公民館長会視察研修	12月9日	1回	その他	その他	11人	<p>【内容】 町内公民館長の研修・交流の機会としてバスを使って遠距離を移動する視察研修を実施。</p> <p>【ねらい】 町内公民館長自身の文化活動への関心の惹起、人権学習等の経験を町会へ持ち帰ってもらうこと等を目的とする。</p>	<p>【準備過程】 町内公民館長会三役を中心に研修地の選定及び日程を設定する。</p>	<p>【評価と反省】 仕事を持つ町内公民館長が多く、平日の研修に参加できる人数が限られるため、人権啓発推進協議会視察との合同研修とする等で、地区内の役員同士の交流を図っている面がある。</p> <p>【今後の方針】 視察研修という形態ではなく、身近な場所での研修を実施する方策を探っていく。</p>	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第二地区合同三九郎	1月15日	1回	地域事業 (その他)	その他	100人	【内容】 子ども会育成会が主体の合同三九郎。子どもが少ない、若しくはいない町会が増え、第二地区内18町会のうち町会独自に三九郎を実施できるのは3町会のみという現状があるため、第二地区公民館、町会連合会も参画して地区合同の三九郎を実施。 【ねらい】 伝統行事の体験と多世代交流を通じて地域への愛着を涵養する。	【準備過程】 子ども会育成会で役員の役割等、分担を決定 公民館玄関に松飾の回収ボックスを設置し、松飾の収集を受け入れる 当日、松飾の解体、だるまの底抜き、櫓の組み立て指導をしていた だけの方の依頼 【協力団体】 第二地区長会連合会 第二地区地域づくり協議会	【評価と反省】 今年で2回目となる試みに町会連合会、地域づくり協議会、公民館が参画した。 今回は松飾の解体、だるまの底抜き、櫓の組み立てになるべく子どもが手を出せるよう、安全に配慮しながら町会長等が指導して準備を進め、多世代交流の要素も多分にあった。地区内の協力体制が組まれたことを評価したい。 【今後の方針】 第二地区の地区行事として定着するよう、公民館も協力していく。	
人権啓発推進協議会視察研修	3月7日	1回	人権平和	その他	12人	【内容】 人権啓発推進協議会の事業として実施。公民館は研修地の選定及び資料づくり等で参画している。地域づくり協議会、町内公民館長会との合同研修。 【ねらい】 地区内で指導的な立場を担っている役員が主な対象となり、人権学習の機会を提供することで円満な地域づくりの一助とする。	【準備過程】 人権啓発推進協議会三役を中心に研修地の選定及び日程を設定する。 バス内での事前研修の資料作成を公民館が担当。 【協力団体】 第二地区地域づくり協議会 町内公民館長会	【評価と反省】 今年度は杉原千畝記念館を研修地とした。研修内容自体は好評だったが、平日の開催では参加できる役員に限られているのは町内公民館長会と同様。 【今後の方針】 公民館として人権学習の機会を広く提供していけるよう、講座の開催を検討していく。	
第2回歩いて探そうお宝探訪ウォークラリー	3月21日	1回	地域文化	その他	43人	【内容】 地区内にあっても見過ごしがちな身近な史跡をウォークラリーで巡り、その後、講座で史跡にまつわる歴史等を学んだ。 【ねらい】 歩いて史跡をめぐって地域を再発見することで、地域愛を醸成する。参加した住民同士が交流することで、地域間交流を図る。	【準備過程】 市内6地区公民館主事を中心に、公民館長の協力を得て企画検討を行った。 各地区内広報、および市民タイムスで周知した。 【共催団体等】 第一、第三、東部、城東、大手公民館 及び第一、第二、第三、東部、城東、中央地区地域づくりセンター（福祉ひろばを含む）	【評価と反省】 6館合同の企画としての開催であったが、各館協力し合い参加者からも好評であった。 今回はコースが長すぎたという声があったので、今年度は地区を絞ってコースを短くした。 参加者は前回から半減（82名→43名）したが、開催規模としてもほぼ適切であった。 【今後の方針】 「普段なら気付かない地域の魅力に気づくことができた」等、参加者からは概ね講評であったので、次年度以降も継続して協力体制を組んで開催していきたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ポッチャ大会	5～11月	4回	スポーツ	高齢者	84人	<p>【内容】 パラスポーツとして注目されているポッチャの協議を体験するとともに、参加者の交流、健康増進を図る。</p> <p>【ねらい】 公民館の大会議室にポッチャコートをつくり、公式ルールよりも小さなコートとすることで高齢者にも親しみやすいスポーツであることを体感してもらう。</p>	<p>【準備過程】 コートの補修（ラインの貼り直し） 公民館だよりでの周知</p> <p>【共催団体】 公民館体育委員会の主管とし、福祉ひろば、町会連合会、健康づくり推進委員会と共催 社協第二地区支会協賛</p>	<p>【評価と反省】 ポッチャ大会に取り組んで2年目になり審判もできる参加者が増える等、ポッチャの地区内への浸透を窺わせる反面、参加者が固定化する懸念もある。小ぶりのコート2面で2ゲームを当時進行するため会場内の一体感があり、参加者からは好評を得ている。</p> <p>【今後の方針】 コートの規格にこだわらなければ気軽に取り組めるスポーツであること等を周知し、地区内へ一層の浸透を図る。</p>	
押し絵雑講習会	6～8月 11月	8回	地域文化	成人	42人	<p>【内容】 地区内在住の三村隆彦氏（ペラミ人形店）を講師として招き、本格的な松本押し絵雑を作製する。</p> <p>【ねらい】 松本に伝わる伝統工芸「松本押し絵雑」を学び、その文化と技術を身近に感ずるとともに、その楽しさを継承していく。</p>	<p>【準備過程】 公民館だよりで地域住民へ周知。前年参加者へ声掛け。 6～8月は時間をかけて製作に取り組む教材を選定 11月は新年を飾る干支押絵を1日で製作できる教材とした。</p>	<p>【評価と反省】 受講経験者と初心者では技量の差があるため、参加者同士が助け合うなどして、全員が完成させることができた。「同じ教材を作りながらも出来栄はそれぞれ」という点も受講者相互の交流の種になっている。</p> <p>【今後の方針】 伝統文化伝承という意義を考慮し、今後も継続実施していきたい。</p>	
マレットゴルフ大会	6～12月	4回	スポーツ	成人	46人	<p>【内容】 マレットゴルフ</p> <p>【ねらい】 地区住民の親睦を深め、健康増進を図る。</p>	<p>【準備過程】 体育委員等と会場、当日の日程を打合せた。 公民館だよりと口コミで周知</p> <p>【共催団体】 第二地区福祉ひろば</p>	<p>【評価と反省】 心と身体がリフレッシュできたと喜びの声が聞けた。回を重ねることに誘い合って参加するという動きも出てきた。</p> <p>【今後の方針】 健康増進には、楽しんで参加することも大事であることから、参加者の声を参考にしながら今後も継続実施していきたい。</p>	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
歌で健康力アップ講座	通年	25回	趣味教養	成人	620人	<p>【内容】 木次由美子先生を招いて、懐かしい曲を中心にオリジナル曲「第二地区讃歌」も歌いながら、発声により健康促進を図る。</p> <p>【ねらい】 発声による健康増進と、住民相互の親睦を図る。</p>	<p>【準備過程】 毎号の公民館だよりで講座日程・講座への参加方法を地域住民へ周知</p> <p>【かたくりコンサートへの参加】 講座の一環として「かたくりコンサート」に出演。出演に向けた練習、地区文化祭以外に発表の場を持つことで受講者の意欲が高まっている。</p>	<p>【評価と反省】 当講座から第二地区オリジナル曲「第二地区讃歌（せせらぎに寄せて・・・）」は、当講座から生まれ、地区の各種行事で歌われている。また、文化祭に出演するなど講座自体の知名度も地区に浸透している。</p> <p>【今後の方針】 長年続いている講座であることからリーダーを養成し、サークルとして独立させることも視野に入れていきたい。</p>	
にこにこ体操講座	通年	22回	スポーツ	成人	302人	<p>【内容】 太極拳の動きを取り入れたストレッチを中心に、体力維持・健康増進を目的とした体操教室</p> <p>【ねらい】 高齢者の健康増進、住民相互の親睦を図る。</p>	<p>【準備過程】 毎号の公民館だよりで講座日程・講座への参加方法を地域住民へ周知</p>	<p>【評価と反省】 参加者は高齢者が多く、日常生活の中で無理なく健康管理ができると好評。高齢者の転倒防止や膝・腰痛予防にもなり、人気の講座として定着している。</p> <p>【今後の方針】 講師不在でも活動できるようビデオ体操を取り入れ独立サークルとしていくことを視野に入れ、活動回数を増やしていく。</p>	
やさしい手話講座	通年	21回	趣味教養	成人	179人	<p>【内容】 講師を招き、テキストを中心に手話を学ぶ。</p> <p>【ねらい】 日常会話ができるようになることはもちろん、災害時等、有事の際にも役立つよう手話を習得することを図る。</p>	<p>【準備過程】 毎号の公民館だよりで講座日程・講座への参加方法を地域住民へ周知</p>	<p>【評価と反省】 手話を通じて聴覚障害者の方々とのコミュニケーションが深められている。また、継続実施してきていることにより、受講者の手話能力レベルが上がってきている。おり、日常会話等ができるようになってきている。</p> <p>【今後の方針】 受講者の固定化が見られるため、今後は、新しい受講者の確保に努め、継続して実施したい。</p>	

令和4年度 事業報告

第二地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
楽しいパソコン講習会	通年	21回	趣味教養	成人	160人	【内容】 高齢者を中心に、ゆっくりとしたペースで繰り返し教えるパソコン講座 【ねらい】 高齢者の生きがいづくりや認知症予防、住民相互の交流を図る。	【準備過程】 毎号の公民館だよりで講座日程・講座への参加方法を地域住民へ周知	【評価と反省】 ゆっくり丁寧に、一人ひとりにやさしく指導していただき、好評を得ている反面、「自分が望むレベルの講習会ではない」との声もある。 【今後の方針】 「一緒にパソコンを習っている」ということに充足感を感じている受講者が大半であることから、独立サークルとしていくよう働きかけている。	
公民館員会	通年	3回	公民館委員会・各種会議等	その他	261人	【内容】 運営、館報、図書視聴覚、体育、文化の五部門について委員会を組織。各委員会に対応する事業での活動、地区行事の運営への参画等の委員会活動を行っている。 【ねらい】 住民主体の公民館活動の推進、事業の開催に係る意思決定を住民自らが行うための協議体としての機能を持たせる。	【準備過程】 委員会ごとに随時開催 地区行事（盆踊り大会・文化祭）の実行委員会及び当日の運営に五部門委員全員が携わる。 【協力団体】 第二地区福祉ひろば 第二地区地域づくり協議会 社協第二地区支会	【評価と反省】 委員会ごとに各分野の事業の企画運営を行った。地区行事の開催可否について運営委員会を中心に決定した。（盆踊り大会の中止、規模を縮小した文化祭の開催） 【今後の方針】 各分野に対応する講座等を新たに企画する等、委員会活動の充実を図る。	
歴史文化継承委員会	通年	12回	地域文化	その他	80人	【内容】 令和2年度に公民館五部門委員会とは別に地区内の歴史文化を継承し、文化財の保護活用に資する団体として組織した委員会。 第二地区歴史史談会を前身とする歴史文化継承専門委員と町内公民館長を委員とする歴史文化継承委員で構成している。 【ねらい】 令和4年度は専門委員会を主体に第二地区内の文化財マップの改訂とともに史「まつもと文化遺産」の認定を受けるものを選定し、申請に向けての活動を行う。	【準備過程】 令和2年度から継続する活動として文化財マップの見直し・解説書の文言の確認・検討を行った。「まつもと文化遺産」の認定を受ける文化財を選定した。 【協力団体】 「まつもと文化遺産」認定に向けて文化財課の指導・助言を仰いだ。	【評価と反省】 「まつもと文化遺産」認定に係る申請書を7月26日付けで提出し、11月4日付けで18件の文化財・史跡等が認定を受け、地区内の文化財保存活用の機運を高める契機となった。一方で、町内公民館長に歴史文化継承委員会の活動の主旨が浸透していない面があるため、個々の町会に身近な文化財に親しむ機運を広めていくよう理解を得ることが必要。 【今後の方針】 令和5年度は歴史マップ改訂版を発行しするとともに文化財への関心を高める学習会等を実施していく。	

令和4年度 事業報告の概要

第三地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <p>1 コロナ禍に入ってから地区や町会のイベントが開催できていない状況が続き、地区住民同士の交流が希薄化し、特に高齢者が引きこもりがちになっている。住民同士の交流の機会を設けるためにも、地区行事や講座を闇雲に中止にせず、コロナ禍でどのように開催していくかを地区住民と協議することで、地区の活性化を図る。</p> <p>2 講座参加者が固定された傾向にあり、より幅広い層に公民館を利用してもらう仕組みづくりが必要である。そのために、地区住民とコミュニケーションをとったり地域課題を把握したりすることで、様々な世代のニーズに見合った講座を展開する。</p> <p>3 公民館を訪れない人や公民館講座に参加しない人の多くには、公民館がどんなことをしているのか分からないため敷居が高いといった声を聞く。多くの方に公民館を知っていただくこと、また講座参加への敷居を低くするためにSNSや動画投稿サイトを活用し、広く公民館活動について知ってもらう。</p>										<p>1 最初から開催中止を決めるのではなく、企画し進めながらコロナ感染状況を見て開催の可否を判断した。結果、中止せざるを得なくなった地区行事もあるが、町会内で準備を進めていただいたことでコロナ前の地区の活気を取り戻すきっかけとすることができた。</p> <p>2 母親向け講座やまちあるき、落語会など高齢者のみならず多様な世代をターゲットに講座を企画したことで幅広い層に参加していただけた。また、町内公民館長会主催講座では町会から原則1人参加としたことで、普段公民館を訪れない人たちが参加し、公民館の雰囲気を楽しんでいただくことができた。</p> <p>3 松本市ホームページや地区で運営するfacebookで講座を周知し、公民館だよりが届かない人たちにも広報をすることができた。また、講座の様子を知ってもらうため、実際に開催した講座を動画にし、公民館だよりにて広報を行った。まだ効果は出ていないが、今後もイベントや広報誌等で周知を行っていきたい。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	2	0	2	0	6	0	1	6	0	0	3	5	3
延べ参加人数	29	83	0	20	0	66	0	20	597	0	0	303	209	559

令和4年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
源池小学校クラブ活動支援	6月20日 7月4日 8月26日 10月3日	4回	その他	青少年	152人	【事業内容】 地区住民が源池小学校の放課後クラブ活動（手芸や将棋など）の指導を行う。 【ねらい】 地区住民・児童との交流を図る。	【講師】 地区住民数名	子どもたちには興味のあるクラブ活動を楽しむことができ、地域住民も子供たちに教えるやりがいを感じていただくことができて良かった。	○
源池小学校田植え支援	5月18日 5月27日 9月29日 10月12日	4回	その他	青少年	71人	【事業内容】 5年生を対象に校内にある田んぼにて田植え、稲刈りの体験を行う。 【ねらい】 児童たちの農業・自然環境に対する関心を高める。	【講師】 降旗 都子氏 高山 金久氏	籾にして30kg収穫することができた。また収穫後炊飯体験もでき、公民館にも分けていただいた。子供たちが農業体験ができる貴重な機会なので来年度も継続したい。	○
第三地区まちあるき講座～あがたの森に詳しくなろう～	6月2日	1回	趣味教養	成人	12人	【事業内容】 あがたの森の自然・文化について学ぶ。 【ねらい】 地域住民に自分の地区への愛着や興味・関心を高めてもらう。	【主催】 生活・文化委員会 【講師】 根萩 達也氏 渡邊 高良氏（オープンガーデン） 旧制高等学校記念館学芸員	昨年開催した委員の勉強会をもとに企画した。オープンガーデンが見頃な時期に開催ができ、専門家から自然や文化について詳しく学べたと好評であった。来年度も開催を希望する声があったため検討したい。	
水無月コンサート	6月12日	中止	地域事業（その他）	成人	0人	【事業内容】 あがたの森文化会館にて演奏会を実施 【ねらい】 住民同士、また住民と児童・生徒との交流を図る。	【主催】 町内公民館長会	※新型コロナウイルス感染拡大により中止	
バスウォーキング講座	7月4日 11月21日	2回	福祉健康	成人	36人	【事業内容】 バスで地区外のウォーキングを行う。 上高地（7月）、上田市城山史跡公園（11月） 【ねらい】 健康増進とともに住民同士の交流を図る。	【主催】 体育委員会 【ガイド】 溝口 清志氏	上高地では大雨のため予定を大幅に変更した。上田市では坂道がきつかったものの、自分たちのペースで楽しむことができたと好評であった。次年度も体育委員会で先行を協議し開催していきたい。	
スマホ講習会	7月15日 11月18日	2回	その他	高齢者	20人	【事業内容】 基礎的なスマホ操作について学ぶ。 【ねらい】 高齢者へのICT支援。	【主催】 DX推進本部	主催はDX推進本部であったが、地区住民から要望の多い内容を取り扱っていただくなど柔軟に対応いただいた。	

令和4年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
あがたの森夏まつり	8月2日	中止	地域事業 (その他)	成人	0人	【事業内容】 あがたの森公園で夏まつり(各町会の出店、青山様・ぼんぼん) 【ねらい】 住民同士の交流を図りつつ、青山様・ぼんぼんなど伝統文化を次世代に継承する。	【主催】 あがたの森夏まつり実行委員会	※新型コロナウイルス感染拡大により中止	
高めよ防災力!ハザードマップを読んで災害に備えよう	9月15日	1回	防災	成人	20人	【事業内容】 ハザードマップをもとに地区に起こりうる災害について学ぶ。 【ねらい】 防災意識の向上。	【主催】 生活・文化委員会 【講師】 消防防災課(出前講座)	第三地区は災害による被害が少ないものの、災害時の備えについて詳しく学ぶことができた。次年度防災講座を企画する際は、地区の防災部との連携も検討したほうが良い。	
お母さんのリフレッシュ講座	9月28日 10月26日 11月17日	3回	趣味教養	女性	19人	【事業内容】 未就園児の子を持つ母親を対象に、様々な気持ちのリフレッシュ方法について学ぶ。 第1回:ヨガ 第2回:ハンドマッサージ 第3回:珈琲の淹れ方 【ねらい】 母親がストレスを溜め込まない方法を学ぶとともに母親同士の交流を図る。	【講師】 第1回:粟澤 康恵氏(ヨガ講師) 第2回:萬羽 奈津美氏(salon Vigor) 第3回:岡島 夢喜乃氏(kololo coffee)	昨年度好評であった託児付き講座を今年度も開催した。普段は公民館を訪れない人たちにも参加していただいた。次年度は託児にこだわらず、親子参加型の講座も検討したい。	
手描友禅を体験しよう!(全2回)	10月 6日 10月20日	2回	趣味教養	成人	21人	【事業内容】 第三地区作品展への出展に向けた作品制作。 【ねらい】 作品展への出展数が減少していることから、作品制作の機会を設ける。	【主催】 町内公民館長会 【講師】 大橋 寿朗氏(和幸手描染色研究会)	町内公民館長から「作品展に出してくれる人が減少している」という声から企画した。各地区から原則1人の参加をお願いしたところ、普段公民館を訪れない人も参加し、制作を楽しんでいただけた。好評であったため来年度の開催も検討したい。	
第三地区作品展	11月5日 11月6日	1回	地域事業 (その他)	その他	303人	【事業内容】 地区住民の作品の展示や近隣小中学校の様子をまとめたDVDを上映。 【ねらい】 作品を通じて地区住民や児童・生徒との交流を図る。	【主催】 町内公民館長会	今年度は児童・生徒の作品展示ではなく、学校生活の様子をまとめたDVDを上映した。地区住民から「コロナ禍で学校に行けなくなったため様子が見れて良かった」と好評であった。	

令和4年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第三地区歴史探訪～あがたの森～	11月16日	1回	趣味教養	成人	4人	【事業内容】あがたの森にある旧制高等学校記念館を見学し、昔の地図を見ながら実際にあがたの森内を散策する。また、講座の様子を動画にし公民館講座の様子を知ってもらう。 【ねらい】地区住民に地元の歴史について興味を持ってもらう。また動画にすることで公民館講座の認知度を上げる。	【主催】生活・文化委員会 【講師】旧制高等学校記念館学芸員	6月に開催したあがたの森まちあるきが好評であったため、今回は旧制高等学校に重点を置き企画した。参加者は少なかったものの旧制高等学校に対する興味関心を高めることができた。動画については今後も周知をすることで講座参加への敷居を低くし、公民館講座の参加者を増やしていきたい。	
8mmフィルム上映会	11月25日	1回	その他	高齢者	15人	【事業内容】地区住民から8mmフィルムをお借りし、上映会を行う。 【ねらい】地区住民同士の交流の場をつくるとともに、回想法による認知症予防を図る。	【主催】公民館・地区生活支援員 【講師】三好 大輔氏（アルプスピークチャーズ代表）	地区住民からフィルムを提供いただいたことで、昔の第三地区の街並みが見られ参加者に非常に楽しんでいただけた。参加者同士で感想や当時思い出を語り合うなど地区住民同士の交流も図ることができた。	
押絵雛で来年の干支を作ろう	12月12日	1回	地域文化	成人	10人	【事業内容】押絵雛で来年の干支・兎を制作。 【ねらい】伝統文化の継承。	【講師】三村 隆彦氏（バラミ人形店）	今年は参加者が多く、ほとんどの人が時間内に完成させることができた。好評であったため来年度も企画したい。	
しめ縄お飾りづくり講座	12月18日	1回	地域文化	成人	10人	【事業内容】しめ縄・お飾りの制作。 【ねらい】伝統文化の継承。	【講師】吉澤 恵美子氏 他2名	毎年開催している人気の講座であり、今年も幅広い世代に楽しんでいただけた。講師が今年度をもって辞めてしまったため、来年度の講師を新たに選定する必要がある。	
お正月用フラワーアレンジメント講座	12月26日	1回	趣味教養	成人	8人	【事業内容】お正月に飾るフラワーアレンジメントの制作。 【ねらい】教養の向上とともに地区住民同士の交流を図る。	【主催】生活・文化委員会 【講師】中村 恵美氏	毎年開催している講座ではあるが例年参加者が少なく、今年は大半が職員という結果になってしまった。来年度も継続するか委員会で協議する必要がある。	
マイナポイント講座	1月25日	1回	その他	高齢者	3人	【事業内容】マイナポイントとは何か、その取得方法について学ぶ。 【ねらい】高齢者へのICT支援。	【講師】ドコモショップイオンモール店	民生児童委員から希望があり開講したが、機種やポイントの受け取り方法に条件があったことから敷居が高くなり、参加者が少なくなってしまった。ICT支援については今後も続けていきたい。	
新春落語～落語から学ぶ思いやり～	1月27日	1回	人権平和	成人	29人	【事業内容】「相手を思いやる気持ち」について落語を通じて学ぶ。 【ねらい】人権に対する意識の向上を図る。	【主催】第三地区人権啓発推進協議会 【公演】和泉家 志ん治氏（落語家・笑い療法士）	敷居が高い「人権」に関するテーマを落語を通して楽しみながら学ぶことができた。落語であることから普段の人権講座より多くの方に参加していただけた。	

令和4年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
利用者懇談会	2月17日	3回	公民館委員会・各種会議等	成人	25人	【事業内容】 第三地区公民館登録団体に向け利用説明や意見交換を行う。		2年ぶりの開催となり、改めて利用方法を見直してもらった。出席者が少ない傾向にあるため開催方法等を見直す必要がある。	
美術館に行ってみよう！	2月28日	1回	趣味教養	成人	2人	【事業内容】 アートカードから美術鑑賞の楽しみ方を学んだあと、実際に美術館に行き作品を見学する。 【ねらい】 地元にある美術館について興味関心を高めてもらう。	【講師】 松本市美術館学芸員	参加者は少なかったが、一人ひとりが学芸員と密に会話しながら、美術鑑賞の方法や作品について学ぶことができた。	
歩いて探そうお宝探訪ウォークラリー	3月21日	1回	福祉健康	成人	47人	【事業内容】 市街地の名所をウォークラリーをしながら巡る。 【ねらい】 普段目に留まらない名所を再発見してもらいながら、参加者同士の交流を図る。	【主催】 まちなかウォークラリー実行委員会 【講師】 後藤 芳孝氏（まつもと文化遺産保存活用協議会会長）	昨年の反省からウォークラリーの距離を短くしたことでおおむねスケジュールどおりに進めることができた。今年度が第一、第二地区を回ったため、来年度は第三地区近辺を回るコースを提案したい。	
あいさつ運動	通年	毎週金曜	その他	青少年	336人	【事業内容】 地区のボランティアが毎週金曜日の朝、各所に立ちあいさつ運動を行う。また、毎月第2金曜日にはあがたの森で近隣学校の児童・生徒とともにあいさつ運動を行う。		地区住民のみならず校長先生等にも参加いただき活動を継続することができた。来年度はより生徒の参加も呼びかけていきたい。	○
公民館運営委員会	通年	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	48人	【内容】 公民館の運営や事業計画について協議し、決定する。		公民館の利用状況や講座の実施状況のみの報告となっているため、今後活発な意見が出るような仕組みづくりが必要。	
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	68人	【内容】 館報の紙面構成、編集作業にあたる。		執筆の主が委員長・主事・館長となっているため、今後他の委員や地区住民にも依頼をしていきたい。	
体育委員会	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	成人	36人	【内容】 体育事業に関わる計画立案と実施にあたる。		講座開催の可否やウォーキングの行先について協議することができた。来年度はコロナ禍以降開催ができていない「世代間交流スポーツ講座」についてその内容や代替の講座等について協議する必要がある。	

令和4年度 事業報告

第三地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
生活・文化委員会	通年	4回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	32人	【内容】 住民の生活・文化に関する講座の計 画立案と実施にあたる。		委員から意見が出にくく、講座への参 加率も低い。昨年度から実施している アンケートをもとに、より委員の意見 を反映した講座を展開していきたい。	

令和4年度 事業報告の概要

東部公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。 ・だれもが安全・安心でいきいき暮らせる地域を目指す。 ・住民や地域に関わる方々に東部公民館を知ってもらい、また携わってもらえるよう事業を企画する。 ・各団体と連携・協力し事業を実施する。 ・できることで且つ継続していける事業に衣替えして行く。 <p>【重点的に取り組んだ事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 住民同士の交流を促す事業（2回以上の新規事業） 和食講座、きんぴら講座、スパイス講座、謎解きスタンプラリー等 2 全体講座・町内公民館出前講座 各団体主催の各種講座、町会連合会主催の交通安全と防災講座の完全実施を目指す 3 方針説明会の開催 4 住民の防災意識向上を促す事業 防災フェスティバル、非常食講座、避難所運営研修会等 5 伝統文化の継承 しめ縄作り講習会、三九郎マップ作成等 										<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響でのため、1件中止となり計画どおり実施はできなかった事業もあったが、それ以外の公民館事業全体講座は、計画した講座はすべて計画通り実施した。 ・新規事業の立ち上げ、実施を行い、大勢の参加者を呼び込むことができた半面、参加者の固定化が目立つ結果にもなり、参加できない方、事業自体を知らない方への周知方法など、課題も浮き彫りとなった。 ・防災意識を高めるため、初めて公民館の「局所的短期的避難所運営研修」を実施したほか、防災フェスティバル等意識向上のための事業を行った。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	2	1	4	1	10	3	2	6	2	2	2	2	1
延べ 参加人数	132	71	47	100	15	199	74	50	104	318	407	271	351	22

令和4年度 事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
防災緑地草刈り	5月15日 8月27日	2回	地域事業 (その他)	成人	60人	【事業内容】 防災緑地の草刈り 【ねらい】 避難場所の啓発周知及び、避難場所機能の維持	【準備過程】 町会役員と内容の検討を行い、町会防災部を通じて周知 【共催団体等】 東部地区連合町会	各回30名参加していただいている。 今後も年2回開催予定。	
方針説明会	5月20日 5月21日	2回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	55人	【事業内容】 公民館の活動方針について利用者に対して説明を行う。 【ねらい】 公民館の取組みについて認知周知を高め利用向上につなげる。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】	各回20名以上の参加があった。 毎年開催する必要はないかと思い、来年度は開催を見送る予定。	
俳句講座	5月24日 6月29日	2回	趣味教養	成人	34人	【事業内容】 俳句名人に講師を依頼し、俳句を勤しむ。 【ねらい】 講座をきっかけに利用向上につなげる。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】	講座をきっかけに昨年度サークル化した。 参加者は地区内、地区外を問わず、盛況だった。	
楽団ケ・セラ演奏会	5月28日	1回	人権平和	成人	76人	【事業内容】 楽団を招き、音楽を鑑賞する。 【ねらい】 演奏会をきっかけに利用者の人権意識の向上と親睦を図る。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 東部地区社会福祉協議会	参加人数が多く大盛況だった。 人権啓発の推進のため次年度以降も行いたい。	
ブロック別バス講座	5月30日 6月28日 7月20日	3回	趣味教養	成人	52人	【事業内容】 地区内ブロックごとにバス講座で馬籠視察を実施 【ねらい】 ブロックに分散させることにより、参加できる機会を増加させる。参加者の教養、親睦を深める。	【準備過程】 全戸配布用チラシを作成し周知 【共催団体等】 東部地区連合町会	町会別に実施。参加者が予定より少なかったため、来年度は3回から2回へと変更したい。	
高原でマレットゴルフ	6月22日	1回	スポーツ	高齢者	18人	【事業内容】 大芝高原でマレットゴルフ&トレッキング 【ねらい】 マレットゴルフで親睦を深めながら健康を増進させる。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】	参加者は例年通り。参加者が固定化の傾向になるため来年度は実施しない方向で考えている。それに代わるスポーツイベントを計画中。	
そば講座	6月25日	1回	趣味教養	成人	34人	【事業内容】 そばの打ち方の講習 【ねらい】 そば打ちをやるのではなく座学にて、そば自体について知ってもらう講座	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】	そばを打つ実習ではなく、座学を実施。そば同好会による試食会も開催。改めてそばについて知るよい機会になったと感想があった。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
環境講座	7月6日	1回	環境	成人	15人	【事業内容】 クリーンセンター、リサイクルセンターの視察 【ねらい】 施設視察を行い、自分たちが排出したゴミがどのように処理されるのか学び、環境意識を高める。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 東部地区連合町会	参加者が多いわけではないが、必要な研修だと思っているので、2～3年に1度の頻度で開催すべきだと考える。	
非常食講座	7月7日	1回	防災	成人	19人	【事業内容】 パッキングの講習、実践 【ねらい】 講習により、災害時の食糧確保スキルを身につけるほか、防災に対する事前準備の重要性について理解を深める。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 日赤奉仕団 東部地区連合町会	コロナ禍ということもあり、実際に調理したものを食べるができなかったため、消化不良であった。実践し、実食して結果を話し合う必要があったかと思う。次回開催は未定。	
楽しいラジオ体操	7月8日	1回	地域事業(体育)	青少年	240人	【事業内容】 公認1級ラジオ体操指導士によるデモンストレーション、ジャンケン大会 【ねらい】 ラジオ体操を通じて健康維持と親睦を図る。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 東部地区連合町会	例年通り大盛況であった。来年度は、多くの住民が集まるイベントであるため、交通安全の講座などを同時開催したい。	
なぞときスタンプラリー	7月30日	1回	地域文化	青少年	62人	【事業内容】 地区内の文化財や湧水を巡り、様々な「なぞ」を解きながら、制限時間内にゴールを目指す。 【ねらい】 地区内を巡り歩き、地区の良さの再発見につなげるとともに、青少年の健全育成に寄与	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 なぞときスタンプラリー実行委員会	今年初のイベントであったが、多くの方に参加いただいた。子ども達も楽しんでいた。健康増進、地域の親睦に寄与したイベントだった。	
居酒屋コンサート	8月5日	中止	趣味教養	成人	0人	【事業内容】 楽団を招き、演奏を聴きながら会食する。 【ねらい】 音楽鑑賞による文化向上と住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 居酒屋コンサート実行委員会	新型コロナウイルス感染症のため中止。演奏者がキャンセルを申し出たため。	
ボウリング大会	8月7日	1回	地域事業(体育)	成人	78人	【事業内容】 ボウリング大会の実施 【ねらい】 ボウリングによる健康増進と住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 東部地区体育協会	東部地区体育協会が中心となり実施。大盛況だった。健康増進に寄与した。来年度も開催予定。	

令和4年度 事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
自然観察ウォーク	8月17日 9月16日	2回	福祉健康	成人	41人	【事業内容】 赤沢自然休養林、上高地でのウォーキング 【ねらい】 ウォーキングによる健康増進と住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】	自然を満喫しながらのウォーキングで健康増進に寄与した。来年度も目的地を変更して開催予定。	
防災祭	9月4日	1回	地域事業 (その他)	成人	211人	【事業内容】 消防自動車の試乗体験や、給水車による応急給水体験、物販、振舞等 【ねらい】 体験を通じ災害時への備えとして対応力強化と防災意識の向上	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 東部地区防災祭実行委員会	防災緑地の場所の周知、防災意識の向上等に寄与したイベントだった。参加者も多く盛況だった。	
マレットゴルフ大会	9月11日	1回	スポーツ	成人	38人	【事業内容】 マレットゴルフ大会の実施 【ねらい】 ポウリングによる健康増進と住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 東部地区体育協会	東部地区体育協会が中心となり実施。大盛況だった。健康増進に寄与した。来年度も開催予定。	
自殺予防対策講座	9月13日	1回	福祉健康	成人	30人	【事業内容】 市の健康づくり課に講師を派遣してもらい、自殺防止対策「ゲートキーパー」について講座を実施 【ねらい】 自殺防止対策「ゲートキーパー」について内容の理解と役割の確認を図る。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 東部地区連合町会	みな真剣に講座を受講していた。参加者から「子どもの自殺が増えているらしいので、親や祖父母向けの講座を開催してほしい」との声をいただいた。対応していきたい。	
文化祭	10月14日 10月15日 10月16日	1回	地域事業 (文化)	成人	232人	【事業内容】 サークルや地区住民が日ごろの制作の成果を発表するもの。 【ねらい】 地区住民に発表の場を提供し文化向上を目指すとともに住民親睦を図る。	【準備過程】 【共催団体等】 東部地区連合町会 東部地区文化祭実行委員会	恒例行事。参加団体が減ってきている。文化祭自体の意義を考え直す時期に来ていると感じる。	
音楽祭	11月13日	1回	地域事業 (文化)	成人	175人	【事業内容】 サークルや地区住民が日ごろの活動発表の場とするもの。 【ねらい】 地区住民に発表の場を提供し文化向上を目指すとともに住民親睦を図る。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 東部地区連合町会 東部地区音楽祭実行委員会	例年はサークル発表会だったもの。サークルの減少により、音楽中心のイベントとした。来年度は開催方法を再度変更予定。	

令和4年度 事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
和食講座	11月16日	1回	趣味教養	成人	10人	【事業内容】 出汁の作り方、出汁を使った料理を和食のプロから学ぶ。 【ねらい】 和食文化の向上と食育について考える機会とする。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】	和食の基本、だしの取り方から教わった。参加者はメモを取りながら参加していた。「魚の捌き方を教えてほしい」との声が参加者からあったため、来年度対応したい。	
押絵雛講座	11月24日	1回	地域文化	成人	15人	【事業内容】 人形職人を招き、松本の伝統工芸である松本押絵雛を作る。 【ねらい】 伝統文化の継承と地域住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】	恒例行事。地区内外からの参加希望の連絡が来る。今後も続けたい。	
防犯講座	11月24日	1回	その他	成人	48人	【事業内容】 警察官を講師に「街頭犯罪」や「特殊詐欺」の被害防止対策など、身近な防犯について学ぶ。 【ねらい】 地域住民の防犯意識の向上を図る。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 東部防犯協会	東部交番所長と生活安全課の職員が講師。参加者は「自分は大丈夫と思っている人が危ないと知った。気を引き締めたい。」と話していた。	
あんころ餅と映画会	12月3日	1回	子育て	その他	47人	【事業内容】 餅つき大会と映画上映会の同時開催。 【ねらい】 親子で参加できる企画。子育て世代の参加を公民館活動への参加を促す。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 東部地区連合町会 こども育成つぼみの会	子どもメインのイベント。楽しくおいしくが重要。家族で楽しんでいただけたい。来年度も引き続き開催したい。	
防災講座	12月6日	1回	防災	成人	31人	【事業内容】 住宅浸水をテーマに避難のしかた、食に対する準備等を学ぶ。 【ねらい】 防災意識の向上、知識の習得	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 東部地区連合町会	今年は浸水がテーマ。過去女鳥羽川が氾濫したこともあり、参加者は真剣に話を聞いていた。来年度もテーマを変えて開催予定。	
きんぴら講座	12月8日	1回	趣味教養	成人	9人	【事業内容】 きんぴらと正月料理を作り方を和食のプロから学び、実践する。 【ねらい】 和食文化の向上と食育について考える機会とする。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】	正月のお節料理の定番、紅白なます、鯨の昆布巻き、田作りなどを学んだ。文化継承に寄与した。	
しめ縄作り講習会	12月17日	1回	地域文化	成人	23人	【事業内容】 しめ縄作りの講習、体験 【ねらい】 伝統文化の継承と地域住民の親睦	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】	毎年の恒例行事。文化継承、多世代交流をすることができた。来年度も開催したい。	

令和4年度 事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
年末大掃除会	12月28日	1回	その他	成人	24人	【事業内容】 公民館利用サークルにより公民館の清掃を行うもの。 【ねらい】	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】	恒例行事	
三九郎マップ作成		1回	地域文化	成人		【事業内容】 女鳥羽川の河川敷で行われる三九郎を紹介するマップの作製 【ねらい】 「女鳥羽川の魅力を伝えること」を目的として発行	【準備過程】 つぼみの会、他地区町会、こども育成課から情報を得て、12月広報配布日に間に合うように作成する。	町会に全戸配布。地区内公民館にもお願いし、チラシを設置し。好評を得ている。今後も続けたい。	
清水中学校清流コミュニティスクール(書道)		1回	その他	青少年	22人	【事業内容】 CS事業の一環。地区の書道サークルの方のご協力をいただき、国語の授業の補助を行っている。 【ねらい】 学校と地域のつながりを強める。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】	子ども達との世代間交流、学校と地域のつながりを強めることができるとてもいい事業。今後も続けたい。	○
新春書初め大会	1月4日	1回	趣味教養	青少年	22人	【事業内容】 公民館書道サークルの指導により書初めに取り組むもの 【ねらい】 学校の書初め宿題のフォローを行い、子どもと公民館の結びつきを強める。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】	子ども達との世代間交流、世代間のつながりを強めることができるとてもいい事業。今後も続けたい。	
人権講座	1月18日 1月24日	2回	人権平和	成人	56人	【事業内容】 発達障がいサポート・マネージャーを講師に招き、発達障がいについて学ぶ。 【ねらい】 地区住民の人権意識の向上	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 人権啓発推進協議会	足元が悪い中でも参加者が減らず、みな真剣に受講していた。「LGBTについても学びたい」という意見が参加者から出たので、来年度開催したい。	
講談体験講座	2月6日 3月6日	2回	趣味教養	成人	10人	【事業内容】 寄席の話芸、講談の初歩的なことについての講習と講談体験 【ねらい】 伝統芸能に触れ、文化醸成を図る。	【準備過程】 講師作成のチラシを町内回覧 【共催団体等】	伝統芸能に触れる良い機会であった。実際に講師のように話す体験をしていたが、なかなか難しそうであった。機会があればまた開催したい。	
ニュースポーツ講座	2月14日	1回	スポーツ	成人	18人	【事業内容】 スマイルボウリングや囲碁ボールの実施 【ねらい】 健康増進と地域住民の交流を図る。	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】 東部地区体育協会	簡単に楽しく盛り上がっていた。チーム内での親睦も深まっているようだった。来年も種目を変えて開催したい。	

令和4年度 事業報告

東部公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スパイス講座	2月21日	1回	趣味教養	成人	18人	【事業内容】 専門家を招き座学でスパイスについて学ぶ。 【ねらい】 食育の普及と地域住民の交流	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】	地区外、市外からの参加もあった。参加者が気になる講座は地区など関係ないということの結果で示した講座だった。来年度は調理も含めて行いたい。	
農家の畑に行こう	3月9日	1回	その他	成人	10人	【事業内容】 栽培現場の見学、家庭菜園に役立つ知識やアドバイス、循環型農業について学ぶ。 【ねらい】 食育の普及と地域住民の交流	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】	野菜作りのプロからは学ぶことが多く参加者は積極的に質問していた。時間を忘れるくらい活発な講座であった。	
スマホ講座	3月14日	1回	趣味教養	高齢者	10人	【事業内容】 ドコモスマホ教室の講師陣を招聘し、スマホの操作方法、基本的な使い方を学ぶ。 【ねらい】 DXの普及と地域住民の交流	【準備過程】 全戸配布のひろばニュースにて周知 【共催団体等】	参加者3人につき、講師が1人という体制だったため、満足度は高かった様子。参加者の疑問に講師陣は丁寧に答えていた。	
東部ひろばニュースの発行	通年	12回	その他	成人		【事業内容】 公民館情報の提供 【ねらい】	【準備過程】 【共催団体等】 東部地区福祉ひろば	翌月の行事を周知することが目的。	
松本市公民館報東部版の発行	通年	6回	その他	成人		【事業内容】 公民館情報の提供 【ねらい】	【準備過程】 【共催団体等】	公民館活動の報告がメイン。	
各種委員会	通年	29回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	296人	【事業内容】 【ねらい】	【準備過程】 【共催団体等】		

令和4年度 事業報告の概要

城北公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <p>1 コロナ禍におけるふれ愛の創出・継続 コロナ禍においても住民同士の「ふれ愛」の創出、継続を行うため、三密を避け、工夫しながら事業を実施する。</p> <p>2 地域との連携 住民の豊かな生活づくり、地域づくりのよりどころとして、住民が地域や暮らしについて主体的に考え、行動できるよう、公民館委員会を始めとした各種団体と次のとおり協議、連携し、住民と共に講座づくりを行う。 (1) 子どもを対象とした事業は、子ども会育成会や学校と連絡・協議して実施する。 (2) 地区公民館が地区の南端にしていることから、町内公民館と連携し、出張講座を実施する。</p> <p>3 地域住民の要望を取り入れた事業実施 事業内容や参加者が固定化しないよう、常に新しい講座を取り入れていく。</p>	<p>1 コロナ禍で地区文化祭である「ふれ愛まつり」を縮小開催する等、感染症対策を徹底して「ふれ愛」の創出・継続に努めた。</p> <p>2 健康増進を目的とした講座を地区公民館から離れた町内公民館で実施し、地区公民館までアクセスできない住民の学習機会の確保に努めた。</p> <p>3 令和3年度に実施した公民館事業アンケートに基づき、住民要望による新規講座を実施した。</p>

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	3	3	1	1	18	4	0	3	2	1	0	6	0
延べ 参加人数	46	126	66	12	19	449	91	0	69	79	300	0	222	0

令和4年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
アルプス公園自然観察講座	4月25日	1回	環境	成人	19人	【事業内容】 ・講師：安曇野郷土博物館学芸員 ・自然豊かなアルプス公園を散策し、植物について学ぶ。 【ねらい】 ・教養向上 ・健康増進	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・普段は立ち入らない公園内のコースを散策し、概ね好評であった。 【今後の方針】 ・季節を変えながら継続。 ・地区近隣の会場であることから当面は現地集合、解散の実施方式を継続。	
文化部講演会	5月11日 2月17日	2回	趣味教養	成人	59人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・第1回（R3年度延期分）「極楽をのぞいてみましょう」 ・第2回「昔の人は夢をどうみたか」 【ねらい】 ・教養を深める。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：公民館文化部	【評価と反省】 ・講演会の企画や運営等について、文化部員である住民が主体的に行った。 【今後の方針】 ・継続	
親子バス遠足	5月15日	中止	趣味教養	青少年	0人	【事業内容】 ・博物館「地球の宝石箱」を訪問して地質学を学ぶとともに、近隣の公園でのびのび遊ぶ。 【ねらい】 ・教養向上 ・学年等を越えた子ども同士、親同士の親睦	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・コロナ禍により中止。 【今後の方針】 ・子ども会育成会の行事と連携し、内容の充実及び効率化を図る。	
ウォーキング大会	5月21日	1回	地域事業 (体育)	成人	33人	【事業内容】 ・4コース（2.5km、4km、5km、6km）に分かれて地区内をウォーキングする。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・健康増進	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 共催：福祉ひろば・公民館体育部・住みよい町づくり協議会健康の部会・健康づくり推進員	【評価と反省】 ・雨天により屋外のウォーキングは中止し、屋内で軽スポーツ等を行った。 ・軽スポーツ等の内容は、共催団体の住民が、その場で工夫し、主体的に運営した。 【今後の方針】 継続	

令和4年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
手作りパンとスイーツ講座	5月24日 6月26日 7月11日	3回	趣味教養	成人	33人	【事業内容】 ・パンと簡単なお菓子の作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・3回中1回を休日開催し、普段公民館に馴染みのない親子や若者の参加につなげる。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・休日開催の回は、ほとんどが親子での参加となり、ねらいを達成した。 【今後の方針】 ・継続	
マレットゴルフ大会	6月4日 11月5日	2回	地域事業 (体育)	成人	46人	【内容】 ・会場：アルプス公園 ・マレットゴルフを行う。 【ねらい】 ・健康増進 ・参加者の交流	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：公民館体育部	【評価と反省】 ・道具や記念品の準備、当日の運営まで、体育部員の住民が全て主体的に行った。 ・新規参加者も増え始め、交流を深めることに寄与している。 【今後の方針】 ・継続	
丸の内病院健康教室	6月8日 8月31日 11月25日 1月27日	3回	福祉健康	成人	38人	【内容】 ・講師：丸の内病院 ・地区住民が関心のある健康に関するテーマについて講座を行う。 ・2回目、4回目は、町内公民館で試験的に実施。 【ねらい】 ・健康増進 ・健康に関する知識を深める。 ・町内公民館での講座実施により、地区公民館に馴染みのない住民が公民館事業に触れる機会とする。	【準備過程】 ・町内公民館での講座実施について、町内公民館長と相談・調整した。 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・8月はコロナ禍で中止。 ・町内公民館で実施した回は、地区公民館の事業には見られなかった住民の参加もあり、ねらいを達成した。 【今後の方針】 ・町内公民館での実施も含めて継続	

令和4年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
歴史講座	6月20日 7月25日 8月22日 9月28日 10月 5日 11月28日 12月 5日	7回	趣味教養	成人	122人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1～3回「歴史とロマン講座」 講師：松本市文化財審議委員 全座学 ・第4・5回「井川城・林城を学ぶ」 講師：松本市文化財課 座学+現地視察 ・第6・7回「国宝松本城を学ぶ」 講師：地区住民 座学+現地視察 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史学習 ・教養向上 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4～7回は、令和3年度に実施した公民館事業アンケートの結果に基づき、内容を公民館文化部員を含めて相談、講師の調整を行った。座学のみならず、現地視察を交えた講座を展開することにした。 ・区内全戸配付チラシにて周知。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果に基づく住民ニーズに応えた講座内容として、概ね好評だった。 ・座学と現地視察を交え、テーマについて深く学ぶことができた。 ・第5回の現地視察は、庁用バスが予約できなかったため、現地集合により実施した。乗り合わせ等により一定数の参加は得られたため、庁用バスの活用と合わせて現地集合型の視察も検討していく。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続 	
古きを訪ね新しきを悠学する講座	6月29日 7月 7日	2回	福祉健康	成人	39人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：地区住民 ・内田地区の文化財について学ぶ。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の交流 ・教養向上 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内全戸配付チラシにて周知。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習と現地視察を行った。 ・事前に学習した内容を、現地で実際に見学することで、より深い学習を行うことができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続 	
育成会バス学習会	7月3日	1回	趣味教養	青少年	25人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行先：国営アルプスあづみの公園 ・自然の中で外遊びやネイチャークラフトといった経験から学ぶ。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの交流 ・学校ではできない自然体験 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内全戸配付チラシにて周知。 <p>【共催団体等】</p> <p>主催：子ども会育成会 共催：城北公民館</p>	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の参加者意見を踏まえ、育成会と相談し、会場を例年の場所から変えて開催した。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続 	
小中学生夏休み自習室	7月26日 ～ 8月19日	1回	子育て	青少年	21人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み中の子ども達への自習室として、エアコンの効いた公民館の一室を期間中の開館日（平日）に開放する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適な学習環境の提供。 ・子どもに公民館を身近に感じてもらう。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度に実施した自習室利用者アンケートに基づき、会場を確保。 ・区内全戸配付チラシにて周知。 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用する子どもは固定化しつつあるが、実施期間中は毎日利用されており、ニーズがある。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続 	

令和4年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
けん玉教室	8月5日	1回	趣味教養	その他	20人	【事業内容】 ・講師：市内けん玉チーム代表 【ねらい】 ・健康増進 ・世代を超えた交流	【準備過程】 ・令和3年度公民館事業アンケート結果に基づいて、内容を企画、講師と調整。 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・夏休み期間に合わせて実施したことで、子どもから大人まで幅広い年代の参加者が集まった。 ・講師の理解が得られ、世代間交流を行う機会を多く設けていただいた。 【今後の方針】 ・継続	
平和を語る会	8月9日	1回	人権平和	成人	32人	【事業内容】 ・「ウクライナの現状と支援」 講師：日本チェルノブイリ連帯基金理事長 【ねらい】 ・人権啓発 ・人権保護意識を高める。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：城北地区人権啓発推進協議会 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・ロシアのウクライナ侵攻を受け、支援者からその現状等を講演いただいた。 ・時事的なテーマであったことを受け、例年より多くの参加者が集まった。 【今後の方針】 ・継続	
文化部視察研修	8月26日	1回	趣味教養	成人	27人	【事業内容】 ・行先：山梨県甲府市 ・城下町や史跡等を訪ねる。 【ねらい】 ・教養の向上 ・参加者の交流	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：公民館文化部 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・視察先や内容の企画や資料の準備等を主催者である公民館委員会文化部が主体的に行った。 【今後の方針】 ・継続	
旧開智学校耐震対策工事見学会	9月6日 10月12日	2回	趣味教養	成人	29人	【事業内容】 ・耐震対策工事中の旧開智学校の様子を見学する。 【ねらい】 ・教養向上	【準備過程】 ・旧開智学校と密偵調整 【共催団体等】 主催：第1回 城北公民館文化部 第2回 城北公民館	【評価と反省】 ・平常時では見られない、壁や床の内部を見学し、地区内の文化財を改めて顧みる機会となった。 【今後の方針】 耐震化工事後に再度見学会を検討	

令和4年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スマホ体験講習会	9月16日 1月13日	2回	趣味教養	成人	18人	【事業内容】 ・講師：ソフトバンク ・スマホの基本的な操作を学ぶ。 【ねらい】 ・デジタルデバイドの解消	【準備過程】 ・DX推進本部によるデジタルデバイス解消事業として実施。 【共催団体等】 主催：DX推進本部 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・初心者向けのスマホ講座として好評だった。 ・講習に使用したスマホと普段使用するスマホとでOSが異なる参加者からは個別対応を求められることもあった。 【今後の方針】 デジタルデバイス解消事業として内容を検討	
いきいき健康講座	10月15日 11月19日	2回	福祉健康	成人	49人	【事業内容】 ・健康に関する講話、簡単なストレッチなどを行う。 【ねらい】 ・運動不足解消 ・健康増進	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：公民館体育部、住みよい町づくり協議会健康の部会 共催：城北公民館、福祉ひろば	【評価と反省】 ・企画から運営まで、主催者である住民が主体的に行った。 ・講話と合わせて簡単なストレッチや筋力トレーニングを行い、コロナ禍で閉じこもりがちな参加者の健康増進につなげた。 【今後の方針】 ・継続	
ファミリーコンサート	10月16日	1回	子育て	青少年	29人	【事業内容】 ・楽団ケ・セラによる親子向けのコンサートを行う。 【ねらい】 ・教養向上 ・親子の交流	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：子ども会育成会 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・親子での参加は少なかったが、地域の大人と子どもが音楽鑑賞をとおして交流する機会となった。 ・障がい者の自立を目指す楽団を演奏に招いたことで、参加者の人権意識の高揚にもつながった。 【今後の方針】 ・継続	
ハワイアンキルト講座	10月21日 11月11日	2回	趣味教養	成人	22人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・ハワイアンキルトのポーチの作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流。 ・趣味の幅を広げる。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・講座時間内の完成は難しいが、冬のこもりがちな時期に自宅で取り組む趣味の創出機会となった。 【今後の方針】 ・継続	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
ふれ愛まつり	10月29日	1回	地域事業 (文化)	成人	300人	【事業内容】 ・地域づくりを目的とした地区文化祭を開催する。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・学習成果の発表	【準備過程】 ・地区住民で構成される実行委員会の中で、開催内容等について検討。 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：ふれ愛まつり実行委員会	【評価と反省】 ・コロナ禍により規模を縮小したが、3年ぶりに開催し、実行委員や来場者からは概ね好評であった。 【今後の方針】 ・実行委員会の中で検討しながら継続	
他地区をめぐる講座	11月8日	1回	趣味教養	成人	19人	【事業内容】 ・行先：白板地区 ・他地区を探訪し、歴史や文化財について学ぶ。 【ねらい】 ・教養向上	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：公民館文化部 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・文化部員である住民が主体的に企画した。 ・近隣地区を訪ね、歴史や文化財について学んだ。 【今後の方針】 ・継続	
珈琲焙煎講座	11月27日	1回	趣味教養	成人	11人	【事業内容】 ・珈琲焙煎の方法を学ぶ。 【ねらい】 ・趣味の幅を広げ、掘り下げる。 ・珈琲の健康に係る知識を深める。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・試飲の際には参加者同士で味の感想を言い合いながら交流を深めた。 ・参加者が固定化しつつあるが、参加者からは年に1回は焙煎方法を確認できる場があって良いと好評。 【今後の方針】 ・継続	
ふれ愛まつり写真展	11月28日 ～ 12月27日	1回	趣味教養	成人	—	【事業内容】 ・3年ぶりの開催となった地区文化祭の様子を記録した写真を展示する。 【ねらい】 ・写真鑑賞をととした住民の交流 ・文化祭当日に来られなかった人への周知	【準備過程】 ・文化祭当日の様子を記録した住民から展示について提案を受け、企画。 ・地区内全戸配布チラシにて周知。	【評価と反省】 ・コロナ前に比べて日程が縮小されたため、来場できなかった住民に、当日の様子を味わってもらえた。 ・当日来場していた住民同士で思い出を語らう交流の機会となった。	
クリスマスリースを作るう	11月29日	1回	趣味教養	成人	7人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・100円ショップ等で手に入る材料で手軽にリース作りを楽しむ。 【ねらい】 ・趣味の幅を広げる。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・参加者同士で作品の途中経過を見せ合い、交流しながら制作を楽しんだ。 【今後の方針】 ・講師と調整	

令和4年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
城北地区人権啓発推進協議会視察研修	12月10日	1回	人権平和	成人	14人	【事業内容】 ・長野県人権啓発センターを視察 【ねらい】 ・人権意識の更なる向上 ・委員相互の交流を深め、日頃の啓発活動につなげる。	【準備過程】 ・人権啓発推進協議会委員に通知。	【評価と反省】 ・センターの展示物の観覧に加え、センター内での講演会を聴講し、人権意識を高めた。 【今後の方針】 ・継続	
城北公民館年末大掃除	12月9日	1回	その他	成人	50人	【事業内容】 ・公民館を利用している約50の団体からなる「城北友の会」が年に一度公民館の大掃除を行う。 【ねらい】 ・公民館の美化、保全 ・自ら利用する公共施設を大切にす意識を育む。	【共催団体等】 主催：城北友の会 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・約半日の日程の中で、団体の枠を超えて協力し合い、大掃除を行うことができた。 【今後の方針】 ・継続	
しめ縄作り講座	12月14日	1回	地域文化	成人	12人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・正月のしめ縄の作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・日本の伝統であるしめ縄作りを学び、正月を彩る。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・当日は講師から教わるだけでなく、参加者同士で教え合う雰囲気は自然に作られ、交流が深められた。 【今後の方針】 ・現在の講師からは終了したい意向が示されているため、別の講師を検討。	
書初め大会	1月4日	1回	その他	青少年	19人	【事業内容】 ・講師：書道サークル講師他 ・書初め大会を行う。 【ねらい】 ・正月行事に触れる。 ・講師の添削を受けながら書道技術を向上する。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：子ども会育成会 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・毎年の恒例行事として実施した。 ・4名の講師が連携し、丁寧に指導した。 【今後の方針】 ・継続	
ケーキ作り教室	1月15日 1月25日 2月3日 2月14日	4回	趣味教養	成人	42人	【事業内容】 ・ケーキ作りを学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・4回中1回を休日開催し、普段公民館に馴染みのない親子や若者の参加につなげる。	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・休日開催の会では、親子参加が見られ、ねらいを達成した。 ・時期に合わせたメニューになるよう調整し、参加者からは好評だった。 【今後の方針】 ・継続	

令和4年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スキーツアー	1月22日	1回	スポーツ	成人	12人	【事業内容】 ・市内のスキー場でスキーに親しむ。 【ねらい】 ・冬場の運動不足解消 ・参加者の交流	【準備過程】 ・区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：城北地区健康づくり推進員会、住みよい町づくり協議会健康の部会 共催：城北公民館	【評価と反省】 ・コロナ禍により3年ぶりに実施。 ・例年より人数は少なかったが、参加者からは概ね好評であった。 【今後の方針】 ・継続	
雪中キャベツ収穫体験	1月28日	中止	趣味教養	成人	0人	【事業内容】 ・小谷村で雪中キャベツの収穫体験を行う。 ・雪に覆われた地域の資源について学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・小谷村について学ぶ。		【評価と反省】 ・庁用バス予約不能により、交通手段が確保できず、中止。 【今後の方針】 ・他の視察系の講座と合わせ、内容や場所を変えながら継続	
小さな仲間たち・その5	2月1日 ～ 3月2日	1回	その他	成人	—	【事業内容】 ・地区住民が撮影した写真の展示会を行う。 【ねらい】 ・作品鑑賞をとおした住民の交流	【準備過程】 ・区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・昆虫や小動物等を題材とした写真で、来場者からは好評だった。 ・地区外からも観覧者が来場した。 【今後の方針】 ・作品提供者と調整	
軽スポーツ交流会	2月5日	1回	スポーツ	成人	19人	【事業内容】 ・老若男女問わず楽しめる軽スポーツを行う。 【ねらい】 ・冬場の運動不足解消 ・参加者の交流	【準備過程】 ・区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：城北公民館、公民館体育部、住みよい町づくり協議会健康の部会、子ども会育成会	【評価と反省】 ・コロナ禍により3年ぶりに開催されたため、運営に苦心する場面もあったが、参加者は、世代を超えて軽スポーツを楽しんだ。 【今後の方針】 ・継続	
男衆のキッチン	2月10日	1回	趣味教養	成人	9人	【事業内容】 ・講師：城北地区食生活改善推進委員 ・男性の料理教室を行う。 【ねらい】 ・男性の料理技術向上 ・男性の公民館活動参加促進	【準備過程】 ・区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体】 主催：城北地区社会福祉協議会	【評価と反省】 ・コロナ禍により3年ぶりに実施。 ・参加者はコロナ前より少数だったが、大変好評だった。 【今後の方針】 ・継続	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スケート教室	2月23日	1回	スポーツ	青少年	20人	【事業内容】 ・長野市エムウェーブでスケート体験を行うとともに併設のオリンピックミュージアムを見学する。 【ねらい】 ・親子の交流 ・学校や学年を超えた子ども同士の交流	【準備過程】 ・主催者と内容を調整。 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 主催：公民館青年部	【評価と反省】 ・主催住民により、例年のアウトドア体験から内容を変えて、初めて企画。 ・参加者は、広々としたリンクでスケートを楽しんだ。 ・長野オリンピックの様子について、当時から知らない子どもたちが実物の展示品を見て学ぶ機会となった。 【今後の方針】 ・主催者と調整	
ボウリング大会	2月25日	1回	スポーツ	成人	40人	【事業内容】 ・町会対抗のボウリング大会を行う。 【ねらい】 ・冬場の運動不足解消 ・参加者の交流	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・コロナ禍により3年ぶりに開催し、盛り上がった。 ・町会対抗ではあるが、隣接レーン等、町会の枠を超えて交流する機会となった。 【今後の方針】 ・継続	
企画運営委員会視察研修	3月10日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	9人	【事業内容】 ・行先：富岡製糸場 ・文化施設や史跡の視察を行う。 【ねらい】 ・教養向上 ・公民館事業の企画につながる知識、交流を深める。	【準備過程】 ・企画運営委員会の中で行先について協議・決定。	【評価と反省】 ・参加者は少なかったが、参加者の交流をより深めることができた。 【今後の方針】 ・継続	
針金ハンガーをリメイクしよう	3月16日	1回	趣味教養	成人	6人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・家で持て余してしまう針金ハンガーの活用方法を楽しみながら学ぶ。 【ねらい】 ・参加者の交流 ・趣味の幅を広げる	【準備過程】 ・地区内全戸配付チラシにて周知。	【評価と反省】 ・コツを得るまで、参加者は苦心していたが、講師の丁寧な指導でフォローいただいた。 【今後の方針】 ・手芸の講座として内容を変えながら継続	
親子料理教室	3月18日	1回	子育て	青少年	16人	【事業内容】 ・講師：地区住民 ・親子で楽しみながら料理を学ぶ。 【ねらい】 ・親子の交流	【準備過程】 ・主催者と講師でメニューを検討。 ・地区内全戸配付チラシにて周知。 【共催団体等】 ・主催：子ども会育成会	【評価と反省】 ・コロナ禍により3年ぶりに実施したこともあり、事前の打合せ等時間を要したが、当日は料理をとおして親子の交流を深めた。 【今後の方針】 ・継続	

令和4年度 事業報告

城北公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
企画運営委員会（会議）	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	68人	【事業内容】 ・公民館運営のための委員会を開催する。	【準備過程】 ・地区内各種団体より委員選出。	【評価と反省】 ・通年の公民館事業について、実施結果等を報告することをおし、企画検討することができた。 ・また、各部門の事業についても情報共有することで連携強化に寄与した。 【今後の方針】 ・継続	
館報編集	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	81人	【事業内容】 ・館報城北地区版編集のための会議を開催する。	【準備過程】 ・地区内各種団体より委員選出。	【評価と反省】 ・様々な役員や施設に着目し、改めて地区の活動等に目を向ける記事を取材、掲載した。 ・五部門委員会の中でも特に活動回数が多く、委員の負担が大きいことが例年の課題。 【今後の方針】 ・継続	
館報記録	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	14人	【事業内容】 ・公民館事業及び地区内の活動を記録する。	【準備過程】 ・地区内各種団体より委員選出。	【評価と反省】 ・委員同士で教え合いながら写真技術の更なる向上に努めた。 ・撮影した写真及び撮影者である委員の事業に対する所感を館内の展示を実施し、写真が住民の目に触れ、事業を振り返る機会を設けた。 【今後の方針】 ・継続 ・館報編集委員との連携強化	
文化部	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	24人	【事業内容】 ・ふれ愛まつり及び研修・講演会の打ち合わせを行う。	【準備過程】 ・地区内各種団体より委員選出。	【評価と反省】 ・下見を行なったうえで視察研修の行程を決定する等、委員が主体となって積極的に企画、運営している。 【今後の方針】 ・継続	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
体育部	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	26人	【事業内容】 ・ウォーキング大会、マレットゴルフ大会等の打ち合わせを行う。	【準備過程】 ・地区内各種団体より委員選出。	【評価と反省】 ・必要物品の準備、当日の運営等、委員自らが積極的に関わっている。 ・恒例行事であっても内容を変える等、参加者を飽きさせないよう工夫した。 【今後の方針】 ・継続	

令和4年度 事業報告の概要

大手公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中央地区は家族だ」をスローガンに、地域住民がお互いに支え合っていけるよう住民の場づくり・関係づくりに取り組む。 ・地域づくりセンターを中心に公民館や福祉ひろばが独自性を出しながら地区住民の多くの参加・参画を促し公民館事業、公民館委員会の活動をより充実させ、主体的な住民を育成する。 ・「自分が頼りにされている。」、「自分がいなければこの行事はできない」という主体的な意識を少しでも持たせることで、地域への愛着と生きがいづくりにつなげてもらえるような「人づくり」を実施する。 ・松本城南・西外堀復元事業や内環状北線整備事業、新庁舎建て替え事業、新基幹博物館建設事業など、地区内のハード事業が目白押しであり、住民にも関心を持ってもらえるよう取り組む。 ・住民の知りたい、学びたい、やりたい思いを汲み取り、また、困りごとや課題を把握し、公民館事業をより充実させる。 ・中央地区福祉ひろばとともに開館20周年を迎え、ともに歩んできた地区住民たちと記念事業を実施し、地域づくりの拠点である公民館の役割を改めて内外に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉互助会での福祉活動、学びと交流を活かした公民館活動など、コロナと共生しながら行うことが出来た。 ・図書・視聴覚委員会では、そのままにしておくとも埋もれてしまう地区内の資源の記録に取りくむことができた。 ・地区団体及び公民館委員会からなる「開館20周年記念特別事業実行委員会」を組織し、記念事業について企画・運営を行った。コロナ禍ではあったが「ぜひ盛大に行いたい」と熱い思いを持つ実行委員たちの積極的な参加により、他地区に誇れる事業が実施でき、住民の自信にもつながった。今回の記念事業を通して、今まで公民館に関わったことがない企業や団体との交流が生まれた。これらのつながりを今後の地域づくりへ活かしていきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	8	6	8	1	4	4	3	5	1	2	5	2	0
延べ 参加人数	35	751	269	106	5	116	97	245	351	16	120	796	495	0

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
中央地区お花見会	4月	1回	地域事業 (その他)	成人	60人	桜の時期に合わせて、地区住民の親睦と交流を図る。	【準備過程】 地区町会連合会が主体となり企画・運営 【共催団体等】 福祉ひろば、地域づくりセンター、社協地区支会	【評価と反省】 2年ぶりに開催。コロナ対策について役員が協議を重ね実施した。当日役員が撮影した松本城周辺の桜の写真をスライドショーで上映するなど新たな取り組みもあった。 【今後の方針】 地区住民の交流の場として継続開催。松本城公園での開催も検討したい。	
中央地区 人権啓発推進協議会 視察研修	5月10日	1回	人権平和	成人	15人	杉原千畝の「人道」について学び、戦争や世界情勢について考え、命とは何かを考える。	【準備過程】 推進協議会と公民館で企画・周知 【共催団体等】 地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 実際に起きてしまっている戦争について改めて考え、国境に関係なく平和を願う機会となった。 【今後の方針】 戦争や平和について考える機会を提供していきたい。	
昭和レトロ鑑賞会	5月21日 9月21日 11月25日 3月20日	4回	趣味教養	成人	50人	昭和を感じる8ミリフィルム映写機などの上映会を通して、あの頃を懐かしむとともに、令和の時代に残すべき昭和について考える。 5/21 紙のレコード・ソノシート鑑賞 9/21 8mm鑑賞&フラダンス 11/26 8mm鑑賞&空手の形披露 3/20 春休みこども8mm上映会	【準備過程】 映写機やレコードを所有する務台秀夫氏と企画・運営 【共催団体等】 開館20周年記念特別事業実行委員会	【評価と反省】 昭和レトロと様々なものを組み合わせ今までにない鑑賞会が実施出来た。 【今後の方針】 高齢者の集まる機会に合わせ、様々なテーマで上映会を実施したい。	
企業訪問 ①関西電力 須原水力発電所見学	6月27日	1回	環境	成人	5人	企業活動を学び、身の回りの経済や生活について考える。 今回は防災機能、利水機能など様々な役割を持つダムを学び、脱炭素社会が注目され再生エネルギーとして重要性を高める水力発電施設を見学	【準備過程】 有志住民と企画・運営 公民館で視察先と調整	【評価と反省】 地区住民の見学希望に応じて実施した。現地ガイド立ち合いのもと、一般では入れない発電施設を見学し、教養を深めることが出来た。 【今後の方針】 工場見学など、住民のニーズに応える企画を実施したい。	
日赤奉仕団視察研修	7月11日	1回	人権平和	成人	20人	ハンセン病をめぐる差別や偏見の歴史を学び、ハンセン病問題についての理解を深める機会とする。 視察先：国立療養所栗生楽泉園	【準備過程】 日赤奉仕団と企画・運営 【共催団体等】 日赤奉仕団	【評価と反省】 ハンセン病について理解を深めることが出来た。差別や偏見は絶対にしてはいけないと参加者の意識にも響いたと感じる。 【今後の方針】 継続開催。思いやりの心を醸成する企画を検討したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
自習室開放 高校生・大学生向け	7月11日 ～ 9月30日	16回	その他	青少年	11人	その日空きがある会議室を、高校生・大学生の自習室として開放し、学習の場所を提供する。 平日 9:00から17:00まで。	【準備過程】 チラシの作成。関係機関への周知。	【評価と反省】 11人16回の利用があった。夏休み期間は中央公民館や中央図書館の自習室が埋まってしまったため、一定のニーズがあった。 【今後の方針】 継続実施。利用者の増加と学生が地域と関われる仕掛けを模索したい。	
長期休み子ども勉強開放 (夏・春)	7月25日～ 8月22日 3月17日～ 4月5日	5回 2回	子育て	家庭教育	15人	子ども達に宿題の出来る場所を提供し、公民館は身近なところだと感じてもらうことを目的に実施	【準備過程】 地区内全戸配布で周知	【評価と反省】 コロナ禍であり、積極的に子どもを集めることはしなかったが、公民館を身近に感じてもらうことが出来た。 【今後の方針】 継続開催。子どもと地区住民との交流も図りたい。	
塩の道ウォーク	7月18日	1回	地域文化	成人	8人	かつて塩が運ばれた「塩の道」をたどり、松本の生活や経済を支えた歴史を学ぶ。 新型コロナウイルスの感染拡大により、外出する機会が少なくなってしまう地区住民に対し、ウォーキングの機会を提供し、健康増進を図る。	【準備過程】 視察先で調整、ガイドの手配 公民館便りで周知	【評価と反省】 前年に続いての企画。ガイドから様々な歴史を学びながら辿ることが出来た。当時の道が当時のまま保存されているなど、中央地区内の歴史文化の保存についても考えさせられる機会となった。 【今後の方針】 継続開催。糸魚川まで歩きたいと意欲ある住民もいる。	
七夕まつり コンサート	7月20日	1回	地域文化	成人	20人	七夕に合わせコンサートを開催し、七夕文化に触れてもらうことを目的に開催。 笛を準備して公民館ホールに飾り地区住民に願い事を記入してもらう。 コンサート内容：音喜楽ボーイズによるヴァイオリンとチェロの演奏	【準備過程】 地区内全戸配布で周知 【共催団体等】 開館20周年記念事業実行委員会	【評価と反省】 七夕文化の発信を行うことが出来た。参加者からは、「生で音楽を聴く貴重な機会」と評価をいただいた。 【今後の方針】 継続開催。コロナ禍で開催できなかった「七夕ほうとう」作りも行いたい。	
開館20周年記念講演 「オリンピックから学んだこと」	7月28日	1回	スポーツ	成人	30人	東京オリンピック2020のマウンテンバイク競技に出場した鈴木雷太監督、山本幸平選手を招きオリンピックの裏話などの講演をいただいた。	【準備過程】 出演者と調整、共催団体と企画・運営 地区内全戸配布で周知 【共催団体等】 開館20周年記念特別事業実行委員会	【評価と反省】 オリンピックの話や日本での自転車文化の普及など、様々な話をお聞きすることが出来た。矢羽マークやヘルメットの着用努力義務化など、自転車事情について理解を深めることが出来た。 【今後の方針】 周年記念事業であるため、今年度のみの実施。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
歴史探訪 春日山城を巡る	8月1日	1回	地域文化	成人	13人	戦国の名将・「義」の武将である上杉謙信が構えた春日山城跡を巡る。 『運は天にあり 鎧は胸にあり 手柄は足にあり』を唱えたルーツをたどる。	【準備過程】 地区内全戸配布で周知	【評価と反省】 歴史を学ぶとともに、山城についての教養を深めることが出来た。 【今後の方針】 継続開催	
すいか割交流会	8月3日	1回	地域文化	青少年	5人	家庭ではなかなか見られなくなった夏の行事であるスイカ割りを子ども達に体験してもらい、子どもの思い出づくりと家庭教育を支援する。公民館の存在を知ってもらう。	【準備過程】 子ども会育成会と日程調整 【共催団体等】 中央地区子ども会育成会 地区住民有志	【評価と反省】 コロナ感染対策を徹底して開催することが出来た。制限がある中でも子どもに楽しんでもらった。地区住民有志にテント設営などの協力を得ることが出来た。 【今後の方針】 子ども達と地区住民が交流する貴重な場であり、今後も継続実施。	
青山様・ぼんぼん	8月8日	中止	地域文化	青少年	0人	ぼんぼん・青山様の実施。博物館から四柱神社までの往復。伝統行事の体験と継承を目的に開催 事前に「ぼんぼんの歌を習う会」を実施し伝統行事への理解を深める。	【準備過程】 子ども会育成会の支援 公民館は備品の貸し出し、子どもの安全確保、写真撮影に協力 【共催団体等】 子ども会育成会主催	【評価と反省】 ぼんぼんの歌を習う会は実施出来たが、コロナ禍のため、中止となった。 【今後の方針】 継続開催。伝統行事をどう継承・経験させていくかは課題。保護者が地域行事に関心を持てるよう、育成会と盛り上げていく必要がある。	
私と家族の相続講座	9月7日	1回	福祉健康	高齢者	8人	エンディングノートを用いて、よりよい未来のための相続について考える。	【準備過程】 共催団体と日程調整 公民館で周知 【共催団体等】 明治安田生命保険相互会社	【評価と反省】 自分の想いを形にしてノートに書くことが、家族や地域の未来を考える機会となった。 【今後の方針】 継続開催。高齢者がよりよい暮らしを送れるよう支援していきたい。	
世代間交流キャンプ	9月10日 ～ 9月11日	1回	子育て	青少年	35人	地区の子どもからお年寄りまでのすべての世代の交流を図る目的として、キャンプを開催 場所：小川村 星と緑のロマンティア	【準備過程】 関係団体と企画・周知・運営 【共催団体等】 子ども会育成会、開館20周年記念特別事業実行委員会	【評価と反省】 参加者同士の交流を深めることが出来た。その後、他の公民館事業へ参加して下さる家族もあり、広がりを見せている。子どもたちのコロナ禍の中での貴重な思い出づくりとなった。 【今後の方針】 またやりたいとの声もあり、事業実施について検討。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
中央地区マレットゴルフ交流会	9月13日	1回	地域事業 (体育)	成人	16人	誰もが楽しめるマレットゴルフを通して、健康の増進と参加者同士の交流を図る。 場所：霧ヶ峰高原	【準備過程】 地区体育協会と公民館で企画し、参加者募集 【共催団体等】 地区体育協会、地区マレットゴルフ同好会、大手公民館体育委員会	【評価と反省】 日頃の運動不足解消と交流が深まる良い機会となった。体育協会からの補助を活用して景品を用意し、大会を盛り上げることが出来た。市民体育大会に参加もすることが出来た。 【今後の方針】 継続事業。地区の体育事業を盛り上げるためにも、複数回の開催を検討したい。	
そばの打ち方講座	9月28日 12月8日 3月17日	3回	趣味教養	成人	36人	基本的なそばの打ち方を学ぶとともに、講師の様々なそばの打ち方を知り、教養を深める。	【準備過程】 講師と調整 公民館で周知	【評価と反省】 コロナ禍ではあったが、毎回定員に達する申し込みがあり、住民のニーズに応えることが出来た。講師となった地区住民が公民館活動にも積極的に参加するようになり、広がりも見せている。 【今後の方針】 継続事業。そばにまつわる講座の企画を検討したい。	
第18回 中央地区 ふれあい祭り	10月16日	1回	地域事業 (文化)	成人	70人	「つなげよう中央地区の絆」をテーマに、各利用団体の成果発表、作品の展示、ステージ発表会を開催。うどん類や農産物の販売等を実施 今年度はサブテーマを「復活」とし、コロナ禍で中止となったことを踏まえ、規模を縮小して徐々に開催とした。	【準備過程】 地区関係団体からなる実行委員会を開催し、内容や役割分担を協議 公民館は事務局として支援 【共催団体等】 開館20周年記念特別事業実行委員会	【評価と反省】 規模を縮小しての開催であったが、「もっとやってよかった」、「やっぱりやってよかった」といった、前向きな声もあった。 【今後の方針】 前向きな声をもとに、地区住民が企画を自ら考え、住民主体の行事として支援したい。	
町会対抗ウォーク大会	10月29日	1回	スポーツ	成人	43人	普段見落としがちな地区内の名所や資源を、ウォーク大会を通じて新たに発見してもらい、より地区への愛着を持ってもらうことを目的に開催	【準備過程】 開館20周年記念特別事業実行委員会において内容検討 公民館で募集周知 【共催団体等】 開館20周年記念特別事業実行委員会	【評価と反省】 16町会中14町会からの参加があり、町会ごとの結束が深まった。毎年開催してほしいとの声もあった。子どもたちが学校行事で参加出来なかったため、事前に日程を調整する必要がある。 【今後の方針】 周年事業ではあるが、次年度も開催を検討したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
企業訪問 ②鋳物視察研修	11月4日	1回	趣味教養	成人	10人	人々の生活や文化に密着した「鋳物」を知り、教養を深める機会とする。 視察先：富山県高岡市 ㈱老子製作所、㈱能作本社工場	【準備過程】 有志住民と企画 公民館で視察先と調整	【評価と反省】 地区住民の見学希望に応じて実施した。鋳物に関する技術を知り教養を身に着けることが出来た。 【今後の方針】 工場見学など、住民のニーズに応える企画を実施したい。	
開館20周年 記念式典 記念アトラクション 記念祝賀会	11月12日	1回	その他	成人	100人	大手公民館・中央地区福祉ひろばの開館20周年を祝うことを目的に関係者を招待して開催 記念アトラクション：信濃雅楽会	【準備過程】 開館20周年記念特別事業実行委員会において内容検討 公民館で募集周知 【共催団体等】 開館20周年記念特別事業実行委員会	【評価と反省】 地区住民・協賛企業など多くの関係者にご参加いただき、盛大なお祝いが出来た。実行委員がそれぞれの役割を全うし、他地区に誇れる行事となった。 【今後の方針】 今回の周年事業で新たにつながった企業や団体との交流を続けていきたい。	
中央地区親睦ゴルフ大会	11月26日	1回	スポーツ	成人	9人	地区内の親睦、結束を深めるため、ゴルフ大会を開催する。	【準備過程】 開館20周年記念特別事業実行委員会において内容検討 公民館で募集周知 【共催団体等】 開館20周年記念特別事業実行委員会	【評価と反省】 新規の取り組みであり、ゴルフを通じた親睦を図ることが出来た。 【今後の方針】 周年事業として実施したが、他地区との交流かいの話もあり、今後も開催を検討したい。	
学び備える 防災視察 研修	11月29日	1回	防災	成人	20人	御岳山ビジターセンターさとテラス三岳を訪れ、御岳山を知り火山を理解し、火山災害を学ぶ機会とする。	【準備過程】 地区防災部と内容調整 公民館で周知 【共催団体等】 地区防災部	【評価と反省】 噴火災害について学ぶことが出来た。当時から8年が経過しているが、県民として後世に伝えていかなければならないことである。 【今後の方針】 火山に限らず、様々な災害について知り、自分事として考え、備える住民を増やし、地域の防災力を高めたい。	
クリスマスコンサート	12月15日 12月21日	2回	子育て	青少年	30人	クリスマスの音楽に触れ、楽しみながら文化を理解することを目的に開催 成人向け出演 ：信州サクソフオーンアンサンブル 子育て世代向け出演 ：松本マザーズアンサンブル あっがる	【準備過程】 中央地区福祉ひろばで調整 大手公民館も周知を支援 【共催団体等】 中央地区福祉ひろば 開館20周年記念特別事業実行委員会	【評価と反省】 開館20周年記念特別事業として2回開催した。子育て世代向けのコンサートでは福祉ひろばの協力もあり、多くの親子に参加いただいた。 【今後の方針】 子どもも喜ぶ内容を検討し、福祉ひろばの協力を得て次年度も開催したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
門松作り	12月21日	1回	地域文化	成人	10人	地区役員有志が集まり、大手公民館玄関前に高さ約2mの門松を一對設置する。	【準備過程】 公民館で材料調達や資材運搬の支援、当日の作業補助	【評価と反省】 役員の高齢化により、材料調達も困難になりつつあるが、毎年立派な門松を頂いている。 参加者の高齢化により材料調達、しめ縄飾りの仕方、門松の組み立て方など次世代へ伝える仕組みづくりが課題。 【今後の方針】 上記仕組みづくりを有志住民と模索したい。	
世代間交流 中央地区餅つき大会	12月28日	1回	地域事業 (文化)	青少年	50人	住民寄贈の木製の杵と臼を使い、子ども達に本格的な餅つきを体験してもらい、世代間交流を図る。	【準備過程】 福祉ひろばが材料の手配・役割分担の調整 町会役員が餅つきの補助 健康づくり推進員や民生委員が餅を丸めて提供 材料費等は町会連合会で負担 【共催団体等】 社会福祉協議会地区支会、町会連合会、健康づくり推進員、民生・児童委員、町内公民館長会、日赤奉仕団、ボランティア部会、中央地区福祉ひろば	【評価と反省】 コロナ対策を徹底して開催した。子どもからお年寄りまで多くの交流が生まれた。 【今後の方針】 子どもと高齢者が交流し、伝統的な餅つきを体験できる貴重な機会。次年度も継続開催。	
中央地区新年初顔合わせ会	1月5日	1回	地域事業 (その他)	成人	56人	新年を祝い、地区住民の親睦を深める。	【準備過程】 町会連合会が主体となり、各団体へ協力を依頼 【共催団体等】 社会福祉協議会地区支会、町会連合会、地域づくりセンター、中央地区福祉ひろば	【評価と反省】 コロナ対策を徹底し、新年を祝うことが出来た。地区役員・地区住民の親睦を図る貴重な場となっている。 【今後の方針】 継続開催	
謎解きウォーク大会	1月15日	1回	子育て	青少年	34人	普段見落としがちな地区内の名所や資源を、ウォーク大会を通じて新たに発見してもらい、より地区への愛着を持ってもらうことを目的に開催。10月に行ったウォーク大会に子どもの参加がなかったことから、子ども向けに企画	【準備過程】 社会教育実習として受け入れた松本大学生とともに企画書を作成し、開館20周年記念特別事業実行委員会において内容検討 公民館で募集周知 【共催団体等】 開館20周年記念特別事業実行委員会 子ども会育成会	【評価と反省】 子どもたちに楽しみながら地区を知ってもらう機会となった。 【今後の方針】 コロナによる制限も解除されつつあり、子どもたちと地域が交流する行事を検討したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
新春落語会	1月17日	1回	趣味教養	成人	20人	伝統芸能である落語にふれ、新年の初笑いを地区に届け、笑いで地域を元気にすることを目的に開催 演者：林家はな平	【準備過程】 関係団体からなる実行委員会を組織 公民館と松本落語会で調整 【共催団体等】 新春落語会実行委員会 松本落語会	【評価と反省】 コロナによる中止から復活することが出来た。 【今後の方針】 継続開催。毎年楽しみにしている住民もいる。	
雪中ウォーク	1月30日	1回	福祉健康	成人	10人	雪上でのウォーキングを行い身体のバランス感覚と筋力を鍛える。 雪国ならではの食糧の保存方法を学ぶ。	【準備過程】 小谷村観光連盟と調整	【評価と反省】 雪国ならではの文化や冬季の大変さについて体験し、学ぶことが出来た。地元住民や地域おこし協力隊との交流も出来た。 【今後の方針等】 継続開催	
防災講座	2月 3日 2月24日 3月10日	3回	防災	成人	25人	防災に関する知識を身に着け、住民の防災力を高めるとともに、地区の防災力を底上げする。 ・備えて安心！在宅避難のススメ ・災害に備える「防災脳」を活性化！ ・予測ができない地震に備える～もしもの時のアクションプラン～	【準備過程】 共催団体と日程調整 公民館で周知 【共催団体等】 明治安田生命保険相互会社	【評価と反省】 災害への備えについて意識することが出来た。平時からの行動に結びつけるような投げかけが必要。 【今後の方針】 継続開催。住民がよりよい暮らしを送れるよう支援していきたい。	
フューチャーデザインワークショップの開催	2月5日 3月5日	2回	その他	成人	40人	フューチャーデザインワークショップ（FDWS）の手法を用いて、地区でのたまり場やつながりを考える機会とする。	【準備過程】 総合戦略室と信州大学で研究 総合戦略室と地域づくり課、生涯学習課でFDWSのモデル地区について協議し、中央地区を選定 【共催団体等】 信州大学	【評価と反省】 一般住民に参加いただきWSを開催することが出来た。47年後の未来について考える機会となった。過去の人々が松本城を残したように、私たちも未来へ残すべきものを考え、未来の選択肢を狭めることのないよう、地区での暮らしを考えていきたい。 【今後の方針等】 参加者にFDの考え方を根付かせるようなフォローアップを検討する必要がある。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
食育講座	2月～3月	2回	福祉健康	成人	15人	生きる源である「食」を学び、健康づくりと教養を深めるために開催 ①おうちで味噌づくりにチャレンジ ②体の温まる料理 講師：水野尚子氏	【準備過程】 ①周知を行い材料発注 ②講師にレシピ作成を依頼 【共催団体等】 ①丸正醸造 ②健康づくり推進委員会が材料費を一部負担	【評価と反省】 毎年人気の食育講座で、各コース好評をいただいている。 ①コロナ禍のため、各家庭で味噌の仕込みを体験してもらうこととした。公民館では体験が出来なかった。 ②講師指導のもと、食材のうまみを生かした減塩メニュー、たくさんの品目を使用したメニューを調理し、学ぶことが出来た。 【今後の方針】 継続開。催幅広いテーマで食育を進めたい。	
6地区合同事業 地域再発見！歩いて探そうお宝探訪ウォークラリー	3月21日	1回	地域文化	成人	50人	第一、第二、第三、城東、東部、中央の6地区の隠れた名所を再発見してもらい、地域に愛着を持ってもらう機運を醸成する。 ウォークラリーをしながらクイズを解き、ウォークラリー終了後は後藤先生の講義をお聞きし、隠れた名所の復習をする。 昨年度に続き2回目。前回とは別のルートで企画した。	【準備課程】 6地区の公民館で実行委員会を組織 【共催団体】 各地区福祉ひろば、地域づくりセンター、生活支援員	【評価と反省】 参加者からまた参加したいと好評。改めて地域の魅力に触れる機会となった。 【今後の方針等】 継続開催。スタッフに地区住民を巻き込んでいきたい。	
子ども会育成会視察研修	3月22日	1回	子育て	青少年	35人	コロナ禍で楽しい思い出があまり作れていない子どもたちに、様々な体験をしてもらうことを目的に開催 今回は上越水族館うみがたりを訪れ、バックヤード見学などを行った。 保護者の負担軽減のため3～6年は保護者の同伴無しとし、地域住民のボランティアに付き添いを依頼した。	【準備課程】 子ども会育成会と企画・運営 公民館で視察先と調整、募集周知 【共催団体】 子ども会育成会	【評価と反省】 子どもたちにとって良い思い出となった。保護者からは、「地域の方々に優しく同行していただき、感謝したい」との声をいただいた。 【今後の方針等】 継続開催。子どもたちの地域を通じた経験・体験を支援したい。	
春休み けん玉体験会	3月30日	1回	スポーツ	青少年	15人	子どもたちにけん玉で春休みをもっと楽しく過ごしてもらうことを目的に開催 講師：グローバルけん玉ネットワーク	【準備課程】 子ども会育成会と企画・運営 公民館で募集周知 【共催団体】 子ども会育成会	【評価と反省】 真剣にけん玉に取り組む子どもたちの様子が印象に残った。会の中で検定も行われ多くのチャレンジが見られた。 【今後の方針等】 子どもたちの地域を通じた経験・体験を支援したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
町内公民館長会視察研修		中止	その他	成人	0人	町内公民館の振興を図るため、町内公民館長を対象とした視察研修を行う。	【準備過程】 町内公民館長会と調整 【共催団体】 町内公民館長会	【評価と反省】 コロナ対策のため、役員会において中止の判断を行った。 【今後の方針等】 継続開催	
いきいき元気大学 第13期・第14期	4月～3月	16回	福祉健康	成人	223人	健康づくり・体力づくりを目的に、脳トレやリズム運動、ストレッチ等を行う。 8月には梅池高原でウォーキングを実施し、屋外での運動の機会を提供する。 講師：百瀬みどり氏	【準備過程】 公民館と講師で日程やテーマ調整 参加者への周知は公民館	【評価と反省】 コロナ対策を講じて実施が出来た。参加者の高齢化が進み、以前に比べ体操の強度は下がってきているが、体力の維持に貢献している。8月のウォーキングでは、参加者同士の交流を深め、関係づくりに寄与した。 【今後の方針】 今後も主催事業として継続開催。参加者の主体的な講座運営を模索していきたい。	
健康アップ歌唱講座 第25期・第26期	4月～3月	16回	福祉健康	成人	235人	歌唱による健康増進のため、呼吸法、声帯の使い方など学び、心のケアも目指すことを目的に開催 講師：木次由美子氏	【準備過程】 大手公民館と講師で日程調整。参加者への周知は公民館。	【評価と反省】 コロナに気を付けながら、中止することなく計画通り実施することができた。地区の文化祭（ふれあい祭り）において初めて屋外で発表を行うことが出来た。 また、参加者有志で立ち上がった歌唱サークルが自走し定着した。 【今後の方針】 主催事業の継続と立ち上がったサークルの支援を行い、主体的な住民育成へつなげたい。	
居酒屋公民館	4月～3月	10回	その他	成人	200人	「みんなで気軽にワイワイ!!」をテーマに語り合う企画。住民の交流と、語り合いの中から生まれる住民の自主的な地域活動等につなげていけるよう毎月1回定期的に開催	【準備過程】 食べたいものや飲みたいお酒などは各人で用意 参加者で会場設営・片付け	【評価と反省】 地区の話題、社会の関心事など、毎回盛り上がっている。第70回の節目には、参加者の発案により、玄関前でBBQを実施した。しあさって公民館プロジェクトの方々が居酒屋公民館を視察し、東京で開かれた展示会に居酒屋公民館の様子が展示された。 【今後の方針】 参加者から生まれる住民同士の連携や交流に期待したい。住民の学習の場となるよう企画も検討したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
フラダンス講座	4月～3月	13回	福祉健康	成人	120人	地区住民の健康及び社会福祉の増進、心身のリフレッシュを目的として開催 講師：K I Y O M I さん	【準備過程】 講師と日程・内容調整 募集チラシを全戸配布	【評価と反省】 フラダンスを通して、参加者の健康増進に寄与することができた。また、参加者同士の交流を深めることができた。 【今後の方針】 継続開催。既存事業での発表を参加者へ提案していきたい。	
公民館5部門委員会	4月～3月	通年	公民館委員会・各種会議等	成人	292人	運営、館報、図書・視聴覚、文化、体育の五部門委員会により、各公民館事業の企画・運営、評価等を行う。 運営委員会は、社協企画委員会と合同で開催し、地区内各種団体を横につないで、情報交換や課題の共有などを行う。	【準備過程】 各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 図書・視聴覚委員会では、そのままにしておくで埋もれてしまう地区内の資源の記録に取りくむことができた。また、各委員会が開館20周年記念事業へ協力することが出来た。 【今後の方針】 各委員会の目的、取り組みについて再度確認したい。	
開館20周年記念特別事業実行委員会	4月～3月	21回	公民館委員会・各種会議等	成人	203人	開館20周年記念事業について、地区団体からなる実行委員会を組織し、記念事業について企画・運営を行った。 また、記念誌編集委員会を組織し、内容について検討を行った。	【準備過程】 公民館が事務局となり、委員の招集や資料を作成。実行委員会や各班会で事業内容を協議	【評価と反省】 コロナ禍ではあったが「ぜひ盛大に行いたい」と熱い想いを持つ実行委員たちの積極的な参加により、他地区に誇れる事業が実施でき、住民の自信にもつながった。 【今後の方針】 今後も住民の積極的な思いを形にしていきたい。	
かんたん体操コース	5月～3月	8回	福祉健康	成人	40人	コロナ禍により、外出が減った高齢者の健康づくりを支援し、フレイル予防を目的に開催するもの	【準備過程】 講師と内容調整	【評価と反省】 既存のいきいき元気大学と比べ、かんたん・やさしいレベルで開催している。参加者が少なかったため、周知に力を入れていきたい。 【今後の方針】 そのままだとフレイルになってしまう住民は多く、体力の現状維持が求められている。継続開催し、フレイル予防を行いたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
中央っ子応援団 下校時見守り活動	4月～3月	26回	子育て	成人	120人	地域でも子供たちを支援しようと、地元団体からなる「中央っ子応援団」を結成。 下校時の見守り活動について各団体と調整を行った。	【準備過程】 会議の招集や見守り当番の周知 【共催団体等】 地区各団体	【評価と反省】 開智学校側から大変ありがたいと感謝をされており、学校との連携や、コミュニティスクール事業の充実につなげたい。活動は月2回行うことができ、応援団の協力に感謝したい。 【今後の方針】 地域でも子どもを育てていくの重要性を地区住民へも投げかけていきたい。	
松本城の床磨き	5月～9月	中止	地域文化	成人	0人	松本城周辺に居住を構える地区として、子どもに限らず大人も市の宝である松本城に触れ関わり、後世に残していく責務があるとして全6回開催。床磨き終了後に研究専門員によるお話会にも参加	【準備過程】 松本城管理事務所主催の企画に公民館で申込み	【評価と反省】 コロナ禍により中止となった。 【今後の方針】 継続開催。 国宝である松本城に、より愛着を持つ住民を増やしていきたい。	
ようこく朝市支援 城南あさ市支援	5月～11月	13回	地域事業 (その他)	成人	280人	①日頃閉じこもりがちな人たちを対象に、買い物しながら外出する場を提供する。 ②出かけてきた人たちが安心して交流できる「居場所」を設けることを目的に実施	【準備過程】 関係団体からなる実行委員会を開催し、方向性を確認しながら実施 【共催団体等】 深山農業塾、波田商工会、四賀しののめの道バザール、関係町会	【評価と反省】 身近な買物の場となっている。また、お茶飲み場も設け、来場者の交流の場ともなっている。日頃閉じこもりがちな人たちに、声掛け・見守りためのツールとして朝市を活用しよう、という話になっている。 【今後の方針】 継続開催	
中央地区福祉互助会 かかわり隊事業支援	4月～3月	通年	福祉健康	高齢者	100人	困っている人と、何とかしてあげたいと思っている人を繋げる事務局（福祉推進員）を設置し、ボランティア（協力会員）が援助を必要とする高齢者（利用会員）の依頼により、日常生活の中で発生する困り事の中からできる事を支援する安価な有償サービスを提供するもの	【準備過程】 中央地区地域づくりセンターと町会連合会の協働により事務局を設置。2月に1回の「かかわり隊員会議」を通して課題を議論し、情報を共有	【評価と反省】 立ち上げから7年が経過。生活支援員とともにちょっとした困り事の解消や困りごとを支援できる人を引き続き募集したい。 3月には寿サポートの視察研修を行い、寿地区の関係者と意見交換を行った。 【今後の方針】 継続支援	
町会連合会支援	4月～3月	通年	地域事業 (その他)	その他	200人	地域拠点施設として信頼される公民館を目指すことを目的に、地区関係団体の総会資料印刷や通知文作成等に協力。定例町会長会議に同席することで、住民の生の声を聞き、課題や要望等を把握する。	【準備過程】 町会連合会がメインであるが、地域づくりセンター及び公民館で支援を行っている。	【評価と反省】 コロナを踏まえた地区事業の実施の可否について、役員とともに随時検討することが出来た。 【今後の方針】 継続支援。コロナによる制限が緩和され、改めて町会運営や地域行事について話す場を設けたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
社協中央地区支会支援	4月～3月	通年	地域事業 (その他)	その他	200人	各団体からなる企画委員会では、①情報交換、②課題共有、③ふれあい会食会の開催可否、企画の検討、④社協だよりの発行などについて協議を行った。	【準備過程】 公民館は地域づくりセンターとともに事務局的立場として支援	【評価と反省】 各団体に積極的に参加いただき、情報交換を行っている。さらに連携や事業企画へつなげたい。 住民が抱える課題が会議に反映され、解決策が話し合われることが必要。 【今後の方針】 継続支援	
大手公民館要援護者優先避難所運営委員会	通年	13回	防災	成人	200人	運営委員会を組織化し、定期的を開催している。防災知識や避難所での役割を学び、平時から災害に備えることを目的とする。 班長会 年6回開催 委員会 年6回開催 運営訓練 年1回	【共催団体等】 大手公民館要援護者優先避難所運営委員会、中央地区自主防災会、町会連合会、中央地区地域づくりセンター	【評価と反省】 手話講座や被災地で炊き出しを行った人の話をお聞きした。また、9月17日に避難所運営訓練（初めての夜間訓練）を開催。訓練を行う中で見えてきた課題の共有や、運営にふさわしいマニュアルの改定に向けた話し合いを行うことができた。 また、班長会において訓練や委員会の内容を検討し、委員会へ提案した。 【今後の方針】 定期的に開催し、班ごとの活動内容を確認し、いざという時に動ける住民を増やしていきたい。	

令和4年度 事業報告の概要

安原地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <p>1 地区の文化・福祉の向上 地区住民の繋がりづくり、地域コミュニティの推進を図るため、地区関係団体と連携して地区の文化・福祉の向上を図る。</p> <p>2 文化財保護事業の推進 県宝である武家屋敷「橋倉家住宅」を中心とした地区内文化財の保護事業を展開。まずは地区住民に知ってもらい、活用にまでつなげる。</p> <p>3 コミュニティースクール事業の推進 地区内の学校と地域住民、また学校同士のパイプ役として、相互を繋げられるよう課題の共有や解決方法を検討し、事業実施を図る。</p> <p>4 地区内DXの推進 スマートフォンの普及や電子決済が恒常化していることを踏まえ、主に地区内の高齢者を対象に、講座を通じたDX推進を図る。</p>										<p>1 コロナの影響により中止となっていた地区事業（文化祭）を縮小した形で開催。また、昨年度に引き続きウォークラリーを開催した。さらに、福祉に関する講演会を2度開催する等、地区住民の繋がりづくり、文化・福祉の向上に努めた。来年度は、地区主要事業の一つである夏祭りを含めた全ての事業を実施し、より一層地域の繋がりづくりを図る。</p> <p>2 昨年度の事業に加え、“文化財を活用する”ことに焦点を当て、橋倉家住宅での読書会や信大生に活用してもらう等の事業を実施した。来年度は、市文化財課と協力し、より一層充実した事業実施を図りたい。</p> <p>3 今年度新たに月に一度の担当者連絡会を設けるなど、より綿密な関係づくりを行った。ただ、コロナや天候により事業の中止が相次ぎ、十分なCS事業が出来なかった。</p> <p>4 月1回のスマホ講座を開催、スマホの操作に悩む地区住民を、講師とともに支援した。また、スマホ講座内でLINEグループができ、新たな繋がりづくりにつながった。講座内容を再検討し、より充実したDXの推進を図りたい。</p>				
	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	5	5	3	0	10	3	1	2	0	3	2	3	6
延べ 参加人数	23	595	230	271	0	452	105	11	109	0	115	32	149	280

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
そば打ち体験講座	5月24日	1回	趣味教養	成人	6人	【事業内容】 地区住民を対象にそば打ち体験会を開催。 【ねらい】 そばの打ち方、奥深さを学ぶとともに、参加者同士の交流を深める。	【準備過程】 信州蕎麦の会と内容、日程等を調整	【評価と反省】 そば打ちを体験する機会は減らないため、貴重な機会となったとの声をいただいた。ただ、講座参加者が少なかったことから、内容や周知方法を見直す必要がある。 【今後の方針】 地区内で要望があれば、講座内容を再検討し事業実施を図る。	
安原地区親睦春季マレットゴルフ大会	5月15日	1回	スポーツ	高齢者	34人	【事業内容】 地区住民を対象に、松本市総合体育館附属コースにてマレットゴルフ大会を開催。 【ねらい】 地区住民の健康増進と参加者同士の親睦を深める。	【準備過程】 公民館だよりにて事業を周知	【評価と反省】 コロナ禍により行動が制限される中で、外でのスポーツ機会は気晴らしにも繋がり、意義深い事業となった。 【今後の方針】 来年度も地区スポーツ協会の主催のもと事業実施を図る。	
旭町小学校3年歴史まち歩き学習	6月8日	1回	子育て	青少年	55人	【事業内容】 旭町小学校3年生を対象とした安原地区の歴史まち歩きを実施。歴史研究会の会員が講師となり、地区の歴史文化について説明する。 【ねらい】 城下町特有の歴史文化に触れてもらう。また、地区内の文化財がどのように保存・活用されているのか知ってもらう。	【準備過程】 ・小学校教諭、歴史研究会と当日の内容、日程等について打ち合わせ ・当日の行程表の作成、資料の配布 【共催団体】 安原地区歴史研究会	【評価と反省】 講師の説明を聞きながら実際に歩いて見ることで、より深い歴史、文化学習とすることができた。 【今後の方針】 ・学校の要望に応じて、来年度も継続する。 ・講師の高齢化が進んでいるため、次の担い手育成を進める。	○
旭町小学校1年生さつまいも定植	6月10日	1回	子育て	青少年	58人	【事業内容】 1年生と一緒にさつまいもの定植を行う。 【ねらい】 学校が目指す”探究的な学び”を大事にし、植え方や水やり等について児童主体で行う。	【準備過程】 小学校教諭と事業内容等について打ち合わせ	【評価と反省】 学校の方針である”探究的な学び”に重きを置き、児童たちが植え方などを勉強しながら定植作業をしたが、結果的に一つも収穫できなかったことは残念だった。 【今後の方針】 児童たちが主体的に進めることを大事にしつつ、来年度は収穫に結び付くよう”学び”を進める。	○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
鎌倉道と祝御柱祭	6月24日	1回	趣味教養	成人	17人	【事業内容】 安原地区歴史研究会の会員を中心とした他地域の文化保護活動について学習。今年度は、これまでの善光寺街道に続く鎌倉道について学び、御柱祭についても学習した。 【ねらい】 他地域の文化保護活動を学ぶことで、当地区の文化財保護事業をより一層推進する。	【準備過程】 ・歴史研究会と行程等について打ち合わせ ・訪問先との日程調整 【共催団体】 安原地区歴史研究会	【評価と反省】 他地域の文化財を学習することで、自地区の文化財保護活動に新たなアイデア等が用いられた。また、講師の説明を付けたことで、より深い学習につながった。 歩行距離が長く、参加者には大変なところもあったため、行程内容の検討が必要。 【今後の方針】 歴史研究会で学習したいものを精査し、それに関する課外学習を実施していきたい。	
福祉を語るつどい【講演会】 ～免疫力を高める音楽療法～	7月2日	1回	福祉健康	成人	60人	【事業内容】 埼玉医科大学短期大学名誉教授である和合治久氏を講師に、音楽と免疫の関係性に関する講演会を開催。 【ねらい】 拡大する新型コロナウイルス感染症に対する対処法の一つとして、音楽療法について知識を深める。	【準備過程】 講師と日程、内容等の打ち合わせ 【共催団体】 安原地区まちづくり協議会 社会福祉協議会安原地区支会	【評価と反省】 新型コロナウイルスの感染予防対策に寄与する音楽療法の効果・効能を知ってもらうことで、住民の感染対策の一助とすることができた。また、講演会の最後に講師のハーモニカ演奏に合わせて、「信濃の国」を歌うことで楽しく学ぶことができた。 【今後の方針】 “福祉”に関する学習は多岐にわたるため、住民のニーズを把握しながら、内容を検討し事業実施を図る。	
安原地区親睦球技大会	7月18日	1回	スポーツ	成人	29人	【事業内容】 地区住民を対象に、卓球、マレットゴルフ大会を開催。 【ねらい】 住民のスポーツ機会を設け、身体・健康づくりを推進する。	【準備過程】 安原地区スポーツ協会が企画・実施	【評価と反省】 地区スポーツ協会が中心となり、地区住民のスポーツ機会の提供及び、健康づくりに寄与する事業となった。 【今後の方針】 来年度もスポーツ協会協力のもと、事業継続を図りたい。	
サマーナイトフェスタ IN安原	7月23日	中止	地域事業 (その他)	成人	0人	【事業内容】 安原地区住民を対象とした夏祭り。露店での飲食物販売やあさひ学園の生徒による太鼓演奏などを行う。 【ねらい】 安原地区住民の交流を通して、地域活性化を図る。子どもからお年寄りまで幅広い世代が楽しめる事業とする。	【準備過程】 ・公民館運営委員会、文化委員会合同会議にて開催可否、内容等を協議 ・各団体、施設との連絡調整 ・全戸配布の公民館だより、チラシによる広報 【共催団体】 安原地区まちづくり協議会 安原地区公民館運営委員会 安原地区公民館文化委員会 安原地区町内公民館館長会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 【今後の方針】 開催内容を再検討し、来年度の事業実施へつなげる。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
橋倉家住宅「秋の読書会」	9月25日	1回	地域文化	成人	25人	【事業内容】 県宝に指定されている地区文化財「橋倉家住宅」内にて読書会を開催。昔ながらの雰囲気を感じながら、読書を楽しむ。 【ねらい】 文化財保護事業の一環として、“文化財を活用する”ことに焦点を当てた事業とすることで、文化財保護をより一層推進する。	【準備過程】 ・安原地区まちづくり協議会文化部会との日程、内容調整 ・当日資料の印刷 【共催団体】 安原地区まちづくり協議会文化部会	【評価と反省】 閑静な室内で昔ながらの雰囲気を感じながら読書を楽しむことができた。また、天白琥珀会の協力で、自家焙煎のコーヒーを飲みながら、参加者それぞれが好きな本の意見交換を行い、有意義な時間となった。 【今後の方針】 文化財を活用するといった観点からも、内容を変えながら、事業実施を図りたい。	
旭町小学校遠足付き添い支援	9月29日	1回	子育て	青少年	57人	【事業内容】 地区住民が旭町小学校の遠足の引率をする。 【ねらい】 子どもたちが安全に遠足を楽しむため大人の目を増やすとともに、児童と地域住民の交流の機会とする。	【準備過程】 ・小学校教諭との打ち合わせ ・地区住民への参加呼びかけ	【評価と反省】 地区住民が引率することで子どもたちが安心・安全に遠足を楽しむことができた。また、親でも先生でもない方が一緒にいることで、ほどよい緊張感を持ちながら子どもたちが頑張る姿を見られたのも意義深いものだと思う。 【今後の方針】 学校側の要望に応じて、事業継続を図る。	○
安原地区文化祭・ひろばまつり	10月15日～10月16日	1回	地域事業(文化)	成人	80人	【事業内容】 2日間にわたり各団体、学校からの展示物を掲示。例年行っていたステージ発表は、事前に動画を撮り編集したものを上映した。また、福祉ひろばでは飲食物を提供し、憩いの場とした。 【ねらい】 安原地区住民の交流を図るとともに安原地区の地域活性化を目指す。	【準備過程】 ・下記共催団体と開催可否、開催内容等について協議 ・サークル活動の動画撮影 ・全戸配布のチラシで事業周知 ・各サークル、学校の成果品を展示、動画上映 【共催団体】 安原地区文化祭・ひろば祭り実行委員会	【評価と反省】 コロナ禍における文化祭は、感染防止の観点からステージ発表ができず、盛り上がり欠けるものであったが、活動成果を動画に撮り、それを上映発表としたことは、新たな試みとなり良かった点と言える。 ただ、やはり来場者数は少なかったため、内容を検討する必要がある。 【今後の方針】 開催内容を再検討し、来年度の事業実施へつなげる。	
旭町小学校6年火縄銃学習	10月21日	1回	子育て	青少年	60人	【事業内容】 信州松本藩鉄砲隊の方を講師に招き、旭町小学校6年生を対象に火縄銃の歴史、使い方などについての学習会を開催。 【ねらい】 6年生の社会科の授業で火縄銃が扱われる単元を学習する際に実物を見ながら説明を聞くことで、より深い学習ができる。	【準備過程】 小学校教諭、信州松本藩鉄砲隊の方との日程、内容調整 【共催団体】 信州松本藩鉄砲隊	【評価と反省】 通常の授業では体験できない講義をすることができ、子どもたちが興味を持ちながら学習に取り組めた。また、丁度社会科の授業単元で火縄銃を扱っていたことから、実物を見ることで、より深い学習をすることができた。 【今後の方針】 学校側の要望に応じて、事業継続を図りたい。	○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
安原地区高齢者交流	10月28日	1回	福祉健康	高齢者	25人	【事業内容】 安原地区に住む高齢者を対象にバス講座を開催。下伊那にある「ハブンスそのはら」にてウォーキングを通じた交流会を開催。 【ねらい】 主に引きこもりがちな高齢者を対象に事業を実施することで、地区全体の健康づくりの増進と繋がりを図る。	【準備過程】 ・下記共催団体との日程、行程等について打ち合わせ ・講座への参加呼びかけ 【共催団体】 安原地区まちづくり協議会健康福祉部会	【評価と反省】 コロナ禍により外出機会が減っていた中、自然観察を通じた交流会を実施することで、地区内高齢者の健康づくり、繋がりに寄与する事業となった。 【今後の方針】 行程内容を変えて、事業継続を図りたい。	
本格！インドカレーをつくろう！！	10月30日	1回	人権平和	成人	10人	【事業内容】 食を通じた異文化交流、学習を目的に、「DOON食堂印度山」を講師に招き、インドカレーづくり講習会を開催。 【ねらい】 カレーづくりを通して、その国の文化や考え方を学ぶことで、異文化理解を進める。	【準備過程】 講師との日程、内容調整 【共催団体】 安原地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 人権学習となると敬遠されがちなものであるが、料理教室を通じた学習会とすることで、気軽に参加できるものとした。しかし、参加者数はそれほど多くなく、内容や周知方法を再度見直す必要があると感じる。 【今後の方針】 より参加しやすく、参加したいと思われる内容を考え、事業継続を図りたい。	
県宝橋倉家住宅見学会	10月28日～10月29日	1回	地域文化	成人	83人	【事業内容】 地区文化財であり県宝にもしてされている「橋倉家住宅」の見学会を開催。 【ねらい】 橋倉家住宅の存在を広く住民に知ってもらい、ゆくゆくは活用にも繋げることで文化財保護事業の推進を図る。	【準備過程】 市文化財課と日程調整	【評価と反省】 100人を超える来場者があったことは、文化財保護事業を進めるうえで、まずは多くの人に知ってもらおうという点で、評価できる事業となった。 【今後の方針】 市文化財課と協力し、まち歩きをなども絡めた事業実施に繋がりたい。	
あさばのウォークラリー2022	11月20日	1回	地域事業(その他)	成人	32人	【事業内容】 今年度は、城北地区内の文化財・史跡9ヶ所にチェックポイントを設定し、それに関連する問題を解きながらウォーキングを行うウォークラリーを開催。終了後は、景品抽選会、カレーライスの喫食をした。 【ねらい】 城北地区内の文化財・史跡をチェックポイントとすることで、昨年度とは違う発見や楽しさを生み出す。また、ウォーキングを通じた健康増進、地区住民相互の交流を図る。	【準備過程】 ・下記共催団体と事業内容について協議 ・チェックポイント決め、マップの作成 ・景品、食材の買い出し ・全戸配布のチラシで事業周知 【共催団体】 あさばのウォークラリー実行委員会 (安原地区まちづくり協議会、安原地区町会連合会、公民館運営委員会、文化委員会、シフォンの会)	【評価と反省】 前年度から回る地区・コースを変更し、地区外の歴史文化財を知る機会となった。また、歴史に詳しい方が参加者に説明しながら歩く姿も見られ、違った楽しみ方が生まれたことも良かったと思われる。 参加者数が昨年度より半減したため、内容等を見直す必要がある。 【今後の方針】 内容を再検討し、より多くの参加が見込める事業としたい。	

令和4年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
島崎藤村の『破戒』に学ぶ	12月1日	1回	人権平和	成人	13人	【事業内容】 人権啓発推進事業の一環として、小諸市にある「藤村記念館」を訪れ、島崎藤村が描いた社会小説『破戒』から被差別部落について学ぶ。 【ねらい】 少なくなってきたといえども未だ残る被差別部落について知識を深め、人権学習とする。	【準備過程】 ・施設との日程調整、講師依頼 ・全戸配布の公民館だよりにて事業周知 【共催団体】 安原地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 今も残る部落差別は、最近はあまり耳にしなくなったが、改めて学習することで、それがいかに酷いことであつたかを考える機会となった。また、現在差別はSNSなどを通したものに形を変えて残っており、どうしたら無くなるのかを考える機会となった。 【今後の方針】 行程、内容等を検討し、事業継続を図る。	
世代間交流もちつき大会	12月4日	中止	地域事業(文化)	青少年	0人	【事業内容】 安原地区に住む子ども、親、祖母など、あらゆる世代の方たちを対象にもちつき大会を開催。 【ねらい】 昔は多くの家庭で行われていた「もちつき」を体験し、日本の伝統文化に触れる。また、多世代交流を図る。	【準備過程】 ・安原地区子ども会育成会が企画 ・全戸配布の公民館だよりにて事業周知	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染防止の観点から中止 【今後の方針】 開催内容を再検討し、来年度の事業実施へつなげる。	
災害時の食事ガイド「パッキング」	12月16日	1回	防災	成人	11人	【事業内容】 災害時に役立つパッキング(※)体験学習会を開催。 ※食材と調味料をポリ袋に入れて加熱するだけでできる調理方法 【ねらい】 災害時などもしものときに役立つ簡単な調理方法を学ぶ。	【準備過程】 ・安原地区食生活改善推進協議会が企画 ・全戸配布の公民館だよりにて事業周知	【評価と反省】 災害など、もしもの時に備えた事業となり、防災対策として意義深い内容となった。 【今後の方針】 内容等を検討し、事業継続を図る。	
安原地区公民館・福祉ひろば年末一斉清掃	12月10日	1回	その他	成人	59人	【事業内容】 日頃公民館を利用しているサークル・団体による年末大掃除を行う。 【ねらい】 日々の清掃では手の行き届かない細かな場所を年に一回掃除してもらいながら、サークル間の交流の機会とする。	【準備過程】 ・事業開催通知の発送 ・参加者とりまとめ ・清掃用具の準備 【共催団体】 あさひ会(安原地区公民館利用者の会)	【評価と反省】 日頃使用している公民館・福祉ひろばを利用者に丁寧に清掃してもらうことで、施設をきれいに保つことができている。 【今後の方針】 事業継続を図る。	

令和4年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
押絵雛講習会	1月12日	1回	趣味教養	成人	6人	【事業内容】 松本伝統工芸として知られている押絵雛の技法を学びながら、干支の兎をモチーフにした壁飾りを作る。 【ねらい】 松本伝統工芸の一つである押絵雛の技法を学ぶ。	【準備過程】 ・ペラミ人形展：三村氏と日程、内容等について打ち合わせ ・講習会で使用する物品の購入	【評価と反省】 良いとされる時期から少し遅く実施したが、新年を迎えるにあたり季節を感じられる講座となった。ただ、講習時間が長く、作業も細かいため、疲れが見える方もいた。 【今後の方針】 時期、内容等を見直し、事業継続を図りたい。	
旭町小学校6年歴史まち歩き学習	1月25日	中止	子育て	青少年	0人	【事業内容】 旭町小学校6年生を対象とした安原地区の歴史まち歩きを実施。歴史研究会の会員が講師となり、地区の歴史文化について説明する。 【ねらい】 城下町特有の歴史文化に触れてもらおう。また、地区内の文化財がどのように保存・活用されているのか知ってもらおう。	【準備過程】 ・小学校教諭、歴史研究会と当日の内容、日程等について打ち合わせ ・当日の行程表の作成、資料の配布 【共催団体】 安原地区歴史研究会	【評価と反省】 大雪の影響により中止 【今後の方針】 例年より1ヶ月遅れでの実施予定であったことから天候に左右されてしまったため、時期を検討して事業実施をしたい。	○
安原地区新年顔合わせ会	1月29日	1回	地域事業(文化)	成人	35人	【事業内容】 地区役員による地区新年会を開催。飲食はせず、会長挨拶、記念写真撮影を執り行った。 【ねらい】 新年の抱負等、地区で取り組むまちづくりの方向性を共有し、決意新たに新年を迎える。	【準備過程】 安原地区まちづくり協議会新年会企画委員会が企画、実施	【評価と反省】 例年行っている会食形式の新年会とはならなかったが、本年のまちづくり、地域づくりに向けた決意を共有できる良い機会となった。 【今後の方針】 コロナ禍前の形式に少しでも近づけるよう工夫しながら、事業実施を図りたい。	
福祉を語るつどい【講演会】 ～よりよい睡眠のコツを知る～	3月2日	1回	福祉健康	成人	64人	【事業内容】 地区住民の中で、日々の睡眠に悩みを抱えている方を対象に睡眠のメカニズムや睡眠の効果に関する講演会を開催。 【ねらい】 参加者が、講演会を通してよりよい睡眠のコツを得る。	【準備過程】 ・浅野メンタルクリニック：浅野明子氏と日程、内容等の調整 ・全戸配布の公民館たよりで事業周知 ・当日資料の準備 【共催団体】 社会福祉協議会安原地区支会	【評価と反省】 高齢者の中には睡眠に悩みを持つ方は少なくないため、ニーズに合った講演会となった。また、呼吸法や簡単なストレッチなども取り入れ、楽しく学ぶことができた。 【今後の方針】 “福祉”に関する学習は多岐にわたるため、住民のニーズを把握しながら、内容を検討し事業実施を図る。	

令和4年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
雛人形の歴史を辿る 須坂アートパーク「三十段飾り千体の雛祭り」	3月3日	1回	趣味教養	成人	26人	【事業内容】 須坂アートパークで催されている「信州須坂三十段の雛飾り・千体の雛祭り」を見学会を開催。 【ねらい】 時代や地域によって変わる雛人形の違いについて見識を深める。	【準備過程】 ・当日行程の検討 ・各施設との日程、内容等を調整 ・全戸配布の公民館だよりにて事業周知	【評価と反省】 桃の節句に合わせた事業とすることができ、参加者からも好評であった。地域、年代によって変わる雛人形の違いを学ぶことができ有意義な事業となった。 【今後の方針】 今後も住民のニーズを反映した、バス事業を実施したい。	
四賀「福寿草」観賞と 「化石館見学・学習」	3月17日	1回	趣味教養	女性	25人	【事業内容】 地区住民を対象に、四賀地区の福寿草見学ウォーキングと化石館見学・学習会を開催。 【ねらい】 住民の健康づくりの推進及び、親睦を深める。	【準備過程】 ・各施設との日程、内容等の調整	【評価と反省】 天候が悪く、福寿草を十分に楽しむことはできなかったため、当初の行程に行先を足し臨機応変に対応した。 【今後の方針】 化石館では化石発掘体験ができることと、今後親子を対象とした事業にも繋げられると良い。	
安原井戸端・デジカメ 百景合同バス研修	7月22日 2月24日	2回	趣味教養	成人	39人	【事業内容】 安原地区井戸端・デジカメ百景のメンバーを中心とした写真技術向上を目指すバス講座を開催。 【ねらい】 住民相互の交流を図るとともに、写真技術の向上を目指す。また、撮影された写真を公民館に展示し、撮影者同士の意見交換を通して、内容をより深める。	【準備過程】 ・当日行程の検討 ・各施設との日程、内容等を調整 ・全戸配布の公民館だよりにて事業周知	【評価と反省】 当館で活動しているサークル「デジカメ百景」のメンバーを中心に、楽しみながら写真撮影の技術向上に取り組むことができた。また、会員・参加者同士の交流も深めることができた。 【今後の方針】 内容、行程等を検討し、事業継続を図りたい。	
安原地区親睦ポウリング大会	6月10日 2月10日	2回	スポーツ	成人	42人	【事業内容】 地区住民を対象に、アピナボウル松本城山店にてポウリング大会を開催。 【ねらい】 住民のスポーツ機会を設け、身体・健康づくりを推進する。	【準備過程】 安原地区スポーツ協会が企画・実施	【評価と反省】 地区スポーツ協会が中心となり、地区住民のスポーツ機会の提供及び、健康づくりに寄与する事業となった。 【今後の方針】 来年度もスポーツ協会協力のもと、事業継続を図りたい。	

令和4年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
旭町小学校・中学校あいさつ運動	通年	4回	その他	青少年	50人	【事業内容】 旭町小学校西門、旭町中学校正門の前で、地区住民が児童対象にあいさつ運動を行う。 【ねらい】 地域全体であいさつが当たり前できるように。また、子どもたちが気持ちよく学校生活を送れるよう住民が率先して挨拶運動を実施。	【準備過程】 全戸配布の公民館だよりで事業周知 【共催団体】 旭町小・中学校応援団	【評価と反省】 事業が定着してきており、町会長を中心に来てくださる方が増えてきた。 【今後の方針】 町会役員に限らず、地区住民にも参加してもらえるよう、周知方法等を工夫したい。	○
スマホ使い方相談会	通年	12回	趣味教養	高齢者	90人	【事業内容】 地区住民が日頃スマホを使っていて分からない点を相談し、説明を受ける相談会を開催。 【ねらい】 地区内DXの推進、スマホに関する悩み解決。	【準備過程】 ・下記共催団体と日程、内容等の調整 【共催団体】 天白琥珀会	【評価と反省】 あえて講座内容を決めず、なんでも相談会にすることで、参加者が気楽に参加できるようにした。参加者それぞれのニーズに合った講座となっている。また、講座内でLINEグループができ、新たな繋がりづくりの場ともなっている。 【今後の方針】 参加者のレベルが徐々に上がっており、よりレベルの高い内容を求められることもあるため、専門の講師を呼ぶなど内容を検討し、事業継続を図る。	
パソコン教室	通年	24回	趣味教養	成人	137人	【事業内容】 パソコンの基礎学習を行う。月に2回講師を招き、日頃パソコンを使用するうえでの不明点について解決を図る。 【ねらい】 参加者同士が教えながら講座を行うことで、技能向上と参加者交流を図る。	【準備過程】 ・講師：山川豊氏と日程、内容を調整 ・全戸配布の公民館だよりで事業周知	【評価と反省】 当館の定期講座として例年開催しているが、参加者の減少・固定化が見られる。 講師も高齢となってきているため、講座内容、回数等を見直す必要がある。 【今後の方針】 講師と日程、内容等を再検討し、事業実施を図る。	
スローストレッチ教室	通年	24回	福祉健康	成人	375人	【事業内容】 ゆっくりとした動きの健康体操を行う。 【ねらい】 自分に合ったストレッチ体操を行い、自身の健康づくりに繋げる。	【準備過程】 全戸配布の公民館だよりで事業周知	【評価と反省】 専任講師に依頼することで継続的に無理のない範囲でストレッチ体操ができた。新たな参加者が時々来るなど、当館では人気の講座となっている。 【今後の方針】 事業継続を図る。	

令和4年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
男のストレッチ講座	通年	12回	福祉健康	その他	71人	【事業内容】 ストレッチとトレーニングを自分のペースで行う。(男性向け) 【ねらい】 男性限定の講座とすることで、男性の講座参加率を向上させる。	【準備過程】 ・すがの鍼灸整骨院：高橋達也先生と日程打ち合わせ ・全戸配布の公民館だよりで事業周知	【評価と反省】 専任講師に依頼することで継続的に無理のない範囲でストレッチ体操ができた。 男性限定にしていることから、男性が気兼ねなく参加できる講座となっている。 【今後の方針】 新規参加者が増えるよう、内容や周知方法等を見直し、改善する。	
男の料理教室	偶数月第1金曜日	6回	趣味教養	その他	41人	【事業内容】 男性を対象に料理教室を開催する。 【ねらい】 男性限定の講座とすることで、男性の講座参加率を向上させる。また、地区内の食育に繋げる。	【準備過程】 ・全戸配布の公民館だよりで事業周知	【評価と反省】 幅広い分野の料理を品数多く作るため、参加者からも非常に好評である。料理を作ることを通して食育を進めるとともに、参加者同士の交流にも繋がっている。 【今後の方針】 参加者の固定化が見られるため、内容や周知方法を改善し事業継続を図る。	
パンとスイーツ教室	奇数月第4金曜日	5回	趣味教養	その他	65人	【事業内容】 パンとスイーツを一品ずつ作る料理教室を開催。 【ねらい】 料理教室を通して、食育、地区住民の交流を図る。	【準備過程】 ・講師：高梨雅子氏と内容等を調整 ・全戸配布の公民館だよりで事業周知	【評価と反省】 毎回内容を変えて、様々な種類のパン・スイーツづくりを学ぶことができ、非常に好評な講座となっている。 【今後の方針】 来年度も継続する。	
安原地区歴史研究会	毎月第4金曜日	12回	地域文化	成人	163人	【事業内容】 地区内の歴史、文化を中心に、幅広く歴史について学ぶ。 【ねらい】 会員が率先して地区内の歴史、文化を学ぶことで、地区内の文化財保護事業の推進を図る。	【準備過程】 歴史研究会が企画、事業実施	【評価と反省】 地区内の歴史文化を中心に幅広く学習することができた。文化財保護事業の推進やコミュニティースクール事業での講師など、幅広く活躍しているサークルとなっている。 【今後の方針】 座学だけでは会員のモチベーションを保つのは難しく、講演会やバス研修など内容を工夫しながら事業継続を図る必要がある。	

令和4年度 事業報告

安原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館運営委員会・文化委員会等合同会議	6月8日 6月16日 7月13日 8月10日 9月16日	6回	公民館委員会・各種会議等	その他	61人	【事業内容】 公民館の運営、各種イベントについて内容等を協議し、事業の運営をする。 【ねらい】 安原地区公民館、安原地区全体の活性化につなげる。	【準備過程】 ・会議開催通知の送付 ・当日資料の準備 ・各種イベント時の役割分担	【評価と反省】 夏祭りや文化祭など、地区事業の開催内容等を協議したが、コロナ禍を理由に中止するのではなく、内容を工夫して実施するとの方針を持てたことは良かったと思われる。 【今後の方針】 必要に応じ、随時開催する。	
図書編集委員会	5月18日 11月17日	2回	公民館委員会・各種会議等	その他	11人	【事業内容】 公民館内にある図書スペースの本の入替。 【ねらい】 地区住民により近い場所で、様々なジャンルの本に触れてもらう機会を提供する。	【準備過程】 松本市中央図書館と各委員との日程調整	【評価と反省】 それぞれの委員が好きな本を選んで図書入替を行うことで、楽しみながら入替活動を行うことができた。 本の紛失が多々あるため、予防策を講じる必要がある。 【今後の方針】 事業継続を図る。	
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	77人	【事業内容】 安原地区公民館報の作成。 【ねらい】 安原地区公民館報を通して、地域の情報を発信する。	【準備過程】 ・編集会議開催通知の送付 ・編集会議資料作成 ・館報紙面の割り付け	【評価と反省】 掲載記事の選定や記事校正など、委員が積極的に意見を言いながら館報編集を進めることができた。 掲載記事が事業報告のものが多いため、地域の“人”に焦点を当てるなど、より興味深い内容とする必要がある。 【今後の方針】 今後も委員と話し合いながら、よりよい館報づくりを進める。	

令和4年度 事業報告の概要

城東公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の北端、福祉複合施設の3階にある公民館ということで、地域住民が気軽に立ち寄ることが難しい条件にある。このため大勢の住民に足を運んでもらえるような多種多様の講座、事業を実施するよう留意している。またコロナ禍が続いている中、直近の感染拡大状況や開催方法を熟慮し、感染症予防と事業実施の両立を目指す。 ・講座終了後に参加者へアンケートを実施したり、直接参加者とコミュニケーションを取ったりすることで、地域住民の学びに対するニーズを講座に反映していくよう努めた。 ・公民館講座やコミュニティースクール事業を他地区と合同で行うことにより、単独館では行えなかった規模での開催や参加者へのきめ細かいサポートを行うことができ、地域愛の醸成や社会福祉への更なる貢献を図った。 										<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や講座参加者からの意見、要望の吸い上げに力を入れた結果、そこから企画した講座もいくつか行うことができた。今後も地域からのニーズや身近な課題に沿った講座企画を行っていききたい。 ・昨年度から引き続きコロナ禍での公民館運営となった。感染拡大の影響でやむなく中止となった事業もあったため、次年度以降は感染対策に考慮しつつ事業やイベントの推進を図りたい。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	3	11	3	0	6	2	0	0	2	1	3	5	9
延べ参加人数	34	79	98	61	0	156	31	0	0	47	158	320	122	83

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スマホ活用講座	6月3日 6月14日	2回	その他	成人	14人	【内容】 ・市が提供しているアプリの操作方を学ぶことからスマホの操作方法等を学ぶ 【ねらい】 ・デジタルデバイドの解消	【共催団体等】 市広報秘書課 市環境業務課	・出前講座による講座であったが、市の広報誌の見方やごみ処理のアプリを題材に行ったが、一部の方でアプリのDLまでたどりつかない場面もあった。機種が異なる場合の対処方法が課題となった。 ・松本市としてDX施策を進める中デジタルデバイド解消は急務であるので、今後も継続して開催していきたい。	
第43回マレットゴルフ大会	6月28日	1回	スポーツ	成人	16人	【内容】 ・大芝公園でマレットゴルフ大会を行う 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 地区スポーツ協会	・参加者同士の親睦、健康づくりに役立った。 ・コロナ禍の中、屋外で体を動かす良い機会となった。	
盲学校 地域奉仕活動	7月12日	1回	地域事業 (その他)	成人	23人	【内容】 ・松本盲学校の生徒による施術奉仕 【ねらい】 ・地域の絆を深める		・コロナ禍の中、3年ぶりの開催となった ・地域の方も学校も充実した交流ができたとの感想で、今後も継続していきたい。	
上高地自然観察 ウォーキング	7月21日	1回	福祉健康	成人	14人	【内容】 ・上高地自然散策、ウォーキング 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流		・自然学習や、参加者の健康づくりに役立った。	
明科廃線敷き ウォーキング	7月26日	1回	福祉健康	成人	9人	【内容】 ・明科廃線敷きウォーキング 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流		・自然学習や、参加者の健康づくりに役立った。	
夏休み親子体験教室	8月1日	中止	子育て	青少年	0人	【内容】 ・子どもを対象に国営アルプスあづみの公園で自然観察とビザづくりを体験する 【ねらい】 ・体験学習 ・参加住民同士の世代間交流		・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。	
子ども安全安心学校	8月5日	1回	子育て	青少年	15人	【内容】 ・防災、防犯について子どもと大人と一緒に学ぶ 【ねらい】 ・体験学習 ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 子ども会育成会、日赤奉仕団、福祉ひろば、児童館他	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から当初も目的であった子どもたち対象の講座は中止したが、スタッフの学びの深化を目的に市社協の講師に非常食のつくり方とHUGこの体験講習を開催した。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ポッチャ体験会	8月27日	1回	地域事業 (体育)	成人	26人	【内容】 ・ポッチャの体験会を行う 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 スポーツ協会	・子どもも含めて参加者同士の親睦、健康づくりに役立った。	
人権講座	8月31日	1回	人権平和	成人	14人	【内容】 ・松代の戦争遺跡である象山地下壕について平和について再認識するきっかけとする 【ねらい】 ・人権意識の向上	【共催団体等】 地区人権啓発推進協議会	・平和について再認識していただくきっかけとなった。 ・協議会と実施内容を協議しながら継続実施したい。	
盲学校の草取り作業	9月4日	1回	地域事業 (その他)	成人	19人	【内容】 ・松本盲学校の草取り 【ねらい】 ・地域の絆を深める ・環境美化	【共催団体等】 地区環境衛生協議会	・地域住民の助け合いの精神が遺憾なく発揮され、盲学校との交流が促進された。 ・今後も継続していきたい。	
城東公民館文化祭	9月24日	1回	地域事業 (文化)	成人	158人	【内容】 ・公民館利用団体、地域住民による芸術文化の祭典 ・新型コロナウイルスの影響により、例年より規模を縮小しての開催 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流 ・コロナ禍によって激減した日々の活動成果の発表機会の提供	【共催団体等】 文化祭実行委員会	・規模は縮小したものの、感染拡大対策に十分留意の上、無事に開催することができたことは大きな成果であった。 ・展示サークルが皆無になったため急遽町内公民館等経由で地域住民の作品を募集し展示していただいた。 今後、展示関係団体のサークル支援とあわせた地域住民の発表の場としての取り組みが必要である。	
ものづくり講座	10月3日	1回	地域文化	成人	11人	【内容】 ・ものづくりを視点に地域振興を図っている施設を見学、体験する 【ねらい】 ・ものづくりの視点による地域振興	【共催団体】 城東地区町会連合会	・地域活性化のために必要な視点が学べた。	
アメリカンフラワー講座	12月1日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 ・文化祭への出品作品として、来館者アンケートによる要望から実施した 【ねらい】 ・文化祭への出品も見据えた取り組みとする		・展示サークルが減少した文化祭への出品を見据えた取り組みとしたい。	
キム子漬け講座	12月2日 12月3日	2回	趣味教養	成人	24人	【内容】 ・簡単漬け物講座 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流		・人気講座であるため、次年度以降も継続して開催していきたい。	

令和4年度 事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
そば打ち講座	12月16日	1回	趣味教養	成人	5人	【内容】 ・公民館利用団体の方を講師にお招きしてのそば打ち講座 【ねらい】 ・食育、教養の向上 ・郷土食をすることによる郷土愛の醸成 ・参加住民同士の交流		・恒例講座であるが、物価高騰の折から参加費が倍になった影響か、参加者が少なかった。 ・次年度以降は内容の見直し等、更なる充実を図り新規の方も参加しやすい講座作りを心掛ける。	
留学生との新年交流会	1月7日	1回	地域文化	成人	7人	【内容】 ・留学生と地域住民が新年の遊びや伝統行事などの体験を通じて交流する 【ねらい】 ・留学生と参加住民の交流		・信州大学留学生と地域住民との交流を図る貴重な機会となった。 ・地域住民の方が留学生から学ぶ機会も必要に思う。	
町会対抗ポッチャ大会	1月21日	1回	地域事業(体育)	成人	21人	【内容】 ・初開催となる町会対抗の大会を開催する 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 地区スポーツ協会	・子どもさんも含め誰でもできるポッチャの良さで、真剣勝負の上にも笑顔が絶えない交流による大会となった。 ・すべての町会がエントリーするよう呼びかけをしたい。	
フワラーサイン講座	2月2日 3月2日	2回	趣味教養	成人	7人	【内容】 ・住民からの持ち込み講座で自分を見つめなおすきっかけとする 【ねらい】 ・文化祭への出品も見据えた取り組みとする		・展示サークルが減少した文化祭への出品を見据えサークルへの取り組みを促したい。	
相続講座	2月 6日 2月20日 2月27日	3回	趣味教養	成人	53人	【内容】 ・知っておきたい相続について学ぶ 【ねらい】 ・包括や生活支援の相談が多い課題について地区関係担当と共に解決に向けて学びの場をつくる	【共催団体】 包括支援センター 地区担当 地区生活支援員 地区担当	・満足度が高く継続した取り組みの要望もされている。	
ラージボール卓球体験教室	3月4日	1回	スポーツ	成人	15人	【内容】 ・市民スポーツ大会の種目でもあるラージ卓球について競技人口の拡大を図る 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 地区スポーツ協会	・来年度も継続した取り組みを行いたい。	
人権講座	3月18日	1回	人権平和	成人	20人	【内容】 ・性の多様性を考えるをテーマにLGBTQの理解を深める 【ねらい】 ・人権意識の向上	【共催団体等】 地区人権啓発推進協議会	・多様性を認め合う社会づくりを求められる中で科学的根拠に基づく理解が深まった。	

令和4年度 事業報告

城東公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
歩いて探そうお宝探訪ウォークラリー	3月21日	1回	地域文化	その他	43人	【内容】 ・ウォークラリー ・ウォークラリーにて巡った史跡に関する歴史講座 【ねらい】 ・地域資源、財産の再発見 ・参加住民同士の交流	【主催】 まちなかウォークラリー実行委員会 (第一、二、三、東部、城東、大手公民館)	・地区合同講座として開催。単独館での企画より大規模に行うことができ、参加者同士はもちろんのこと、職員同士の連携醸成や地区間の情報共有にも役立った。	
ひろばウォーキング 街中さんぽ	通年	5回	福祉健康	成人	56人	【内容】 ・ひろばとコラボし目的をもって散策しながらウォーキング 【ねらい】 ・健康づくり ・参加住民同士の交流	【共催団体】 城東地区福祉ひろば	・コロナ禍の中で希薄になりがちな人と人との交流や、健康づくりに資することができた。 ・目的を定めて散策するがらりさんぽのスタイルに変更したので途中から事業名を変更した。	
地区情報テラスの発行	6～3月	39回	地域事業 (その他)	成人	278人	【内容】 ・公民館の情報も含む地区情報誌の企画編集、作成、印刷、配布 【ねらい】 ・地区情報の一元化	【共催団体】 城東地区町会連合会広報部	・今まで公民館や福祉ひろば、地区団体情報などが個別に作成、情報提供されたいたものを一元化した。 ・月4回の部会活動により編集印刷作業をすべて手作り手作業を要するため効率化が求められる。	
ふるさと料理教室	9月～11月	4回	趣味教養	成人	57人	【内容】 ・県内のふるさと料理づくりを学ぶ。うち1回は、市バスで現地視察 【ねらい】 ・文化、教養の向上 ・参加住民同士の交流	【共催団体等】 ・ほほえみの会	・毎年恒例の講座であり、参加者からの人気も高い。 ・調理するレシピについては、参加者からの要望も取り入れて検討していきたい。	
コミュニティースクール事業 (小中学校)	4月 8月 1月 3月	8回	子育て	青少年	27人	【内容】 ・旭町小、中学校でのあいさつ運動 【ねらい】 ・児童生徒と地域住民との交流 ・地域で子どもを見守る、育む	【共催団体等】 城東地区子ども見守り隊	・地区内でボランティアを募り、実施した。 ・子どもや保護者、地域の方が取り組みを認識できるようにベストを着用した。 ・学校と連携し、実施内容を検討、継続したい。	○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
コミュニティスクール事業（小学校）	4月7日～8日 4月11日～13日	5回	子育て	青少年	33人	【内容】 ・旭町小学校の新1年生が安全に下校できるように見守る 【ねらい】 ・地域で子どもを見守る、育む	【共催団体等】 城東地区子ども見守り隊	・子どもたちが安全に下校することに資することができた。	○
	4月20日	1回	子育て	青少年	3人	【内容】 ・旭町小学校の交通安全教室時に、コースとなる道路の安全を見守る 【ねらい】 ・地域で子どもを見守る、育む	【共催団体等】 城東地区子ども見守り隊	・子どもたちの交通安全に資することができた。	○
	6月10日 10月6日	2回	子育て	青少年	8人	【内容】 ・旭町小学生と地域住民でさつまいもの植付と収穫を行う 【ねらい】 ・児童と地域住民の交流 ・食育		・今年から子どもたちの学びに合わせて自主性を重んじたためか、昨年の収穫量の1割にも満たない出来であった。ただ失敗から学ぶことは多かったようである。	○
	9月14日	1回	子育て	青少年	1人	【内容】 ・旭町小学校5年生が稲作の栽培方法について農業従事者から学ぶ 【ねらい】 ・食に対する造詣を深め、親しむ心を養ってもらうとともに地域住民との交流の場とする		・市街地に居住する子どもたちが普段体験できない稲作について知る良いきっかけとなった。	○
	10月25日	1回	子育て	青少年	0人	【内容】 ・旭町小学校1、2年生のスケート教室に同行し、靴紐結びや見守りを行う 【ねらい】 ・地域で子どもを見守る、育む ・子どもたちの滑走時間を確保する		・コロナ禍のため、学校の判断でボランティアの方の参加が見送られた。	○
	11月	2回	子育て	青少年	0人	【内容】 ・旭町小学生の防災頭巾作成 【ねらい】 ・児童と地域住民の交流 ・地域で子どもを見守る、育む		・コロナ禍のため、学校の判断でボランティアの方の参加が見送られた。	○
	12月5日	1回	子育て	青少年	9人	【内容】 ・旭町中学生への読み聞かせボランティア 【ねらい】 ・中学生は本に触れるきっかけとする ・地域住民の交流		・中学生と接する機会として継続した取り組みとしたい。	○
	3月2日	1回	子育て	青少年	2人	【内容】 ・旭町小学校5年生が地域の宝を説明を受けながら見学する 【ねらい】 ・地域の宝に触れ郷土愛を育む		・見学先の講師が熱心に説明していただき時間が足りなかったようである。事前学習も含めた打ち合わせが必要である。	○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館委員会会議	通年	16回	公民館委員会・各種会議等	成人	9人	【内容】 ・公民館の運営にそれぞれの部門から助言や支援をいただく ・各部門の主管事業の実施 ・運営委員会		・各委員会のなり手不足が深刻となっ てきている。現委員でも高齢化が進 み、後任がないために継続して委員 を務めなければならない状況。 ・活動が定例化しつつあるため、各委 員会の活動理念に沿った新しい取り組 みを模索したい。	
			公民館委員会・各種会議等	成人	97人	・館報編集委員会			
			公民館委員会・各種会議等	成人	6人	・図書視聴覚委員会			
			公民館委員会・各種会議等	成人	3人	・文化委員会			
			公民館委員会・各種会議等	成人	7人	・体育委員会			

令和4年度 事業報告の概要

白板地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 従来取り組んできた飲食を伴う文化事業について、コロナ禍においても実施できる事業内容へ変更した。 地区内の関係機関、各種団体等と連携を図った事業を開催した。 児童センター、小学校、中学校との交流の機会を創出し、世代間の交流を活発にした。 講座参加者や地域住民の声を取り込み、新しい講座の企画を行った。 										<ul style="list-style-type: none"> 飲食を伴う文化事業について、昨年度は一律中止となっていた。今年度は飲食を伴わない施設見学を中心とした講座実施とし、徐々に元の活動状態へ戻っていけるよう、年度途中からは持ち帰りによる飲食物の提供を行い、事業実施を図った。 地区内の各種団体との連携により、各種団体との共催事業を複数回実施した。今後も、各種団体の活性化につながる事業を展開していきたい。 児童センターや小学校、中学校との交流の機会により、「公民館とは何か」を子どもたちに知ってもらえた。このつながりを活かし、多世代交流のさらなる活性化を図りたい。 公民館講座に初めて参加される方も複数おり、公民館活動の広がりを感じることができた。今後は、既存の公民館活動への参加者を大切にしながら、新規参加者を集めることができる講座を企画していきたい。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	6	3	9	1	7	1	1	0	2	1	2	2	4
延べ 参加人数	20	148	162	141	10	396	86	18	0	147	370	150	102	224

令和4年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
本気のラジオ体操	4月20日	1回	福祉健康	高齢者	11人	【事業内容】 2級ラジオ体操指導士を講師に招きラジオ体操の健康効果を周知する。 【ねらい】 健康増進	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 ラジオ体操の動作が持つ健康効果を知り、自宅でもやってみるといった声が聞かれ、好評であった。 【今後の方針】 公民館で実施しているゆるやかラジオ体操へ内容を反映させていく。	
文化講座 端午の節句	5月18日	1回	地域文化	その他	10人	【事業内容】 馬場家住宅の企画展「古民家を彩る押絵雛」の見学。 【ねらい】 端午の節句という文化について学習し、文化を継承する	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 コロナ以前は子ども中心に招き、飲食を伴う講座であったが、コロナ禍のため施設見学のみとしたことから、参加者は大人が主であった。 【今後の方針】 子どもも参加しやすい内容を検討する。	
第20回白板地区大運動会	5月22日	1回	地域事業 (体育)	その他	141人	【事業内容】 3年ぶりの地区大運動会（誰でも参加できる競技が主体）の実施。 【ねらい】 町会同士の交流 健康増進	【準備過程】 地区内全戸回覧にて周知。 【共催団体等】 主催：白板地区スポーツ協会 共催：白板地区公民館	【評価と反省】 2年連続で中止としていたが、感染症対策を徹底し実施した。協議内容も再考し、接触の少ない競技での実施とした。 【今後の方針】 継続	
上高地 自然観察& ウォーキング	5月24日 5月30日 6月3日 6月29日 7月4日	5回	福祉健康	成人	59人	【事業内容】 上高地の自然を観察しながらウォーキング。 【ねらい】 高齢者の閉じこもり解消 自然とのふれあい	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 参加者の体力に合わせ、毎回コースを分けて実施した。上高地の自然観察だから家から出てみたといった声も聞かれ好評であった。 【今後の方針】 継続	
丸ノ内中学校乗鞍登山 ボランティア	7月8日	1回	地域事業 (体育)	青少年	6人	【事業内容】 丸ノ内中学校2学年の乗鞍登山の随伴ボランティア。 【ねらい】 登山経験のある住民とともに、生徒・引率教諭のフォロー	【準備過程】 丸ノ内中学校の職員会議に出席し、乗鞍登山の打ち合わせ。	【評価と反省】 地区内外から6名のボランティアの応募があった。上高地の自然観察講座の参加者が参加をさせていただけたこともあり、公民館活動の広がりを感じた。 【今後の方針】 丸ノ内中学校との協議により、今後の方針を決定する。	○
乗鞍 自然観察& ウォーキング	7月22日 8月2日	2回	福祉健康	成人	26人	【事業内容】 乗鞍の自然を観察しながらウォーキング。 【ねらい】 高齢者の閉じこもり解消 自然とのふれあい	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 乗鞍に生息する動植物の観察ができ、とても好評であった。 【今後の方針】 継続	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
乗鞍岳畳平周辺にて自然研修会	7月24日	1回	子育て	青少年	17人	【事業内容】 乗鞍の自然に生息する動植物について学習をする。 【ねらい】 親子の交流 子ども同士の交流	【準備過程】 白板地区子ども会育成会の回覧にて周知。 【共催団体等】 主催：白板地区子ども会育成会 共催：白板地区公民館	【評価と反省】 親子を対象とした事業であるため、親子での自然観察が活性化するように、動植物のハンドブックを作成するなど工夫した。 【今後の方針】 主催者と検討しながら継続	
文化講座 七夕のお話を聞こう	7月27日	1回	地域文化	その他	7人	【事業内容】 馬場家住宅の七夕飾りを見学し、七夕の文化について学習する。 【ねらい】 教養を深める	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 飲食を伴う文化講座としてコロナ以前は実施していたが、コロナ禍でもできる内容へと変更を検討し、馬場家住宅の学芸員の説明を聞きながら、七夕について見識を深めた。 【今後の方針】 内容の検討をしながら継続	
公民館に泊まろう	8月6日 8月7日	中止	地域事業 (その他)	青少年	0人	【事業内容】 白板地区の児童を対象とした、公民館への宿泊事業。 【ねらい】 学校、学年を超えた子ども同士の交流	【共催団体等】 主催：丸ノ内スポーツクラブ 共催：白板地区公民館	【評価と反省】 宿泊・飲食を伴うイベントであり、感染症対策が徹底できないため中止とした。 【今後の方針】 主催者と検討しながら継続	
遊歩道アプトの道 ウォーキング	8月19日	1回	福祉健康	成人	17人	【事業内容】 めがね橋から横川駅に保存されているアプト式列車の線路（アプトの道）を歩き、鉄道の歴史について学習する。 【ねらい】 教養を深める 歴史について学習する 参加者の交流	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 ウォーキングを目的として参加する方や、アプトの道に興味があって参加する方など多くの応募があり、交流も深まった。	
文化財巡り in 大町市	8月31日	1回	地域文化	成人	15人	【事業内容】 仁科氏ゆかりの文化財や民俗資料館を見学し、歴史文化に触れる。 【ねらい】 教養を深める 歴史について学習する	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 近隣市町村の文化財について学習をし、松本市の文化財についても今まで以上に学習したいと意欲が湧いた様子であった。	

令和4年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
エネルギーを考える ダム・水力発電所見学 講座	9月7日	1回	環境	成人	10人	【事業内容】 ダムや水力発電所を見学し、再生可能なエネルギーである水力発電について知見を広げ、生活に欠かせない電気について考える。 【ねらい】 教養を深める	【準備過程】 長野県梓川土地改良区の職員と打ち合わせ。 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 梓川頭首工など普段行くことのない施設を見学し、水力発電の仕組みを学習できたことで、電気の使用について考えていきたいといった声があった。	
上高地 自然観察&散策	9月13日	1回	福祉健康	高齢者	20人	【事業内容】 上高地の自然を観察しながら散策。白板地区福祉ひろばと共催で実施した。 【ねらい】 高齢者の閉じこもり解消 健康増進 自然とのふれあい	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。 【共催団体等】 共催：白板地区福祉ひろば	【評価と反省】 長い距離を歩くことに自信がない方向けに、短距離の散策コースを用意した。公民館利用者と福祉ひろば利用者の交流ができた。 【今後の方針】 共催者と検討しながら継続	
文化講座 プラネタリウムと美術館見学	9月16日	1回	地域文化	成人	12人	【事業内容】 お月見の時期に合わせ、教育文化センターのプラネタリウムを見学。芸術の秋にちなみ、美術館の見学を実施した。 【ねらい】 教養を深める	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 コロナ以前はお月見をしながら飲食をしていたが、コロナ禍でもできる内容へと変更を検討し、プラネタリウム・美術館の見学とした。 【今後の方針】 内容の検討をしながら継続	
小諸城址懐古園・布引 観音を訪ねて	9月20日	1回	地域文化	成人	20人	【事業内容】 国の重要文化財や歴史的建造物を見学し、歴史遺産についての学習を行う。 【ねらい】 教養を深める 歴史について学習する	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 布引観音までの道のりが険しく、途中で断念する参加者が数名いたため、募集の段階で詳細について説明を実施した方が良かった。	
「安心の家」めぐり	9月27日	1回	子育て	青少年	25人	【事業内容】 田川小学校の児童の通学路にある「安心の家」をめぐるウォーキングを実施。 【ねらい】 安心の家の把握	【準備過程】 「安心の家」登録者に対し、訪問日時を連絡。田川児童センターとの打ち合わせ。 【共催団体等】 共催：田川児童センター	【評価と反省】 「安心の家」が何かを知らない児童や、どこにあるか知らない児童が大多数であったため、もしもの時に活用できるように、今後も周知を図る。 【今後の方針】 継続	

令和4年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第4回白板地区文化祭	10月15日	1回	地域事業 (文化)	その他	370人	【事業内容】 白板地区で活動している団体・サークルの活動発表の場として実施。田川小学校の児童や丸ノ内中学校の生徒も演奏した。 【ねらい】 活動サークルの発表の場の創出	【準備過程】 文化祭実行委員会を複数回重ね、内容を検討。 白板地区だより及び文化祭パンフレットにて周知。 【共催団体等】 主催：白板地区文化祭実行委員会	【評価と反省】 文化祭実行委員会の中でアンケートを実施し、開催可否について検討した。集客のために地区内巡回バスを運行させたが、バスのサイズが大きかったため、マイクロバスが望ましい。 【今後の方針】 継続	
四季防災館 視察研修	11月3日	1回	防災	成人	18人	【事業内容】 学習施設に出向き、災害や自然の特性を体験する。 【ねらい】 災害が起きた際の対応方法を学ぶ。防災の意識向上	【共催団体等】 主催：白板日赤奉仕団 共催：白板地区公民館	【評価と反省】 災害の歴史を知り、体験施設で地震体験を行うことで、地震の恐ろしさを体感した。体感したからこそ、災害が起きたらどうするかを真剣に考えるようになったという声が聞かれた。 【今後の方針】 主催者と検討しながら継続	
正しいラジオ体操	11月18日	1回	福祉健康	成人	15人	【事業内容】 2級ラジオ体操指導士を講師に招きラジオ体操の健康効果を周知する。 【ねらい】 健康増進	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。 【共催団体等】 主催：白板地区健康づくり推進員会 共催：白板地区公民館	【評価と反省】 白板地区健康づくり推進員向けに、地区内で実施できるようラジオ体操の健康効果を学習した。	
富岡製糸場視察研修	11月22日	1回	人権平和	成人	20人	【事業内容】 世界遺産である「富岡製糸場」を見学し、日本の近代化や絹産業の技術革新、当時の労働環境等について学習した。 【ねらい】 人権についての知識の向上	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。 【共催団体等】 主催：白板地区人権啓発推進協議会 共催：白板地区公民館	【評価と反省】 富岡製糸場で働く工女たちの労働環境と、当時の一般的な労働環境を学び、人権について考える機会となった。 【今後の方針】 主催者と検討しながら継続	
親子料理教室	12月4日	1回	趣味教養	青少年	47人	【事業内容】 クリスマスを間近に控えているため、親子で協力しながらクリスマスケーキを作成した。 【ねらい】 親子の交流 子ども同士の交流 食育	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。 【共催団体等】 主催：白板地区子ども会育成会 共催：白板地区公民館	【評価と反省】 コロナ禍での料理教室であるため、人数を分散させるために、午前午後の2枠で開催した。 【今後の方針】 主催者と検討しながら継続	

令和4年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
田川小学校 フラワーアレンジメント	12月9日	1回	趣味教養	青少年	58人	【事業内容】 田川小学校の総合的学習の時間を利用して、講師を招きフラワーアレンジメントを行った。 【ねらい】 教養を深める	【準備過程】 田川小学校の職員会議に出席し、事前準備や当日の段取りの調整。	【評価と反省】 児童それぞれの個性あふれた作品が出来上がり、児童同士で感想を言い合い、アドバイスし合い、創意工夫する姿が多く見られた。 【今後の方針】 内容を検討しながら継続	○
しめ縄講座	12月19日 ～ 12月22日	3回	地域文化	成人	5人	【事業内容】 期間中、館長がごぼうじめ、輪じめの実演。見学自由（レクチャーは申込制）。 【ねらい】 正月の文化について学習する	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 期間中3回のレクチャー申込があった。12月22日のしめ飾りづくりの事前講座の意味合いもあったため、しめ飾りづくりにも参加いただけた方もいた。 【今後の方針】 継続	
しめ飾りづくり	12月22日	1回	地域文化	成人	8人	【事業内容】 しめ飾りを手作りし、しめ飾りの文化を継承できるよう学習する。 【ねらい】 正月の文化について学習する	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 しめ飾りを作ったことのない方も参加いただき、来年もやってみようという声が聞かれた。 【今後の方針】 継続	
コーヒー淹れ方講座	1月25日	1回	趣味教養	成人	13人	【事業内容】 普段飲んでいるコーヒーについて学習し、コーヒーの効能やおいしい淹れ方の学習をする。 【ねらい】 コーヒーの健康効果について学ぶ	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 適度な摂取により、基礎代謝の増進や老廃物の排出促進、リラックス効果があることを知り、自分好みの淹れ方を学んだ。	
はじめてのスマホ体験教室	2月22日	1回	趣味教養	高齢者	9人	【事業内容】 高齢者向けにスマートフォン体験教室を開催。 【ねらい】 デジタル格差の解消	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 スマートフォンの基本操作から始まり、マップの活用方法やインターネット検索の方法を学んだ。講座終了後は、家までマップのナビを使って帰ってみると意気込む参加者もいて、有意義であった。	
坂城のお雛さま見学会	3月3日	1回	地域文化	その他	18人	【事業内容】 坂本宿ふるさと歴史館や鉄の展示館を訪れ、お雛さまの文化について学習する。 【ねらい】 教養を深める	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 江戸時代の古雛から現代雛までさまざまなお雛さまを見学し、その時代背景や環境の学習ができた。	

令和4年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館でひなまつり会	3月4日	1回	地域文化	その他	46人	【事業内容】 ひな人形の文化について学習する。 七段飾りの飾りつけ等をする。 【ねらい】 ひなまつりという文化について学習し、文化を継承する。	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 ひな人形の飾りつけを楽しそうにする子どもの表情が印象的であった。コロナ以前は飲食を伴う事業展開としていたが、コロナ禍でも実施できる形態として、ちらし寿司の持ち帰りを企画し、好評であった。 【今後の方針】 継続	
岳都講座 ウエストーンと上高地	通年	12回	趣味教養	成人	127人	【事業内容】 近隣地区の住民を対象とした講座。 上高地の山岳・自然・文物について研究を行う。 【ねらい】 教養を深める 参加者の交流	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 座学で上高地について学習し、現地に赴き実地学習を行うなど、有意義な講座となった。参加者も自発的に発言があるなど、活発な空気感で講座ができている。 【今後の方針】 継続	
健康吹き矢講座	通年	12回	スポーツ	高齢者	86人	【事業内容】 腹式呼吸を用い、健康効果も期待できる「吹き矢」を行い、ゲーム感覚でスポーツを楽しむ。 【ねらい】 健康増進 高齢者の閉じこもり解消	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 今年度は新規加入者が2人いたものの、講座参加者は少ない状態である。次年度は、講座参加者を増やせるよう周知を図っていく。 【今後の方針】 継続	
暮らしの花講座	通年	12回	趣味教養	成人	118人	【事業内容】 コロナ禍で家庭での時間が増えたため、生活に彩りを与える花と身近なものを花器として講座を実施した。 【ねらい】 教養を深める 参加者の交流	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 気取らずに参加できる講座を目指し、身近なものを使って講座を実施し、身近なものをどう使って花と融合させていくか、アイデアを参加者で出しながら行った。 【今後の方針】 継続	
下校時見守り活動	通年	12回	子育て	青少年	120人	【事業内容】 地区内の小学生の下校時の見守り活動 【ねらい】 子どもの安全	【共催団体等】 主催：白板地区住みよい町づくり協議会 共催：白板地区公民館	【評価と反省】 見守り活動への参加者が固定となり、活動の広がりが少ない。より多くの参加者を募ることができるよう、周知を図っていく。 【今後の方針】 継続	○

令和4年度 事業報告

白板地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
やきいも大会関連事業 マルチシート張り 植え付け 草取り 収穫 やきいも大会	5月 8日 6月 4日 7月 3日 7月31日 8月 4日 9月 4日 10月16日 11月12日	8回	地域事業 (その他)	青少年	150人	【事業内容】 地区内の小学生同士の交流を図る。 さつまいも畑にマルチシートを張る 作業から始め、植え付け、草取り、 収穫と一連の作業を経験する。 【ねらい】 学校、学年を超えた子ども同士の交 流 食育	【準備過程】 白板地区子ども会育成会の回覧に て周知。 【共催団体等】 主催：白板地区子ども会育成会 共催：白板地区公民館	【評価と反省】 コロナ禍ということもあり、マルチ シート張り、植え付け、草取りとほと んど大人のみでの作業となった。収穫 には多くの子どもが参加したが、やき いも大会本番は感染拡大に伴い、開催 直前に中止の判断をした。収穫したさ つまいもは役員を通して地区の子ども たちに配布した。 【今後の方針】 継続	
「スマホ」なんでも相 談	12月7日 1月11日 1月18日 2月 8日 2月15日 3月15日	6回	趣味教養	高齢者	24人	【事業内容】 高齢者向けにスマートフォンの相談 会を実施。 【ねらい】 デジタル格差の解消	【準備過程】 白板地区だよりにて周知。	【評価と反省】 参加者の質問内容に回答する方式。講 座形式ではなく相談形式のため、予約 制で対応。 【今後の方針】 継続	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	40人	【事業内容】 館報（白板地区版）の編集、会議		【評価と反省】 丸ノ内中学生に館報編集委員を委嘱 し、中学校の行事や生徒会活動を地区 に情報発信している。	○
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	62人	【事業内容】 文化委員会主催の事業の計画、実施		【評価と反省】 五月人形やひな人形の飾りつけ、そ 他行事の運営等、活発に活動してい る。	

令和4年度 事業報告の概要

田川公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <p>1 次世代育成事業の推進 少子高齢化や人口減少等を背景に、担い手不足や伝統行事の継承困難など問題が顕在化するなか、田川地区では将来地域を担う子どもや若者の郷土への愛着・関心を育むことを目的にコミュニティスクール事業や、子ども会育成会等への協力・支援を通じて、次世代育成の推進に注力した。</p> <p>2 地域の居場所づくりと福祉の充実 地域の高齢化に伴い、高齢者を中心とする住民の居場所づくりの一環として、「田川地区いきいきサロン事業」においては、企画委員の一員として参与した。また、町内公民館活動等への支援を核として、住民が気軽に集うことができる居場所づくりを進め、地域福祉の充実に努めた。</p> <p>3 「地域を知る」学習の充実 身近な地域の自然、歴史文化等に関する学習機会を拡充し、潜在的な地域の魅力の掘り起こしに努めるとともに、郷土への愛着や関心、地域に対する参画意識の醸成を図った。</p> <p>4 住民同士の顔の見える関係づくり 従来文化・スポーツ事業を通じた交流に加え、新たな仲間づくりの活動を積極的に展開し、住民同士の顔の見える関係づくりを促進した。</p>										<p>・主催事業については、五部門委員会を中心として、コロナ禍における事業開催可否の判断や感染症対策を随時協議しつつ、地域の合意形成を踏まえて可能な範囲で実施することができた。</p> <p>・単独学級講座やコミュニティスクールは新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業を中止せざるを得ない場合もあったが、感染状況を踏まえて可能な範囲で開催した。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	0	1	0	4	2	3	3	0	1	1	3	1	2	2
延べ 参加人数	0	250	0	131	36	117	78	0	120	20	27	350	100	470

令和4年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
折り紙講座	5月16日 5月31日	2回	趣味教養	成人	9人	【事業内容】 ・折り紙でユリの花を創る講座 【ねらい】 ・気軽に楽しめる折り紙を通じて、仲間づくりを促すとともに生活の質の向上に役立てる。	【共催団体等】 ・田川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・参加者同士の会話を楽しみながら創作活動を行うことができた。 【今後の方針】 ・次年度も引き続き実施を検討。	
水辺の生き物観察会	5月28日	1回	環境	青少年	23人	【事業内容】 ・両島川において水生生物を採集し観察する。 【ねらい】 ・青少年を対象に身近な自然への興味・関心を育てる。	【準備過程】 ・たがわ水辺を守る会で企画、事前準備等 【共催団体等】 ・たがわ水辺を守る会 ・松本ホタル学会	【評価と反省】 ・街中の当地区において水生生物を観察する貴重な自然体験の機会となった。 【今後の方針】 ・次年度も継続。地域の自然に目を向けるきっかけとしていきたい。	
上高地ウォーキング	6月11日	1回	スポーツ	成人	32人	【事業内容】 ・上高地にてコースに分かれウォーキングを行う。 【ねらい】 ・上高地の美しい自然と周辺の歴史を学ぶとともに、参加者の健康増進を図る。	【共催団体等】 ・体育協会 ・気楽に運動委員会	【評価と反省】 ・例年よりも早い時期に実施することで、程よい気候の中で行えた。 【今後の方針】 ・次年度も継続を検討し、地区の恒例行事としていきたい。	
ホタル観察会	7月15日	1回	環境	青少年	13人	【事業内容】 ・両島川においてホタルを観察するとともに、生態系について学習する。 【ねらい】 ・青少年を対象に身近な自然への興味・関心を育てる。	【準備過程】 ・たがわ水辺を守る会で企画、事前準備等 【共催団体等】 ・たがわ水辺を守る会 ・松本ホタル学会	【評価と反省】 ・街中の当地区において水生生物を観察する貴重な自然体験の機会となった。 【今後の方針】 ・次年度も継続。地域の自然に目を向けるきっかけとしていきたい。	
ぼんぼん・青山様のつどいと夕涼み	7月	中止	地域事業(文化)	青少年	0人	【事業内容】 ・松本の夏の伝統行事「ぼんぼん」「青山様」を地区行事として実施する。 【ねらい】 ・少子化を背景に単位町会での実施が困難になった、ぼんぼん、青山様を地区事業に位置づけ、伝統行事の継承を図るとともに、地域の絆づくりの機会とする。	【共催団体等】 ・主催/田川地区まちづくり協議会 ・主管/ぼんぼん・青山様実行委員会		

令和4年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
乗鞍散歩	9月10日	1回	スポーツ	成人	34人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍畳平のウォーキングコースを散策する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動による健康増進と自然環境楽手を兼ねた事業。参加者間の仲間づくりと健康増進を図る。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気楽に運動委員会で企画運営 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気楽に運動委員会 	<p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度も引き続き実施を検討。 	
健康マレットゴルフ大会	10月1日	1回	スポーツ	成人	12人	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春、秋の年2回、マレットゴルフ大会を開催するもの。 ・今年度は下諏訪、駒ヶ根を会場とし、競技後は、周辺の史跡・文化財、社会教育施設等を見学。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが気軽に楽しめるマレットゴルフを通じて、住民相互の親睦を深め、地域の健康づくりに役立てる。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気楽に運動委員会（体育員会）で企画・運営 <p>【共催団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気楽に運動委員会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動委員が任務を分担し、円滑に実施することができた。 ・競技の勝敗よりも、参加者同士の親睦に主眼を置いた大会となっている。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動委員会で検討する。参加者の減少、固定化が課題。 	
第25回田川地区ふれあい文化祭	10月17日	中止	地域事業（文化）	成人	0人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館利用サークル及び個人の作品展示及びステージ発表。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館を拠点に活動する団体・サークル等が、日頃の学習成果を発表し合い、地域の文化振興に役立てると同時に、住民相互のふれあいと交流の機会として開催する。 	<p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田川地区町会連合会、民児協、町内公民館長会、育成会、健康づくり推進員会、日赤、ボランティア部、体協、衛生協、防災部、防犯連絡協、五部門委員会、福祉ひろば、地域づくりセンター 		
田川健康ウォーキング	10月29日	1回	地域事業（体育）	成人	20人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本城周辺をウォーキングコースとして設定し、ガイドによる解説付きで散策する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域を歩くことで、田川地区の自然、歴史文化等への理解を深めるとともに、住民相互の交流や健康増進に役立てる。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉ひろばでコース等を設定、公民館で周知、 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉ひろば 	<p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度も引き続き実施を検討。 	

令和4年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
妻籠宿・奈良井宿街めぐり	11月19日	1回	地域事業 (文化)	成人	27人	【内容】 ・妻籠宿と奈良井宿を散策しながら見学する。 【ねらい】 ・宿場めぐりをとおして歴史的建造物や古き街並みを見学することで、田川地区の文化祭をはじめ、地区行事の活性化につなげる。	【準備過程】 ・文化委員会で企画運営 【共催団体等】 ・文化委員会	【今後の方針】 ・次年度も引き続き実施を検討。	
田川もちつき大会	12月11日	1回	地域文化	青少年	29人	【内容】 ・臼、杵を用いた昔ながらのもちつきを体験、実食する。 ・待ち時間を利用し正月遊び（コマ回し、羽根つきなど）で交流する。 【ねらい】 ・かつては各家庭で行われていた「もちつき」を体験し、日本の伝統文化にふれる機会とする。	【共催団体等】 ・主催／子ども会育成会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染防止のため、餅は持ち帰りとした。親子での参加が多く、世代間交流が実施できた。 【今後の方針】 ・次年度も継続実施していきたい。	
まゆだまづくり講習会	1月5日	1回	地域文化	青少年	8人	【内容】 ・小正月の伝統行事「三九郎」で焼く団子（まゆだま）を作る。 【ねらい】 ・近年まゆだまをスーパー等で購入する家庭も増えるなか、本来の手作りを体験し、郷土の伝統文化を伝える機会とする。	【準備過程】 ・サロン運営委員に講師を依頼 ・田川小学校に周知依頼	【評価と反省】 ・地域の「おばあちゃん」たちから、まゆだまづくりを教わることで、世代間交流の場にもなっている。 【今後の方針】 ・まゆだまの作り方だけでなく、行事の意味やいわれを伝える機会としていきたい。	
書き初め講習会	1月5日	1回	地域文化	青少年	14人	【内容】 ・冬休み中の小・中学生を対象とした書き初め講習。各々学校から宿題として出された課題字に取り組む。 【ねらい】 ・日本古来の年中行事である書き初めを通して、表現力や集中力、豊かな感性を養う。	【準備過程】 ・公民館で活動する書道師範に講師を依頼 ・田川小学校に周知依頼	【評価と反省】 ・講師の丁寧な指導もあり、皆真剣に取り組んでいた。初めて筆を持つ幼児や低学年の参加もあり、書道に親しむ機会づくりができた。 【今後の方針】 ・次年度も継続。正月の恒例行事として定着させたい。	

令和4年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
子ども見守り隊	通年	28回	地域事業 (その他)	青少年	350人	【事業内容】 ・田川小学校の安心・安全支援の一環として、毎週水曜、揃いのベスト・帽子を着用して通学路を巡回、児童の下校を見守る。 【ねらい】 ・関係団体が協力し地区内を定期的に巡回することで、通学路の安心・安全を確保する。	【準備課程】 ・地区内で不審者情報が相次いだことなどを機に、平成22年度に結成 【共催団体等】 ・田川地区町会連合会、子ども会育成会、主任児童委員、田川小PTA	【評価と反省】 ・町会、育成会、PTA等、関係者らが継続的に取り組み、地域全体で子どもの安全を守る意識が醸成されている。 【今後の方針】 ・今後も継続し、具体的な実施方法等については、子ども安全部会で協議したい。	○
読み聞かせボランティア	通年	10回	その他	青少年	120人	【内容】 ・田川小学校の朝読書の時間を利用して、地域ボランティアによる読み聞かせを行う。 【ねらい】 ・読み聞かせを通して、子どもたちの豊かな感性を育むとともに、ボランティアの仲間づくりや生きがいづくりを図る。	【準備過程】 ・年度当初に当番日の確認等打合せを行う	【評価と反省】 ・図書活動を通して地域住民と児童の交流ができた。 【今後の方針】 ・学校と調整のうえ、今後も継続したい。	○
気楽に運動しよう	通年	13回	福祉健康	成人	250人	【内容】 ・高齢者でも無理なく取り組めるストレッチ体操やニュースポーツ等で気楽に運動する。 【ねらい】 ・定期的に体を動かすことで、運動習慣の定着を図り、地域の健康づくりと仲間づくりを推進する。	【準備過程】 ・公民館だよりで周知 ・運営は気楽に運動委員会が担当 【共催団体等】 ・気楽に運動委員会 ・スポーツ推進課	【評価と反省】 ・毎回笑顔の絶えない講座であり、仲間と楽しみながら、継続的に体を動かす機会づくりができた。 【今後の方針】 ・今後も継続。男性の参加が課題	
パソコン講習会	通年	9回	趣味教養	成人	54人	【内容】 ・パソコンによる文書作成、画像編集、ホームページ制作等を学ぶ。 【ねらい】 ・パソコンの基礎を共に学び、生活・暮らしの向上に役立てる。	【準備過程】 ・地区在住の講師に依頼	【評価と反省】 ・各々がテーマを持って自主的、意欲的に取り組んでいた。 【今後の方針】 ・今年度は学習成果を発表する場がなかったため、次年度は何らかの機会を設けたい。	
かろやか会 (そば打ち講習会)	通年	5回	地域文化	成人	80人	【内容】 ・地域の名人からそば打ちを教わり腕前を磨く。 【ねらい】 ・そば打ちを通じて住民同士の仲間づくりと交流を図る。特に団塊世代の男性の参加をねらうもの。	【準備過程】 ・地区在住の講師に依頼	【評価と反省】 ・年々技術も向上し、地区行事(ウォーキング)でそばをふるまうなど充実している。 ・新しいメンバーも定着し、仲間の輪が広がっている。 【今後の方針】 ・次年度も実施していきたい。	

令和4年度 事業報告

田川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スマホ教室with Docomo	通年	9回	趣味教養	成人	54人	【内容】 ・パソコンによる文書作成、画像編集、ホームページ制作等を学ぶ。 【ねらい】 ・パソコンの基礎を共に学び、生活・暮らしの向上に役立てる。	【準備過程】 ・地区在住の講師に依頼	【評価と反省】 ・各々がテーマを持って自主的、意欲的に取り組んでいた。 【今後の方針】 ・今年度は学習成果を発表する場がなかったため、次年度は何らかの機会を設けたい。	
公民館報の発行	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	—	【内容】 ・公民館報「田川版」（年6回）を編集・発行する。 【ねらい】 ・住民自らが編集する公民館の機関紙として、公民館活動を記録するとともに、地域を学ぶ学習素材を提供する。	【準備過程】 ・各月の館報編集委員会にて紙面内容を検討 【共催団体等】 ・館報編集委員会	【評価と反省】 ・地域の身近な情報収集に努めることができた。 【今後の方針】 ・編集委員と協力し住民の関心に応えられる紙面づくりに努めていきたい。	
五部門委員会	通年	15回	公民館委員会・各種会議等	その他	100人	【事業内容】 ・運営、館報、図書・視聴覚、体育（気楽に運動）、文化の五部門委員会により、公民館事業の企画・運営、評価等を行う。	【準備過程】 ・各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 ・コロナ禍における事業の開催可否や方法などについて、綿密に協議し役員の合意を形成することができた。 【今後の方針】 ・従来の枠組みにこだわらず、地域課題や住民の学習要望を踏まえながら、より弾力的に活動を展開していきたい	
田川地区いきいきサロン事業	通年	8回	福祉健康	高齢者	310人	【事業内容】 ・地区内の健康・福祉分野の関係団体・機関等が連携し、月1回の茶話会（サロン）を通年開催する。	【準備過程】 ・住民有志の提案により28年度から実施 ・地区内の関係団体・機関等で構成するサロン部会で内容等を検討 【共催団体等】 ・主催／田川地区まちづくり協議会 ・主管／サロン事業推進部会（町会長会、民生児童委員協議会、健康づくり推進員会、日赤奉仕団、丸の内病院地域連携室、中央西地域包括支援センター、社協、健康づくり課、福祉計画課、中央公民館、田川地区地域づくりセンター、福祉ひろば、公民館）、田川地区人権啓発推進協議会 ・協力／松本協立病院、防犯連絡協議会、子ども会育成会、渚保育園 他	【評価と反省】 ・今年度も関係役員・職員が協力し、滞りなく運営できた。サロンの共同運営を通じて、関係団体、医療・福祉機関等の関係強化につながっている。 ・高齢者の居場所として定着する一方で、参加者の固定化、企画のマンネリ化など課題も見えた。 【今後の方針】 ・サロン部会で検討する。 ・継続的に取り組めてはいるが、やや前例踏襲に終始している感もある。参加者の声を聞きながら、實際生活に即した内容としていきたい。	

令和4年度 事業報告の概要

庄内地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内地区で活動する様々な団体との連携を重視し、黒子として各事業の実施を支援する。 (講座及び事業は庄内地区公民館独自のものは少なく、大半が地域団体との共催) 地域住民との連携という面は、引き続き重視しつつ、地域課題の解決に向けて公民館独自事業の展開も行っていく。 ・庄内地区最大のイベントである「ドリーム庄内”秋のつどい”」は、地域の結束、団結、顔の見える関係の構築を図っていくイベントである。H28～R1までは防災運動会を4回続けてきたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年度は通称「避難所見学会」を実施した。ドリーム庄内が地区に定着するよう継続していく。 ・公民館利用者の要望に沿った講座の開催を行う。 ・庄内地区公民館が、大勢の住民に気軽さを持って利用いただける場所となるよう、館内の展示や掲示物の管理、事務所においても接遇を意識する等、全体的なよい雰囲気作りに努める。 ・公民館の立地が良く、貸館申請者も他地区や他自治体の団体が多い。地元住民中心の団体は少ないが、若い世代のグループも少しずつ増えている。部屋の稼働率が高く、希望の部屋が取れないということも多いため、新規利用者等にはパンフレット配布を通じて公民館使用の注意点の周知を徹底すると共に、大勢の利用者が気持ちよく公民館を使えるよう、館内の設備備品等の維持管理の徹底を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・育成会、庄内ほたと水辺の会といった地区内で活発に活動する団体の支援を行った。地域住民との連携という面を引き続き重視していきたい。 ・ドリーム庄内は、自衛隊や消防団、社協、地元の防災用品を扱う企業から写真やパネル等を借用しての通称「防災パネル展」を実施。アンケートでは災害現場の実情を知れた等の意見が寄せられた。 ・住民から源氏物語を学習したいとの要望を受け、公民館講座「源氏物語の世界」を実施。 ・様々な掲示物をジャンルごとにまとめる等、館内の情報閲覧に工夫を凝らした。 ・子どもたちが、快適に勉学に励むことができる環境づくりとして、長期休業中に合わせて会議室の自習室開放を行った。 ・新規利用者へのきめ細かい説明や利用者懇談会を行い、公民館使用上の注意点等の理解に努めた。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	0	0	5	2	2	2	0	1	2	1	2	1	4	3
延べ 参加人数	0	0	190	5	93	43	0	185	42	24	250	81	272	0

令和4年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
マレットゴルフ交流会	5月17日	1回	地域事業 (体育)	高齢者	24人	誰もが気軽に取り組めるマレットゴルフを通じた運動の場を、地区住民を対象に開催。 健康増進や人とのつながりづくりを目的とする。	複数の町会住民の有志が中心となり、会場選定や事務作業等といった企画立案を全て行う。公民館側はそのサポートに徹する。	高齢者の老後の生きがい、趣味、健康増進の場として有効に機能している。特に高齢男性は家に引きこもりがちであるため、この事業をきっかけに外へ出る機会を作ることができている。	
乗鞍自然観察講座	5月23日	1回	環境	成人	12人	地元の観光資源を活用しつつ、住民の運動不足解消、交流することを目的とする。	安曇公民館、地元の案内人と相談し、次期やコースを決定した。	地元住民の案内で、乗鞍の特徴や生態などを知っていただくことができた。一方で、小谷村から引き続きで参加している方も多く、固定化された参加者が多くなっており、新たな出会いの場になっていない。	
庄内地区やまびこ子どもまつり	7月23日	1回	地域事業 (文化)	青少年	200人	地区の子どもたちを対象にした夏祭り。子どもたちと共に企画した催しや出店などで地域の活性化をする。今年度は地区のことを知ってもらいつつ楽しめるウォークラリーを実施。	庄内地区子どもたち会育成会が主催。地域のリーダー的な存在である町会青年会、庄内盛々会等の協力・支援を得て準備を行った。	新型コロナウイルス感染症の流行により中止も検討されたが、学校やPTAとも連携をして、十分な対策を行いながら実施することができた。 今後は、コロナ前に近づけるよう考えながら企画を検討していく。	
ドリーム庄内 “秋のつどい”	10月22日 ～ 10月23日	1回	防災	その他	185人	地区最大のイベントとして、毎年計画を行っていた。コロナ前まで4年連続で地区の一体感醸成と、災害に対する意識づくりとして防災運動会を実施していたが、近年は感染対策をしつつ、防災展示を実施している。今年も同様に防災展示を行ったが、地元消防団や企業、自衛隊等に協力をしていただき、防災体験やパネル展示、商品紹介を行った。	まちづくり協議会、公民館企画委員会等で協議し、計画を行った。	学校や参加していただいた方には、参考になったとアンケートで回答があったが、地区の役員の人が多く、一般の方の参加は少なかった。また、参加型の企画があまりできなかったことや、県の防災訓練で自衛隊など多くの関係者の人手が足りずに、パネルや商品の説明ができる人材を常時確保できなかったため、ただ見学するだけという部分ができてしまった。 アンケートにより、企画の要望もあったため、公民館企画委員会ですらに検討していく。	
庄内地区「三九郎講習会」	12月4日	1回	地域事業 (文化)	その他	50人	地域の伝統行事である三九郎を、子ども達（親含む）で実施できるよう、三九郎のやぐらの建て方の講習会を開催するもの。	庄内地区子ども会育成会が主催。公民館内に保管された三九郎資材を隣接の空き地にセッティングする等の準備に協力した。	かつては誰でも作れたという三九郎も、現在ははっきりとした講習を行わないと行事が実施できない状況である。 子どもだけでなく、大人も交じり、伝統文化継承のよい機会となった。 コロナの影響や少子高齢化で、実施する町会が少なくなっている。	

令和4年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
庄内地区公民館 新春落語講座	1月17日	1回	趣味教養	成人	24人	地方ではあまり聞けない、真打の落語家をお招きし、日本の伝統芸能に親しんでもらう機会をつくる。 また、松本で活動している落語の団体の活動機会を提供する。	落語家の世話や段取り等については松本落語会に協力を要請。公民館側は告知や会場準備を行う。	感染対策を行いながら、開催した。高校生などからも申し込みがあった。若者への周知もより、力を入れていきたい。	
サークル活動支援 (利用者懇談会)	2月24日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	69人	主に庄内地区公民館を利用する団体を対象に懇談会を開催し、意見交換や公民館側からの利用上のお願について説明の場を設けるもの。	公民館が何を基準に貸館を行っているか等、条例・社会教育法をもとに資料を作成した。	コロナの影響で解散した団体も多くあったが、一方で新たに活動を始めようと相談される件数も増えている。そういった方々の活動と地域の課題解決などに結び付けられるように、関係を構築していきたい。	
中信にほんごひろば	4月～3月	27回	地域事業 (その他)	その他	81人	外国由来の子ども達や大人を対象にした日本語教育を行うもの。	NPO法人「中信多文化共生ネットワーク」に所属する「中信にほんごひろば」が運営主体となり、地域（並柳団地町会）とも連携して2つの会場を設定し取り組む。	コロナの影響で、例年の半分以下でしか活動ができなかった。また、担い手の高齢化により、一部の人への負担が増加している。 来年度は、並柳団地での活動を停止し、公民館のみで活動する。	
筑摩小学校コミュニティスクール事業	4月～3月		子育て	青少年		地域住民を講師に招き、様々な学習の場を展開。 例：朗読学習、英会話学習、ダンス体験、畑作・稲作等	地区公民館は、地域住民と学校のパイプ役となり、様々な講師をコーディネートする。 かえでの会、ECメイプル、地域住民等	事業内容は概ね定番化しており、安定した教育の場を作ることが出来ている。 現状の活動は続けつつ、学校の要望により新たな活動を模索していく。	○
並柳小学校コミュニティスクール事業	4月～3月		子育て	青少年		あいさつ運動等を通じて児童がいきいきとした学校生活を過ごせるような雰囲気を作っていく。また、様々な事情を抱えた児童らの見守りや教職員の負担を、地域ボランティアの力を借りて支えていく。	地区公民館は、地域住民と学校のパイプ役となり、様々な講師をコーディネートする。 地域住民、民生委員等	一部、コロナの影響で活動できなかったが、様々な地域ボランティアとのコーディネートが上手に行われたことで、学校に地域住民が関われる素地ができつつある。 特に、あいさつ運動について地域住民の評価が高い。 現在の活動は継続しつつ、新たな要望の部活動の地域移行について、担当者との協議をしていく。	○
開成中学校コミュニティスクール事業	4月～3月		子育て	青少年		1年生が地域に出て清掃活動を行う「開成タイム」。3年生と地域住民の協同で「避難所開設訓練」を実施する。 地域との接点や災害時での戦力として自分で考え行動することを学ぶ。	地区公民館は、地域住民と学校のパイプ役となり、様々な講師をコーディネートする。 学校と地域の協同での活動を予定していたが、準備段階でコロナ警戒レベル上昇に伴い、公民館と学校側のみでの実施となった。	開成タイムについては、コロナで一部活動が中止となった。また、避難所開設訓練についても地域住民の参加ができなかった。 次年度は、公民館への宿泊体験などの要望もあるため、実現に向けて関係者と協議していく。	○

令和4年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
庄内ちびっこひろば (子育て委員会)	5月～2月 (毎月第3火曜)	5回	子育て	青少年	167人	地域に住む就園前の子と親を対象に、集い・交流・情報交換・相談等の活動を展開する。 手形足型アート、野菜収穫体験、宝さがし、クリスマス会、防災調理体験	公民館5部門委員会のひとつである「子育て委員会」が中心となり、食生活改善委員や民生、サークル団体、企業の専門家に協力していただき企画した。	申込方法として、LoGoフォームを加えたところ、ほぼ全ての参加者がネットでの申込となり、連絡もメールを希望する人が多かった。ニーズに合った運営を続けていきたい。 また、次年度は公式LINEの開設を目指し、子育て世代がよりつながることのできるイベントにしていきたい。	
よみかかせ おはなし「ゆめの会」	5月～3月 (毎月第2火曜)	5回	子育て	青少年	23人	図書コーナーを利用した月1回の「おはなし」の会を開催。絵本の読み聞かせの他、手あそび、仕掛け絵本、紙芝居等も用いる。	図書コーナーに暗幕を設置したり、大勢の親子が集えるようイスの配置に工夫を凝らしたりして、雰囲気作りに趣向を凝らした。公民館工作室を楽屋とし、メンバーが事前にリハーサルや打ち合わせを行った。	年度の前半は、コロナの影響で中止となっていたが、後半半年は実施することができた。 住民からも問い合わせがあり開催を決定したこともあった。コロナの影響でそういった場が少なくなっているため、今後も引き続き活動をしていく。	
弘法山さくら絵画コンクール	5月27日 ～ 6月30日	1回	地域文化	青少年	筑摩小 並柳小 中山小 (全校)	地域資源「弘法山のさくら」を題材に近隣小学校の児童を対象として、コンクールを実施。各校から特選、入選作品を公民館内に掲示して表彰する。 以前は、並柳商工会が主催するイベントの1事業だったが、イベントが開催できなくなる中、このコンクールのみ公民館で引き続き実施している。	例年3月に、学校へ画用紙の配布と依頼を行い準備している。 特選の児童については、表彰式を5月末から6月初めの日曜日に開催しており、「弘法山を愛する会」の会長より表彰状の授与を行っている。	学校側からも、全校生徒向けや学校を越えた企画ありがたい旨の話が寄せられた。絵画展示期間中も入選作品に選ばれた児童やその家族、一般来場者が観覧する等、大勢の方々を訪れ、住民のための公民館としての機能が果たせていると考える。 次年度は30回目の節目となるため、何かしらの記念となるように検討中。	
庄内ほたると水辺の会 「庄内ほたる観察会」 「生き物観察会」	7月2日 8月5日	2回	環境	その他	81人	「ほたる」も「すめるよい自然」をテーマに、動植物の学習会や実地体験や観察会を行うもの。 自然環境を学びながら地域の状況や課題に目を向けていく機会とする。	「庄内ほたると水辺の会」が主催。会長である藤山静雄元信州大学名誉教授を中心に「庄内北公園」内にある水路の維持管理を実施し、ほたるの生息地を守る活動を広めていく人材育成企画を実施。	ほたるが住めるような自然環境の維持や、地元の動植物について楽しみながら学ぶ機会を提供することができた。 一方で、会の運営に携わる人材の高齢化が起っており、庄内含め市内全体でそういった活動の担い手不足が問題となっている。今後もそういった人材の育成も合わせて講座開催を検討していく。	

令和4年度 事業報告

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館自習室	7~8月 3月	2回	その他	青少年	42人	小中学校の長期休業に合わせ公民館の部屋を児童生徒の自習室として開放し、公民館が気軽に利用できる場であるという認知度の向上を図る。	公民館側で自習室となる部屋の確保を行う。地元小中学校に対し自習室開催のお知らせを告知する。	利用者はあまり多くないが、リピーターが多く見られた。夏休みに比べると春休み期間の利用が多かった。学校でもDXが進んでおり、学校からメールで自習室のお知らせを春休みにしていただいたが、その効果もあるのではないかと思われる。今後は、開催日数や時期についても増やせるように検討していく。	
知る！見る！考える！ 地域のタカラ	8月1日 8月3日	2回	地域文化	青少年	5人	地域資源を活かしつつ、庁内の他課と連携して事業を行おうと企画したもの。 2回連続講座として、図書館での事前学習と文化財・博物館の見学を行い、夏休みの自由研究にもできるように企画した。	図書館勤務経験のある職員が集まり、図書館と共催で何か講座ができないかと企画したもの。 公民館（庄内・内田・和田）、中央図書館が共催で事業計画から行った。	コロナが子どもに流行っていた時期もあるが、参加者が定員の3割しかいなかった。広報不足や企画内容について見直しが必要だと感じた。今後も地域資源を活用していけるように様々な団体と企画をしていけるように検討していく。	
源氏物語の世界	9~10月	3回	趣味教養	その他	19人	日本の古典「源氏物語」とそれが執筆された平安時代の様子といった深いところまで学ぶことで、参加者の教養を深めていくもの。 なお、当企画は地元住民からの講座開催の声に応じて実施に至った。	源氏物語について専門的知識を有する講師（現 松本第一高等学校長 今井氏）をお招きした。	今年は、文法にも言及した専門的な内容を扱った。 コロナの感染が拡大していた時期もあり、参加者は減少し、終わった後の意見交換もできなかったが、細かい部分まで解説していただき、日本の古典文学に親しんでもらうことができた。 継続は未定であるが日本の伝統文学に触れる機会は引き続き検討していく。	
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	97人	館報庄内版の企画・編集・発行。 公民館が主体となるのではなく、委員や住民の生の声を届けられるように記事作成を行った。	公民館長の委嘱者、町内公民館長会からの選出者、公民館5部門委員会の長等から選出。偏りのない話題作りができる体制を整えている。	委員が取り上げたい内容を積極的に採用したため、公民館利用者からも読んで知ったということが何度もあった。委員の方々も、取材活動など引き受けて業務を行っていただくことができた。 次年度はもう少し一部の委員に執筆作業が集中しないように、調整していく。	

庄内地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化委員会	通年	12回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	78人	公民館1フロビーに、伝統行事・年中行事など、四季折々を感じる展示を実施。 地区外からも多く、子どもの利用も多いため、季節を感じられるような展示を行う。	公民館内に格納されたお雛様、鯉のぼりといった伝統品を季節に合わせて展示する。 地元から竹や松を頂き、七夕飾りや松飾りを作る等の独自の作品も展示する。	全て予定どおり展示を行うことができた。また、地元のさくら保育園にも協力していただき、七夕飾りを開催できた。今後も地域の方が参加できるようにしていきたい。 一方で、委員の高齢化が進んでおり、新しい人材の募集をしていく必要がある。 また、展示以外にも、庄内地区の文化活動を推進できるような活動を検討していく。	
公民館企画委員会	通年	3回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	28人	主に、「ドリーム庄内”秋のつどい”」の企画検討、合同演奏会の企画を行った。 また、その他公民館運営に関する様々な意見を地区役員や団体から構成される委員にいただいた。	公民館5部門委員会の委員長や町会連合会、町内公民館長会等の主要団体から委員を構成。	コロナにより企画の変更等もあったが、中止ではなくイベントを開催することができた。地域住民発案の合同演奏会は中止となってしまったが、学校側からも開催に対して前向きな回答をいただけるため、引き続き開催を目指していく。	
公民館ニュース	通年	12回	その他	成人		毎月の市広報誌の配布に合わせ、庄内地区全戸に公民館事業を周知する。	公民館職員にてチラシを作成。	これまでの記事に加え、QRコードなどを掲載し、いつでも講座などに申込できるように変更した結果、新しい参加者の獲得につながった。 次年度はさらに見やすいレイアウトや文字の配置などに気を付けて情報発信をしていく。	

令和4年度 事業報告の概要

鎌田地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針】</p> <p>①公民館は楽しい学びを提供する場でありたい ②公民館は自身の行動や実践を喚起する“きっかけ作り”となる場でありたい ③公民館での講座は、多様な市民の希求に出来るだけ応えられるよう、広く門戸を開放したい</p> <p>【重点的に取り組んだ事項】</p> <p>1 子どもを取り込んだ事業</p> <p>(1) こども陶芸体験教室 (2) 夏休み公民館学習室解放 (3) 松本の七夕まつり (4) 信州の山・森林の大切さを知ろう！ (5) ぶつり会と児童センターの交流勉強会 (6) 縄文文化を学ぼう！ (7) 子ども連続スポーツ教室</p> <p>2 公民館活動サークルや利用者と連携した事業</p> <p>(1) 子ども陶芸体験教室 (2) 美術工芸作品展 (3) ぶつり会と児童センターの交流勉強会</p>										<p>・コロナのため昨年に引き続き、規模縮小や中止をせざるを得ない事業もあったが、感染症対策を徹底しながらできることを考え、事業運営を行った。令和3年度に比べると、講座数も参加者数も増加している。</p> <p>・企画した講座はほぼ定員に達するほど人気であり、参加者からも好評であった。ただ、小学3～6年生の児童を対象としたものがほとんどであったため、小学校低学年以下の講座も考えていきたい。</p> <p>また、今年度は参加者が子どもだけであったため、保護者を取り込んだ事業を検討して、地域の担い手の発見、育成につなげていきたい。</p> <p>・公民館活動サークルや利用者の日頃の活動の成果を地域に還元する良い機会となった。今後も公民館活動と住民の活動の連携を図っていきたい。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	5	3	2	8	3	3	4	0	3	0	0	1	2	1
延べ 参加人数	100	974	210	287	52	192	118	0	184	0	0	135	360	5

令和4年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
鎌田お宝講座⑧ 貞享騒動をたずねて ～義民の一揆とそれに まつわる伝承～	4月26日	中止	人権平和	成人	31人	【事業内容】 江戸時代の貞享3年に松本藩で起きた百姓一揆がテーマの講座。 【ねらい】 人として生きる権利や平和の尊さを学ぶ。	【講師】 田中 薫 氏	【評価と反省】 貞享騒動をひも解く中で、人として生きる権利や平和の尊さを学ぶことができた。 【今後の方針】 人権学習として他の講座も検討したい。	
鎌田お宝講座⑨ 草間彌生～少女が水玉 の女王になるまで～	6月28日	1回	地域文化	成人	31人	【事業内容】 世界を舞台に活躍する草間彌生の生い立ちから現在に至るまでの軌跡を学ぶ講座。 【ねらい】 鎌田地区出身の草間彌生さんについて学び、関心を持ってもらう。	【主催】 松本市美術館	【評価と反省】 松本市を代表する芸術家である草間彌生さんについて学ぶことができた。また、鎌田地区出身ということもあり、地区住民にとって非常に関心のある講座であった。 【今後の方針】 松本市美術館へ行き、実際に鑑賞する講座も検討したい。	
上高地自然散策	7月14日	1回	環境	成人	32人	【事業内容】 上高地の豊かな自然をガイドの説明のもと散策する講座。 【ねらい】 散策を通じて上高地の歴史や植物について学ぶ機会とする。 上高地地域の自然環境のための制度等も学ぶ。	【準備過程】 文化委員会で内容を検討 【ガイド】 丸山 隆 氏 臼井 弥生 氏 村上 さよ子 氏	【評価と反省】 自然散策では、体力に合わせて2つのコース（5km・7km）に分かれ行った。ガイドの方の詳しい説明により、上高地の歴史や植物について学ぶことができた。 【今後の方針】 自然や環境について学ぶ講座として今後も文化委員会で継続を検討したい。 （市内において別の散策場所も検討したい）	
松本の七夕まつり	8月4日	1回	地域文化	青少年	35人	【事業内容】 松本地方の七夕行事を題材にした絵本や平和をテーマにした絵本の読み聞かせと七夕人形（紙びな式）作り。 （7月26日～8月5日：短冊コーナー設置） 【ねらい】 松本の伝統行事を学ぶ機会とする。	【準備過程】 図書・視聴覚委員会で内容の検討 【共催団体】 子ども会育成会	【評価と反省】 コロナにより行事の開催が中止となる中、子どもたちが松本の伝統行事に触れる良い機会となった。また、平和についても考える機会となった。 七夕人形づくりは、作成方法の見直しを行い、未就学児～高齢者まで作成しやすいものとなった。 【今後の方針】 絵本の選定や七夕人形の作り方など実施内容を検討し継続したい。	

令和4年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
自然と遊ぼう！ In国営アルプスあづみの公園	8月6日	中止	環境	青少年	0人	【事業内容】 国営アルプスあづみの公園でクラフト体験、バーベキュー、すいか割りなどを行い親睦を図る。 【ねらい】 地区内の2小学校に通う子供たちの交流を深め、地区としての一体感を高める。	【準備過程】 内容は子ども会育成会で検討 【主催団体】 子ども会育成会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症により中止	
こども陶芸体験教室	8月10日	1回	趣味教養	青少年	19人	【事業内容】 鎌田地区公民館の特徴である陶芸作業棟にてこども達が陶芸（ものづくり）を体験するもの。 【ねらい】 子ども達に陶芸の楽しさ、魅力を知ってもらう。	【準備過程】 陶芸協議会と内容を検討 【共催】 鎌田地区陶芸協議会 鎌田地区子ども会育成会	【評価と反省】 子ども達が楽しそうに陶芸に取り組んでいた。難しい工程もあったが、陶芸協議会の皆さんが子ども達に丁寧に指導してくださった。 子どもたちの作品は10月に開催した「鎌田地区公民館美術工芸作品展」に展示に大勢の方に鑑賞していただいた。 【今後の方針】 非常に好評な教室であったため陶芸協議会と検討し継続したい。	
長野県立美術館と善光寺を巡る	9月20日	1回	地域文化	成人	24人	【事業内容】 長野県立美術館にて、信州ゆかりの近代美術や東山芸術を鑑賞する。また、善光寺の歴史を学ぶ。 【ねらい】 美術や歴史について教養を深める。住民の交流を促進する。	【準備過程】 図書・視聴覚委員で行程等検討	【評価と反省】 長野県立美術館は各々鑑賞し、芸術にふれることができた。善光寺散策では、歴史について宿坊「淵之坊」さんに案内していただき、理解を深めることができた。 【今後の方針】 好評な講座であったため、図書視聴覚委員会で内容を検討し継続したい。	
公民館専門委員会 合同研修・交流会	10月4日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	21人	【事業内容】 委員が他地区のまちづくり協議会の活動を視察する。また、松本市内（考古博物館など）を訪れ研修する。 【ねらい】 公民館専門委員会の学びの機会と交流の場	【準備過程】 運営委員会で内容を検討	【評価と反省】 入山辺地区の「こんな山辺にするじゃん会」を視察し、今後の地域づくりのヒントとなった。また、松本市内の施設を見学し、地域の良さを再発見することができた。委員間の交流も促進できた。 【今後の方針】 運営委員会で内容や目的を明確にしながら継続を検討する。	

令和4年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スポーツ吹き矢体験教室	10月6日	1回	スポーツ	成人	10人	【事業内容】 初心者向けのスポーツ吹き矢教室。 【ねらい】 いつでもだれもが気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくり。	【準備過程】 内容についてスポーツ委員会で検討	【評価と反省】 参加者同士の親睦や健康づくりに役立った。 【今後の方針】 スポーツ委員会と実施内容を協議しながら次回以降の開催を検討したい。	
信州の山・森林の大切さを知ろう！	10月16日	1回	環境	青少年	20人	【事業内容】 長野県林業総合センターを見学する講座。ブドウ狩りも実施する。 【ねらい】 信州の美しい自然と木材の良さ、森林の働きや大切さを学ぶ。 子どもたちが学校や学年を超えて、交流を深める。	【主催】 鎌田地区子ども会育成会	【評価と反省】 子どもたちが森林や自然について考える良い機会となった。 【今後の方針】 育成会の内容を検討し、次回以降の開催を検討したい。	
ゴルフ体験教室	11月 7日 11月14日	2回	スポーツ	女性	13人	【事業内容】 女性の初心者向けゴルフ体験教室。 【ねらい】 女性がゴルフを始めるきっかけづくり。運動不足、ストレス解消。	【準備過程】 内容についてスポーツ委員会で検討 講師：鎌田地区スポーツ協会部員2名	【評価と反省】 女性がゴルフを始める良い機会となった。また、参加者同士の親睦や健康づくりに役立った。 当教室がきっかけとなり、ゴルフ場へ行き、コースを回る講座の企画・開催に繋がった。 【今後の方針】 スポーツ委員会で内容を検討し継続したい。	
ゴルフ場デビュー講座	11月25日	1回	スポーツ	女性	6人	【事業内容】 女性の初心者向けのゴルフ教室で実際にコースを回るもの。 【ねらい】 女性がゴルフを始めるきっかけづくり。ゴルフ場でのマナーやルールを学ぶ。	【準備過程】 松本カントリークラブの担当者と打ち合わせ	【評価と反省】 実際にゴルフ場へ行きコースを回ったことで、ゴルフの楽しさや奥深さを知る良い機会となった。 【今後の方針】 参加者には好評であったため継続を検討したい。ただし、少人数であったため、周知方法を見直したい。	
松本の伝統工芸講座 「干支の押絵づくり」	12月5日	1回	地域文化	成人	8人	【事業内容】 来年の干支「卯」をテーマに押絵の技法を学ぶ。 【ねらい】 松本地域の伝統を学ぶ場とする。	【講師】 三村 隆彦 氏	【評価と反省】 松本の伝統工芸を知る良い機会となった。 【今後の方針】 講師と内容を検討し継続したい。	

令和4年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
人権講座 「人が大切にされる地域づくりを目指して」	11月29日	1回	人権平和	成人	19人	【事業内容】 自分の中にある先入観や無意識の偏見について考える人権課題全般に関する講座。 【ねらい】 人権問題を考える機会とする。	【講師】 中信教育事務所 佐々木 洋一氏 【主催】 鎌田地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 人権に対する意識の向上に役立った。 【今後の方針】 協議会と実施内容を協議しながら継続して実施したい。	
アートフラワーを使って 正月飾りをつくろう！	12月16日	1回	地域文化	成人	12人	【事業内容】 アートフラワーを使用し正月飾りを制作する。 【ねらい】 正月行事に関心を持ってもらうきっかけづくり。	【講師】 田中 沙恵子 氏	【評価と反省】 正月行事に関心を持ってもらう良い機会となった。参加者から好評を得た。 【今後の方針】 講師と内容を検討し継続したい。	
郷土料理講座 「おやしき」	2月1日 3月1日	2回	地域文化	成人	31人	【事業内容】 長野県内の郷土料理を実際に作って学ぶ講座。 【ねらい】 地域の料理を学ぶ機会とする。	【準備過程】 文化委員会で内容を検討 【講師】 文岳堂 藤井 絹子 氏	【評価と反省】 郷土料理を知る良い機会となった。 【今後の方針】 講座終了時に今後作ってみたい郷土料理についてアンケートを実施した。アンケートをもとに、今後も講座の実施を検討したい。	
人権講座 「外国にルーツをもつ方への人権的な配慮～多文化共生の観点から～」	3月13日	1回	人権平和	成人	10人	【事業内容】 文化の多様性や生活習慣の違いなどを理解し、認め合う多文化共生社会の実現について考える。 【ねらい】 外国人が地域の中でどんなことに困っているのかなどを考える機会とする。	【講師】 中信教育事務所 佐々木 洋一氏 【主催】 鎌田地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 文化の多様性などについて考える良い機会となった。 外国人が約400人いる鎌田地区で、多文化共生社会について考えることは今後もとても重要だと考える。 参加人数が少なかった。 【今後の方針】 協議会と実施内容を協議しながら継続して実施したい。参加者への周知方法も模索したい。	
縄文文化を知ろう！	3月24日	1回	地域文化	青少年	26人	【事業内容】 茅野市尖石縄文考古館を見学する。いちご狩りを体験する。 【ねらい】 縄文時代の遺物を間近に見て縄文文化を学ぶ。 子どもたちが学校や学年を超えて、交流を深める。	【主催】 鎌田地区子ども会育成会	【評価と反省】 子どもたちが土偶や土器をよく観察しながら、縄文文化について学ぶことができた。子どもたちの交流も促進できた。 【今後の方針】 育成会の内容を検討し、次回以降の開催を検討したい。	

令和4年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
歩こう鎌田ウォーキング	4月25日 5月24日 6月20日 7月11日 8月19日 9月27日 10月18日 11月22日 12月12日 1月17日 2月14日 3月13日	12回	福祉健康	高齢者	220人	【事業内容】 通称「歩かま」。 毎月、地区内を異なったルートで歩く。 年に1～2回は地区を出て自然の中を歩く。(グリーンエクササイズ) 【ねらい】 歩く習慣を身につけ健康づくりを促進する。参加者同士の交流を深め、自主的なグループ作りを推進する。	【準備過程】 毎月ルートの選定 【共催団体】 鎌田地区福祉ひろば	【評価と反省】 参加者の中で歩く習慣がついた人がいた。参加者同士の交流を深めることができ、地域での顔見知りが増えてきているように感じる。 ※7、8、12、1、2月は室内にてストレッチや筋トレ、エアロビクスを実施した。 【今後の方針】 参加者の自主性を尊重しながら継続したい。	
松本一本ねぎ食育講座	5月8日 6月11日 7月30日 9月17日 10月22日 11月19日	6回	地域文化	成人	120人	【事業内容】 松本一本ねぎの栽培 苗植え～収穫～料理方法について学ぶ体験型の食育講座。 【ねらい】 食育講座の一環として、地域文化を学ぶ場とする。	【準備過程】 文化委員会で内容を検討 農業体験講師：鎌倉 秀文 料理体験講師：鎌田地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 地区内でも栽培されている伝統野菜を知る良い機会となった。 松本一本ねぎのほかに、サツマイモや落花生も育て、栽培方法を学んだ。 今年度も土曜日に講座を実施したことにより、未就園児や小学生を含む家族での参加が多く、幅広い年代が集まる講座となった。 【今後の方針】 定員を超える申込みがあった。文化委員会で事業の目的を明確にしながら、対象などを検討し継続したい。	
陶芸体験教室	7月1日 7月8日 7月15日 7月22日 7月29日 8月5日 8月26日 9月2日 9月16日 9月30日	10回	趣味教養	成人	121人	【事業内容】 陶芸の基礎を学ぶため、初心者を対象に毎年開催。土練り～成形～釉薬まで一通りの技術を学び、コーヒートップや花器を制作する。 【ねらい】 ・趣味生きがいづくりのきっかけとする。 ・陶芸サークルへの加入を促進し、陶芸サークルの活性化を図る。	【準備過程】 講師との打ち合わせのうえ内容を検討。 陶芸サークルに講座の際にサポートを依頼。 【講師】 木村 岳史 氏 【共催団体】 鎌田地区公民館陶芸サークル	【評価と反省】 参加者からは好評を得ており、陶芸サークルへの見学、加入を希望する者がいた。 陶芸5つのサークルの皆さんにご協力いただき講座時にサポートに入っていた。受講者と陶芸サークル間に交流が生まれサークル活動の詳細について質問をする場面が見受けられた。 【今後の方針】 講師や陶芸サークルの皆さんと実施内容を検討し継続したい。	

令和4年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
町内公民館でからだを動かそう！	6月11日 7月7日 9月12日 11月11日	4回	福祉健康	成人	104人	【事業内容】 町内公民館を活用した運動講座。 【ねらい】 ・運動不足の解消、筋力低下の予防。 ・町内公民館の利用促進。	【準備過程】 内容についてスポーツ委員会で検討 【講師】 公民館主事	【評価と反省】 町内公民館を活用する良い機会となり、運動を継続する町会もあった。高齢者の参加が多かった。 【今後の方針】 スポーツ委員会で内容を検討し継続したい。	
公民館周辺美化作業 公民館年末大掃除	6月12日 10月17日 12月16日	3回	その他	成人	184人	【事業内容】 公民館及び周辺の美化作業。公民館周辺美化作業2回と年末大掃除1回を実施する。 【ねらい】 公民館利用サークルの会員相互交流及び公民館周辺の美化。	【共催団体】 鎌田地区公民館利用サークル	【評価と反省】 公民館周辺の美化や利用団体の相互交流の場となった。 【今後の方針】 公民館利用サークルと連携しながら実施内容を検討し継続したい。	
夏休み公民館学習室解放事業	7月26日～ 8月10日 (土日除く)	1回	子育て	青少年	205人	【事業内容】 夏休み期間中の学習場所として公民館の会議室を開放し、自由に勉強できる部屋として開放する。 また、開放日の午前中は学習ボランティアが学習の相談に応じることができる。 【ねらい】 小学生・中学生・高校生の学習支援とする。	【準備過程】 公民館だより及び学校配布で周知学習ボランティアの募集 【共催団体】 子ども会育成会	【評価と反省】 集中して勉強できる場として好評であった。 【今後の方針】 勉強を相談できる環境を整えるなど実施内容を検討し継続したい。	
ラジオ体操ひろば	8月～3月		福祉健康	成人	650人	【事業内容】 毎週月・金曜日の朝、鎌田地区公民館前でラジオ体操を行う。 【ねらい】 住民の健康を維持増進する。交流を深める。	【準備過程】 スポーツ委員会で内容を検討 【講師】 ラジオ体操1級指導士 山本 英明 氏	【評価と反省】 ラジオ体操が習慣になった住民がいた。地域の住民同士が交流する良い機会となっている。 【今後の方針】 現時点では公民館が主体となっているが、今後は住民主体の集まりになるよう、公民館から提案していきたい。	
「平和を祈る詩」展示	9月～10月	1回	人権平和	青少年	30人	【事業内容】 鎌田地区の小学生が書いた「平和を祈る詩」の展示。 【ねらい】 平和教育、人権問題を考える機会とする。	【準備過程】 松本詩人会から地元の小学生が書いた「平和を祈る詩」を借用 【主催】 鎌田地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 平和や人権に対する意識の向上に役立った。 【今後の方針】 協議会と実施内容を協議しながら継続して実施したい。	

令和4年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
鎌田小学校子どもを守る安心の家マップ制作	10月～3月	1回	子育て	成人	5人	【事業内容】 鎌田小学校学区内にある「子どもを守る安心の家」の地図を作成し、小学校で配布する。 【ねらい】 通学路にある「子どもを守る安心の家」を把握し、不審者を見かけたときや緊急事態時に備える。	【準備過程】 学校やPTAの方との打ち合わせを数回実施。	【評価と反省】 「子どもを守る安心の家」を生徒が自主的に確認してもらえるようなマップに改訂できた。 【今後の方針】 学校と連携しながら、実施内容を検討したい。	○
美術工芸作品展	10月24日～10月28日	1回	地域事業(その他)	成人	135人	【事業内容】 鎌田地区公民館活動サークルの作品を公民館に展示する。 【ねらい】 ・日頃の成果を発表する場。 ・地域住民の交流。	【準備過程】 鎌田地区利用サークルへ作品応募の呼びかけ	【評価と反省】 例年開催している文化祭を規模を縮小し開催した。活動サークルの発表の機会となった。作品鑑賞者の交流も見られた。 【今後の方針】 文化祭の実施も含め内容を検討する。	
ぶつり会と児童センターの交流勉強会	11月30日 12月15日 1月18日 2月15日 3月2日	5回	趣味教養	青少年	52人	【事業内容】 鎌田地区公民館サークルぶつり会が鎌田児童センターの児童に科学や物理を教える。 【ねらい】 科学や物理について興味を持ってもらう。	【準備過程】 ぶつり会、児童センター職員、公民館の3者で内容を検討	【評価と反省】 難しい内容もあったが、子どもたちが楽しみながら科学等について勉強をすることができた。 【今後の方針】 地域の方が子どもたちと交流できるような事業を考えていきたい。	
「人権啓発ポスター」の展示	1月～2月	1回	人権平和	青少年	10人	【事業内容】 鎌田地区の小学生が書いた「人権啓発ポスター」の展示。 【ねらい】 平和教育、人権問題を考える機会とする。	【準備過程】 人権啓発ポスター展に応募した鎌田地区の小学生の作品を借用 【主催】 鎌田地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 平和や人権に対する意識の向上に役立った。 【今後の方針】 協議会と実施内容を協議しながら継続して実施したい。	

令和4年度 事業報告

鎌田地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
子ども連続スポーツ教室	3月27日 3月28日 3月29日	3回	スポーツ	青少年	89人	【事業内容】 小学3～6年生の児童が、3日間で6種類のスポーツを体験する教室。 【ねらい】 様々なスポーツに親しみ、楽しむきっかけづくり。 多種多様な動きを体験してもらい、運動能力向上の一端を担う。	【準備過程】 スポーツ委員会で内容を検討 【講師】 NPO法人まつもとスポーツサービス 村中 智彦 氏 TORA JAM 百瀬 圭 氏 鎌田地区スポーツ委員 3名	【評価と反省】 3日間を通して、子どもたちが多種多様なスポーツに触れ、楽しむことができた。 【今後の方針】 スポーツ委員会で種目や開催時期を検討し、継続したい。	
5部門委員会	通年	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	339人	【事業内容】 ・館報編集委員会 館報の取材・編集 ・図書・視聴覚委員会 図書館展示パネル作成、更新 ・文化委員会 環境、歴史文化、食育講座の開催 ・スポーツ委員会 初心者向けスポーツ講座の開催 ・運営委員会 地区課題を探りながら公民館の在り方を提案、助言を行う 【ねらい】 公民館事業の推進及び委員会活動の活性化を図る。	・館報編集委員会 ・文化委員会 ・図書・視聴覚委員会 ・スポーツ委員会 ・運営委員会	【評価と反省】 必要に応じて委員会を開催した。 【今後の方針】 講座や公民館活性化のため、積極的に開催する。公民館委員は長年同じ方が担っているため、後任の選出が課題。	
鎌田地区公民館だより発行	通年	13回	その他	成人		【事業内容】 市広報誌の配布に合わせて、公民館だよりを全戸回覧し、公民館事業を周知する。 【ねらい】 公民館事業や地区情報を広く周知する。	【準備過程】 公民館が作成	【評価と反省】 公民館講座や地区行事の周知に有効と考えている。ただし、紙媒体以外の情報発信も考える必要がある。 【今後の方針】 継続したい。	
鎌田地区公民館だよりのホームページ掲載	通年	14回	その他	成人		【事業内容】 市広報誌の配布に合わせて発行した公民館だよりを市ホームページに掲載する。また、公民館だよりにQRコードを登載し、手軽にホームページにアクセスできるようにする。 【ねらい】 回覧の場合は公民館だよりが手元に残らないため、誰もがいつでも簡単に情報を取得できる環境を整える。	【準備過程】 公民館が市ホームページに掲載	【評価と反省】 公民館講座や地区行事の周知に有効と考えている。 【今後の方針】 ホームページでの表示方法など研究しながら継続して掲載したい。	

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【重点目標1】松南地区らしい地域づくりの創造に向け、住民自治と地域連携を育む学習機能の充実を図る。 ア 日常の暮らしで生じる悩みや課題を掘り起こす機会の創設 イ 地域課題の解決に向け、学習機会の充実、関係する多様な主体の連携・協働を支援する取り組み ウ 若い世代を巻き込み、地域づくりの担い手を育成する取り組み</p> <p>【重点目標2】人権、平和、子育て、健康福祉、環境、食と農に至るまで、日常の暮らしの中の悩みや課題を互いに理解しあう「自由な学びの場」機能の充実を図る。 ア 子どもからお年寄りまで、性別、年齢などに関わらず、誰でも自由に学べる場の拡充 イ 日常の暮らしで生じる悩みや課題など、住民の多様な学びのニーズに対する、講座や勉強会の実施、資料の整備 ウ 伝統行事や地域の財産を次代へ継承する取り組み</p> <p>【重点目標3】地区の特性を活かした松本らしいコミュニティスクール事業の進展を目指し、学校、家庭、地域の協働を図る。 ア 子どもたちが地域の行事や活動に参加する機会の創出、地域への帰属意識の醸成 イ 地域住民が主体となった子育ての取組み支援、地域全体で子どもを育てる意識の向上 ウ 学校の教育目標やビジョンと地域の課題の共有、学校と地域の連携・協働の促進</p>	<p>(左記の重点目標の番号と対応して記載)</p> <p>1 「子どもケア会議」や「地域学習会」などの住民発で提起された課題から、具体的な事業や活動を実施することができた。 今後はより住民の主体的な取り組みとなるよう、より多くの住民が参加し、活動の担い手が育成される工夫をしたい。</p> <p>2 継続して実施している事業では、参加者の減少がみられる。多様な媒体での周知を行ったが、新規参加者はあまり得られなかった。 情報発信の工夫に限らず、町会への出張事業など、事業に参加しやすい工夫をする。</p> <p>3 コミュニティスクール運営委員会で中学生と委員の意見交換を実施できた。今後も子どもが意見を発信できる場が必要である。 子どもを対象とした事業の実施、子ども会育成会への支援を行い、子どもが地域の大人たちと関わる機会を創出することができた。</p>

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	3	5	5	2	3	0	0	0	1	5	1	4	4
延べ参加人数	62	60	532	223	0	514	0	0	0	320	2,236	80	326	778

令和4年度 事業報告

松南地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
奈川バスハイク(春)	5月21日	中止	環境	家庭教育	0人	奈川の金原砂防堰堤(魚道)の見学と周辺の散策、自然豊かな屋外での食事を通して、子どもたちの五感豊かな食育を進める。昼食の場所を昨年までの場所から変更した。	共催 子どもが輝く食育ネットワーク松本	参加申込の低調、雨天のため中止。ここ2年は中止が続いており直接の原因は感染症や天候であったが、いずれも申込の低調であり来年度以降の開催方法は大きく見直しを行う予定である。	
信明中学校地域出前講座	7月	3回	趣味教養	青少年	350人	コミュニティスクール事業の一環として、公民館で紹介した地区住民を講師に、料理、スポーツや絵画工作などを教わる。地域住民とのふれあい、つがなり作りの場として実施	松南地区・鎌田地区住民を中心に講師を依頼	継続して講師を担っている方が多い一方で、負担感が大きいと感じる方もおり、新たな講座内容、講師の検討も必要である。	○
町内公民館長会視察研修	7月31日	1回	地域事業(文化)	成人	11人	「地域学習会」の取組みに関連して、市内の博物館などを見学する。単位町会を超えた地区住民同士の交流、町内公民館事業の活性化、歴史文化を学習がねらい	地区町内公民館長会が主催、館報編集委員なども参加	昨年度中止になった企画内容を引用して実施した。さまざまな博物館施設を巡り、参加者が知らなかった松本市の歴史を知ることができた。「地域学習会」の活動に関しても、さらに学びを深めたいという意見がが得られた。	
なんぶ未来まつり	9月3日	1回	地域事業(文化)	その他	1,200人	神社や仏閣がなく、例大祭のような祭りのない松南地区の地区住民が、他町会の方とも交流ができるようにと始まったすべてが手づくりのお祭り。町会を超えた地区住民の交流を図る。	未来まつり実行委員会が主催(町会連合会を中心に組織)	コロナ禍で感染対策を踏まえて3年ぶりに実施された。各町会の出店、信明中吹奏楽部などのステージ発表、子ども神輿など盛大に開催された。様々な地域住民が集い、非日常感を皆で楽しむ地区最大のイベントとなっているため、今後も継続される見込みである。	
なんなんフェスタ2022	9月17日～18日	1回	地域事業(文化)	その他	830人	松南地区公民館利用者の会が主体となって開催する文化祭。利用団体の展示及びステージ発表を行い、普段関わることのない他の団体の活動を知る機会、出会う機会としている。	実行委員会形式。青少年ホームの子ども向け体験事業、南部図書館の本のリサイクル事業などを共催で実施	3年ぶりに大規模に開催したが、感染リスクが高い上演部門を中止(代替として映像上映を実施)とし、展示や体験などの他の部門を実施した。炊き出し、SL乗車は中止した。来場者はコロナ前に比べると少なかったが、コロナ禍でも子どもから大人まで幅広く来場した。集客方法が今後の課題である。	
奈川バスハイク(秋)	10月8日	中止	環境	家庭教育	0人	奈川の金原砂防堰堤(魚道)の見学と周辺の散策、自然豊かな屋外での食事を通して、子どもたちの五感豊かな食育を進める。	共催 子どもが輝く食育ネットワーク松本	申込の不調を理由に中止した。内容は上記春の事業と同様	

令和4年度 事業報告

松南地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
地域とつながる子ども食堂&地震体験	11月5日	1回	地域事業(その他)	その他	80人	子ども食堂をやってみようという住民の意見から、子どもが参加する形で炊き出し訓練や地震体験車など、防災の活動を行った。	主催 地域ケア会議(地区支援企画会議の職員を中心に企画) 協力 市社協炊き出しキャラバン隊、日赤奉仕団、ボランティア松南 など	地域のボランティア団体の協力を得て実施できた。今後、町会などでも取り組みが広がることに期待したい。	
謎解き!歩いて学ぶ松南地区のルーツ	11月28日	1回	地域文化	成人	12人	「地域学習会」の取組みとして、大人を対象とした地域の歴史(ルーツ)を歩いて学ぶ講座を実施。普段は入れない自衛隊松本駐屯地内の見学も行った。	協力 自衛隊松本駐屯地 共催 地区町内公民館長会、館報編集委員会	大半は町内公民館長や館報編集委員の参加だったが、それまで知らなかった地域の歴史を知れた、自衛隊の歴史についても展示を見て学ぶことができた、といった意見があった。広く地域住民の参加を得られるよう、コースや対象地域を工夫して実施したい。	
カリヨン イルミネーション点灯式	12月15日	1回	地域事業(文化)	その他	35人	地区住民が参加できる冬のイベントとして、カリヨンの鐘へイルミネーションを設置し、点灯式として地区の団体にハンドベルの演奏を行ってもらった。	町会連合会が主催で、周知、実施準備の協力などを行う。	地区定例会の開始前の時間に実施したことで例年に比べて参加者が増えた。一般の参加者は5名程度いたが、地区住民の集まるイベントとして、会場や式典の内容の検討が必要である。	
なんなんひろば クリスマス人形劇	12月17日	1回	子育て	青少年	112人	南部図書館と共催で、子ども向けの人形劇を行う。	南部図書館と共催	企画実施は主に図書館で行っている。大会議室を会場に、多くの親子が参加して人形劇を楽しむ機会となっている。	
体操教室(後期)	1月	3回	福祉健康	成人	11人	自分にあった運動・体操を見つけ、無理なく継続してもらうため、脳トレを交えたエクササイズやヨガを体験してもらう。楽しみながら健康づくりに取り組んでもらう。	福祉ひろば共催	今年度は新たに太極拳のフィットネスを加えた。参加者の満足度は高いが後期(冬の)回は申込人数が少なく、宣伝・周知方法が課題である。町内公民館などへの出張実施も検討したい。	
なんなん♪ニューイヤークンサート	1月28日	1回	地域事業(文化)	その他	160人	町内公民館会の企画によるイベントが昨年度中止し、なんなんフェスタの上演部門が中止となったことを踏まえて企画した。地域住民が音楽・芸能などに触れる機会、公民館利用者の発表機会を創出する。	共催 地区町内公民館長会、公民館利用者の会	なんなんフェスタの上演部門が中止になったことで、発表する団体にとっても、聴く住民にとっても待ち望んだ事業となった。途中の入れ替わりもあって多くの来場者があり、2時間の中に5つの団体の発表を聞くことができる密度の高い企画であった。なんなんフェスタとは異なる形式で、様々な団体の発表を多くの人に聞いてもらえる機会として、来年度以降の開催について団体と協議していきたい。	

令和4年度 事業報告

松南地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
謎解きこどもウォークラリー	3月22日	1回	地域文化	青少年	11人	11月に実施した「謎解き！歩いて学ぶ松南地区のルーツ」の子ども版として企画した。地域の歴史を親しみやすく学べるように、企画にゲーム性を持たせた。		初めての企画であり、問題の難易度や移動距離などで難点があった。改善点として、今後の企画に活かしていきたい。問題をネットで配布することで、興味関心のある地域住民が活用できるようにしている。	
開明小学校登下校見守り	4～5月	1回	子育て	青少年	115人	地区住民の有志により開明小学校の児童の登下校を見守る。新1年生は登下校にも不安があるため、地域で登下校の見守りをおこない、学校と地域の結びつきを深めるもの。		人材不足で、小学校からかなり遠くに住む住民にも協力していただいている。一人一人の住民の負担を減らせるよう、人材の発掘を進めていきたい。	○
スマートフォン教室	4～5月	8回	趣味教養	高齢者	14人	事業者から、デジタル活用支援事業を利用した事業として提案があつて10月から事業を開始し、スマートフォンの操作の基本から様々な機能の使い方まで幅広く学べる。	ドコモショップ松本店協力	事業者の都合により5月までで中止となったが、参加者が少なく中止になった回もあつた。これ以降、町内公民館が独自にスマホ教室を実施している。	
親子の食育講座	4～12月	5回	子育て	家庭教育	50人	畑での苗植えや土寄せから、収穫、調理して食べるまでを体験し、普段口にしている、ねぎやさつまいもなどの作物がどのようにして育てられているのかを学ぶ。	共催・講師 子どもが輝く食育ネットワーク松本	長年継続して実施している事業で、気軽に参加できるよう工夫している。地区内に田畑がなく、身近で農作業を体験する機会がほとんどないため、地区の子どもにとって貴重な機会になると考え、継続して実施していく。	
よくわかる発達障がい講座	6～7月	3回	人権平和	成人	62人	昨年に引き続き、発達障がいについて、1回1時間半の一般向けの講座を3回実施。高齢世代をターゲットとして、発達障がいについて基礎から学ぶ機会を設ける。		新聞での宣伝もあつて、地区外からも関心のある方が集まつた。参加者が熱心に学び、内容も好評であつた。昨年などから継続して参加し、学びを深める参加者も多くみられた。	
体操教室（前期）	7～8月	3回	福祉健康	成人	25人	後期と同様（後期は1月に実施）	福祉ひろば共催	後期と同様（後期は1月に実施）	
夏の文化祭	7～8月	1回	地域文化	成人	50人	松南地区公民館利用者の会が主体となって開催する夏の文化祭。利用団体の活動紹介（展示）とサークルの体験会を開催。利用団体の活動発表の場の充実	公民館利用者の会主催	コロナの感染拡大期にかかったため、参加を辞退した団体もあつたが、昨年より多くの団体の参加申込があつた。今後も、これまで参加したことのない団体も参加してもらえようように、企画の発信をしていきたい。	

令和4年度 事業報告

松南地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
親子料理教室	8~1月	3回	子育て	家庭教育	42人	季節の食材を使って、親子で調理実習をする。子どもたちの五感豊かな食育を進め、家庭での食を大切にしてもらう。	共催・講師 子どもが輝く食育ネットワーク松本	子どもが楽しく料理に参加しつつ、親も食育について学べる仕組みができています。昨年度以降、リピーターの方だけでなく、新規参加者も一定数得られている。ネットからの予約も定着してきた。	
認知症関係講座	8~9月	3回	福祉健康	成人	24人	認知症を学び支えられる地域を目指して、認知症サポーターの養成講座、認知症の理解を深めるステップアップ講座を実施した。	南部包括支援センター、地区生活支援員、福祉ひろばなどと共催	参加者は民生委員や地区のボランティアなどが大半だったが、一般の住民も若干数いた。講座を通して、認知症に対する理解を深めるとともに、地域の抱える課題を参加者が共有することができた。今後も継続して実施したい。	
冬の文化祭	1~2月	1回	地域文化	成人	50人	昨年に続き、冬にもサークルの発表の場が欲しいとの要望に応じて実施した。内容は夏の文化祭と同様	公民館利用者の会主催	昨年、なんなんフェスタに参加できなかった団体の参加もあり、コロナ禍での公民館利用団体の活動発表の場を確保することができた。	
学習室開放	通年	82回	子育て	青少年	213人	今年度6月以降、毎月の第1・第3土日に、小中高生、学生を対象に開放を始めた。3月から毎週土日の開放を試行した。そのほか、小中学校の夏・春の長期休みには平日も開放した。		夏休み以外の期間の利用率があまり高くない。事務室・館入口から離れた部屋であることが、常設できない原因であり、利用率が低い原因ではないか。来年度は、対象者の拡充なども含めて検討したい。	○
まちかどアート展	通年 (不定期)	2回	地域文化	その他	100人	開明小学校3年生の読書感想(絵と文章)の展示、放課後デイサービス事業所の利用者の絵画作品などを展示した。		子どもの自由な発想の作品を展示でき、普段何も飾られていないスペースに活気ができた。利用者がじっくり眺めている姿も見られた。各施設と地域の接点づくりとしても継続して実施したい。	○
ソフトバレーなんなんリーグ	通年	8回	地域事業 (体育)	成人	320人	月に一度開催の、地区内ソフトバレーチームによるリーグ戦。地域住民が主体で、住民の仲間づくりの場である。		リーグ戦の役員が主体的に運営を行っている。特に運営上の課題は寄せられていない。	
なんなん日本語講座	通年	43回	趣味教養	成人	150人	毎週月曜日の夜に定期的に開催。日本語に限らず日本の文化や慣習についても学習し、また生徒の希望によって日本語検定に向けての勉強も行う。	日本語講座ボランティアなどの協力	コロナの影響を受けた昨年度に比べて、一定数継続して受講生を得られた。今後も市南部で実施する日本語講座として、継続して実施したい。事業周知は引き続き行う必要がある。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
松南地区公民館 運営委員会	通年	12回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	103人	地区公民館の運営委員（委員は各町会から）。地区公民館の運営や事業について、地域住民から意見をいただく。	地区町会連合会	町会連合会と協力して新たな取り組みを行う中で、地域課題に対して地区公民館が果たす役割を期待されている。地域課題に関する新規事業の企画などについて、積極的に運営委員との意見交換を行いたい。	
松南地区公民館 館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	100人	地区公民館報の編集委員（委員は各町会から）。地域情報の発掘・発信、地域課題の投げかけを行う。		内容を工夫して様々な話題を取り上げることができた。今年度100号の記念号を発行し、未来まつりの歩みを取り上げた。「地域学習会」の中核となる団体として、今後も様々な活動を進めていきたい。	
松南地区公民館 体育委員会	通年	10回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	96人	地区公民館の体育委員（スポーツイベント等の企画・開催）。地区の体育事業について地域住民から意見をいただく。	地区スポーツ協会	各町会の状況を踏まえてイベント内容の変更を行った。多くの子どもの参加が得られたイベントもあった一方で、子どもが1人も参加しなかったものもあった。周知方法について検討が必要である。	
松南地区公民館 利用者の会	通年	4回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	27人	公民館利用団体で組織する会であり、展示が中心の夏の文化祭の実行、秋に行う文化祭「なんなんフェスタ」の実行委員会の中心的な役割を担う。利用者同士の交流の促進、利用団体の活動支援		なんなんフェスタに向けて各団体の活動が活発になるよう、フェスタの開催方法について役員会で早期に検討を始める。課題となっている役員の担い手不足なども、対策の検討を進めたい。	

令和4年度 事業報告の概要

島内公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>■島内公民館「5つの基本方針」</p> <p>1 講座の充実 地域住民の声を公民館活動へつなげ、各種団体と積極的に連携し、地域課題解決へ向けた講座を実施します。住民生活に根差した事業（講座）を実施します。講座から発展したグループ活動についても、支援をします。</p> <p>2 芸術文化活動の推進 芸術文化祭や灯籠祭りお話し劇場等既存事業の充実、公民館ギャラリーを活用した島内地区文化の発表・発信・交流を通じて、地域文化の醸成を図ります。</p> <p>3 子どもに魅力のある公民館活動の展開 児童や生徒が、積極的に参加できる公民館活動を展開します。さらに、子育てに奮闘する母親の要望等も取り入れることで、明るく子育てができるような地域へつなげます。</p> <p>4 スポーツの底辺拡大 島内地区の特性を活かし、誰でも参加できる楽しいスポーツ機会の充実を図り、心と体の健康づくりへつなげます(体協スポーツ事業、さわやか健康教室、健康ウォーキング等)。島内地区大運動会では、島内体育協会をはじめとする各種団体と連携するなかで、お互いの顔が見える関係づくりを図ります。</p> <p>5 人権教育の推進 すべての人権が尊重される地域を形成するために、指導者を対象とする視察研修や講演会、人権を考える住民のつどい「ふれ愛コンサート」を通じ、改めて「人権」「平和」「愛」等について考え・意識する機会をつくり、より住みよい地域社会へとつなげます。</p>										<p>島内公民館5つの基本方針に沿って、学習やスポーツ等の社会活動を通じて住民間のつながりを構築し、地域社会での関係性を深めるなかで、互助の関係が根付いた魅力ある地域の形成(人づくり)へつなげた。新型コロナウイルス感染から3年目となり、各種学習講座や島内文化ふれあいまつり・島内島立ふれ愛コンサートなどの地区イベントは感染対策を講じ、以前と同規模の事業を実施しました。また、体育事業は、役員と評議員が4月当初に「島内地区体育大会の開催・運営基準」を設け、開催方法や実施有無などを話し合っ、1事業の開催へつなげました。平瀬古城会の活動も3年目を迎え、会員向けのどくろく酒製造や染め物体験会、初めての視察研修会、他市と連携した狼煙まつりの開催(荒天中止)など、公民館を核にした地域づくり活動が進められました。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	3	3	0	4	2	3	0	7	8	2	19	5	11
延べ 参加人数	333	100	930	0	218	47	31	0	494	194	672	7800	492	2165

令和4年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
小谷で交流「山菜狩り体験」	4月27日 (水)	1回	趣味教養	成人	16人	他地域と島内地区住民との交流を図り、仲間づくり等へ繋げるため、山菜狩りなどで交流を図る。	健康福祉部門関係者と内容・日程を調整	地区として3回目の取組みとなるが、今年も新規参加者が多く、前回に続いて参加した住民を核に交流の輪が広がった。	
春季スポーツ大会	5月22日 (日)	中止	地域事業 (体育)	成人	-	地域住民の交流と健康増進のため、町会対抗でバドミントン・グラウンドゴルフで競う。	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。	
健康ウォーキング大会	6月18日 (土) 10月1日 (土)	2回	地域事業 (体育)	その他	154人	健康増進と世代間交流を図るため地区内健康ウォーキングコース4k&7.5k歩くもの。10月は地区内の歴史的文化遺産を核にしたコースを設定し、住民の地域への愛着を深める。	福祉ひろば・平瀬古城会関係者と日程・運営方法等について調整	6月は通常の健康ウォーキングコースを歩いたが、秋は地区内の町・東方町会の史跡などを巡り、昨年度の倍近くの参加があった。途中の大日堂では、平瀬古城会の会員が、歴史や仏像などの解説を行い、人材発掘・育成にもつながった。	
ソフトボール・バレーボール大会	7月3日 (日)	中止	地域事業 (体育)	成人	-	住民の交流と健康増進を図るため、町会対抗でソフトボールとバレーボールで競う。	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。	
島内地区指導者研修会	7月21日 (木)	1回	その他	その他	23人	町会長・町内公民館長等の地域指導者を対象に、指導者学習会を実施することで、地域づくりへつなげる。	主催者の町会・町内公民館長・地域づくりセンター長と実施内容について検討	小谷村の人材・地域資源を活用した取組みについて、現地視察と合わせて小島優治氏（前小谷村役場職員）から地域づくりの視点で話を聞いたことで、学習効果が高まった。	
夏休み子ども講座 ※小学1～6年生対象	7月28日 (木) 8月4日 (木)	2回	その他	青少年	85人	普段の学校生活では体験できない様々な体験や異年齢交流を通じて、子どもたちの生きる力の醸成へつなげる。	学校や育成会関係者等と実施有無について検討	日頃学校では体験できない学年を超えた交流のなかで、子どもたちが主体的に行動する仕掛けを取り入れて実施したことで、人間力醸成へつながった。次年度も、行先を変更して実施予定。	○
中学生のための島内公民館開放	8月1日 ～8月18日 うち8日間	1回	その他	青少年	85人	夏休み期間中に学習の場として公民館を開放することで、中学生と公民館をつなげる。	学校や育成会関係者等と実施有無について検討	中学生が公民館とつながる機会として有効であり、生徒にも好評であった。食事支援・学習支援を地域住民が行い、交流の場にもなった。今年は、松本大学とも連携した。	○

令和4年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
(第36回灯籠まつり) 夏休みおはなしファミリ－劇場2022夏	8月7日 (日)	1回	その他	その他	200人	子どもから大人まで楽しめる、読み聞かせ劇場を実施し、島内伝統行事の灯籠まつりの充実へ寄与する。	公民館図書視聴覚委員会や文化委員会、公民館読み聞かせサークルや総合企画のオフィス蘭と実施有無について検討	灯籠まつりは中止となったが、おはなしファミリー劇場だけは、公民館委員が運営スタッフとして関わることで、実施へつなげられた。	○
夏季スポーツ大会	8月21日 (日)	中止	地域事業 (体育)	成人	-	地域住民の交流と健康増進を図るため、町会対抗で野球とソフトバレーボールで競う。	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。	
島内歴史講座	8月23日 (火) 3月15日 (水)	1回	地域文化	成人	55人	島内地区の歴史について学習することで、地域への愛着や関心を高めるために、講演会を開催する。	島内史談会と講師・内容・日程等を調整	地元の堰や石仏をテーマに、講演会を企画。堰は梓川と絡めて、石仏は市内全域で捉えるなど、広い視野から地区を見るような学習会となった。	
河西部球技大会	8月28日 (日)	中止	地域事業 (体育)	成人	-	スポーツを通じて、河西部地区(島内・島立・和田・新村)で交流を図る。(バレー・野球は市長杯争奪大会出場地区選考兼ねる。)	今年は和田が当番地区のため、実施方法を模索し、4地区体協関係者と開催方法について検討する。	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、関係者等と調整の結果中止となる。	
島内公民館子育て講座	8月31日 (水) 9月27日 (火) 11月16日 (水)	3回	子育て	家庭教育	90人	就園前の親子を対象に親子参加型の講座を実施し、親子の触れ合いや仲間づくりへつなげるため、人形劇・親子体操・親子ヨガを実施。	福祉ひろば・民生と内容や講師、日程等を検討	子どもが小さいことから、参加に抵抗ある親子もいたが、できるだけコロナ対策を講じることで、参加への理解も得られた。親子交流の大切な場であるため、次年度も継続開催予定。	
陶芸講座	9月21日 (水) 9月28日 (水)	2回	地域文化	成人	20人	山田地籍の登り窯を会場に、陶芸を切口に地域文化・歴史を学び、作品制作を制作するなかで、地域への愛着醸成や仲間づくりへつなげる。	登り窯を管理する「山田炎の会」と講座内容について調整し、単なる陶芸作品制作に留まらない取組みへつなげる。	公民館にとっては、登り窯で2回目の開催となったが、陶芸や地域文化への関心を更に高められた。また、炎の会への新規登録へつながったり、会主催の陶芸教室への参加へつながったりと、講座後も広がりを見せた。	
第65回市民体育大会	10月9日 (日)	1回	スポーツ	成人	20人	市内35地区が、卓球、ソフトバレーボール、マレットゴルフ、野球、ゲートボール種目で競う大会。	出場選手について地区体協関係者と調整	松本市スポーツ協会で検討の結果、参加できる種目のみで開催(地区対抗は中止)。島内からはマレットゴルフとソフトバレーボールのみ出場。	

令和4年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
第69回島内地区大運動会	10月16日 (日)	中止	地域事業 (体育)	その他	-	地域住民の交流と健康増進を図るため、例年は、16種目で町会対抗競技も設ける。昼食時に、島内小学校4年生と消防団によるアトラクション実施。	実行委員会を体協・町会・町内公民館関係者等で組織し、実施有無について検討	6月以降、各町会関係者から運動会の現状や課題について意見を聞き、その内容を基に役員会を実施。結果、今年度は中止となる。中止理由がコロナだけでなく、運動会そのものにあることから、次年度へ向けて検討委員会を組織する。	○
第39回松本市長杯争奪球技大会	10月30日 (日)	1回	スポーツ	成人	11人	市民体育大会の上位入賞チーム等が、卓球、軟式野球、ゲートボール、ママさんバレーボール、マレットゴルフで競う大会。	出場選手について地区体協関係者と調整	松本市スポーツ協会で検討の結果、参加できる種目のみで開催。島内からはマレットゴルフと市民体育大会で入賞したソフトバレーボールが出場。	
第3回島内文化ふれあいまつり	11月6日 (日)	1回	地域事業 (文化)	その他	550人	地域住民の日頃の文化活動の成果等を一堂に集め、島内地区の文化発信の場として実施。(展示やステージなど)	公民館・福祉ひろば・図書館・社協島内支会で実行委員会を組織し、実施内容等を検討	今年度から従来の1日開催へ戻し、コロナ前と同規模のまつりを開催する。小中学校や合唱団体なども2年ぶりに出演、昼食のカレーも復活し、島内文化発信の機会となった。	○
卓球大会・ニューススポーツ体験会	11月13日 (日)	1回	地域事業 (体育)	その他	40人	地域住民の交流と健康増進を図るため、町会対抗の卓球大会とニューススポーツ体験会を実施。	地区体協関係者と日程・運営方法等について調整	今年度唯一の体育行事となったが、年度当初に「島内地区体育大会の開催・運営基準」を設けたことで、大会毎、関係者で話し合いながら進めることができた。	
公民館委員視察研修	11月10日 (木)	1回	その他	その他	16人	公民館委員間の情報交換や交流、視察研修学習を通じて、各委員会活動へつなげることを目的に実施。	委員会関係者と研修成果を活かせるような視察場所を検討→結果、茅野市尖石縄文考古館や諏訪市博物館等を視察	視察を通じて学習した成果を、各員会活動へつなげるだけでなく、委員同士の情報共有も図られたことで、公民館活動全体にとって大切な機会となった。次年度も実施予定。	

令和4年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
人権教育推進視察研修	11月24日 (木)	1回	人権平和	その他	23人	地域内指導者を対象に、人権に対する意識を高め、地域活動へつなげるために実施。	人権推進協関係者と今年度のテーマを決め、視察先・日程等調整する。 →結果、東山包美術館で、「上原良司の灯を守る会」の師岡会長などと情報交換	今年は、戦後77年目を迎え、改めて松本市にも所縁のある「上原良司」にスポットを当てた。ロシア・ウクライナ戦争にも見られるように、不条理に自由と命を奪われた太平洋戦争を、良司の生き方を通じて見つめなおすことで、「人が人の命を奪うこと」がどれだけ受け入れてはいけないことなのかを、考える機会につながった。	
刃物研ぎ講座	12月14日 (水) 午前・午後	2回	趣味教養	成人	31人	初心者向けで、刃物の研ぎ方を学ぶことで、仲間づくりや趣味による生きがいづくりへつなげる。	シルバー人材センター刃物研ぎ会員と相談の上実施	今年度も初めての参加者が多く、愛用の刃物を研ぎながら住民間の交流が図れたことで仲間づくりへもつながった。	
男性のための料理教室	12月15日 (木)	1回	福祉健康	高齢者	15人	高齢の男性を対象に、料理の楽しさや健康的な食事について学ぶなかで、仲間づくり等へつなげる。	食改や健康福祉部門関係者及び地区高齢者クラブと内容・日程を調整	具だくさんすいとん、肉巻き長芋、ブロッコリーの塩昆布和え、ふろふき大根を食改からのサポートにより、楽しく交流しながら調理することができた。	
人権を考える住民の集い「島内・島立ふれ愛コンサート」	2月23日 (木) ※祝日	1回	人権平和	その他	310人	地元小学生や音楽家によるコンサートを通じて、人権について考える場にするとともに、意識向上の一助へつなげる。島内・島立小学校、松島・高綱中学校の発表の場としても活用する。	人権推進協関係者や学校、出演者等と9月頃から複数回実施内容やコロナ対策について検討	コロナ禍で子どもたちの出演機会が奪われるなか、学校からもステージ開催を望む声が強くなり、コロナ禍を考慮しながらの開催準備を進めた。結果、島内小合唱部、島立小・松島中・高綱中金管部などが出演。主催者住民から「ロシア・ウクライナの状況を踏まえて、今回のコンサートを通じて、音楽が民族を越えてつながることができるツールだと感じた」との問いかけがあり、改めて、コンサートそのものの位置づけや重要性を確認する機会にもつながった。	○

令和4年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
こどもの居場所づくり事業愛ランド島内「おらんちdeランチ」	4月9日(土) ～3月11日(土)	12回	子育て	家庭教育	650人	三世代交流とこどもの居場所づくりを目的に、学習支援や囲碁・将棋・書き初め、食事支援等を通じて交流を図る。	住民組織「愛ランド島内実行委員会」を主宰に、公民館と連携する中で実施内容等を検討	子どもたちが集まり、勉強や工作、遊び、食事など、日頃学校では体験できない、学年や世代を超えた交流を図る場として、地域における子どもたちの人間力醸成へもつながった。新たに松本大学の松田武雄ゼミと連携し、大学生協力による運営や学習支援、「島内防災すごろく」を子どもたちと製作した。夏休みには、アメリカンフラワー工作体験も実施した。また、コロナ対策として、食事をテイクアウトにするなどの工夫も行った。	○
お話しのお話の会 ※うち2回は図書館共催(お話のスペシャル、クリスマススペシャル) ※うち2回は保育園で実施	5月14日(土) ～3月11日(土)	6回	子育て	家庭教育	190人	親子参加による図書視聴覚委員会を中心とした読み聞かせを行い、小さい頃から本に親しむことへつなげる。絵本・紙芝居・パネルシアター・OHP等による読み聞かせや、終了後の工作等の内容を、企画会議で検討の上実施。	読み聞かせの内容は、全て委員会を開催し、図書視聴覚委員会が決定する。	子どものころから本に触れる機会を提供し、豊かな人間力向上や家庭教育へつなげる機会となった。図書館との共催2回は実施できたが、保育園の2回はコロナのため中止。	○

令和4年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
農業文庫講座 第1回 視察研修 「木曾路を訪ねて」	6月1日 (水)	1回	その他	成人	40人	視察を通じて、仲間づくりや生きがいづくりへつなげる。	農業文庫運営委員が中心となって下見等を行い、義仲館・徳音寺・定勝寺・福島関所資料館の見学や須原宿の散策などを計画	農業文庫講座は、講座の内容を主に農業文庫運営委員会(公民館・図書館関係者も連携)で企画したことで、住民主体の取組みが進められた。次年度も、同様の手法で進める方針。 今年も、コロナ禍ではあったが、視察研修会ではバスの座席配置を工夫したり、地元の歴史文化学習について学んだり、地元住民に講師をお願いするなど、会員同士で合意形成をしながら進めることができた。	
農業文庫講座 第2回 講演会 「松本城の歴史と島内のお城のこと」	7月26日 (火)	1回	地域文化	成人	48人	住民生活に根差した講座を実施することで、生きがいや仲間づくりへつなげる。	会員と公民館で、宮島義和氏(市城郭整備研究員)を講師に、松本城や島内の平瀬城・犬甘城の歴史や魅力に関する学習会を計画	一方、「会員の高齢・減少化」を踏まえ、今年から、より主体性を持って取組みを進める組織体制を進めるとともに、名称を「農業文庫友の会」に変更して新たなスタートをきった。	
農業文庫講座 第3回 講演会 「認知症を予防する食生活とは」	9月27日 (火)	1回	福祉健康	成人	35人	住民生活に根差した講座を実施することで、生きがいや仲間づくりへつなげる。	会員と公民館で、水野尚子氏(松本大学)を講師に、認知症予防につながる生活方法(食事など)に関する学習会を計画	早速、数十年の会の活動の中で、初めて「会員向け学習視察会」を企画・実施した。過去数年間の参加者の中で、常連となっている住民に声掛けを行い、「会員になって一緒に活動したい」と言う方を誘いながら、市内の時計博物館と美術館、食事会を行った。食事会では、新規会員4名から「一緒に活動できることを楽しみにしている」との話もあり、公民館的な手法により広がりを見せている点が評価できる。	
農業文庫講座 第4回 視察研修 「善光寺平を訪ねて」	10月27日 (木)	1回	その他	成人	45人	視察を通じて、仲間づくりや生きがいづくりへつなげる。	農業文庫運営委員が中心となって下見等を行い、長野県立美術館・典厩寺の見学や仲見世通り・善光寺等の散策を計画		
農業文庫講座 第5回 世代間交流 「正月の伝統行事と遊び」	12月3日 (土)	1回	地域文化	家庭教育	95人	昔の遊びや伝統行事を、高齢者が子どもたちに伝えていくことで、世代間交流を図る。	愛ランド島内運営委員会とも共催し、コロナ禍での実施内容を検討。餅つきや食事会は中止する。		○
農業文庫講座 第6回 講演会 「好奇心が若さを生む」	2月28日 (火)	1回	福祉健康	成人	50人	住民生活に根差した講座を実施することで、生きがいや仲間づくりへつなげる。	会員と公民館で、犬飼己紀子氏(松本大学名誉教授)を講師に、好奇心を持って生活することの大切さに関する学習会を計画		
平瀬古城会の活動	4月～3月	1回	地域事業(文化)	その他	122人	平瀬城跡(特別史跡)を中心に、関連史跡・関連文化財群などの整備・保全・活用を、地域全体の取組みとして推進することで、地域文化財を活用した地域づくりへつなげる。	公民館を事務局に、社会教育的な発想で文化財の活用や保全を進めるため、全ての取組みについて会員内で協議・調整を行い、実施へつなげる。	令和2年4月発足。通常の整備・周知・学習活動に加え、夏休みの親子向け染め物体験会やどぶろく酒製造などを行った。狼煙まつりは、安曇野市との連携を進めたが荒天で中止となったが、初めて視察研修会も行った。	

令和4年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
さわやか健康スポーツ教室	6月～3月	中止	スポーツ	女性	-	健康維持のための教室として、ニュースポーツ、ストレッチ体操などを行う。	地区体協関係者と内容等調整	毎月1回、女性の健康づくり推進員08を中心で開催し、コミュニティの受け皿としても機能していたが、今年度はコロナのため全日程を中止する。	
ソフトバレーボールリーグ	1月～3月	中止	地域事業(体育)	成人	-	地域住民の交流と健康増進のため、チームによるリーグ戦を行う。	地区体協関係者と内容等調整	島内体協主催事業として、3か月間にわたりリーグ戦が開かれ、毎年楽しみにしている選手も多い。今年度はコロナのため、親睦交流大会へ変更し、集まれる範囲で楽しく汗を流した。	
公民館ギャラリー“ピアッツァ”への展示	4月	1回	地域事業(その他)	その他	7,800人	地域住民及び島内公民館利用サークル等の作品展示を常時実施することで、地域の文化発信を積極的に行うとともに、展示者の生きがいづくり等へもつなげる。	浅香吉司段ボール模型展	地域住民及び島内公民館利用サークル等の作品展示を常時実施することで、地域の文化発信を積極的に行うとともに、展示者の生きがいづくり等へもつなげる。 ※今年度は、2年ぶりに浅香吉司段ボール模型展や島内書道研究会作品展を開催し、多くの来場があった。また、展示に合わせてアメリカンフラワーブローチ製作体験や、Nゲージミニレイアウトで実際に列車を走らせる体験会も行ったことで、多くの親子連れが参加した。松島中学校作品展は、ここ5年間作品数が減少していたが、中学校内の働きかけ等もあり、40点以上の作品がギャラリーを彩った。一方、昨年度中止となった山田炎の会「20周年特別展」は、11月に3日間、公民館講堂で初めて開催した。ギャラリーは公民館入口横にあることから、マイナンバーカード申請者も来場したことで、昨年度より来場者が増加した(R3:5,600人)。	
	5月	1回	地域事業(その他)	その他			五月人形展		
	6月	1回	地域事業(その他)	その他			版画・切り絵仲間展		
		1回	地域事業(その他)	その他			花フルト作品展(ワールアラブ)		
	7月	1回	地域事業(その他)	その他			アメリカンフラワー展		
	8月	1回	地域事業(その他)	その他			水墨画クラブ作品展		
	9月	1回	地域事業(その他)	その他			島内小学校6年生作品展		○
	10月	1回	地域事業(その他)	その他			島内書道研究会作品展		
	11月	1回	地域事業(その他)	その他			ふわもこの会作品展(羊毛フェルト)		
		1回	地域事業(その他)	その他			山田炎の会「20周年特別展」		
	12月	1回	地域事業(その他)	その他			松島中美術部作品展		○
	1月	1回	地域事業(その他)	その他			島内書道愛好家書道展		
		1回	地域事業(その他)	その他			陶芸作品展(山田炎の会)		
	2月	1回	地域事業(その他)	その他			稲田隆・林栄司模型展		
3月	1回	地域事業(その他)	その他	第12回ひな人形展					

令和4年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
図書視聴覚委員会	5月9日 (月) ～2月27日 (月)	6回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	36人	「おはなしの会」の企画・実施を通じて、地区内の図書普及と交流を図る。	・おはなしの会の企画・実施 ・おはなしファミリー劇場の運営	定期的な本の読み聞かせを、委員主体により進められた。	
文化委員会	4月1日 (金) ～3月23日 (木)	12回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	120人	ギャラリーピアッツアの企画・実施を通じて、人材の掘り起こしや地区内の文化活動を活性化させ、島内文化を発信する。	・ギャラリーピアッツアの企画・実施 ・おはなしファミリー劇場の運営 ・ふれあいまつり協力	ギャラリー展示の企画・運営から、ふれあいまつり等への参画まで、委員主体により進められた。	
館報編集委員会	4月12日 (火) ～3月7日 (火)	12回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	120人	地区内の情報を集約し、住民の視点から公民館報を発行することで、地区住民の生活文化の向上を図る。	・島内公民館報の企画、編集 ・おはなしファミリー劇場の運営	館報の企画・編集及について、委員主体により進められた。	
地区大運動会役員会議	8月5日 (金)	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	16人	第69回地区大運動会の開催有無について検討	役員会(企画)、全体会議(運営方法共有)、反省会	運動会実施有無について、住民主体で検討された。	
町内公民館長会	4月5日 (火) ～3月17日 (金)	10回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	200人	町内公民館活動の支援・協力、地区事業運営等について検討		概ね月1回集まり、町内公民館に關係する事業等について検討する。また、地区事業についても検討され、コロナ禍での町会活動についても議論がなされた。	
公民館報発行	奇数月 発行	6回	地域事業 (その他)	その他	全戸配布	島内地区の情報などについて、住民の視点から発信		偶数月に住民主体で企画会議を行い、掲載内容や取材方法等を検討。奇数月には編集作業を行う。今年度から生活支援員を委員に加えたことで、各町会の福祉活動に関する情報も入るようになった。結果、記事で100歳体操の取組みを、各町会の活動まで含めて取り扱うことができた。	
公民館だより	毎月	12回	地域事業 (その他)	その他	全戸回覧	公民館事業の参加者募集・周知について情報発信		毎月公民館事業の周知に活用。	
ホームページ	随時更新	-	地域事業 (その他)	その他	年間	島内公民館の活動情報等について発信		毎月①公民館だより②ギャラリー展示の様子③イベントの子について掲載する。新規に、出張所の方でツイッターを開設したことで、公民館HPとの連携も図られた。また、館報に毎回、公民館HPとツイッターの二次元コードを掲載することで、更なる情報発信にもつながった。	

令和4年度 事業報告

島内公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
利用サークルの育成・支援及び、地区関係諸団体の支援・連携	随 時	-	地域事業 (その他)	その他	-	・貸館及び活動支援 ・関係諸団体の活動支援や連携		窓口及び利用者会議等で利用団体と活動状況などについて情報交換を行う。	

令和4年度 事業報告の概要

中山公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で子どもを育てる仕組みづくり 中山小学校の指導方針のひとつである「地域で子どもを育てる」に倣い、公民館も学校と連携・協働した。手づくり教室（低学年は縄ない、高学年はしめ縄づくりの指導）、卓球、パソコン、縄文体験、手芸、写真、理科実験などのクラブ活動の支援に地域の人財を学習の場面に投入するCS事業を展開した。 また、第46回中山地区文化祭では、地区内の中学生にステージ発表での司会進行を依頼し、世代を超えて協力し合い文化祭を行うことができた。 「中山体験フェスタ」では、市内の大学生が参加したことにより、地区住民も普段関わることの少ない若者との交流の場にもなった。 ・高齢者の居場所づくり、仲間づくりの拠点 中山地区は市内でも高齢化率の高い地区である。事業や講座への参加者も高齢者が中心であるが、参加がきっかけとなり、絵画同好会や麻将同好会などその後のサークル活動に発展した好例がいくつもあり、公民館講座が高齢者の居場所づくり、生きがいづくりの一翼を担っている。また、毎週火曜日、金曜日に公民館の一室を「公民館カフェ」として開放しており、この取り組みも独居の高齢者の閉じこもりの防止など、居場所づくりのひとつとして寄与している。 また、今年度は「終活講座」を行い、中山地区の実情にあわせた講座を企画し、多数の参加があった。 										<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度も新型コロナ禍であったが、中でも十分な感染対策を講じることで、数年実施することのできなかった事業を実施した。毎月2回ずつ決まった曜日に木工講座、ウクレレ講座を続けており、木工講座は参加者も増加しており地区文化祭に作品を出展するなど、活躍の幅を広げてきている。ウクレレ講座についても同様に文化祭やその他地区内外での発表を目指しており、共に今後の進展が期待される場所である。 ・中山小学校CSでは、引き続き地区住民が講師となり、クラブ活動を実施することができた。また、「手作り教室」では子ども会育成会の理事が講師となり公民館、学校と連携し協働することができた。今後、継続して事業を行っていく。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	3	1	3	0	5	1	0	3	4	2	0	4	2
延べ参加人数	40	70	100	445	0	815	0	0	350	122	300	0	569	145

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
諏訪湖ウォーキング	4月20日	1回	福祉健康	高齢者	20人	【内容】 地区住民の健康増進、体力アップのため諏訪湖半周（約8km）のウォーキング事業を実施するもの。 【ねらい】 地区住民の健康増進、体力アップ、交流。	【準備過程】 館長、主事の下見を実施し、高齢者も歩きやすい平坦なコースを選定した。	【評価と反省】 新型コロナ禍でも野外に出て運動する機会を提供できた。 【今後の方針等】 福祉ひろば事業と重なる部分も多いことから、ひろばと連携し、定期的な運動の機会提供を継続したい。	
高齢者健康のつどい		中止	福祉健康	高齢者	0人	【内容】 高齢者対象で、健康相談や軽い体操、アトラクションを楽しみ、食事をして交流する。 【ねらい】 高齢者の健康づくり、親睦を図る。	【準備過程】 地区のボランティア団体と福祉ひろば、公民館とで打ち合わせを実施し、開催内容を決定。 【共催団体等】 白ゆり会、福祉ひろば	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 今後も地域高齢者を楽しんでいただけるような内容になるよう関係団体と意見交換し充実させていきたい。	
町会対抗体育大会	7月3日	1回	地域事業 (体育)	成人	71人	【内容】 軟式野球、ゲートボール、マレットゴルフ、ソフトバレーボール、卓球を中山地区6町会対抗で行う。 【ねらい】 住民の健康増進、親睦を図る。	【準備過程】 公民館体育委員が中心となり、会議で開催内容を決定し、各町会ごと種目別に選手を集める。 【共催団体等】 中山地区町会連合会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症を考慮し、ゲートボール、マレットゴルフの2種目のみ開催した。 【今後の方針等】 各町会の高齢化に伴い「町会対抗」として継続していくことが年々難しくなっている。選手集めも困難なため、多くの地区住民が気軽に参加し、健康増進に繋がるような方法について継続して検討していく必要がある。	
夏休み自習室	8月12日 ～ 8月22日		その他	青少年	10人	【事業内容】 小、中学校、高校の夏休み期間中、視聴覚室を学習室として開放するもの。 【ねらい】 家庭では中々身に付きづらい学習習慣の定着。	【準備過程】 新型コロナウイルス感染対策として、机、椅子他室内備品の定期的な消毒を行った。	【評価と反省】 近隣の小、中学校、公民館だよりで呼びかけを行ったが、参加者は10名ほどに留まった。 【今後の方針等】 静かで集中できる環境であるため、活用してもらえるよう、更に周知を強化したい。	

令和4年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第47回東南ブロック球技大会	8月28日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 バレー、バトミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフの5競技による6地区対抗。 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。運営面での人員不足等課題があるため、各地区協力をしていきたい。 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。	
中山地区平和式典	9月2日	1回	人権平和	成人	40人	【事業内容】 歴史を振り返ることで戦没者を悼み、平和の尊さについて考え、戦争のない明るく住みよい明日の郷土づくりを目指し、開催するもの。	【共催団体等】 主催は中山地区町会連合会。松本市遺族会中山支部、中山地区人権啓発推進協議会、中山公民館の3者が共催。 中山公民館は講演会を担当し、講師手配等を行った。	【評価と反省】 式典をとおして、住民にとって平和の尊さを学ぶ機会になった。より多くの住民に参加してもらえるように周知を行っていく必要がある。 【今後の方針等】 地区内の平和行政、人権啓発教育のための大事な取り組み事業であり、今後も継続していくことを検討したい。	
なかやま体験フェスタ2022	9月23日～9月25日	1回	その他	その他	300人	【事業内容】 中山地区は市内でも少子高齢化が進んでいる地区だが、令和元年度に作成した地区紹介カタログを元に地区内外の交流人口の増加を目的に体験型ワークショップのイベントを立ち上げた。 【ねらい】 地区内外の交流人口による地域活性化。	【準備過程】 地域づくり協議会地域活性化部会で準備会、プロジェクト会議を重ね、プログラムの選定を行った。 【共催団体等】 地域づくり協議会地域活性化部会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中山各地でワークショップを分散型で行った。また、開催日を3日間にする事で、複数のワークショップに参加することができた。また、松本大学の学生3名にプロジェクトに参加してもらい、学生主体のワークショップ、動画撮影等を協力いただいた。 【今後の方針等】 運営面での高齢化、人手不足の課題があるため、松本市内の大学等へ協力を要請する。また、周知方法も検討していく必要がある。	

令和4年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第46回中山地区文化祭	10月30日 ～ 11月5日	1回	地域事業 (文化)	成人	300人	【事業内容】 例年は中山小学校の体育館や駐車場 で展示、ステージ発表、お楽しみひ ろばを行っていたが、コロナ禍で密 を避けるため、令和4年度は中山小 学校の体育館でステージ発表を行 い、中山公民館で1週間、展示部門 を実施した。 【ねらい】 文化の向上を図り、世代を超えた住 民相互の触れ合いの場とする。	【準備過程】 公民館文化委員と町内公民館長会 が実行委員会を組織し、企画、運 営。また、例年は11月初旬に実施 していたものを、コロナ対策のた め前倒しで実施した。	【評価と反省】 ステージ発表では、中学生に司会進行 を担当してもらったため、若者の参加 も多数あった。展示部門は展示期間を 1週間とした。結果、普段文化祭へ足 を運んだことのない人達も含め、多く の地区住民に作品を観覧いただき、出 展者の満足にも繋がった。 【今後の方針等】 今後も地域文化発展を担う一事業とし て継続させていきたい。	
第11回泉小太郎祭り		中止	地域事業 (文化)	成人	0人	【事業内容】 弘法山古墳公園でのセレモニー、文 化祭ステージでの中山小4年生によ る演劇。 【ねらい】 地区ゆかりの民話の内容や思いを地 区全体で共有し、後世へ伝承する。	【準備過程】 町会連合会、町内公民館長会、文 化委員会、地区内有識者により実 行委員会を組織し、検討、準備、 運営を行う。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観 点からセレモニーは中止とした。しか し、文化祭で学習の成果として中山小 4年生による演劇を行った。 【今後の方針等】 今後も中山小4年生に関わってもらえ るように、実行委員会と連携し、地域 に根ざした催しになっていくよう公民 館として支援していきたい。	
第65回松本市市民ス ポーツ大会秋季大会	10月10日	1回	地域事業 (体育)	成人	51人	【事業内容】 市民体育大会に際し中山地区団を結 成し、軟式野球、ゲートボール、卓 球、マレットゴルフの種目の試合に 出場する。 【ねらい】 地区内における団結力、交流の促進 を図る。	【準備過程】 例年実施していた選手団の結団 式、解団式は新型コロナウイルス 感染拡大防止の観点から中止とし た。応援を体育委員に依頼した。 【共催団体等】 町会連合会	【評価と反省】 感染症の影響もあり、応援が少なかつ たため、来年度は検討していく必要が ある。 【今後の方針等】 地区内にて選手を確保して積極的に参 加する体制を継続したい。	
第72回中山地区大運動 会	10月16日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 中山小学校グラウンドで開催。子ど もから高齢者までが一堂に会す地区 最大のイベント。 【ねらい】 スポーツを通じて健康増進を図りな がら、地区住民が相互の親睦を深め ることにより地域づくりの基礎とす る。	【準備過程】 公民館体育委員が中心となり、実 行委員会を組織。企画、選手集 め、運営を行う。 【共催団体等】 町会連合会を含め地区の各種団体と 共催。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大のため中 止とした。 【今後の方針等】 コロナ禍で、令和3年度に引き続き開 催は中止としたが、高齢化、選手不足 の課題があるため、開催方法を検討し ていく必要がある。	

令和4年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
なかやま史跡ウォーキング2022	11月26日	1回	趣味教養	成人	40人	【事業内容】 中山地区内に点在する古墳群、牛伏寺などの地域内外の旧所・名跡を巡るウォーキング事業。 【ねらい】 参加者の健康増進、地区外の方に中山地区の魅力を知ってもらうために実施しているもの。	【準備過程】 文化財課埋蔵文化財担当、史跡整備担当と事前の打合せを実施。 【共催団体等】 中山地区地域づくり協議会地域活性化部会と共催。	【評価と反省】 参加者23人全員が地区外からの参加であり、中山地区の魅力を知っていただくいい機会となった。コロナ禍のため、人数を制限して開催したが、来年度は規模を拡大して開催する。 【今後の方針等】 地区外参加者との交流により、今後は地区外の旧所・名跡に中山地区住民が訪れるなど相互の活性化に繋げるため、今後も事業を継続していく。	
マレットゴルフ交流会	12月5日	中止	スポーツ	成人	0人	6地区合同でマレットゴルフ大会を開催し、他地区との交流を深める。	【共催】 寿、寿台、内田、松原、芳川公民館	会場都合により実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	
第41回中山小学校手づくり教室	12月10日	1回	地域文化	青少年	25人	【事業内容】 地域で冬季に行われている縄ない、しめ縄づくりを地域住民が講師となって、中山小全学年の児童に教える。 【ねらい】 伝統文化の伝承と世代間の交流を図る。	【準備過程】 子ども会育成会が中心となり講師の手配、調整、小学校との打ち合わせを行った。 【共催団体等】 中山小学校、中山地区福祉ひろば	【評価と反省】 本年度は土曜参観に合わせて開催した。そのため親子でのコミュニケーションの場もなった。また、子ども会育成会の理事を講師として事前講習会を行い、講師の担い手の確保に努めた。 【今後の方針等】 引き続き人材育成を進めながら、継続させていきたい。	○
父ちゃんの時間ですよ	12月16日 1月24日 2月21日	1回	趣味教養	高齢者	38人	【ねらい】 ふれあい健康教室等の福祉ひろば事業への出席率が低い、男性をターゲットして運動習慣の定着、事業への参加意欲を図るもの。	【共催団体等】 福祉ひろば、社協中山支会と共催。	【評価と反省】 より多くの男性が気軽に集まれる場に、健康増進を図れるよう講座を企画。地区住民同士の交流を図った。 【今後の展開】 継続して事業を行っていく。	

令和4年度 事業報告

中山公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
中山映画会	2月18日	1回	その他	その他	40人	【事業内容】 公民館の大会議室で映画鑑賞会を実施。 【ねらい】 住民が気軽に集まれる場所としての認識を図る。	【準備過程】 公民館図書視聴覚委員が上映するものから周知まですべて企画、運営した。	【評価と反省】 各町内公民館、地区内の事業所等にポスターを設置することで、多くの参加があった。 【今後の方針等】 日頃なかなか来館しないような高齢者が、孫を連れて公民館を訪れたり、世代間交流また家族交流をする良い機会になっている。上映する映画作品により来場者の増減はあるものの、地域住民の集い、居場所づくりを促進するため、今後も継続したい。	
母ちゃん集合	2月20日	1回	趣味教養	高齢者	17人	【ねらい】 公民館事業、福祉ひろば事業への出席率が低い、若い世代をターゲットして事業を企画したもの。	【共催団体等】 福祉ひろば、社協中山支会と共催。	【評価と反省】 若い世代の住民も気軽に集まれる場に、地区住民同士の交流を図れるよう講座を企画。 【今後の展開】 継続して事業を行っていく。	
終活講座	2月20日 3月7日	1回	福祉健康	高齢者	50人	【事業内容】 講師からの説明をいただき、地区内の高齢化が進む中、終活に関する正しい知識を学ぶことを目的に企画したもの。 【ねらい】 高齢者の終活に関する学びの場、悩みの解消を目的とする。	【準備過程】 社会福祉協議会職員と松本市医師会職員と打合せをした。	【評価と反省】 連続講座にしたことにより、終活に関する知識をより深く学ぶことができた。中山地区は市内でも特に高齢化率が高く、事前の周知も奏功し多くの方に聴講していただいた。 【今後の展開】 終活に関して興味を持つ住民が多いため、継続して行っていく。また、地区の実情にあわせて終活に限らず、認知症、介護等の講座も行っていく。	
公民館展示会	2月に1回実施	6回	地域文化	成人	300人	【事業内容】 2ヶ月に1回、公民館内で中山地区、地区外の方、小学生に作品を提供していただき、展示会を実施。 【ねらい】 普段、公民館を利用しない方にも、公民館を身近に感じてもらうことと、地区住民の作品を紹介する場とするため。	【準備過程】 公報等で作品提供者を募集し、提供者と展示方法等を検討し開催。	【評価と反省】 普段、公民館を訪れない方にも見学してもらうことができた。また、作品提供者にとっても、作品を披露する良い機会になった。 【今後の方針等】 引き続き事業を行っていくため、作品提供者を募集していく。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
木工講座	月2回ずつ実施	24回	趣味教養	成人	240人	<p>【事業内容】 昨年に引き続き、木の小物づくりからスタートして木工のスキルを磨き、家庭内の簡単な修繕や趣味のひとつとしてコロナ禍でのおうち時間を充実させることを目的に企画したもの。</p> <p>【ねらい】 コロナ禍で家に引きこもってしまい、無為な時間を過ごす懸念があったことから、趣味として木工に携わり、家庭内の生きがいのひとつにしてもらうことを狙いとした。</p>	<p>【準備過程】 初回～2回目までは全員共通でカッティングボードを製作。その後は力量に応じて、製作するものをアドバイスするなど、館長と二人三脚で事業を実施した。また、今年度は座談会用にベンチ、公民館で使用する鏡の枠などを作成した。</p>	<p>【評価と反省】 当初の狙い通り、コロナ禍でも身の回りで使うものを作ることで地区住民の満足感に繋がった。</p> <p>【今後の方針等】 参加者は木工が趣味のひとつとして定着しつつあるため、館内での常設展示や地区文化祭等で展示でより多くの人に見て興味をもっていただき、参加者増や地区内でサークルとなるような取り組みに繋げる。</p>	
ウクレレ講座	月2回ずつ実施	24回	趣味教養	成人	480人	<p>【事業内容】 気軽にはじめられる趣味のひとつとしてウクレレ講座を実施。</p> <p>【ねらい】 昨年に引き続きコロナ禍で家に引きこもってしまい、無為な時間を過ごす懸念があったことから、趣味として音楽に携わり、家庭内の生きがいのひとつにしてもらうことを狙いとした。</p>	<p>【準備過程】 初心者向け講座であり、楽曲等は公民館で選定。</p>	<p>【評価と反省】 当初の狙い通り、コロナ禍でのおうち時間の過ごし方のひとつとして、興味をもって参加してくれている。</p> <p>【今後の方針等】 地区文化祭やふれあい健康教室などを発表の場とすることで、更に参加者のやりがいが増進するような仕掛けを講じる。</p>	
人権視察研修		中止	人権平和	成人	0人	<p>【事業内容】 人権啓発推進協議会員を対象にした視察研修。今年度は阿智村の満蒙開拓平和記念館の見学として企画した。</p>	<p>【共催団体等】 中山地区人権啓発推進協議会が主催。</p>	<p>【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。</p> <p>【今後の方針等】 施設を視察見学することにより改めて戦争の愚かしさ、人権尊重について多くのことを学べる機会であるため今後も継続していきたい。</p>	
C S事業クラブ活動支援	5月～1月	7回	地域文化	その他	120人	<p>【事業内容】 中山小学校のクラブ活動支援として地域講師に依頼する。</p> <p>【ねらい】 地域と学校、家庭と積極的に連携して、一体となって子どもを育てる。</p>	<p>【準備過程】 中山小よりニーズをくみ取り、公民館長がコーディネーターとして地区住民を講師として招き実施しているもの。</p>	<p>【評価と反省】 本年度は卓球、パソコン、縄文体験、手芸、写真、理科実験の6つのクラブで4～6年生を指導した。</p> <p>【今後の方針等】 これまでのような講師謝礼という財政的支援のみならず、地域とのつながりを深められるような内容を引き続き検討していきたい。</p>	○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ワイワイ子育て	5月～1月	7回	子育て	家庭教育	100人	【事業内容】 パン作り、読み聞かせ等の7回の講座を通じて、親同士、子ども同士が楽しみながらふれあう。 【ねらい】 親、子ども同士の交流、地域とのつながりを図る。	【準備過程】 社協中山支会、福祉ひろばとともに企画した。 【共催団体等】 各回ごとに地区内各種団体におやつ作りを依頼。	【評価と反省】 少子化の進行もあり参加者は毎年減少傾向にあるが、参加者同士、地域との交流を促すことはできている。 ママ友などのネットワークから、地区外からも参加を希望する方がおり、積極的に受け入れた。 【今後の方針等】 地域における子育て支援として今後も継続していきたい。	
公民館専門委員会	通年	26回	公民館委員会・各種会議等	成人	223人	【事業内容】 公民館事業の企画・運営のため開催。 ①運営委員会②館報編集委員会③体育委員会④文化委員会⑤図書視聴覚委員会		【今後の方針等】 引き続き委員会の主体的な活動を促し、地域の活性化を図っていきたい。	
地域づくり協議会活動支援	通年	20回	公民館委員会・各種会議等	成人	250人	【事業内容】 地域づくり協議会の活動支援、連携強化を図る。 ①運営委員会②地域活性化部会③防災環境保全対策部会④福祉対策部会		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進めていきたい。	
町内公民館長会活動支援	通年	5回	公民館委員会・各種会議等	成人	50人	【事業内容】 町内公民館長会の活動支援、連携強化を図る。		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進めていきたい。	
子ども会育成会支援	通年	8回	公民館委員会・各種会議等	成人	46人	【事業内容】 子ども会育成会の活動支援、連携強化を図る。		【今後の方針等】 さらに連携を強め、地域づくりを進めていきたい。	

令和4年度 事業報告の概要

島立公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <p>1 芸術文化祭・福祉ひろばまつり コロナ禍でも公民館最大の行事である島立地区芸術文化祭・福祉ひろばまつりを実施できるよう感染症対策の徹底や開催方法の工夫に取り組んだ。</p> <p>2 中央公民館重点施策・推進施策について 若者の多様なニーズに対応できる魅力ある居場所づくりと環境づくりを進め、交流を通じて他者との関係性の構築や学び直し支援を進めることで、互いを尊重し、社会を生き抜く力を養成する。事業推進にあたり、主に小中学生にスポットを当て、地区内関係団体や関係課と連携し、学びや遊びを通じて子どもの居場所づくりを進める。</p>	<p>1 芸術文化祭・福祉ひろばまつり ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながら、今年度は島立体育館に会場を集約し、ステージ発表と作品展示を実施した。作品を展示した個人・団体にとっては年に一度の展示発表の機会となった。また、地元小中学校ブラスバンド部、吹奏楽部や公民館利用サークルの活動成果の発表の機会を創出するため、3年ぶりに屋内でのステージ発表を実施した。子どもたちやサークル会員が生き生きと発表する姿を保護者をはじめ来場者にも見ていただくことができた。</p> <p>2 中央公民館重点施策・推進施策について ・地区内で発足された子ども食堂が主催者の都合により一旦休止となったが、新たな主催者のもと、こどもひろばと名称を変えて存続に至り、こどもの居場所づくり支援を行った。 ・小中学校の長期休業中に学習スペースを開放し、子どもの居場所づくり支援を行った。 ・毎月開催される町内公民館長会を各町内公民館で実施し、町会独自の特色や課題を共有した。また、コロナ禍であっても住民自治意識を低下させないための取り組みについて議論した。</p>

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	2	10	1	1	0	2	1	1	6	1	1	6	1
延べ参加人数	303	60	1565	30	29	0	42	10	0	10	323	0	360	68

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
救急救命講習会	5月14日 (土)	中止	その他	成人	0人	【内容】 ・町会役員、町内公民館役員、スポーツ協会役員を対象に普通救命講習を行う。 【ねらい】 ・地区のスポーツ大会や公民館事業実施中等における、緊急時人命救助の初動対応力の向上を目的に行うもの。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・いざという時のために定期的に手順を確認することが大切であるため、今後も継続して開催する。 ・各町会や団体で行っている講習会との共同開催も検討し、顔合わせや情報交換の場とすることも検討したい。	
町会対抗卓球、ゲートボール、ソフトバレーボール大会	5月22日 (日)	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・地区内10町会対抗で、卓球、ゲートボール、ソフトバレーボールの大会を行う。 【ねらい】 ・住民が一体となり、体力の向上と相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討した。 ・町内公民館長に協力を依頼した。 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事であり、感染状況を考慮しながら今後も継続して開催する。 ・コロナ対策等運営上の課題は、事前の会議の中で昨年、一昨年の振り返りを行い見直していく。	
トレッキング	6月26日 (日)	中止	福祉健康	成人	0人	【内容】 ・地区住民を対象に奈川（野麦峠）でトレッキングを行う。 【ねらい】 ・自然と親しみながら楽しく野山を散策し、日頃の疲れを癒すことで、住民の健康づくりを促進する。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会）	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・例年、地区外でのトレッキングを計画していたが、日ごろから実施できる地区内ウォーキング等を検討する。	
町会対抗野球・マレットゴルフ大会	7月24日 (日)	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・地区内10町会対抗で、野球、マレットゴルフの大会を行う。 【ねらい】 ・住民が一体となり、体力の向上と相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討した。 ・町内公民館長に協力を依頼した。 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。 ・町会対抗方式により生じる課題（世帯数、人口の差により生じる課題）や運営上の細かな反省点（スポ協の運営体制、選手と審判の兼任により人手不足等）がある。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も継続して開催する。 ・コロナ対策等運営上の課題は、事前の会議の中で昨年、一昨年の振り返りを行い見直していく。	

令和4年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
寺子屋 島立こども未来塾サマースクール支援	7月29日 (金) ～8月5日 (金)	6回	子育て	青少年	60人	【内容】 ・夏休み期間中の学習支援や、6日間の学習プログラムを実施しているボランティア団体を支援する。		【評価と反省】 ・公民館だより(島立地域だより)で開催周知や会場手配を支援した。参加者は夏休みの有意義な時間を過ごすことができた。	
公民館で飾ろう!モミジの七夕	8月1日 (月) ～8月7日 (日)	1回	地域文化	その他	30人	【内容】 ・安曇地区稲核の風習であるモミジの七夕飾りを紹介するとともに、実際に飾りつけを行う。 【ねらい】 ・同じ伝統行事でも地域によって特色があることを紹介しつつ、文化の継承を促す。	【準備過程】 ・モミジの木の提供者を安曇公民館より紹介いただき、実際に提供いただいた。	【評価と反省】 ・来館者に興味を示してもらえ、短冊の記入や七夕飾りの製作など協力頂いた。 ・水差だけでは枯れるのが早く、栄養剤を注入するなどして対応した。モミジの葉を緑に保つことに苦労した。	
地域づくりグループ「～島立っ子森杜探検隊～自然体験学習」活動支援	8月10日 (水) 10月23日 (日) 11月20日 (日)	3回	子育て	青少年	90人	【内容】 ・地区内の小学生及びその保護者を対象に自然体験学習を行う「自然体験学習チーム」の活動を支援した。 【ねらい】 ・児童の自然への畏敬の念を強め、思いやりの心を醸成する。	【準備過程】 ・専門講師を交えて、打合せを行い内容を検討した。 【共催団体等】 ・子ども会育成会	【評価と反省】 ・日常では本格的に体験できない自然体験を通して仲間同士の協調性や主体性を育んだ。 ・運営側の人数確保、完全ボランティアなど、活動の継続性について検討が必要。 ・活動のさらなる周知方法について検討が必要。 【今後の方針】 ・今後も継続して活動予定であるため、引き続き支援を行う。 ・運営側の人数確保については、子ども会育成会、PTA、小中学校、大学、町会との連携などを視野に検討する。	
河西部球技大会	8月28日 (日)	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【内容】 ・松本市長杯争奪球技大会予選を兼ねて、河西部地区対抗で軟式野球・ママさんバレー・卓球の大会を行う。 【ねらい】 ・河西部4地区住民の体力向上、健康の増進、スポーツの振興、住民相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・合同打ち合わせ会議にて、内容を検討した。 【共催団体等】 ・河西部4地区公民館 ・河西部4地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。 【今後の方針】 ・4地区のスポーツを通じた親睦という点に重点を置いて、コロナ対策を検討しながら、毎年の恒例行事として継続して開催する。	

令和4年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
町会対抗ソフトボール大会	9月11日 (日)	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・地区内10町会対抗で、ソフトボールの大会を行う。 【ねらい】 ・住民が一体となり、体力の向上と相互の親睦を図る。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討した。 ・町内公民館長に協力を依頼した。 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 ・町会対抗方式により生じる課題（世帯数、人口の差により生じる課題）や運営上の細かな反省点（体協理事の運営体制、選手と審判の兼任により人手不足等）がある。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も継続して開催する。 ・コロナ対策等運営上の課題は、事前の会議の中で昨年の振り返りを行い見直していく。	
島立スポーツフェスティバル	10月16日 (日)	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・地区住民を対象に町会対抗で運動会形式の各種競技、抽選会、ニュースポーツ体験会などを行う。 【ねらい】 ・スポーツを通して地区住民の親睦、健康増進と共に、地域づくりの推進を図る。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討した。 ・町内公民館長に協力を依頼した。 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会） ・島立地区町内公民館長会（企画委員会）	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・前回実施した反省を活かした見直しを行い、地区の大イベントとして誰もが参加して楽しめる内容にできるよう引き続き検討していく。	
ハロウィン運動会	10月24日 (月)	1回	子育て	青少年	30人	【内容】 ・未就園児の子どもとその親を対象に軽度な運動を取り入れた運動会を実施した。 【ねらい】 ・参加者同士の親睦と交流を図り、子育て世代の情報交換の場とする。	【共催団体等】 ・福祉ひろば ・つどいの広場	【評価と反省】 ・感染症対策を講じながら実施した。参加した親子はハロウィンの仮装をしたり、のびのびと運動を楽しんだ。 【今後の方針】 ・感染状況に注視しながら継続実施できるように検討する。	

令和4年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
島立地区作品展示発表会（島立地区芸術文化祭・島立地区福祉ひろばまつり）	11月12日 (土) 11月13日 (日)	1回	地域事業 (文化)	その他	323人	【内容】 ・地区文化活動者の発表（ステージ発表、展示発表）、公民館活動功労者表彰、各種体験会などを行う。 R3年度参加人数：310人 【ねらい】 ・地区文化活動者や福祉ひろば利用者の発表の場、また住民が一堂に集う場を提供することで、活動者がより生きがいを持って文化活動を行なうこと、その他の参加者が身近な文化・芸能に触れ、新たな文化活動の担い手となること、また住民同士の交流、親睦を深めることを目的に開催する。	【準備過程】 ・地区内関係団体と内容を検討した。 ・また、福祉ひろばまつりと共催のため、福祉ひろばと内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区町内公民館長会（企画委員会） ・島立地区スポーツ協会（スポーツ委員会） ・館報編集委員会 ・女性委員会 ・文化図書委員会 ・福祉ひろば ・地区内小中学校	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示会場を従来の公民館から体育館へ変更し三密を回避できるレイアウトでステージ発表と作品展示を行った。 【今後の方針】 ・毎年の恒例行事として今後も福祉ひろばと協力しながら継続して開催する。 ・感染症対策を講じながらより良い文化祭となるよう内容を検討する。	
福祉と健康を語る集い（地域包括ケアシステム）	12月6日 (火)	1回	福祉健康	成人	60人	【内容】 ・島立地区全体で高血圧の傾向がみられるという結果が出ていることから、専門分野の方から講義をいただき、地域で「福祉と健康」について一緒に学ぶ機会を創出する。地域包括ケアシステムも兼ねての開催。	【共催団体等】 ・島立地区福祉ひろば推進協議会	【評価と反省】 ・高血圧からくる疾病や、日ごろの対策について理解を深めることができた。	
クリスマス会	12月9日 (金)	1回	子育て	青少年	30人	【内容】 ・クリスマスの時期に合わせて、主に未就園児の子どもとその親を対象にコンサートを中心としたイベントを開催した。R3年度参加人数：30人 【ねらい】 ・参加した親子にクリスマスにちなんだコンサートなどを楽しんでもらう。	【共催団体等】 ・福祉ひろば ・つどいの広場	【評価と反省】 ・狙い通り事業実施できた。 【今後の方針】 ・感染状況をみながら継続開催する。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
島内・島立ふれ愛コンサート	2月23日 (木)	1回	人権平和	成人	303人	【内容】 ・島内、島立の2地区合同で人権をテーマとしたコンサートを行う。 【ねらい】 ・人権問題解決に向けた取組みが重要性を増す中、誰もが幸せな日々を過ごせるよう福祉のまちづくりに精力的な活動を展開している。すべての人の人権が尊重され、誰もが明るく幸せに暮らせる地域づくりを進めることを目的に開催する。	【準備過程】 ・両地区の人権啓発推進協議会で実行委員会を組織し、内容を検討した。 【共催団体等】 ・島内・島立ふれ愛コンサート実行委員会	【評価と反省】 ・コロナ対策を講じながら規模縮小のうえ実施。小中学生の活動発表の場を創出し、音楽を通じて児童生徒と地域住民が繋がる場となった。 【今後の方針】 ・子どもの成長を地域全体で見守り、誰もが明るく幸せに暮らせる地域を目指して継続実施する。	
島立公民館利用者懇談会	2月28日 (火)	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	30人	【内容】 ・島立公民館利用団体の代表者を対象に懇談会を行う。 【ねらい】 ・利用者同士の意見交換（顔合わせ）や更なる利用状況の改善を図る。		【評価と反省】 ・新型コロナ感染拡大防止の観点から書面会議とした。 【今後の方針】 ・継続開催する。一昨年度から始めた懇談会が形骸化しないよう、こちらからの情報提供（地区のことなど）や利用者同士の交流について工夫しながら開催していきたい。	
バドミントン大会	3月5日 (日)	1回	地域事業 (体育)	成人	10人	【内容】 ・地区内住民対象のバドミントン大会を行う。 【ねらい】 ・町会、世代を越えた親睦と日頃の運動不足解消を図る。初心者や未経験者が気軽に参加し、楽しんでもらえる大会とする。	【準備過程】 ・スポーツ協会三役会（スポーツ委員会）、理事会で内容を検討した。 【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・新型コロナ対策を講じながら実施した。 【今後の方針】 ・気軽にスポーツを楽しめる機会として継続して開催する。	
大きくなったね会	3月10日 (金) 3月13日 (月)	1回	子育て	青少年	30人	【内容】 ・来年度から保育園に入園する子どもを含めたつどいの広場利用者を対象にコンサートを中心としたイベントを開催する。 【ねらい】 ・参加した親子にコンサートなどを楽しんでもらうとともに、皆で今年度の子どもたちの成長を祝う。	【共催団体等】 ・福祉ひろば ・つどいの広場	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症対策として2日間に分散して開催した。 【今後の方針】 ・継続して開催する。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
親子フィットネス	5月～3月	11回	子育て	その他	281人	【内容】 ・主に地区住民を対象に親子で仲間と一緒に運動するフィットネスを行う。 【ねらい】 ・親子で仲間と一緒に運動する機会を創出し、地区住民の健康増進と交流を図る。	【共催団体等】 ・つどいの広場	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症対策として回数と定員を縮小し、開催した。 【今後の方針】 ・毎年の恒例事業として感染症対策を講じながら開催を検討する。 ・子どもにケガが無いように会場の整備を注意深く行う。 ・地区内の未就園児親子の居場所やつながりづくりの事業を更に検討する。	
しまだちフードドライブ	5月21日(土) 8月17日(水) 10月8日(土) 3月22日(水)	4回	環境	その他	29人	【内容】 ・市内の子ども食堂を応援するためのフードドライブを実施。 ・提供された食料品等はNPO法人を通じ、島立地区をはじめ市内の子ども食堂主催者に寄付する。 【ねらい】 ・子ども食堂並びに食品ロスの啓発	【準備過程】 ・NPO法人と共催を検討した。 ・環境地域エネルギー課にフードドライブの実施手法等の詳細を聞き取った。 【共催団体】 ・ゆいま～る子どもひろば ・NPO法人ホットライン信州	【評価と反省】 ・多くの住民から食料品等の寄付をいただいた。延べ179点、184.9kg 【今後の方針】 ・不定期開催となるが、次年度も継続実施したい。	
長期休み学習スペース開放	3月17日(金) ～31日(金)	10回	子育て	家庭教育	56人	【内容】 ・小中学校の長期休業に合わせ、学習スペースを開放する。 【ねらい】 ・小中学生の居場所づくりとする。		【評価と反省】 ・利用者、保護者からも好評であったため、長期休業中の小中学生の居場所支援として今後も継続実施したい。	
ゆいま～る子ども食堂支援(松本市子どもの居場所づくり推進事業交付金の交付団体支援)	4月～9月	7回	子育て	家庭教育	560人	【内容】 ・松本市子どもの居場所づくり推進事業交付金の交付団体支援 【ねらい】 ・同交付団体である「ゆいま～る子ども食堂」の活動を支援し、地域に根差した子どもの居場所づくりを目指す。	【準備過程】 ・地区内協力者の募集 ・開催周知の補助 ・会場手配 【共催団体等】 ・NPO法人ホットライン信州 ・松本大学 ・地区内ボランティア有志	【評価と反省】 ・コロナ禍でありながらも、月に1回の開催を継続できた。感染拡大期にはお弁当配付のみを実施した。開催するごとに地区内にも認知され、利用者も増えてきた。 【今後の方針】 ・地区内ボランティア有志の更なる拡充と組織化に重点を置く。	
ゆいま～る子どもひろば支援	10月～3月	6回	子育て	家庭教育	360人	これまで「ゆいま～る子ども食堂」を運営していた主催者の都合により活動休止の予定であったが、ボランティア有志が中心となり運営委員会を組織して再始動した。地域に根差した子どもの居場所づくりを目指す。	【準備過程】 ・地区内協力者の募集 ・開催周知の支援 ・会場手配 【共催団体等】 ・NPO法人ホットライン信州 ・松本大学 ・おやこクラブてるてる ・地区内ボランティア有志	【評価と反省】 ・毎月打ち合わせを行い、より安全で安心できる居場所づくりを目指している。 【今後の方針】 ・地区内ボランティア有志の更なる拡充に重点を置く。	

令和4年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
卓球をしよう	毎月第2、第4木曜日	4回	スポーツ	成人	10人	【内容】 ・日頃の運動不足解消や、地区内の卓球人口を増やすため、気軽に卓球ができる機会を創出する。	【共催団体等】 ・島立地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・新型コロナ感染拡大に伴い、中止となった月が多かった。	
スポーツをしよう（青少年の居場所事業）	毎月第4金曜日	4回	スポーツ	成人	32人	【内容】 ・青少年の居場所事業として、こども育成課と共催し、だれでも気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを目指す。	【共催団体等】 ・こども育成課 ・島立地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・新型コロナ感染拡大に伴い、中止となった月が多かったが、実施した月には若者を中心にバスケットボールやバドミントン等、各々にスポーツを楽しむ人が参加した。 ・青少年の居場所事業として次年度も継続実施する。	
コミュニティスクール事業	通年	3回	子育て	青少年	68人	【内容】 ・各学校のCS運営委員会に参画、予算執行管理、クラブ活動等講師紹介などを行う。 【ねらい】 ・地域全体で子どもを育てる。	・高綱中学校 ・松島中学校 ・島立小学校 ・各学校ボランティア	【評価と反省】 ・中学校キャリア学習の地区内講師を2人派遣した。生徒と語る会、CS運営委員との語る会に参加し交流、意見交換を行った。 【今後の方針】 ・地域と学校の双方向の交流、子どもの主体的なかかわりを意識して取り組んでいく。 ・現在の活動の継続と見直しを行う。	○
企画委員会（町内公民館長会）	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	106人	【内容】 ・地区内の意見、要望を聴取しながら、公民館事業を企画、運営した。 ・その他、公民館事業推進に必要な研究、提言を行った。 ・各種研修を行った。 【ねらい】 ・地区の公民館活動の一層の充実を図る。コロナ禍であっても住民自治意識を低下させないための取り組みについて議論する。		【評価と反省】 ・委員が主体的に活動を行った。 ・館長同士の有意義な情報交換の機会となった。 ・例年、企画委員会として公民館講座などの事業の企画などにあまり関わっていない面があったが、少しでも企画段階から関わることができるよう検討した。 【今後の方針】 ・引き続き地区の公民館活動のより一層の充実を図る。 ・引き続き、各町内公民館で会議を開催する。 ・町内公民館長（副館長も含む）の中での研修の充実を図る。	

令和4年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	101人	【内容・ねらい】 ・公民館報の編集ならびに編集に必要な取材等を行う。		【評価と反省】 ・委員が主体的に活動を行った。 【今後の方針】 ・内容がマンネリ化しないように努める。 ・委員のモチベーションにもつなげるため、全国公民館報コンクールへ応募することも検討する。	
スポーツ委員会（スポーツ協会三役会）	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	73人	【内容】 ・各種スポーツ事業を企画及び運営した。 ・芸術文化祭の運営に携わった。 【ねらい】 ・地区のスポーツ・健康の向上を図る。		【評価と反省】 ・委員が主体的に活動を行った。 【今後の方針】 ・引き続き住民が楽しめるスポーツ事業を検討する。 ・スポーツ協会三役と各町会スポーツ協会理事がより一体的に事業を運営できるよう検討する。	
文化図書委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	37人	【内容】 ・芸術文化祭の企画及び運営に携わった。 ・島立公民館図書コーナーの図書の入替え作業を行った。 【ねらい】 ・地域文化の向上を図り、各種文化活動を行う。また、地域住民の知識の向上を図り、書籍ほか各視聴覚手法を活用した事業を行う。		【評価と反省】 ・主な活動となっている図書の入れ替え作業と芸術文化祭の企画運営について予定通り行うことができた。 ・一方で参加できる委員が例年固定化している。また、委員会独自の新たな活動を模索するなかで地区内のウォーキングマップ作成に取り掛かることができた。 【今後の方針】 ・活動の継続、見直しと合わせて委員会独自の活動について引き続き模索する。 ・委員の選出方法についても検討する。	
女性委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	13人	【内容】 ・芸術文化祭の企画及び運営に携わる。 【ねらい】 ・女性の地位向上に努めその活動を通じて地区住民の啓発に努める。		【評価と反省】 ・新型コロナウイルスの影響もあったが、昨年度に比べて活動を活性化することができた。 【今後の方針】 ・委員会のねらいを現状に合わせて見直す。 ・委員会での学びをより地域に還元できるように検討する。	

令和4年度 事業報告

島立公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
島立公民館要援護者優先避難所運営委員会	適宜	1回	防災	その他	10人	【内容】 ・島立公民館が要援護者優先避難所を開設する際の初動を早めるため、同運営委員会を組織し、避難所開設の流れや運営上の課題を話し合う。		【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大により、会議を重ねることができなかったが、冬季の避難所設営に当たり防寒対策が必要となることから、町会連合会と相談する中でジェットヒーター2台を購入するに至った。	
島立地域だよりの発行	通年	12回	地域事業 (その他)	成人		【内容】 ・公民館だより、福祉ひろばだより、体協だよりを統合した島立地域だよりを毎月発行し、地区内全戸配布した。 【ねらい】 ・地域住民が公民館、福祉ひろば他、地域の催しや情報を得る。	【準備過程】 ・福祉ひろば、スポーツ協会と内容について相談の上、決定した。	【評価と反省】 ・見やすい紙面づくりを心がけ、ホームページでも引き続き公開している。 【今後の方針】 ・紙面の見直しなどにより見やすい紙面づくりを心がけ、地区内の組織団体等と連携しながら多種多様な情報を掲載し、さらなる利便性の向上を図る。	

令和4年度 事業報告の概要

新村公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分配慮した形で、公民館事業への参加者の固定化を改善し、より多くの住民が参加できるような魅力ある事業の企画・運営を行う。 「地域の子どもは地域で育てる」を目標に、地区住民や関係機関（小学校、中学校、大学、子ども会育成会）と連携・協働し、松本版コミュニティースクール事業の推進を中心に、子ども達の地域に対する愛着形成を図る。 子どもからお年寄りまで幅広い年代の住民対象に、地域の歴史や文化への興味・関心を高めるため、「新村文化財保存会」や「あたらしの郷協議会」と連携を図り、講座等の事業を展開していく。 <p>【重点的に取り組んだ事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「あたらしの郷協議会」との連携で、通年講座として「いきいき俳句教室」と「アクリル画教室」を開催した。「いきいき俳句教室」の講師にはMGプレス俳句選者である降旗牛郎先生にお願いしたが、毎回市内外から大勢の参加がある人気教室となった。「いきいき俳句教室」は令和4年度で終了となったが、参加者の有志が集まり、令和5年度は「ものぐさ俳句会」というサークルで活動することになった。「アクリル画教室」は地区在住の童画家である松森清昭氏に依頼し、初心者向けの内容で開催した。完成した作品は公民館で展示したほか、梓川のアカデミア館で展示会を開催することになった。 幅広い年代や地域の方々に新村地区の歴史等を伝えるため、視聴覚委員会を中心に動画を制作した。内容としては、令和3年度に作成された地域学習テキスト「あたらしの郷」をもとに、地区の歴史や施設等を綺麗な映像とともに紹介している。市公式YouTubeにもアップしたことで、地区の域を超えた大きな宣伝効果を得ることができた。 										<p>令和4年度は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で公民館講座や地域行事等は例年通りに開催できない状況は続いたが、感染症対策を徹底したうえで開催できる行事や講座などを開催した。地域行事については、関係する団体で協議を重ね、開催の可否を慎重に判断した。重点的に取り組んだ事項については左記記載のとおりであるが、地域発展に繋がりそうな内容の講座に関しては「あたらしの郷協議会」との共催という形を積極的に取り入れ、公民館単独ではなく地区全体で取り組めるよう工夫した。令和5年度は新型コロナウイルス感染症に関する対応等が大きく変わり、多くの事業やイベント等がコロナ禍前のように戻る見通しとなっている。関係する諸団体と連携を図り、事業等を展開していきたい。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	5	2	6	1	16	3	2	2	7	1	8	9	2
延べ 参加人数	300	10	0	223	20	1027	6	35	15	135	0	270	492	24

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ものぐさ大学 おでかけウォーキング	6月22日 9月29日 11月16日 1月16日	4回	趣味教養	成人	33人	【事業内容】 6月22日 笹賀・神林地区 9月29日 白板地区 11月16日 第二・東部地区 1月16日 安原地区 【ねらい】 ウォーキングを通じて、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 コロナ禍ではあったが、多くの参加者があり、和気あいあいとした雰囲気のおかげ、ウォーキングを楽しんだ。 【今後の方針】 今年度で35地区全てを巡ったことで、おでかけウォーキング事業は終了となった。次年度以降もウォーキング事業を継続していきたい。	
ものぐさ大学 美術館巡り	4月21日 5月12日 9月22日 2月21日	4回	趣味教養	成人	80人	【事業内容】 県内の美術館を見学する。 4月21日 軽井沢絵本の森美術館 5月12日 森將軍塚古墳館 9月22日 黒姫童話館 2月21日 中山晋平記念館 【ねらい】 美術館巡りを通じて、芸術への関心を高め、教養を養う。また、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 参加者の理解を深めるため、見学の際は学芸員の説明を受けるなど、見学方法の工夫を図った。 【今後の方針】 次年度も企画し、住民の教養等の向上に寄与したい。	
農村広場等整備	5月15日 10月2日	2回	地域事業 (その他)	成人	120人	【事業内容】 町会連合会、町内公民館長会、新村体育協会が分担して、地区内にある農村広場等の草刈りやゴミ拾いを年2回実施する。 《場所》 ・忠魂碑周辺、ものぐさ自然公園 ・秋葉原古墳周辺 ・新村農村広場周辺	【共催団体】 ・町会連合会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会	【評価と反省】 各団体で担当場所の草刈りやゴミ拾いなどの清掃を実施した。 【今後の方針】 次年度も引き続き、農村広場等の整備を実施していきたい。	
町会対抗球技大会 (ソフトボール、ソフトバレーボール)	5月22日	中止	地域事業 (体育)	その他	0人	【事業内容】 町会対抗で球技大会を実施する。 《種目》 ソフトボール・ソフトバレーボール 【ねらい】 球技大会を通じて、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会 ・町会連合会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
芝沢小学校3年生 「地域探検」	6月17日	1回	地域文化	青少年	70人	【事業内容】 芝沢小学校3年生が地域を巡り、歴史や文化、地域等について学ぶ。 【ねらい】 地域探検を通じて、地域への愛着形成を図る。	【共催団体】 ・芝沢小学校	【評価と反省】 毎年恒例の行事となっており、3年生2クラスが新村公民館を訪れた。公民館長から公民館・出張所の職員が普段どのような仕事をしているか、それがどのように住民の生活に役立っているのか説明がされた。また、職員による「ものぐさ太郎」の紙芝居が披露された。 【今後の方針】 次年度も学校から要望があれば、対応するようにしたい。	
公民館講座 写経会	6月14日	1回	趣味教養	成人	15人	【事業内容】 地区内にある専称寺で写経会を開催。 【ねらい】 写経会を通じて、歴史や文化に対する関心を高め、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 今回で4回目の開催となった。「一枚起請文」を1字ずつ丁寧に経文を書き写した。写経の目的について詳しい説明を受け、写経に対する理解がより深まった。 【今後の方針】 公民館講座として定着化を図りたい。	
ものぐさ大学 大人の社会見学	6月30日	1回	趣味教養	成人	22人	【事業内容】 県内の工場や企業を見学する。 6月30日 かんてんばばガーデン 【ねらい】 見学を通じて、産業への関心を高め、教養を養う。また、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 企業や製品の概要や栄養に関する講義を受け、その後工場の見学を行った。その他、敷地内にある美術館等も見学し、社員から説明を受けた。 【今後の方針】 次年度も企画し、住民の教養等の向上に寄与したい。	
新村地区オープン大会 (ワンハンドふらばー るバレー)	7月3日	1回	地域事業 (体育)	その他	25人	【事業内容】 オープンで参加者を募り、スポーツ大会を開催する。 ≪種目≫ワンバウンドふらばーるバレー ≪会場≫芝沢体育館 【ねらい】 大会を通して、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会 ・町会連合会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 参加チーム数に制限を設けるなど、新型コロナウイルス感染症感染対策を行ったうえで開催した。熱中症も心配されたが、当日は暑さも落ち着き、熱戦が繰り広げられた。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症感染対策を講じたうえで、次年度も開催したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
運動会実行委員会	7月14日 9月8日 11月10日	中止	公民館委員会・ 各種会議等	成人	0人	【事業内容】 新村地区市民運動会の企画・運営等について協議を行う。 【ねらい】 運動会を通じて地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・町会連合会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会 など	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 運動会検討会議での協議の結果、現在の運動会は今年度で廃止が決定となる。次年度は防災フェスティバルのような、多くの住民が参加できるような形式に移行を検討している。	
講演会 梓川かわものがたり	7月16日	1回	地域文化	成人	30人	【事業内容】 梓川アカデミア館で開催された「梓川かわものがたり」講演会を新村地区で開催するもの。 ≪講師≫ 梓川かわものがたり実行委員会 ・関 通喜 さん ・赤澤 久喜 さん 【ねらい】 講演会を通じて、歴史や文化財等への関心を高める。	【共催団体】 ・新村文化財保存会 ・あたらしの郷協議会 学びの友部会	【評価と反省】 梓川アカデミア館で開催された「梓川かわものがたり」講演会が好評であったため、今回新村地区でも同様の講演会を開催する運びとなった。 【今後の方針】 次年度も要望あれば開催したい。	
ものぐさ大学理事会	7月19日 10月11日 3月7日	3回	趣味教養	成人	30人	【事業内容】 公民館事業を企画・運営する独自の組織として、公民館委員の活動とは別に活動を続けている。各事業の担当に分かれて、企画・運営を担った。 【ねらい】 地区住民の知識や教養の向上、住民同士の親睦を図る。		【評価と反省】 公民館と福祉ひろばと協働する住民有志の組織であり、人材の確保が課題である。 【今後の方針】 「楽しく学ぶ」をモットーに活動しているが、公民館としては「学ぶ」の部分を大事にしていきたい。	
ものぐさ大学 自然観察会	7月21日	1回	趣味教養	成人	15人	【事業内容】 7月21日 上高地 【ねらい】 自然観察会を通じて、自然環境に関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 山岳画家の千葉潔先生にガイドをお願いし、上高地の概要や動植物について、細かい説明を受けることができたことで、上高地への理解がより深まった。 【今後の方針】 次年度もガイドを地区内の住民に依頼し、自然・環境への理解がより深まるよう内容を工夫していきたい。	

令和4年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
SDGs講座	7月26日	1回	環境	青少年	20人	【事業内容】 夏休み中の小学生の子ども達を対象に、SDGsに関する講座を開催した。 《講師》 ・SDGs認定講師 丸山 亜希 氏 ・食育指導者 古幡 寛子 氏 【ねらい】 講座を通じて、小学生の子ども達のSDGsへの理解を深める。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 学びの友部会	【評価と反省】 昨年に引き続きSDGsに関する講座を開催。今年はSDGs学習のほか、蜜ろうラップ作りを体験した。 【今後の方針】 感染症対策を徹底し、次年度も開催したい。	
公民館寺子屋	7月28日 7月29日	2回	地域文化	青少年	24人	【事業内容】 夏休み中の小学生を対象に、学習支援ボランティアが宿題等の学習活動を支援。支援以外に、有志団体等により体験活動を実施する。 7月28日 自由学習、ダンス体験 7月29日 自由学習、スライム作り 【ねらい】 「地域の子どもは地域で育てる」を実践するため、公民館を会場として子ども達が地域の方々と交流する場を創出する。交流を通して、お互いが学び合い、地域に対する愛着を深める。	【共催団体】 ・福祉ひろば 【協力団体】 ・あたらしの郷協議会 学びの友部会 ・子ども会育成会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者数や学習支援ボランティアを調整して開催した。例年は昼食提供やジャグでお茶を提供していたが、今年度も昼食提供なし、水筒持参とした。1日目は県内で活躍するプロダンサーちびゆりさんをお招きし、ダンス体験を行った。2日目は、松本大学教育学部学生によるスライム作りを行った。 【今後の方針】 今年度も松本大学教育学部へ学生の派遣を依頼し、教員1名学生3名が学習指導および体験活動に参加した。参加した小学生に大変好評であったため、次年度も早期段階から松本大学と連携を図り、企画を練っていききたい。	○
親子料理教室	8月	中止	福祉健康	その他	0人	【事業内容】 夏休み中の子ども達とその親を対象に、食育事業の一環として料理教室を開催する。 【ねらい】 料理教室を通して、親子間の交流と食に対する理解を深める。	【共催団体】 ・新村地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
新村地区人権啓発視察研修	8月25日	中止	人権平和	成人	0人	【事業内容】 人権啓発推進事業の一環として、県内視察研修を実施する。 <視察先> ・上田無言館（上田市） ・松代象山地下壕（長野市） 【ねらい】 視察研修を通じて、地区住民への人権啓発を行う。	【共催団体】 ・新村地区人権啓発推進協議会 ・ものぐさ大学理事会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で予定していた視察研修は中止となった。 【今後の方針】 感染症対策を講じ次年度は視察研修を開催したい。	

令和4年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
講演会 「一汁三菜のすすめ」	8月27日	1回	趣味教養	成人	30人	【事業内容】 横山タカ子氏の講演会を開催するもの。 《講師》 ・料理研究家 横山 タカ子 氏 【ねらい】 講演会を通じて食への関心を高める。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 地域振興部会 ・松本大学地域づくり考房「ゆめ」	【評価と反省】 料理研究家横山タカ子氏をお招きし、「一汁三菜のすすめ」と題して、松本大学を会場に講演会を開催した。 【今後の方針】 次年度も要望があれば開催したい。	
河西部球技大会	8月28日	中止	地域事業 (体育)	その他	0人	【事業内容】 島内、島立、和田、新村の河西部4地区対抗で競技を実施する。 《種目》 軟式野球、ママさんバレーボール、卓球(硬式・ラージボール) 【ねらい】 河西部4地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・河西部4地区体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
防災訓練	9月	中止	防災	青少年	0人	【事業内容】 高綱中学校の生徒が放水訓練やAED訓練を行う。 【ねらい】 訓練を通じて、中学生の防災への理解を深め、災害時に活躍できる人材を育成する。	【共催団体】 ・高綱中学校 ・消防団(第11分団) ・松本広域消防署渚消防署	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
文化祭実行委員会	9月13日 10月18日 11月15日	中止	公民館委員会・ 各種会議等	その他	0人	【事業内容】 新村文化祭・福祉ひろば祭りの企画・運営等について協議を行う。 【ねらい】 文化祭を通じて、文化・芸術等への関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・町会連合会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会 ・新村地区各種団体	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。	
公民館教養講座 「知っておきたい法律のはなし」	9月17日	1回	趣味教養	成人	30人	【事業内容】 日常生活で役立つ法律の基本的な知識を学ぶ講座を開催するもの。 《講師》 ・小川法律事務所 小川 貴之 弁護士 【ねらい】 講座を通じて法律への関心を高める。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 学びの友部会	【評価と反省】 今年度新村駅前に開業した小川法律事務所の小川貴之弁護士に講師を依頼し、日常生活で役立つ基本的な知識について分かりやすく解説していただいた。 【今後の方針】 次年度も住民の教養向上を図る講座を開催したい。	

令和4年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
女性料理教室	10月	中止	福祉健康	女性	0人	【事業内容】 地区住民の女性を対象に、食育事業の一環として料理教室を開催する。 【ねらい】 女性の料理技術を高めるとともに、郷土の食材を生かしたメニューを学ぶ。	【共催団体】 ・新村地区食生活推進協議会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を講じ、次年度は開催したい。	
松本市市民体育大会	10月9日	1回	スポーツ	成人	6人	【事業内容】 市内35地区が、卓球やソフトバレー等の種目で競う。	【共催団体】 ・新村体育協会	【評価と反省】 今年度は排球部のみ出場することになった。結果は39歳以下で全体3位という好成績を残した。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度も出場したい。	
新村地区市民運動会	10月16日	中止	スポーツ	その他	0人	【事業内容】 新村地区全住民を対象に、市民運動会を開催する。 【ねらい】 市民運動会を通じて、地区住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村地区市民運動会実行委員会 (町会連合会、町内公民館長会、新村体育協会など) 【準備過程】 ・町会連合会長、町内公民館長会長、体協会長、公民館で協議をして中止の判断に至った。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 運動会検討会議での協議の結果、現在の運動会は今年度で廃止が決定となる。次年度は防災フェスティバルのような、多くの住民が参加できるような形式に移行を検討している。	
公民館教養講座 「いざ!というときに 慌てない相続の話」	10月17日	1回	趣味教養	成人	30人	【事業内容】 日常生活で役立つ相続の基本的な知識を学ぶ講座を開催するもの。 《講師》 ・JA松本ハイランド ライフサポートプラザ 花村 裕 副センター長 【ねらい】 講座を通じて、相続の理解を高める。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 学びの友部会	【評価と反省】 相続に関する講座を開催、FP資格を持つ花村氏から分かりやすい説明を受けた。 【今後の方針】 次年度も住民の教養向上を図る講座を開催したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
新の里ウォークラリー2022	10月22日	1回	地域文化	その他	40人	【事業内容】 新村地区の子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に、地区内でウォークラリーを開催。コース内に地区文化財に関するチェックポイントを設け、問題を出題。問題の正解数に応じて、参加記念品を贈呈。 【ねらい】 ウォークラリーを通じて、地区の歴史・文化に触れ、地区への愛着を深めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・ものぐさ大学理事会 ・子ども会育成会 ・福祉ひろば 【準備過程】 10月21日 前日準備	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年実施していた昼食提供や表彰式は今年度も開催せず、参加記念品を贈呈し午前中で終了するように内容を工夫した。松本大学の学生が大勢参加してくれ、地域住民と交流や親睦を図った。 【今後の方針】 長年継続している行事であるため、内容等を工夫しながら、事業を継続していきたい。	
下新歴史探訪	10月29日	1回	地域文化	成人	24人	【事業内容】 地区内を大きく5つのエリア（上新・下新・北新・南新・東新）で分け、エリアごと文化財等について説明を受けながら歩いて巡る。 【ねらい】 歴史探訪を通じて、地区住民の文化財等への関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村文化財保存会 ・あたらしの郷協議会 学びの友部会	【評価と反省】 今年度は下新北町会エリアを巡った。まず下新北公民館で座学形式の説明があり、その後は実際に町会内を歩き、文化財等の説明を受けた。町会長や町内公民館長の協力もあり、大勢の参加者に参加いただくことができた。 【今後の方針】 次年度も該当地区の町会長や町内公民館長にも協力をお願いし、大勢の参加があるように内容を工夫していきたい。	
市長杯争奪球技大会	10月30日	出場辞退	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 松本市スポーツ協会主催行事に地区代表として参加する。 【ねらい】 大会を通じて地区住民の健康の増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地区として大会への出場を辞退した。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は出場したい。	
男性の料理教室	11月	中止	福祉健康	成人	0人	【事業内容】 地区内の男性を対象に、食育事業の一環として料理教室を開催する。 【ねらい】 男性の料理技術を高めるとともに、郷土の食材を生かしたメニューを学ぶ。	【共催団体】 ・新村地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
新村文化祭・福祉ひろば祭り	11月5日 11月6日	中止	地域事業 (文化)	その他	0人	【事業内容】 公民館や福祉ひろば利用団体等の活動成果の発表の場として2日間開催する。 【ねらい】 文化祭を通じて、文化活動への関心を高め、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・文化祭実行委員会 【準備過程】 開催可否について、過去に出演した団体等へアンケート調査（LoGoフォーム）を実施。アンケート調査結果を踏まえ、可否について主に運営を担っていただく町内公民館長会に諮り、最終的に中止とする決定に至った。	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 作品展示希望者には公民館展示スペースを利用してもらい、発表機会の創出を図った。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
人権啓発推進協議会 特殊詐欺防止啓発高座	11月6日	中止	その他	高齢者	0人	【事業内容】 消費者被害被害防止のため、落語を開催し啓発を図るもの。 《出演》 ・柳家 さん光 さん（日本落語協会） 【ねらい】 落語を通じて消費者被害防止の啓発を図るとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 地域振興部会 ・松本市消費生活センター	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
公民館講座 太極拳講座	11月24日	1回	福祉健康	成人	10人	【事業内容】 太極拳を活用した健康法について学ぶ講座を開催するもの。 《講師》 松本大学 平田 治美 教授 【ねらい】 講座を通じて、太極拳への理解を深めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 いきいき部会	【評価と反省】 福祉ひろばを会場に、太極拳を活用した健康法と、栄養学等の内容を学んだ。 【今後の方針】 次年度も要望があれば開催したい。	
第8回ニュースポフェスIN新村	11月27日	中止	地域事業 (体育)	その他	0人	【事業内容】 ニュースポーツの体験を行う。 《種目》 ポッチャ、モルック、クップ、スカットボール、囲碁ボール、ラダーゲッター 【ねらい】 子どもから高齢者まで幅広い年代が気軽にニュースポーツを楽しみ、健康増進や地区住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会 ・子ども会育成会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、今年度は開催中止となった。 【今後の方針】 感染症対策を徹底し、次年度は開催したい。	

令和4年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館講座 押し絵教室	12月13日 12月20日	2回	趣味教養	成人	14人	【事業内容】 講師を招き、干支の押し絵を作成する。 【ねらい】 教養の向上、伝統文化の継承を図る。		【評価と反省】 毎年恒例の公民館講座となっており、参加者が固定化している。 【今後の方針】 参加者増加を目指し、講師と相談しながら、内容の工夫を図っていきたい。	
公民館講座 お正月生け花教室	12月27日	1回	趣味教養	成人	20人	【事業内容】 講師を招き、生け花教室を開催する。 【ねらい】 教養の向上、伝統文化の継承を図る。		【評価と反省】 毎年恒例の公民館講座となっており、参加者が固定化している。 【今後の方針】 参加者増加を目指し、講師と相談しながら、内容の工夫を図っていきたい。	
第48回元旦マラソン	1月1日	1回	地域事業 (体育)	その他	70人	【事業内容】 地区内の子どもから大人まで幅広い世代を対象に、新村農村広場の周回コースを走る。 【ねらい】 マラソンを通じて、住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会	【評価と反省】 今年度は天候にも恵まれ、子どもからお年寄りまで幅広い年代の参加があった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度も開催したい。	
新村地区新年祝賀会	1月8日	中止	地域事業 (その他)	その他	0人	【事業内容】 地区内の関係団体関係者が新年を祝して一同に集まるもの。 【ねらい】 祝賀会を通じて、地区の繁栄や安寧等を願う。	【共催団体】 ・町会連合会 ・町内公民館長会 ・新村体育協会 など	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
公民館講座 包丁研ぎ教室	1月20日	1回	趣味教養	成人	8人	【事業内容】 包丁研ぎ教室を開催するもの。 《講師》 ・白田 廣 さん 【ねらい】 講座を通じて、包丁研ぎへの理解を高める。		【評価と反省】 これまで別地区で講師として活動されていた白田氏に声を掛け、今年度初めて教室を開催した。募集人数を制限し、研ぐ対象を包丁に限定した。 【今後の方針】 次年度も要望があれば講座を開催したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
避難所運営に係る責任者会議	1月27日	1回	防災	成人	35人	【事業内容】 避難所運営のあり方に関して、関係者で協議を行うもの。 《講師》 ・松本大学地域防災科学研究所 所長 木村 晴壽 さん 副所長 尻無浜 博幸 さん 【ねらい】 会議を通じて適切な避難所運営を実施できるよう関係者で情報共有を図る。	【共催団体】 ・新村地区自主防災連合会 ・あたらしの郷協議会 安全安心部会	【評価と反省】 指定避難所（松本大学）の運営について、関係する住民や職員が集まり協議を行った。講師の松本大学地域防災科学研究所の提案を受け、次年度から避難所運営組織のコンパクト化や継続的な役員体制の構築等を行っていくことが決定した。 【今後の方針】 今後も定期的に同様の会議を開催し、避難所運営に関して、関係者で協議を図りたい。	
第35回冬季室内競技大会（綱引き、卓球）	2月5日	中止	地域事業（体育）	その他	0人	【事業内容】 町会対抗で下記の種目を実施する。 《種目》 午前：綱引き 午後：卓球 【ねらい】 室内競技を通じて、住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・新村体育協会 ・町会連合会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が中止となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度は開催したい。	
ニューススポーツ体験会	2月5日	1回	地域事業（体育）	その他	40人	【事業内容】 冬季室内競技大会の代替行事として、ニューススポーツ体験会を開催するもの。 《種目》 ポッチャ、モルック、クッブ 【ねらい】 ニューススポーツ体験会を通じて、住民の健康増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。		【評価と反省】 冬季室内競技大会の代替行事として開催。 【今後の方針】 新型コロナウイルス感染症の影響で通常行事が中止となる場合は、今回のようなニューススポーツ体験会に変更して開催したい。	
講演会 「波田真光寺遺跡古墳をめぐって～荒田の郷の用水は梓川から～」	2月25日	1回	地域文化	成人	35人	【事業内容】 地区外から講師を招き、歴史や文化財等に関する講演会を開催するもの。 《講師》 ・波田歴史愛好会会長 百瀬 光信 氏 【ねらい】 講演会を通じて、歴史や文化財等への関心を高める。	【共催団体】 ・新村文化財保存会 ・あたらしの郷協議会 学びの友部会	【評価と反省】 令和3年と4年に古墳が一基ずつ発見された真光寺遺跡発掘調査を踏まえ、新村の郷に関する歴史について 【今後の方針】 次年度も要望があれば、開催するようになりたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館講座 ハンギングバスケット講座	3月14日	1回	趣味教養	成人	10人	【事業内容】 ハンギングバスケット（花の寄せ植え）講座を開催するもの。 《講師》 ・県ハンギングバスケット協会 竹下 光重 氏 岩本 真美 氏 【ねらい】 講座を通じて、教養の向上を図るとともに、住民相互の交流を図る。		【評価と反省】 JA新村支所の駐車場を会場に、ハンギングバスケット講座を開催した。講師の丁寧な指導もあり、参加者それぞれ個性が出たハンギングバスケットが完成した。 【今後の方針】 次年度も要望があれば、開催するようになりたい。	
利用者懇談会	3月16日	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	12人	【事業内容】 公民館利用者団体の各代表者から利用に関する要望等を聞き取り、次年度の公民館等の運営の参考とする。 【ねらい】 利用者懇談会を通じて、公民館等の運営の改善を図る。	【共催団体】 ・新村公民館利用団体	【評価と反省】 今年度初めて日中と夜間で2回開催した。公民館利用に関する要望等を直接利用者から聞き取ることができ、次年度の公民館運営の参考となった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度も開催したい。	
町会別人権啓発懇談会	2～3月	14回	人権平和	その他	300人	【事業内容】 人権啓発推進事業の一環として、新村14地区で懇談会を開催し、人権啓発チラシの配布やDVD視聴会を実施。 【ねらい】 懇談会を通じて、地区住民の人権に対する関心や意識を高める。	【共催団体】 ・町内公民館長会	【評価と反省】 今年度も新型コロナウイルス感染症拡大のため、多くの町会で総会は開催はせず、隣組長単位などの小規模で開催した。そのため多くの町会で人権啓発チラシ（法務省作成）の配布やDVD視聴会を実施した。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、地区住民への人権啓発を図っていきたい。	
アクリル画教室	通年	12回	趣味教養	成人	150人	【事業内容】 通年講座としてアクリル画教室を開催するもの。 《講師》 ・松森 清昭 氏 【ねらい】 教室を通じて、芸術への関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 いきいき部会	【評価と反省】 今年度初めて通年講座として開催。参加者は思い思いに自由なテーマでアクリル画を描いた。作品は公民館1階ロビーに展示したほか、R5.4～梓川アカデミア館で作品展を開催することになった。 【今後の方針】 感染症対策等を徹底し、次年度も開催したい。	

令和4年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
コミュニティースクール事業（芝沢小学校）	通年	—	子育て	青少年	—	【事業内容】 各学校（R4担当：芝沢小学校）のCS運営委員会に参画、予算執行管理や授業等への住民講師の紹介などを行った。 【ねらい】 事業を通じて、子ども達の健全育成を図る。	【共催団体】 ・芝沢小学校	【評価と反省】 今年度は芝沢小学校と連携を図り、各事業を実施した。今年度初めて、和田公民館を会場に書道体験教室が開催され、多くの小学生が楽しみながら書道に触れることができた。 【今後の方針】 次年度も学校と連携を図りながら、事業を継続していきたい。	○
町内公民館活性化事業	通年	1回	その他	成人	15人	【事業内容】 町内公民館活動の支援を実施する。 【ねらい】 地区住民がいきいきと明るく張り合いを持って生活ができるよう、町内公民館活動の活性化支援を図る。	【共催団体】 ・町内公民館長会	【評価と反省】 今年度は1町会で活性化事業が実施された。事前の周知を念入りに行ったが、コロナ禍もあり実施数は例年並となった。 【今後の方針】 事業の周知を行い、町内公民館の活性化に寄与していきたい。	
いきいき投稿文芸	通年	4回	趣味教養	成人	60人	【事業内容】 春夏秋冬をテーマに俳句と川柳を募集し、選者の講評を受けたのち、広報等に掲載するもの。 《選者》 ・降旗 牛朗 氏 【ねらい】 投稿文芸を通じて、俳句や川柳への関心を高めるとともに、非接触型の企画として、コロナ禍における住民の創作意欲を高める。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 いきいき部会	【評価と反省】 令和3年度から継続した企画で、毎回多くの投稿がある。投稿された作品は、毎月発行している「あたらしの郷通信」に掲載した。 【今後の方針】 次年度も要望があれば企画したい。	
いきいき俳句教室	通年	12回	趣味教養	成人	480人	【事業内容】 通年で俳句教室を開催するもの。 《講師》 ・降旗 牛朗 氏 【ねらい】 教室を通じて俳句への関心を高めるとともに、住民相互の親睦を図るもの。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 いきいき部会	【評価と反省】 今年度から始まった教室であるが、毎回市内外から多くの参加があり、好評を得た教室となった。 【今後の方針】 俳句教室としては今年度で終了することになった。次年度はサークル化し、希望者のみ継続して参加することとなった。	
育児講座	通年	—	子育て	家庭教育	—	【事業内容】 子育て支援の一環として、未就園児とその母親を対象に、月2回講座を実施。 【ねらい】 親子の交流の場や、母親同士の情報交換の場を創出し、未就園児の健全育成を図る。	【共催団体】 ・ひよこの会	【今後の方針】 ひよこの会は入園前の未満児をもつ親子が対象となっているため、育児講座の開催については慎重に判断したい。団体への加入者や育児講座への参加者が少ないため、周知を工夫していきたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
町内公民館長会 (文化委員会)	4月 6日 6月21日 9月 7日 3月 8日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	56人	【事業内容】 町内公民館館長会の活動支援、連携強化を図る。 【ねらい】 町内公民館長会の活動を通じて、町内公民館の活性化を図る。		【評価と反省】 今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、文化祭や市民運動会等の行事が軒並み中止となったため、館長会の会議や活動もコロナ禍前と比べると大幅に少なくなった。 【今後の方針】 次年度もコロナの感染拡大状況を考慮しつつ、文化祭等の行事について実施を検討していきたい。現役館長が行事を経験していない状態となるため、OB館長の協力を仰ぎながら運営をしていきたい。	
新村体育協会 (体育委員会)	4月 1日 4月 7日 5月24日 6月23日 8月18日 9月15日 10月13日 12月 8日 1月10日 1月27日 2月21日 3月 9日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	250人	【事業内容】 地区内で行われる体育行事の企画・運営を行う。 【ねらい】 体育行事を通じて、地区住民の健康の増進や体力の向上、住民相互の親睦を図る。		【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度も地区内で行われる予定であった体育行事はほとんど中止となった。代替行事として、ニュースポーツ体験会を開催するなど、工夫をしながら事業を展開した。 【今後の方針】 来年度は感染症対策を講じ、積極的に事業を展開していきたい。	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	120人	【事業内容】 公民館報（新の里）の原稿執筆、編集等を行う。 【ねらい】 公民館報の発行を通じて、公民館活動や地区内の諸活動、歴史・文化等に関心を持ってもらう。	【準備過程】 奇数月（1、3、5、7、9、11月）に発行する公民館報の原稿執筆や編集を行う。 会議は毎月第1火曜日に開催され、掲載する内容等を検討する。	【評価と反省】 今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で公民館活動が減少し、掲載記事の検討に苦慮した。シリーズ形式の記事を執筆し、地区にまつわる七不思議や地区内で活躍する住民の紹介などを行った。 【今後の方針】 今後も引き続き、編集委員発信で取材・原稿執筆等の活動を行ってもらう。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
図書委員会	6月15日 12月15日	1回	公民館委員会・各種会議等	女性	12人	【事業内容】 公民館の図書コーナーにある書籍の入れ替え作業を年2回行う。 必要に応じて、公民館やその他施設に出向き、本の読み聞かせ等を行う。 【ねらい】 図書委員会の活動を通じて、本への関心を高める。	【準備過程】 図書の入れ替えについては、中央図書館へ出向き、図書委員の判断で本の選定を行う。ジャンルは限定せず、子どもからお年寄りまで幅広い年代に向けた本を選定する。	【評価と反省】 図書の入れ替えは例年通りを行えた。本の読み聞かせは、コロナ禍ということもあり実施できなかった。委員会活動が図書入れ替えのみとなっており、活動のマンネリ化が懸念される。 【今後の方針】 図書入れ替え以外で活動を行う。例えば、図書委員会主催で県内にある著名な図書館を視察し、本の魅力や図書館運営等を学ぶという企画なども実施検討していきたい。	
視聴覚委員会	5月9日 8月29日 9月30日 10月31日 11月28日 1月30日 2月27日	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	42人	【事業内容】 地区内に残る文化財や古い町並み、農作業風景などの生活の様子を記録として保存し、後世に残す活動を行う。 【ねらい】 地区内の街並みや文化財等を写真等で記録・保存し、若い世代に伝えていくことで、地区への愛着を育む。		【評価と反省】 今年度は専称寺に関する資料収集を行ったほか、令和3年度に作成された「地域学習テキスト あたらしの郷」をベースに動画を作成し、松本市の公式YouTubeにアップした。 【今後の方針】 委員の高齢化や人材確保が課題となっている。人材確保については、公民館事業に関心が高い住民や松本大学の学生にも声を掛け、加入を促していきたい。	
地区支援企画会議	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	—	【事業内容】 社会福祉協議会、河西部西地域包括支援センター、西部保健センター、西部福祉課、地域づくり課、地域づくりセンターの職員が参加し各部署の事業や地域課題等について話し合いを行う。	【共催団体】 ・松本市社会福祉協議会 ・河西部西地域包括支援センター ・松本市西部保健センター ・松本市西部福祉課 ・松本市地域づくり課	【評価と反省】 各部署での取り組みや事業内容、地域課題について、広い視野での話し合いができる場となっている。 【今後の方針】 地域課題の解決に向け、関係機関で情報共有を図っていきたい。	
子ども会育成会の運営・支援	4月12日 4月19日 7月6日 10月25日	1回	地域事業(その他)	成人	80人	【事業内容】 新村地区子ども会育成会の運営・支援を行う。 【ねらい】 育成会の活動を通じて、地区内の子ども達の健全育成を図る。		【評価と反省】 今年度もちびっ子夏季スポーツ大会は新型コロナウイルス感染症の影響で、開催が中止となった。その代替行事として、「ちびっ子ニュースポフェス」を9月27日に開催する予定で調整をしていたが、感染状況の悪化により開催中止となった。 【今後の方針】 感染症対策を徹底したうえで関係機関と連携を図りながら各行事実施したい。	

令和4年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
新村文化財保存会の運営・支援	5月20日 2月15日	1回	地域事業 (その他)	その他	30人	【事業内容】 新村文化財保存会の運営・支援を行う。 【ねらい】 保存会の活動を通じて、地区内にある文化財の保存・整備を行い、地区内外の住民の文化財への理解を深める。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 学びの友部会	【評価と反省】 保存会の活動としては、案内板の修繕や地区外の団体の視察対応を行った。また、あたらしの郷協議会学びの友部会や新村公民館と共催で、歴史探訪や講演会を開催した。 【今後の方針】 次年度は感染症対策を徹底したうえで、事業を実施していきたい。	
あたらしの郷協議会の運営・支援	通年	—	地域事業 (その他)	その他	—	【事業内容】 あたらしの郷協議会（地域振興部会・安全安心部会・いきいき部会・学びの友部会）の運営・支援を行う。 【ねらい】 協議会の活動を通じて、地域課題の解決等を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 地域振興部会 安全安心部会 いきいき部会 学びの友部会	【評価と反省】 まちづくり協議会である「あたらしの郷協議会」の運営・支援を行った。 【今後の方針】 次年度も引き続き運営・支援を図っていきたい。	
新村ホタルを育む会の運営・支援	5月13日 9月9日 12月8日 3月17日	1回	地域事業 (その他)	その他	40人	【事業内容】 ホタルを育む会の運営・支援を行う。 【ねらい】 ホタルを育む会の活動を通じて、生態系の保全活動への関心を高める。		【評価と反省】 せせらぎの清掃やカワニナの放流等を例年通り実施した。 【今後の方針】 会員の高齢化が深刻な課題となっているため、活動に理解のある若い人材の確保に努めていきたい。	
プチ送迎ボランティア事業への協力	通年	—	福祉健康	高齢者	—	【事業内容】 地域福祉の推進を目的として、住民主体のボランティア組織である「プチ送迎ボランティア」への支援を実施。 【ねらい】 地区内の高齢者の交通弱者を減らし、住民相互の助け合い精神を助長する。	【共催団体】 ・プチ送迎ボランティア	【評価と反省】 今年度から松本市社会福祉協議会所属の生活支援員が事務を中心的に担うようになり、運行表の作成や利用者等との調整を行った。 運転手の高齢化が深刻で、人材の確保が大きな課題となっている。また、会員数が減少傾向にあり、団体の収入源である会費が思うように集まっていない。 【今後の方針】 団体の存続のためにも、団体の活動をPRしていき、会員確保に努めていきたい。	

令和4年度 事業報告

新村公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ものぐさだよりの発行 (公民館だよりの)	毎月	12	地域事業 (その他)	その他	全戸配布	【事業内容】 毎月の広報配布に合わせて公民館講座等の情報を掲載する広報として発行。 【ねらい】 公民館講座等への参加者増加を図る。	【共催団体】 ・あたらしの郷協議会 ・福祉ひろば	【評価と反省】 A3判サイズ、フルカラーで毎月発行しており、公民館以外にあたらしの郷協議会と福祉ひろばの広報も一緒に掲載している。 【今後の方針】 住民の関心が向くような紙面作りを心掛けていきたい。	
ホームページ	随時更新	年間	地域事業 (その他)	その他	—	【事業内容】 新村地区の公民館活動について情報発信を行う。 【ねらい】 地区内外に対して新村地区のPRを行い、観光客等呼び込み、地区内の活性化を図る。		【評価と反省】 地域情報を更新するなど、内容の充実を図った。全戸配布している公民館だよりにホームページのQRコードを載せていることで、ホームページのアクセス数が増加した。 【今後の方針】 引き続きホームページの更新作業を行っていきたい。	

令和4年度 事業報告の概要

和田公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続開催事業の内容の充実 事業のマンネリ化や参加者の減少・固定を軽減するため、継続事業の内容を講師等と相談し充実するよう検討した。従来取組んできた事業をコロナ禍でもできる実施ができるよう再検討。 ・新規公民館講座、事業 新型コロナウイルスの影響で、地区全体事業の実施が難しいため、代替になるものや地域住民の要望を取り入れた新規講座を行った。 ・世代間交流の促進 役員等、地域づくりに関心のある住民へ積極的に声掛けを行い、小学校や児童センターの児童との交流の機会を創出した。（夏休み学習支援、映画と語りの会等） 										<ul style="list-style-type: none"> ・継続開催事業の内容の充実 一部事業で、内容の変更等により参加者の増加や、好評の声を得られた。一方で、内容や効果の検討が必要な事業もあり、引き続き、継続する事業については内容・周知方法等を十分検討したい。新型コロナウイルス感染拡大のため、やむを得ず中止とした事業もあった。 ・新規公民館講座の開催 初めて公民館の講座に参加するという方が何人か見られた。今後も今まで参加したことがないという方にも参加していただけるような事業を検討したい。 ・世代間交流の促進 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、規模縮小または中止となってしまった事業がほとんどではあった。児童センターの行事と重なることもあり、参加人数が少ないこともあった。大人の参加者は限られてしまっているため、より多くの大人が参加できるように周知方法等見直し、呼びかけたい。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	0	1	1	0	8	3	0	1	6	5	0	8	4
延べ 参加人数	31	0	60	9	0	178	94	0	19	69	243	0	334	108

令和4年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
寄せ植え講座	5月26日	1回	趣味教養	成人	16人	【事業内容】 講師（地区住民）による初夏～秋頃までの寄せ植え講座 【ねらい】 生きがいの仕組みづくりの一環として、住民の趣味教養の養成、参加者同士の交流	【準備過程】 講師と相談し準備 【共催団体等】	【評価と反省】 初めて公民館の講座に参加した方もいて、交流を深めることができました。 【今後の方針等】 引き続き検討していきたい。	
第18回和田ウォークラリー （第42回ふれあいスポーツ大会）	6月19日	中止	地域事業 （体育）	成人	0人	【事業内容】 地区内の文化財等にまつわるクイズを解きながら約6kmのコースをグループごとに歩く。 【ねらい】 ウォーキングを通じた健康増進と共に、毎年コースを変えながら、地区内の文化財等を学ぶ機会とする。	【準備過程】 協力団体と実行委員会を組織し実施 【共催団体等】 福祉ひろば 子ども会育成会 地域づくり協議会 健康づくり推進委員会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 地区住民も、より充実したイベントへと成長させる意欲があるため、継続の方針。	
ファミリーコンサート	6月25日	1回	地域事業 （文化）	成人	38人	【事業内容】 世代を超えて楽しめるコンサートの開催 【ねらい】 音楽を通じた交流及び情操教育	【準備過程】 共催団体との打ち合わせにより出演者等を定める。 【共催団体等】 福祉ひろば 子ども会育成会	【評価と反省】 出演者とやり取りができるコンサートで、参加者も一体となりすべての世代で楽しめた。 【今後の方針等】 地区内の演奏者も掘り起こす等内容を検討し継続したい。	
第41回 夏季スポーツ大会	7月10日	中止	地域事業 （体育）	成人	0人	【事業内容】 男子ソフトボール（雨天時はワンバウンドふらばーるバレー）、女子トリムバレーボールの町会対抗球技大会 【ねらい】 町会内や、町会を越えた親睦の機会、スポーツの振興、健康の増進等	【準備過程】 町内公民館長と体育委員を中心に企画運営 【共催団体等】 町内公民館長会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 地区住民と協議しながら、意義ある大会として継続したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
夏休み勉強会(小学生学習支援)	7月26日	1回	その他	青少年	19人	【事業内容】 夏休みの宿題を中心に小学生の学習支援と七夕人形づくり教室 【ねらい】 子どもと公民館・地域住民をつなぐ行事	【準備過程】 公民館が準備 【共催団体等】 小学校・児童センターに呼びかけ	【評価と反省】 集中して勉強する時間をつくれた。講師の方に松本の七夕人形の話をしてもらい、実際に作ることで伝統文化に触れることができた。 【今後の方針等】 小学校とも調整しながら検討。	○
南栗遺跡発掘調査見学会	7月27日	1回	地域事業(文化)	成人	19人	【事業内容】 南栗遺跡の発掘調査現場 【ねらい】 松本の歴史についての理解を深めるきっかけづくり	【準備過程】 講師と相談し、準備 【共催団体等】	【評価と反省】 夏休み期間ということもあり、小学生や大学生の参加もあった。発掘調査員から充実した説明を聞くことができた。 【今後の方針等】 今後も発掘調査が続くので、実施を検討したい。	
映画と語りの会	7月29日	1回	趣味教養	青少年	21人	【事業内容】 映画の上映 【ねらい】 地区の子どもに人形劇や映画を見せる情操教育を図書視聴覚委員会の主催で行う。	【準備過程】 内容等は図書視聴覚委員会で協議し決定する。 【共催団体等】 和田保育園 和田児童センター	【評価と反省】 保育園や児童センターでも、公民館との交流事業と位置付けていただき、多くの子どもたちが参加してくれる。今年度は新型コロナウイルスの関係で保育園・児童センターと相談した結果、映画を上映。 【今後の方針等】 図書委員会主催の事業として、委員の関わりを大切に複数回開催も考えたい。	
書道教室	8月2日 8月4日 8月9日 8月15日 8月19日	5回	趣味教養	青少年	67人	【事業内容】 夏休み中に書道(一字書)の講座を開催 【ねらい】 子どもと公民館をつなぐ行事。書道に親しむ時間をつくる。	【準備過程】 公民館が準備 【共催団体等】 小学校・児童センターに呼びかけ	【評価と反省】 書道に親しむ時間が作れた。集中して取り組んでいた。 【今後の方針等】 小学校とも調整しながら検討。	○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
刃物の研ぎ方教室	8月21日	1回	趣味教養	成人	22人	【事業内容】 刃物の研ぎ方の講座 【ねらい】 地域人材の活用、刃物について知識と研ぎ方技術の学習	【準備過程】 和田商工親和会と相談し実施 【共催団体等】 和田商工親和会	【評価と反省】 和田商工親和会主催、公民館は事務的な補助を行った。 【今後の方針等】 和田商工親和会と相談し、検討したい。	
河西部球技大会	8月28日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【事業内容】 和田・島内・島立・新村地区による対抗球技大会。軟式野球・卓球・ママさんバレーボール 【ねらい】 市民体育大会の予選、選手や応援の住民の交流とスポーツの振興	【準備過程】 担当地区が主体となり準備 【共催団体等】 島内・島立・新村・和田の4地区公民館及び体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となった。 【今後の方針等】 内容の見直しを検討予定。	
和田地区マレットゴルフ大会	9月7日	1回	スポーツ	成人	15人	【事業内容】 市民体育大会の地区内予選を兼ねた男女別マレットゴルフ大会 【ねらい】 地区内の交流、マレットゴルフの振興	【準備過程】 マレットゴルフクラブと相談し実施 【共催団体等】 和田地区マレットゴルフクラブ	【評価と反省】 マレットゴルフクラブの主導で開催できているが参加者が減少傾向にある。 【今後の方針等】 マレットゴルフクラブが主管する地域行事として継続していきたい。	
第65回松本市市民体育大会	10月9日	1回	地域事業(体育)	成人	19人	【事業内容】 全市的な地区対抗体育大会 【ねらい】 スポーツの振興	【準備過程】 出場チームの補助を体育委員が行うため委員会を確認する。 【共催団体等】 地区内の各種運動部	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模縮小での実施となり、出場した各運動部ごと対応していただいた。	
和田地区市民大運動会	10月16日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【事業内容】 町会对抗の運動会。子どもから大人までが20種目程度の競技を行う。 【ねらい】 地区住民の世代を越えた交流及び町会の結束の強化	【準備過程】 体育委員会・町内公民館長会を中心に実行委員を組織し準備 【共催団体等】 地区内の各種団体の協力を得ている	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針等】 実施について検討。	

令和4年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
グラウンドゴルフ大会	10月16日	1回	地域事業 (体育)	成人	50人	【事業内容】 グラウンドゴルフを実施 【ねらい】 日頃の運動不足の解消と参加者の親睦を図る。	【準備過程】 体育委員会・町内公民館長会を中心に準備 【共催団体等】	【評価と反省】 園児～高齢の方までの参加があった。役員同士は他の町会役員とグループを混ぜることで、親睦を深めることができた。 【今後の方針等】 運動会等と合わせ内容について今後検討。	
秋の寄せ植え講座	10月26日	1回	趣味教養	成人	16人	【事業内容】 講師（地区住民）による秋～春頃までの寄せ植え講座 【ねらい】 生きがいの仕組みづくりの一環として、住民の趣味教養の養成、参加者同士の交流	【準備過程】 講師と相談し準備 【共催団体等】	【評価と反省】 初めて公民館の講座に参加した方もいて、交流を深めることができた。 【今後の方針等】 引き続き検討していきたい。	
市長杯争奪球技大会	10月30日	1回	スポーツ	成人	4人	【事業内容】 全市的な地区対抗球技大会 【ねらい】 スポーツの振興	【準備過程】 公民館は出場する運動部の事務的な補助を行う。 【共催団体等】 地区内の各種運動部	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模縮小して実施。マレットゴルフのみ参加。	
第50回芸術文化祭	11月6日	1回	地域事業 (文化)	成人	150人	【事業内容】 地区住民全体の文化祭。ステージ発表、展示発表を行う。 【ねらい】 文化的活動の発信の場とし、地区内の文化的交流を図る。	【準備過程】 文化委員を中心に実行委員会を組織し実施 【共催団体等】 女性役員会 窪田空穂記念館	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から例年とは違い、半日で実施。 【今後の方針等】 ステージ発表、展示発表ともにしりすばみにならないよう積極的な取り組みをしたい。	
健康スポーツ教室	11月15日～	5回	スポーツ	成人	75人	【事業内容】 ラージボール卓球とバドミントンを通じた交流及び体組成測定、健康測定等も合わせて実施 【ねらい】 冬場の運動不足を解消しつつ、世代を問わず交流を深める。	【準備過程】 保健師や健康運動指導士と相談し準備 【共催団体等】 有志の体育委員	【評価と反省】 子どもから大人まで幅広い世代が集まりスポーツを楽しむことができた。 【今後の方針等】 新たな参加者の呼び込みや、継続参加者の積極的な参加を呼び込む工夫を考えたい。	

令和4年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化財臨地学習会	12月9日	1回	地域事業 (文化)	成人	18人	【事業内容】 長年続く視察学習会。県内外各地の文化財等を巡り、学習する。 【ねらい】 各地の歴史や文化財を学び、地元の文化財について考える機会ともする。	【準備過程】 公民館で行先等検討	【評価と反省】 茅野市尖石縄文考古館、原田泰治美術館等で詳しい説明を聞くことができた。 【今後の方針等】 行先やプラン等を練り、参加者のニーズを満たせるよう考えたい。	
しめなわ作り教室	12月17日	1回	地域文化	成人	9人	【事業内容】 しめ縄の文化的背景を学びながら、しめ縄の基本や応用のわら細工を学んだ。 【ねらい】 伝統文化の学習と継承	【準備過程】 講師(地区住民)と相談し準備	【評価と反省】 講師が工夫を凝らしたわら細工が好評となっている。参加者の希望を取り入れながら開催。 【今後の方針等】 講師と相談し、内容を検討しながら実施していきたい。	
手芸講座	12月15日	1回	趣味教養	成人	8人	【事業内容】 クラフトバンドを使った手芸作品の制作講座 【ねらい】 地区内の人材活用、手芸を通じた交流	【準備過程】 講師(地区住民)と調整 【共催団体等】	【評価と反省】 地域住民を講師として交流を深めることができた。 【今後の方針等】 地域住民が活躍できる場の創出は引き続き検討していきたい。	
書初め教室	12月27日 1月7日	2回	趣味教養	青少年	22人	【事業内容】 書道(書初め)の講座を開催 【ねらい】 子どもと公民館をつなぐ行事。書道に親しむ時間をつくる。	【準備過程】 公民館が準備 【共催団体等】 小学校・児童センターに呼びかけ	【評価と反省】 書道に親しむ時間が作れた。集中して取り組んでいた。 【今後の方針等】 小学校とも調整しながら検討。	○
白菜キムチ漬け講座	2月4日	1回	趣味教養	成人	6人	【事業内容】 近隣の韓国料理店の方を講師に招き、本格的なキムチを作りながら交流を深める。 【ねらい】 食文化を実際に体験し学びながら交流する。	【準備過程】 講師と相談し準備	【評価と反省】 感染症対策のため、募集人員を昨年度の半分とした。キムチの評判もよく、テーブルごとの交流も促進できた。 【今後の方針】 講師と相談し、内容を検討しながら実施していきたい。	

令和4年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
人権啓発事業	2月26日	1回	人権平和	成人	31人	【事業内容】 コンサートを通じたノーマライゼーション学習 【ねらい】 人権啓発意識の向上、人権啓発学習指導者の養成	【準備過程】 地区人権啓発推進協議会長と相談し準備 【共催団体等】 地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 講座を通じて、障がい者の自立活動への理解等を学ぶことができた。 【今後の方針等】 人権課題に関する地区内の関心を探り継続していきたい。	
文化講演会「受け継ぐ地域の文化財～西善寺のたから～」	3月21日	1回	地域事業(文化)	成人	18人	【事業内容】 境町会にある西善寺及び西善寺所蔵の文化財について学ぶ。 【ねらい】 松本市の歴史や文化財について、理解を深める。	【準備過程】 講師と相談し準備	【評価と反省】 【今後の方針】 文化財調査委員会等で内容を検討しながら実施していきたい。	
育児学級「めだかの会」	4月20日～	3回	子育て	家庭教育	60人	【事業内容】 育児サークル「めだかの会」の活動のうち3回を公民館と協力し実施。 親子のできる体操などの体育、バレーヨガなどの学習を行った。 【ねらい】 未就園児と親の交流・学習の場の提供	【準備過程】 めだかの会役員を中心に事業計画を立て、公民館も相談にのる。 【共催団体等】 育児サークルめだかの会	【評価と反省】 団体の自主的な運営を大切にしつつ、講師を招いての学習会等には公民館として協力できた。年間を通じた活動のなかで、親子同士の交流が深まっている。 【今後の方針等】 会員の自主性を保ちつつ持続的な活動を推進したい。	
運営委員会	4月28日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	39人	【事業内容】 事業報告・事業計画・決算・予算案の審議 【ねらい】 公民館運営への住民参加の機会の担保	【準備過程】 町会長・町内公民館長のほか地区内の主要組織の役員で組織	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とし、書面表決を行った。 【今後の方針等】 地区の他団体と公民館をつなぐ貴重な機会として、有効活用したい。	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	102人	【事業内容】 公民館報和田版の取材や編集作業 【ねらい】 住民主体の情報発信の場として公民館報和田版の発行	【準備過程】 取材や記事の作成を分担し、校正や割付は全体で行う。	【評価と反省】 記事の発案や取材等、委員が前向きに取り組むことができた。 【今後の方針等】 委員が交代になるが、主体性を持った活動を推進したい。	

令和4年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
図書視聴覚委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	98人	【事業内容】 公民館図書の管理、図書だよりの発行、「映画と語りの会」の主催 【ねらい】 図書室の管理及び有効活用、読書啓発に係る委員主体の活動	【準備過程】 毎月定例の委員会を開催し、協議と図書の整理を行う。	【評価と反省】 図書の整理以外の活動の充実が課題 【今後の方針】 図書室利用の促進、新規購入図書、除籍本等協議したい。	
体育委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	52人	【事業内容】 地区全体の体育事業について、企画・検討する。また事業当日の運営にも中心的な役割を担う。 【ねらい】 体育事業を通じた地区内の交流促進、スポーツの振興	【準備過程】 三役会で原案を審議し、事業運営の中心となる体育委員と町内公民館長の合同会議で決定する。	【評価と反省】 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、体育事業はほぼ中止となった。 【今後の方針等】 引き続き、住民の意見を聞く機会を増やししながら、三役を中心に改善できるところは改善していきたい。	
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	10人	【事業内容】 夏休み行事や文化祭等原案ほか公民館事業全般を協議する。 【ねらい】 公民館事業全般の協議	【準備過程】 委員は町内公民館長が兼ねている。	【評価と反省】 地区事業の原案協議の中心となり、事業運営でも町会内の取りまとめとして関わっている。 【今後の方針等】 より良い地区事業の実施のため、充実した協議の場としたい。	
文化財調査委員会	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	20人	【事業内容】 地区内の文化財の保護活用、文化財学習 【ねらい】 文化財の保護・活用の方策を検討する。	【準備過程】 町内公民館長と町会選出の役員で組織	【評価と反省】 文化財等にまつわる講座を企画・実施。 【今後の方針等】 文化財の学習講座等、委員の活動を広げていきたい。	
信州型コミュニティー スクール事業（学校運営委員会へ参加）	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	青少年		【事業内容】 芝沢小学校・高綱中学校の学校運営委員会へ参加。必要に応じて学校と連携 【ねらい】 学校と地域の相互連携を強め、子どもへの思いを共有しながら地域の子どもを育てる。	【準備過程】 運営委員会の中では、公民館長がコーディネーターとして関わる。	【評価と反省】 学校側の判断で中止。 【今後の方針】 学校との連絡を密にしながら連携を図っていきたい。	○

令和4年度 事業報告

和田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
地域づくり協議会(総 会・理事会・部会)	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	13人	【事業内容】 公民館は文化教養部会に属し、部 会を開催した。 【ねらい】 地域づくり協議会の中で、住民が 楽しめる行事の企画運営等を担う。	【準備過程】 公民館長が部会長となり、部会 を招集する。	【評価と反省】 公民館事業等について協議できた。 【今後の方針等】 必要に応じて地域づくりに係る行事 や取り組みについて協議していく。	

令和4年度 事業報告の概要

神林公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <p>1 神林みんなの幸せ計画のもと、一人ひとりが尊重され、共に支え合い、年齢や性別、障がいのあるなしにかかわらず、誰でもが安全で安心して、生き生きと暮らせる神林を目指す。</p> <p>2 各公民館委員の自主的な活動を促し、地域リーダーの育成を図る。</p> <p>3 神林の自然・文化・芸術に親しみ、地域愛を育む。</p>										<p>・新型コロナウイルス感染拡大のため、中止を余儀なくされた事業もあるが、それぞれの委員会ではコロナ禍における開催方法や内容について協議を行った。下半期の地域事業については、感染症対策を徹底しつつ実施の方向で検討し、第50回神林ふれあい文化祭や地区球技大会を3年ぶりに開催することができた。</p> <p>・講座申込みにQRコードによるオンライン申請も導入し、デジタルデバインド対策としてスマホ教室を通年で開講。今後も、加速するデジタル化に遅れないようデジタルデバインド対策を積極的に取り組んでいきたい。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	0	4	4	2	4	1	1	1	5	1	0	6	0
延べ 参加人数	14	0	577	167	37	563	150	13	53	130	730	0	175	0

令和4年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
西南ブロック球技大会	7月	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・市長杯争奪球技大会の予選会を兼ねた球技大会。 種目：軟式野球、婦人バレーボール 【ねらい】 ・西南ブロック3地区（神林・笹賀・今井）の親睦交流。	【準備過程】 ・当番地区として3地区合同会議を開催し、内容の検討や準備を行った。 【共催団体】 ・神林地区スポーツ協会 ・笹賀地区スポーツ協会 ・笹賀公民館 ・今井地区スポーツ協会 ・今井公民館	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。	
第12回神林地区スポーツ協会長杯争奪マレットゴルフ大会	7月2日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・男性の部・女性の部それぞれ個人戦にて行うマレットゴルフ大会 【ねらい】 ・地区住民の親睦と健康づくり	【準備過程】 ・神林地区スポーツ協会役員会にて内容決定。 【共催団体】 ・神林地区スポーツ協会 【協力団体】 ・神林マレットゴルフクラブ	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。	
神林の歴史を学ぶ	7月21日	1回	地域文化	成人	20人	【内容】 ・神林の歴史を学ぶ講座 【ねらい】 ・歴史を知ること、自分たちの住む神林への地域愛を育む。	【準備過程】 ・講師と打ち合わせを行い、内容を決定。	【評価と反省】 ・参加者が多く、自分たちの住む地域への関心があった。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	
自然観察会	7月27日	1回	環境	成人	20人	【内容】 ・富士見パノラマリゾートで自然観察。 【ねらい】 ・自然散策しながら、健康増進、仲間づくりを図る。	【準備過程】 ・図書視聴覚委員会にて行先を決定。	【評価と反省】 ・悪天候による視界不良や行程の変更もあったが、自然の中を歩きながら植物等の観察をすることで、健康増進、仲間づくりを図ることができた。 【今後の方針】 ・様々な行先を検討しながら、継続して開催したい。	
マスつかみ大会	7月31日	1回	子育て	青少年	210人	【内容】 ・鎮川河川沿いで、マスつかみ体験。 【ねらい】 ・自然とふれあいながら、子どもたち同士や親子の交流と絆を深める。	【準備過程】 ・神林地区子ども会育成会が中心となり、企画・運営。 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会	【評価と反省】 ・子供たちのリーダーは危険予知トレーニングを行い、事業の中心として活躍していた。自然に親しみながら、子どもたち同士や親子の交流を行うことができた。 【今後の方針】 ・子ども達に貴重な体験してもらうためにも継続して開催したい。	

令和4年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
夏休みわくわく子ども広場	8月9日	1回	子育て	青少年	37人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国営アルプスあづみの公園大町・松川地区へ行き、クラフト体験や食体験、自然遊びを行う。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の交流と公民館事業に親しんでもらう。また、夏休み中の親の負担軽減も図る。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神林地区子ども会育成会・主任児童員が中心となり、企画・運営。 <p>【共催団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神林地区子ども会育成会 ・社会福祉協議会神林支会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を実施しながら、クラフト体験や食体験を行い、子供たちが自然に親しみながら、交流を行うことができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に貴重な体験してもらうためにも継続して開催したい。 	
神林スポーツフェスティバル	9月4日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ、パラスポーツ体験。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの楽しさを広め、健康で明るく生き生きと暮らせる神林地区を目指し、住民の交流と絆を深める。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育委員会にて実施種目や運営について検討。 <p>【主管】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神林スポーツフェスティバル実行委員会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染急拡大で中止としたが、体育委員会では実施に向けて検討することができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育委員会で開催に向けて協議していきたい。 	
第50回神林ふれあい文化祭	10月16日	1回	地域事業(文化)	成人	730人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品展示、地区団体やサークルなどによるステージ発表、公民館利用者による出店やイベントコーナーの実施。 ・50回記念事業 <ul style="list-style-type: none"> ◎ステージ発表 <ul style="list-style-type: none"> 波田少年少女合唱団 蟻ヶ崎高校書道部 ◎特別展示 ◎記念誌発行 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の芸術・文化及び交流の1年間の集大成の場とし、個人・サークル活動団体の成果を発表する場を提供することにより、地区の芸術・文化の向上を図る。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化委員会にて開催方法や内容を決定。 <p>【主管】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神林ふれあい文化祭実行委員会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2・3年と中止としてきた50周年の文化祭をコロナ禍以前よりは規模を縮小してではあったが、開催することができた。50周年記念事業や3年ぶりとなる地区サークルのステージ発表も行うことができ、大勢の参加者に来ていただくことができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節目となる文化祭を終え、文化を継続しつつ、新たなスタートとなるよう、文化委員会で開催内容を検討していきたい。 	

令和4年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
地震体験車がやって来る！防災講座	10月19日	1回	防災	成人	13人	【内容】 ・地震体験車にて、地震に近い揺れを体験する。 【ねらい】 ・いつ発生するか分からない地震の恐ろしさを体験することで、日頃の防災意識を高める。	【準備過程】 ・芳川消防署神林出張所と打合せし、内容を決定。 【共催団体】 ・神林地区防災部	【評価と反省】 ・参加者全員に様々な地震の揺れを体験をしていただき、日頃の防災意識を改めて見直す機会を作ることができた。 【今後の方針】 ・地区の防災訓練で実施する等、開催の方法を検討していきたい。	
人権啓発推進視察研修	12月7日	1回	人権平和	成人	14人	【内容】 ・浅川伯教・巧兄弟資料館、原田泰治美術館の見学 【ねらい】 ・人権施設の見学を通じて、外国人や障がい者の人権について考える機会とする。	【共催団体】 ・神林地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・参加者全員に様々な地震の揺れを体験いただき、日頃の防災意識を改めて見直す機会を作ることができた。 【今後の方針】 ・様々な人権について、視察研修は継続しつつ、その他の人権啓発事業の実施も検討していきたい。	
正月飾りづくり講習会	12月18日	1回	地域文化	成人	33人	【内容】 ・正月飾りづくり（しめ縄など）の講習会 【ねらい】 ・正月飾りづくりを体験する機会を設け、地域文化の大切さを学ぶ。	【準備過程】 ・神林地区子ども会育成会が中心となり、企画・運営。 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会	【評価と反省】 ・子どもから大人まで幅広い年齢層の参加があり、多世代交流の場となった。 【今後の方針】 ・地域文化継承のためにも継続して開催していきたい。	
星空観察会	12月18日	1回	環境	成人	17人	【内容】 ・天体望遠鏡で火星・土星・木星・月などの星空観察を行う。 【ねらい】 ・観察会を通じて星に興味を持ってもらいたい。	【準備過程】 ・図書視聴覚委員会にて内容決定。 ・写真講座の参加者との打ち合わせ。 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会	【評価と反省】 ・正月飾りづくり講習会と同日にすることで、引き続き参加ができるよう工夫した。 ・写真講座の参加者に星空の写真を見せていただき、観察だけでなく、写真としての良さも参加者に知ってもらうことができた。 【今後の方針】 ・星空に興味を持ってもらえるよう、他の方法も検討していきたい。	

令和4年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
神林地区球技大会	2月26日	1回	地域事業 (体育)	成人	130人	【内容】 ・町会対抗の球技大会。 競技種目：ラージボール卓球、ソフトバレーボール 【ねらい】 ・住民同士の親睦、スポーツ振興、冬季の運動不足解消。	【主管】 ・神林地区球技大会実行委員会 【協力団体】 ・神林卓球クラブ ・神林ソフトバレーボール協会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため3年ぶりの開催となった。町会の応援はなしでの開催であったが、選手は楽しみつつも真剣勝負をしていた。 【今後の方針】 ・町会対抗の唯一の事業となっているため、継続して開催していきたい。	
西南ブロック地区ゲートボール大会	3月	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 ・西南ブロック3地区(笹賀・今井・神林)によるゲートボール大会。 【ねらい】 ・西南ブロック3地区の親睦交流。	【準備過程】 ・当番地区として3地区合同会議を開催し、内容の検討や準備を行った。 【共催団体】 ・神林地区スポーツ協会 ・笹賀地区スポーツ協会 ・笹賀公民館 ・今井地区スポーツ協会 ・今井公民館	【評価と反省】 ・各地区で高齢化等の理由により、競技人口が減少しており、合同での開催は困難であるという結論となった。 【今後の方針】 ・3地区の親睦交流のため、競技や内容を変更しての開催を検討していく。	
春のわくわく子ども広場	3月5日	1回	子育て	青少年	130人	【内容】 ・人形劇やコマのパフォーマンス、ワークショップ。 【ねらい】 ・子ども達の交流と公民館事業に親しんでもらう。	【準備過程】 ・神林地区子ども会育成会・主任児童員が中心となり、企画・運営。 【共催団体】 ・神林地区子ども会育成会 ・社会福祉協議会神林支会	【評価と反省】 ・大勢の子供たちが参加し、笑い声や驚きの声を聞くことができた。ワークショップを通じて、子供たちの交流も行うことができた。 【今後の方針】 ・子どもたちの貴重な経験ができる事業として、内容を検討しつつ継続していきたい。	
神林ソフトバレーボールリーグ戦	4~6月	10回	スポーツ	成人	150人	【内容】 ・神林地区内を主としたソフトバレーボールチームのリーグ戦 【ねらい】 ・住民同士の親睦、健康づくり	【共催団体】 ・神林ソフトバレーボール協会	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり、相互の親睦と交流を図ることができた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施時期を短縮して行った。 【今後の方針】 ・引き続き開催したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
史跡めぐり	5月18日 10月25日	2回	地域文化	成人	58人	【内容】 ・身近な郷土の史跡を訪れる。 5月：善光寺・別所温泉 10月：碓氷峠（遊歩道アプトの道） 【ねらい】 ・様々な史跡について学ぶとともに、仲間づくりを目指して開催。	【準備過程】 ・文化委員会にて行先を決定。	【評価と反省】 ・大勢の参加申込みがあり、大変好評だった。 【今後の方針】 ・様々な行先を検討しながら、継続して開催したい。	
ポスターコンクール	7～9月		地域文化	成人	56人	【内容】 ・画題を神林ふれあい文化祭とし、神林の素晴らしいところ、素敵などころを表現した作品を募集。応募作品は審査会で審査し、入賞者を神林ふれあい文化祭にて表彰。 【ねらい】 ・地域の魅力再発見と併せて神林ふれあい文化祭の周知を図る。	【準備過程】 ・文化委員会にて内容決定。	【評価と反省】 ・神林の素晴らしいところ、素敵などころを表現した作品を募集することで、地域の魅力の再発見と入賞作品を地区内各所に掲示することで神林ふれあい文化祭の周知を図ることができた。 【今後の方針】 ・自分たちの住む地域の関心を高めるため、また、神林ふれあい文化祭の周知のためにも継続して開催したい。	
バスdeおぶ～	8～3月	8回	その他	成人	53人	【内容】 ・西部コミュニティバスを利用しておぶ～を訪れる。 【ねらい】 ・西部地域コミュニティバスの利用促進。	【共催団体】 ・神林地区地域ケア会議	【評価と反省】 ・参加者から大変好評であったが、参加者の固定化も見られた。参加者のほとんどが女性であり、男性の参加は少なかった。 【今後の方針】 ・コミュニティバスの路線改変に伴い、本事業は終了。コミュニティバスを利用した新たな事業を検討したい。	
スマホ教室	通年	12回	趣味教養	成人	135人	【内容】 ・スマートフォンの基本的な使い方から日常よく使う機能を中心に解説。 【ねらい】 ・高齢者のデジタルデバイス対策。	【準備過程】 ・講師と打合せし、内容決定。	【評価と反省】 ・高齢者のスマホに関する関心の高さを感じた。テーマを決めて進めることはできたが、一人一人のスマホの悩みを聞く時間が少なかった。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	

令和4年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
パソコン喫茶	通年	12回	趣味教養	成人	131人	【内容】 ・ワードやエクセルの使い方を学ぶ。講座終了後は参加者とコーヒーを飲みながら交流する。 【ねらい】 ・初心者から中級者まで、気軽にパソコンに触れられる機会を作りながら、住民同士の交流を図る。	【準備過程】 ・講師と打合せし、内容決定。 【共催団体】 ・神林地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・学習をしながら住民同士の交流を深めることができた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、コーヒーを飲みながら行えたのは3回だけであった。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	
俳句講座	通年	12回	趣味教養	成人	186人	【内容】 ・俳句について学ぶ。 【ねらい】 ・住民同士の交流を図りながら、趣味教養を深める。	【準備過程】 ・講師と打合せし、内容決定。	【評価と反省】 ・日常で感じたことを俳句として詠むことで、参加者同士の交流をすることができた。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	
写真勉強会	通年	12回	趣味教養	成人	111人	【内容】 ・デジタルカメラの基礎知識と撮影技術をお互い学び合う。 【ねらい】 ・住民同士の交流を図りながら、趣味教養を深める。	【準備過程】 ・講師と打合せし、内容決定。	【評価と反省】 ・写真を通じて、参加者同士の交流を深めることができた。 ・座学形式が多く、直接的な撮影方法を学ぶ機会が少なかった。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	
ぼんぼこりんのひろば	通年	12回	子育て	家庭教育	200人	【内容】 ・パネルシアター、人形劇、工作、クリスマス会など親子のふれあい事業 【ねらい】 ・未就園児の親子のふれあいと親同士の親睦・交流。	【準備過程】 ・主任児童員と打合せし、内容を決定。 【共催団体】 ・神林地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・幼少期における仲間とのふれあいや親同士の親睦を図ることができた。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	
運営委員会	随時		公民館委員会・各種会議等	成人	50人	【内容】 ・事業計画・予算の審議、事業報告・決算の審議。地区行事開催可否の審議。		【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、近年中止してきた事業について、開催に向けて検討することができた。 【今後の方針】 ・より一層公民館活動の充実を図りたい。	

令和4年度 事業報告

神林公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
館報編集委員会	随時		公民館委員会・各種会議等	成人	73人	【内容】 ・松本市公民館報神林版の企画編集。 ・神林公民館だよりの企画編集。		【評価と反省】 ・地区内の時事的な事柄について情報を共有し、公民館報の企画編集を行った。 【今後の方針】 ・親しみやすい館報の紙面づくり心がけていきたい。	
体育委員会	随時		公民館委員会・各種会議等	成人	12人	【内容】 ・神林スポーツフェスティバル、神林地区球技大会の内容検討及びスポーツ振興。		【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大により、中止となった事業もあったが、3年ぶりとなる地区球技大会を開催することができた。 【今後の方針】 ・アフターコロナにおける事業実施に向けて協議を続けていきたい。	
文化委員会	随時		公民館委員会・各種会議等	成人	28人	【内容】 ・神林ふれあい文化祭、史跡巡り、ポスターコンクールの企画実施及び文化、芸術の向上を図る。		【評価と反省】 ・令和2・3年と延期してきた第50回神林ふれあい文化祭を開催することができ、記念事業についても、委員会で協議し、盛大に行うことができた。 【今後の方針】 ・アフターコロナにおける事業実施に向けて協議を続けていきたい。	
図書視聴覚委員会	随時		公民館委員会・各種会議等	成人	12人	【内容】 ・自然観察会・星空観察会などの図書視聴覚活動の実施、図書コーナーの整頓。		【評価と反省】 ・コロナ禍でも概ね予定していた事業を計画的に実施できた。 【今後の方針】 ・恒例の事業だけでなく、新たな活動などを検討していきたい。	
地区内関係諸団体と事業共催及び活動支援	随時		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 ・神林地区スポーツ協会、神林地区こども会育成会、神林地区人権啓発推進協議会などとの事業共催及び活動支援。		【評価と反省】 ・各団体の自主性を尊重しつつ、連携を深めた活動ができた。 【今後の方針】 ・引き続き各団体の自主性を尊重しつつ、連携を深めていきたい。	

令和4年度 事業報告の概要

笹賀公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の幅広い要望や課題を反映した地域づくりに活かされる学習活動を展開し、住民自治力の向上を図る。 ・町内公民館および地区内関係団体、学校との連携協力を図る。 ・地域づくりや地域の人材育成の機会となるような事業の運営を図る。 ・地域住民の要望に合わせて、地域の歴史・文化の伝承の機会となるような事業の運営を図る。 <p>【重点的に取り組んだ事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における事業の開催可否について、笹賀地区各町会の意向をできるだけ尊重した。地域住民や関係役員の健康面、安全面を第一に考え、事業等について無理に開催することのないよう慎重に検討した。その中どうしたら開催できるか考え、事業を実施できた。 ・各事業について規模縮小や代替企画などによる開催方法の検討を行った。参加者の意思も尊重し、ただ中止にするだけにならないように慎重に判断を行った。 										<ul style="list-style-type: none"> ・規模縮小案等で事業を実施できた。地域住民が少しでも安心して参加できる事業を企画し、開催判断については今後も慎重に行っていきたい。町内公民館対抗球技大会などのように数十年に渡り地域住民の交流に大きな役割を果たしてきた恒例事業や、地域の伝統行事がコロナの影響で潰れてしまわないよう配慮もしていきたい。 ・コロナの影響で今までやり方と変えてでも実施できたこと、そのやり方について笹賀地区各町会の意向を取り入れながら実施できて良かった。住民から声の上がった新規事業にも取り組み、それをきっかけに住民同士の交流も促進することができた。 ・今年度は講座の申し込みや公民館の利用報告等デジタル化した選択肢を作り、最大限使ってもらえたと感じた。次年度はさらに公民館ニュースや館報といった広報の部分にオンラインで見れる動画や画像の選択肢を増やしていきたい。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	0	6	2	0	3	2	0	0	6	2	0	4	1
延べ参加人数	20	0	283	40	0	91	21	0	0	16	508	0	138	40

令和4年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
笹賀地区ウォーキング大会	5月30日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 地区事業として例年実施しているウォーキング大会。地区内のウォーキングに合わせて史跡巡りを実施している。 【ねらい】 地区住民の交流と健康維持を図るとともに、地区の文化財について学ぶ機会とする。	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施。 【共催団体等】 笹賀地区福祉ひろば 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会 笹賀地区交通安全協会	【評価と反省】 例年多くの参加申し込みがあり、地区住民の健康づくりにつながるとともに、地区内の文化財等を知っていただく良い機会となっている。 今年度は、検討段階から新型コロナの拡大状況により事前に中止決定とし、公民館ニュースにて周知した。 【今後の方針等】 地区内でコースを検討し、継続実施していきたい。	
笹賀地区町内公民館対抗球技大会	7月4日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 地区行事として例年実施している町内公民館対抗の球技大会。 ソフトバレーボール、ソフトボールの2種目。 【ねらい】 地区住民の交流、親睦と健康維持を図る。	【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施。 【共催団体等】 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会	【評価と反省】 例年、多くの町会から若年層から高齢者までの幅広い年齢層の参加があり、地区住民の親睦を深め、世代間交流にもつながっている。観客も含め参加者が多いため、菅野中学校体育館会場で密を避けることは困難との判断から事前中止とした。 【今後の方針等】 数十年続いている恒例行事が潰れてしまうことのないよう、体育委員とともに次年度は開催できるように前向きに検討した。	
西南ブロック球技大会	7月	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 市長杯争奪球技大会のブロック予選を兼ねた今井、神林、笹賀の3地区による球技大会。 軟式野球とママさんバレーボールの2種目。 【ねらい】 3地区の交流事業として実施	【準備過程】 当番地区を中心に準備、運営を行う。今年度は神林地区が当番地区 【共催団体等】 笹賀地区スポーツ協会 神林地区スポーツ協会 今井地区スポーツ協会 神林公民館 今井公民館	【評価と反省】 市長杯争奪球技大会の予選も兼ねて毎年実施しており、3地区の交流にもつながっている。 感染対策として西南ブロック球技大会は中止としたが、市長杯争奪球技大会の代表は3地区の協議により決定した。 【今後の方針等】 3地区の交流事業として今後も継続実施したい。できるだけ多くの選手が参加できるように開催時期を調整していきたい。	

令和4年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
子ども会育成会夏休み事業	7、8月	中止	子育て	青少年	0人	<p>【事業内容】 地区内小中学生親子を対象とした公演会や体験教室等。例年2事業を行う。 市内で活動する人形劇団やジャグリングクラブ等から講師を派遣。</p> <p>【ねらい】 公演会や体験教室を通して子どもたちの豊かな心を育てることを図る。</p>	<p>【準備過程】 子ども会育成会を中心に企画実施。</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区子ども会育成会</p>	<p>【評価と反省】 例年は、夏休み中に2事業を行っている。ここ数年は継続して人形劇公演を開催していることで参加対象者への認知も少しずつ広まってきたところだったが、今年度もコロナ対策により開催中止とした。</p> <p>【今後の方針等】 小中学生、PTA、育成会の声を聞きながら、子どもたちにとって良い経験となる行事を行っていきたい。</p>	
親子の料理教室	7月28日	1回	子育て	青少年	12人	<p>【事業内容】 小中学生親子を対象に調理実習を実施。 「カミカミおやつ」</p> <p>【ねらい】 今から丈夫な歯と身体ために噛むことの大切さを学ぶ。</p>	<p>【準備過程】 地区食生活改善推進員と相談し企画実施。</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区食生活改善推進員</p>	<p>【評価と反省】 親子で楽しく学んで取り組める良い機会となった。開催に向けて参加者にコロナ対策徹底し、協力いただいたので開催できた。</p> <p>【今後の方針等】 食について学ぶことで、健康に繋がるということを今後も内容を検討し、継続実施していきたい。</p>	
スマホ講習会	9月9日 1月27日	2回	趣味教養	高齢者	16人	<p>【内容】 スマホの使い方が分からない高齢者向けの教室</p> <p>【ねらい】 スマホ普及に伴う高齢者世代のデジタル弱者増加への対策とDX推進</p>	DX推進本部、ソフトバンク	<p>【評価と反省】 ・スマホの基礎的な操作を学び、今までできなかったことができるようになり、スマホを使いこなし楽しんでいった。なかには、さらに発展した内容を学びたいという声や、個人的な相談等をした方が多く見受けられた。</p> <p>【今後の方針】 ・スマホの使い方が分からない方が多く、ニーズの高さを感じる。来年度以降も継続して開催したい。</p>	

令和4年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
笹賀地区親睦グラウンドゴルフ大会	9月12日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	<p>【事業内容】 運動会に代わる地区事業として例年実施している親睦グラウンドゴルフ大会。</p> <p>【ねらい】 年齢を問わず誰でも参加できるグラウンドゴルフ大会を行い、地区住民の親睦と交流を図る。</p>	<p>【準備過程】 公民館、体育委員を中心に企画実施。</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区町会連合会 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会</p>	<p>【評価と反省】 例年、幅広い年齢から多くの参加があり、町会を越えた地区住民の交流につながっている。感染対策を行った規模縮小での開催案を提案し、周知、募集を行った。結果、40名程度の申込があったが、直前で感染の波が来てしまい中止の判断となった。しかしながら、地域住民の積極的な参加姿勢を感じることができ、次年度以降への企画に反映させていきたい。また、初の試みとして行ったLOGOフォームでの参加受付についても数件の申込があった。</p> <p>【今後の方針等】 地区住民の親睦、交流の場として今後も実施していきたい。暑さ対策について特に注意したい。</p>	
笹賀マネースクール	10月 5日 10月12日 10月19日	3回	趣味教養	成人	15人	<p>【事業内容】 地区住民を対象にお金の勉強会を実施。</p> <p>【ねらい】 小中学校や高校でも始まったお金の教育。地区住民の学ぶ機会とする。</p>	<p>【準備過程】 近隣にお住いのFP（ファイナンシャルプランナー）に依頼。申込の段階で質問事項等を収集。それをもとに資料を作成していただいた。</p>	<p>【評価と反省】 全3回で実施。参加者の金融リテラシーに差があると講座形式は難しいかとも考えたが自由に話せるような時間や事前の質問収集を実施。参加者にとって日頃抱えている悩みや、気になっている疑問等、活発な意見交換も行われていい学ぶ機会になった。</p> <p>【今後の方針等】 経済・金融に関する情報は日々更新されていくため継続実施していきたい。</p>	
笹賀地区スマホ相談会	10月から 月2回	12回	趣味教養	成人	60人	<p>【事業内容】 スマートフォンの基本的な使い方や参加者が普段使っていて分からないことを相談しながら解決していく。</p> <p>【ねらい】 デジタル化が進む中で特に高齢者がデジタル機器の取り扱いに困らぬよう支援する。</p>	<p>【準備過程】 ソフトバンクのスマホ相談員の講習を受けた地区内住民と実施。地区内全戸配布チラシにて周知。</p>	<p>【評価と反省】 継続して来てくれる方も入れば新規も豊富なため需要を感じる。相談員の事情による継続不可が懸念される。</p> <p>【今後の方針等】 年度内は月2回実施できたが相談員の本職次第で難しくなる。継続するために担い手発掘を検討したい。</p>	

令和4年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
笹賀地区文化祭	10月27日～ 11月3日		地域事業 (文化)	成人	500人	<p>【事業内容】 地区住民の文化活動の発表の場として、作品展示会、ステージ発表会を実施。 その他にも、各種団体による催し物や抽選会などを実施。</p> <p>【ねらい】 日頃の文化活動の発表の場を設けることにより、地域の活性化、地区住民の交流を図る。</p>	<p>【準備過程】 町内公民館長、町内公民館主事にて文化祭実行委員を組織し、実行委員を中心に企画運営。</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区福祉ひろば 笹賀地区各種団体 笹賀地区内企業</p>	<p>【評価と反省】 例年、日頃の文化活動の発表の場としてステージ発表、作品展示会ともに多くの参加がある。ステージの故障もありステージ発表は中止。代わりに小中学校や地域住民・団体と連携し、演奏映像の撮影、編集、上映を行った。 (出演：14団体) 作品展示会と合わせてVRやeスポーツ体験会を開催。空港図書館とも連携し、リサイクル用の図書館除籍本を準備した。菅野小タイムカプセル開封も行った。</p> <p>【今後の方針等】 地区の一大事業として継続実施していくが、新たな出品者や出演者の掘りおこしや新しい企画等について、実行委員や関係団体と協議しながら検討していきたい。</p>	
季節の料理教室	11月16日		地域事業 (文化)	成人	8人	<p>【事業内容】 季節の郷土食の調理実習を通して、郷土の食文化、伝統文化の次世代への継承を図る。</p>	<p>【準備過程】 地区食生活改善推進員と相談し企画実施。</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区食生活改善推進員</p>	<p>【評価と反省】 季節の郷土食や伝統行事に触れる良い機会となっている。</p> <p>【今後の方針等】 地区には様々な伝統行事や郷土食があるので、内容を検討し、継続実施していきたい。</p>	
笹賀地区町内公民館対抗卓球大会	1月30日		地域事業 (体育)	成人	16人	<p>【事業内容】 地区行事として例年実施している町内公民館対抗の卓球大会。</p> <p>【ねらい】 地区住民の交流、親睦と健康維持を図る。</p>	<p>【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施。</p> <p>【共催団体等】 笹賀地区町内公民館 笹賀地区スポーツ協会</p>	<p>【評価と反省】 未経験者でもラリーが続き、皆が楽しめるように平成28年度からラージボール卓球に変更している。 今年度は町会対抗ではなく個人戦のみに変更し実施。</p> <p>【今後の方針等】 体育委員とともにより良い形での開催を検討していきたい。</p>	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ほっとスペース笹賀	2月から月2回		子育て	青少年	12人	【事業内容】 不登校支援アドバイザーと心理師による居場所支援。 【ねらい】 家や学校以外の居場所として学ぶ居場所づくり。	【共催団体等】 学校教育課学校支援室 こども福祉課	【評価と反省】 親子で来て、職員と楽しく過ごしている様子が伺えた。笹賀公民館の多目的ホールの広さを生かしたスポーツ活動等ができて良かった。 【今後の方針等】 継続していきたい。来年度は毎週実施予定。	
笹賀地区人権啓発推進協議会視察研修	2月20日		人権平和	成人	20人	【事業内容】 バスで上田市無言館、北向観音、安楽寺、常楽寺を視察。 【ねらい】 歴史から平和や人権について学ぶ。	【準備過程】 公民館で企画、実施。 【共催団体等】 笹賀地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 コロナの影響もあり、数年ぶりにバスを使用し、視察研修を行った。移動時間含め、地区内の顔合わせにもなってよかった。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
ポッチャ体験会	3月11日		スポーツ	成人	21人	【事業内容】 ポッチャを中心としたニュースポーツの学習及び体験会。 【ねらい】 老若男女、障害の有無を問わず競うことができるニュースポーツを体験し学ぶ。	【準備過程】 スポーツ協会とスポーツ推進員を中心に企画運営。 【共催団体等】 笹賀地区スポーツ協会 笹賀地区スポーツ推進員 笹賀地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 多くの人が初めてポッチャをやるといった中、競技を進めるうちに参加者は盛り上がりを見せていた。 【今後の方針等】 継続していきたい。	
育成会3地区合同会議	3月17日		公民館委員会・各種会議等	成人	9人	【事業内容】 笹賀、今井、神林の3地区の子ども育成会事業についての情報交換会。 【ねらい】 3地区の子ども育成会事業について情報交換することで、課題の共有や解決策を探る。	【準備過程】 当番地区子ども育成会が中心となり企画実施。今年度は神林地区が当番地区。 【共催団体等】 笹賀地区子ども育成会 今井地区子ども育成会 神林地区子ども育成会 今井公民館 神林公民館	【評価と反省】 各地区で育成会事業の多くが中止となっていたが、コロナ禍での対応を中心に情報交換を行った。事業を開催したい気持ちと子どもたちや保護者の健康を守りたい気持ちのバランスに各地区苦慮していた。 【今後の方針等】 地区により状況が異なるため、共有が難しい面も多少あるが、各地区の育成会が盛り上がっていくよう今後も情報交換を継続していきたい。	

令和4年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
西南ブロックゲートボール大会	3月	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【事業内容】 今井・神林・笹賀の3地区によるゲートボール大会 【ねらい】 今井、神林、笹賀3地区の親睦と交流を図る。	【準備過程】 当番地区スポーツ協会が中心となり企画実施。今年度は今井地区が当番地区。 【共催団体等】 笹賀地区スポーツ協会 今井地区スポーツ協会 神林地区スポーツ協会 今井公民館 神林公民館	【評価と反省】 毎年恒例の行事として実施しているが、競技人口の減少もあり、市民祭・市長杯にも出場できておらず中止の判断となった。 【今後の方針等】 競技団体、各地区の意向を聞きながら、継続して開催していきたい。	
笹賀地区子ども会育成会だよりの発行	3月	中止	子育て	青少年	0人	【事業内容】 子ども会育成会で開催した事業内容の記事を中心に育成会だよりの発行、町会全戸配布。 【ねらい】 子ども会育成会で実施した事業の報告および来年度以降の参加を促す。また、事業の感想について子どもに原稿依頼することで、参加したことへの思いを深めてもらうとともに、地区住民へ行事の楽しさを伝える。	【準備過程】 育成会教養部を中心に事業に参加した子どもへの原稿依頼、編集会議の開催。	【評価と反省】 例年、子どもたちの個性が良くでている文章が集まり、カラー写真も多く掲載し、行事の楽しさの伝わる内容になっている。新型コロナウイルス感染症対策のため事業がほぼ開催できず、今年度の発行も見送りとなった。 【今後の方針等】 育成会役員は1年任期の方が多いため、来年度以降も継続して発行できるよう事前説明などの準備をしていきたい。また、原稿依頼について特定の町会に偏らないようにしていきたい。	
町会親睦ソフトバレー	5月 ～ 11月	中止	スポーツ	成人	0人	【事業内容】 長年開催されてきた町会対抗ママさんバレーボールリーグの代替企画。町会親睦ソフトバレーとして令和元年度から開催。 【ねらい】 地区住民の健康増進、町会を越えた交流の場として町会親睦ソフトバレーを開催し、継続実施を目指す。	【準備過程】 町会親睦ソフトバレー運営委員会を中心に企画実施。	【評価と反省】 コロナ禍により令和2年度途中から中断。体を動かしたいとの声もあったが、ボール等による接触もあるスポーツのため開催再開については慎重な判断とした。 【今後の方針等】 コロナ禍のなかで運営委員会を開催することができていない。感染状況が安定して落ち着いてきた頃に、再開に向けて計画を立てていきたい。	

令和4年度 事業報告

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
地域の畑で松本一本ネギ栽培	通年		地域文化	青少年	40人	<p>【事業内容】 菅野小学校が総合学習の時間で地域が協力して実現した松本一本ネギ栽培。</p> <p>【ねらい】 子どもたちの学びを深め、成長へとつなげるとともに、地域住民との交流により地域への親近感や帰属意識を育む。</p>	<p>【準備過程】 地域住民の畑を借用、地域住民で水やり等の協力。</p> <p>【共催団体等】 菅野小学校 地域住民</p>	<p>【評価と反省】 子どもたちの学びと成長のため、松本一本ネギの栽培から収穫まで長期に渡り学校からの要望に応えながらサポートすることができた。地域住民と子どもたちが協力することにより、地域にとっても良い交流の場となった。</p> <p>【今後の方針等】 畑の借用や栽培指導等について他のクラスからも要望が広がっている。地域と学校の仲介役として引き続き協力していきたい。</p>	○
子どもと本の集い	通年	11回	子育て	家庭教育	220人	<p>【事業内容】 地区内未就園児親子を対象にした絵本を介した子育て支援事業。絵本の読み聞かせのほか、季節の行事に合わせた工作等を実施。</p> <p>【ねらい】 地区内未就園児親子の居場所づくり、仲間作りの場として実施。</p>	<p>【準備過程】 おはなしの会「すがのつくる」が中心となり企画・運営。</p> <p>【共催団体等】 おはなしの会「すがのつくる」 笹賀地区福祉ひろば</p>	<p>【評価と反省】 多くの未就園児親子が参加しており、交流、仲間作り、相談の場になっている。また、季節の伝統行事に合わせて工作等を実施するなかで、親が伝統文化について学ぶ機会にもなっている。</p> <p>【今後の方針等】 「すがのつくる」の自立した活動ではあるが、子育て、親育ちの場として、継続して支援していきたい。</p>	
笹賀おやこ教室	通年	2回	子育て	家庭教育	39人	<p>【事業内容】 地区内未就園児親子を対象とした奇数月実施の親子講座。お話会、夏まつりの開催、おもちゃ工作、調理実習、施設見学等を実施。</p> <p>【ねらい】 様々な体験を通して、親子でともに成長する場として実施。また、地区内未就園児親子の居場所づくり、仲間づくりの場としても期待。</p>	<p>【準備過程】 地区内親子サークル「笹賀おやこクラブてるてる」を中心に企画運営。</p> <p>【共催団体等】 笹賀おやこクラブてるてる 笹賀地区福祉ひろば</p>	<p>【評価と反省】 多くの未就園児親子が参加しており、交流、仲間作り、相談の場の一つになっている。新型コロナウイルス感染症対策のため、思うように開催できなかったが、感染状況が比較的落ち着いていた時期に事業を開催。感染対策の徹底や事前予約等により、運営役員も含めた親子皆で楽しむ姿を見ることができた。</p> <p>【今後の方針等】 引き続き協力していきたい。</p>	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館ニュースの発行	通年		地域文化	成人		<p>【事業内容】 毎月公民館ニュースを発行、地区内全戸配布している。松本市公式ホームページに同内容のPDFデータを公開している。</p> <p>【ねらい】 公民館事業等の地区内への周知を図る。</p>	<p>【準備過程】 公民館で紙面を考え、発行</p>	<p>【評価と反省】 毎月全戸配布で発行しており、公民館事業の周知方法の一つとなっている。沢山ある配布物の中で埋もれてしまったり、町会未加入者等の配布物が届かない方の増加などの課題もある。市ホームページへの掲載も行っているが、周知方法の更なる充実を検討していきたい。</p> <p>【今後の方針等】 一つの周知方法として継続発行していきたい。 情報をどんな方に伝えたいのかを考え、事業により対象にあった周知方法を検討していく必要があると感じる。</p>	
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	63人	<p>【事業内容】 館報編集委員会を開催し、笹賀公民館報紙面の企画、校正を行う。</p> <p>【ねらい】 地域の問題を掘り出し地区住民に知ってもらうことで、地域に興味や親近感を持ってもらう。あわせて公民館事業の報告等も行う。</p>	<p>【準備過程】 館報編集委員会を中心に、紙面の企画および校正を行う。</p>	<p>【評価と反省】 館報編集委員の自主性により、紙面の企画校正を行った。編集委員は一本釣りをお願いしており、幅広い情報収集のためにも各町会から新規委員の勧誘が必要。</p> <p>【今後の方針等】 地域の情報を積極的に入手し、紙面のマンネリ化が起きないように心掛けていきたい。また新編集委員の掘り出しも継続して行っていきたい。</p>	
体育委員会	通年	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	48人	<p>【事業内容】 体育委員会を開催し、地区体育行事の企画、運営を行う。ウォーキング大会、球技大会、グラウンドゴルフ大会、卓球大会等。</p> <p>【ねらい】 体育委員で地区スポーツ大会の要項や参加申し込み方法等について確認および協議し、当日運営がスムーズに進むよう準備する。</p>	<p>【準備過程】 公民館体育委員を中心に企画実施。</p>	<p>【評価と反省】 コロナ禍における体育事業の開催可否・内容について対面で会議を行った。 ここ数年行われていなかった中、卓球大会を実施できたことは大きかった。</p> <p>【今後の方針等】 引き続き体育委員会を開催し、各事業の運営を円滑に行えるようにしたい。また公民館ニュースの内容変更にも余裕をもって対応できるよう、委員会の開催日に注意したい。</p>	

笹賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化祭実行委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	18人	<p>【事業内容】 文化祭実行委員会を開催し、笹賀地区文化祭の企画、運営を行う。</p> <p>【ねらい】 文化祭実行委員で協力しあいながら、地区住民の力でより良い文化祭を開催する。</p>	<p>【準備過程】 公民館文化委員、図書視聴覚委員を中心に企画実施。</p>	<p>【評価と反省】 コロナ禍での文化祭開催方法について、委員を集めて検討した。公民館主体で企画運営を行った。地域全体で作り上げていく意識をもっと大切にすべきだった。</p> <p>【今後の方針等】 多くの地区住民が楽しみにしている文化祭を絶やすことなく継続していけるように、地区住民が協力しあい運営できるよう助力していきたい。</p>	

令和4年度 事業報告の概要

芳川公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、人気講座・新規講座を考え、通常の生活を取り戻せるような工夫をし、事業を展開する。 ・デジタル化が進む社会情勢に対応するため、デジタルの格差の解消を進める。 ・土地区画整理事業等による人口増を始め、松本国際高等学校開校や村井駅再整備など地域が様変わりしてきている現状と合わせ、子どもが多いという特色がある。 ・地域住民が1万7000人を超えるため、マスコミ等も活用した地区の活動の周知等情報の発信に力を入れる。 ・地域で子どもを育てることに力を入れ、学校・地域と連携し、長期休暇の居場所づくりとして夏休みの体験講座や公民館の開放事業を行う。 ・次世代や新住民に公民館や地域を知ってもらう活動をする。 ・小学校での活動を地域に知ってもらうため、文化祭での展示を充実する。 ・既存の住民と新しい住民が一体となれるような事業の展開や、芳川地区をより深く知る講座の開催をし、自分の住む地域に愛着を持ってもらうことを目指す。 										<ul style="list-style-type: none"> ・事業や講座など、経常的なものについては、三密を回避する工夫をし、展開ができた。一方で、人数制限を設けた講座もあり、学習の意欲をそいでしまった。 ・地区内小学生向けの夏休み講座を展開した。申込は二次元コードを活用し、保護者の同伴も伴わない講座にし、公民館の活動に気軽に参加できるものとした。 ・筑摩野中学校との連携事業で長期休暇の公民館開放を行った。自主学習の場として継続的に参加する生徒もおり、公民館が学校に根付いた活動ができている。 ・デジタル化推進のため、スマートフォンの個別相談会やeスポーツ体験会を実施した。 ・通常の生活を取り戻せるよう1月から7つの新規講座を実施、シニア世代を対象にした講座でも二次元コードからの申込もあった。 ・主体性を大事にし、地域からの声を逃さず、黒子となり、地域の力を活かしていきたい。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	4	5	3	0	12	11	0	2	4	1	3	8	6
延べ参加人数	53	518	507	194	0	629	728	0	140	162	350	289	520	811

令和4年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
春のソフトバレーボール祭	4月10日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 芳川地区ソフトバレー愛好家による親睦大会 【ねらい】 試合をとoshi、交流を深める。	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 次年度も実施予定。また体協役員に当日の運営を全てお願いしていく予定。	
ニューススポーツ体験会	5月8日	中止	スポーツ	その他	0人	【内容】 ニューススポーツの体験会 【ねらい】 気軽にできるニューススポーツを地区の方々に知ってもらう。 地区の体育大会で正式種目として導入をしたため、各町会の研鑽の場としても活用してもらう。	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 気軽に身体を動かす機会としてニューススポーツを取り入れたい。	
町内公民館出前講座	5月26日 12月15日	2回	福祉健康	高齢者	50人	【内容】 運動不足解消と地域の話 【ねらい】 新型コロナウイルス感染症の影響で身体を動かす機会の減少、人とのコミュニケーションをとる機会の減少を解消するもの	【準備過程】 場所・講師の日程調整、内容確認 【共催団体】	【評価と反省】 住民からは地区公民館に行くのは遠いが町内公民館なら歩いて行ける、館長の話はためになると好評いただいた。 【今後の方針】 地区公民館だけではない活動を継続して行いたい。	
芳川地区人権啓発推進協議会視察研修	5月27日	1回	人権平和	成人	13人	【内容】 人権学習の視察 【ねらい】 人権問題を考えていただく機会とした視察研修	【準備過程】 視察先について協議会と事前打合せを行い視察先を決定 【共催団体】 芳川地区男女共生を進める会	【評価と反省】 小諸市の藤村記念館・上田市無言館を視察。藤村記念館では館長のお話を熱心に聞く姿が見受けられた。 【今後の方針】 人権学習は視察が恒例となっているが、視察にこだわらず、時代に即した内容を行っていきたい。	
よしかわスポーツひろば	7月3日	1回	地域事業(体育)	その他	76人	【内容】 芳川地区住民のオープン参加競技 【ねらい】 コロナ禍においても、できる事業として地区住民体力向上及び交流の場と考える。	【準備過程】 体育協会および体育委員会で内容を協議 【共催団体】 芳川町会連合会 芳川体育協会	【評価と反省】 町会対抗体育大会という形ではなく、コロナ禍でもできる事業として昨年に引き続き参加者からは好評いただいた。 【今後の方針】 町会対抗で親睦を深めることもよいが、オープン参加による交流も踏まえ今後の事業を考える。	

令和4年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
ふれあいウォーク 松本の史跡&蔵&水をめぐる	7月6日 7月12日 7月13日	3回	福祉健康	成人	30人	【内容】 季節を感じながら、市街地のウォーキングを実施 【ねらい】 歩きながら松本市の歴史等を学ぶ。また体力増進を図る。マンネリ気味のウォーキングイベントの改善	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 地区外へのウォーキングとしたことで、参加者多数の申込があり、好評いただいた。 【今後の方針】 異動の時期と重なるため、毎年開催が難しい。マンネリ化しないウォーキングイベントの実施を考える。	
奈川地区との地域交流事業	7月25日 3月11日	2回	趣味教養	成人	55人	【内容】 奈川地区への視察を実施。歴史散策やイベント参加 【ねらい】 奈川地区と芳川地区の交流	【準備過程】 【共催団体】 奈川地区地域づくりセンター 奈川公民館	【評価と反省】 参加者から好評であった。市内でも知らないことが多いとの声があった。 【今後の方針】 今後とも交流を続けていきたい。	
芳川バドミントン交流会	7月31日 12月18日	2回	スポーツ	その他	36人	【内容】 バドミントンおよびファミリーバドミントンの交流会 【ねらい】 地区住民体力向上及び交流の場と考える。	【準備過程】 体育協会および体育委員会で内容を協議 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 初心者も気軽に参加できるよう道具を整え、教える環境となった。 【今後の方針】 継続的に行い、バドミントンの競技人口を増やしていきたい。	
子ども向けおたのしみ会	8月	中止	子育て	青少年	0人	【内容】 【ねらい】 園児や小学校低学年を対象に親子一緒に楽しんでもらうおたのしみ会	【準備過程】 【共催団体】 芳川地域づくり協議会 芳川各保育園 芳川各幼稚園	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 各種団体と連携して協議したい。	
スマイル山雅ウォーキングサッカー教室	8月21日	1回	スポーツ	その他	13人	【内容】 誰でも楽しめる歩くサッカー教室を山雅スタッフから学ぶもの 【ねらい】 体力増進を図り、また山雅との交流をするもの	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 無理なく安心して参加者がサッカーを楽しめた。 【今後の方針】 市内各地で行われているため、機会があれば行いたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第45回東南ブロック球技大会	8月28日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【内容】 バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の6競技による6地区対抗 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 東南ブロックでの主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。	
丸の内病院出前講座 血圧と心疾患/上手な減塩方法のおはなし	9月9日	1回	趣味教養	成人	34人	【内容】 丸の内病院の先生や管理栄養士のおはなし 【ねらい】 普段の生活に学びが活かせて、より健康的に過ごしてもらおうもの	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 先生のお話はなかなか聞くことができないので貴重な時間となった。 【今後の方針】 丸の内病院と引き続き連携していきたい。	
第28回芳川地区マレットゴルフ大会	9月11日	1回	スポーツ	成人	34人	【内容】 芳川地区住民によるマレットゴルフの親睦大会 【ねらい】 地区住民同士の交流、親睦を目的とするもの	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 地区内から多くの参加者が集まった。 【今後の方針】 交流、親睦の場として、次年度も実施したい。	
ふれあいウォーク	10月8日	1回	福祉健康	その他	38人	【内容】 安曇野市の明科廃線路のウォーキングを実施 【ねらい】 歩きながら近隣の歴史等を学ぶ。また体力増進を図る。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 毎年恒例の芳川ふれあいウォーキングを実施した。 【今後の方針】 マンネリ化しないウォーキングイベントの実施を考える。	
第4回芳川公民館長杯 野溝緑地オープン・マレットゴルフ大会	10月14日	1回	スポーツ	成人	33人	【内容】 生涯スポーツであるマレットゴルフを楽しむ機会を提供することにより親睦や体力向上を図る。 【ねらい】 地区内の参加者との交流の場として考える。	【準備過程】 体育協会マレットゴルフ役員と野溝緑地マレットゴルフ愛好会の協力により景品等準備 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 地区内から多くの参加者が集まった。 【今後の方針】 駐車場に限りがあるため、関係団体と調整をして万全の体制を整えたい。	

令和4年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
芳川児童センターまちあるき	10月23日	1回	地域文化	青少年	30人	【内容】 芳川児童センターの児童と村井宿のまちあるきを実施 【ねらい】 児童に地域の歴史を知ってもらう。	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 まちあるきをしながら解説をすることでより身近に地域を感じてもらうことができた。センターからも好評であった。 【今後の方針】 地域に興味を持つ事業を展開していきたい。	
V S 芳川マッチ	10月23日	中止	地域事業 (その他)	青少年	0人	【内容】 芳川地区の芳川っ子が一堂に集まり、中学生の指導のもと、レクリエーション遊びを行う。 【ねらい】 地区内で3つの小学校に通う子どもの交流の場として考える。	【準備過程】 筑摩野中学校生徒と町別児童会の子ども達が自分たちで遊ぶ内容等を決める。 【共催団体】 芳川地域づくり協議会 芳川地区子ども会育成会 芳川小学校PTA 開明小学校PTA C Sふたむら	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 コロナ禍でも子どもたちが楽しめる事業を考えていく。	○
令和4年度芳川地区活動発表会	10月31日 ～5日 (3日は除く)	1回	地域事業 (文化)	成人	350人	【内容】 芳川地区文化祭の代替事業 【ねらい】 各サークルや小中学校の日頃の活動の成果発表の場とする。文化活動を通して地区住民の輪を広げ絆を深めることを目的とする。	【準備過程】 文化委員と協力して計画 【共催団体】 芳川地区文化祭実行委員会 芳川地区福祉ひろば 芳川公民館利用団体 C Sふたむら	【評価と反省】 実行委員会を開き、3密を避けつつ、文化活動を実施した。 【今後の方針】 引き続き、コロナ禍における文化祭を考えていきたい。	○
楽笑レクゲーム	11月20日	1回	地域事業 (体育)	その他	50人	【内容】 地区の皆さんが気軽に参加できる軽運動の集い 【ねらい】 楽しく笑いながら気軽に参加できるレクリエーションで健康・体力作りを目指す。	【準備過程】 芳川地域づくり協議会の健康と福祉部会が内容等を検討 【共催団体】 芳川地域づくり協議会 芳川体育協会	【評価と反省】 レクリエーションを通じ、参加者同士での親睦を深めるものとなった。 【今後の方針】 多世代参加イベントとして、一般参加者を増やせるような声かけや取組を行っていきたい。	

令和4年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
しめ縄づくり事前講習	11月29日	1回	地域文化	成人	17人	【内容】 地域の伝統であるしめ縄作りを体験してもらう。コロナ禍のため、今まで参加した方に限定し実施 【ねらい】 正月飾りであるしめ縄づくりを通して地域の伝統文化の継承を目的とする。また、参加者には芳川小学校のしめ縄作り講習会のボランティアを担ってもらう。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 地区内に呼びかけを行い、公民館活動へ初めて参加する方もいた。 【今後の方針】 ボランティアの養成だけではなく、新たな公民館活動参加者を増やすものしたい。	
マレットゴルフ交流会	12月5日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 東南部6地区合同でマレットゴルフ大会を開催 【ねらい】 他地区との交流を深める。	【共催団体等】 寿、寿台、内田、松原、芳川地区公民館と共催	【評価と反省】 会場の都合により中止とした。 【今後の方針等】 他地区との交流、健康増進に繋がる取り組みであるため、今後も継続したい。	
しめ縄づくり講習会	12月9日	1回	地域文化	青少年	147人	【内容】 毎年芳川小学校5年生を対象に行っているしめ縄作り教室 【ねらい】 正月飾りであるしめ縄づくりを通して地域の伝統文化の継承を目的とする。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 クラスごと地域ボランティアが実演し、子ども達がしゃもじを作成した。しめ縄作りに興味を持ってもらった。 【今後の方針】 伝統文化の継承は地域課題のため次年度も実施していきたい。	○
冬のソフトバレーボール祭	12月11日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 芳川地区ソフトバレー愛好家による親睦大会 【ねらい】 試合をとおり、交流を深める。	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 次年度も実施予定。また体協役員に当日の運営を全てお願いしていく予定。	
男版フライパン燻製にチャレンジ	12月20日	1回	趣味教養	成人	4人	【内容】 参加者で燻製を作ってみる。 【ねらい】 男性に公民館に興味を持ってもらうとともに、つながりづくりをするもの	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 参加者数は少なかったものの、帰宅後やってみたという声もあった。 【今後の方針】 男性の公民館講座の参加について引き続き考えていきたい。	

令和4年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
緑のインテリア～苔玉づくり～	1月23日	1回	趣味教養	成人	11人	【内容】 苔玉の講習会 【ねらい】 苔玉に親しみを持ってもらい、新たな趣味として学んでもらうもの	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 参加者が集中して行い、講師との交流も行っていった。 【今後の方針】 今後も趣味が増えるような講座を考えていきたい。	
樹脂粘土オリジナルマグネットを作ろう	1月24日	1回	趣味教養	成人	21人	【内容】 樹脂粘土を使ったマグネットづくり 【ねらい】 新たな趣味として学んでもらうもの	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 親子を対象にしたが、主にシニア世代が参加する講座となった。 【今後の方針】 今後も趣味が増えるような講座を考えていきたい。	
シニア向けスマホ活用講座	1月26日 2月 1日 2月17日	3回	趣味教養	高齢者	31人	【内容】 スマートフォンの操作説明 【ねらい】 地域のデジタル化の推進	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 スマホの使い方を覚えたい住民は多数おり、講師だけでは対応できなく、職員が教えることが多かった。 【今後の方針】 ニーズが高いスマホの講座は次年度以降も定期的に続けていく。	
もちつき大会	1月	中止	子育て	家庭教育	0人	【内容】 毎年恒例のもちつき大会 【ねらい】 地区住民を対象に公民館工作室で餅つき。伝統文化の継承・また住民間の交流を目的として行う。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区福祉ひろば	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。 【今後の方針】 毎年好評をいただいているため、次年度は実施したい。	
本場の肉まんづくり講座	2月21日	1回	趣味教養	成人	11人	【内容】 中国出身の方を講師に招いた肉まんづくり講座 【ねらい】 新たな趣味として学んでもらうもの	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 皮から作る肉まんを作り、参加者も熱心に説明を聞いていた。 【今後の方針】 今後も趣味が増えるような講座を考えていきたい。	

令和4年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
藤のお皿・かごづくり講座	2月24日 3月 3日	2回	趣味教養	その他	25人	【内容】 藤を使った工作講座 【ねらい】 新たな趣味として学んでもらうもの	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 地区内講師との交流も見られた。 【今後の方針】 今後も趣味が増えるような講座を考えていきたい。	
ハツラツ手のお手入れ講座	3月8日	1回	趣味教養	その他	14人	【内容】 大名町の田立屋さんから講師を招いた、ハンドケアの講座 【ねらい】 日常生活にプラスを加えるもの	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 日々できるハンドケアを学び、楽しい雰囲気講座ができた。 【今後の方針】 今後も住民が興味がわくような講座を考えていきたい。	
入園グッズ製作お手伝い講座	3月14日	1回	子育て	家庭教育	11人	【内容】 保育園、幼稚園の入園を控えた子どもを持つ親を対象に、入園グッズ製作のお手伝いをする講座 【ねらい】 自宅で作るよりも集中して作り、4月に備えてもらうもの	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 子どもたちがミシンに近づかないよう、遊びを行い、親が安心して作製できる環境が作れた。 【今後の方針】 今後も住民が興味がわくような講座を考えていきたい。	
芳川地区人権啓発ふれあいコンサート	3月19日	1回	人権平和	その他	40人	【内容】 人権啓発ふれあいコンサートと題し、楽団ケ・セラの皆さんを招いてコンサートを実施 【ねらい】 障がいを持つ方々が音楽を通じて自立を目指すケ・セラの活動を通じて、障がいを持つ人への理解と人権問題を身近に感じてもらう。	【準備過程】 楽団ケ・セラと協力して計画 【共催団体】 芳川地区男女共生を進める会 芳川地区福祉ひろば NPO法人ケ・セラ	【評価と反省】 3年ぶりの開催となった。参加者からは、久しぶりに聴けてよかったとの声があった。 【今後の方針】 今後も人権啓発事業として考えたい。	
春休みけん玉教室	3月21日	1回	趣味教養	その他	44人	【内容】 芳川まるっと青空市の一事業として、けん玉先生に来てもらい、パフォーマンスとミニゲームをする。 【ねらい】 多世代の方にパフォーマンスやゲームをとおして、けん玉の認知度を高めるとともに技術の向上を目指すもの	【準備過程】 【共催団体】 芳川地域づくり協力隊 芳川いきいきプロジェクト	【評価と反省】 パフォーマンスの節々で歓声があがり、先生に見てもらうことで技術の向上もできた。 【今後の方針】 今後も住民が興味がわくような事業を考えていきたい。	

令和4年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
春休みファミスポDAY	3月26日	1回	地域事業 (体育)	その他	36人	【内容】 春休みの期間に家族や仲間ですポーツを楽しんでもらう。 【ねらい】 親子のふれあいや友人の交流を通じて地域の絆作りと健康増進を図る。	【準備過程】 公民館にて企画、運営 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 多世代で交流のできる事業となった。 【今後の方針】 来年度も春休みの居場所の観点から実施予定。	
芳川地区セーフティマップ作成	3月	1回	その他	青少年	20人	【内容】 芳川小学校の通学路や安心の家の情報を載せたマップの作成 【ねらい】 子どもを守る安心の家の通学路マップを作成し、小学校1年生や転入生に配布する。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区防災防犯協会 芳川小学校 芳川小学校PTA	【評価と反省】 今年も各種協力団体と連携してスムーズにマップが作成できた。 【今後の方針】 1年生の保護者からも好評なので、次年度も作成していきたい。	○
食育学級	4月～12月	9回	子育て	家庭教育	202人	【内容】 食についての思いを深め、家庭での手作りの大切さに気付いてもらう。 【ねらい】 じゃがいもや野沢菜等を植える、育てる、収穫、調理を通して、食文化への関心を高め、自分で収穫した野菜を使い地元の伝統食の継承を目的とする。	【準備過程】 【共催団体】 芳川保育ゆりかご会	【評価と反省】 食育と農育の両面を持ち、参加者から好評であった。 【今後の方針】 次年度も内容の更なる充実を図り、実施していく。畑で土に触れ合う機会として、作業を子どもたちと保護者にやってもらうことを増やし、より興味を持ってもらうようにする。	
スマホ初心者お悩み相談	5月～1月	31回	趣味教養	高齢者	17人	【内容】 高齢者のスマホのお悩みごとを解消する個別相談 【ねらい】 デジタルデバイドの解消、スマホを身近なものだと捉えてもらう。	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 申込者がスマホ講座の講師補助として、参加できた。 【今後の方針】 要望があれば、次年度も考えたい。	
芳川シニア短期大学	5月～3月	21回	趣味教養	高齢者	362人	【内容】 高齢者の生きがいづくり・仲間づくりを求めた学習講座 5月～3月 毎月2回 (木曜日の午後に実施) 分散型開催、同じ内容を2日程	【準備過程】 昨年の参加者人数や現在の状況をもとに講師を決定 【共催団体】	【評価と反省】 新しい参加者が増え高齢者の生きがいづくりとして定着。また男性の参加者も多く、人気の講座となっている。 【今後の方針】 内容を考え次年度も実施したい。	

令和4年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
百歳体操とレクゲーム	5月～8月	15回	福祉健康	高齢者	400人	【内容】 芳川地区住民の健康増進を目的とした講座を開催 5月～8月 (月曜日の午前に実施)	【準備過程】 スポーツ推進員と協議し、内容などを決定 【共催団体】	【評価と反省】 コロナ禍において、フレイル予防のため高齢者が運動できる機会となった。9月からはサークルになり、毎週継続的に行っている。 【今後の方針】 サークルの支援を行う。	
プレイスクールぽかぽか	5月～3月	11回	子育て	家庭教育	294人	【内容】 未就園児を対象とした親子の講座 【ねらい】 体を動かしたり、読み聞かせを聞いたり、あらゆる経験を通し、感性豊かな成長を目的とすると同時に、親同士の交流・情報交換の場を提供している。	【準備過程】 【共催団体】 芳川民生児童委員協議会 芳川保育ゆりかご会	【評価と反省】 昨年度より、参加する人数が増えた。芳川地区の親子の居場所となるような講座を展開したい。 【今後の方針】 次年度も継続実施したい。工夫をして、親子で楽しんでもらえる時間としたい。	
第45回ソフトボールリーグ戦	5月～9月	10回	スポーツ	成人	360人	【内容】 ソフトボールのリーグ戦 【ねらい】 芳川地区5町会のソフトボールチームによる交流戦	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 例年の2周り10試合のリーグ戦に戻した。数年ぶりに全日程を行えた。 【今後の方針】 歴史あるリーグ戦なので継続していきたい。	
第22回芳川ソフトバレーボールリーグ戦	5月～11月	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 ソフトバレーボールのリーグ戦の代替として実施 【ねらい】 芳川地区内外のソフトバレーボール愛好6チームによる交流戦	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 芳川体育協会と協議し、中止とした。 【今後の方針】 歴史あるリーグ戦のため、次年度以降も継続していきたい。	
芳川バレーボール交流親睦試合	6月～12月	7回	スポーツ	女性	252人	【内容】 バレーボールのリーグ戦の代替として実施 【ねらい】 芳川地区内外のバレーボール愛好家3チームによる交流親睦試合	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 コロナ禍において、リーグ戦の開催を断念し、交流親睦試合とした。 【今後の方針】 歴史あるリーグ戦のため、次年度以降も継続していきたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
夏休み特別講座	7月～8月	9回	地域事業 (その他)	青少年	115人	【内容】 信大出前実験講座、はしづくり、eスポーツ体験会、はたおり体験教室の4つの講座 【ねらい】 夏休みに地区内の小学4～6年生に様々な体験をしてもらう。	【準備過程】 講師との日程調整 【共催団体】 芳川地域づくり協議会 芳川地区子ども会育成会	【評価と反省】 二次元コードを活用した申込にし、働き世代の保護者が気軽に申し込めるものとした。申込者多数で定員になった講座もあった。 【今後の方針】 子どもの居場所づくりや新体験をとおり、視野を広げる取り組みを継続的にしていきたい。	
公民館開放(夏・冬・春)	通年	32回	地域事業 (その他)	青少年	174人	【内容】 筑摩野中学校生徒が学習をするために芳川公民館の会議室を提供した。 【ねらい】 Wifi環境など整った場所を提供し、学生の学習を支援する。	【準備過程】 公民館長がコーディネーターとして計画の集約及び実施 【共催団体】 CSふたむら運営委員会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行いながら、生徒の学習する場を提供できた。 【今後の方針】 引き続き、新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら計画したい。	○
日本語講座	毎週木曜日	34回	その他	その他	120人	【内容】 外国人向けの日本語教室 【ねらい】 毎週1回、芳川地区在住の外国籍の方を対象に日本語教室を開催。地域内での外国籍の方の人材発掘と交流を目的としている。	【準備過程】 芳川地区のボランティアの方に講師をお願いしている 【共催団体】	【評価と反省】 松本市内での日本語教室の数が少なく、最近は地区外の方も来ている。ボランティアの数が増えたが、受講者の方が減っている。 【今後の方針】 今後も地区内外問わず、外国籍の方の学習補助の教室として行っていきたい。また受講者・ボランティア募集にも力をいれていきたい。	○
あいさつ3・3運動	随時	1回	公民館委員会・ 各種会議等	青少年		【内容】 あいさつ運動 【ねらい】 毎月3のつく日に、水色のサポーターベストを着て小学生の通学時にあいさつをすることによって、世代間を超えた交流を図る。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区子ども会育成会	【評価と反省】 サポーターの高齢化により、発足当時よりサポーター数が減少してしまった。 【今後の方針】 今後は地区内の回覧など積極的にサポーターを募集し、活動を推進したいと考えている。	

令和4年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
芳川公民館運営委員会	5月19日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	18人	【内容】 地区役員へ芳川公民館の2年度の事業報告と3年度の事業計画案を説明 【ねらい】 公民館事業の推進及び委員会活動の活性化を図る。	・芳川町会連合会 ・町内公民館長 ・芳川小学校校長 ・芳川小学校PTA ・筑摩野中学校校長 ・筑摩野中学校PTA ・芳川地区子ども会育成会長 ・民生児童委員協議会長 ・健康づくり推進員会長 ・交通安全協会支部長 ・農村女性委員長 ・体育協会理事長 ・館報編集委員長	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症の対策をしつつ、開催。 【今後の方針】 次年度以降も今回の反省を踏まえ、講座や公民館運営を円滑に行うため必要に応じ開催する。	
町内公民館長会	随時	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	15人	【内容】 町内公民館の活動報告等 【ねらい】 芳川地区の町内公民館活動への助言等	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 町内公民館との連携については、情報交換・交流等積極的に連携を心掛けていますが、連携が不足している部分が多い。 【今後の方針】 次年度は連携を強化できるよう町内公民館長会の回数を増やすなど交流の場を増やしたい。	
文化・図書視聴覚委員	8月	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	27人	【内容】 文化祭準備 【ねらい】 文化祭実行委員会と協力して、芳川地区文化祭の準備を行う。	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区文化祭実行委員会	【評価と反省】 文化祭を新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から活動発表会に変更したため、1回の開催とした。 【今後の方針】 コロナ禍における文化祭を考えていきたい。	

令和4年度 事業報告

芳川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
館報編集委員会	毎月1回	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	77人	【内容】 館報芳川版の発行。毎月1回開催	【準備過程】 【共催団体】 芳川地区館報編集委員会	【評価と反省】 編集委員の都合がなかなか合わず取材に行けないケースが目立ち、1人の負担が大きくなるがあった。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から縮小開催期間あり（9・2・3月） 【今後の方針】 全ての編集委員に楽しみながら活動を行ってもらえるような体制を築いていきたい。	
体育委員会	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	33人	【内容】 各種体育事業の企画・運営 【ねらい】 体育委員会活動の活性化を図る。	【準備過程】 【共催団体】 芳川体育協会	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からイベントやそれに伴う会議が中止となり例年よりも活動が減った。 【今後の方針】 コロナ禍におけるスポーツについて考える期間となり、次年度以降に活かしたい。	
サークル活動支援	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	150人	【内容】 公民館利用サークルの活動支援 【ねらい】 公民館利用サークルへの運営補助・助言等	【準備過程】 【共催団体】	【評価と反省】 本年度は活動するにあたって、公民館の不足品や故障しているものを整備し、利用しやすいように準備した。 【今後の方針】 利用者が利用しやすいように館内の整備につとめ、利用サークル間の交流も深められるよう配慮したい。	
芳川地区関係団体活動の支援	随時	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	200人	【内容】 芳川地区関係団体活動支援 【ねらい】 芳川地区関係団体の活動が、円滑に行えるように支援する。	芳川地区人権啓発推進協議会 芳川地区男女共生を進める会 芳川地区福祉ひろば推進協議会 芳川地区子ども会育成会	【評価と反省】 関係団体の活動支援をスムーズに行えた。 【今後の方針】 これからも関係団体が円滑に活動できるよう支援する。	

令和4年度 事業報告の概要

寿公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 誰もが親しみやすく、気軽に訪れることができる公民館にする。 利用者同士がルールを守り、気持ちよく利用できる公民館にする。 (公共の施設であるという認識) サークル活動ばかりでなく、文化祭など公民館の全体行事に、利用者自らが積極的に参加してもらう体制作りを進める。 情報文化の発信基地としての機能をさらに充実させる。 公民館の持つ学習機能を発揮し、寿地区地域づくり協議会専門部会で抽出した地域課題に対して、講座や講演会など学習につなげていく。 地域住民の絆を深め、顔の見える地域づくりを目指す。 学校応援団、CSふたむらの活動を通じて、地域の子どもを中心とした地域づくりを推進する。 	<ol style="list-style-type: none"> コロナ禍であったが、気軽に利用できる公民館として住民の方に利用いただけた。 コロナ感染防止対策による公民館の使用ルールを守って利用いただけた。 コロナ禍の中、内容や方法を工夫しながら利用者の皆さんには作品展示・動画放映という形で文化祭に参加いただけた。 次年度も公民館だよりや公民館報等情報を引き続き発信し、デジタル化を進め地区全域に情報が行渡るよう機能を充実させたい。 専門部会や地域づくり学習会等にて部会員同士で地域課題に関する学習、情報共有、意見交換を行えた。 講座や事業をきっかけに住民同士の交流を促進することができた。次年度も地域住民の幅広い交流につながっていくような計画を進めていきたい。 コロナ禍のため情報共有できる場が少なかった。学校や福祉ひろば、その他関係団体との連携を密に行い、充実したCS活動につなげていきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	3	3	4	1	6	4	0	3	4	3	1	5	4
延べ 参加人数	23	52	157	168	53	112	860	0	836	247	147	1528	634	2396

令和4年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館運営委員会	4月20日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	23人	【事業内容】 寿公民館事業における前年度事業報告及び新年度事業計画の検討。 【ねらい】 寿公民館活動の推進を図る。	【組織構成】 地区役員に委嘱	【評価と反省】 現在は報告が中心となっている。 【今後の方針】 地区内の多くの役員が集まる機会であるため有効活用できるような内容を検討する。	
春の撮影講座	4月21日	中止	趣味教養	成人	0人	【事業内容】 野沢温泉村にて撮影講座を実施。撮影後は参加者の撮影写真を公民館に展示。 【ねらい】 写真撮影の技術力向上と住民の作品展示を促す。	【主催】 視聴覚委員会、寿公民館 【準備過程】 視聴覚委員会が企画	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。	
ウォーキング講座 「春の諏訪ウォーキング」	5月19日	中止	福祉健康	成人	0人	【事業内容】 体育委員を講師として県内でウォーキングを開催。 【ねらい】 ウォーキングを通じて健康増進と住民相互の親睦を図る。	【主催】 体育委員会、寿公民館 【準備過程】 体育委員会が企画	【評価と課題】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。	
第2回寿地区ウォーキング大会	5月22日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【事業内容】 最大30名でのウォーキング大会を実施。 【ねらい】 寿地区を歩くことで体力向上に努め、地区内をより良く知り、地区住民相互の親睦と融和を図る。	【主管】 寿地区ウォーキング大会実行委員会 【主催】 寿スポーツ協会、寿公民館 【準備過程】 寿スポーツ協会が主となり、準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。	
寿地区地域づくり学習会	6月8日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	60人	【事業内容】 講師の方から寿地区や地域づくりについて学ぶ勉強会を開催。 【ねらい】 町会長、町内公民館長、民生児童委員等の方々に参加いただき、地域づくりについての理解を深める。	【主体組織】 寿地区地域づくり協議会 【準備過程】 地域づくり推進会議、部会長、小委員会が企画	【評価と反省】 各部会からあがってきた課題や提案などを講座や事業に展開した。 【今後の方針】 次年度も引き続き情報共有・課題解決に向けて開催したい。	
ウォーキング講座	6月9日 6月15日 6月29日 9月7日 9月21日 9月29日	6回	スポーツ	成人	72人	【事業内容】 正しい準備運動や歩き方を学び、寿地区内をウォーキング。 【ねらい】 運動することで健康増進と住民同士の親睦を深める。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 健康増進につなげることができた。 【今後の方針】 次年度も計画し、開催したい。参加者が固定化されているため新規参加者を増やしたい。	

令和4年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
寿地区地域づくり協議会専門部会	6月15日 8月24日 12月14日 1月18日	4回	公民館委員会・各種会議等	成人	224人	【事業内容】 寿地区地域づくり協議会において総務・福祉・子どもの専門部会をつくり、実践的な取り組みを行う。 【ねらい】 各部会ごとに意見交換や学習会を通じて地区内の課題解決を推進する。	【主体組織】 寿地区地域づくり協議会 【準備過程】 地域づくり推進会議、部会長、小委員会にて企画	【評価と反省】 地区の役員が地域についての学び、意見交換を行う貴重な機会となった。 【今後の方針】 次年度も引き続き、各部会毎に実践的な取り組みができるよう情報共有・課題解決に向けての意見交換を図る。	
寿地区子育て講座	6月28日 7月11日	2回	子育て	成人	26人	【事業内容】 子どもの事故防止、救命救急を内容とした子育て講座を実施。 【ねらい】 子どもに対する幅広い知識を多くの人に身に付けてもらうとともに地区内で託児ボランティアとして活動してくれる人材を募集。	【主催】 寿地区地域づくり協議会子ども部会、寿地区福祉ひろば、寿公民館 【準備過程】 寿ペンギンの会で企画、寿地区福祉ひろばで実施	【評価と課題】 子育て世帯に事故防止など伝えることができた。 【今後の方針】 来年度も要望があれば実施したい。	
第75地区球技大会	7月3日	1回	地域事業(体育)	成人	247人	【事業内容】 野球、排球、ソフトバレーボール(39歳以下、40歳以上)、ソフトボール、卓球の5種目による町会対抗の球技大会を実施。 【ねらい】 地区住民相互の親睦及び健康増進を図る。	【主管】 寿地区球技大会実行委員会 【主催】 寿スポーツ協会、寿公民館 【協力】 【準備過程】 寿スポーツ協会が主となり、準備、実施	【評価と反省】 怪我人がほとんどおらず、安全に競技を行うことが出来た。 【今後の方針】 次年度以降も怪我防止のための準備運動の徹底及び声かけを図る。	
松本歳時記	7月14日 9月13日 11月17日	3回	地域文化	成人	49人	【事業内容】 松本地方に伝わる行事の姿や由来、四季折々に伝承されている行事の内容について学ぶ。 【ねらい】 地域行事、伝統について学び、伝統の継承を促す。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 地区住民に松本の伝統について学んでいただけた。 【今後の方針】 次年度も内容を変え、開催したい。	
スマートフォン講座	7月21日 7月25日 7月29日 9月8日 9月13日 10月13日	6回	趣味教養	成人	69人	【事業内容】 講師指導のもと、スマホの使い方について学ぶ。 【ねらい】 スマホについて学ぶことでコロナ禍での交流の幅を広げたり、生活をより豊かにしていただく。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 スマートフォンの使い方からアプリの使い方まで幅広く学んでいただけた。 【今後の方針】 次年度も要望が多いため実施したい。	

令和4年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
令和4年度公民館利用者一斉清掃	7月23日 3月4日	2回	環境	成人	53人	【事業内容】 公民館利用サークルの顔合わせ、公民館内や敷地の清掃を実施。 【ねらい】 利用サークル同士の交流や情報交換を促し、公民館管理運営の向上を図る。	【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行った上で開催し、公民館内や敷地の環境整備をすることができた。 【今後の方針】 次年度も引き続き開催したい。	
第47回東南ブロック球技大会	8月28日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフの5競技による6地区対抗。 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。	
第15回寿地区子連れコンサート	9月3日	中止	地域事業 (文化)	家庭教育	0人	【事業内容】 子育て中の親子を対象に大会議室にてコンサートを実施。 【ねらい】 子育て中の親子に本物の音楽に触れてもらう機会の提供。	【主催】 192サロン運営委員会 【準備過程】 192サロン運営委員会で企画、実施	【評価と反省】 マリンバ奏者とバイオリニストに出演依頼をしたが、演奏者の体調不良により中止。代替えとして3月にミニコンサートを実施。 【今後の方針】 人気のため次年度も検討したい。	
地元(ことぶき)サポーター養成講座	9月9日 9月20日	2回	福祉健康	成人	52人	【事業内容】 有償ボランティアサービス事業「ことぶきサポート」を推進するため、サポーター養成講座として実施。 【ねらい】 ボランティアについて学んで関心を高めていただき、寿の地元サポーター(ボランティア)として今後活動していただく。	【主催】 ことぶきサポート推進協議会 寿公民館 【準備過程】 ことぶきサポート推進協議会が企画、実施	【評価と反省】 ボランティア活動に関心を持っていたが、寿地区の有償ボランティアサービス事業の協力会員の増加につながった。 【今後の方針】 次年度も引き続き開催し地元で活躍するボランティアを増やしていきたい。	
第11回寿地区福祉の文化祭 福祉の絆 作品展示・交換	9月~10月	1回	地域事業 (文化)	家庭教育	39人	【事業内容】 楽団ケ・セラのコンサートをオンラインで実施。7つの障がい者福祉施設の利用者と、寿小学校7クラスの児童が展示作品を交換し合う。 【ねらい】 障がい者との作品交換を通じてお互いを理解し合い、誰もが住みやすいまちづくりを目指す。	【主管】 寿地区福祉の文化祭実行委員会 【共催】 寿地区地域づくり協議会 寿地区社会福祉協議会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	【評価と反省】 互いの作品展示を通じて相互理解を図ることにつながった。 【今後の方針】 次年度も障がい者と住民、児童がコロナ禍の中出来る形で交流できるように計画していきたい。	○

令和4年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ウォーキング講座 「秋のバスウォーキング」	9月20日	中止	福祉健康	成人	0人	【事業内容】 体育委員を講師として県内でウォーキングを開催。 【ねらい】 ウォーキングを通じて健康増進と住民相互の親睦を図る。	【主催】 体育委員会、寿公民館 【準備過程】 体育委員会が企画	【評価と反省】 天候不良で中止となった。 【今後の方針】 例年人気の講座であるため、健康づくりの一環として企画していきたい。	
秋の撮影講座 「秋の撮影講座」	10月4日	1回	趣味教養	成人	23人	【事業内容】 白駒池、八千穂高原自然園にて撮影講座を実施。 【ねらい】 技術力向上と住民の作品展示を促す。	【主催】 視聴覚委員会、寿公民館 【準備過程】 視聴覚委員会が企画	【評価と課題】 行先やスケジュールなど視聴覚委員が主体的に検討を行っているため、住民主体の事業となった。 【今後の方針】 引き続き実施していきたい。	
令和4年度寿地区スポーツフェスティバル	10月16日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【事業内容】 世代を超えた多くの住民が参加できる社会体育事業として住民運動会の名称変更と内容を見直して実施。 【ねらい】 住民相互の親睦及び団結、健康の増進を図る。	【主管】 寿地区スポーツフェスティバル実行委員会 【主催】 寿スポーツ協会、寿公民館 【準備過程】 実行委員会が企画、寿スポーツ協会が主に準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 【今後の方針】 次年度は、競技種目の変更など検討し実施したい。	
文化祭協賛事業 「第6回ニュースポーツ体験会」	10月23日	1回	スポーツ	成人	20人	【事業内容】 寿地区文化祭協賛事業として、ニュースポーツを楽しむ会協力による体験会を実施した。 【ねらい】 ニュースポーツを広く知ってもらうとともに、健康増進を図る。	【主催】 体育委員会、ニュースポーツを楽しむ会、寿公民館 【準備過程】 体育委員会と連携して企画、実施	【評価と反省】 ニュースポーツをとおして住民同士が親睦する場にできた。 【今後の方針】 次年度は寿地区スポーツフェスティバルと合同で実施したい。	
文化祭協賛事業「第34回寿地区史跡めぐり」	10月29日	1回	地域文化	成人	43人	【事業内容】 寿地区文化祭協賛事業として、解説つきで、寿地区の史跡(小池コース)を巡った。 【ねらい】 地区の歴史や史跡を知ってもらい、地域に愛着をもってもらう。	【主催】 寿子ども会育成会、寿史談会、寿公民館 【準備過程】 史談会、育成会と連携して企画、実施	【評価と反省】 子どもを対象に認定証を授与し、楽しんでもらいながら地区の歴史について学んでもらえた。 【今後の方針】 次年度もコースを変え、実施したい。	○

令和4年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第45回寿地区文化祭	11月6日 ～ 11月11日	1回	地域事業 (文化)	家庭教育	108人	【事業内容】 地区住民の文化活動の発表の場として、作品展示及び各団体発表の動画放映を実施。 【ねらい】 地区における文化向上と世代を超えた住民相互のふれあいの場とする。	【主管】 寿地区文化祭実行委員会 【主催】 寿地区町内公民館長会 寿公民館 【準備過程】 実行員会で企画、公民館、町内公民館長会で準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大を受け作品展示・動画放映のみ開催し、やれることをやる形で行うことができた。 【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルス感染の状況を確認しながら、内容を工夫して実施したい。	○
クリスマスリース講座	12月8日	1回	趣味教養	成人	8人	【事業内容】 講師に指導いただきながらクリスマスリースをつくる講座を開催した。 【ねらい】 ものづくりを通して参加者同士の仲間づくりを図る。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行った上で、少人数で開催できた。少人数の募集で講師が一人一人時間をかけて教えることができた。 【今後の方針】 大変好評だったため、次年度住民から要望があれば計画し開催したい。	
お正月飾りを作ろう講座	12月21日	1回	趣味教養	成人	9人	【事業内容】 講師に指導いただきながら、お正月飾りをつくる講座を開催した。 【ねらい】 ものづくりを通して参加者同士の仲間づくりを図る。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行った上で、少人数で開催できた。少人数の募集で講師が一人一人時間をかけて教えることができた。 【今後の方針】 大変好評だったため、次年度住民から要望があれば計画し開催したい。	
寿地区人権学習講座 「楽団ケ・セラコンサート」	2月16日	1回	人権平和	成人	23人	【事業内容】 障害を抱えながらも自立を目指す「楽団ケ・セラ」の演奏を聴く。 【ねらい】 コンサートをとおして平和や人権について考え、理解を深める。	【主催】 寿地区人権啓発推進協議会（寿公民館）、寿地区福祉ひろば 【準備過程】 福祉ひろば、寿公民館で企画、実施	【評価と反省】 大会議室でコンサートを行ったが、観客が多く手狭となった。 【今後の方針】 人気だったため、次年度は会場の変更など検討し開催したい。	
生け花教室	3月1日	1回	趣味教養	成人	3人	【事業内容】 講師指導のもと、花を生ける。 【ねらい】 日本の伝統文化を学び、趣味を通して参加者同士の親睦や仲間づくりを図る。	【主催】 寿公民館 【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行った上で、少人数で開催できた。少人数の募集で講師が一人一人時間をかけて教えることができた。 【今後の方針】 大変好評だったため、次年度住民から要望があれば計画し開催したい。	

令和4年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
令和4年度公民館利用者懇談会	3月4日	1回	その他	成人	28人	【事業内容】 公民館利用サークルの顔合わせ、公民館への要望の聞き取りを実施。 【ねらい】 利用サークル同士の交流や情報交換を促し、要望の集計を通じた公民館管理運営の向上を図る。	【準備過程】 公民館で企画、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策を行った上で開催できた。懇談会前に行う一斉清掃もあわせ、サークル同士の顔合わせをすることができた。 【今後の方針】 次年度も引き続き公民館を気持ちよく利用してもらえるよう、利用者からの要望や意見を聞いていきたい。	
寿ナイターソフトボールリーグ戦	5月～9月	12回	スポーツ	成人	480人	【事業内容】 今年で41年目となる、寿地区内の町会対抗ナイターソフトボールリーグ戦を実施。 【ねらい】 ソフトボールを通じた健康増進と、参加者同士の親睦を図る。	【運営】 寿地区ナイターソフトボールリーグ理事会 【準備段階】 上記理事会で準備、実施	【評価と反省】 4チームが参加し12日間、24試合を計画。雨天等があり16試合を開催することができた。 【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルスの状況により、理事会で相談しながら開催していきたい。	
寿古文書基礎講座	6月～3月	10回	地域文化	成人	76人	【事業内容】 歴史講座のひとつとして、古文書の読み方を学ぶ。今年度のテーマは寿の幕末の出来事を読み解く。 【ねらい】 古文書の読解を通じて、歴史文化、教養の向上を図る。	【主催】 寿史談会、寿公民館 【準備過程】 公民館で実施	【評価と反省】 最終回で修業式を実施し、修業証書の授与や記念品を用意することでモチベーションの向上を図った。 【今後の方針】 根強いリピーターがいるため次年度も継続し、内容について検討して新規参入を図りたい。	
公民館報の発行	隔月	6回	公民館委員会・各種会議等	成人	70人	【事業内容】 地区内の情報や、公民館の活動報告などの発信。 【ねらい】 館報による情報発信を通じて、地区内の情報を多くの人に周知する。	【主体組織】 館報編集委員会 【準備過程】 館報編集委員会で企画会議及び編集会議を実施	【評価と反省】 会議では内容について委員から意見が集まり、計画通り円滑に運営することができた。 【今後の方針】 引き続き、開催したい。	
寿小学校にこにこルーム応援隊	通年	9回	その他	家庭教育	786人	【事業内容】 寿小学校の教室をにこにこルームと名付け、2時間目の休み時間に児童と地域住民の昔遊びを通じた交流を実施。 【ねらい】 寿小学校内に当たり前のようには地域住民が出入りしているような、地域に開かれた学校づくりを目指す。	【主催】 寿小学校にこにこルーム応援隊 【共催】 寿地区地域づくり協議会 【準備過程】 にこにこルーム応援隊と企画、調整、実施	【評価と課題】 中止した日もあったが、新型コロナウイルス対策を行いながら地域住民と児童が交流をすることができた。 【今後の方針】 学校と連携し、にコロナ対策を行った上で工夫しながら行いたい。	○

令和4年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
学校応援団事業	通年	17回	地域事業 (その他)	家庭教育	1,528人	【事業内容】 地域と学校が一体となって子どもたちの健全育成に取り組む事業。公共施設見学、歴史学習、ミシン学習、田植え体験、農業体験など。 【ねらい】 地域の伝統、歴史、くらしを子どもたちに伝える。またそこに関わる人たちの生きがい、生涯学習の成果を発揮する場としての側面も持つ。	【組織】 寿地区学校応援団 【準備過程】 公民館長がコーディネーターとして学校の要望を集約し地域住民との調整を実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった事業もあったが、小学生たちとさまざまな年代の地域ボランティアが交流でき、地域の伝統や学びを教える場となった。 【今後の方針】 引き続き関係団体から意見及び要望を聞き連携をとって、感染対策を行いながら地域住民と子どもが交流できる場をつくっていきたい。	○
公民館図書コーナーの運営	通年	14回	その他	成人	22人	【事業内容】 図書委員会主体による寿公民館図書コーナーを運営し、図書委員会によるコーナーの定期清掃、図書入れ替え作業を実施。 【ねらい】 地域住民に図書を身近に感じてもらう。	【主体組織】 図書委員会 【準備過程】 図書委員で月1回掃除 図書委員で年2回図書入替	【評価と反省】 図書の入れ替えを行い、運営する図書委員にも図書に対する関心を深めてもらった。 【今後の方針】 引き続き、図書に関心を持ってもらえるよう計画したい。	
五部門委員会	通年	23回	公民館委員会・各種会議等	成人	257人	【事業内容】 文化企画、館報編集、図書、視聴覚、体育委員会の五部門委員会により公民館事業の企画・運営を行う。 【ねらい】 公民館事業への主体的参加及び意識付けを図る。	【準備課程】 各部門ごとに随時開催	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染拡大のため活動は制限されてしまったが、感染対策をして、内容を工夫した上で開催ができた。 【今後の方針】 引き続き、企画、運営を行いたい。	
寿史談会及び視察研修	通年	中止	地域文化	成人	0人	【事業内容】 地区内有志により地区の歴史・文化の保存・活用を図る団体として活動し定例会と2回の視察研修を実施。 【ねらい】 寿地区における歴史文化の活用や保存について考える機会とする。	【主催】 寿史談会 【準備過程】 公民館事務局となり会議の実施及び視察研修の企画	【評価と反省】 視察研修は全て、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。	

令和4年度 事業報告

寿公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
寿ペンギンの会	通年	2回	子育て	家庭教育	9人	【事業内容】 託児ボランティア組織寿ペンギンの会による192サロン、PTA作業、保育園事業、小学校事業における託児活動を実施。 【ねらい】 託児を通じた子育て支援及びボランティアの生きがいづくりを図る。	【実施組織】 寿ペンギンの会 【準備過程】 公民館が事務局として託児調整及び連絡を行い、寿ペンギンの会が実施	【評価と反省】 今年度も実施は限られてしまったが、ボランティアの方々と地域住民の親子が触れ合う貴重な機会となった。 【今後の方針】 引き続き、依頼に応じて託児活動を行いたい。	
子育て支援192サロン	通年	11回	子育て	家庭教育	122人	【事業内容】 子育て中の親同士の交流の場の提供、子育てのヒントとなる講座、行政情報の提供などを行った。 【ねらい】 地域の中で、子育て家庭同士がつながり必要な情報を得ることが出来る支援を行う。	【組織構成】 民生児童委員協議会・食生活改善推進協議会・健康づくり推進員会・福祉ひろば 【協力】 つどいの広場 【準備過程】 192サロン運営委員会で企画、実施	【評価と反省】 一部講師が体調不良のため中止となった。コロナ対策しながら寿児童センターと協力・情報を共有して集客、内容の充実を図れた。 【今後の方針】 引き続き子育ての手助けとなるような講座を企画したい。	
町会別人権懇談会	通年	中止	人権平和	成人	0人	【事業内容】 町会単位で町内公民館を会場とした人権懇談会を計画（6町会） 【ねらい】 人権をテーマに語り合う場をつくる。	【共催】 人権啓発推進協議会 町内公民館長会 【準備過程】 町会で企画し公民館で実施	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染対策をした上で、人権に関するDVD鑑賞会の開催を依頼したが中止。 【今後の方針】 引き続き、対象町会に対して人権懇談会の場を設けてもらいたい。	
寿地区ソフトバレーボールリーグ戦	4月～3月	24回	スポーツ	成人	288人	【事業内容】 寿地区内の6町会対抗ソフトバレーボールリーグ戦を実施。 【ねらい】 バレーボールを通じた健康増進と、参加者同士の親睦を図る。	【運営】 寿地区ソフトバレーボールリーグ理事会 【準備段階】 上記理事会で準備、実施	【評価と反省】 新型コロナウイルスの感染防止対策として、リーグ戦は行わず、有志による練習試合を開催することができた。 【今後の方針】 次年度も新型コロナウイルスの状況により、理事会で相談しながら開催していきたい。	

令和4年度 事業報告の概要

寿台公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親しみやすく、気軽に来館できる公民館にする。 ・利用者同士がルールを守り、気持ちよく利用できる公民館にする。 ・サークル活動はもとより、文化祭などの全体行事に利用者らが率先して協力できる体制づくりをする。 ・生活課題や地域課題に目を向けて、積極的に学習活動などを行い、地域づくりの拠点となることを目指す。 ・町会連合会をはじめとする地域関係団体や地域づくりセンター・福祉ひろば等区内行政関係機関との連携を今まで以上に密にとり、地域づくりにおいて公民館事業（主に学習機能）により積極的に支援・参画する。 <p>【重点的に取り組んだ事項等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も感染症の影響により、子どもを対象にした事業や体育事業が中止となった。一方で、令和元年以降開催を見合わせていた食育関係の講座を再開することができた。また、住民の外出・運動機会を少しでも多く確保するため、撮影会や視察研修、ウォーキングイベント等の事業を実施した。 ・少子高齢化の進行により役員のみでの行事運営が困難となっているが、コミュニティスクール事業として中学生の主体的な参加・協力があり、スムーズな運営を行うことが出来た。 ・町会役員等のなり手不足が課題となっている中、町会連合会との共催事業において、地区住民と協働しながら行事を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も中学生が積極的に夏祭りや文化祭などの地区行事の運営に協力してくれた。特に夏祭りでは、屋台の運営や飾り付けなど中学生のアイデアに任せ自由にやってもらった部分が多かったが、楽しんで取り組んでいる様子がかげえ、地域住民にも好評であった。感染症の影響により以前は定番となっていた地域住民と中学生の交流会が実施できていないため、行事当日以外にも交流できる場を設けていきたい。 ・引き続き町会連合会をはじめとする地域関係団体と連携を密に取り、積極的に事業を行っていきたい。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	4	11	3	0	2	2	0	2	5	1	0	7	10
延べ参加人数	81	53	405	34	0	186	50	0	34	176	453	0	522	950

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
水木沢天然林ウォーキング講座	5月23日	1回	福祉健康	高齢者	19人	高齢で普段遠出できない方を対象に、水木沢天然林での自然観察およびウォーキング講座を実施し、健康意識を高めると共に、参加者同士の交流を深める。【環境】	【準備過程】 地区内回覧チラシにて周知	トレッキングをしながら木祖村の自然環境について学ぶことができた。また、高齢で普段遠出の出来ない方々に非常に喜ばれ、参加者同士の親睦が図られた。	
寿台地区人権啓発推進協議会総会・学習会	5月9日	1回	人権平和	成人	23人	人権啓発推進協議会総会開催後に、学習会「人権ってなんだろう？」を開催。	【準備過程】 松本市出前講座の申込 【共催団体】 寿台地区人権啓発推進協議会	誰もが安心して暮らせる地域の実現に向け、地域課題に即した内容で継続していきたい。	
第49回寿台町会連合球技大会	5月29日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	球技・軽スポーツを通して、スポーツ振興、住民相互の親睦と結束を図る。	【共催団体】 寿台町会連合会・寿台スポーツ協会	新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	
学校サポート事業 明善小学校川遊び支援	6月24日	1回	子育て	青少年	2人	明善小学校課外授業支援として、1・2年生の川遊び引率・見守り支援。先生以外の大人(地域の方)との関わりを通じて学校以外での社会性を培うと共に、地域への愛着を高める。	【準備過程】 住民ボランティアの募集、学校との連絡・調整 【共催団体】 内田公民館・松原地区公民館	地域住民と小学生の良い交流機会となった。恒例行事となっているため、継続していきたい。	○
明善中学校コミュニティスクール事業 寿台夏祭り	7月30日 7月31日	1回	子育て	青少年	24人	中学生にボランティアとして地域行事に参加してもらうことで、地域の伝統行事の継承及び「地域を愛し、地域と共に生きる子ども」の育成を目指す。	【準備過程】 ポスターコンテストの周知・依頼 【共催団体】 寿台町会連合会	前日準備として御輿制作やポスター展示準備、屋台準備を行い、当日は屋台運営を行った。自ら工夫し積極的に接客に取り組む姿が住民に好評だったため、来年度も継続していきたい。	○
寝つきをよくするゆるゆるストレッチ講座	6月30日	1回	福祉健康	成人	6人	睡眠の悩みを解消するストレッチを学ぶことで、コロナ禍におけるストレスの解消を図る。	【準備過程】 地区内回覧チラシ・HPにて周知	落ち着いた雰囲気の中ストレッチと運動を行い、ストレス解消と参加者同士の親睦が深められた。	
はじめてのスマホ体験教室	8月3日	1回	その他	高齢者	13人	スマホを持っていない人を対象として開催。貸出スマホを操作し理解を深めることで、デジタルデバイドの解消を図る。	【準備過程】 地区内回覧チラシにて周知 【共催団体】 寿台地区福祉ひろば	苦手意識を持っていた参加者も、講座後は「意外と簡単」「家でも練習してみる」といった声が聞かれ、デジタルデバイス解消に役立った。	
夏休みおはなし会スペシャル	8月5日	中止	子育て	青少年	0人	子どもたちに本に親しんでもらう機会として、おはなしサークルによるおはなし会を開催。	【共催団体】 寿台図書館	感染症の影響により実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	

令和4年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
夏休み親子教室	8月5日	1回	子育て	青少年	10人	夏休みおはなし会スペシャルと同時に親子で楽しめる七夕人形工作を実施する。		夏休みおはなし会スペシャルは中止となったが、図書館ロビーを利用して七夕人形工作のみ実施した。親子だけでなく高齢者の参加もあり、多世代が楽しめるものとなった。	
第47回東南ブロック球技大会	8月28日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【事業内容】バレー、バトミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフの5競技による6地区対抗。 【ねらい】他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】実行委員会にて企画、準備、実施	感染症の影響により実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	
明善中学校コミュニティスクール事業 寿台地区防災訓練	9月11日	1回	子育て	青少年	4人	中学生にボランティアとして地域行事に参加してもらうことで、地域の伝統行事の継承及び「地域を愛し、地域と共に生きる子ども」の育成を目指す。【防災】	【共催団体】寿台町会連合会	段ボールベッドの組み立て訓練補助や片付けを行った。高齢化により訓練への参加が困難となっている町会もあるが、中学生のサポートにより全町会が訓練をすることができた。	○
第4回 寿台秋の体育祭	9月25日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	運動会を通して、楽しく地区住民同士の親睦を図る。	【共催】寿台町会連合会・寿台スポーツ協会	感染症の影響により実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	
第65回松本市市民スポーツ大会秋季大会	10月9日	1回	地域事業(体育)	成人	15人	スポーツ大会への参加を通し、スポーツ振興・健康寿命の延伸につなげると共に、住民同士の親睦と結束を図る。	【共催】寿台町会連合会・寿台スポーツ協会	選手の人数が揃わず、一部種目が出場できなかった。多くの種目に参加できるよう、通年を通して若い世代を取り込む工夫等を考えたい。	
明善中学校コミュニティスクール事業 第46回寿台文化祭	10月23日	1回	地域事業(文化)	成人	453人	地域で文化活動を行っている団体・個人の発表の場、住民相互の親睦を図る場とする。【子育て】	【主管】寿台文化祭実行委員会	参加者が多く、寿台地区の大きな行事として根付いている。昨年に引き続き感染症対策のため規模を縮小しての開催となったが、中学生の手伝いによって飲食物の販売、本のリサイクル市など感染症の影響により中止していた催しを開催することができた。今後も、内容を精査しながら継続実施していきたい。	○

令和4年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
明善中学校コミュニティスクール事業 寿台秋のウォーキング クイズラリー&ニューススポーツ体験会	11月5日 11月6日	1回	地域事業 (体育)	成人	161人	感染症の影響により外出・運動の機会が減少したことから、密にならず楽しく運動する機会を提供する。	【共催】 寿台町会連合会・寿台スポーツ協会	新たにニューススポーツ体験会を開催し、ボランティアの中学生と一緒に楽しめるように計画したことで、昨年より多くの方にご参加いただけた。継続してほしいとの要望も多いため、コースやクイズについて改善しながら来年度も実施したい。	○
人権啓発先進地視察研修(ポールラッシュ記念館、浅川教伯・巧資料館)	11月16日	1回	人権平和	成人	22人	戦後の農村を民主的復興に導いたポールラッシュと日韓友好の架け橋となった浅川兄弟について学び、地域住民の人権意識の向上を図る。	【共催】 寿台地区人権啓発推進協議会	人権は多岐にわたる問題なので、継続して取り組みたい。	
明善中学校コミュニティスクール事業 音の花束コンサート	11月25日	1回	子育て	青少年	230人	地区の様々な行事に協力してくれた明善中学校の生徒の皆さんに、音楽を通じて感謝の気持ちをお伝えすると共に、普段学校ではあまり触れる機会がない演奏や話に触れてもらう機会とする。また、例年地域住民の方々も参加し生徒の皆さんと時間を共有していたが、感染症対策のため、来場者の募集は行わなかった。	内田公民館・松原地区公民館	明善中学校区3地区公民館共催事業として、今後も継続実施していきたい。	○
クリスマスおはなし会 スペシャル	12月3日	中止	子育て	青少年	0人	子どもたちに本に親しんでもらう機会として、大型紙芝居等によるおはなし会を開催。	【共催】 寿台図書館	感染症の影響により実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	
マレットゴルフ交流会	12月5日	中止	スポーツ	成人	0人	6地区合同でマレットゴルフ大会を開催し、他地区との交流を深める。	【共催】 寿、寿台、内田、松原、芳川公民館	会場都合により実施できなかったが、来年度開催できるよう検討していきたい。	
明善小学校コミュニティスクール事業 しめ縄飾り作り支援	12月7日	1回	子育て	青少年	6人	5年生からしめ縄飾りの作り方を学びたいと要望があり、地域のボランティアのよるしめ縄飾り作りの支援を実施。		小学生にとっては難しい作業も多かったが、楽しんで取り組んでいた。また、感染症の影響により減少していた地域住民との交流機会となった。	○
お正月飾りを作ろう!	12月26日	1回	地域文化	成人	10人	しめ縄飾りの作り方を学ぶことで、伝統文化の継承を図る。	【準備過程】 地区内回覧チラシ・HPにて周知	参加者はコツを掴み楽しんで作業を行っていた。地区外からの参加もあり伝統文化に触れる良い機会となった。	

令和4年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
まゆ玉を作ろう！	1月14日	1回	地域文化	青少年	14人	松本の民俗行事である三九郎で自分の作ったまゆ玉を焼いて食べられる機会を設ける。親子で一緒に作り、未経験の保護者にも作り方を学んでもらい、食文化の伝承を図る。	【準備過程】 地区内回覧チラシ・HPにて周知	昨年度は予定時間を大きく上回ってしまった時間がかかってしまったため、生地の色付け作業から行ってもらおうよう変更した。それぞれ思い思いのまゆ玉を作っており、親子で伝統文化に触れる良い機会となった。	
明善中学校コミュニティスクール事業 三九郎	1月14日	1回	子育て	青少年	3人	中学生にボランティアとして地域行事に参加してもらうことで、地域の伝統行事の継承及び「地域を愛し、地域と共に生きる子ども」の育成を目指す。		櫓の作り手が少なくなっている中、中学生のお手伝いのおかげで無事に開催することができた。	○
人権啓発研修会	1月15日	1回	人権平和	成人	36人	寿台町会連合会役員研修を兼ねて「新春落語会」を開催。	【共催】 寿台地区人権啓発推進協議会・寿台町会連合会	昨年度中止となり、再度実施の要望があった新春落語会を開催した。楽しく笑って参加者の親睦と融和を図り、差別のない地域づくりの一助となった。	
やしろうまを作ろう！	2月13日	1回	地域文化	成人	10人	郷土料理の「やしろうま」を作り、信州の食の伝統を伝える機会とする。		地区外からの参加もあり、食文化を継承する良い機会となった。	
福祉講座 地域ケア会議	2月22日	1回	福祉健康	成人	20人	寿台の高齢化率は市内でも5番目に高い地区であり、老々世帯や独居老人も多いことから、高齢者が必要な知識・情報を総合的に学ぶことを目的とする。	【共催】 寿台地区福祉協議会・寿台町会連合会	包括支援センター職員と地区担当保健師から認知症について学び、地域福祉向上の一助となった。	
男子の厨房・楽しく！	3月16日	1回	福祉健康	高齢者	8人	高齢化に伴い、老々世帯や独居老人が多い寿台地区において、男性も食の自立をと、楽しく料理を学ぶ。		中国人講師から水餃子作りを学び、異国の食文化を学ぶきっかけもなった。	
デジタル講座・中級編	4月～ 3月	12回	趣味教養	成人	162人	デジカメで撮った写真をそのまま保存しておくのではなく、パソコンを使って補正に挑戦する。また動画撮影機能を用いて動画の撮影・編集を行う。		撮影会3回、座学9回開催。受講者からの要望も多いため、来年度も継続して開催していきたい。	
地域づくり担当職員会議	4月～3月	12回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	120人	地域づくり推進に向けて、関係行政機関職員による課題共有、課題把握を目的に毎月1回開催。（行事等により、不開催月あり）	地域づくりセンター・公民館・福祉ひろば・健康づくり課・包括支援センター・社会福祉協議会・児童館・地域づくり課	「地域づくりセンター」を中心に、地域づくりの一環として引き続き関係職員との会議を継続していきたい。	

令和4年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
子どもテニス教室	5月～10月	5回	子育て	青少年	115人	寿台テニスクラブ会員の指導による教室。【スポーツ】	【共催】 寿台スポーツ協会	感染症の影響により、全15回開催予定のうち10回中止。テニスを通じ、寿台テニスクラブ会員と子どもたちの交流にも繋がった。今後も継続実施していきたい。	
松本版信州型コミュニティースクール運営委員会	5月～3月	4回	公民館委員会・各種会議等	その他	56人	地域に開かれた信頼される学校づくりの推進のため、学校と地域が連携をし、子どもを支える。	明善小・明善中・学区内3地区（町会連合会・子ども会育成会・地域づくりセンター・公民館）・関係団体	小学校・中学校ともに規模を縮小して2回実施。	○
双葉会軽スポーツ大会	6月1日 11月2日	2回	スポーツ	高齢者	50人	例年高齢者の健康増進のためニュースポーツなどを楽しむ集い。感染症対策のため体力測定及び保健師による講話のみ実施。【福祉健康】	寿台高齢者クラブ連合会双葉会・寿台地区福祉ひろば・体力づくりサポーター	感染症対策のため体力測定及び保健師による講話、映画鑑賞会を実施した。高齢者クラブの大きな事業となっており、今後も継続実施していきたい。	
明善中学校コミュニティースクール事業 中学生への学習スペース開放	7月～8月	19回	子育て	青少年	11人	寿台図書館には学習スペースが無いため、夏休み期間中、中学生に集中して勉強できる場を提供する。		新型コロナウイルス感染症対策のため、席数を減らして実施した。今後も継続していきたい。	○
わたしと家族の「そうぞく」講座	12月15日 3月1日	2回	趣味教養	高齢者	24人	相続や介護についての基礎知識を学び、ライフ&エンディングを考えるきっかけとする。	【準備過程】 地区内回覧チラシ・HPにて周知	エンディングノートを作成しながら講座を受けたことで、相続や介護について考える良い機会となった。	
初心者スマホ教室	2月15日 3月1日	2回	その他	高齢者	21人	スマホの安全利用について及びラインの使い方を学び、生活の利便性向上を図る。	【準備過程】 地区内回覧チラシ・HPにて周知 【共催】 寿台地区福祉ひろば	実際に操作しながらの講習と個別の質問時間を設けたことで、日ごろの悩みや分からないことが解決された。要望も多いため、来年度以降も継続して実施していきたい。	
運営委員会	通年	3回	公民館委員会・各種会議等	その他	33人	公民館の事業計画案の検討・活動への提言など。		ご提言・助言をいただきながら、公民館事業に活かしていきたい。	
館報編集委員会	通年	10回	公民館委員会・各種会議等	その他	69人	松本市公民館報(寿台版)の編集・発行。		委員は町内公民館長を兼務しているため、毎月町内公民館長会を兼ねて開催している。	
図書視聴覚委員会	通年	3回	公民館委員会・各種会議等	その他	14人	公民館の図書視聴覚事業への提言、図書リサイクル作業、おはなし会スペシャルの企画運営。館報への写真素材提供。		感染症の影響によりおはなし会は中止となったが、蔵書点検時の清掃・リサイクル作業、文化祭でのリサイクル市が実施できた。来年度はすべて実施できるよう計画していきたい。	

令和4年度 事業報告

寿台公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化委員会 (文化祭実行委員会)	通年	10回	公民館委員会・各種会議等	その他	114人	寿台文化祭の企画・運営。		高齢化のため組織を効率化し、少人数での文化祭企画検討委員会を開催することで、各文化部長の負担を軽減することが出来た。また、文化祭の運営以外の文化活動について、今後検討していきたい。	
体育委員会 (寿台スポーツ協会役員会)	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	その他	116人	町会連合球技大会、体育祭等の企画・運営。		感染症の影響により各種行事が中止となった。高齢化が進んでいるため、各行事での種目等の見直しを含め、実施について検討していきたい。	
町会連合会支援	通年					・地域づくり推進にむけての支援。 ・町会連合会理事会への出席。		「地域づくりセンター」と連携し取り組んでいきたい。	
町内公民館支援	通年					各町会の公民館活動活発化を図る。		毎月館報編集委員会を兼ねて開催している会議の中で、お互いの町会の様子を情報交換し、いい刺激となっている様子である。	
寿台地区人権啓発推進協議会支援	通年					事務局担当。		人権意識啓発のため、引き続き実施していきたい。	
その他、諸団体との連携による活動支援	通年					双葉会、子ども会育成会、児童館など。		引き続き実施していきたい。	
サークル活動支援	通年					サークル活動活性化に向けた支援。公民館利用サークルに館の適正利用の周知徹底をはかる。2月利用者懇談会の実施、要望に対する速やかな対応。事務室モニターを活用した映像放映。		サークル活動活性化のため、引き続き実施していきたい。	
広報活動	通年					「寿台公民館だより」の発行。 (毎月1回地区内全戸配布と窓口設置) 地区福祉ひろば・寿台ふれあいセンターへの事業周知ポスター掲示。 事務室モニターを活用した事業の様子放映。		公民館事業周知のため、引き続き実施していきたい。	

令和4年度 事業報告の概要

松原地区公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <p>【方針】 松原地区の生涯学習の拠点として、住民要求や地域課題をテーマとし、満足度の高い学習活動を地区の町会連合会、福祉ひろば、地域づくりセンターなどの団体と連携して行う。さらにサークルおよび町会活動が地域づくりに直接的または間接的に寄与できるように支援する。</p> <p>【重点的に取り組んだ事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 共に学ぶことから、思いやりの輪を広げる ② 生きる力となる学びや、遊びを提供する ③ 学習成果の発表機会提供と地域人材の発掘 ④ 町内公民館活動の支援 ⑤ 子育ておよびコミュニティスクール事業の充実 ⑥ オンラインコミュニケーションの可能性追求 	<p>今年度もコロナ禍で活動に制約がある1年だったが、その中で出来ることや新しい事業にも取り組むことができた。</p> <p>文化祭は、昨年より規模を拡大して5日間、開催することができた。作品展示や事前録画したステージ発表など、参加者・出展者から好評だった。</p> <p>町内公民館活動は、実施できたのは2町のみであった。感染拡大防止の観点から無理な活動を強いることはできないが、来年度に向けて対策を講じた上で出来る活動の提案などをしていきたい。</p> <p>引き続き力を入れている子育て事業については、コロナ禍で学校行事が減ったり行動に制限の多い子どもたちに感染症対策を講じた上で非日常を味わえるような体験活動を多く実施することができた。</p> <p>来年度はコロナ禍の制約がほぼなくなり、大きく活動を広げられると思うので、他部署とも連携しながら事業を進めていきたい。</p>

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	2	16	1	2	11	0	2	2	5	2	1	2	19
延べ 参加人数	59	14	291	21	64	311	0	143	0	153	175	0	366	424

令和4年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
畑プロジェクト 夏野菜の苗を植えよう！	4月29日	1回	子育て	青少年	5人	公民館の畑を活用して、日常生活では体験できない野菜の栽培体験を行う。	【共催】 松原地区町会連合会	昨年度の収穫祭の参加者を中心に、少ないながらもメンバーが集まった。近隣のお店に歩いて向かい、自分たちで苗を選ぶところから始めた。野菜栽培の本の目利きのポイントを確認しながら主体的に買い物することができた。	○
ウォーキング講座 伊那路を歩こう！	5月16日	1回	福祉健康	成人	14人	Covid19対応での運動不足を地域の仲間とウォーキングすることで解消する。	【共催】 松原地区福祉ひろば	ながた自然公園と大芝高原でウォーキングを行った。 新緑を眺めながらウォーキングをすることでコロナ禍の鬱々とした気分を解消することができた。 歩く距離自体は合計4km程度だったが、バスの乗降が多かったため疲労感を感じる人が多かった。次回はコースの選定等を工夫したい。	
人権講座 福島関所跡訪問	6月6日	1回	人権平和	成人	19人	徳川幕府の時代、最も厳しい検問を行った4大関所の一つである福島関所の資料館を訪問し、往時の考え方や検問の様子、さらに掟を破った時の処罰などを見分する。	【共催】 松原地区人権啓発推進協議会	往時の関所は、女性に対する規制が厳しく服装や髪形までも手形申請時と同一にして関所を通過する必要があった等を学ぶことが出来た。	
歴史講座 諏訪大社訪問	6月13日	1回	趣味教養	成人	18人	7年に一度の御柱祭を無事終え、落ち着きの戻った諏訪大社の4社を訪れ、それらの謎解きをしながら諏訪の歴史を学ぶ。	【共催】 松原地区町会連合会 【講師】 下諏訪観光ガイド	自然崇拜的な原始宗教と記紀以降の信仰の推移、さらに神仏習合について学んだ。	
ホテル学習と観察会	6月24日	1回	環境	その他	45人	研究者からホテルや生息環境について講義を受け、隣接する内田地区の塩沢川でホテル観察を行なう。	【共催】 内田公民館 【講師】 藤山 静雄	住宅地である地区内にはない自然環境について学習する機会となっている。また夜間に観察するため、学校教育の中での実現は難しいことから、今後も公民館事業として開催していきたい。	○
町会交流スポーツ大会	6月28日	1回	地域事業(体育)	その他	58人	地区・町会の交流のため実施するスポーツ大会。 H23年度から実施。ソフトバレーボール、マレットゴルフ、新卓球、バドミントンの4種目を町会対抗で行う。	防災や高齢化に向けての支え合いは顔の見える関係の構築が重要であり、その一つとして地区でニュースポーツ等の行事をやれないかと投げかけたことがきっかけ。 【共催】 松原地区町会連合会、松原スポーツ協会	コロナ禍で2年連続で中止していたが、久々に再開した。 町会対抗としていたものをオープン参加に変更し、役員の参加者集めが負担にならないように配慮した。 参加人数は多くなかったが参加者からは好評いただいた。来年度も開催手法を工夫しながら実施したい。	

令和4年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
路線バスで行く 大人の社会科見学	7月14日	1回	趣味教養	成人	7人	松本市内の施設を見学し、普段何気なく使っているものの技術や秘密を学んだり、地域の芸術文化活動の拠点施設の舞台裏を見学し出演者や製作者の活動の一片を知る。		普段知ることがない紙幣の管理について学び、その大切さを知ることが出来た。また市民芸術館では、普段見ることのできないバックヤードとその管理について説明してもらい、演劇鑑賞の楽しみ方の幅が広がった。	
伝統文化学習会 青山様・ぼんぼんの歴史	7月28日	1回	地域文化	その他	21人	松本地域に伝わる青山様・ぼんぼんの歴史や松本市街地での風習を学ぶ。また、三九郎や七夕飾りについても学習する。	【共催】松原地区子ども会育成会	松本の伝統行事の起源や各地域での違いなどについて学んだ。子どもたちに伝統行事の大切さを伝えてくれることを期待する。	○
松原いいづら祭	7月30日	中止	地域事業(その他)	その他	0人	地区をあげての夏祭り。住民相互のコミュニケーション創出を目的とする。各町会・専門部・有志の出店、お楽しみ抽選、アトラクション等。	各町会、専門部ごとに出店等の準備を行う。全体では町会連合会を母体とした実行委員会を組織し実施する。 【主催】町会連合会(主管:実行委員会。公民館は実行委員として参画)	松本圏域での新型コロナウイルス感染拡大のため中止。	
収穫祭～夏～ みんなでパッククッキング!	8月5日	1回	子育て	青少年	13人	公民館の畑で普段できない収穫体験を行う。収穫後の野菜を使ってパッククッキング(ビニール袋に材料を入れて湯せんで加熱処理する調理法)を行い、災害時の調理方法を学習する。	【共催】松原地区町会連合会 【講師】食生活改善推進委員協議会	新型コロナ感染拡大を受け、野菜の収穫体験のみを実施して調理実習は中止した。事業規模を縮小しながらも参加した児童の楽しそうな姿を見ることができ、充実した時間を提供できた。	○
夏休み小学生自然体験会	8月9日	1回	環境	青少年	19人	夏休みの小学生を対象に高原での自然体験学習を行う。地区内では体験学習ができない山岳地帯の自然について、乗鞍高原を散策して学ぶ。	【共催】松原地区町会連合会	職員に加えて地区住民で引率し、保護者の参加なしで実施できた。参加児童の満足度は非常に高く、自然体験のニーズが高いことが分かった。来年度も継続して実施したい。	○
ひろばに行ってみよう!やってみよう!インドカレーを作ろう!!	8月21日	1回	人権平和	成人	11人	ひろば事業への新規参加者獲得のため目新しい企画を実施する「ひろばに行ってみよう!やってみよう!」シリーズの一環。インドからの移住者である講師からインドカレーの作り方を学び、食文化を通して異国について学ぶ機会とする。	【共催】松原地区福祉ひろば、松原地区人権啓発推進協議会 【準備過程】「日本語学習サロン日本語いろいろ」が発行した「世界の料理いろいろ 各国の家庭料理レシピ集」を活用し企画した。	今年度福祉ひろばで力を入れている新規参加者獲得のための事業に人権協も共催する形で開催した。日曜開催としたことで、普段参加しない参加者を多く獲得することができた。講師からは調理を通して北インドの食文化にまつわる話を聞くことができ、参加者の満足度も高かった。	

令和4年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
畑プロジェクト 冬野菜の苗を植えよう！	8月27日	1回	子育て	青少年	8人	公民館の畑を活用し日常生活では体験できない野菜の栽培体験を行う。	【共催】 松原地区町会連合会	収穫祭の参加者を中心に、普段より多い人数が集まった。 参加者同士で協力しながら冬野菜の種まき・植え付けができた。	○
東南ブロック球技大会	8月28日	中止	地域事業(体育)	その他	0人	【事業内容】 バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の6競技による6地区対抗。 【ねらい】 他地区住民との親睦を目的とするもの。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で企画、準備、実施	松本圏域での新型コロナウイルス感染拡大のため中止。	
ひろばに行ってみよう！やってみよう！ 松本市内でブラブラ城下町！	9月16日	1回	趣味教養	成人	16人	ひろば事業への新規参加者獲得のため目新しい企画を実施する「ひろばに行ってみよう！やってみよう！」シリーズの一環。 昨年9月にNHKで放送された「プラタモリ」の中で紹介されたコースを、番組に出演した学芸員に案内してもらい、松本城下町を深く知るきっかけとする。 また、旧山辺学校を訪問し、明治時代の学校の様子や戦時下の松本の様子などを学ぶ。	【共催】 松原地区福祉ひろば 【講師】 ①松本市立博物館 学芸員 千賀康孝さん ②旧山辺学校 学芸員 岡野真樹さん	今年度福祉ひろばで力を入れている新規参加者獲得のための事業と共催した。 テレビ番組の中でガイドを務めた学芸員に案内をしてもらうことで、楽しみながら城下町松本を学ぶことができた。 旧山辺学校では昔の学校での授業体験ができ、和気あいあいとしながら昔の文化を学ぶことができた。 街歩きの中で新博物館の説明も受け、新博物館への期待も高まった。	
レッツ手づくり アロマワックスサシェをつくろう！	10月10日	1回	趣味教養	その他	22人	アロマワックスサシェづくりをとおして、子どもやその保護者のものづくり体験の機会を創出する。また、作成したものを文化祭の展示作品として提供してもらい、文化祭を盛り上げる。	【共催】 松原地区町会連合会 【講師】 Portafortuna 後藤 あい	文化祭への出展作品の一つとするため、明善学区の子どもと保護者向けに開催した。 自分の好きな色の花や飾りを選んで口ウの上にデザインし、それぞれがオリジナルの作品を作ることができた。	○
町会対抗ウルトラゲーム大会	10月23日	中止	地域事業(体育)	その他	0人	ゲーム感覚で健康づくり・体力づくりを行うとともに、地区住民相互の親睦を図る目的で実施。 例年、中学生にも運営に参加してもらい、継続的な世代間交流の機会としている。 <内容> つなげよう松原、松原〇×クイズ、さかなでビンゴ 他	数年前に運動会が住民アンケートで廃止されたが、運動会的な要素も盛り込みながら、子どもから高齢者まで負担なく参加できるようなイベントを継続しようと、体育協会が中心となって取り組みを進めた。 【主催】 松原地区町会連合会、松原スポーツ協会、松原地区公民館	松本圏域での新型コロナウイルス感染拡大のため中止。	

令和4年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
収穫祭～秋～ スイートポテトづくり	11月3日	1回	子育て	青少年	10人	公民館の畑で普段できない収穫体験を行う。 収穫後のさつまいもを使ってスイートポテトを作る。	【共催】 松原地区町会連合会 【協力】 松原地区住民	サツマイモを収穫してスイートポテトを作った。 地区住民にもご協力いただき、収穫作業の補助をしてもらった。 初めて参加してくれた子どももあり、それぞれの子どもの特性に合わせた指導や声かけの必要性を感じた。	○
秋のおやつづくり	11月16日	中止	趣味教養	成人	0人	食を学び、食生活の見直しや生活習慣病予防に役立て、地域に伝わる郷土食づくりを通じ、食文化の継承と交流・仲間づくりを図る。	【講師】 食生活改善推進委員協議会	松本圏域での新型コロナウイルス感染拡大のため中止。	
収穫祭～冬～ すいとんづくり	12月3日	1回	子育て	青少年	10人	公民館の畑で普段できない収穫体験を行う。 食生活改善推進委員の皆さんと収穫後の野菜を使ってすいとんを作り、世代間交流の場とする。	【共催】 松原地区町会連合会 【講師】 松原地区食生活改善推進員	冬野菜を収穫し、調理実習を行った。 地区の食生活改善推進員に講師を依頼しすいとんづくりをしたが、職員のみで運営するよりも段取り良く進めることができた。 野菜が得意でない子どもも自分たちで作ったことで残さず食べる姿を見ることができた。	○
しめ縄づくり講習会	12月10日	1回	地域事業(文化)	家庭教育	26人	伝統文化である“しめ縄づくり”を通じて、文化の継承、環境や暮らしという視点の育成とともに、高齢者・親世代・子どもたちの顔の見える関係づくりを図る。	【経過】 町会連合会総会の席で、こども世代との交流をしたいという要望が出されたことを受け、こども会育成会長と公民館で、世代間交流に向けた打ち合わせを実施。その中で、新しい行事を行うよりも、毎年実施するしめ縄づくりを世代間交流事業として位置づけ実施することとした。 【準備過程】 子ども会育成会で稲わらの手配。前日、講師、育成会、公民館でわらの下準備 【共催】 子ども会育成会 【講師】 小池 春隆	他地区と違い、高齢者から親世代に、親世代から子どもに、という文化伝承的な流れがないこと、また農家出身者も少ない地区であることから、親子での参加も含め、より多くの世代の参加を促した。しめ縄づくりだけでなく、他の事業にも世代間交流の要素を強めていくことが大切だと考えている。 今年度も地区住民に講師を依頼した。子ども会育成会と共催としているが、役員の子どもの参加がほとんどなく、周知の仕方や共催のあり方を検討していく必要がある。 経験者と初心者とのエリアを分け、初心者には手厚く指導してもらうように工夫した。講座が終わる頃には初心者も上達が窺えた。	○

令和4年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
時計台イルミネーション/時計台コンサート	11月12日	1回	趣味教養	その他	80人	松原ショッピングモールにある時計台の修復やモールを通じた地域活性化の支援を行う。 12月はショッピングモールをイルミネーションで装飾し、時計台前でコンサートを実施した。	【主催】 松原モールぱろじえくと	恒例となったイルミネーションイベントでは、設置作業を地元住民と協力して実施することができ、地域の賑わいを創出することができた。 例年は12月に点灯式を実施していたが、縁者や観客から屋外の寒さに対する要望が寄せられたことから、11月に前倒した。 コロナ対策を試みながら実施し参加者からも好評をいただくことができた。	
新春！大書初め大会	1月4日	1回	子育て	青少年	11人	冬休みの宿題の書初めを書道の先生に教わりながら仕上げる。 地域の中の達人の存在を知るきっかけとする。	【講師】 一之瀬 進	昨年度に引き続き、冬休みの宿題の書初めを地区住民の先生に教わりながら進めた。 参加された子どもたちは集中して取り組み、積極的に先生に質問するなど活発な姿が見られた。	○
ほっとスペース 書道体験	1月26日	1回	子育て	青少年	5人	不登校児童・生徒の学校と家以外の第三の居場所を提供する。 スペースの参加者と書初めを行い、作品を作る。	【共催】 学校教育課、あるがキッズ支援室 【講師】 松本蟻ヶ崎高校 書道部生徒	不登校の児童・生徒の中には様々な体験活動が不足している子も多く、初めて書道をする生徒もいた。 講師の指導を元に書道体験をし、参加者全員で一つの作品を仕上げる事ができた。	○
第8回ニュースポーツ体験会 & 体力測定	1月29日	1回	地域事業(体育)	その他	35人	ゲーム感覚の軽スポーツを通じた健康づくり、さらに、参加者間の交流と絆づくりや健康状態の確認と記録の機会とする。	【共催】 松原地区スポーツ協会、健康づくり推進員会、松原地区町会連合会、スポーツ推進員	昨年度に引き続き、感染症対策を講じながら実施できた。 参加人数は昨年度より多く、地域住民のイベントへの興味関心が窺えた。 ポッチャ、モルック、囲碁ボールの3種目を実施したが、年代性別に関わらず参加者同士が同じ競技に参加することができた。 地元の身近な場所でのイベントは、特に高齢者や子どもたちの生きがいや楽しみの一つとなるので、広報手段を工夫しつつ今後も実施機会を設けていきたい。	
すみれ亭香方出前講談	2月2日	1回	人権平和	成人	29人	講談は江戸時代の庶民生活を生き生きと伝えているものが多い。今回は代表的な人情噺を2話してもらった。	【共催】 松原地区人権啓発推進協議会 【出演】 すみれ亭香方	弱者を思いやる気持ちと情けは人のためならず、を「学ぶ」もしくは感じる事が出来た。	

令和4年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
レッツ手づくり パレ ンタインスイーツをつ くろう	2月13日	1回	子育て	青少年	15人	手作りを通して料理の楽しさを知る きっかけとする。	【講師】 槇澤 洋子	開始以降一番多くの参加者が訪れ、お 菓子作りのニーズを感じた。 小1から小6までの幅広い年代の参加 者に対して失敗なく作れるメニューの 選定が難しかった。 参加された子どもたちは楽しそうに調 理し、満足そうに帰る姿が見れた。	○
ほっとスペース 花き 収穫体験	2月16日	1回	子育て	青少年	7人	不登校児童・生徒の学校と家以外の 第三の居場所を提供する。 社会科見学を通してキャリア教育や 体験活動の機会を創出する。	【共催】 学校教育課、あるがキッズ支援室 【協力】 松本市農政課、JA松本ハイラン ド農協 【講師】 花き農家 伊藤 勝基さん	学校に行っていないことで社会科見学 を体験していない子どもが多くいるこ とから、関係部署と協力し企画した。 当日は花き農家の伊藤さんから農家にな るまでの生い立ちや花き農家になっ てからのお話を聞くことができた。 また、ハウスで栽培するアルストロメ リアの収穫体験を行い、参加者それぞ れが大きな花束を作って持って帰るこ とができた。 子どもたちの生き生きとした表情を見 ることができた。 家庭やスペース以外の人と関わる機会 を創出することができた。	○
利用者懇談会	2月17日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	47人	公民館を利用するサークル等の代表 者と貸館について、貸す側、借りる 側双方が懇談し、留意点の確認と使 用方法に関して検討する。	登録団体全てに開催通知を送付し 案内する。午前と夜間の2部開催 とし、いずれかに出席することと している。	次年度の使用方法の説明や日頃から利 用している中で気になっていることの 意見交換を行った。 利用者からは建物の老朽化や調理実習 室の使い勝手などの意見が出された。	
歴史講座 甲府城と梅 園訪問	3月10日	1回	趣味教養	成人	30人	甲府の近世および近代の変化を、甲 府城跡（舞鶴城）と藤村記念館（旧 睦沢学校校舎）を訪問し学ぶ。	【共催】 松原地区町会連合会	戦国時代と江戸時代、さらに明治維新 以降の城郭の役割と変遷を地元のガイ ドから学んだ。	
防災講座 中央構造線 と活断層	3月15日	1回	防災	成人	22人	日本列島が大きく動いた痕跡である 中央構造線を確認し、その動きは止 まっていないことや様々な活断層の 存在を学ぶ。	【共催】 松原地区町会連合会	地球の大陸と日本列島の成り立ちの話 から始まり、中央構造線やホツサマグ ナの話、さらに様々な過程で生成され る岩石や断層について、学芸員の方か ら詳しく学ぶことが出来た。	

令和4年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
春休み子ども体験学習 ／山梨県立科学館&桔 梗屋信玄餅工場見学	3月22日	1回	子育て	青少年	25人	春休みの子供達を対象に山梨県立科学館を訪問し、森羅万象を科学的に捉え、それを応用し発展させる世界を体験する。 午後は、菓子製造工場を見学する。	【共催】 松原地区町会連合会	子どもの興味を引き出す様々な装置を自由に触ることができた。菓子工場では、機械と人が連携して大量生産する様子を見学できた。	○
やしろうまづくり講座	3月23日	1回	趣味教養	成人		伝統食である「やしろうま」づくりを通して地域の文化に触れる機会とする。	【講師】 清沢 喜久子さん		
中学生が教える！春の小学生卓球教室	3月26日	1回	子育て	その他	28人	明善中学校卓球部が講師を務める。小学生と中学生が卓球を通じ楽しみや学びを共有するとともに、住民との三者間交流の機会を提供する。	【共催】 松原地区町会連合会、明善中学校卓球部	中学生たちが事前に予行演習まで行って準備をしてくれたかもあり、小学生は楽しく卓球教室を体験することができた。	○
レッツ手づくり フラ ワーアレンジメント	3月31日	1回	子育て	青少年		フラワーアレンジメントを通して、子どもやその保護者のものづくり体験や花と触れ合う機会を創出する。	【共催】 松原地区町会連合会 【講師】 藤森 奈留美さん		
仕上りをイメージしてシャッターを切ろう！-カメラマンから学ぶ写真撮影-（春・秋）	春5回 秋5回	10回	趣味教養	成人	103人	デジカメ操作の基本、写真の撮り方等を学ぶとともに、現地撮影を通じ季節ごとの自然を体感しながら、創作・自己表現活動の向上を養う目的で実施。文化祭に向けた作品を制作。 また、現地撮影を通じ季節ごとの自然を体感しながら、創作・自己表現活動の向上を養う。	住民の要望により引き続き実施。 【講師】 En1.2.3（エンカウト） 市川まど香	新しい講師となり2年目に突入したが、参加者が意欲的に活動しており、作風にも現れている。 撮影会後の座学ではそれぞれの作品を発表し合い、作品がより良くなるアドバイスをもらったりと、参加者にも刺激となった。 今年度も講座室や廊下での期間展示や文化祭での作品展示をすることができ参加者のモチベーションに繋がった。 参加者からのニーズもあるため、継続して実施したい。	
”知って安心”認知症講座	5月21日 6月18日 10月 8日 11月19日 12月17日	5回	防災	成人	121人	地区内でも認知症患者や介護をする人が増えてきていることから、認知症の症例や予防法について専門家から学ぶ。また、認知症当事者や支える人から実体験を伺う。	【共催】 南東部包括支援センター	知識編（2回）、体力維持・脳トレ編、口腔ケア・栄養編、当事者からのお話を聞く回の全5回で開催した。 普段講座に参加しない方の参加も見受けられ、アンケート結果も好評だった。 マンネリ化を避けつつ、定期的に啓発や学習の機会を設けることが大切だと感じた。	

令和4年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スポーツ体験会	6月 5日 6月12日 6月19日	3回	地域事業 (体育)	青少年	60人	町会交流スポーツ大会へ向けての講習と、生涯スポーツの実践。 ソフトバレーボール、バドミントン、新卓球の3種目。	町会対抗の球技大会に向けて住民の参加を促すために、練習、講習の場を設けることを目的に始めた。 【共催】 松原スポーツ協会 【講師】 松原ソフトバレークラブ 松原バドミントンクラブ 松原卓球クラブ	周知不足や町会交流スポーツ大会自体の参加者減により、例年より参加者が少なかった。 また、地区スポーツ協会と各スポーツクラブとの連携がうまくいかない部分がありトラブルとなってしまった。新年度はスポーツ協会役員と共に連携を強化できるようにフォローしたい。地区スポーツ団体の新規加入にもつながらよう支援したい。	
やさしいヒップホップ	7月 3日 7月10日 7月17日 7月24日 10月 8日 10月22日	6回	子育て	青少年	84人	近年人気が高まっているヒップホップを通して、子どもたちが身体を動かし自己表現できる機会を身近な公民館で創出する。 また、いいつら祭での発表会をきっかけとして松原地区住民にもダンスの楽しさを提供する機会とする。	【講師】 小林 美穂さん	H29から引き続き開催。 新型コロナにより数年実施できなかったが、対策を講じつつ再開できた。 楽しみにしていた子どもも多く、子ども・保護者共に充実した時間を過ごすことができた。 いいつら祭は直前で中止となってしまったが、文化祭当日は保護者の参加も多く、新しい客層を取り込むきっかけとなった。	○
夏休みこども学習室	7月25日 ～ 8月19日	14回	子育て	青少年	70人	夏休み期間の子どもの居場所づくりとするため。また、普段公民館を利用しない子どもに公民館を身近に感じてもらい、今後の公民館講座等に参加しやすくなるきっかけとするため。	R元年度より新規事業。	今年度も学習だけでなく遊びの場としても利用されており、夏休みの子どもたちの居場所づくりとして貢献できた。 普段公民館に来ない子どもが友達に誘われて来ることもあり、使い方やマナーの徹底が難しかった。守ってほしいことを明確にしてあらかじめ伝えられるようにしたい。	○
スマホ講習会	10月14日 10月28日 11月 4日 11月21日 12月 9日	5回	趣味教養	成人	35人	デジタルディバイド解消のために連続講座のスマホ講座を開催する。	【主催】 松本市DX推進本部（総務省補助事業） 【講師】 特定非営利活動法人 信州ソフトウェア協会	専門の講師からの講習会ということで、地区内外から普段公民館を利用しない方の申し込みがあった。 参加者は熱心に受講しており、高齢世代のスマホへの興味関心や意欲が感じられた。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化祭	10月29日 10月30日 10月31日 11月 1日 11月 2日	5回	地域事業 (文化)	その他	149人	地区の日頃の文化活動・学習活動の成果の発表機会とする。また、成果の発表を通して今後の交流・コミュニケーションのきっかけとする。	【共催】 松原地区町会連合会	ウィズコロナの文化祭開催方式を分科委員会の中で検討し、工夫を凝らした開催ができた。 ステージ発表は事前録画したものの放映と対面形式を併用した。昨年度録画放映の形式を取ったことがきっかけで、文化祭当日に都合が合わず参加を見合わせる予定だった団体が録画放映の形でステージ発表できたことはコロナ禍の収穫だった。 また、展示作品をホームページにアップすることで現地に来られない人にも作品を見てもらう機会を作ることができた。 こども工作教室や屋外ブースも再開したが、お菓子やすいとんのふるまいなどの飲食を伴うイベントがなかったため、コロナ前並みの集客とはならなかった。 次年度はイベントの内容や周知方法を工夫し、より多くの人に楽しんでもらえるような文化祭としたい。	
教えて！スマホの使い方	通年	19回	趣味教養	成人		スマホの悩みを抱えている地区住民を対象に、スマホの相談会を開催する。デジタルデバイドの解消を目的とする。	【講師】 公民館主事	スマホの悩みを抱える地区住民向けに開催したが、多岐にわたる質問が寄せられ一定のニーズを得ていることが分かった。 今後も継続して実施していきたい。 また、公民館主事以外の人材の確保も検討したい。	
運動習慣啓発：ラジオ体操	通年 (月木)		福祉健康	その他		新型コロナウイルス流行に伴う外出自粛による運動不足解消として、感染リスクの少ない屋外でのラジオ体操と簡単なストレッチを企画した。	高齢者は新型コロナウイルス感染による影響が大きいとの情報から、集会などの行事の参加を控えており、さらに人的交流の機会が著しく減少しており、身体的にも精神的にも不健康な状態を強いられている。 【共催】 松原地区福祉ひろば、地域づくりセンター、地区生活支援員	コロナ禍の運動不足解消のため元年度の3月から継続して実施している。 通年を通して実施でき、地域の方の中で習慣化することができた。 今後も継続して実施していきたい。	

令和4年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ほっとスペース	通年 (木曜日)		子育て	青少年		不登校児童・生徒の学校と家以外の第三の居場所を提供する。	【共催】 学校教育課、あるがキッズ支援室 【準備過程】 令和3年度より実施。	学区内に設置されている地区公民館を活用し、不登校児童・生徒の居場所支援を行った。 週1回の居場所に訪れることで、家から出る機会のなかった子どもがスペースを訪れるようになり、学校への登校へと繋がったケースもあった。 子どもの様子を気に掛ける地域の高齢者との繋がりもでき「地域で子どもを育てる」を体現することができた。 通常は学校へ通っていない子どもとCSで関わる機会はないが、スペースの開設を通して機会の提供ができた。	○
公民館委員会	通年	27回	公民館委員会・各種会議等	成人	319人	松本市公民館条例施行規則第8条に基づく委員会。地区の実情に合わせ以下の委員会を実施。 ○公民館・福祉ひろば事業推進協議会 ○館報編集委員会 ○体育委員会 ○文化委員会	地区公民館開館に向け、地区関係団体等の実情に合わせ、H21年度に地区町会連合会に素案を提示。 H22年度よりスタートを切った。 (ただし、館報編集委員会はH17年度より実施)	体育委員会、文化委員会とも委員が主体的に運営し、活発な議論が生まれている。 コロナ禍で地域の行事のほぼ全てが中止となったが、少ないながらも工夫して委員同士で意見を出し合いながら実施することができた。	
公民館だよりの発行	通年	15回	その他	その他		公民館事業等の周知と参加募集、利用団体の情報提供として毎月1回(1日付)発行	H18年度より不定期に発行していたが、H22年度より月1回発行。	公民館側からのお知らせなので、今後も継続。 松原地区の講座の周知方法は公民館だよりのみだが、目新しい講座を実施すると今まで参加のなかった方からの申込をいただくことができることから、一定数の方は毎回公民館だよりを読んでくれていることが分かった。 令和4年度の主事研修会で学んだチラシの作成方法を生かしながら、より内容をわかりやすく伝えられるよう工夫していきたい。 また、講座の電子申込を活用するなど、地区住民からより利用しやすい公民館と感じてもらえるよう工夫したい。	
公民館報の発行	通年	6回	その他	その他		地区の情報誌、記録誌であり、地域の課題等を紙面を通じて投げかける場としての公民館報の発行	館報編集委員会で、地域の話題の掘り起こしなどを中心に話し合い、制作。全市版については7名の編集委員(各町会1名選出)以外の地区住民に委嘱している。	公民館と協力しながら、地域の話題を取り上げるなど社会面記事を扱うことができている。 委員の主体的な記事の執筆は昨年度に比べると少なかったが、委員の中で地域の気になることを出し合い、記事内容に反映させることができた。	

令和4年度 事業報告

松原地区公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
カンガルーの会	通年	12回	子育て	家庭教育		乳幼児とその親を対象にした子育て支援事業。親子体操、食育、救急法、コミュニケーション等多彩な内容。実施時には住民有志が託児保育を担う。	【主催】 民生児童委員協議会 【協力】 松原地区福祉ひろば、公民館	感染状況に合わせた事業を続けることができた。 主任児童委員をはじめ、民児協が主体的に進めており、引き続きサポートしたい。	

令和4年度 事業報告の概要

岡田公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても感染対策を徹底して事業を実施し、地区住民の学びの場を確保する。 ・地区内の一体感を持たせるための事業を展開し、地域コミュニティの推進を図る。特に地区の三大事業である夏まつり、町会対抗球技大会、新春サークル発表会については、新型コロナウイルス感染対策を講じつつ、内容変更等も念頭に実施可能な方策を探る。 ・地区内の学校（岡田小学校、女鳥羽中学校）と地域住民とのパイプ役として、相互の交流となるようなコミュニティスクール事業の展開、課題の共有、解決策の模索を行う。 ・地区関係団体等と連携して、地区の文化・福祉の向上を図る。 ・公民館委員は町会持ち回り選出の委員も多く、積極性に欠ける面がある。地域の各種団体も含め、地域づくりの根幹を担っているという意識を持ってもらい、自主的・主体的に事業に取り組むことができるような仕掛けづくり（体制づくり、動機付け）を引き続き検討していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に新型コロナウイルス感染防止を念頭に置き事業実施を検討した。住民が集い、会って話をするところこそが公民館活動、地域づくりの原点であると考え、感染対策を徹底し、可能な事業を可能な形で実施した。しかし、やむを得ず中止した事業・活動もあり、前年に引き続きコロナの影響を大きく受けた1年となった。 ・市担当課等との共催でいくつかの新規事業を実施することができ、コロナ禍ではあるが学びの場を提供することができた。 ・他団体との共催事業は、共催団体の意思決定プロセスにより、中止・実施が分かれる結果となった。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	2	6	5	0	2	0	1	2	1	1	1	1	1
延べ 参加人数	56	97	246	116	0	37	0	70	1527	0	200	50	200	1500

令和4年度 事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
植林&駒打ち体験	4月24日	1回	地域文化	青少年	37人	地域の子どもたちが、植林体験を通じて森林と触れ合い、地域への理解を深める機会を創出することを目的に、岡田財産区有林で地元の小中学生等を対象とした植林及びキノコの駒打ち体験を実施したものの。	子ども会育成会 岡田財産区	地区の財産である森林を活用した取り組みであり、子どもたちを中心に地域の歴史や風土、伝統文化を学習する機会を提供することができた。地区の自然を生かした体験型事業であり、伝統文化（三九郎）の継承にもつながるため、継続実施していく予定。	
アートレクチャー学芸講座「美術館には何があるの」	6月25日	1回	趣味教養	成人	8人	松本市美術館に馴染みの薄い方を対象に、収蔵作品の紹介等を通じ、松本市美術館へ関心を持ってもらうとともに、芸術文化に触れる機会の足がかりとすることを目的に実施したものの。	市美術館	松本市美術館の収蔵作品や作品の見方を学ぶことができた。またワークショップ実施により、体感的に美術作品への関心を高めると同時に、参加者同士の交流も図ることができた。次年度も美術館に係る事業を実施したい。	
おかだ七夕会	7月2日	中止	地域文化	青少年	0人	地域子ども文庫活動として、読み聞かせや演劇鑑賞を行い、子どもたちの豊かな心の育成を図ることを目的に実施するもの。	図書館 児童センター	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 新型コロナウイルス感染症の分類見直しを踏まえ、実現可能なプログラムを検討し、次年度の実施を検討したい。	
おかだ夏まつり	7月30日	1回	地域事業(その他)	その他	50人	岡田地区で活動している地区関係団体が連携し、地区住民のつながりや連帯感の醸成を図ることを目的に、夏まつりを開催したものの。	夏まつり実行委員会	岡田地区を代表するメインイベントである。コロナ禍でも実施可能な内容を検討し、花火大会や写真・川柳コンテスト等を実施した。 新型コロナウイルス感染症の分類見直しを踏まえ実現可能なプログラムを検討し、次年度以降も継続実施したい。	
夏休み学習スペース開放	8月1日 ～ 5日	5回	子育て	青少年	132人	小中学校の夏季休業に合わせ、学習スペースとして公民館の会議室を開放するとともに、生活リズム構築の一助とするもの。	信州大学生 地区住民有志	利用者、保護者から好評であった。地区住民や学生等の支援や関わり方を検討し、今後も継続実施したい。	
自然体験キャンプ	8月9日 ～ 10日	中止	子育て	青少年	0人	芥子坊主農村公園でキャンプ地の設営から薪集め、自炊等、野外活動を体験することを通して、仲間づくりや集団生活での社会性を身に付けることを目的に、1泊2日のキャンプを実施するもの。	子ども会育成会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 新型コロナウイルス感染症の分類見直しを踏まえ、実現可能なプログラムを検討し、次年度の実施を検討したい。	

令和4年度 事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
川で遊ぼう	8月20日	1回	子育て	青少年	53人	地元の自然を活用した自然体験活動として、女鳥羽川で魚のつかみ取りを行い、実際に焼いて食べる事業を実施したもの。	子ども会育成会	普段の生活の中では、体験することが出来ない魚のつかみ取りは参加者に好評であること、また、地域の自然風土について親子で学習する機会を提供することができる事業のため、次年度も継続実施予定。	
町内公民館対抗球技大会	9月4日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	スポーツによる地域住民の生きがいづくり、健康増進を図ることを目的に、軟式野球・ソフトバレー・卓球・ゲートボール・マレットゴルフの5種目による町会対抗球技大会を開催するもの。	地区町内公民館長会 地区スポーツ協会 地区町会連合会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 新型コロナウイルス感染症の分類見直しを踏まえ、実現可能なプログラムを検討し、次年度の実施を検討したい。	
親子なぞときウォークラリー	10月16日	1回	地域文化	その他	54人	岡田地区やその周辺の名所旧跡にチェックポイントを配置し、親子または子ども同士でウォーキングを行い、楽しみながら地域について学習したもの。	子ども会育成会	地区内在住者でも知らない歴史や名所旧跡を親子でウォーキングしながら学習することができる、例年人気の事業である。地域について学習できる貴重な機会であることから、次年度も継続実施予定。	
おかだクリスマス会	12月10日	中止	地域文化	青少年	0人	地域子ども文庫活動として、読み聞かせや演劇鑑賞を行い、子どもたちの豊かな心の育成を図ることを目的に実施するもの。	図書委員 児童センター	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 新型コロナウイルス感染症の分類見直しを踏まえ、実現可能なプログラムを検討し、次年度の実施を検討したい。	
ハタチの記念撮影	1月8日	1回	その他	成人	27人	同級生と交流できる機会を通じて、地域への愛着心や帰郷意識や醸成することを目的に、岡田地区出身の二十歳の者を対象とする記念撮影を実施したもの。法改正により成人年齢が引き下げられたため、「新成人記念撮影」から「ハタチの記念撮影」に改称し事業を継承。	町会連合会 子ども会育成会	総合体育館で行う市「ハタチの記念式典」の前に岡田地区出身者で記念撮影出来ることが特徴であり、参加者同士の旧交を温める場となっている。公民館報にも写真と記事を掲載するなど、地域としてこれからの時代を担う若者の新たな門出を祝う貴重な機会となっているため、今後も継続実施していく予定。	
おうちで始める性教育講座	1月13日	1回	子育て	家庭教育	8人	子育て支援の一環として、主に未就学児の保護者を対象に、性や子どもとの接し方、性暴力防止等について学習したもの。	地区福祉ひろば 市健康づくり課	地区担当保健師と連携して企画・実施した講座。参加者からは高評価であったが参加人数が少なかったため、周知方法を検討するなどして次年度以降も継続実施したい。	

令和4年度 事業報告

岡田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
新春サークル発表会	2月4日 ～ 5日	1回	地域事業 (文化)	成人	200人	地域の生涯学習活動の推進を図ることを目的として、主に岡田公民館、町内公民館、農林漁業体験実習館を拠点に活動しているサークルに関する活動成果の発表会と作品展示会を開催したものの。	文化委員 町内公民館長会 福祉ひろば 公民館利用団体 農林漁業体験実習館利用団体	地域住民の生涯学習に関する発表の場として定着している、地区の文化祭である。コロナ禍でも実施可能な内容を検討し、作品展示のみ実施した。新型コロナウイルス感染症の分類見直しを踏まえ、実現可能なプログラムを検討し、次年度以降も継続実施したい。	
防災訓練	3月5日	1回	防災	成人	70人	地区住民の自主防災意識の向上を図ることを目的に、防災動画の視聴や防災物品（段ボールベッド、パーテーション、簡易トイレ等）の組み立て体験を実施したものの。	岡田地区自主防災連合会	災害対応については継続的な訓練が重要なことから、毎年テーマを設定し、今後も継続実施したい。	
あかちゃんのタッチケア講座	4月22日 11月25日	2回	子育て	家庭教育	26人	子育て支援の一環としてスキンシップの方法を学ぶとともに、相談先や外出先がないという子育ての孤立状態を予防・解消し、行政機関や支援体制の認知度を上げることを目的に実施したものの。	地区福祉ひろば 市健康づくり課	地区担当保健師と連携して企画・実施した講座で、参加者から高評価を得ることができた。また、参加者と保健師・福祉ひろば職員との顔つなぎを行ったことで、その後の育児相談、事業参加にもつながったため、意図した成果も得られた。子育て世代のニーズ把握を行いながら、次年度以降も継続実施したい。	
自然と歴史に親しむ講座	5月31日 10月 5日 10月11日	3回	福祉健康	成人	51人	岡田地区及び近隣の自然、歴史について学習する講座。地域への郷土愛を育むとともに住民の生きがいづくりを目的に実施したものの。 ①上高地探索 その1 ②上高地探索 その2 ③乗鞍探索		地域住民の健康増進と自然・歴史学習を目的にウォーキングを実施した。地域づくりの基盤である人と人とのつながりを構築するとともに地域学習による教養の向上を図ることもできた。地域住民の地域学習及び健康づくりの推進が期待できることから次年度以降も継続予定。	
離乳食講座	7月22日 2月24日	2回	子育て	家庭教育	27人	子育て支援の一環として離乳食について学ぶとともに、相談先や外出先がないという子育ての孤立状態を予防・解消し、行政機関や支援体制の認知度を上げることを目的に実施するもの。	地区福祉ひろば 市健康づくり課	地区担当保健師と連携して企画・実施した講座で、参加者から高評価を得ることができた。また、参加者と保健師・福祉ひろば職員との顔つなぎを行ったことで、その後の育児相談、事業参加にもつながったため、意図した成果も得られた。子育て世代のニーズ把握を行いながら、次年度以降も継続実施したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
写真撮影講座	10月12日 10月19日 10月25日 11月 2日	4回	趣味教養	成人	29人	岡田地区には趣味の域を超えた写真愛好家が多く、サークル活動も盛んである。写真撮影のスキルをもった人材の底辺を広げ、同時に写真を媒介にした人とのつながりづくりを目指し実施したもの。	地域在住の写真クラブ・プロの写真家	初心者が基礎から学ぶことができるよう座学中心の講座としたが、全員での撮影会やその講評なども行い、経験者のスキルアップも図ることができた。地区住民のニーズにより、今後の講座開催を検討したい。	
人権学習会	11月28日 2月18日	2回	人権平和	その他	56人	人権学習・啓発を行ったもの。 ①視察研修 満蒙開拓平和記念館の視察研修により、戦争と平和について学習したもの。 ②性について考えよう講座 多様性が尊重される社会を目指し、多様な性について正しく理解することを目的に、トランスジェンダーの高校生を講師に学習したもの。	地区人権啓発推進協議会	①満蒙開拓団の概要や当事者（語り部）の体験談を聞くことにより、歴史を学び戦争と平和について考える機会を作ることができた。 ②多世代の参加者があり、性の多様性についての学習、啓発を行うことができた。講師と同世代の中学生、高校生の参加がもう少しあるとよかった。次年度もテーマを検討し、引き続き地区住民への人権啓発を行いたい。	
松本城と世界遺産講座	11月17日 11月22日 12月 5日	3回	地域文化	成人	25人	座学及び現地にて、松本城や城下町の歴史や構造、世界遺産登録に向けた取り組みを学習したもの。	市文化財課 松本城管理事務所	松本城や城下町の歴史や構造を様々な角度から学び、新たな発見につながった。また、松本城の見学及び解説も好評であった。次年度以降は、地域のニーズを把握しながら講座を企画したい。	
健康づくり講座	1月12日 3月 1日	2回	福祉健康	成人	46人	健康づくり推進のために以下の講座を実施したもの。 ①「お口の健康を守るために今できること」をテーマに、口腔ケアの重要性を学習したもの。講師：歯科衛生士 ②「タオルで簡単！ストレッチ・体幹トレーニング」をテーマに、家の中で手軽にできるストレッチを学んだもの。講師：スポーツトレーナー	地区健康づくり推進委員会	住民の関心の高い健康維持、増進について、それぞれのテーマから内容と実践方法を学ぶことができた。また、個人の悩みごとに講師が回答する場面もあり、自分事としてとらえることができたと同時に、参加者同士の交流も図ることができた。 次年度以降もテーマを検討し実施したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
コミュニティスクール事業（岡田小学校）	通年	8回	その他	青少年	1,500人	<p>学校、家庭、地域が連携しながら、地域の宝である子どもたちを育てていくことを目的に以下の事業を実施するもの。</p> <p>①小学校読み聞かせ（4月～翌年2月まで計11回開催）中止。</p> <p>②クラブ活動支援（4～6年生を対象にして、7～10月に3回開催）。対象者は170名。</p> <p>③中学校強歩大会の見守り：女鳥羽中学校の伝統的行事である強歩大会（10月12日）の見守りとして、ボランティアが要所のチェックポイントに待機して協力した。生徒の参加者数は330名。</p> <p>④小学校縦割り班遠足の見守り（10月14日に実施）参加者は370名。</p> <p>⑤中学校読み聞かせ（11月28日～12月1日に計3回開催）対象者は330名。</p>	岡田小学校 女鳥羽中学校	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業が中止となった。小・中学校での読み聞かせについては、地域の子どもの豊かな心を育むため、次年度以降も継続して実施する予定。</p> <p>クラブ活動支援は、好評だったが学校側の意向により来年度以降は継続しない予定。地域と学校がつながる代替事業を検討したい。</p> <p>小・中学校行事に付随する講師や見守り的なボランティア人材の確保については、要請に応じて地域の有識者や有志に依頼する方針で臨みたい。</p>	○
5部門委員会運営	通年	7回	公民館委員会・各種会議等	成人	200人	<p>公民館事業への協力を依頼し、事業への主体的な参加を促すため開催したものの。</p>		<p>各委員とも、町会推薦による選任がほとんどであるが、参加意識の低い委員や事業実施に後ろ向きな委員もおり対応に苦慮している。2年任期で改選される委員が多いことから、年度当初に開催する運営委員会等で、改めて地域づくりの重要性を説明するとともに、個別の会議等でも継続的に意識啓発を実施していくこととしたい。</p>	

令和4年度 事業報告の概要

入山辺公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の子どもは地域で育てる」を目的に、大人と子どもが共に学べる講座を展開し、公民館利用者のすそ野を広げる。 ・「学ぶ」「集う」「繋げる」を実現するために、地域住民が気軽に集える場、仲間づくりの場づくりに積極的に取り組む。 ・地域の課題把握、解決に向けた学習機会を提供し、地域住民による主体的な地域づくりを推進するための支援を行う。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で公民館活動が制限される中、安易に中止にするのではなく、「どうすれば実施できるか」を地域住民とともに考え、事業展開していく。 										<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に比べ、新型コロナウイルス対策をきちんと講じたうえで、事業の実施ができた。その背景として、取組方針に掲げている、「どのようにすれば開催できるか」に焦点を当て事業の企画検討を進めることができたことがいえる。特に主要行事の一つである、第44回入山辺地区文化祭が開催できたことは非常に良かった。ステージ発表をなくし、やや規模を縮小したものの、3年ぶりに開催し、多くの方にご来場いただいた。お年寄りから子どもたちまで幅広い世代の方にお越しいただき、住民同士のふれあいや交流が生まれ、地区に活気があふれていた。また、公民館講座は予定以上に実施することができ、地区住民からは、「公民館でみんなと会えるのが楽しい」と喜ぶ声も多く聞かれた。コロナ禍における公民館の必要性を認識するとともに、住民の身近な存在となれるよう、公民館の存在意義を改めて見つめ直す機会としたい。 ・令和3年度に公民館講座に関わるアンケートを実施。調査の結果、スマホの使い方がわからないという声が多数寄せられたため、昨年に引き続き参加者のレベルに合わせた3回連続のスマホ講座を開催。今年は内容を少し変え、大人数に授業形式で行うものではなく、講座の人数を少人数にし、個人のわからないことを手厚く教える講座とした。参加者からは非常に好評で、講座の継続を希望される方が多かった。次年度もスマホ講座を開催し、住民ニーズの高い講座を中心に企画していきたい。 ・「地域の子どもは地域で育てる」を目的に、魚のつかみ体験や、シイタケのコマ打ち体験等の子どもを対象とした事業を積極的に行った。子どもが集まれば、その親御様、祖父母等も集まり、地域に活気が生まれる。次年度は引き続き子ども向けの事業の推進を図るとともに、新型コロナウイルスで中止となっていた「親子ひろば」「入山辺通学合宿」などの主要事業も再開させたい。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	2	4	7	1	16	3	0	0	4	3	1	8	4
延べ参加人数	24	118	84	222	300	330	0	0	0	105	355	48	681	118

令和4年度 入山辺公民館 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第19回山辺の郷健康ウォークラリー大会	4月16日	1回	地域文化	その他	39人	【内容】 ・自然と文化財の宝庫である山辺の郷をウォークラリーで満喫してもらう。 【ねらい】 ・子どもから大人まで幅広い世代を対象に、健康づくり、世代間交流、地域の魅力再発見を促す。	実行委員会 (入山辺・里山辺子ども会育成会、入山辺・里山辺健康づくり推進員会、入山辺・里山辺福祉ひろば、山辺スポーツ少年団、里山辺公民館)	【評価と反省】 ・新型コロナの影響により参加者は地区内のみとし、募集人数も減らす対応を行った。3年ぶりの開催となり、親子で参加する方も多く、家族の交流を図るとともに、入山辺の魅力を知っていただくいい機会となった。 【今後の方針】 ・継続開催とし、次年度は地区外からの参加者も募っていく。	
山辺小学校草刈り	5月21日	1回	地域事業 (その他)	成人	48人	【内容】 ・山辺小学校校庭及びその周辺環境の整備を行った。 【ねらい】 ・山辺小学校運動会に向けてグラウンドの整備をし、運動会で子どもたちが活発に競技できるようサポートする。	町内公民館長会(里山辺、入山辺) 里山辺公民館	【評価と反省】 ・里・入山辺の町内公民館長会で協力し、エリアごと分担を決め、スムーズに作業が行えた。 【今後の方針】 ・山辺小学校の運動会が6月の第1週のため、来年度も同様の時期に作業したい。	○
町会対抗球技大会	6月12日	1回	地域事業 (体育)	成人	65人	【内容】 ・男性はソフトボール、女性はソフトバレーボール 【ねらい】 ・地区住民の親睦と健康増進を図る。	スポーツ協会	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで実施予定であったが雨天のためソフトボールは中止。ソフトバレーは体育館にて実施した。 【今後の方針】 ・継続開催	
文化委員会(町内公民館長会)視察研修	6月25日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	9人	【内容】 ・松本民芸館、松本市美術館、歴史の郷、亀田屋酒造 【ねらい】 ・文化委員の資質向上、相互交流を図る。	文化委員会(町内公民館長会)	【評価と反省】 委員同士の交流を深めることができた。その後の各種事業でも円滑に取り組むことができた。 【今後の方針】 ・継続開催	
子ども会育成会スポーツ大会	6月13日	1回	地域事業 (体育)	青少年	中止	【内容】 ・ドッジボールやドッジビー 【ねらい】 ・地域の子どもたちや保護者同士のつながり強化を図る。	子ども会育成会	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ひろばまつり	7月2日	1回	地域事業 (文化)	成人	105人	【内容】 ・ひろばサークル活動紹介、発表会、作品展示等 【ねらい】 ・住民同士の交流促進を図る。	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 例年福祉ひろばで開催していたが、新型コロナウイルス感染対策のため、公民館講堂へ会場変更した。ひろばサークルを多くの人に知ってもらう機会となり、同時に多くの人が集い、交流を深めることができた。 【今後の方針】 ・継続開催	
人権啓発推進協議会総会	7月7日	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	31人	【内容】 ・事業計画、予算の審議、松本市出前講座「多文化共生を進めるために」 【ねらい】 ・多様化している人権問題を正しく理解し、すべての人々の人権が公平に尊重される地域づくりの推進に向けて地域住民に対して適切な助言ができる体制を確立する。	人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・人権共生課職員による出前講座を実施。在留外国人が少ない入山辺には「多文化共生」はとても貴重な機会となった。 【今後の方針】 ・内容を変えながら継続開催していきたい。	
スポーツ協会東山部ブロック親睦大会	7月16日	中止	スポーツ	成人	中止	【内容】 ・スポーツ協会東山部ブロック（入山辺・里山辺・本郷・岡田・四賀）5地区の親睦を目的に四賀でマレットゴルフを開催する。 【ねらい】 ・東山部ブロック同士の交流促進を図る。	東山部各スポーツ協会	【評価と反省】 ・雨天中止 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
ウォーキング講座 「八島湿原と車山高原を歩こう」	7月19日	1回	趣味教養	その他	5人	【内容】 ・主に八島湿原をウォーキングし、花や植物を楽しむ。 【ねらい】 ・地域の子どもから大人まで幅広い世代の交流の機会と健康増進を図るもの。		【評価と反省】 ・少人数規模だったためガイドさんの声が聞き取りやすかった。参加申し込みが少なかったため、開催時期や参加費等の見直しを図っていく。 【今後の方針】 ・場所を変えてウォーキングを行いたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スマホ体験講習会	7月22日	1回	趣味教養	高齢者	10人	【内容】 ・スマホの使い方が分からない高齢者向けの教室 【ねらい】 ・スマホ普及に伴う高齢者世代のデジタル弱者増加への対策とDX推進	DX推進本部、ソフトバンク	【評価と反省】 ・スマホの基礎的な操作を学び、今までできなかったことができるようになり、スマホを使いこなし楽しんでいた。なかには、さらに発展した内容を学びたいという声や、個人的な相談等をした方が多く見受けられた。 【今後の方針】 ・スマホの使い方が分からない方が多く、ニーズの高さを感じる。来年度以降も継続して開催したい。	
公民館自習室	7月26日 ～7月29日 8月1日 ～8月4日 8月9日 8月10日～ 8月12日～ 8月15日～ 8月19日	16回	子育て	青少年	0人	【内容】 ・夏休み期間中に公民館を自習室として開放する。 【ねらい】 ・公民館が子どもたちにとって身近なものとして利用してもらい、小中学生の居場所づくりの一助とする。	山辺小学校 山辺中学校	【評価と反省】 ・昨年は数人（入山辺在住の小学生）の利用があったが、今年度は参加者がいなかった。 【今後の方針】 公民館をもっと身近なものとして感じてもらえるような工夫が必要。周知方法や内容を再度見直す。	
第33回親子ひろば	7月30日	中止	地域事業 (文化)	青少年	中止	【内容】 ・地区の夏祭り。竹の水鉄砲作り、魚のつかみ取り、綿あめ配布、ポップコーン配布、映画鑑賞会、ニュースポーツ体験コーナー 【ねらい】 ・地域の連帯感、親子のふれあい、世代間交流を促進する。	実行委員会（JA山辺支所、子ども会育成会、スポーツ協会、社会福祉協議会、入山辺記念林協議会、町内公民館長会、健康づくり推進委員会、交通安全協会、民生児童委員協議会、山辺スポーツ少年団）	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染症の状況下でも実施可能な方法を模索していきたい。	
スライムを作ろう	8月3日	1回	子育て	青少年	14人	【内容】 ・スライムづくり 【ねらい】 ・地域の連帯感、親子のふれあい、世代間交流を促進する。	子ども会育成会 福祉ひろば	【評価と反省】 ・スライムを通して、子ども同士だけでなく、その保護者同士のふれあいもあり、世代を越えた交流ができた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
薄川で魚つかみ体験	8月9日	1回	趣味教養	青少年	52人	【内容】 ・薄川で魚つかみ体験と水生生物の観察をする。 【ねらい】 ・薄川の生態や自然を観察するとともに、生きた魚に触れ人と自然の共生を学ぶ。	里山辺公民館 エクセラン高校	【評価と反省】 ・子どもが自然と触れ合えるだけでなく、小学生と高校生が水生生物の観察を通じて、相互に交流を図ることができた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
世代間交流講座 「霧訪山を歩こう！」	8月20日	1回	趣味教養	その他	8人	【内容】 ・霧訪山登山 【ねらい】 ・地域の子どもから大人まで幅広い世代の交流の機会と健康増進を図るもの。	霧の山人	【評価と反省】 ・ガイドさんから花や木、高山植物の説明を聞きながら登り、参加者も楽しみながら登ることができた。 ・天候が不安定で途中から雨が降り出すなど、やや厳しい状況での登山となった。 【今後の方針】 ・登山する際はその難易度をどこに設定するのが、参加対象者をどこに絞るか等検討していく必要がある。	
第6回入山辺地区 通学合宿	8月31日～ 9月3日	中止	子育て	青少年	中止	【内容】 ・小学校高学年を対象に、異年齢の子ども達が3泊4日の共同生活を営むことで、主体性や自立心を育む。 【ねらい】 ・共同生活を通して「社会力」や「生きる力」等を育むとともに、「地域の子どもは地域で育てる」という地域循環型の取組みを構築していく。	実行委員会（子ども会育成会、山辺小学校、松本大学、農村女性委員会、JA女性部入山辺支部等）	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催	○
第39回松本市長杯争奪球 技大会東山部ブロック予 選大会	9月11日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 ・スポーツ協会東山部ブロックから軟式野球とバレーボールの松本市長杯争奪球技大会への代表チームを選出する。 【ねらい】 ・東山部ブロック同士の交流を図りつつブロック代表チームを決める。	東山部各スポーツ協会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、選手が集まらず、入山辺の出場チームなし。 【今後の方針】 ・継続開催	

令和4年度 入山辺公民館 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
きのこを楽しむ日	9月30日	1回	趣味教養	成人	22人	【内容】 ・地元の間行き、きのこ狩りをする。 【ねらい】 ・健康促進と地域住民の交流を図る。	福祉ひろば	【評価と反省】 ・きのこの生態を学び、知識向上を図るとともに、きのこを目指し山道を歩くことで、健康増進を図り、地域住民の相互交流ができた。 【今後の方針】 ・継続開催	
農村女性委員会視察研修	10月4日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	15人	【内容】 ・海野宿、道の駅雷電くるみの里、アトリエドフロマージュ、ヴィラディストガーデンファームアンドワイナリー 【ねらい】 ・会員の資質向上、相互交流を図る。	農村女性委員会	【評価と反省】 ・会員の資質向上の一翼を担っている。また、会員同士の相互交流を図ることができた。 【今後の方針】 ・継続開催	
第65回松本市市民体育大会秋季大会	10月9日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 ・地区より5競技（軟式野球、ソフトバレーボール、卓球、ゲートボール、ソフトボール）に出場するとともに住民が応援に参加 【ねらい】 ・交流促進及び健康増進を図る。	スポーツ協会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、選手が集まらず、入山辺の出場チームなし。 【今後の方針】 ・継続開催	
第91回入山辺地区大運動会	10月16日	中止	地域事業（体育）	その他	0人	【内容】 ・各種競技で町会ごと得点を競う。（半日開催） 【ねらい】 ・健康増進や地域の団結力の向上を図る。	実行委員会（スポーツ協会、町会連合会、町内公民館長会等地区内各種団体）	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止 【今後の方針】 ・開催に向け、実行委員会を中心に準備を進めていく。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第44回入山辺地区文化祭	11月5日	1回	地域事業 (文化)	その他	250人	【内容】 ・展示作品発表、福祉用品コーナー、健康コーナー、物販コーナー、ニュースポーツ体験コーナー 【ねらい】 ・地区住民の文化活動発表の場を設け、文化力向上や地域活性化を図る。	実行委員会（町内公民館長会、健康づくり推進員会、農村女性委員会、スポーツ協会、子ども会育成会、ゲートボール愛好会、交通安全協会、入山辺福祉ひろば）	【評価と反省】 ・ステージ発表を中止し規模を縮小して、3年ぶりの開催。作品展示や各コーナーが多くの方で賑わいをみせた。 【今後の方針】 ・次回はステージ発表の復活も視野に入れ、多くの方に来ていただけるよう、内容の充実を図る。	
町会対抗ゲートボール大会	11月5日	1回	地域事業 (体育)	成人	40人	【内容】 ・町会対抗のゲートボール大会 【ねらい】 ・健康増進。仲間づくりや親睦を深める。	ゲートボール愛好会 スポーツ協会	【評価と反省】 ・天候に恵まれ今年度も継続して多くの地区住民に参加いただき開催することができた。また、文化祭と同時開催し、相互交流が図れた。 【今後の方針】 ・継続開催	
刃物研ぎ講座	11月15日	1回	趣味教養	成人	11人	【内容】 ・刃物研ぎ 【ねらい】 ・刃物の研ぎ方を学び、家庭で使いやすい刃物にする。	シルバー人材センター	【評価と反省】 ・研ぎ方を学び、切れ味の良い包丁になったと参加者から好評だった。その包丁を使い、家庭での調理を通じて家族同士が交流する機会の一助となった。 【今後の方針】 ・継続開催	
世代間交流講座 「昇仙峡で秋を感じよう！」	11月19日	1回	趣味教養	その他	23人	【内容】 ・令和2年度日本遺産に認定された山梨県「昇仙峡」をウォーキング 【ねらい】 ・地域の子どもから大人まで幅広い世代の交流の機会と健康増進を図るもの。		【評価と反省】 ・紅葉の見頃が過ぎていたものの、天候もよく、季節を感じながら参加者同士の交流を深めることができた。足の悪い参加者に対し、事前に距離や道のり等正確に伝え、歩けるかどうかの判断を行う必要がある。 【今後の方針】 ・場所を変えウォーキングを行いたい。	

令和4年度 入山辺公民館 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
探検いりやまべ	11月20日	中止	趣味教養	青少年	0人	【内容】 ・家族単位で地区内を歩いてウォッチング（自然観察、建造物等） 【ねらい】 ・家族内にとどまらず、家族同士で交流し、住民同士の繋がりのお機会を提供する。また、健康増進を図る。	子ども会育成会	【評価と反省】 ・雨天中止 【今後の方針】 ・継続開催	
東山部不用食器回収事業	11月27日	1回	環境	成人	300人	【内容】 不用になった食器を無料回収し、状態の良いものは、「もったいない市」で無料配布するもの。 【ねらい】 ゴミの減量と資源の有効活用を図る。	東山部不用食器回収委員会	【評価と反省】 ・昨年はグラウンドが雨で使用できず、初めてグラウンドを使用して実施。 ・来場世帯数は211世帯で、地区外からも多くの方が来場された。アンケート結果では、「有意義な活動だ」「毎年やってほしい」という意見があがった反面、場所がわかりづらいという意見もあり、次年度以降は対策を検討していく。 【今後の方針】 ・継続開催	
男の健康料理教室	12月8日	1回	趣味教養	成人	8人	【内容】 ・入山辺地区で育てたこんにゃく玉を使ったこんにゃく作り 【ねらい】 ・健康について考えるお機会の提供と、男性の家事参加促進。仲間づくりや親睦を図る。	農村女性委員会	【評価と反省】 ・昨年は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止となったが、今年度は感染対策を講じたうえで実施できた。 ・男性の参加人数を増やしていきたい。 【今後の方針】 ・地区の関係団体と共催していきながら参加者の裾野を広げたい。	
山辺地区立志式	2月4日	1回	子育て	青少年	70人	【内容】 ・山辺地区に住む中学2年生を対象とした「立志」の式典。 【ねらい】 ・中学生に町会の組織や機能を知ってもらうお機会とし、地域の一員であるという意識を持ってもらう。	山辺地区立志式実行委員会	【評価と反省】 ・生徒たちの進路決定の一助となり、社会性の向上につながった。 【今後の方針】 ・継続開催	○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
人権講演会	2月	中止	人権平和	成人	0人	【内容】 ・人権と個人情報との関わりについての講演会。 【ねらい】 ・個人情報が重要視される中で人権と個人情報の関係について考える機会とする。	老政会 人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
スマホで動画編集講座	2月22日	1回	趣味教養	成人	4人	【内容】 ・写真や動画を編集して1つの動画をスマホで作成する方法を学ぶ。 【ねらい】 ・自分が撮影した写真や動画を編集し、さらに魅力あるものにする事で、情報発信の1つのツールとして活用していただく。	松本大学社会教育実習生	【評価と反省】 参加者の多くがこのような動画編集アプリがあること、写真や動画を繋ぎ合わせ1つの動画にできることを知り感動していた。また、自分の作成した動画を後日再編集したり、友達に教えたりと、講座終了後さらに活用している様子が見受けられた。 【今後の方針】 ・要望に応じて開催を検討する。	
人権講座視察研修	2月25日	1回	人権平和	成人	24人	【内容】 ・川中島古戦場、松代大本営地下壕、須坂田中本家視察 【ねらい】 ・地区住民の人権啓発の推進を図るもの。	人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・多くの方にご参加いただき、地下壕で労働していた朝鮮人の歴史を学び、人権について考えるとともに、参加者同士の交流が図れた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
しいたけコマ打ち体験講座	3月4日	1回	趣味教養	その他	32人	【内容】 ・入山辺里山辺財産区の山から切り出した原木を使用しいたけのコマ打ちを行う。 【ねらい】 ・入山辺里山辺財産区を知っていただくこと。また、世代を越えた交流を図る機会とするもの。	子ども会育成会 入山辺里山辺財産区	【評価と反省】 ・子どもからお年寄りまで幅広い世代が集まって交流することができた。また、地区住民の方に入山辺里山辺財産区を知っていただく機会を作ることができた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
みそ作り講座	3月18日	1回	趣味教養	その他	17人	【内容】 ・松本産の大豆を使った味噌づくり。 【ねらい】 ・みそ作りを通じて、子どもから大人まで世代を超えた交流を促進するもの。	農村女性員会 地区団体	【評価と反省】 ・小さい子から大人まで幅広い世代の方々にご参加いただき、みそ作りを通して、地区内外問わず、参加者同士で交流を図ることができた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
中学生と語る会	3月21日	1回	地域文化	青少年	中止	【内容】 ・山辺中学校卒業生（入山辺地区在住者）が一堂に会し、そばクッキー作りや昼食会を交えながら地域住民との意見交換会を行う。 【ねらい】 ・小学生の頃は育成会行事等で地域とのつながりは比較的深い、中学生になると一転希薄化する。地域の良さに気付き愛着を深める。	町会連合会 民生児童委員協議会 子ども会育成会 福祉ひろば	【評価と反省】 ・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 【今後の方針】 ・新型コロナウイルス感染症の状況下でも実施可能な方法を模索していきたい。	○
寄せ植えとフラワーアレンジメント講座	6月22日 11月2日	2回	趣味教養	成人	30人	【内容】 ・花の寄せ植えと、牛乳パックを使用したフラワーアレンジメントを実施。 【ねらい】 ・仲間づくりや生きがいづくりの場とする。また、松風園と連携しながら、入所者と地域住民の交流促進の場とする。	地区住民 松風園	【評価と反省】 ・地区住民だけでなく、松風園の入所者の方も多くご参加いただき、相互交流が図れた。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
いきいき健康講座	7月20日 7月29日 8月12日	3回	福祉健康	高齢者	24人	【内容】 ・脳トレや歌を取り入れながらダンスや体操、ストレッチなど楽しく体を動かす。 【ねらい】 ・体と同時に頭やお口を動かし、いつまでも元気でいきいきと過ごす。	福祉ひろば 健康づくり推進委員会 東部包括支援センター	【評価と反省】 ・3回を通して連続で参加していただき、また参加したいという声が多かった。しかし、開催時期が夏で農家の方は繁忙期となり参加者がやや少なかった。 【今後の方針】 ・健康増進を図る講座の継続した企画検討を行うとともに、開催時期や内容を見直していく。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
みんなのそばで楽しむ味隊SOBA講座	7月31日 10月8日 10月22日 11月26日 12月3日	5回	趣味教養	成人	55人	【内容】 ・そばの種まきから、刈取り・脱穀まで関わり、収穫した新そばで蕎麦打ちをし、そばを味わう。 【ねらい】 ・そば栽培を通じ農業と自然に親しむことで、入山辺の魅力を再発見し、世代・地域を越えた交流を図る。	こんな山辺にするじゃん会	【評価と反省】 そば栽培を通じて、入山辺の魅力を知ってもらいきっかけとなった。また、他地区からの参加者も多く、地区住民と他地区の方の相互交流が図れた。 【今後の方針】 ・関係団体と検討しながら継続実施していきたい。	
シニア向けスマホ講座	11月14日 11月29日 12月12日	3回	趣味教養	高齢者	22人	【内容】 ・講師を招き、シニア向けにスマホの使い方を教える。 【ねらい】 ・スマホ普及に伴う高齢者世代のデジタル弱者増加への対策とDX推進。		【評価と反省】 ・入門編、基礎編、個別質問コーナーと段階を分け、参加者のレベルアップを図ることができた。特に各個人の質問に対し、丁寧に答えることができ、参加者も満足していた。 【今後の方針】 ・スマホの使い方が分からない方が多く、ニーズの高さを感じる。来年度以降も継続して開催したい。	
松本城と世界遺産講座	11月24日 11月29日 12月6日	3回	地域文化	成人	113人	【内容】 ・世界遺産登録を目指す松本城の歴史と今後の展望について学習する 【ねらい】 ・身近にある松本城の歴史を改めて学習するとともに、松本のシンボルである松本城の良さや価値を再発見する。	老政会 「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会 文化振興課	【評価と反省】 ・身近にあるため知らないことが多かった松本城について改めてきちんと知ることができてよかったとの声が多く聞かれた。 【今後の方針】 ・内容を変えながら、自分の住む入山辺、松本等の歴史や文化資産等を学習する機会を作る。	

令和4年度 入山辺公民館 事業報告

入山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
安心家族のための連続講座	1月18日 2月17日 3月15日	3回	趣味教養	成人	31人	【内容】 ・認知症予防、相続・生前贈与、争族にならないための3つの講座を行った。 【ねらい】 ・認知症や相続等を学び、将来への漠然とした不安を少しでも解消する。	明治安田生命	【評価と反省】 ・楽しく学べる認知症や、相続の基本を学び、参加者からは、すべて他人事ではなく自分事のように考える必要があると感じてとても勉強になった、と大変好評だった。 【今後の方針】 地区の高齢化が進み、漠然とした不安がある方が多い。そのため、そんな不安を解消できるような講座の開催を検討していく。	
ウォーキング講座	通年	9回	福祉健康	成人	94人	【内容】 ・入山辺地区ウォーキングコースを中心に歩く。 【ねらい】 ・健康意識の高揚、仲間づくり	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・四季折々の季節感を満喫でき、入山辺の魅力再発見につながった。それと同時に地区住民の健康増進に寄与した。 【今後の方針】 ・継続開催したい。	
入山辺地区カレンダー発行	毎月1回 全12回	12回	地域文化	成人		【内容】 ・地区内の行事や各種団体の会議予定などを幅広く掲載するように努めている。 【ねらい】 ・全戸配布して幅広く住民に周知する。		【評価と反省】 ・学校、保育園だけでなく、地区関係団体の様々な情報を盛り込むことができ、地区住民に対し、入山辺地区情報発信することができた。 【今後の方針】 ・各種団体等に情報提供を呼びかけ、引き続き掲載内容の充実化を図りたい。	
山辺ワイナリー掲示板写真貼り替え	毎月1回 全12回	1回	地域文化	成人		【内容】 ・こんな山辺にするじゃん会「観光と魅力発信Gr」の活動の一環であるワイナリー写真の貼り替え作業 【ねらい】 ・ワイナリーに足を運んでいただいた方へ、地区の魅力を発信する。	こんな山辺にするじゃん会	【評価と反省】 ・入山辺地区で行われたイベント・行事等の情報を掲載し、ワイナリーを訪れた方々へ入山辺の魅力を発信することができた。 【今後の方針】 ・引き続き地区情報発信を継続しながら、各町会ごと写真を掲載する等、今まで以上に入山辺の魅力を発信できるよう、更に内容の充実を図っていきたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
福祉ひろば事業推進協議会支援	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 ・地区公民館長、センター長、公民館主事が推進委員として参画している。 【ねらい】 ・公民館活動との連携強化、地域づくり政策の一翼を担うため継続的な支援を行う。	福祉ひろば事業推進協議会	【評価と反省】 ・地域づくりセンター、公民館からの情報伝達の機会ともなっている。 【今後の方針】 ・引き続き連携を密にして、支援を継続していきたい。	
入山辺地区の将来ビジョンを考える会（こんな山辺にするじゃん会）	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	350人	【内容】 ・地域の課題解決に向けて会を4グループ（観光と魅力発信・食農振興・住み易い地域づくり・DIY）に分けて、それぞれの課題に沿った解決に向けて活動を展開している。 【ねらい】 ・将来の入山辺地区のあり方を地域住民皆で考え、地域課題の解決に向けて具体的に行動していくため。	町会連合会 各種団体長	【評価と反省】 ・コロナ禍でもできることは何か、コロナ禍だからできることは何か、常に考えながら、各グループごと活動を進めてきた。引き続き、入山辺の地域課題の解決に向けた取り組みを住民主体で検討していく。 【今後の方針】 ・地域住民が主体的に会を進めていけるよう、職員の関わり方、支援のあり方を模索していきたい。	
5部門委員会支援	通年		公民館委員会・各種会議等	成人	250人	【内容】 ・各委員会の自主性を大切にしながら、各種事業の立案や開催のための側面支援を行う。 【ねらい】 ・住民主体の地域活動の促進を図る。	運営委員会 館報編集委員会 図書委員会 体育委員会 文化委員会	【評価と反省】 ・各委員会の自主性、自立性をさらに促したい。 【今後の方針】 ・委員の人数が減ってきているので新たな人材発掘を行いたい。	
公民館使用団体等支援	通年		公民館委員会・各種会議等	成人		【内容】 ・公民館を使用する団体やサークルを後方支援する。 【ねらい】 ・各団体等の活動内容を地区内に還元できる機会を設けながら、地区の活性化や文化力の向上を図る。		【評価と反省】 ・団体やサークルの自主性を損なわないよう十分配慮しながら、必要に応じて支援していきたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
公民館だより発行	通年	12回	地域文化	成人		<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座の開催周知を図るため、月1回の広報まつもとの配布に合わせて発行する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動や事業の周知。 		<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に講座の開催周知を行っているが、地区住民の方にチラシを手にとっていただき、読んでいただけているかは不明。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読みやすい、読みたくなるような紙面となるよう工夫していきたい。 	
図書貸し出し	通年	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	26人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室に中央図書館から貸出を受けた本を中心に約700冊を配架している。図書委員が年2回入替作業を実施している。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで幅広い年代層が興味を持てる様々なジャンルの本を備えており、読書活動の推進を図っている。 	図書委員会	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知方法を工夫して、さらなる利用促進を図りたい。 	
公民館報「いりやま」発行	年6回	6回	地域文化	成人	70人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回編集委員会を開催し、松本市公民館報の入山辺版として発行する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の様々な情報提供 	館報編集委員会	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の出来事、イベント、行事を中心に情報を載せることができた。また、地区住民の多くの方にご寄稿いただき、直接的な声を館報に反映することができた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読みやすい、面白い館報を作れるよう工夫する。 ・館報編集委員会が主体的に取り組めるようサポートしていきたい。 	

令和4年度 事業報告の概要

里山辺公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【地域課題】 ○里山辺地区の65歳以上の住民に占める要支援・要介護者が2割弱であり、潜在的な該当者も合わせると2割を超すと予想され、高齢化率も高い。また、一人暮らし家庭も多いことからコロナ禍は家に閉じこもり、人と人との繋がりが希薄になることで様々な弊害を生じさせている。 ○小中学生の地域との関わりが希薄であり、地区の行事等への参加が低調である。</p> <p>【活動方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校、地域および保護者が子どもたちをどのように育てたいかについて子どもを取り巻く状況から意見を交わし、そこから学校や保護者が地域に求めることを明確にする。コミュニティスクール運営委員会をもとにそれぞれの主体で活動を展開する。 2 町内公民館長会との研修を重ね、住民が参加しやすく、住民の生きがいづくりから住民同士のつながりの創出を図る公民館活動のあり方について議論を深める。 3 専門委員会で委員同士が自らアイデアを出し合い、地域の実情に合った活動の展開を促進する。 4 多世代の住民が気軽に参加できる講座を企画し、住民の要望や意見を聴きながら実施内容を見直していく。 5 地区内の小・中学生が地域活動に参加できるきっかけをつくる。 <p>【重点的に取り組んだ事項】</p> <p>○山辺ドリーム大学をはじめ地域住民と触れ合う機会を通して、これまで地域と学校が連携して取り組んでいった。特に今年度新たに起こした、1学年ドリーム大学に於いて「山辺の地域再発見」として、積極的に地域に関心を持つように取り組んだ。</p> <p>○コロナ禍の中で、地域住民特に高齢者が交流する機会が減ってきたことで、生き甲斐を失いそれに伴う様々な心身への問題が生じている現状を鑑み、公民館として一昨年から取り組んできた「週一ウォーク」は通年通して実施した。</p>	<p>○ドリーム大学をはじめ地域住民と触れ合う機会を通して、自分も山辺の一員で地域で成長しているという意識を持ってきている。また、これまで知らなかった地の素晴らしさを自らの調査活動によって知ることができたことは、改めて地域愛を深めるきっかけとなった。</p> <p>○コロナ禍の中で、地域住民特に高齢者が交流する機会が減ってきたことで、生き甲斐を失いそれに伴う様々な心身への問題が生じている現状を鑑み、公民館として一昨年から取り組んできた「週一ウォーク」は通年通して実施する盛況ぶりであった。現在は高齢者のみならず子育て中のお母さんや、年齢層の若い世代の参加もあり多世代交流と地域住民の生き甲斐づくりに寄与できている。</p>

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	平和人権	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	0	3	9	6	1	3	0	1	2	9	3	1	5	0
延べ参加人数	0	1309	352	198	62	56	0	0	5	109	215	83	445	0

令和4年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
第19回山辺の郷健康ウォークラリー大会	4月16日	1回	地域文化	その他	28人	レクリエーション、健康づくり、地域の魅力再発見などを目的に実施している。 山辺地域の名所・旧跡を結んだコースをめぐり、地元の歴史や文化、地名のいわれなどに因んだ問題を出題する。時間得点（ゴール時間と標準時間の差）と課題得点（問題の正答数）で順位を競う。	実行委員会において企画・運営を行う。 実行委員会の構成団体は、入・里山辺公民館、入・里山辺健康づくり推進委員会、入・里山辺子ども会育成会、入・里山辺福祉ひろば、山辺スポーツ少年団	コロナウイルスの感染防止対策を講じ3年振りの開催となった。参加者からは開催を楽しみにしていたのでできて良かったという声が多く聞かれた。	
第7回里山辺地区親睦ゴルフ大会		中止	地域事業（体育）	成人	0人	個人競技の地区大会として、町会のゴルフ同好会や一般募集で参加者を募っている。競技終了後に、表彰式および懇親会を公民館にて実施している。	里山辺親睦ゴルフ大会実行委員会（町会のゴルフクラブ等を中心に各町会から1名ずつ選出）と共催。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、前年度に中止を決定した。今後は、実行委員会で開催内容を十分に検討して実施していく。	
山辺小学校校庭の草刈り作業	5月21日	1回	環境	成人	62人	小学校の運動会の2週間前に、校庭および校舎周辺の草刈りを「地域の子どもは地域で育てる」ための活動として実施している。	里山辺地区町内公民館長および入山辺地区町内公民館長のご協力で、各町会関係者等に声を掛けてもらい実施している。ビーバー等では時間がかかる芝生部分は乗用モアでの作業とし、若手の農業者の方々に協力してもらっている。	山辺小学校校庭の草刈り作業	
第52回ソフトボール・ソフトバレーボール大会	5月29日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。 ソフトボール競技は4月1日の満年齢で49歳以上の男性を中心にチームを編成し、2会場を使用してA・Bブロックでのトーナメント方式で実施。ソフトバレーボール競技はAブロック（4月1日の満年齢で39歳以上の男女でチーム編成）、Bブロック（4月1日の満年齢で38歳以下の男女でチーム編成）の2ブロックトーナメント方式で実施。	本部体育委員会で企画・実施。町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめて町会公民館ごとに行う。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止とした。競技内容は町会の実情に合わせ本部体育委員会で毎年検討していく。町会内、町会を越えた住民の交流を図る目的を実現する工夫を凝らしていきたい。	
塩の道ウォーク	6月28日 9月22日	2回	地域文化	成人	23人	公民館と福祉ひろばの共催事業で「週一ウォーク」を年間42回実施しており、歩いた距離を明確にするため、千国街道「塩の道」120kmを踏破する目標を立てる。その発展として実際に「塩の道」を歩く事業を起こす。	塩の道が整備されている白馬村からの出発するコースにする。全行程を3年間かけて踏破する計画。①千国越えコース②石坂越えコース③天神道コース④大網峠越えコース⑤養老坂コース⑥地蔵峠越えコース⑦大峯峠越えコースを計画。	糸魚川と松本を結ぶ命の道でもある「塩の道」を実際に歩いて見聞することを通して、往時の人々の暮らしや文化をガイドから学ばまたとない機会となっており、最も人気があり好評である。	

令和4年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
山辺の地域再発見	6月30日	1回	地域文化	青少年	101人	入山辺地区・里山辺地区に住む中学生へ地域の歴史や文化に関心をもってもらい、地域の伝統の継承を世代を越えて考える機会にしたいと発案したが中学生の参加者は得られなかった。「知る知る山辺探検隊」の発展として、地域住民と共に学び合う「山辺ドリーム大学」にて1年生対象に「地域再発見」という講座を設け、中学生が自らテーマを設定し、追求学習をすることになった。	入・里山辺公民館・山辺歴史研究会・山辺中学校の三者共催	中学生が興味を持ち、意欲的に追求学習ができるような話題提供が重要であると考え、「山辺のここがすごいところ」のパワーポイント作成し、オリエンテーションを行う。公民館では資料提供に最大限の努力をし、追求学習のサポートを行う。今後も中学校の総合的な学習の時間に於いて継続した活動ができるよう働きかけをしていく。	
秋葉街道と塩の道	11月18日	1回	地域文化	成人	14人	塩の道の南信版として南の塩の道である「秋葉街道」の歴史と文化に視点をあてた事業。	秋葉街道の歴史で国の重要無形民俗文化財に指定されている「霜月祭り」を学ぶ企画。	日本のチロルと呼ばれている「日本の里100選」の下栗の里、遠山郷を巡り、秘境と称される下栗の自然と歴史を学ぶ人気の高い講座。	
体育協会東山部ブロック親睦球技大会	7月10日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	松本市体育協会第一ブロックの5地区(本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀)の親睦球技大会。今年度は四賀地区が計画し、四賀マレットゴルフコースに於いて、マレットゴルフを行う予定であったが、前日の雨によりコース状況不良のため中止となった。	松本市体育協会第一ブロックの5地区の体育協会(本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀)で共催。本年度四賀地区が当番で企画を行った。	例年、ニュースポーツ・ウォーキングや球技を内容とした企画が続いていたが、球技では参加者の人数の確保が困難な状況があり、少人数でも開催できる内容となっている。	
夏休み親子魚つかみ体験	8月9日	1回	子育て	青少年	65人	薄川の生態や自然を観察するとともに、生きたニジマスを手で捕まえて自分の獲った魚を家で食べることで自然の中で生きていることを感じる講座。 今年度は小松橋上流200m位の浅瀬で実施した。 犀川漁協(河川使用の許可)、(有)カワグチ(ニジマスの購入)に協力してもらい実施。	入山辺公民館と共催。 両地区で参加を呼び掛け、当日の準備や運営も連携して行っている。 エクセラン高校環境科学コースの生徒に、参加する子どもたちへ水生生物の観察指導を行ってもらっている。	夏休みに近くの川で自然と触れ合える貴重な体験となっており、新型コロナウイルスのため夏休みに遊びに行けなかった子どもたちと保護者の皆さんから、好評でキャンセル待ちをする程である。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
フォレストキャンプin山辺	8月5日 8月6日	中止	子育て	その他	0人	夏休みの期間に親子で自然と触れ合い自然の中で生活する楽しさを学ぶとともに、キャンプを通じて共同生活の体験をする。自然体験学習に活用できる施設である「美ヶ原少年自然の家」を拠点に実施。 (1日目) ・周辺散策(三城周辺コース) ・クラフト制作(樹木、木の実を使ったクラフトの制作) ・キャンプ体験(家族ごとで飯盒炊飯) (2日目) ・上高地ハイキング	施設管理者の下平先生と日程および内容の調整を行い、必要に応じて下見を行っている。	今年度は新型コロナウイルス感染防止のため「美ヶ原少年自然の家」での宿泊体験ができなかったので日帰りによる事業とした。参加家族もコロナ対策として3家族にして準備を進めてきたが、前日体調不良により2家族がキャンセルしてきたため、1家庭の意向を確認し中止とした。例年参加を希望する家庭が減少していることに加え、市バスの確保が困難になってきている現状を踏まえ今後については検討。	
第7回マレットゴルフ大会	8月23日	1回	地域事業(体育)	成人	25人	個人競技の地区大会。 中山霊園マレットゴルフ場で開催し、今年は芝・林間・桜の全コースで競技を実施。	里山辺マレットゴルフ同好会と共催。	個人スポーツの需要が高く、できるだけ多く地区住民が参加でき、競技を通じて身近なつながりづくりや競技仲間として関係が継続することを目的に、競技に精通する団体に大会運営を行っている。 全コースをめぐる事が参加者に好評であり、いかに参加者がプレーを満足できるか考えていきたい。	
第68回野球大会	8月21日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。 軟式野球競技は地区居住の男性を中心に各町会1チームを編成し、A・B・Cの3ブロックでのトーナメント方式で実施。ソフトボール競技は地区居住の女性を中心に各町会1チームを編成し、A・Bの2ブロック(予選リーグと決勝トーナメント)方式で実施。	本部体育委員会で企画・実施。 町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめて町会公民館ごとに行う。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止とした。 競技内容は町会の実情に合わせて本部体育委員会で毎年検討していく。町会内、町会を越えた住民の交流を図る目的を実現する工夫を凝らしていきたい。	
ガーデニング講習会	5月16日 11月21日	2回	趣味教養	成人	38人	春と冬の年2回開催。 季節に合った花を自分なりにプランターに敷き詰め、寄せ植えを行う。春は庭先で楽しめるものを、冬は花が少なくなる時期に向けて玄関先で楽しめるものをテーマとした。 講師：塩原園芸 塩原 文夫さん、塩原 幸子さん	里山辺花いっぱいボランティアと共催。	自分なりの作品をつくる毎年好評の講座。 花のない冬の時期にも開催し、長く咲き続けるための保存方法を学ぶなどプロが教えるコツも講座の目玉となっている。	

令和4年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
町内公民館町会・里山辺公民館合同研修会	9月17日	1回	その他	成人	5人	里山辺地区町内公民館長会と里山辺公民館とが連携し「両輪の輪」として公民館活動を推進する上で地域に密着した公民館のあり方を模索する機会とする。 今回は、「飯山街道が育んだ奥信濃の小京都飯山と日本有数の豪雪地帯栄村の自然と文化を巡る」をテーマに、飯山の寺巡り、仏壇通り散策、栄村の豪雪に備える仕組みについて研修した。	里山辺地区町内公民館長会と合同で実施。	内容については町内公民館事業での研修に参考になる県内の歴史・文化・産業関連の施設及び事業所等を視察先として選定し、相互に連携を図るためどのようなことが必要か考える場としたい。	
市民体育大会	10月9日	1回	地域事業(体育)	成人	42人	軟式野球、卓球、ゲートボール男女、ソフトバレーボール、マレットゴルフの5種で地区代表チームを選出し、他地区との対抗競技を行う。	各種目に本部体育委員が分担して張り付き、チームの支援や応援、ユニホーム等の回収をお願いしている。	今年度は、ソフトバレーボール・ゲートボール男女・マレットゴルフ男女の3競技に出場し、女子のゲートボール優勝、男子ゲートボールで3位の成績であった。	
第67回大運動会	10月16日	中止	地域事業(体育)	その他	0人	地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。	地区関係団体(町会連合会、町内公民館長会、交通安全協会里山辺支部、消防団第19分団)と共催。本部体育委員会で開催要項およびプログラムを策定し、町内公民館長会との打ち合わせ、共催団体会議、全体会議において協議し、開催内容を決定している。準備および運営は、町会等から選任した競技役員と本部体育委員が中心に行う。競技は町会対抗または自由参加の形式をとる。	町会対抗競技を通じて地区住民相互の親睦や、町会内の親睦・連帯に寄与している。 松本市の体育行事が10月～11月初旬に集中するため、現在の時期となっている。入山辺地区運動会と同日開催であり、両地区に関係する方々には時間をずらして参加いただいている。しかし、別の時期の検討は現状難しい。 開催内容については、令和2年に実施したアンケートの結果を踏まえ、検討・改善したが新型コロナウイルス感染拡大により中止とする。	
秋の山城ウォーク	10月23日	1回	地域文化	成人	11人	講師：澤柳 秀利さん(松本市学芸員) 平成29年2月に国史跡に指定された林城跡と関連の深い小笠原氏の築城した山城群を順々にめぐる講座。今回は桐原城跡(入山辺地区)をめぐる。講師の研究資料や当時の文献と紐づけて城の歴史等を紹介してもらい、今話題の登山と歴史探訪を掛け合わせた内容である。	講師とともにコースを確認し(下見)、行程を組むようになっている。 説明資料は講師に作成をお願いしている。	市内の山間部に点在する山城群の形成はその地域の生活様式や文化にも影響しており、歴史と共に深く学ぶことで、地域の魅力を発見できる講座と考えている。山辺地区7城と中山地区1城と近隣の山城は全て歩いて、今後は小笠原氏に関連の山城を継続して学ぶ講座としたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第48回文化祭	11月5日 11月6日	2回	地域事業 (文化)	その他	200人	<p>日頃から取り組む地区住民の芸術文化活動を地区の一般の方へ発表・展示するステージ発表会および作品展示会を開催している。1日目は作品展示会のみ開催、2日目はそれに加えてステージ発表や販売・体験のコーナーを開催する。</p> <p>また、大勢の方に来場してもらうため、地区福祉ひろば事業推進協議会で主催する「福祉ふれあいフェスティバル」と合同で開催し、家族で参加できるアトラクションを設けるなど多世代交流となるように工夫している。</p> <p>作品展示では、保育園児や小学生、中学生、高校生（エクセラン高等学校）から町会で推薦を受けた住民まで、多彩な作品を展示する。</p> <p>ステージ発表では、山辺小学校合唱団およびブリーズウィンズ（金管バンド）、山辺中学校ドリーム大学、公民館・福祉ひろばの各サークルなどが出演する。</p>	<p>本部文化委員会で企画し、町会ごとの作品の取りまとめは町内文化委員が行う。</p> <p>開催要項について、実行委員会（福祉ひろば事業推進協議会、福祉ひろばコーディネーター、本部文化委員会）で検討し、決定している。文化祭の準備と当日の運営については、本部文化委員および町内文化委員で担う。</p> <p>ステージ発表の出演団体や販売・喫茶コーナーの出店団体は公民館で呼び掛けて、当日の分担について打ち合わせを行う。</p>	<p>新公民館での文化祭として計画・準備を進めて来たが、直近でのコロナウイルス感染状況が下がらずステージ発表は中止とし、展示発表のみを行う。</p>	
本の読み聞かせと工作	11月6日	1回	地域事業 (文化)	青少年	15人	<p>地区文化祭に合わせて実施する講座である。</p>	<p>図書視聴覚委員会で企画、準備、当日の運営を行っている。</p>	<p>本の読み聞かせは中止とし、キャンドル作り工作を文化祭に併せて実施する。</p>	
第66回卓球・第43回ゲートボール大会	11月14日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	<p>地区住民相互の親睦や町会内の親睦、健康の増進を図る目的で開催する町会対抗の地区体育大会。</p> <p>平成30年度から卓球大会では個人戦をオープン競技としている。</p> <p>平成29年度からゲートボール大会では、山辺中学校ドリーム大学ゲートボール学科のチームがエントリーしている。</p>	<p>本部体育委員会で企画・実施。町会のチーム編成は町内体育委員がとりまとめて町会公民館ごとに行う。</p>	<p>町会対抗競技を通じて地区住民相互の親睦や、町会内の親睦・連帯に寄与している。</p> <p>卓球競技がオープン参加となり、参加できる人の範囲が制度上拡大した。</p> <p>また、中学生の参加でゲートボールを通じての世代間交流が図られている。今年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止とする。</p>	
親子そば打ち講習会	11月25日	1回	子育て	その他	13人	<p>親子で信州の伝統文化と食を学び、文化の継承と食育につなげている。地域住民が講師となり、親子にそば打ちを教える講座である。</p>	<p>里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催。</p>	<p>親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。</p>	

令和4年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
親子餅つき大会	12月17日	1回	子育て	その他	70人	地域の伝統文化を学び、文化の継承につなげている。 地域のボランティアに協力いただき、親子を対象に杵と臼を使って餅つきを体験する講座である。	地域ボランティアに準備および当日のお手伝いをお願いしている。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、会場ですきたてのお餅を食べることがかなわないため、ついたお餅はボランティアの方に丸めて頂き、持ち帰る工夫をした。	
親子しめ縄教室	12月24日	1回	子育て	その他	30人	地域の伝統文化を学び、文化の継承につなげている。地域住民をが講師となり、親子にしめ縄づくりを教える講座である。	里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催。	親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。	
防災講演会	2月21日	1回	防災	成人	58人	平成30年度から、里山辺地区ハザードマップで予想される災害やこれまで取り組んできた防災活動について、公民館、まちづくり協議会で話し合いの場をつくってきた。 今年度は、「高めよ防災力～その時に備えて～」と題して、松本市防災専門官の宮坂政行氏の講演を聞く機会とした。	里山辺地区自主防災連合会、里山辺地区防犯協会防災部と共催。	本年度から3年間松本市モデル事業推進地区の指定を受けたことで、防災に特化事業を展開するため、里山辺地区防災パンフレット「わが家の防災」を作成した。	
山辺地区立志式	2月4日	1回	地域事業(その他)	青少年	83人	参加者が地域の先輩の話を聴き今後の進路決定の一助とするとともに、地域の一員として地域活動に参加する契機をつくる目的で、山辺に住む中学2年生を対象とした「立志」を祝う式典。3/4成人式。今年度は、嘉納雅彦・嘉納尚代ご夫婦のチェロとピアノの演奏とトークを聴き、新井第19分団長による消防団の活動、多田連合町会長による町会の仕組みと活動の様子を聴いた。	実行委員会において企画・運営を行う。 実行委員会の構成員は、山辺中学校長、里山辺地区町内公民館長、里山辺公民館図書視聴覚委員長、里山辺地区子ども会育成会長、山辺中学校PTA、入山辺公民館	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため2年間中止としていたが、3年ぶりの開催にこぎつけることができ、参加者からは良い式となって良かったという多くの感想が聞かれた。 来年度も入・里山辺の行事として関係者と連携の上、継続して実施していきたい。	
やしょうま作り教室	2月18日	1回	地域文化	青少年	21人	地域の伝統文化を学び、文化の継承につなげている。 地域住民をが講師となり、親子に「やしょうまづくり」を教える講座である。	里山辺子ども会育成会・山辺児童センターと共催。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、3年間中止となっていたが、コロナの状況も落ち着いてきたので4年ぶりに開催する。 親子でなかなか体験できない地域の文化を体験して学び、楽しみながら文化の継承と食育につなげている。今後も継続して実施していきたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
親子スキー教室	2月26日	中止	子育て	その他	0人	地域在住のスキーインストラクターに講師を依頼し、子どもたちの覚えに応じたコース設定やカリキュラムで指導してもらう講座。	地域のスキーインストラクターと調整しながら、会場や指導内容を検討している。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、文化祭とともに中止とした。 冬でも外でスポーツを楽しむ習慣を子どもたちに身につけてもらうことを目的に地域の講師に企画内容や実施してきたが、バスの確保が困難な状況になってきているので終了としたい。	
わいわいカレー事業	4月17日 5月15日 6月18日 7月16日 9月10日 9月24日	3回	子育て	その他	91人	小学生以下の子どもたちを対象に、地域のボランティアの指導を受けながら農作業を体験し、地域の自然や営みに興味をもってもらう講座。子どもたちには、自分たちが育てた野菜・米の収穫まで継続して参加してもらう。 地域づくり推進交付金の交付金を財源とし、地域での多世代交流を促進する。	まちづくり協議会と共催。 (有)ファームワーク山辺、地域ボランティア(農作業支援、調理支援)、JA松本ハイランド山辺支所に協力をいただいている。	子どもたちが、食について学習するとともに、家族ぐるみで多くの住民(ボランティアや他の参加家族)と関わることで、幅広い世代の交流の場として、住民同士のつながりが深まっている。 新型コロナウイルス感染症の感染防止のための対策を講じ、今年度は6回全て実施し、最後には大収穫祭で自分たちで育てたお米と野菜を使ってカレーを食べることができ、毎年参加している家族からは2年ぶりにカレーが食べられて良かったという感想が聞かれ、大変好評であった。	
美ヶ原ウォーク	7月22日 9月28日	2回	趣味教養	成人	18人	美ヶ原ロングトレイルのコースを活用し、市の庁用バスを使って日帰り巡る講座。①地域在住者も意外と行ったことがない美ヶ原の魅力を歩いて知ってもらうこと、②参加者同士で楽しくふれあいながら歩いて山の散策に興味をもってもらうことを目的とする。7/22は三城百曲がりコースから王ヶ頭を経て思い出の丘までのコース、9/28は牛伏寺階段工から鉢伏山荘を経て扉温泉を目指すコースで実施した。	講座開催の広報をする前に、コースの下見を実施して、危険箇所や休憩箇所(トイレ・昼食)を確認している。 バスへの乗り降りを行う地点をバスの運転手と確認し、行程をあらかじめ知らせておく。	松本の代表的な観光地である美ヶ原高原に整備されたコースを歩く貴重な講座である。幅広い世代の方が参加できる講座にする工夫をさらに検討したい。 7年間継続してきた講座であり、美ヶ原高原ロングトレイルのコースをほぼ網羅してきたが住民の意向等を聞きながら、これまで挑戦したコースももう一度採用しても良いと考える。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
市長杯争奪球技大会 第一ブロック予選・ 本戦	9月11日 10月30日	1回	地域事業 (体育)	成人	42人	予選では、軟式野球で出場する予定で進めていたが、選手が揃わず棄権する。 本戦では、ソフトバレーボール、ゲートボール、マレットゴルフに地区として出場した。	地区体育協会が必要物品・用具の準備や当日のチームの支援を行った。 ブロック予選については5地区(本郷・岡田・入山辺・里山辺・四賀)の体育協会と実施日程と競技内容を検討し、年度初めの会議で決定する。	新型コロナウイルス感染拡大により、チームが組めない状況があり、予選会では棄権する地区が増えている。本戦では、ソフトバレーボールに於いて年齢別に2チーム編成し、Aチームが優勝、Bチームが3位という成績であった。 当日は、本部体育委員に各種目に張り付いて対応してもらい、チームの支援や応援、ユニホーム等の回収等に協力してもらう。	
里山辺公民館健康講座	11月28日 12月 5日 1月19日 1月26日 2月 9日 3月 9日	4回	福祉健康	成人	52人	歌で健康力アップ講座 全23名 ボールウォーキング講座 全3回29名	開催日程の調整、講師への依頼、必要な用具の準備は公民館で行う。	冬の時期は運動不足になりがちなため、室内で簡単にできる講座として継続して開催している。講座で学んだことを個人で実践することから参加者へ伝えながらも、可能な限りでサークル活動や町会での仲間づくりにつなげるように参加者の傾向も見ながら内容等を検討していきたい。 予定していた「リンパマッサージ講座」は講師と調整がつかず、中止とした。 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、「歌で健康力アップ講座」は1回を中止とした。	
さとのわファーム	5月 7日 6月11日 7月30日 9月 4日 10月29日 11月 3日	6回	子育て	その他	83人	地区に住む子どもが里山辺地区に住んでいることに誇りを持ち、地域の方々に見守られて育っていく温かいコミュニティづくりを目指す事業。事業内容は①休耕地を利用した農作物(さつまいも、トウモロコシ、スイカ、大根)栽培と収穫祭②ジャイアントカボチャを育て文化祭にランタンを製作し出品した。	まちづくり協議会と連携して、子ども向けの企画を検討し、地域の住民にできるだけ協力を仰ぎながら実施する。	新型コロナウイルスで集う場所がない現状を考慮して、感染の心配が少ない野外での活動に工夫した。 事業終了後にアンケートを実施し、地域での活動について一定の関心をもってもらうことができたので、より一層地域のことを知ってもらう機会にしていきたい。	
男の料理教室	6月17日 9月 8日 12月 2日 1月27日	中止	趣味教養	成人	0人	料理の楽しさ、自分で作った料理を味わいながら、地域における人と人との関係づくりになることを期待し続けて開催している。対象者は男性。 講師：久保田一さん(兎川寺町会)	福祉ひろばと共催。 メニューは講師に考えてもらい、季節の食材を使うように知恵を出してもらっている。	新しいメニューにも挑戦し、地区内外から新しい参加者も受講しているが、決まった参加者のみが参加することも多い。参加者に周囲の仲間を気軽に誘ってもらうように工夫したい。 令和3年度で開講から20周年を迎えたが、新型コロナウイルス感染拡大により2年間は中止となっている。	

令和4年度 事業報告

里山辺公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
朝学習支援	1月～3月	38回	子育て	青少年	1995人	受験期へ向けた中学3年生の希望者を対象に、勉強する力と規則正しい生活習慣を身に付ける	地域の教員経験者を学校へ紹介し、学校から依頼をする。行う日程等は学校で調整する。	年々参加する希望者が増えており、今年度は受験間際までの支援に切り替え、より生徒にとって身になるように実施した。	
公民館だよりの発行	通年	12回	地域事業(文化)	成人	0人	広報まつもとの配布にあわせて公民館事業の広報として配布。地区公民館の主催・共催行事、講座案内等を掲載。毎月発行。	開催日までに十分な申込期間を設定して、事業の募集について記事を掲載している。公民館立上げに関わった団体や事業の共催団体の活動報告もできるだけ取り上げ、掲載している。	紙面のデザインや内容について見やすく、公民館の開催事業や住民の活動内容に興味をもってもらえるように、工夫をしていきたい。	
図書コーナー管理	通年	200回	公民館委員会・各種会議等	成人	200人	・返却本の整理作業 ・図書の入れ替え(中央図書館所管本、年2回) ・新刊図書の貸出準備、紹介文の掲示 ・未返却図書の返却促進の掲示	図書視聴覚委員会で分担して作業にあたってもらっている。	図書の返却・整理に負担がかかるため、間隔をあけて委員の都合の良い日にまとめて整理する方法をとっている。未返却本ゼロを目指し、利用者に掲示やお知らせ、催促ハガキ等の対応をとっている。	
まちづくり協議会	通年	中止	その他	成人	0人	町会長や地区関係団体の代表者などで組織する協議体であり、地域全体に関わる課題や今後へ向けての展望について話し合っている。話し合いで確認されたことを地域住民や各種団体へ発信したり、協力してもらえる方とどんな活動につなげられるか協議するなど、住民が自由に意見を交わす場とする。	里山辺公民館はまちづくり協議会事務局と連携して、住民や各種団体との連絡調整を行う。	新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止とした。地区や町内、サークルによる公民活動が具体的なまちづくりの取り組みにつながるように、連絡調整を進めていきたい。また、公民館独自の学習会や講座にも生かせる内容や意見を参考にしていきたい。	
さと健(里山辺健康教室)	通年	10回	福祉健康	成人	150人	毎月第2金曜日に開催。地区体力づくりサポーターに指導してもらい、無理なくできるストレッチや筋トレ、脳トレなど、気軽に体を動かす講座。	福祉ひろばと共催。	里山辺体育館を主な会場とするが、夏の暑い時期にはバスハイク等を実施し、冬の厳寒期には福祉ひろば教養娯楽室で開催するなど工夫をしている。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
体育委員会	通年	7回	公民館委員会・各種会議等	成人	105人	地区体育事業の企画・準備等について、協議する公民館委員会。本部体育委員が事業の企画を行い、町内体育委員が町会への事業内容の周知と町会対抗競技等のチーム編成を行う。	本部体育委員の選出（各町会より委員を選出→公民館長から委嘱） 体育委員会を本部体育委員長が招集し、委員の合議で事業内容を決定する。	本部体育委員と町内体育委員とが一つの目標に向かって連携・協力し合い、地区の体育事業が開催できているため、一人ひとりが地域の活動と委員の役割について理解し関わってもらうことが大切である。 体育委員会の所管する事業は大きかりなで、かつ休日開催であるため、会議の数など、できる限り役員の負担を軽減する必要がある。また、特定の競技に偏らずに、住民が気軽に参加でき、楽しめる内容を企画するように委員会で協議・運営している。	
週一ウォーク	通年	42回	福祉健康	その他	1,107人	65歳以上の地区住民の2割弱が要支援・要介護者あり、潜在的な該当者も合わせると2割を超すと予想される。生活習慣においても、国保加入者における「1日に1時間以上の運動をしない人」の割合は4割超である。このような状況を踏まえて、年齢を問わず、住民が運動習慣を身につけてもらうために、週1回の頻度でウォーキングをする講座を実施するものである。	里山辺地区福祉ひろばと共催。地区住民誰でも、ご都合が合う時に参加できる方へ向けて、公民館だよりおよび福祉ひろばだよりで周知している。ウォーキングの結果を記録できるように、福祉ひろばでスタンプカードをつくり、月2回以上参加した参加者へプレゼントを用意している。	ウォーキングの習慣を身につけてもらうための講座であり、講座に参加するだけが目的でなく、参加者が日常生活で運動する習慣を身に付けてもらうことを目的としているが、通年通して実施したことで定着してきた。また、赤ちゃんを連れてお母さんから、若い世代、高齢者世代まで多世代が参加する事業に発展している。 雨天により3回中止。通年を通して歩いた距離は200kmを越える。	
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	100人	隔月の奇数月の30日付けで発行している「館報さどやまべ」の編集を行う公民館委員会。	館報編集委員の選出（各町会より委員を選出→公民館長から委嘱） 館報編集委員会を館報編集委員長が招集し、委員の合議で館報の掲載内容を決定し、入稿記事を整える。記事および紙面割り付けレイアウトを印刷業者へ入稿し、校正確認を行い、最終紙面を確定する。	地区や町会の公民館活動の内容はもとより、携わった関係者や参加者が活動を通じてどんな学びや気づきを得たのかを地区全体に向け発信している。また、時代や環境で変化する地域の民俗や文化、生活環境などを取り上げ、地域の記録を残すための館報づくりを行っている。 館報への掲載内容は委員の意見やアイデアをもとに委員会で決定しており、委員自身の学びにつながるという効果も大切にしたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
図書視聴覚委員会	通年	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	16人	公民館の図書コーナーの整理、返却本の管理、未返却本の督促状の送付、図書の入れ替え作業（中央図書館蔵書）、図書の購入（新刊本等）、地区行事への協力を行う。	保育園や小学校での保護者同士のつながり、読み聞かせサークルでのつながりを活かし、公民館の図書視聴覚活動に興味のある方を委員として選出し、公民館館長より委嘱している。 会の運営は委員による自主運営を基本とする。	子どもから高齢者まで幅広い世代の方が自由に利用できる図書コーナーは住民の知識の形成や学びに大いに寄与している。 現状、職員が常駐していないため、委員のみで本の整理するには人手が必要である。地域の作家や製作者の図書視聴覚資料を地域に積極的に発信するなど公民館の図書の利活用を促すとともに、地区行事で図書視聴覚委員会の活動に関心を持ってもらう機会を充実させたい。	
図書の購入	通年	3回	公民館委員会・各種会議等	成人	24人	・新刊図書の購入（年3回程度） ・立志式でのおすすめ本の購入と紹介 ・中央図書館廃棄本の譲り受け	図書視聴覚委員会で作業にあたってもらっている。	今話題の新刊図書や山辺地区立志式で紹介する「15歳のきみへ」おすすめ本を購入。新刊図書の紹介文の作成と掲載。	

令和4年度 事業報告の概要

今井公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区住民の親睦を深め、交流の輪を広げる。 ・地区住民が、自分達の暮らす地域や生活を見つめ直す事業を推進する。 ・事業の企画運営に住民が参画する。 <p>【地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区役員が1年で交代するため、継続して地域づくりを担う人材の発掘・育成が求められている。 <p>【重点的に取り組んだ事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今井地区の4大行事（支部対抗球技大会・今井ドンパン夏祭り・いまいスポーツ健康フェスティバル・今井地区文化祭）を実施し、住民の親睦・交流を図った。 ・食育講座を実施し、地域の伝統文化や異文化を理解した。 										<ul style="list-style-type: none"> ・今井地区の4大行事を新型コロナウイルス感染対策を行い、実施することができた。住民同士の親睦、交流の機会となった。来年度は、内容をさらに拡充して開催したい。 ・地域の伝統文化を引き継ぐ取り組みとしてそば打ち講座、異文化理解を深めるため中国の家庭料理教室・本場インドカレー料理教室を開催した。楽しく学べ、参加者同士も交流できた。来年度も食育講座を実施したい。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	5	6	7	1	0	4	0	2	3	2	0	5	3
延べ 参加人数	38	75	613	413	10	0	315	0	45	320	900	0	205	458

令和4年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
春の自然観察会	5月8日	1回	環境	成人	10人	【内容】 ・鉢盛山今井財産区有林の散策、山菜採取、山菜料理の試食を行う。 【ねらい】 ・住民同士が親睦・交流を深めながら今井財産区の歴史や自然を学ぶ機会とする。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 【共催団体等】 ・今井財産区	【評価と反省】 ・住民同士が親睦、交流しながら、散策、山菜採取を行い、今井財産区の歴史や自然を学べた。 ・感染防止のため、山菜料理の試食は中止とした。 【今後の方針】 ・安全対策をしながら開催したい。 ・山菜料理の試食を行いたい。	
軽井沢野鳥の森ウォーキング	5月23日	1回	福祉健康	成人	20人	【内容】 ・軽井沢野鳥の森でバードウォッチング・自然観察を行いながら、ウォーキングをする。 【ねらい】 ・自粛期間で家に閉じこもりがちであった住民に、ウォーキングで身体を動かしてもらい、健康づくりに資する。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 ・視察先・ガイドとの調整 【共催団体等】 ・今井地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・ガイドから鳥の鳴き声の説明があり、わかりやすく学べた。 ・ウォーキングを通して、リフレッシュできた。 【今後の方針】 ・ウォーキングは、来年度も継続して行いたい。	
初夏のスカイパークウォーキング	6月17日	1回	福祉健康	成人	9人	【内容】 ・バラの咲く信州スカイパークでウォーキングをする。 【ねらい】 ・自粛期間で家に閉じこもりがちであった住民に、ウォーキングで身体を動かしてもらい、健康づくりに資する。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 ・コースの下見 【共催団体等】 ・今井地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・今井地区の近くにある信州スカイパークでウォーキングを行い、心身のリフレッシュができた。 ・バラの見頃で時期が良かった。 ・集合場所・時間を決め、各自のペースで歩けた。 【今後の方針】 ・定期的に企画したい。	
人権視察研修 (人権啓発推進事業)	6月27日	1回	人権平和	成人	14人	【内容】 ・戦争遺跡の松代象山地下壕・舞鶴山を見学する。 【ねらい】 ・平和・命の尊さを学ぶ。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者の募集 ・視察先・ガイドとの調整 【共催団体等】 ・今井地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・戦争遺跡を通して、戦争の悲惨さを学び、平和・命の尊さを学ぶ貴重な機会となった。 【今後の方針】 ・今後も人権学習ができる視察先を選定し継続したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
支部対抗球技大会	7月3日	1回	地域事業 (体育)	成人	200人	【内容】 ・支部（町会）対抗の球技大会（バレーボール、ソフトボール、マレットゴルフ、ゲートボール）を行う。 【ねらい】 ・住民同士の親睦・交流 ・健康増進	【準備過程】 ・スポーツ協会役員・支部長・各部役員によるスポーツ協会総会で開催可否を協議 ・打合せ会で内容を協議 【共催団体等】 ・今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・感染対策を行い、3年振りに開催できた。 ・バレーボール、ソフトボール、マレットゴルフは実施したが、ゲートボールは申込みがなかったため、中止とした。 ・参加する町会が少なかった。 【今後の方針】 ・マレットゴルフはマレットゴルフのみの大会の開催、ゲートボールは廃止を検討する。	
中学校総合的な学習の時間	7月11日	1回	子育て	青少年	3人	【内容】 ・鉢盛中学校の総合的な学習の時間に地域の歴史を住民から学ぶ。 【ねらい】 ・生徒と地域の方が交流する貴重な機会とする。 ・地域を大切にしてもらう。	【準備過程】 ・鉢盛中学校・住民（講師）との調整 【共催団体等】 ・鉢盛中学校	【評価と反省】 ・山の神・今井四郎兼平についての質問が、生徒から多くあり、関心が高かった。 ・生徒への説明が難しかった。 【今後の方針】 ・中学校より依頼があった場合は、実施したい。	○
「睡眠」と「健康」の知恵袋講座	7月19日 8月2日	2回	福祉健康	成人	15人	【内容】 ・明治安田生命の講師から、良い睡眠をとるためのポイントを学ぶ。 【ねらい】 ・良い睡眠をとることを学び、健康づくりに資する。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 ・講師との調整 【共催団体等】 ・明治安田生命	【評価と反省】 ・わかりやすい説明だった。 ・日常生活を工夫することで睡眠が改善されることを学べた。 ・専門的な内容が少なかった。 【今後の方針】 ・健康をはじめ、相続、防災など日常生活に関わる講座を実施したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
西南ブロック地区球技大会（兼市長杯争奪球技大会予選）	7月24日	中止	地域事業（体育）	成人	0人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西南ブロック3地区（今井・笹賀・神林）で軟式野球とバレーボールの球技大会兼市長会の予選会を行う。（当番地区：神林） <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西南ブロック3地区の親睦・交流 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3地区のスポーツ協会役員、公民館職員の合同会議で開催可否を協議 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笹賀公民館・スポーツ協会 ・神林公民館・スポーツ協会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3地区で協議した結果、競技人口が減りチーム編成が難しいため、予選会は中止とし、市長杯争奪球技大会については以下のとおりとした。 ・軟式野球は、チーム編成ができるのは笹賀のみのため、笹賀が出場することとした。 ・バレーボールは、3地区ともチーム編成ができないため、参加なしとした。 ・市スポーツ協会へ、予選会の開催が難しいという意見を、3地区で連携して提出した。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予選会の開催は難しいため、3地区で連携し、引き続き市スポーツ協会へ意向を伝えたい。 	
今井ドンパン夏祭り	8月14日	1回	地域事業（文化）	成人	600人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花火の打ち上げとバンドのコラボによる地区の夏祭り <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化 ・子どもたちの思い出作り 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会で開催可否・内容を協議 ・花火関係申請等 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今井ドンパン夏祭り実行委員会 ・今井小学校 ・今井地区子ども会育成会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模を縮小し、感染対策を行い、3年振りに開催できた。 ・花火の打ち上げや小学校PTAの出店など、多くの方に楽しんでもらった。 ・例年行っていた花火と松本音楽団のコラボ・盆踊り・抽選会は実施しなかった。 ・感染対策について、放送で随時呼び掛けた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の実施方法を参考にして、事業の開催を目指したい。 	
育児サークルバスハイク	8月31日	1回	子育て	家庭教育	14人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就園児の子どもと保護者を対象に、八ヶ岳アルパカ牧場で動物とのふれあいをする。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・親同士の交流を深めるとともに、子どもの情操教育に役立てる。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児サークル・視察先との調整 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りんごサークル（育児サークル） 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物とのふれあいが楽しく行われ、親同士・子ども同士の交流もできた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮しながら、育児サークルの交流の場、リフレッシュの場として継続したい。 	

令和4年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
松本市市民スポーツ大会	10月9日	1回	スポーツ	成人	9人	【内容】 ・軟式野球、ソフトバレーボール、卓球、マレットゴルフ、ゲートボールに参加する。 【ねらい】 ・住民同士の親睦・交流	【準備過程】 ・各団体代表へ参加の意向確認 【共催団体等】 ・今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・マレットゴルフ、ゲートボールは参加 ・参加者は親睦を深めていた。 ・他の競技はチーム編成ができず、不参加 【今後の方針】 ・できるだけ多くの種目で参加できるようにチーム編成に取り組んでいく。	
いまいスポーツ健康フェスティバル	10月16日	1回	地域事業(体育)	成人	120人	【内容】 ・ニュースポーツ、健康測定を中心とした自由参加のイベント 【ねらい】 ・住民同士の親睦・交流 ・健康増進 ・子どもたちの思い出づくり	【準備過程】 ・打合せ会を開催し、開催可否・内容を協議 ・各コーナー協力団体との調整 ・講師を依頼(ポッチャ) 【共催団体等】 ・今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・感染対策を行い、3年振りに開催できた。 ・2つのコーナー(ポッチャ体験・ボール投げ)を新しく実施した。 ・来場者数が少なかった。 【今後の方針】 ・今年度の実施方法を参考にして、事業の開催を目指したい。 ・来場者数を増やすために、小学校等へ周知を強化したい。	
秋のスカイパークウォーキング	10月20日	1回	福祉健康	成人	5人	【内容】 ・正しい歩き方を学び、信州スカイパークでウォーキングをする。 ・10月は市民歩こう運動推進強化月間のため実施。 【ねらい】 ・自粛期間で家に閉じこもりがちであった住民に、ウォーキングで身体を動かしてもらい、健康づくりに資する。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 ・コースの下見 【共催団体等】 ・今井地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・今井地区の近くにあるスカイパークでウォーキングを行い、心身のリフレッシュができた。 ・体力づくりサポーターより正しい歩き方を学び、意識してウォーキングができた。 【今後の方針】 ・定期的に企画したい。	
児童センターウォーキング	10月22日	1回	子育て	青少年	21人	【内容】 ・児童センターの子どもたちが地区内の文化・歴史を学びながら、ウォーキングをする。 【ねらい】 ・地区内の文化・歴史を学び、次世代に継承する。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知 【共催団体等】 ・今井地区福祉ひろば ・今井児童センター	【評価と反省】 ・地域の伝統行事の事八日を学べた。 ・楽しくウォーキングができた。 【今後の方針】 ・来年度も継続して開催したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
市長杯争奪球技大会	10月30日	1回	スポーツ	成人	10人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 卓球、ソフトバレーボール、マレットゴルフ、ゲートボールに加え、西南ブロックでの予選で優勝した場合は軟式野球とバレーボールに参加する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民同士の親睦・交流 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各団体代表へ参加の意向確認 西南ブロック予選会は中止 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今井地区スポーツ協会 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> マレットゴルフ、ゲートボールは参加し、ゲートボールは第3位となった。 参加者は親睦を深めていた。 他の競技はチーム編成ができず、不参加 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> できるだけ多くの種目で参加できるようにチーム編成に取り組んでいく。 	
今井地区文化祭	11月5日 11月6日	1回	地域事業 (文化)	成人	300人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区全体の文化芸術に関する展示、発表、出店を行う。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の文化芸術に携わる人、団体の活動を通して、人材発掘や諸団体等の活動について相互理解を促す。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区内活動団体に発表、展示の希望調査 実行委員会でも内容を協議 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今井地区文化祭実行委員会 今井地区福祉ひろば 今井小学校 鉢盛中学校 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でステージ発表は外で行っていたが、3年振りにステージ発表を体育館で盛大に開催できた。 小中学生の発表で文化祭を大いに盛り上げることができた。 鉢盛中学校吹奏楽部と地区のサークルでコラボ発表ができた。 感染対策として、飲食物は全て持ち帰りとした。ホットケーキ・防災の非常食の配布等が行われた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度の実施方法を参考にして、事業の開催を目指したい。 	
善光寺街道青柳宿 ウォーキング	11月22日	1回	福祉健康	成人	26人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 善光寺街道の筑北村青柳宿の文化・歴史を学びながら、ウォーキングをする。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自粛期間で家に閉じこもりがちであった地区住民に、ウォーキングで身体を動かしてもらい、健康づくりに資する。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館ニュースにて周知、参加者を募集 視察先・ガイドとの調整 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今井地区福祉ひろば 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大切通しの前等でガイドから説明を聞き、宿場町の歴史を学べた。 ウォーキングを通して、リフレッシュできた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ウォーキングは、来年度も継続して行いたい。 	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
中国の家庭料理教室 (人権啓発推進事業)	11月26日	1回	人権平和	成人	12人	【内容】 ・中国出身の講師から中国の家庭料理としての水餃子・果物スープの作り方を教わる。 【ねらい】 ・異国の料理を学びながら、多文化共生の理解を深める。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 ・講師との調整 【共催団体等】 ・今井地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・皮から手作りの水餃子の作り方や中国の伝統的な衣服や食文化を学べた。 ・参加者から好評だった。 【今後の方針】 ・今後も文化、習慣の違いを学ぶ機会を設け、多文化共生を目指したい。	
鬼探しクロスワードラリー	2月	中止	子育て	青少年	0人	【内容】 ・節分の時季、鬼に因んだ本を探してそのタイトル中の文字からクロスワードを完成させる。 【ねらい】 ・小学生を中心とした子どもに本への関心を高めてもらう。	【準備過程】 ・図書視聴覚委員会で内容を検討 ・「みんなの図書館」にて周知 【共催団体等】 ・図書視聴覚委員会	【評価と反省】 ・感染防止のため、中止とした。 【今後の方針】 ・今後も本に因んだイベントにより本への関心を高めていきたい。	
あなたの知らない松本城と世界遺産講座	2月 3日 2月22日	2回	地域文化	成人	37人	【内容】 ・世界遺産登録へ向けた取組みを進めている松本城の歴史や現状について学び、実際に見学も行う。 【ねらい】 ・松本城の大切さを学び、松本城や世界遺産について関心を高める。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 【共催団体等】 ・文化振興課 ・文化財課 ・「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会	【評価と反省】 ・松本城は、先人たちによって守られてきた貴重な遺産であることを学べた。 ・松本城の見学では、城の中も説明があり、わかりやすく学べた。 【今後の方針】 ・松本城等、市内の施設への見学を企画したい。	
文化系委員会合同視察	3月11日	1回	地域文化	成人	16人	【内容】 ・文化系委員会で葦崎大村美術館・山梨県立リニア見学センターを視察する。 【ねらい】 ・他地区の文化施設に学び今井地区の文化振興に寄与する。	【準備過程】 ・参加者募集 ・視察先との調整 【共催団体等】 ・館報編集委員会 ・文化委員会 ・図書視聴覚委員会	【評価と反省】 ・委員に視察先の希望を提案してもらった。 ・委員に施設を予約してもらった。 ・美術鑑賞・センター見学により、教養を深めた。 ・参加者が多く、委員同士も交流できた。 【今後の方針】 ・委員から要望を聞き、視察先を決めたい。	

令和4年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
本場インドカレー料理教室 (人権啓発推進事業)	3月26日	1回	人権平和	成人	12人	【内容】 ・インド出身のシェフからインドの家庭料理としてのカレーの作り方を教わる。 【ねらい】 ・異国の料理を学びながら、多文化共生の理解を深める。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 ・講師との調整 【共催団体等】 ・今井地区人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・豆カレーを作り、タリー（北インドの定食）を食べ、インドの食文化を学べた。 ・参加者から好評だった。 【今後の方針】 ・今後も文化、習慣の違いを学ぶ機会を設け、多文化共生を目指したい。	
マレットゴルフ教室	4月～11月	13回	スポーツ	成人	130人	【内容】 ・鎖川親水公園マレットゴルフ場でマレットゴルフ教室を行う。 ・ルール、技術は参加者同士で教え合う。 【ねらい】 ・高齢者同士の親睦・交流、仲間づくり ・健康増進、閉じこもり予防	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 ・飲料の準備 【共催団体等】 ・今井地区スポーツ協会	【評価と反省】 ・熱中症対策として8月の2回を中止としたが、それ以外は開催できた。 【今後の方針】 ・高齢者の健康増進のため、今後も参加促進を図りたい。	
小学校米作り	5月～10月	5回	地域文化	青少年	100人	【内容】 ・道の駅今井恵みの里に講師を依頼し、今井小学校5年生が米作りを体験する。 【ねらい】 ・児童と地域の方が交流する貴重な機会とする。	【準備過程】 ・小学校・道の駅との連絡 【共催団体等】 ・道の駅今井恵みの里 ・今井小学校	【評価と反省】 ・田植え、稲刈り等を行い、今井地区の特色である農業に親しんでもらった。 【今後の方針】 ・今後も引き続き実施したい。	○
親子すくすく教室	5月～3月	11回	子育て	家庭教育	220人	【内容】 ・未就園児の子どもと保護者を対象に、健康運動指導士に講師を依頼し、親子体操等のレクリエーションを行う。 【ねらい】 ・子どもの健やかな成長を促すため、親子で楽しく体を動かせる親子体操を学ぶ。 ・子ども・親同士の交流を深める。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 【共催団体等】 ・りんごサークル (子育てサークル)	【評価と反省】 ・参加者は楽しみながら自発的・積極的に取り組んでいた。 【今後の方針】 ・地区の子どもの数が減少傾向の中、未就園児とその保護者の貴重な交流の場でもあり、継続したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
卓球教室	6月～10月	21回	スポーツ	成人	166人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 卓球教室を開催し、参加者同士で技術を高めあう。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民同士の親睦・交流 市民体育大会への参加を目標とする。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館ニュースにて周知、参加者を募集 開催時の飲料の準備 講師との調整 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今井地区スポーツ協会 今井卓球クラブ 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今井卓球クラブの協力もあり、開催できた。 これまで参加者同士で教え合っていたが、参加者から講師の要望があったため、新たに講師を依頼した。 講師からの指導によって、参加者のモチベーションが上がった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き実施し、幅広い年代に周知したい。 	
小学校クラブ活動支援	6月～10月	5回	子育て	青少年	355人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今井小学校のクラブ活動支援として住民が参加する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒と地域の方が交流する貴重な機会とする。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館ニュースにて周知、支援者を募集 小学校・支援者との調整 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今井小学校 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> バドミントン、体力向上、将棋、昔の遊び、写真クラブは、支援者を依頼でき、ラケット等の貸し出しもした。 ダンス、折り紙クラブは、支援者が見つからなかった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> クラブ活動支援に協力できる方を募集したい。 小学校と連携し進めていきたい。 	○
女性のためのそば打ち講座（水曜開催）	1月～3月	5回	地域文化	女性	50人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区のそば打ち名人から、そば打ちの技術を学ぶ。（水曜・女性対象） <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今井地区の文化であるそば打ちを継承していく。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館ニュース等で周知、参加者を募集 講師との調整 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師と内容について協議できた。 これまでの「若妻そば打ち講座」を、年齢に関係なく多くの方に参加してもらうため、「女性のためのそば打ち講座」に名称変更した。 講座名を変更したことで、年齢が高い方も気軽に参加してもらえた。 感染対策として、前半、後半の2グループに分けて実施した。 昨年度より希望されていた、そばのアレンジ料理作りも実施できた。 参加者同士でのつながりが深まった。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> アレンジ料理等の要望に応えられるよう継続していきたい。 	

令和4年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
こだわりのそば打ち講座（日曜開催）	1月～3月	4回	地域文化	成人	41人	【内容】 ・地区のそば打ち名人から、そば打ちの技術を学ぶ。（日曜） 【ねらい】 ・今井地区の文化であるそば打ちを継承していく。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 ・講師との調整	【評価と反省】 ・感染対策として、前半、後半の2グループに分けて実施した。 ・恒例の講座だが、新規の参加者もいた。 【今後の方針】 ・来年度も継続して行いたい。	
夏休み・冬休み・春休みは公民館で勉強しよう	7月26日～8月19日 12月26日～1月6日 3月17日～4月5日	3回	その他	青少年	45人	【内容】 ・長期休み期間中に公民館の会議室を学習室として開放し、自由に勉強できる場を提供する。 【ねらい】 ・子どもたちの居場所づくり	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知 ・学校へチラシの配布依頼 【共催団体等】 ・今井小学校 ・鉢盛中学校	【評価と反省】 ・長期休みの始めの時期に、小学生がグループで利用してくれた。 ・楽しそうに宿題を行っていた。 ・夏休みは、地区の方がボランティアで学習支援を行った。 【今後の方針】 ・継続して開催したい。	
郷土の作家・作品から学ぶ近代史	通年	11回	地域文化	成人	104人	【内容】 ・文化委員が講師を務め、木下尚江、島崎藤村らの郷土の作家と作品から近代史を学ぶ。 【ねらい】 ・郷土の作家が生きた時代背景や作品の中から近代日本の歴史を学ぶ。	【準備過程】 ・公民館ニュースにて周知、参加者を募集 ・講師との調整 【共催団体等】 ・文化委員会	【評価と反省】 ・参加者は積極的に意見・質問を行い、意欲的に学べた。 ・講座を周知するため、市民タイムスへの掲載・YouTubeで紹介動画を公開した。 【今後の方針】 ・来年度は「絵画から学ぶ近代史」を開催予定。	
今井地区文化財委員会	通年	8回	地域文化	成人	65人	【内容】 ・地区内の文化財の案内板建替、設置作業 ・地区内の歴史に関する学習会 ・文化財ニュース（会報）の発行 ・文化財活用事業の実施 【ねらい】 ・今井地区の歴史文化の伝承者の人材育成 ・地区内の文化財の保存、活用	【準備過程】 ・毎月の会議開催通知 【共催団体等】 ・今井ふるさと歌留多の会 ・松本市文化財課	【評価と反省】 ・全12回を予定していたが、感染防止のため、4回休会した。 ・委員同士が親睦、交流しながら地区内の文化財の案内板建替、設置を行うことができた。 【今後の方針】 ・老朽化した案内板の立替え、新たな設置等を継続したい ・学習会など文化財活用事業を行っていきたい。	

令和4年度 事業報告

今井公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
運営委員会	5月13日 3月28日	2回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	40人	【内容】 ・公民館事業計画、事業報告、予算、決算の審議	【準備過程】 ・会議通知 ・資料作成事務 ・公民館ニュースでの委員募集 【共催団体等】 ・館報編集委員会 ・図書視聴覚委員会 ・文化委員会 ・体育委員会	【評価と反省】 ・運営委員会は人数が多いため、感染防止のため、書面会議とした。 【今後の方針】 ・対面で開催したい。	
館報編集委員会	通年	12回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	79人	【内容】 ・隔月発行の館報いまい版の取材、編集 ・文化祭での展示	【準備過程】 ・資料作成事務 ・公民館ニュースでの委員募集	【評価と反省】 ・委員がアイデアを出しあい、工夫しながら紙面構成をした。 ・文化祭では、これまでの今井小学校を館報で振り返る展示を行った。 【今後の方針】 ・人材を確保しながら、引き続き積極的な委員会活動を促していきたい。	
体育委員会	通年	6回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	40人	【内容】 ・スポーツ事業の企画運営 ・文化祭での出店 ・スポーツ協会ニュース発行	【準備過程】 ・会議通知 ・資料作成事務 ・公民館ニュースでの委員募集	【評価と反省】 ・委員がアイデアを出しあい、工夫しながら、支部対抗球技大会・スポーツ健康フェスティバル等の事業を行うことができた。 ・文化祭では、焼きそばの出店をした。 ・ボウリング大会も開催できた。 【今後の方針】 ・人材を確保しながら、引き続き積極的な委員会活動を促していきたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化委員会	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	成人	31人	【内容】 ・地区の歴史、文化の学習及び文化祭での展示 ・講座「郷土の作家・作品から学ぶ近代史」の開催	【準備過程】 ・会議連絡 ・資料作成事務 ・公民館ニュースでの委員募集	【評価と反省】 ・文化祭では、4年間にわたった文化祭の展示の総まとめとして、寺子屋から戦後までの学校教育について展示した。 ・文化祭での展示は、今年度で終了とする。 【今後の方針】 ・来年度は講座「絵画から学ぶ近代史」を開催予定。 ・講座・視察研修等を企画する。 ・人材を確保しながら、引き続き積極的な委員会活動を促していきたい。	
図書視聴覚委員会	通年	2回	公民館委員会・各種会議等	成人	15人	【内容】 ・図書入替（年2回） ・図書に因んだイベントの開催 ・今井ドンパン夏祭りでの放送 ・文化祭でのステージ発表司会・おすすめ図書の展示 ・みんなの図書館発行	【準備過程】 ・会議連絡 ・資料作成事務 ・公民館ニュースでの委員募集	【評価と反省】 ・図書入替は協力して行った。 ・図書に因んだイベント「鬼探しクロスワードラリー」を企画したが、感染防止のため、中止とした。 ・今井ドンパン夏祭りや文化祭で放送等を行った。 【今後の方針】 ・来年度に今年度企画した事業を実施したい。 ・人材を確保しながら、引き続き積極的な委員会活動を促していきたい。	
公民館ニュース発行	通年	12回	その他	成人	全戸	【内容】 ・毎月の市広報誌の配布に合わせ、全戸に公民館事業等を周知 【ねらい】 ・公民館事業の周知、募集	【準備過程】 ・編集、印刷	【評価と反省】 ・紙面内容を工夫しながら発行することができた。 ・HPへの掲載も行った。 【今後の方針】 ・多くの方に周知できるように、紙面を工夫する。	

令和4年度 事業報告の概要

内田公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の観点から事業の実行委員会等の会議では、実施か中止かの議論にならないよう、どうしたら実施できるのかを皆で考えるという方向性で取り組む。 ・学習講座には、地域で活躍する人材の育成や学習したことを実生活に活かせるような内容を取り入れる。 ・関係部局、関係団体と連携し地域の資源を活用した学習活動を実施する。 ・ササラまつり、運動会が中止となり、子どもや若者が地域や公民館に親しむ機会が減ったため、機会創出を図った。 										<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は感染対策で中止となった「子ども防災合宿」を令和4年度は、宿泊なしの「子ども防災教室」に変え、1日開催としたことで実施できた。 ・PPKスクール（健康づくり講座）は、日常生活に取り入れられる「ながら運動」、筋肉の意識の仕方を内容に取り入れた。受講後、参加者アンケートの結果から、ほとんどの参加者に健康に対する意識変容、行動変容が見られた。 ・内田児童館、馬場家住宅との連携事業では、普段公民館事業に参加しない層の参加があった。次年度は、学習の理解を深める活動を実施していきたい。 ・夏休み期間に公民館を自習室として開放した際に、対象を絞らないで周知した結果、高校生の利用があり、若者の公民館利用につながった。 				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	2	1	7	3	3	2	1	3	4	1	1	2	2
延べ 参加人数	42	72	25	138	87	39	45	22	304	189	245	0	287	368

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
内田スポーツDay	5月8日	1回	スポーツ	成人	18人	【事業内容】 ニュースポーツの体験。 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を図る。	【準備過程】 体協役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区体育協会	【評価と反省】 スポーツを通じて交流を深めることができた。 【今後の方針】 内容と手法を検討し、参加者を増やしたい。	
自然観察会	5月24日	1回	環境	成人	18人	【事業内容】 天龍峡（飯田市）でウォーキングをしながら自然観察を行う。 【ねらい】 自然環境への理解を深めるとともに、住民同士の交流を促進することにより町会や公民館活動の活性化を図る。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。	【評価と反省】 自然環境への理解、住民同士の仲をより深めることができた。 【今後の方針】 単なるサービスに終わらないよう、毎年手法を検討していきたい。	
街めぐりウォーキング	6月13日	1回	趣味教養	成人	13人	【事業内容】 路線バスで市街地まで出かけ、「松本市まちなか景観賞」等を歩いて巡る。 【ねらい】 1日1往復の内田線を利用することで、地域の交通について考えるきっかけとする。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。	【評価と反省】 普段市街地へ出かけない方の参加があり、評判も良かった。地域交通を考えるきっかけにもなった。 【今後の方針】 参加者が女性のみだったので、内容の検討が必要。	
内田親睦ゴルフコンパ	6月22日	1回	スポーツ	成人	27人	【事業内容】 個人対抗による親睦ゴルフ大会。会場は地区内の松本カントリークラブ。 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を図る。新規の参加者の発掘。	【準備過程】 町会連合会役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区町会連合会	【評価と反省】 ゴルフを通じて交流を深めることができた。また、普段あまり公民館事業に参加しない方の参加もあった。 【今後の方針】 住民の交流を深める機会となっているため、継続して実施したい。	
ホタル学習と観察会	6月24日	1回	環境	家庭教育	45人	【事業内容】 信州大学教授を講師にホタルと環境について学習した後、地区内を流れる塩沢川でホタルを観察。 【ねらい】 ホタルを切り口に自然環境を考える機会とする。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 松原地区公民館、松本ホタル学会、内田児童館	【評価と反省】 ホタルを通して自然環境を考える良いきっかけとなった。 【今後の方針】 子どもの参加が多く、参加者の評判も良いので継続したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
内田地区球技大会	7月10日	1回	地域事業 (体育)	成人	169人	【事業内容】 町会対抗による軟式野球、ゲートボール、ソフトバレーの大会。今年度はゲートボールのみ実施。 【ねらい】 スポーツを通じて地域住民の交流を図る。	【準備過程】 実行委員会（町内公民館長、主事、町会長、体協役員等）で内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区体育協会	【評価と反省】 軟式野球、ソフトバレー、ゲートボールを参加希望町会対抗で実施。大変盛り上がり住民の交流が深まった。 【今後の方針】 お年寄りもスポーツに参加する貴重な機会となっているため継続したい。	
子ども防災教室	7月29日	1回	防災	家庭教育	22人	【事業内容】 防災について、避難所生活とメンタルケアの学習、防災クイズ、ダンボールベッド組立体験。 【ねらい】 子どもたちが防災について考えるきっかけとする。	【準備過程】 実行委員会役員（町内公民館長、町会長、子ども会育成会役員、民生・児童委員等）で内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 南部保健センター	【評価と反省】 例年開催している防災合宿が、感染対策のため実施できず1日だけの教室として実施した。参加した子どもたちからも地区の方からも好評であった。 【今後の方針】 子どもが防災について考える機会となっているため継続したい。	
「知る！見る！考える！地域のタカラ」事前学習	8月1日	1回	地域文化	家庭教育	5人	【事業内容】 文化財について、本を使った調べ方の説明後、図書館資料、パンフレット、ワークシートを用いて参加者が筑摩神社、牛伏川階段工、窪田空穂記念館について調査した。職員は調査のサポートをした。 【ねらい】 地域資源を活用した子どもたちへの地域学習機会の提供、公民館学習と図書館利用の啓発	【準備過程】 庄内地区公民館、和田公民館、中央図書館と内容の検討を行い、公民館だより、市民タイムスで周知。 【共催団体等】 庄内地区公民館、和田公民館、中央図書館	【評価と反省】 社会教育機関の連携事業として、今年度初めて実施した。職員数に対して参加者が少なかったが、その分厚いサポートができた。 【今後の方針】 参加者の感想から見るとニーズはあるため、広報の時期を早める等の工夫をし参加者を増やしたい。	
「知る！見る！考える！地域のタカラ」現地調査	8月3日	1回	地域文化	家庭教育	4人	【事業内容】 筑摩神社、牛伏川階段工、窪田空穂記念館の現地見学、ガイドの解説を聞く。 【ねらい】 本で得た知識に加えて、自分の目で見ることで学びをさらに深める。現地で得た気づきから、自分で疑問を解消できるようになる。	【準備過程】 庄内地区公民館、和田公民館、中央図書館と内容の検討を行い、公民館だより、市民タイムスで周知。 【共催団体等】 庄内地区公民館、和田公民館、筑摩神社、窪田空穂記念館	【評価と反省】 3ヶ所目の調査では、子どもたちに疲労が見られ集中力が途切れてしまった。見学場所を減らし、まとめの時間を取るほうが良い。 【今後の方針】 参加者の感想から見るとニーズはあるため、広報の時期を早める等の工夫をし参加者を増やしたい。	

令和4年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
内田ササラまつり	8月14日	中止	地域事業 (その他)	成人	0人	【事業内容】 子ども向けのイベント、打ち上げ花火、参加者によるササラ踊りなど。 【ねらい】 地域の伝統文化であるササラ踊りの継承と子どもからお年寄りまで楽しめる行事として実施。	【準備過程】 実行委員会役員（公民館役員、町会長、子ども会育成会役員等）と実施の可否を検討し、開催基準を設けて実施に向けて準備をしていたが、感染レベルが上がり中止が決定。 当日は、打ち上げ花火のみ実施。	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため、打ち上げ花火のみ実施。 【今後の方針】 ササラ踊りの継承と地域の交流の場として定着していることから継続して実施したい。	
水生昆虫観察会	8月19日	1回	環境	家庭教育	24人	【事業内容】 信州大学の先生を講師に水辺環境について学習した後、地区内を流れる塩沢川で水生昆虫を採取し公民館で観察。 【ねらい】 水生昆虫の採取を通して自然環境を考える機会とする。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館によりで周知。 【共催団体等】 NPO法人 川の自然と文化研究所、内田児童館	【評価と反省】 昆虫採取を通して自然環境を考えるきっかけとなった。講師との質疑応答の中で子どもの考える力を養えた。 【今後の方針】 今後も児童館と連携して実施したい。	
第47回東南ブロック球技大会	8月28日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 バレー、バドミントン、卓球、ソフトバレー、マレットゴルフ、軟式野球の6種目による6地区対抗競技。 【ねらい】 他地区との親睦を目的とするもの。	【主管】 東南ブロック球技大会実行委員会 【準備過程】 実行委員会で検討し開催基準を設けて準備していたが、感染警戒レベルが上がったため中止を決定。	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため中止。 【今後の方針】 東南ブロック主催となる数少ない体育行事として他地区との交流の推進を図る。	
第59回内田地区大運動会	9月4日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	【事業内容】 町会対抗による大玉おくりやリレー、自由参加のマラソンなど。 【ねらい】 地区住民が一堂に会し、伝統にもなっている競技を通じて、子どもからお年寄りまで参加できる行事として開催。	【準備過程】 実行委員会役員（公民館役員、町会長、子ども会育成会役員、健康づくり推進員等）と実施の可否を検討し、中止を決定。	【評価と反省】 新型コロナウイルス対策のため中止。 【今後の方針】 子どもからお年寄りまで参加できる貴重な機会となっているため継続したい。暑い時期の開催のため、熱中症対策に気を配りたい。	
明善小学校3年生ササラ踊り学習講座	9月30日	1回	地域文化	家庭教育	68人	【事業内容】 市の重要無形民俗文化財である「内田のササラ踊り」の学習及び体験。 【ねらい】 子どもの頃からササラ踊りに親しむことで伝統文化の継承を図る。	【準備過程】 学校から要請があり、授業の中で実施。 【共催団体等】 ササラ踊り保存会	【評価と反省】 学習後、児童によりササラ踊りが学校の運動会で披露され、他学年、保護者、他地区の住民にササラ踊りを知ってもらう機会となった。 【今後の方針】 ササラ踊りに親しむ貴重な機会のため、学校と連携して実施したい。	○

令和4年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
内田ナイトウォーキング	9月30日	1回	福祉健康	成人	10人	【事業内容】 地区の夜景を見ながらウォーキングする。 【ねらい】 地区住民の交流促進、運動機会の創出、地域の魅力を再発見する。	【準備過程】 福祉ひろば職員と内容の検討を行い、公民館だより、福祉ひろばだよりで周知。 【共催団体等】 内田地区福祉ひろば	【評価と反省】 ウォーキングを通して住民同士の交流が活発に行われた。 【今後の方針】 ナイトウォーキングに限らず、様々な内容のウォーキングを検討する。	
大人の音読講座	10月7日	1回	趣味教養	成人	13人	【事業内容】 詩の音読、ことばあそび、うたあそびを講師と参加者で実施。 【ねらい】 言葉の世界を共に楽しみ、参加者同士のコミュニケーションを図る。音読の実践により、地区行事での司会、CS事業での読み聞かせ等で活躍できる地域人材の発掘を図る。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】	【評価と反省】 地元で活躍する読み聞かせ団体、合唱サークルの方の参加が多数あり、地区外からの参加もあった。地域人材を見つける機会となった。 【今後の方針】 好評のため、継続して実施したい。	
夜の馬場家探検&内田ナイトウォーキング	10月28日	1回	地域文化	家庭教育	15人	【事業内容】 内田公民館から馬場家住宅までウォーキングし、夜の馬場家住宅、昔の暮らしを体験する。 【ねらい】 馬場家住宅の利用促進、ウォーキングによる健康増進、開催時間を夜間にするによる新規の参加者層の獲得を図る。	【準備過程】 馬場家住宅と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。内田児童館、内田保育園、明善小学校へチラシ配布の協力をお願いした。 【共催団体等】 内田地区福祉ひろば、馬場家住宅	【評価と反省】 親子での参加が多く、公民館事業と関わりが少ない父親の参加もあった。馬場家住宅の利用者の参加もあり、公民館事業への新規参加者が得られた。 【今後の方針】 好評のため、継続して実施したい。	
第45回内田地区文化祭・第24回内田地区福祉ひろばまつり	11月6日	1回	地域事業(文化)	成人	245人	【事業内容】 サークルによるステージ発表や個人作品などの展示、くじびき、農産物の直売。 【ねらい】 子どもからお年寄りまで楽しむことができる行事として開催。	【準備過程】 実行委員会(公民館役員、町会長、子ども会育成会役員、等)で内容を検討。プログラムを作成して周知。 【共催団体等】 内田地区福祉ひろば、実行委員会	【評価と反省】 飛沫が生じやすい合唱などは発表をご遠慮いただくなど感染対策を踏まえた内容とすることで実施することができた。 【今後の方針】 文化・芸術活動の貴重な発表の機会となっており、また、子どもからお年寄りまで参加する機会にもなっているため継続したい。	

令和4年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
文化芸術視察研修	11月21日	1回	趣味教養	成人	13人	【事業内容】 安曇野ちひろ美術館・白馬三枝美術館鑑賞。 【ねらい】 美術品の鑑賞を通して芸術意識の向上を図るとともに、住民同士の交流を深める。	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。	【評価と反省】 優れた美術品鑑賞で得る感動を共有することで、住民同士の交流を深めることができた。 【今後の方針】 芸術作品に触れることができる貴重な機会であることから今後も継続したい。	
音の花束コンサート	11月25日	1回	その他	青少年	300人	【事業内容】 明善中学校の体育館にプロの演奏者を招いてのコンサート。 【ねらい】 生徒の地区行事等への参加のお礼として開催。公民館活動について、生徒の理解を深める。【趣味教養、地域文化】	【準備過程】 公民館と中学校が連携して準備を進めた。 【共催団体等】 寿台公民館、松原地区公民館	【評価と反省】 普段触れる機会の少ないプロの演奏を聴ける貴重な機会となった。中学生の公民館に対する認識を広げることができた。 【今後の方針】 C S運営委員会に中山公民館も出席していることから、同館を加えての開催を検討したい。	○
しめ縄・ふかし饅頭づくり	12月3日	1回	地域文化	家庭教育	11人	【事業内容】 しめ縄づくりとふかし饅頭の調理。 【ねらい】 地区在住の講師から作り方を教わりながら世代間交流を図るとともに、伝統文化を学ぶ。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 子ども会育成会	【評価】 地区在住の講師ということもあり、世代間交流をより深めるとともに伝統文化に対する理解を深めることができた。子ども会育成会のクリスマス会と同日で開催したこともあり、育成会役員の協力を得られた。 【今後の方針】 今年度同様、子ども会育成会と連携して実施したい。	
スマホ個別相談会	12月13日	1回	その他	高齢者	4人	【事業内容】 LINEの使い方の個別相談会を実施。 【ねらい】 地域のデジタルディバイド解消、松本市公式LINEアカウントの登録を促す。	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。個別の対応ができるように定員6名で募集。 【共催団体等】 特定非営利活動法人 信州ソフトウェア協会	【評価】 相談内容をLINEに絞ったこと原因か、定員に満たなかった。参加者の悩みは解消された。公式アカウントには全員が登録した。 【今後の方針】 相談内容を拡げて実施するか検討したい。	

令和4年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
絵本で学ぶSDGs (人権啓発講座)	1月11日	1回	人権平和	成人	22人	【事業内容】 視覚的に情報が入りやすく文章もわかりやすい絵本でSDGsを学ぶ。 【ねらい】 SDGs、人権尊重の理念に関する理解と普及・高揚を図る。 【環境・多文化共生】	【準備過程】 講師と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区人権啓発推進連絡協議会	【評価と反省】 映像や絵本により、わかりやすい内容でSDGsのことが初めてわかったという参加者がいた。 【今後の方針】 人権について考える貴重な機会であることから継続して実施したい。	
ニューススポーツ体験会	1月29日	1回	地域事業 (体育)	成人	20人	【事業内容】 ワンバウンドふらばーるバレー、ピンボーリング、ポッチャ、皿回しの体験。 【ねらい】 ニューススポーツを通して冬場の運動不足解消と世代間交流を図る。	【準備過程】 体協役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区体育協会	【評価と反省】 子どもからお年寄りまで一緒に楽しみ、世代間交流が深まった。 【今後の方針】 参加者が少ないので内容と手法の検討が必要。	
人権啓発視察研修	2月27日	1回	人権平和	成人	20人	【事業内容】 富岡製糸場の視察。 【ねらい】 人権尊重の理念に関する理解と普及・高揚を図るとともに、住民同士の交流を深めることにより町会や公民館活動の活性化を図るもの。 【働く女性、働き方】	【準備過程】 公民館役員と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】 内田地区人権啓発推進連絡協議会	【評価と反省】 当時の働き方、富岡製糸場の状況の説明を受け、理解を共有することで、住民同士の交流を深めることができた。視察先が県外だったため、若い方の参加もあった。 【今後の方針】 人権について考える貴重な機会であることから継続して実施したい。	
内田地区ウォーキング	3月4日	1回	地域文化	家庭教育	29人	【事業内容】 地区内の神社仏閣や旧跡などを歩いて巡る。内田かるたも使用。 【ねらい】 内田かるたの活用、地区文化財等への理解を深めるとともに、健康づくりを通じ住民同士の親睦を深める。	【準備過程】 福祉ひろば、馬場家住宅と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。内田児童館へチラシの配布を依頼。 【共催団体等】 内田地区福祉ひろば、馬場家住宅、内田児童館	【評価と反省】 講師の解説から昔を振り返り、住民同士の親睦を深めることができた。ウォーキングで健康づくりにつながった。多世代交流の機会となった。 【今後の方針】 内田かるたの活用のため来年度も実施したい。	

令和4年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ササラ踊り演奏学習講座	3月28日	1回	地域文化	青少年	6人	【事業内容】市の重要無形民俗文化財「内田のササラ踊り」の唄と演奏の学習。 【ねらい】ササラ踊りの歌い手や演奏者が少なくなってきたため、次代の担い手の育成を図る。	【準備過程】中学校で参加募集のチラシを配ってもらった。 【共催団体等】ササラ踊り保存会	【評価と反省】中学生のみの参加となったが、演奏（三味線）に興味を持つ中学生が多かった。 【今後の方針】引き続き実施して担い手の育成につなげたい。	
自習室開放	8月	19回	子育て	家庭教育	25人	【事業内容】夏休み期間に公民館の会議室を自習室として開放し、地区の住民が勉強できる場を提供。 【ねらい】市民への学習場所の提供、公民館への来館機会の増進を図る。	【準備過程】公民館だよりを全戸配布、小中学校で配布し周知。	【評価と反省】対象年齢を定めなかったため、高校生の利用があった。利用者同士の交流の場にもなっている。 【今後の方針】利用があるため今後も継続したい。	
健康づくり講座「PPKスクール」	12月～3月	4回	福祉健康	成人	62人	【事業内容】理学療法士による健康に関するミニ講座と筋トレと有酸素運動を組み合わせ運動の実施。 【ねらい】介護予防の啓発と運動習慣のきっかけづくり。	【準備過程】講師、共催団体と内容の検討を行い、公民館だよりで周知。 【共催団体等】健康づくり課、南東部地域包括支援センター、地区生活支援員、介護事業所、整骨院	【評価と反省】介護予防の知識を深めるとともに運動習慣のきっかけとすることができた。 【今後の方針】引き続き、専門職の講師を招いて実施したい。	
公民館委員会・各種地区事業実行委員会	通年	26回	公民館委員会・各種会議等	成人	248人	【事業内容】公民館事業、地区事業の企画運営。 【ねらい】公民館事業、地区事業を効果的に行う。	【準備過程】年度の始め、事業の前後等に随時開催。	【評価と反省】各委員会、実行委員会で事業の企画運営が行われ、効果的な活動を行うことができた。 【今後の方針】住民主体で事業が行われるよう、継続して支援したい。	
公民館報「はちぶせ」	通年	6回	公民館委員会・各種会議等	成人	39人	【事業内容】公民館事業や地区・町会行事等の記録、地区の出来事や課題等の記録。 【ねらい】公民館事業や地区の出来事、課題等の周知。	【準備過程】館報編集委員会において、記事の検討、推敲。	【評価と反省】公民館事業や地区事業等を住民の視点で記録することができた。 【今後の方針】事業の記録だけでなく、地区の事に興味を持ってもらえる記事を掲載したい。	

令和4年度 事業報告

内田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
「内田かわら版」	通年	2回	その他	成人		<p>【事業内容】 毎月の市広報誌の配布に合わせて発行。公民館事業や地区の情報を掲載。</p> <p>【ねらい】 公民館事業の周知、参加者の募集。</p>	<p>【準備過程】 公民館主事が作成。</p>	<p>【評価と反省】 公民館事業や地区の情報を周知することができた。</p> <p>【今後の方針】 多くの方に興味を持ってもらえるよう工夫したい。</p>	

令和4年度 事業報告の概要

本郷公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】 地区住民による、より自主的な活動ができるよう意識し、主に次の事業に取り組んだ</p> <p>1 公民館委員会 地区公民館主導の活動から脱却し、より自主的な活動となるよう心掛けた。コロナ禍で地区行事等が少ない中、館報編集委員では、令和6年に迎える本郷地区合併50周年に併せて記事を考えた。状況に応じた自主的な判断で取り組んだ。コロナ禍からの回復期にあたり、各委員会による工夫を行い、事業実施をした。</p> <p>2 地区文化祭 感染対策から、文化委員会等で検討を重ね、日程・規模等を短縮した。公民館活動サークルによる展示・発表を実施できた。</p> <p>3 講座 例年実施している講座に加え、シリーズ開催で「数楽講座」を開催した。コミュニティスクールで課題とされた、学力向上にむけて新規事業を実施した。</p> <p>4 貸館 本郷公民館利用者説明会を午後・夜間の1日2回オンライン開催をした。感染症対策をして利用者との意見交換、公民館を利用するうえでの基本事項の確認を行った。公民館設備の老朽化への対応を求める意見も多く聞かれる。</p> <p>5 コミュニティスクール 本郷小学校に対し、授業サポートや各種ボランティア紹介、学校登山へのサポート随行を実施した。また、女鳥羽中学校生徒のボランティアとしての受入、強歩大会への支援等を行った。</p>										<p>従来の活動に加え、なにか一つでも付け加えることができるよう意識し、各事業に取り組んだ。力の及ばなかった点はあるが、ある程度の成果を上げられたと感じている。</p> <p>1 公民館委員会 各公民館委員会の自主的な発案等により事業が継続できているが、新型コロナウイルス感染症等により中止を余儀なくされ、実施できなかったものが多く、残念に感じる。</p> <p>2 貸館 新型コロナウイルス感染症等に配慮し、十分な指導と適切な物品提供が出来た。また利用者からの施設に対する要望が多数あげられているが、特に床の不陸、故障した暖房設備の更新、寒冷時に明滅を繰り返す照明器具等に多くの意見が寄せられた。引き続き、所管課へ改善要望を提出したい。</p> <p>3 新しい仕組みづくり 従来からの生涯学習の場として、物理的な場所を提供することに加え、新しい技術（インターネット等）の取り込みにより、今までのやり方を大事にしつつ新たな取り組みが必要と考える。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	0	1	1	3	2	4	1	2	1	8	0	7	12
延べ参加人数	51	0	66	0	56	59	60	22	35	0	462	0	606	217

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
図書委員会視察研修	5月24日	1回	趣味教養	成人	9人	・公民館図書委員会主催、地域に開かれた公民館の在り方、先進事例について、見学、講義を受け、以って地域での図書普及活動を図るもの。	【共催団体等】 ・本郷公民館図書委員会	・木曾町立木曾図書館を視察し、司書の方から取り組み、館内の特徴、地域とのかかわりについて学習できた。 ・地域での図書普及活動を効果的に実施するためにも継続して実施したい。	
御殿山ウォーキング	6月4日	1回	スポーツ	青少年	3人	・親子で地区公民館から地元の里山を歩き、地元の自然に親しむとともに、ルート上にある文化財等にも関心を持ってもらう。	【共催団体等】 ・本郷地区子ども会育成会	・本年度は行き先変更し、新たな参加者をターゲットに募集したが、集まらなかった。 ・次年度以降、内容を大きく変更し、地元の自然に地域の子供が触れる機会として開催したい。	○
親子でホタルを見よう	6月27日	1回	環境	青少年	20人	・ホタルの観察会を通じ、自然環境について考える	【共催団体等】 ・浅間温泉ホタルの里づくりの会	・申し込みがあった参加者の他に、温泉の宿泊客などの参加もあり、賑やかな会となった。 ・今後も開催していく予定だが、ホタルの発生時期のピークを予想するのが困難。 ・今年は数多くのホタルが見られ、参加者の満足度は高かった。	○
人権啓発推進講演会	6月29日	1回	人権平和	成人	34人	・地区人権啓発推進協議会の総会に併せ、「ロシアのウクライナ侵攻の背景について」をテーマに講師を招き、講演会を行った。	【共催団体等】 ・本郷地区人権啓発推進協議会	・今後もテーマを考えながら開催していく。	
親睦マレットゴルフ大会	7月13日 -9月3日 11月22日	2回	スポーツ	成人	26人	・健康づくり、体力増進とともに、地区住民の親睦の向上を図る。	【共催団体等】 ・本郷公民館体育委員会	・参加者からは好評を頂いている。 ・令和4年度から町会毎の参加割合の低下により、町会対抗から地区全体の親睦に改めた結果、十分な参加者が得られた。 ・新規参加者の拡充が課題。	
親子星空観察会	7月29日	1回	環境	青少年	20人	・今年度新規事業、浅間温泉からアクセスする美ヶ原自然保護センター近隣から、星空を観察し、宇宙への興味の増進、地区の自然環境等の学習を図り、子どもたちに地域への愛着を持ってもらう。	【共催団体等】 ・スターウォッチングクラブ北斗	・今年度新規事業として十分な参加者確保ができた。当日生憎の天気ではあったが、講師として呼び出した北斗の会の方の機転で、バス内でもわかるお話、雲間から北斗七星を観察でき、好評であった。 ・次年度以降も天候等のアクシデントに備えつつ実施したい。	○
七夕飾りを作ろう	8月3日	1回	地域事業 (文化)	青少年	8人	・例年親子料理教室としているものをコロナ対策から調理した七夕料理を持ち帰り、七夕飾りづくりとしたもの。 ・季節の文化を知り、親子で伝統文化に触れる機会を作る。	【共催団体等】 ・本郷地区女性3団体（JA本郷女性部、本郷地区農村女性協議会、食生活改善推進協議会）	・夏休み期間中であったため、十分な参加であった。 ・今後も継続して開催していく。	○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
美ヶ原を歩こう	8月10日	1回	スポーツ	その他	8人	親子、仲間に参加するウォーキングイベント。楽しみながらの健康増進を目的とする。	【共催団体等】 ・食と旅を愛する会（地元登山愛好家団体）	・親子や仲間同士など、様々な参加者。年齢層も幅広く、多世代交流が見込めるため、今後も継続。	
親子で化石を掘ろう	中止	中止	地域事業 (文化)	青少年	0人	・四賀化石館を見学した後、自分でも実際に化石を採取してみる体験学習の講座。	四賀化石館	・新型コロナウイルス感染症への配慮から中止。	○
親子プラネタリウム鑑賞会	8月20日	1回	環境	青少年	16人	・親子星空観察会（7月29日開催）の関連事業として実施。	教育文化センター	・星空観察への理解を深めるため、今後も継続して実施予定。	○
スマホ講習会	8月26日 12月16日	2回	その他	高齢者	21人	・DX推進本部から提供されたカリキュラムとして、ソフトバンク株式会社講師による、スマートフォン講習会。 ・デジタルデバイス解消のための講座	【共催団体等】 ・DX推進本部 ・ソフトバンク株式会社	・地区福祉ひろばで定期的に講習会を実施しているため、その補完として実施。 ・地区内の要望、または市の指針に基づき実施。	
伝統的建造物群保存地区視察	8月27日	1回	地域事業 (文化)	その他	15人	・伝統的建造物保存地域である千曲市稲荷山地区の商家群見学等、文化委員会主催の文化施設視察研修。	文化委員会主催	・地元観光ボランティアガイドの方からの講義が大変わかりやすく、参加者から好評であった。商家の街並みの保存活動や、温泉街の活動等、地域での文化活動の振興を図る学習となったため、今後も内容を変え実施予定。	
親子ニュースポーツ大会	中止	1回	地域事業 (体育)	青少年	0人	・5種類ほどのニュースポーツ体験講習会。	【共催団体等】 ・本郷地区体育協会 ・本郷地区子ども会育成会 ・本郷公民館体育委員会	・新型コロナウイルス感染症への配慮から中止。	○
浅間温泉と芸者文化Part 4	10月13日	1回	地域事業 (文化)	成人	27人	・浅間温泉の歴史・文化について、地元在住の講師を招き講演会を開催する。 ・自分の住む地域に関する造詣を深め、地域に対する愛着と感心の向上を図る。	図書委員会主催	・図書委員からの発案により昨年に引き続き開催。 ・常に定員以上の参加があり、次年度開催の要望もあるため、令和5年度も開催する予定。	
文化施設視察 (文化祭特別企画)	10月22日	1回	地域事業 (文化)	その他	16人	・森將軍塚古墳の見学。文化、歴史について造詣を深める機会。	文化委員会主催	・地元古墳を含めた古代史について学習でき、地元案内ボランティアガイドの楽知会によって、姥捨地区も含め、十分な学習が図れた。 ・今後も学習内容を吟味し継続したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
本郷地区文化祭	11月12日 ～ 11月13日	2回	地域事業 (文化)	その他	350人	・地区文化活動者の発表(ステージ発表、展示発表)、地区に関する学校(本郷小学校、女鳥羽中学校、第一高校、信州大学)の吹奏楽部等による音楽祭の開催など。 ・地区文化活動者の発表の場を提供することで、活動者がより生きがいを持って文化活動を行なうことを期待し、またその他の参加者が身近な文化・芸能に触れることで、新たな文化活動の担い手となることを目的とする。	【準備過程】 ・地区内団体と実行委員会を組織し、開催可否・内容を検討した。	・新型コロナウイルス感染症への配慮から文化祭の内容変更を行い実施。 ・開催日程・期間・発表方法等について、感染症対策に限らず幅広く検討し、来年度実施したい。	
三九郎作り講習会	12月4日	0回	地域文化	青少年	中止	・地域の伝統行事である三九郎の作り方を子ども達に教え、行事の意味や手法を次の世代に伝えていく。	【共催団体等】 ・本郷地区子ども会育成会	・コロナ対応により、中止 ・好評であり、伝統行事を次世代へ受け継ぐためにも今後も開催する予定。 ・本郷小学校以外の学校へ通う子どもたちの参加が難しい。日程も含め課題が残る。	○
人権ふれあいDVDコンサート	12月10日 ～ 12月26日	13回	人権平和	その他	不明	・音楽活動を行っている障がい者支援団体のコンサートを行い、人権について考える機会とする。	【共催団体等】 ・本郷地区人権啓発推進協議会 出演 楽団ケ・セラ	・新型コロナウイルス感染症への配慮からDVDへ収録した映像によるコンサートとして実施。 ・長年同じ出演者で開催しているが、視聴者からは「またやって欲しい」との声が聞かれる。 ・出演団体からの要望もあるため、今後も開催していく予定。	
親子そば打ち教室	12月17日	1回	その他	青少年	14人	・地元のそば粉を使い、親子でそば打ちの体験学習。 ・食べ物への関心向上と共に、親子のコミュニケーション向上を図る。	【共催団体等】 ・本郷地区子ども会育成会	・毎年、ほぼ定員一杯の申し込みがある。 ・人気講座であり、今後も継続して開催する予定。 ・新型コロナウイルス感染症へ配慮し、そば打ちのみで持ち帰りとした。	○
書き初め講座	1月5日	1回	地域事業 (文化)	青少年	20人	・地区内の小中学生を対象に開催。 ・伝統文化の継承、技術の向上を図り、子どもの学習支援に繋げる。		・申し込みのあった参加者の他に、当日参加もあった。 ・今後も開催予定。	○
図書委員会主催講演会 浅間温泉よもやま話 Part10	1月17日	1回	地域事業 (文化)	成人	26人	・浅間温泉の歴史・文化について、地元在住の講師を招き講演会を開催する。 ・自分の住む地域に関する造詣を深め、地域に対する愛着と感心の向上を図る。	図書委員会主催	・コロナ対策を行い実施。 ・毎年行っているが常に定員以上の参加があり、引き続き開催方法を工夫し実施したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
防災講座	2月22日 3月20日	2回	防災	成人	22人	・昨年実施の防災講座に絡め、日頃の備えを学習する機会とし、企業のCSR活動共同事業として実施。	【共催団体等】 明治安田生命保険相互会社松本支社	・今後関連講座として若年層への、防災・減災及び山の役割等の学習機会を設けたい。	
人権啓発視察 「戦没画学生記念美術館無言館見学」	3月2日	1回	人権平和	成人	17人	・年度当初の研修会に関連し、現在の社会情勢から戦争について考える機会とした。	本郷地区人権啓発推進協議会	・無言館を見学し地元案内ボランティアガイドによる講義を受けながら、戦争について考える機会ができた。	
里山トレッキング	3月11日	1回	スポーツ	成人	23人	・地元の里山を歩き、健康増進、体力向上の機会とすると共に、地元の里山に親しんでもらう機会とする。		・参加者からは好評をいただいているが、参加者が固定化する傾向にある。 ・講師の高齢化が進みつつあり、今後の開催に不安な面もある。	
数楽講座	7月27日 8月5日 9月17日 3月18日	4回	趣味教養	青少年	50人	・数学を数楽にと題して、算数から数学に切り替わる中学生以上を対象に、数の不思議な性質や、数の歴史、身近なところに使われる数学など、多様な数学へのアプローチから広く学習する機会とする	信州大学全学教育機構	・令和3年度学校応援団の会議の際に、学校側から要望があったため、実施。 ・算数から数学に変わる中学生の苦手意識克服のため計画。 ・中学生の参加もあり、概ね計画通り。 ・今後も引き続き地区からの要望課題に対する連続講座の提供を実施したい。	○
本郷公民館利用者説明会	2月22日	1回	公民館委員会・各種会議等	その他	50人	・本郷公民館利用団体の代表者を対象に懇談会を行った。 ・利用者との意見交換を行い、使用するうえでの基本事項の共有を図った。 ・午後・夜間2回、Zoomによるオンライン開催。		・利用者からの要望については、すぐに対応できないものもあるが、今後も定期的に開催していく必要を感じた。 ・オンライン併用開催とすることで普段参加できない代表者も参加でき好評であったので継続したい。	
コミュニティスクール事業	6月23日 ～9月29日 6月21日 ～7月14日 12月12日 ～12月22日 1月10日 7月8日	25回	子育て	青少年	66人	・地域全体で子どもを育てることを目的に、地元住民によるクラブ活動指導、読み聞かせボランティア、緑化事業ボランティア、学校登山のサポートなどの活動を行った。		・事業は今後も継続していくが、ボランティアやクラブ活動指導者が固定化しており、新しい人の加入が少ない。	○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
町内公民館長会	4月15日 ～4月5日	12回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	232人	・全員が文化祭実行委員となっているため、文化祭内容の企画をはじめ、文化祭の運営を行った。 ・また公民館長同志の交流を深め、地区内の親睦と結束の向上に努めた。		・昨年より役員交代により、半数近くが未経験者だが、自主的な活動を行えた。 ・活動予算が少なく、新しい事業を行うことは困難。	
館報編集委員会	4月12日 ～3月6日	12回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	92人	・公民館報の編集ならびに作成、編集に必要な取材等を行う。		・地区公民館主導での編集が多かったが、次第に自主的な活動が行えるようになってきた。	
体育委員会	5月16日 ～11月22日	3回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	29人	・各種体育行事を企画・実施し、地区住民の健康増進と交流・親睦の向上を図る。		・親睦を目的としたマレットゴルフ大会へ変更したが、十分な参加があった。 ・参加者が固定化されているため、次年度以降の体育事業に子供向けのものを検討したい。	
文化委員	5月9日 ～2月28日	7回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	98人	・文化施設視察、文化祭の企画・運営などを行い、地区の文化向上と地区住民の交流・親睦を図る。		・経験者も多く自主的な活動が行えた。	
図書委員会	4月21日 ～1月17日	9回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	54人	・年4回の図書日より発行により、読書についての啓蒙を図り、また本郷図書館の活動に協力する。 ・地域文化伝承を図るため、年2回講演会を実施する。		・自主的な活動が最も盛んな委員会。 ・前年通りにはいかない場合となっても、自分達で解決方法を考えて活動できる。 ・委員が固定されているので、新しい委員の加入が問題か。	
運営委員会	5月12日 ～3月8日	3回	公民館委員会・ 各種会議等	その他	51人	・本郷公民館の事業計画、予算案、徐行報告、決算報告などについて協議を行い、本郷公民館の活動方針について決定を行う。			

令和4年度 事業報告の概要

四賀公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <p>○コロナウイルスの蔓延により、自宅での閉じこもり生活が長く続き、運動不足による体力の低下やフレイル状況が心配されるため、ウォーキングを主体にスポーツ活動を推進した。</p> <p>○将来の地区活性化事業のため地区文化財や地域資源の見直しを図る。</p> <p>○CS事業については、例年四賀小学校の各学年ごとに行われる地区住民との連携行事を滞りなく行なうこと。</p>	<p>○コロナ対策としてウォーキングなどの屋外行事を中心に行ったが定員以上の申し込みが多くあり、概ね好評を得ることができた。参加者の固定化が見られるので参加回数を制限したり、抽選方式で行った。</p> <p>○長年続けてきた地区のメイン行事はほとんどが中止となったが、四賀一周駅伝は競技方法を見直すことで規模を縮小したが開催することができた。今後は多くの行事で（ウイズコロナを基本に）見直しを図りながら新たな企画や運営方法を模索して行きたい。</p>

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	2	1	2	0	6	8	0	3	5	3	4	11	3
延べ 参加人数	9	250	90	41	0	230	197	0	349	358	510	3225	150	365

令和4年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
布織り草鞋作り講習会	4月5日 12日 19日 26日	4回	趣味教養	成人	28人	【内容】 ・古い布を利用して布草鞋を制作する講習会を行う。 【ねらい】 ・リサイクルと普段使いの日用品を制作。	【準備過程】 ・チラシの配布や掲示を行う。 ・予備の布の用意 ・必要器具の制作 【共催団体等】 ・地区の経験者	【評価と反省】 ・コロナ対策をして実施した。 ・作業工程が複雑なため参加者数を絞り細かく教示できた。 【今後の方針等】 ・布草鞋づくりのサークル活動へ発展させたい。	
福寿草倶楽部交流会	4月16日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 ・ベタンク、ポッチャ 【ねらい】 ・福寿草倶楽部会員の交流と会員の増進	【準備過程】 ・チラシを倶楽部員へ送付 ・公民館のお知らせに掲載し各戸に配布 【共催団体等】 ・福寿草倶楽部	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・参加者の減少により他の種目などの新しい交流会を検討している。	
四賀小学校春の遠足	5月2日	1回	その他	その他	140人	【内容】 ・四賀小学校遠足に同行し、地域の案内や説明を行う。1・2年/3・4年/5・6年の3ルート。地域同行者9名。 【ねらい】 ・地域学習の進化を補助する。地域の人との交流。	【準備過程】 ・下見により距離・時間・安全面の確認。ルート上の説明事項の確認。 【共催団体等】 ・四賀小応援団 他	【評価と反省】 ・無理のない範囲で長く歩くことが出来た。地区の自然や環境を見ることが出来た。 【今後の方針等】 ・6年で1回しか歩かない所なのでより細かい地域データを集める。	○
第18回四賀地区球技大会	5月29日	1回	地域事業(体育)	成人	214人	【内容】 ・町会対抗でソフトボール、ゲートボール、マレットゴルフの3競技を行う。 【ねらい】 ・地区住民がスポーツを通じて、親睦・体力向上・スポーツ人口の底辺拡大、活気ある地域づくりを図る。	【準備過程】 ・競技団体に役員を依頼して、要項を検討し、地区体育部長に参加依頼する。 【共催団体等】 ・四賀スポーツ協会 ・町内公民館長会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のためソフトバレーと卓球は中止した。 【今後の方針等】 ・地区の人口が減少する中、町会の協力を得て、大会を開催できている ・地区内の住民、勤務者が基本であるが、申し合わせで地区出身者も参加できるため久しぶりに会う人もいて交流も多くある。 ・より多くの人に参加して勝負より楽しめる大会にしていきたい。	

令和4年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
あおぞらヨガ体験in四賀球場	6月12日	中止	スポーツ	成人	0人	【内容】 ・四賀球場を使用して青空ヨガを行う。 【ねらい】 ・四賀球場を利用し教室を行う。 ・地区住民の健康増進を図る。	【準備過程】 ・スポーツ推進委員会を中心に計画を立てた。 ・四賀球場職員と打合せを行い、協力を依頼した。 【共催団体等】 ・スポーツ推進委員	【評価と反省】 ・雨天のため中止となった。 【今後の方針等】 ・来年度四賀地区以外からも参加者を募集し開催したい。	
四賀地区人権啓発推進協議会視察研修	6月23日	1回	人権平和	成人	9人	【ねらい】 ・人権について研修し学習する。 【内容】 ・阿智村・満蒙開拓平和記念館を訪問し戦争の悲惨さ愚かさ等を学習。	【準備過程】 ・人権啓発推進協議会委員と研修場所を検討し選定。 【共催団体等】 ・人権啓発推進協議会	【評価と反省】 ・少なくなった体験者から当時の状況を聞くことが出来た。 【今後の方針等】 ・若い人たちや住民にも幅広く参加できる研修を企画する。	
文化財環境整備	6月25日	1回	地域事業(その他)	成人	16人	【ねらい】 ・地区の主だった文化財周辺の環境整備、来場者の安全と文化財の保全を行う。特に枯松の伐倒や松枯れ倒木の撤去等。 【内容】 ・岩井堂観音堂周辺と旧五常小にある井刈遺跡の環境整備。	【準備過程】 ・「公民館からのお知らせ」に事業案内と募集を掲載。現場での作業内容と必要人員の把握。 【共催団体等】 ・四賀文化財保護協会・岩井堂町会	【評価と反省】 ・林業従事者や山仕事に慣れた参加者が多く、作業が効率よく安全に進められた。 【今後の方針等】 ・若い人を中心に幅広く住民参加を促すこと。	
四賀夏まつり2022	7月23日	中止	地域事業(その他)	成人	0人	【内容】 ・ふるさと公園を主会場に地元で活躍するバンド演奏、歌などのステージイベントや露天が並ぶ。最後は、花火の打ち上げも行われる。 【ねらい】 ・「ふるさと四賀」の地域住民相互の交流・都市と農村、海と山の交流を深めることにより、住民のパワーアップを図り、活力あるふるさとを創生する。	【準備過程】 ・共催団体による実行委員会を立ち上げ企画、運営をする。 【共催団体等】 ・四賀観光協会・町会連合会・商工会・四賀元気プロジェクト・JA・町内公民館長会等	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・地区在住の音楽家や地元出身の花村佑子さんのコンサート。小学校の金管バンドなど地域で活躍する人や露店も中学生が出店するなど地域交流をメインに企画し、これからも地域のための地域住民主体で開催していきたい。	

令和4年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
第35回四賀コンサート	9月10日	中止	地域事業 (文化)	成人	0人	【内容】 ・四賀小学校体育館を会場に開催 ・松本交響楽団、会田中学校生徒、 四賀小学校4、5、6年生、四賀鼓龍 会虚空蔵太鼓、四賀混成合唱団等が 出演する。 【ねらい】 ・四賀の明日をひらく生涯学習推進 の基盤として、地区住民総参加のも とに、心の豊かさ、潤い、やすらぎ のある生活、情操豊かな文化を創造 する。	【準備過程】 ・実行委員会を結成し、企画、運 営を行う。 【共催団体等】 ・主催 松本市、松本市教育委員 会 ・主管 四賀コンサート実行委員 会	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止 のため中止した。 【今後の方針等】 ・地区内唯一の本格的な交響楽団によ るコンサートであり小中学生も出演す るため家族の来場が多い。 ・来年度は、県民コンサートとして開 催を予定している。コロナ禍により参 加者の意識変化も考慮する。開催日や 会場設営方法等を再検討して行く。	
虚空蔵山山道整備	9月18日	1回	その他	成人	9人	【内容】 ・四賀のシンボルとして、また城跡 や文化財が残る虚空蔵山の山道の草 刈りや支障木を撤去する。 【ねらい】 ・地区内外からの登山者が登り易く なるよう整備する。	【準備過程】 ・チラシの配布や掲示を行う ・四賀文化財保護協会の会員等に 声かけをする。 ・参加者は傷害保険に加入する。	【評価と反省】 ・参加者を4グループに分けて実施し た。参道の距離が長く、参加人数が足 りなかった。 【今後の方針等】 ・参加人数を増やし、毎年実施してい きたい。	
ヨガ教室	10月8日	1回	スポーツ	成人	24人	【内容】 ・ヨガを行う。 【ねらい】 ・地区住民の健康増進を図る。	【準備過程】 ・「公民館からのお知らせ」に募 集案内掲載 【共催団体等】 ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・地区外からも参加者があり盛況に開 催できた。 【今後の方針等】 ・地区外へも情報発信し、参加者を募 集し複数回開催したい。	
第13回四賀バレーボ ール大会	10月16日	中止	地域事業 (体育)	女性	0人	【内容】 ・女性9人制バレーボール大会 【ねらい】 ・バレーボール人口の増大と女性同 士の交流を図る。	【準備過程】 ・競技団体に役員を依頼する。 【共催団体等】 ・四賀体育協会 ・ママさんバレーボールクラブ ・婦人バレーボール連盟	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止 のため中止した。 【今後の方針等】 ・バレーボール人口が減少し、参加 チーム数も減り、複数町会混合でチ ーム結成しているため町会間での調整が 厳しくなっている。女性同士の交流の 場として今後も継続していきたいと思 う。	

令和4年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
四賀マレットゴルフオープン大会	10月16日	1回	スポーツ	成人	35人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マレットゴルフ大会 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化で会員が減少する中ではあるが連盟会員以外も参加でき、会員の新規加入促進する。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員以外も参加できるので参加募集等を行った。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マレットゴルフ連盟 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マレットゴルフ連盟が運営し、四賀公民館は住民に周知することで協力している。 ・運動や練習ができていないことが参加者の減少となっている。 <p>【今後の方針等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マレットゴルフ競技人口を増やすため今後も協力して開催していきたい。 	
第1回 四賀の里写真コンクール テーマ：ふるさとの山「虚空蔵山」	10月20日 締め切り	1回	地域事業 (その他)	その他	9人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った写真を撮り応募してもらう。1人3点まで。A4サイズプリントで応募する。秋の文化祭で発表展示し投票により評価する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四賀地区の知らない魅力を発見してもらい、広く周知して観光や活性化に寄与すること。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月から「公民館からのお知らせ」に募集掲載し、周知を図った。 <p>【共催団体等】</p>	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内からの応募6名地区外3名の応募があり写真点数も24点になった。初回でありこんなものかもしれないが周知方法と楽しいテーマを考えていく必要がある <p>【今後の方針等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味を引く楽しいテーマを考え毎年実施していく。 	
四賀地区文化祭	10月29日～ 10月30日	1回	地域事業 (文化)	成人	400人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園児、小中学生、各クラブ、団体、サークルの作品展示を行う。 ・四賀新そば祭り実行委員会主催の「そばまつり」を開催する。写真コンクールの発表も実施する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区で活動する団体が一堂に会し、文化活動の発展と交流を図る。 ・地区住民の文化活動を推進する。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化関係団体・個人に通知し、出展者を募る。 ・出展者により運営、準備、片付けを行う。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉ひろば・社会福祉協議会・福寿草倶楽部・四賀小学校・会田中学校・双葉保育園・錦部保育園 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策をして開催した。多くの参加と作品展示ができ、社協のバザーも行え盛況であった。 ・四賀新そば祭り実行委員会主催の「そばまつり」はコロナ対策をとって実行し好評であった。 <p>【今後の方針等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を展示し、来場者に見ていただく貴重な機会であるので継続開催し、新規企画も行いたい。 	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第63回四賀一周駅伝競技大会	11月3日	1回	地域事業 (体育)	成人	120人	【内容】 ・コロナ禍により地区内を6区間12.4kmに縮小したコースで駅伝大会を行う。 【ねらい】 ・コロナ禍によりで減少したスポーツ競技を復興し地区住民のスポーツ人口の拡大と明日への活力を養い、健康で充実した生活を送り、活気ある地域づくりを図る。	【準備過程】 ・実行委員会をつくり、要項の検討、準備、大会運営を行う。 【共催団体等】 ・四賀スポーツ協会 ・町内公民館町会	【評価と反省】 ・少人数でも参加しやすいように、区間と距離を減らし、また審判員等の負担を減らし実施した。 ・コロナ禍の中で6チーム(1チームがコロナで欠場)が参加し、事故もなく実施できた。 【今後の方針等】 ・参加チーム数を増やせるような新規運営方法の検討とコースの見直し。さらに地区外からも参加できるように拡大していけたらと思う。	
四賀地区食生活改善推進協議会視察研修	11月4日	1回	公民館委員会・各種会議等	女性	15人	【内容】 ・食育について視察研修を行う。 【ねらい】 ・食についての理解を深め、今後の活動に生かしていく。	【準備過程】 ・四賀地区食生活改善推進協議会と研修場所や内容を検討する。 【共催団体等】 ・四賀地区食生活改善推進協議会	【評価と反省】 ・近隣地域の酒造メーカーを訪問し醸造過程を視察、酵母の働きや麹の作り方等の昔ながらの技術と最新設備で、美味しい酒ができる工程が勉強できた。 【今後の方針等】 ・食の大切さについて、今後も学ぶ機会を作っていきたい。	
会田富士虚空蔵山に登ろう	11月5日	1回	地域事業 (体育)	成人	24人	【内容】 ・四賀地区のシンボルである虚空蔵山に登る。 【ねらい】 ・虚空蔵山に理解を深め、体力増進を図る。	【準備過程】 ・四賀地区以外の方も参加できるよう、市民タイムスに記事を掲載してもらった。 ・コース下見と昼食場所等の手配。	【評価と反省】 ・紅葉も残り、天気も良く大勢の参加者からも好評だった。地区内での昼食提供もでき、活性化に結び付く企画が行えた。 【今後の方針等】 ・市民タイムスなどで四賀地区以外からの参加者募集を継続し毎年開催していく。	
蔓かご講座	11月9日	1回	趣味教養	成人	12人	【内容】 ・山や自然に生えている蔓を使って籠等を作る。 【ねらい】 ・四賀ではどこにでもある藤蔓や葛の蔓などでオリジナル作品を作る楽しさを広める。	【準備過程】 ・公民館広報で告知。地域福祉支援員が講師を依頼した。 ・材料の収集。 【共催団体等】 ・四賀地区地域づくり協議会福祉健康部会	【評価と反省】 ・柔らかい内の蔓を使用するので、曲げやすく思い通りの形に出来て楽しい講座になった。 【今後の方針等】 ・継続して実施し参加者を増やしたい。	

令和4年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
第17回生涯学習フェスティバル	11月19日	1回	地域事業 (文化)	その他	110人	【内容】 ・福寿草倶楽部を中心とした発表会 ・実践活動として小・中学生によるステージ発表 【ねらい】 ・生涯学習の大切さを認識し、同じ趣味を持つ仲間が集い、学習し、得たことに対する喜びを推進するために開催する。	【準備過程】 ・福寿草倶楽部が運営する。 【共催団体等】 ・福寿草倶楽部 ・会田中学校 ・四賀小学校	【評価と反省】 ・コロナ禍が続く中ではあるが対策を取り実施した。サークル活動も低下傾向であるが3年ぶりに実施でき多くの発表ができた。 【今後の方針等】 ・福寿草倶楽部のサークル発表の貴重な機会となっているが、住民の観客が少ないため、多くの人が集まるフェスティバルにしていきたい。	
グランドゴルフ体験会 & 交流戦	11月22日	1回	スポーツ	成人	19人	【内容】 ・広い四賀球場を利用したグランドゴルフ交流戦を開催する。 【ねらい】 ・幅広い年齢層が参加できる競技で運動と交流の機会とする。競技方法を学ぶ。	【準備過程】 ・四賀球場と日程調整。 ・公民館からのお知らせで全戸に広報。	【評価と反省】 ・コロナ禍の中、多くの参加があり、講座を実施することができた。人工芝にもすぐに慣れて楽しめた。 【今後の方針等】 ・子どもから高齢者までできるスポーツなので今後も体験会や競技会を開催していきたい。	
そば打ち教室	12月3日	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 ・手打ち蕎麦づくり ・定員10名 【ねらい】 ・蕎麦のこね方、打ち方のコツを学び自宅でもできる技術をつかむ。	【準備過程】 ・公民館からのお知らせで全戸に告知。	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、打ったそばは持ち帰りにして講師の打ったそばでゆで方を勉強した。 【今後の方針等】 ・人気のある教室のため来年度も開催していきたい。	
しめ飾り体験学習会	12月10日	1回	地域文化	成人	16人	【内容】 ・正月に飾るしめ飾りの作り方を学ぶ。 【ねらい】 ・伝統文化の理解を深める。	【準備過程】 ・チラシを作成し、四賀小学校、会田中学校へ配布 ・公民館からのお知らせで全戸に告知	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症対策をして講師の先生の指導で作ることができた。 【今後の方針等】 ・しめ飾りを作る人気のある教室のため来年度も継続して開催したい。	

令和4年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
図書視聴覚委員会視察研修	12月13日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	10人	【ねらい】 ・他の図書施設を視察研修して、公民館図書室の充実を図る。 【内容】 ・塩尻市図書館・市民交流センター ・広丘図書館	【準備過程】 ・図書視聴覚委員と研修場所を検討選定 【共催団体等】 ・公民館図書視聴覚委員会	【評価と反省】 ・図書室について視察研修し、今後の図書室運営に役立てていきたい。 【今後の方針等】 ・利用者目線で快適な環境を模索していきたい。	
しめ縄つくり学習会	12月20日	1回	地域文化	青少年	25人	【内容】 ・四賀小学校4年生に正月に飾るしめ飾りの作り方を教える。 【ねらい】 ・伝統文化の理解を深め、長く継承できるようにする。	【準備過程】 ・材料（5年生が地域学習で育てたもち米の藁を梳く・松）を準備。 ・地域の講師3名	【評価と反省】 ・地域の伝統と飾の意味などを説明でき、縄の細かい方や作り方をほとんどの子が形に出来るようになった。 【今後の方針等】 ・来年度も継続して開催したい。	○
スキー教室	1月21日	1回	スポーツ	青少年	19人	【内容】 ・小学生以上対象のスキー教室 ・市内スキー場は遠いため爺が岳で毎回開催している。 【ねらい】 ・楽しみながらスキーを通して冬場の体力づくり、技術の向上を図る。地区内のリターンスキーヤー等にも参加を促す。	【準備過程】 ・小学校父兄にチラシを配布。全戸に告知。 ・松本スキークラブに講師を依頼する。 【共催団体等】 ・爺が岳スキー場 ・松本スキークラブ	【評価と反省】 ・晴天に恵まれ、講師も適切な指導をしていたが小学生の上達が見られなかった。コロナの影響で不参加が出たのは残念。 【今後の方針等】 ・雪不足も考えられるため、開催日や会場の変更も検討していく。	
第21回大樂い	2月12日	中止	趣味教養	成人	0人	【内容】 ・ステージ発表・活動報告 ・昼食会 【ねらい】 ・福寿草倶楽部員の活動成果を発表し、交流を深める。	【準備過程】 ・福寿草倶楽部が中心となり企画・運営する。 【共催団体等】 ・福寿草倶楽部	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・福寿草倶楽部の交流と発表の場であるため継続して開催したい。	
第18回ソフトバレーボール大会	3月5日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	【内容】 ・町会を中心とした一般の部、40歳以上の部に分けたソフトバレーボール大会 【ねらい】 ・幅広い年齢層の住民が参加し、親睦と友情を深め、活気ある地域づくりと運動不足解消を図る。	【準備過程】 ・ソフトバレーボール競技の2団体に役員を依頼し、企画・運営を行う。 【共催団体等】 ・四賀体育協会 ・四賀ソフトバレーボールクラブ ・刈谷原町ソフトバレーボールクラブ	【評価と反省】 ・新型コロナウイルスによる運動機会の減少で参加者の確保が難しかったため、また肺炎拡大防止のため中止した。 【今後の方針等】 ・冬場の運動不足解消のため行ってきしたが、けがなどが心配のため次年度以降は暖かい時期に開催していく。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
バタック交流会	12月9日 1月20日 2月17日 3月10日	4回	スポーツ	成人	90人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バタック競技の交流戦を行う。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬場の運動と住民交流を促す。四賀地区内でも競技人口が増えており、高齢者も無理なく行えるためより多くの参加者を増やす。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内ゲートボール場を使用しコースを設定。 ・公民館からのお知らせで全戸周知。 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板場バタッククラブ ・大手公民館 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内ゲートボール場を活用し、さらに地区外からも参加してもらい交流戦が実施でき良かった。 <p>【今後の方針等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技人口をより増やし、年間を通し競技会や体験会を開催していきたい。 	
ポッチャ体験会	1月27日 2月24日	2回	スポーツ	成人	10人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックの競技でもあるポッチャを体験する。 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者と健常者ができるポッチャのルールと競技方法を学ぶ。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式審判員の資格を持つ地元の小峰悦雄さんに講師を依頼した。 ・公民館からのお知らせで全戸周知 ・ピナスホールにコースを設定 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、1回目は中止となったが2回目は10人の参加があり、講座を実施することができた。 <p>【今後の方針等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもも高齢者もできるスポーツなので今後も体験会を開催していきたい。 	
四賀地区外ウォーキング	4月26日 5月26日 6月22日 7月20日 9月12日 10月 7日 11月 7日	7回	福祉健康	成人	130人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 高遠城跡ウォーキング ・5月 馬籠・妻籠ウォーキング ・6月 美ヶ原ウォーキング ・7月 乗鞍高原ウォーキング ・9月 戸隠ウォーキング ・10月 スカイパークウォーキング ←中止 ・11月 野辺山高原ウォーキング <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特色ある地域を訪ねウォーキングをして地理、自然、歴史、文化を学習する。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシを各戸に配布 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉ひろば 	<p>【評価と反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所ごとの地形や自然の中を歩くことで新鮮な気持ちで運動ができた。 ・四賀地区以外の地域を見て歩くことにより新しい発見や知識を学ぶことができた。 <p>【今後の方針等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特色ある地域を探し、今後も継続していきたい。 	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
四賀探訪ウォーキング	4月20日 6月 3日 7月 8日 8月26日 9月16日 10月21日 12月 8日 2月28日 3月15日	9回	福祉健康	成人	120人	【内容】 ・4月 殿野入地区 ・6月 執田光地区 ・7月 金井地区 ・8月 小岩井地区 ・9月 穴沢地区 ・10月 東北山地区 ・12月 会田宿 ・2月 明科 ・3月 金山地区 【ねらい】 ・地区内をウォーキングしながら地区の自然、歴史、文化を体験する。 ・地区に残る文化財を巡り学ぶ。	【準備過程】 ・公民館からのお知らせで各戸に配布 【共催団体等】 ・福祉ひろば	【評価と反省】 ・四賀地区内の自然や今に残る文化財を巡り歩くことにより新しい発見をすることができた。各地区の町会長や住民からの案内でより深く知ることができた。 【今後の方針等】 ・コロナ禍でもできるウォーキングを来年度も行っておきたい。	
コミュニティースクール事業	5月～1月	11回	その他	青少年	200人	【内容】 地域住民による付き添いや四賀小学校児童への指導。 ・5～11月 菊栽培・稲作学習 ・7月～12月 華道クラブ ・11月 あおぞら・たいよう木工教室 ・1月 書初め 会田中学校 ・地域学習 桑の実活用など 【ねらい】 ・地域住民やコーディネーターによるクラブ活動や授業の支援や交流 ・地域特性を学ぶ。	【準備過程】 ・参加できる方や地元講師を探し、四賀小学校と調整する。	【評価と反省】 ・地元住民から普段の授業では学習できないことを学び、交流を深めることができた。 ・地域の特徴や資源の活用を考えることができた。 【今後の方針等】 ・仕事や趣味で特技のある地元の方を募集し、学校と連携してコミュニティースクール事業を推進していきたい。 ・地域資源を活用する学習を続けていきたい。	○
おさがり会	4月24日 7月30日 11月 5日	3回	子育て	成人	90人	【内容】 ・子どもが成長し、必要なくなった服や用具を公民館へ持ってきていただき、必要とする人に持って行ってもらう。 【ねらい】 ・子供服を必要な人に渡す機会を作る。	【準備過程】 ・お知らせでの告知や掲示を行い、住民に呼びかける。	【評価と反省】 ・コロナ対策をして開催した。 ・地区内事業者による「大結ぶ市」と連動し同日開催をした事で多くの人が訪れてくれた。 【今後の方針等】 ・子供服やおもちゃ・用具のリユースができるため、今後も実施していきたいが、服などのリユース需要が低下しているように感じると持ち込んでくる服が減少しているため考慮が必要。	

令和4年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
スマホ体験講座 スマホ講習会 スマホサークル	4月11日～ 3月20日	16回	趣味教養	成人	120人	【内容】 ・スマートフォンの基礎と操作方法を学ぶ。 【ねらい】 ・スマートフォンの操作を学び、使いこなせるようにする。	【準備過程】 ・講師を派遣してもらえるところと連絡。 ・スマホをある程度使える方にサークルでの指導を依頼。 ・公民館からのお知らせで全戸周知。	【評価と反省】 ・講習会は講師にお願いし3回開催。体験講座も通信事業者で1回開催。あとは継続的にサークルで開催している。わからないことの対応ができています。 【今後の方針等】 ・デジタル社会の中で、スマートフォンの操作は必要なため、今後もサークル活動を実施していきたい。	
クリスマスツリー飾り	12月10日～ 12月27日	1回	趣味教養	青少年	60人	【内容】 ・松本市役所玄関口ビーに地域の方から提供いただいた高さ4.5mのみの木を設置し、クリスマスツリーの飾り付けを行った。 【ねらい】 ・クリスマスツリーの飾り付けに子どもたちが参加する。	【準備過程】 ・住民から飾り物を募集した。 ・双葉保育園に依頼し、園児がクリスマスの飾り付けに参加した。 ・放課後児童クラブに依頼し都合の良いときに小学生が自由に飾り付けをした。	【評価と反省】 ・昨年より少し小ぶりだが高さ4.5mの大きなもみの木が設置でき、多くの人が飾り付けに参加してくれた。 【今後の方針等】 ・自然の木を利用しクリスマス飾りを作成できた。子ども達に好評であったため、来年度も開催したい。	
公民館図書室	年間	1回	地域事業 (その他)	成人	3,200人	【内容】 ・図書の貸出、整理 ・開館 平日10:00～18:00 土日祝日10:00～17:00 ・休館 毎週月曜日 (祝日の場合は次の日) 12月29日～1月3日 【ねらい】 ・地域の方が気軽に本を借り、知識を深める。	【準備過程】 ・会計年度職員5名で勤務表を作り、図書室の運営を行う。 ・新刊本にパソコンで管理するためのバーコードを貼り、カバーをする。 ・古くなった書籍等を除籍し、整理整頓を行う。	【評価と反省】 ・蔵書が約1万8千冊あり身近な図書室として多くの住民に利用されている。 ・絵本等の子ども対象本も充実している。 ・図書室スペースが限られているため、入れ替え本の選択に苦労する。 ・図書購入予算が限られるため、購入本の選定に苦労している。 【今後の方針等】 ・色々な分野の蔵書の充実を図り利用を拡大していく。 ・本館とのネットワークをつなげて借りられる本の種類を増やしたい。	
町内公民館町会	年間	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	20人	・四賀公民館事業について協力を依頼する。 ・公民館振興業務委託料、町内公民館町会費の依頼をする。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大のため、四賀公民館の主な事業が中止となった。 ・今後も協力して公民館事業を開催していきたい。	

令和4年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
体育部長会	年間	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	20人	・四賀公民館事業について協力を依頼する。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大のため、四賀公民館の主な事業が中止となった。 ・今後も協力して公民館事業を開催していきたい。	
運営委員会	年間	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	9人	・四賀公民館の全体計画を検討する。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・町会連合会長、町内公民館町会長、公民館委員会の委員長等により構成され、全体的な調整の場となっている。	
館報編集委員会	年間	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	6人	・「公民館報しが」の取材、編集する。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・新型コロナウイルス感染拡大により、中止になった公民館事業が多く、館報作成に苦慮した。	
スポーツ委員会	年間	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	22人	・四賀公民館体育事業の企画、運営する。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・4地区町会体育部長代表、スポーツ推進委員、競技団体の代表等が委員となっている。四賀一周駅伝競技大会はスポーツ推進委員、他の球技大会は競技団体が主管し実施している。	
図書視聴覚委員会	年間	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	7人	・四賀公民館図書室の運営を検討する。 ・図書だよりの発行	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・図書だよりの内容を充実出来てきた、図書室の利用促進を図っていく。	
文化委員会	年間	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	10人	・四賀公民館文化事業の企画、運営する。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・四賀コンサート、文化祭の企画・運営を主に行っている。四賀音楽村のコンサート企画についても委員会で検討し実施したい。	
四賀地区スポーツ推進委員会	年間	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	6人	・地区内のスポーツの推進を図る。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・四賀一周駅伝を主体に活動している。新事業も企画立案していきたい。	

令和4年度 事業報告

四賀公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
四賀文化財保護協会	年間	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	25人	・文化財について調査研究し、歴史と伝統の保存と保護を目的とする。 ・次世代の人員を確保し繋げていく。	【準備過程】 ・会議通知の送付 ・会議資料の準備	【評価と反省】 ・設立2年目となり四賀地区の文化財を学習するとともに、文化財保護や環境整備について検討・活動につなげていきたい。	

令和4年度 事業報告の概要

安曇公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <p>1 学都松本をめざして、市民が生涯にわたって学び続けるまち、地域や行政が協働して共に学ぶまち、市民一人ひとりが学んだ知識、技術を社会に活かし、次代に引き継ぐまちをめざし、安曇地区の課題、特性を踏まえた公民館事業を展開する。</p> <p>2 広大な面積に小集落が点在しているため、地区全体が一体感を持った地域活動を進めることが困難</p> <p>3 少子高齢化が進み、児童・生徒の減少が顕著</p> <p>4 特定健診受診率が低く、閉じこもり者割合が多い。※JAGESより</p> <p>【重点的に取り組んだ事項等】</p> <p>1 伝統行事の継承（ウェストン祭記念山行、安曇地区文化祭等）</p> <p>2 日本を代表する山岳観光地である安曇地区の魅力を発見・認識し、この財産を守り、後世に伝えて行く意識を醸成</p> <p>3 安曇地区の課題解決を目指し、関係団体（町会等）とともに作った新たな通いの場の定着を目指すこと</p>	<p>1 新型コロナウイルス感染症の影響から、開催の可否を慎重に判断しながら、事業を行なった。</p> <p>2 村時代から続く行事である安曇地区文化祭について、住民を中心に組織された実行委員会で協議を重ね、3年ぶりに人を集める方法で実施することとなった。</p> <p>3 屋外で学習・体験できる機会を増やし、安曇地区の魅力を再発見できるよう事業を行なった。</p> <p>4 関係団体（町会等）とともに作った、新たな通いの場の定着を目指し、多様な企画を同時開催できた。</p> <p>5 事業の検討段階から、住民の声を集めながら進めていくことを心掛けたい。</p>

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	0	1	0	0	3	4	1	1	1	2	4	4	1
延べ 参加人数	20	0	48	0	0	42	96	20	14	6	65	353	132	48

令和4年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
霧訪山登山	5月10日	1回	スポーツ	成人	20人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「信州の里山・総選挙！（冬山編）」で第1位を獲得した、塩尻市と辰野町にまたがる霧訪山の登山 <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの方から支持される理由を学ぶ。 ・登山道の維持管理を行なっている地元の山友会及び地元中学生の取り組みを学ぶ。 ・山との関わり方について考えるきっかけづくり ・自然の中をトレッキングすることで、健康増進を図るもの 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内回覧で周知 ・メール配信サービスで周知 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし 	<p>【評価・反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいどおり、事業が実施できた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の声を踏まえ、別ルートでの登頂を目指す事業を実施したい。 	
ウェストン祭記念山行及びウェストン祭参加児童引率	6月4日～5日	1回	地域事業(文化)	青少年	33人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安曇村時代から行われている伝統行事である徳本峠越えの登山を行う。また、一部児童及び教員は2日目のウェストン祭に参加し、献花と合唱を行うもの <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本アルプスを世界に発信したウォルター・ウェストンの足跡を辿り、地域への理解を深める。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山行ルートの下見 ・安曇地区子ども会育成連合会総会で、記念山行の実施可否を協議 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安曇地区子ども会育成連合会 ・安曇小中学校 ・大野川小中学校 	<p>【評価・反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいどおり事業が実施できた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統行事として継続したい。 	
スマホのお悩み相談会	7月20日	1回	趣味教養	成人	7人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンについて困っていることを相談できる機会を設けるもの <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル弱者への配慮 ・安曇公民館メール配信サービスの登録者数の増加 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内回覧で周知 ・主な施設へ周知用ポスターを掲示 ・メール配信サービスで周知 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし 	<p>【評価・反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいどおり事業が実施できた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な事業を企画し、来場者数向上及び新規参加者の掘り起こし等を目指したい。 	
寝る前10分！深い眠りへのストレッチ！	8月17日	1回	スポーツ	成人	10人	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康運動指導士から、ストレッチを学ぶもの <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ちょっとよっていきましょ」と同時開催することで、両事業の来場者数向上を図る。 ・自宅でできるフレイル予防対策を学ぶ。 	<p>【準備過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内回覧で周知 ・主な施設へ周知用ポスターを掲示 ・メール配信サービスで周知 <p>【共催団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし 	<p>【評価・反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいどおり事業が実施できた。 <p>【今後の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な事業を企画し、来場者数向上及び新規参加者の掘り起こし等を目指したい。 	

令和4年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
乗鞍サマーセミナー	8月20日	1回	地域事業 (その他)	成人	60人	【内容】 ・東京大学のOB・OGの会が主催の、乗鞍にまつわる講演会を開催 【ねらい】 ・乗鞍に有用なテーマについて、学び、新たな魅力等の発見を行う。	【共催団体等】 ・東京大学乗鞍寮VSAの会 ・大野川小中学校同窓会 ・ふれあいパーク乗鞍管理委員会 ・松本市教育委員会 ・大野川区町会 ・のりくら地区町会連絡会 ・のりくら観光協会	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・地域と東京大学OB・OG会と連携を取り、今後も継続して地域学習を進めたい。 ・住民と協議をする中で、声を拾い、地域に合ったテーマを相手方に提案していく。	
安曇ゴルフ大会	9月16日	1回	スポーツ	成人	14人	【内容】 ・安曇村時代の旧姉妹都市である静岡県賀茂郡松崎町との交流ゴルフ大会 【ねらい】 ・松崎町住民と地区住民の親睦を深める。	【準備過程】 ・地区内回覧にて周知 【共催団体等】 ・松本市安曇ゴルフクラブ	【評価・反省】 ・新型コロナウイルス対策により、松崎町との交流は中止し、安曇地区住民のみで開催した。 【今後の方針】 ・双方で行き来のできるプレーヤーがいる限りは継続していく。	
梓川源流域を訪ねる山旅シリーズ 瓢箪池トレッキング	10月2日	1回	地域事業 (体育)	成人	6人	【内容】 ・安曇地区内を流れる梓川の源流に係る学習及び体験 【ねらい】 ・地域学習及び体験を通じた、安曇地区の魅力の再発見 ・集団行動の体験を通して、ルールやマナーを学ぶと同時に、助け合いの精神を育むもの ・安曇山岳会の認知度を高めるとともに活性化を図るもの ・自然の中をトレッキングすることで、健康増進を図るもの	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 【共催団体等】 ・安曇山岳会	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
地域を守る砂防防災講座	10月6日	1回	防災	成人	20人	【内容】 蛇堀川砂防堰堤等の学習及び見学 【ねらい】 梓川流域に暮らす安曇・奈川地区住民を対象に、砂防防災や災害に対する防災知識を高める。	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・視察先との調整 【共催団体等】 ・奈川公民館 ・NPO法人梓川流域を守る会 ・国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所 ・(一社)北陸地域づくり協会	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
美術館を巡る秋の一日	10月16日	1回	趣味教養	成人	8人	【内容】 ・上田市にある美術館を巡りながら、観察力及び想像力等を養うもの 【ねらい】 ・美術鑑賞で得られる効果を体感するもの ・安曇地区文化祭を控える中で、多様な作品に触れることで、創作意欲の向上を目指すとともに、文化祭開催をPRするもの	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 ・メール配信サービスで周知 【共催団体等】 ・なし	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・多様な事業を企画し、来場者数向上及び新規参加者の掘り起こし等を目指したい。	
安曇地区文化祭	10月30日	1回	地域事業 (その他)	成人	94人	【内容】 ・地域の文化活動発表と、地区全体の住民交流のための文化祭を開催 【ねらい】 ・普段会う機会が少ない住民同士が交流し、地区内の名産品や文化活動を知る機会として開催	【準備過程】 ・地区内全戸配布 ・文化祭企画・検討委員会及び実行委員会 ・地区内企業等に協賛依頼 【共催団体等】 ・安曇地区文化祭実行委員会 ・地区内企業等	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 【今後の方針】 ・これまで同様、内容は住民等と協働で検討し、継続性のあるものを作っていきたい。	
小規模特認校制度と人権学習	2月27日	1回	人権平和	成人	20人	【内容】 ・講演会「人間関係を考える」 ・太極拳 ・大人のトークタイム 【ねらい】 ・人権啓発推進事業の推進	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・地区内回覧にて周知 【共催団体等】 ・安曇地区人権啓発推進協議会 ・安曇地区福祉ひろば ・安曇地区子ども会育成連合会 ・安曇小中学校 ・大野川小中学校	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
マレットゴルフ大会	5月17日 7月5日 9月27日	3回	スポーツ	成人	52人	【内容】 ・安曇地区マレットゴルフ協会を中心にマレットゴルフ大会を開催 【ねらい】 ・スポーツを通して地域住民同士の交流を図る。	【準備過程】 ・地区内回覧にて周知 【共催団体等】 ・安曇地区マレットゴルフ協会	【評価・反省】 ・ねらいどおり、事業が実施できた。 【今後の方針】 ・協会員は減少傾向にあるが、大会への参加人数は一定数いるため継続して開催したい。 ・新規参加者の掘り起こしのため、共催団体等と連携し、開催方法や会場選定等について協議しながら、事業を続けたい。	

令和4年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ちよつとよっていきましょ	5月18日 6月15日 7月20日 8月17日 9月21日 10月19日	6回	地域事業 (その他)	成人	155人	【内容】 ・関係団体（町会等）とともに新たな通いの場をつくるもの 【ねらい】 ・健康とくらしの調査結果から見る安曇地区の課題解決を目指す。	【準備過程】 ・共催団体等との調整 ・一部長会への全戸配布にて周知 【共催団体等】 ・大野川区町会 ・のりくら観光協会 ・乗鞍うまいもの工房 ・大野川区町会民生委員 ・安曇地区地域づくりセンター ・安曇地区福祉ひろば ・西部地域包括支援センター ・西部保健センター ・松本市社協安曇事業所	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 ・関係団体から、事業継続の意向が示された。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
知って納得！元気になるツボ教えます！	5月18日 6月15日	2回	趣味教養	成人	27人	【内容】 ・松本協立病院協立はりきゅうマッサージセンターから講師を招き、ツボ押しを学ぶもの 【ねらい】 ・「ちよつとよっていきましょ」と同時開催することで、両事業の来場者数向上を図る。 ・自宅でできるフレイル予防対策を学ぶ。	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 ・主な施設へ周知用ポスターを掲示 ・メール配信サービスで周知 【共催団体等】 ・なし	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・多様な事業を企画し、来場者数向上及び新規参加者の掘り起こし等を目指したい。	
安曇小中学校紹介動画制作事業	6月28日～ 3月9日	1回	子育て	青少年	48人	【内容】 ・安曇小中学校が、令和4年4月に「小規模特認校」に指定されたことを受け、地域の企業とともに、安曇小中学校の紹介動画を作成するもの 【ねらい】 ・安曇小中学校の特徴及び魅力等を発信 ・学校を選択する際の不安等の解消につなげる。	【準備過程】 ・共催団体等との調整 【共催団体等】 ・安曇小中学校 ・HAPPY DAYZ PRODUCTIONS	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・学校と協力しながら、SNS及び広報誌への掲載等、様々な方法で、広く周知したい。	○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
松崎町交流事業	7月11日～13日 8月21日～23日	2回	地域事業 (その他)	青少年	44人	【内容】 ・旧姉妹都市松崎町と中学生同士の交流を行う。(7月に松崎町への訪問、8月に松崎町からの受入) ・令和元年度から、松崎町への訪問を隔年実施、松崎町からの受入を毎年実施としているもの。 【ねらい】 ・双方の中学生が普段行くことのない山や海の環境に触れ、知見と交流の輪を広げる。	【準備過程】 ・共催団体等との調整 【共催団体等】 ・松崎町教育委員会 ・安曇地区子ども会育成連合会 ・安曇中学校 ・大野川中学校	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・共催団体等と連携し、事業を継続したい。	
スマホ体験講習会	8月19日 9月21日	2回	その他	成人	14人	【内容】 ・スマートフォンの基本的な使い方から、日常よく使う機能を学ぶもの 【ねらい】 ・デジタル弱者への配慮 ・安曇公民館メール配信サービスの登録者数の増加	【準備過程】 ・地区内回覧で周知 【共催団体等】 ・ソフトバンク株式会社 ・松本市(DX推進本部)	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・事業の継続に向け、開催方法等を検討したい。	
のりくら陶芸教室	9月6日 9月20日 10月4日 10月18日	4回	地域事業 (文化)	成人	32人	【内容】 ・ふれあいパーク乗鞍の窯を使用した陶芸教室 【ねらい】 ・地元サークルの活性化 ・新たな生きがいづくり	【準備過程】 ・地区内回覧にて周知 【共催団体等】 ・のりくら陶芸クラブ	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・事業を継続したい。 ・新規参加者の掘り起こしのため、共催団体等と連携し、日程及び会場を複数設定する等、工夫しながら、事業を続けたい。	
館報編集委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	73人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・館報の刊行を通じた地域づくりの推進や意識の高揚を図る。		【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 ・安曇地区の中学生の執筆が定着してきた。 【今後の方針】 ・地区の様々な出来事を的確に伝えるように心がけたい。	

令和4年度 事業報告

安曇公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
図書委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	20人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・図書に接する機会を増やし、地域づくりの推進や意識の高揚を図る。	【共催団体等】 ・ふれあいパーク乗鞍	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 ・例年どおりふれあいパーク乗鞍の図書を年2回、入れ替えた。 【今後の方針】 ・大野川区の身近な図書館としてより多くの本に接する機会を提供したい。	
文化委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	33人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・文化祭開催を通じた地域づくりの推進や意識の高揚を図る。	【共催団体等】 ・安曇地区文化祭実行委員会	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・今後も安曇の各地区の特徴を活かした文化祭を目指し、地域の一体感を醸成していきたい。	
体育委員会	通年	1回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	6人	【内容】 ・地域住民協力のもと、公民館活動の円滑な運営と企画検討等を行う。 【ねらい】 ・スポーツ活動を通じた地域づくりの推進や意識の高揚を図る。	【共催団体等】 ・安曇地区マレットゴルフ協会	【評価・反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針】 ・主に高齢者を対象としたスポーツを通じ、健康寿命の延伸を図ってきたい。	

令和4年度 事業報告の概要

奈川公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】 コロナ禍においても安全対策に配慮しながらできる事業を工夫して、地域住民の学びと参加の機会の創出に心がけた。</p> <p>○参加者同士の交流を図る講座を企画・開催した。</p> <p>○参加者の運動不足の解消や、健康推進を図った。</p> <p>○各事業において、地区内外の関係機関、団体と連携を図り、事業を開催した。 関係機関：奈川支所、福祉ひろば、奈川小中学校、奈川地区子ども会育成連合会、奈川地区人権啓発推進協議会、町内公民館等</p>										<p>○コロナ禍で地域住民が参加交流する運動会や、文化祭が開催できず、住民間の交流、親睦の機会が少なくなったことは残念。</p> <p>○開催した事業については、感染対策を十分にとりながら実施することができた。</p> <p>○新たな講座も開催できたので、参加者に好評だった講座は今後も継続していきたい。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	1	3	1	4	0	4	0	1	0	0	0	2	0	3
延べ 参加人数	25	64	978	114	0	60	0	18	0	0	0	146	0	41

令和4年度 事業報告

奈川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
ふるさと学習 (小学生 奈川地区内巡り)	5月20日 (金)	1回	地域文化	青少年	15人	【内容】 ・奈川地区内巡り 【ねらい】 ・奈川地区の史跡巡りを通して、奈川の歴史や自然について関心をもつ	【準備過程】 ・関係者との緻密な打ち合わせのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川小中学校	【評価と反省】 ・奈川の歴史や自然について理解を深めることができた。 【今後の方針等】 ・共催団体と連携を図りながら、継続して開催したい。	○
ふるさと学習 (中学生 イスづくり)	6月13日 (月)	1回	地域文化	青少年	16人	【内容】 ・イスづくり 【ねらい】 ・奈川の産業である木工を体験し地域の優れた文化にふれる	【準備過程】 ・関係者との緻密な打ち合わせのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川小中学校	【評価と反省】 ・奈川の木工について理解を深めることができた。 【今後の方針等】 ・共催団体と連携を図りながら、継続して開催したい。	○
すこやかウォーキング	7月1日 (金)	1回	福祉健康	成人	24人	【内容】 ・奈川地区内の史跡を巡りながらウォーキング 【ねらい】 ・市民歩こう運動の一環として実施	【準備過程】 ・関係者との緻密な打ち合わせのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり、楽しく実践できた。 【今後の方針等】 ・参加者に大変好評であるため、開催場所等を検討しながら、継続して開催していきたい。	
歴史探訪 「奈良井宿・義仲館めぐり」	7月13日 (水)	1回	趣味教養	成人	21人	【内容】 ・奈良井宿・義仲館めぐり 【ねらい】 ・奈良井宿や義仲館をめぐりながら参加者同士の親睦を図る	【準備過程】 ・関係者との緻密な打ち合わせのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり、楽しく実践できた。 【今後の方針等】 ・参加者に大変好評であるため、開催場所等を検討しながら、継続して開催していきたい。	
ぶどう葉すし講習会	7月15日 (金)	1回	趣味教養	成人	10人	【内容】 ・ぶどう葉すしの作り方を学ぶ 【ねらい】 ・地域の伝統料理の作り方を学ぶ	【準備過程】 ・講師と緻密な打ち合わせのうえ実施	【評価と反省】 ・幅広い年齢層の参加があり、楽しく実践できた。 【今後の方針等】 ・参加者に大変好評であるため、他の伝統料理に関する講習会を開催したい。	
夏休み子どもひろば	7月21日 (木) ～8月23日 (火)	21回	地域事業 (その他)	青少年	96人	【内容】 ・スポーツ、勉強、体験活動等 【ねらい】 ・長期休暇中の子どもたちへの居場所の提供	【準備過程】 ・関係者との緻密な打ち合わせのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば ・子ども会育成連合会	【評価と反省】 ・利用者に大変好評だった。 【今後の方針等】 ・関係団体と連携を図り、継続して開催したい。	

令和4年度 事業報告

奈川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
信州スカイパークウォーキング	8月9日 (水)	1回	福祉健康	青少年	14人	【内容】 ・信州スカイパークでウォーキング 【ねらい】 ・市民歩こう運動の一環として実施	【準備過程】 ・関係者との緻密な打ち合わせのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針等】 ・参加者に大変好評であるため、開催場所等を検討しながら、継続して開催していきたい。	
健康ウォーキング	9月12日 (月)	1回	福祉健康	成人	26人	【内容】 ・駒ヶ根高原でウォーキング 【ねらい】 ・市民歩こう運動の一環として実施	【準備過程】 ・関係者との緻密な打ち合わせのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針等】 ・参加者に大変好評であるため、開催場所等を検討しながら、継続して開催していきたい。	
地域を守る砂防防災講座	10月6日 (木)	1回	防災	成人	18人	【内容】 ・蛇堀川砂防施設等の学習及び見学 【ねらい】 ・梓川流域に暮らす安曇・奈川地区住民を対象に、砂防施設や災害に対する知識を高める	【準備過程】 ・関係者との緻密な打ち合わせのうえ実施 【共催団体等】 ・安曇公民館 ・NPO法人梓川流域を守る会 ・国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所 ・一般社団法人北陸地域づくり協会松本支所	【評価と反省】 ・ねらいどおり事業が実施できた。 【今後の方針等】 ・関係団体と連携し、事業を継続したい。	
製糸業にたずさわった女性たち	10月20日 (木)	1回	人権平和	成人	25人	【内容】 ・岡谷蚕糸博物館等の見学 【ねらい】 ・昔、飛騨から岡谷などへ出稼ぎにきていた工女たちの働き方・暮らしがりを学び、人権についての知識を深める	【準備過程】 ・関係者との緻密な打ち合わせのうえ実施	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針等】 ・参加者に大変好評であるため、開催場所等を検討しながら、継続して開催していきたい。	
陶芸教室	11月1日 (火) 11月7日 (月)	2回	趣味教養	成人	10人	【内容】 ・小中学生と一般参加者が陶芸に挑戦 【ねらい】 ・陶芸を通じ子ども達が地域との交流を深める	【準備過程】 ・関係者との緻密な打ち合わせのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川小中学校	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針等】 ・継続して開催したい。	○
あなたの知らない松本城と世界遺産講座	11月15日 (火) 11月21日 (月)	2回	地域文化	成人	13人	【内容】 ・松本城の見学等 【ねらい】 ・松本城の歴史の講話やお城の見学をして松本城への関心を高める	【準備過程】 ・関係者との緻密な打ち合わせのうえ実施	【評価と反省】 ・ねらいどおり事業が実施でき、参加者に好評だった。	

令和4年度 事業報告

奈川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
カホン演奏教室	11月9日 (水) 11月16日 (水) 12月7日 (水)	3回	趣味教養	成人	19人	【内容】 ・カホンの演奏教室 【ねらい】 ・グループレッスンをを行い、打楽器の楽しさや参加者同士の交流を図る	【準備過程】 ・講師との緻密な打ち合わせのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川小中学校	【評価と反省】 ・参加者に大変好評だった。 【今後の方針等】 ・継続して開催したい。	
奈川地区世代間交流事業	12月10日 (土)	1回	地域文化	成人	70人	【内容】 ・子どもと一緒にしめ縄づくり、餅つき体験 【ねらい】 ・高齢者・小学生の世代間交流を図る	【準備過程】 ・講師との緻密な打ち合わせのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば ・奈川地区社会福祉協議会	【評価と反省】 ・高齢者と小学生の交流が図られた。 【今後の方針等】 ・継続して開催したい。	
春休み子どもひろば	3月17日 (金) ～4月5日 (水)	12回	地域事業 (その他)	青少年	50人	【内容】 ・スポーツ、勉強、体験活動等 【ねらい】 ・長期休暇中の子どもたちへの居場所の提供	【準備過程】 ・関係者との緻密な打ち合わせのうえ実施 【共催団体等】 ・奈川地区福祉ひろば ・子ども会育成連合会	【評価と反省】 ・利用者に大変好評だった。 【今後の方針等】 ・関係団体と連携を図り、継続して開催したい。	
放課後子ども教室の支援	年間	200回	子育て	青少年	978人	【内容】 ・小学生が放課後安心安全に過ごせるよう支援	【準備過程】 ・放課後子ども教室コーディネーターと緻密な打ち合わせを行い実施	【評価と反省】 ・放課後子ども教室コーディネーターと連携を図りながら実施できた。 【今後の方針】 ・利用者の意見を取り入れながら実施していきたい。	

令和4年度 事業報告の概要

梓川公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等										評価・反省等				
<p>【方針・地域課題】 高度経済成長以降、生活の都市化が進み、梓川地区においても人間関係が希薄になり、地区で暮らすという実感が持てない住民が増え、地区の運動会などの行事の参加も煩わしく敬遠する住民が増え、来年度から地区運動会も住民アンケートにより廃止となる。それらの地域課題を解決する一つとして、まずは自分たちの地区を知り、地区への愛着を深めることが大切である。 そこで、昨年に引き続き、地区住民自らが地区の魅力を感じ、自慢したくなる写真を募集し、写真コンテストを実施した。写真コンテストの選考は、地区の将来を担う梓川中学校の全校生徒に協力してもらい行った。さらに広く発信するために文化祭で展示をしたり、地区内に配布する「まちづくりカレンダー」に季節の写真を掲載するなどし始まった昨年度に引き続き、地区住民自らが地区の魅力を感じ、自慢したくなる写真を募集し、写真コンテストを実施した。写真コンテストの選考は、地区の将来を担う梓川中学校の全校生徒に協力してもらい行った。 この事業は、特定の地区住民だけの参加になってしまわないように、中学生に参加してもらうなど子どもからお年寄りまで多くの世代に関心をもってもらえるように心がけた。また、提供された写真は、文化祭で展示したり、地区内に配布する「まちづくりカレンダー」に応募のあった季節の写真を掲載するなどし、広く発信することができた。昨年度に応募件数も増え、今後さらに多くの住民が参加し、地区への愛着が深まることを期待する。</p>										<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症が収束せず中止となる事業も多くあったが、梓川公民館独自に事業の開催判断を定め、迅速に対応を図ることができた。 また、事業の実施に際しても新型コロナウイルスにより消極的になるのではなく、できることを考え、工夫しながら事業を実施することができた。中でも毎年実施している梓川地区ウォークラリーでは、自分たちの住む地区も知ってもらえるようなコースやクイズゾーンを設けるなど工夫し、昨年同様に多くの参加がり、地区への愛着を深めるきっかけになったように思う。 ウィズコロナ時代として、講座申込みや各種届出をオンラインでできるよう整備したり、オンラインを取り入れた新しい公民館のあり方を探りで考えた一年間であった。来年度もさらに創意工夫をし、公民館の役割を再度考えていく必要がある。</p>				
項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	2	2	5	1	0	2	4	0	1	2	2	0	7	1
延べ 参加人数	606	325	72	22	0	40	116	0	0	0	423	0	169	16

令和4年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
つどい子育て講座	6月20日	1回	子育て	成人	12人	<p>【事業内容】未就園児の子をもつ親を対象としたアロマ講座。</p> <p>【ねらい】子育て中の親が気軽に集い、語り合って子育ての不安の解消や仲間づくりを行う場を提供する。</p>	<p>【準備過程】公民館・児童センター・社会福祉協議会の三者により、企画運営した。</p> <p>【共催団体】・梓川児童センター・地区社会福祉協議会</p>	<p>【評価と反省】子育て中の親が気軽に参加できる講座として、楽しみながら育児に対する不安などを相談し合い、仲間づくりを行う場を提供することができた。</p> <p>【今後の方針等】今後も子育て中の親が親しみやすい講座を企画し、継続的に開催していきたい。</p>	
苔玉づくり講座	6月27日	2回	趣味教養	成人	20人	<p>【事業内容】苔玉づくりを行う。</p> <p>【ねらい】植物の潤いと季節感を感じる苔玉づくりにより、地域住民の交流を図り、趣味教養を高める。</p>	<p>【準備過程】講師と内容・日程を調整を行った。</p>	<p>【評価と反省】定員を超える多くの申込みがあり、2部制で実施した。また、できる限り材料費を抑え、参加者の負担が大きくなるよう講師と打ち合わせを重ね実施した。</p> <p>【今後の方針】参加者から好評であったため、今後も開催を検討する。</p>	
梓川地区スポーツ祭2022	7月3日	中止	地域事業(体育)	成人	0人	<p>【事業内容】町内公民館対抗により、囲碁ボール、シャッフルボード、ミニバレーの3種目で競う。</p> <p>【ねらい】年齢性別を問わず誰もが楽しく気軽に参加し、スポーツを通じて住民同士の親睦や団結を図るとともに、地域住民の健康増進を目指す。</p>	<p>【準備過程】新型コロナウイルス感染症による開催の可否について、構成団体の意見を聞き取り、まちづくり協議会で中止を決定した。</p> <p>【構成団体】・まちづくり協議会・町内公民館長会・地区体育協会・スポーツ推進委員協議会梓川地区担当</p>	<p>【今後の方針】次年度も新型コロナウイルス感染症対策及び役員負担の軽減等により、会場を1会場とし、競技種目も2種目に減らし実施する。</p>	
霧ヶ峰散策	7月23日	1回	スポーツ	成人	18人	<p>【事業内容】霧ヶ峰をガイドの案内で散策し、植物等を観察する。</p> <p>【ねらい】霧ヶ峰の自然や歴史について学び、自然に親しむとともに、自然環境について関心を高める。</p>	<p>【準備過程】ガイドと散策ルートや日程について打ち合わせを行った。</p>	<p>【評価と反省】地域住民が健康・体力づくりを行う良い機会となった。また、普段面識のない参加者が、共に歩くことで、住民相互の仲間づくりが図られた。</p> <p>【今後の方針等】今後も「岳都松本」の自然に親しむ機会を、地域住民に提供できるよう、継続的に開催していきたい。</p>	

令和4年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
梓川地区・御浜町ふれあい交流会	8月3日～ 8月5日	中止	子育て	青少年	0人	<p>【事業内容】 毎年交互にお互いの地を行き来し交流を図る。</p> <p>【ねらい】 友好親善提携都市の三重県御浜町との交流により、海と山、みかんとりんご等、互いの地域の自然、伝統及び文化の違いを学びあい、友情を育む。また、集団生活を通して相互理解を深め、子ども会リーダーとしての自覚と資質を養う。</p>	<p>【準備過程】 共催団体と協議し、児童の安全を第一に考え中止とした。</p> <p>【共催団体】 ・地区子ども会育成会 ・まちづくり協議会 ・御浜町教育委員会</p>	<p>【今後の方針】 次年度は感染症対策をとり安全に実施することは可能か検討し、共催団体と協議する。 なお、本事業は梓川村当時に友好親善提供が結ばれ、毎年交流会を開催してきている経過からも、今後も継続していく必要がある。</p>	
市民講演会（梓弓）	10月15日	1回	地域文化	成人	22人	<p>【事業内容】 松本平及び梓川地区の歴史を学ぶ。</p> <p>【ねらい】 住民が自分たちの地区の歴史を学習する機会とする。</p>	<p>【準備過程】 梓弓研究会と企画実施した。</p> <p>【共催団体】 ・梓弓研究会</p>	<p>【評価と反省】 参加者が予想より少なく、あまり文化財に対し興味がないことが窺えた。今後地区の文化財等に関心を持ってもらうよう考えていく必要がある。</p> <p>【今後の方針等】 住民にとって地区の歴史を学ぶ良い機会となっているため、今後も共催して講演会を開催していきたい。</p>	
梓川地区運動会2022	10月16日	中止	地域事業 (体育)	成人	0人	<p>【事業内容】 町会対抗による競技種目や自由参加型の種目などを行う。</p> <p>【ねらい】 運動会を通じて、梓川地区住民の交流と親睦を図り、体力づくりに寄与する。また、参加している人も見ている人も楽しい運動会を目指す。</p>	<p>【準備過程】 新型コロナウイルス感染症による開催の可否について、構成団体の意見を聞き取り、まちづくり協議会で中止を決定した。</p> <p>【構成団体】 ・まちづくり協議会 ・町内公民館長会 ・地区体育協会 ・スポーツ推進委員協議会梓川地区担当</p>	<p>【今後の方針】 今後の運動会について住民アンケートを実施し、来年度から廃止が決まった。</p>	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
梓川ウォークラリー2022	10月16日	1回	スポーツ	成人	63人	<p>【事業内容】 家族や友人などのグループごとに、コマ図を使い梓川地区内を歩き、途中で地区に関連する問題を解いたり、輪投げなどのゲームゾーンも設ける。</p> <p>【ねらい】 家族や友人などの参加者が、地域の再発見や健康づくり・体力づくりを行う機会とする。</p>	<p>【準備過程】 コースや時間設定などスポーツ推進委員と事前に調整した。</p> <p>【共催団体】 ・スポーツ推進委員協議会梓川地区担当 ・まちづくり協議会 ・福祉ひろば</p>	<p>【評価と反省】 梓川体育館を拠点に、周辺約6kmを歩くコースを設定した。家族や友人などの参加者が、地域の魅力を発見したり、健康づくり・体力づくりを行う良い機会になった。 また、コロナ禍で他のスポーツイベントが中止となっていたこともあり多くの参加があった。</p> <p>【今後の方針等】 地域の魅力を発見したり、健康づくり・体力づくりを行う機会として、出発点やコースを変えながら、継続的に開催していく。</p>	
第36回梓川地区文化祭 (美術展)	11月10日 ～13日	1回	地域事業 (文化)	成人	423人	<p>【事業内容】 芸術文化活動団体の発表の機会として、梓川アカデミア館で作品を展示する。</p> <p>【ねらい】 梓川地区の芸術文化活動を行う住民が、日常活動の成果を発表する機会を作り、地域住民相互が親睦と交流を深めることにより、芸術文化の振興・発展を図る。</p>	<p>【準備過程】 出展者が参画した実行委員会を組織し、企画・運営について協議した。</p> <p>【共催団体】 ・まちづくり協議会 ・梓川アカデミア館</p>	<p>【評価と反省】 当日までの準備や当日の会場の設営、期間中の運営を出演団体が中心になり行い、自立した活動になっている。多くの地域住民等が来場され、公民館利用団体等が日頃の活動の成果を発表する良い機会になっている。</p> <p>【今後の方針等】 本年度から小中学校にも参加を呼びかけ多くの作品を展示したことにより、幅広い世代の来場者があった。来年度も美術展・芸能祭・音楽祭を今年度と同様の時期・会場で開催したい。梓川の特産品であるりんごの収穫時期とも重なるため、出展者や参加者の意見を聴取しながら、検討していきたい。</p>	
第36回梓川地区文化祭 (芸能祭・音楽祭)	11月14日	中止	地域事業 (文化)	成人	0人	<p>【事業内容】 芸術文化活動団体の発表の機会として、音楽祭、芸能祭の2部制で開催する。</p> <p>【ねらい】 梓川地区の芸術文化活動を行う住民が、日常活動の成果を発表する機会を作り、地域住民相互が親睦と交流を深めることにより、芸術文化の振興・発展を図る。</p>	<p>【準備過程】 例年文化祭に出展している芸術文化団体等に新型コロナウイルスの影響による日々の活動状況や、出演の意向について聞き取り、まちづくり協議会で中止を決定した。</p> <p>【共催団体】 ・まちづくり協議会</p>	<p>【今後の方針】 来年度も新型コロナウイルス感染症対策が必須になるが、例年会場は密集しているため、会場の変更を含め検討が進められている。</p>	

令和4年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
人権講演会	11月20日	1回	人権平和	成人	6人	【事業内容】 人権に関する講演会 【ねらい】 「人が大切にされる地域を目指して」をテーマにワークショップを通して、人権を大切にできる地域について考える。	【準備過程】 講師と内容・日程を調整を行った。	【評価と反省】 関係団体等に声をかけたが参加者があまり集まらなかった。今後はもっと参加者が集まるようなテーマを考え実施する必要がある。	
家庭教育学級支援 「ストレッチ教室」	12月4日	1回	福祉健康	成人	27人	【事業内容】 単独の町会住民を対象に、町内公民館を会場に、講座を開催した。 【ねらい】 身近な場での公民館活動の推進を図り、地域の活性化を目指す。	【準備過程】 地区公民館と町内公民館と連携を図り、企画・実施した。 【共催団体】 上立田町内公民館	【評価と反省】 身近な場所での講座開設を通じて、公民館活動の推進が図られた。 【今後の方針】 今後も町内公民館と連携し、町会単位で行われる学習を支援していきたい。	
小さなお飾りと縁起植物の寄せ植えづくり	12月22日	1回	趣味教養	成人	20人	【事業内容】 新年に向け、縁起植物で寄せ植えを行う。 【ねらい】 地域住民の交流を図り、趣味教養を高める	【準備過程】 講師と内容・日程を調整	【評価と反省】 定員の超える多くの申込みがあり、2部制で実施した。 また、できる限り材料費を抑え参加者の負担が大きくなるよう講師と打ち合わせを重ね実施できた。 【今後の方針】 参加者から好評であったため、今後も開催を検討する。	
ファミリースキー教室	1月15日	中止	スポーツ	青少年	0人	【事業内容】 野麦峠スキー場を会場にして、初心者、初級者の親子を対象としたスキー教室。 【ねらい】 スキーに親しむ機会の提供をし、参加者の技術習得や参加者同士の親睦を目的とする。	【準備過程】 開催内容や方法等についてスポーツ推進委員と事前に調整を図った。 【共催団体】 ・スポーツ推進委員協議会梓川地区担当	【評価と反省】 新型コロナウイルス感染症対策として中止。 【今後の方針】 今後も継続的に開催し、地域住民がスキーに親しむ機会を提供しつつ、参加者の技術習得や参加者同士の親睦を図っていく。	

令和4年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
歌ごえ公民館	5月12日～ 3月16日	16回	福祉健康	高齢者	298人	<p>【事業内容】 講師の伴奏に合わせて、童謡唱歌等の16曲を、1時間30分程度合唱する。</p> <p>【ねらい】 歌の経験や技量に関係なく、とにかく楽しく歌い、健康増進、ストレス解消や参加者同士の交流を深める機会とする。</p>	<p>【準備過程】 講師と連絡をとりあい、歌詞カードの作成等を行った。</p>	<p>【評価と反省】 皆楽しく歌い、健康増進、ストレス解消や参加者同士の交流を深めることができた。</p> <p>【今後の方針】 高齢者を中心に参加者が増加傾向にある。本講座を楽しみにしている方も多いことから、次年度も継続的に開催したい。また、やりがいづくりとして文化祭等での発表の機会をつくれなにか検討する。</p> <p>※22回開催予定であったが6回は感染症対策で中止となった。</p>	
梓川地区リーダー研修会	6月11日 6月25日	2回	子育て	青少年		<p>【事業内容】 1回目はネイチャーゲーム、2回目は地区の散策を行う。</p> <p>【ねらい】 子ども会活動のリーダーとして、各町会の5・6年生が参加し、団体生活で活動を共にすることで、町会や学年を超えた交流を深め、仲間づくりを行いながら、自分たちの力で活動を進める研修会とする。</p>	<p>【共催団体】 ・地区子ども会育成会 ・地区まちづくり協議会</p>	<p>【今後の方針等】 今後も御浜町との交流会の事前学習に位置付け、リーダー研修会を実施し、御浜町の児童との仲間づくりや自分たちの力で活動を進める能力を身につけていきたい。</p>	
ママのリフレッシュ講座	7月6日～ 11月14日	3回	子育て	成人	44人	<p>【事業内容】 未就園児の子をもつ親を対象に、アロマの虫よけスプレー作りや、入園グッズを制作する。</p> <p>【ねらい】 子育て中の親が気軽に集い、語り合っ子育ての不安の解消や仲間づくりを行う場を提供する。</p>	<p>【準備過程】 公民館・児童センター・社会福祉協議会の三者により、企画運営した。</p> <p>【共催団体】 ・梓川児童センター ・地区社会福祉協議会</p>	<p>【評価と反省】 子育て中の親が気軽に参加できる講座として、楽しみながら育児に対する不安などを相談し、仲間づくりを行う場を提供することができた。</p> <p>【今後の方針等】 今後も子育て中の親が親しみやすい講座を企画し、継続的に開催していきたい。</p>	
人権ポスター展	11月18日～ 11月24日	1回	人権平和	成人	600人	<p>【事業内容】 長野県と長野美術専門学校が連携し作成した人権に関するポスターを中学校と梓川公民館に展示する。</p> <p>【ねらい】 人権感覚の醸成を図るとともに、人権意識の高揚を図る。</p>	<p>【準備過程】 長野県（長野県人権啓発センター）と日程等について打ち合わせを行った。</p>	<p>【評価と反省】 中学校の教諭からは来年も展示をお願いしたいという声が聞かれ、中学生にも人権について考えるきっかけとなった。</p> <p>【今後の方針】 今後も住民の人権感覚の醸成と人権意識の高揚を図るため、多くの住民に来館してもらえるよう計画する。</p>	

令和4年度 事業報告

梓川公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
ポッチャ体験会	11月26日 12月3日	2回	スポーツ	その他	35人	<p>【事業内容】 ポッチャとはどのようなスポーツなのかを体験し知ってもらう。</p> <p>【ねらい】 老若男女、障がいのあるなしに関わらず、全ての人と一緒に楽しめるポッチャを通じ、住民相互の親睦と健康増進を目指す。また、障害者スポーツの体験を通して、障害者に対する理解を深め、豊かな人権感覚を養うことを目的とする。</p>	<p>【準備過程】 講師と日程、内容等について打ち合わせを行った。</p>	<p>【評価と反省】 梓川児童センターの児童も参加し、子どもから高齢者まで広い世代で楽しむことができた。 また、児童センターではポッチャを行うようになり、ポッチャの楽しさなどを広めることができよかった。</p> <p>【今後の方針】 子どもから高齢者まで一緒に楽しめるスポーツということ、今後梓川地区のスポーツ祭の一種目にならないか検討が進められている。</p>	
梓川地区魅力発見・発信事業 梓川地区「いいね！」写真コンテスト	4月1日～ 10月31日	1回	その他	その他		<p>【事業内容】 地区住民自らが地区の魅力を感じ、自慢したくなる風景等の写真を募集し、ホームページや公民館ロビーに写真を展示する。 また、提供いただいた写真を梓川中学校に展示し、中学生に審査員となって写真コンテストを開催する。</p> <p>【ねらい】 梓川地区の魅力ある写真を撮影することで地区の魅力を再発見し、また公民館に展示することで広く住民に見てもらい地域への誇りと愛着を深める。</p>	<p>【準備過程】 梓川地区まちづくり協議会や梓川中学校と日程、内容等について打ち合わせを行い実施した。</p>	<p>【評価と反省】 梓川地区の魅力が詰まった写真の提供が多くあった。また、これからの次代を担う中学生にもコンテストの選考をしてもらうなど、事業に参加してもらえてよかった。 なお、昨年度に引き続き2回目の実施となったが、昨年より応募数は増えたものの、まだまだ多くの住民に関心をもってもらうよう工夫していく必要がある。</p> <p>【今後の方針】 オンラインからも応募できるようにし、幅広い多くの住民に参加してもらえるように環境を整え、今後も継続して実施していく。</p>	
あずさっ子みまもり隊	通年		子育て	成人	16人	<p>【事業内容・ねらい】 子どもたちの登下校を中心に通学路や交差点などで見守り隊活動を実施し、「子どもは地域の宝」として、小中学生の安全な登下校に努める。</p>	<p>【準備過程】 隊員から登下校時の児童の様子や、道路の危険箇所など意見を聞き、小学校に報告するとともに、警察署等にも出された意見を伝え改善を図った。</p>	<p>【評価と反省】 「あずさっ子みまもり隊」は現在16人の隊員で見守り隊活動を行っているが、まだまだ地域全体には浸透していない部分もある。日々の見守り活動を通して子どもと隊員の良い関係ができつつあり、やりがいを感じている隊員も多い。</p> <p>【今後の方針等】 梓川小中学校は、他地区に比べて圧倒的に児童・生徒数が多いが、隊員数は16人と少ない。町会などを通じ人材確保を呼び掛け、地域全体に浸透させていく必要がある。</p>	○

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
町内公民館長会の運営	4月15日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	21人	【事業内容】 公民館事業の運営協力依頼や町内公民館事業の支援を行った。	【構成団体】 ・梓川地区の21町内公民館長	【今後の方針等】 今後も町内公民館長会と連携し、スポーツ祭や文化祭を始め、各町内公民館で実施されている事業を相互協力しあいながら、展開していきたい。	
運営委員会	3月9日	1回	公民館委員会・各種会議等	成人	14人	【事業内容】 公民館事業の企画・実施について検討し、助言を受けた。（書面開催）	【準備過程】 新型コロナウイルス感染症予防対策として書面開催とした。	【評価と反省】 公民館事業の企画・実施について承認を得た。 【今後の方針等】 公民館運営の本質的な事柄に対して、議論を深められるよう内容や進め方等を工夫して開催していきたい。	
広報委員会	4月16日～3月3日	12回	公民館委員会・各種会議等	成人	42人	【事業内容】 梓川公民館報の企画・編集等を行った。 また、全市版の館報編集員を講師に館報の作り方等について学んだ。	【準備過程】 公民館報の発行に合わせ、委員会を招集した。	【評価と反省】 取材、原稿の作成、編集までの一連の作業を、委員と協働し作り上げることができたが、受け身的な委員も多く職員が手を加えることが多かった。 【今後の方針等】 館報を読んでいる住民が少ないため、多くの住民に読まれるような紙面づくりを考えていく必要がある。	
文化委員会	中止	中止	公民館委員会・各種会議等	成人	0人	【事業内容】 梓川文化祭（梓秋祭）の企画、運営等を行う。	【準備過程】	【評価と反省】 文化祭が中止となったため、会議は年未開催となった。 【今後の方針等】 実行委員会と連携を図りながら、公民館事業の開催に合わせて、委員会を開催する。	
体育委員会	中止	中止	公民館委員会・各種会議等	成人	0人	【事業内容】 スポーツ祭と運動会の企画、運営等を行う。	【準備過程】	【評価と反省】 地区スポーツ行事が中止となったため、会議は未開催となった。 【今後の方針等】 実行委員会等と連携を図りながら、公民館事業の開催に合わせて、委員会を開催する。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ 参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	CS
図書委員会	8月10日 2月 1日	4回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	12人	【事業内容】 公民館談話室の本の入替え作業を年 2回行い、秋のお楽しみ会（人形劇 等）を企画する。	【準備過程】 公民館事業の開催に合わせ、委員会 を招集した。	【評価と反省】 例年実施している秋のお楽しみ会がコロ ナウイルスの影響で開催できなかった が、委員それぞれが自発的に活動するこ とができた。 【今後の方針等】 本の入替え作業や秋のお楽しみ会を実施す る。	
地域関係団体の運営・支 援	通年	4回	公民館委員会・ 各種会議等	成人	80人	【事業内容】 ・子ども会育成会：会議の開催（1 回）、子ども会安全共済会事務、各種 子ども会育成事業の取りまとめ等 ・スポーツ推進委員会の運営、支 援：会議の開催（2回）、地区内体育 事業の企画・運営 等 ・地区スポーツ協会の支援：常任理 事会への出席（1回）、市スポーツ 協会との連絡調整、相談等	【準備過程】 ・適切な時期に会議を開催し、協力 依頼や事業について協議した。	【評価と反省】 ・各団体と連携・協力を図りながら、事 業の実施や取りまとめを行うことがで きた。また、各団体と活発な意見交換を行 うことができた。 【今後の方針等】 公民館に関わりの深い団体であるため継 続的に育成、支援を行う必要がある。	

令和4年度 事業報告の概要

波田公民館

方針・地域課題・重点的に取り組んだ事項等	評価・反省等
<p>【方針・地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育事業や文化事業などの地区事業の企画・運営等に当たっては、公民館委員（運営・文化・館報編集・体育）と連携しながら、より多くの住民が公民館活動に関わり、関心を持って参加していただけるよう地区住民主体により、実施内容の見直しや運営方法の改善等を図る。 ・ 地区内の関係機関、各種団体等と連携を図った事業を開催する。 ・ 講座等の企画、実施に当たっては、前年度の反省や地域住民からの声等を踏まえ、講座の充実を図るとともに、公民館の利用者団体等との共催や利用者団体等を講師にした講座等を開催し、学習の成果等を還元できる場を設ける。 ・ 夏休み中の小中学生を対象に学習室開放に合わせて元教員による個別指導を計画する等、青少年教育の推進を図る。 ・ 2年連続で中止となっている「波田文化祭」について、実行委員会や出展者、出演者と交流の場についてそれぞれの思いを共有し、過剰な自粛は地域とのつながりが希薄になってしまうなど影響があるため、住民相互のふれあいの場を創出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館専門委員の皆さんには事業の企画・運営に関して、実施内容等検討していただいた。実施した講座については、多くの住民に参加していただくことができた。今後も住民主体の積極的な事業が行えるよう、委員の皆さんと協議、検討していきたい。 ・ 新型コロナウイルス感染対策を徹底し、地域の様々な団体等と共催、連携等しながら講座等の事業を開催できた。参加者の固定化や減少が進む中、新規講座として初心者向けの古文書講座を開催。波田に関する古文書を活用することで、多くの参加者にも関心をもって参加いただけた。今後は、休日や夜間での講座開催も視野に団体等と共催、連携等もしながら気軽に集い、学ぶことのできる講座を企画していきたい。 ・ 高齢者や子ども向けの事業だけでなく、これからの地域を支える若者にもっと地域の事を知ってもらえるような事業を企画していきたい。 ・ 地区文化祭をやりたいという住民の思いが共有でき、事務局としてもサークルや団体に対して成果を発表する機会を提供したいという考えのもと、開催につなげることができた。

項目	学級講座・学習会等									地域事業			公民館委員会 ・各種会議等	CS
	人権平和	福祉健康	子育て	地域文化	環境	趣味教養	スポーツ	防災	その他	体育	文化	その他		
事業数	3	7	2	1	0	6	2	0	1	1	2	0	6	1
延べ 参加人数	103	170	1697	15	0	332	110	0	87	0	2141	0	731	250

令和4年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
波田水車道でオオルリを探そう	4月27日	1回	福祉健康	成人	15人	波田水車道まで、野鳥を探しながらウォーキングを行い、健康増進と地域住民同士の交流を図る。	波田福祉ひろば共催	コロナ禍ではあったが、昨年に引き続き感染対策を行いながら実施することができた。 福祉ひろばとの共催のウォーキングは今後も継続していきたい。	
6団体マレットゴルフ大会	6月8日	1回	スポーツ	その他	25人	波田地区の6団体（町内公民館長会・町会連合会・民生児童委員協議会・JA・商工会・まちづくり協議会）で親睦を図るため、マレットゴルフを行い、交流を深めるもの		例年、幹事は持ち回りで行っているが、新型コロナウイルスの影響により、3年ぶりの開催となった。6団体による波田地区の地域づくりが重要となっていくため、今後、開催の際は情報交換、交流を深める場として参加していく。	
町内公民館長会文化財研修会	6月14日	1回	地域文化	成人	22人	波田地区の文化財について出前講座を通じて学び、各町内の行事などを企画する際に活かしてもらうことを目的に開催	町内公民館長会	町内公民館長を対象とした、地域の文化財に関する研修会（講座）は、今後も計画、実施していきたい。	
健康バスウォーキング講座「湯ノ丸高原レンゲツツジウォーキング」	6月21日	1回	福祉健康	成人	15人	国の天然記念物「レンゲツツジ群落」を見ながら高原をウォーキングし、健康増進と地域住民同士の交流を図る。		バス定員の半分の人数で募集をかけ、毎年キャンセル待ちが出る程の人気企画である。ガイドの案内で、湯ノ丸高原の自然に触れながらウォーキングをすることができた。今後も健康増進のため、開催していきたい。	
健康ウォーキング 恭俊寺の紫陽花と若澤寺の歴史を満喫しよう	6月24日	1回	福祉健康	成人	14人	梓川体育館から歩いて、恭俊寺に残る若澤寺鐘楼門と、咲き競う「紫陽花」との美しい共演を觀賞し、健康増進と地域住民同士の交流を図る。		歩く距離も程よく、恭俊寺ではご住職から鐘楼門の歴史について説明いただき、梵鐘を突く体験もさせていただきなど、参加者にとっては貴重な経験となった。 今後も健康増進のため、開催していきたい。	
環境・教養講座 おしゃれなコケ玉講座	6月28日	1回	趣味教養	成人	14人	観葉植物を使って、涼しげでおしゃれな洋風のコケ玉をつくり、心も身体もリフレッシュすることを目的に、地域住民同士の交流も図る。		植物の説明からはじまり、コケの下処理をしてから成形を行うなど、工程を間違えないように処理することで、長く觀賞を楽しむことができるなど教養を深めることができた。 今後も開催していきたい。	
健康バスウォーク「乗鞍三名滝をめぐる」	7月8日	1回	福祉健康	成人	15人	みどり濃い乗鞍高原で勇壮に流れ落ちる、乗鞍三名滝（三本滝・善五郎の滝・番所大滝）を巡り歩き、健康増進と地域住民同士の交流を図る。		バス定員の半分の人数で募集をかけた。ガイドの案内で、地元乗鞍の三名滝を巡ることができた。今後も健康増進のため、開催していきたい。	

令和4年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
環境バスウォーク 「苔むす森と白駒の池散策」	7月12日	1回	環境	成人	15人	北駒ヶ岳の白駒の池と、その周辺の苔むす原生林を巡り歩き、地域住民同士の交流を深めながら環境について理解を深める。		バス定員の半分の人数で募集をかけた。ガイドの案内で、自然散策をメインとした。苔の種類や特徴、池や森の成り立ちなど分かりやすくお話いただき、環境への理解を深めることができた。今後も開催していきたい。	
歴史講座 「太田館資料にみる波田養蚕業の歴史」－輸出花形産業へ村中が株主に－	7月22日	1回	地域文化	成人	16人	大正・昭和初期、当時最も大規模に操業していた株太田館製糸所（4区）の貴重な資料から、その意外な歴史と当時の波田の様子などについて、興味深く解説していただき、地域の歴史について理解を深める。		公民館の倉庫に眠っていた一つの写真が人と人をつなぎ、参加した住民にとっても自分の先祖が関わっていたかもしれないその事実を知るきっかけになった。今後も歴史講座については内容を検討しながら開催していきたい。	
健康講座 「健康フラダンス体験会」	7月25日 8月1日	2回	福祉健康	成人	21人	ハワイアンミュージックにのせて、子どもから大人まで一緒に踊れるフラダンスを体験する。運動効果に合わせ、心身をほぐしリラクセス効果もあるダンスを体験する。		コロナ禍での開催でもあり参加者は少なかった。適度な運動と脳トレにもつながるなど好評をいただき、来年度開催の要望あり。今後も開催したい。	
歴史講座「江戸時代若澤寺と関連のある近隣の寺院巡り」	8月28日	1回	地域文化	成人	11人	信濃日光とも呼ばれ、廃仏毀釈により、廃寺となってしまった若澤寺と関連深い近隣の寺院を巡りながら当時の面影をしのび、地域の歴史文化継承事業として実施するもの	文化委員会歴史担当が企画、運営	毎年好評いただいている若澤寺関連企画。地域住民の関心も高い中で、文化委員歴史担当が主催となって開催することで、より波田の宝である若澤寺跡について理解を深める機会となった。今後も文化委員会歴史担当を中心に開催を検討したい。	
不動産対策講座「あなたの家・土地を空き家・空き地にしないために」～継ぐ予定のない実家・農地のリスクと解決方法の話～	9月1日	1回	趣味教養	成人	30人	空き家・空き地については、その原因の多くが相続にあると言われていた。不動産をもっている方、不動産を相続された方に知って頂きたい事前対策や解決策について学ぶ。		空き家の現実問題における話から始まり、相続に関するトラブル、遺言証書作成の必要性など、今後自分たちが直面するであろう課題について選択肢を交えて説明いただいた。今後も身近な課題を取り上げて開催していきたい。	
歴史バスウォーキング講座「松本の近世の歴史にふれる」	9月21日	1回	福祉健康	成人	10人	明治から昭和期の実業家で、松本の産業の礎を築いた「今井五介」の偉業や、登録有形文化財に指定されている松商学園高校の本館・旧講堂・柔剣道場の外観を見学する。その他に、日本の学校建築史上でも貴重な木造洋風建築様式のあがたの森文化会館(旧制松本高等学校本館・講堂等)を訪れ、教育施設の歴史にふれる機会とする。	波田福祉ひろば共催	普段は見ることのできない松商学園本館をはじめ、登録有形文化財に指定されている旧講堂や柔剣道場を見学。講師の輪湖公民館長から案内いただき、参加者にとっても新鮮であった。福祉ひろばとの共催のウォーキングは今後も内容を検討しながら継続していきたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
楽しい・簡単！ スマホ体験講習会	10月28日 3月24日	2回	趣味教養	成人	25人	スマホの基本的な使い方から日常よく使う機能を中心に、楽しくわかりやすく学ぶ。ひとり1台スマホをお貸しすることで、実際に触って体験する機会とする。 基本講習：電話・メール・カメラ・地図・検索など 便利機能：キャッシュレス・LINEなど		DX推進本部からの依頼により、講師謝礼の経費等も発生することなく開催できた。しかも一人一台スマホ端末を貸していただき、実際に触れてみることで興味をもって学ぶ姿がみられた。1回あたりの定員が10名までと限定されるため、参加をお断りするケースが発生した。今後は定員を増やすなど対策をとりながら継続していきたい。	
松本城歴史講座 「郭内三の丸を歩き、 当時の面影を探る」	11月11日	1回	地域文化	成人	10人	松本城三の丸は、かつて家臣が住む武家屋敷があり、お城や藩主を守っていた。明治以降、堀の埋め立てや人の居住・通行が自由になったことで、軒並みも大きく変わってきており、街歩きをしながら当時の面影を探るもの	文化委員会歴史担当企画	松本城天守を観覧することはあっても、三の丸について街歩きをする機会がないため、総堀跡地や土塁跡地などの名残を発見しながら歩く機会は新鮮であった。	
歴史バス研修 「信州の鎌倉塩田平巡り」	11月19日	1回	地域文化	成人	11人	「信州の鎌倉」と称されるほど、塩田平には数多くの寺社仏閣が集まり、2020年には日本遺産にも登録された。北向観音や安楽寺、前山寺などを巡り、歴史や文化が息づく多彩な魅力を味わう機会とする。	文化委員会歴史担当が企画、運営	午前中は、案内ガイドに詳しく説明していただき、代表的な場所について知識を深めることができた。他市町村の歴史文化を知る機会として、今後も文化委員歴史担当を中心に計画していきたい。	
ふれあい演奏会「楽団 ケ・セラ コンサー ト」	11月30日	1回	人権平和	成人	64人	障害を抱えながらも自立を目指して頑張っている「楽団ケ・セラ」の皆さんによる演奏会	波田地区人権啓発推進協議会主催	昨年好評いただき、今年度も開催。特に普段家に閉じこもりがちな高齢者の方々や、障がい者の方々を中心に参加いただいた。市の庁用バスで地区内の送迎を実施。参加者からは「足がないので、とても助かる」との声多数。今後も内容を検討し、開催したい。	
2023新春ふれあいコン サートin波田	1月8日	1回	地域事業 (文化)	その他	141人	令和5年の新春にあたり、松商学園高等学校吹奏楽部の皆さんによる、パワフルで表現豊かな素晴らしい演出・演奏で、元気と活力をもらい、健康で明るい良き1年のスタートとなるよう開催するもの	文化委員会イベント担当が企画、運営	コロナ禍ではあったが、感染対策をしておこなったコンサート開催となった。小さなお子さんから高齢の方まで幅広い世代の方に参加いただき、吹奏楽に親しんでいただけた。 多くの参加者が喜んでおり、世代を超えて楽しめるコンサート等については、今後もイベント担当を中心に企画し、実施していきたい。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
教養講座「かんたん沈金体験」	1月25日	1回	趣味教養	成人	8人	高橋節郎（現代漆芸術家）氏の作品について学んだ後、実際に「沈金」の技法を用いて、ミニ色紙サイズの漆の板に、かぶれない溶剤と金色の粉を使い作品を作る。安曇野市にある、高橋節郎記念美術館の出前講座として開催するもの		原画を選び、それに、名前や制作日を入れるなどして、それぞれがオリジナルの作品を仕上げた。教養を深めつつ、少人数であったが親睦を深めることができた。 今後も美術館や博物館といった施設からの出前講座を開催していきたい。	
食育講座 信州の郷土食「やしょうま作り」	1月26日	1回	趣味教養	成人	6人	信州の各地に伝わる早春の味「やしょうま」を作り、各地に伝わる言い伝え、形の違いなどを伺いながら、郷土食にふれる機会とする。		コロナ対策として、全ての工程で他の参加者が材料に触れないよう工夫し開催。最初から全て自分の物は自分で作る為、出来上がった時の満足度は大きかった。参加者からは、早速、家で作りたいとの声が聞かれ、今後も食育講座の開催を望む声が聞かれた。	
人権講座「満蒙開拓の体験談から学ぶ命と平和の尊さ」	2月21日	1回	人権平和	その他	30人	満蒙開拓の史実について実際に開拓団として入植した方から話を聞き、梓川高校の生徒が画像編集したものを再現することで戦争の悲惨さ、苦難の歴史、平和の尊さを学ぶ。	波田地区人権啓発推進協議会主催	戦争の悲惨さ、平和等について考えを深めることができた。関心が高い方々に参加していただくことができ、参加者からも充実した1日だったと好評であった。内容等検討し、今後も人権・平和に関する講座は開催したい。	
健康講座「冬の心おんわか運動講座」	2月3月	4回	福祉健康	成人	80人	冬の寒さで縮こまって硬くなった体を、のびのびストレッチと音楽に合わせ、ほんのりと汗をかく程度に体を動かす。心も身体もリフレッシュすることを目的に、地域住民同士の交流も図る。		新型コロナウイルスによる感染者数も減少し、通常の日常が戻ってきたような中で伸び伸びと参加者が楽しむ姿が見受けられた。このような運動する機会を今後も積極的に設けていきたい。	
チャレンジフェス inHATA	3月21日	1回	スポーツ	その他	85人	フィットネスや、野球・ソフトボール、バレーボール、剣道など様々なスポーツを体験し、年齢を問わずに多くの地区住民に身体を動かしてもらいながら親睦を深めてもらうことを目的に開催	波田スポーツ協会共催	新型コロナウイルスの影響により町内対抗スポーツ大会が開催できない中で、様々な年代の住民にスポーツを楽しんでもらうため、地元スポーツ協会の加盟団体にも協力してもらっての開催となった。多くのスポーツを体験してもらったため、スタンプラリー制として、景品をプレゼントするなど工夫した。このようなスポーツフェスタ的な催しは年齢を問わずに参加できるものとして、今後も継続開催していきたい。	

令和4年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
コミュニティースクール事業		1回	子育て	青少年	250人	下記の事業を開催 ・小・中学生 登下校の見守り（通年） ・小学校1年生下校見守り（4月 延べ93名参加） ・小中学生学習指導（8月） ・小学校5年生 農業体験講師（5月～2月） ・学校応援団会議（2回）	波田地区学校応援団	小学校1年生の下校時見守りには、昨年度よりも多くの応援団員に協力いただけた。また、見守り活動に関する研修会も開催したことで関心を深めていただく良い機会となった。新年度は、多くの体験活動ができるような活動を実施していきたい。	○
人権啓発推進協議会総会		1回	人権平和	成人	9人	事務局として支援。地域に根ざした人権教育・啓発を積極的に推進し、差別のない地域社会の実現を図ることを目的に、事業内容等を協議検討する。	波田地区人権啓発推進協議会	事業内容については事務局で素案をつくり、会員からご意見をいただきながら実施している。協議会委員が会の目的を捉えられる機会となっていない。総会に併せて人権に関する学習会等の開催も検討したい。	
遊YOU大学		7回	趣味教養	高齢者	249人	家に閉じこもりがちな世代の交流の場として、様々な運動を通して参加者相互の交流と体力づくりを行う。 1回目 開講式と「健康講座」 2回目 二胡コンサート 3回目 睡眠とリラックス体操 4回目 どこでもピンポン 5回目 バスハイク 「あずみ野の美を訪ねる」 6回目 バスハイク 「紅葉の小諸を満喫」 7回目 閉講式/「ふりかえり双六」		毎年開催している65歳以上を対象とした講座。「心と体の健康」をテーマに、運動や音楽に触れる機会を設けた。バスハイクは毎年人気の企画であるが、独居や高齢世帯の方々にとっては、多くの仲間と楽しく出掛けることがフレイル予防にもつながるなど、効果的で毎年のお楽しみ企画となっている。高齢者の体力増進、交流の場として継続的な内容だけでなく、新規内容も取り入れながら今後も継続していく。	
竹の子教室		46回	子育て	家庭教育	1,447人	2歳から3歳児とその保護者を対象に、運動や遊びを通じて親子のふれあいと体力づくりを行い、心身の健全教育と親子の絆を育む。波田地区で長く続く子供の育成教室として定着している。	指導員と日程、内容等を調整。	波田地区の伝統事業として、今年度は23組の親子に参加いただけた。ふれあいと体力づくりをすると共に、季節毎に四季折々の行事を取り入れるなどして、様々な体験ができた。毎年早い段階から新年度の申し込みの問い合わせもあり、開催を心待ちにしている参加者も多い。 また公開竹の子教室を開催し、次年度以降に参加対象となる親子に竹の子教室を体験してもらう機会を設け、多くの反響があった。地区内だけでなく、近隣地区からの参加も増えており、待機児童の問題もある中での貴重な事業となっている。	

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
夏休み学習室開放			その他	青少年	87人	夏休み中の小・中学生を対象に、公民館の会議室を自習（学習）室として開放し、学習習慣の維持・確立に寄与する。		小、中学生ともに昨年よりも減少傾向となった。コロナウイルス感染症の影響もあったと思うが、特に中学生の利用が少ないと感じた。しかし公民館の周辺には図書館もあるため、そちらへ流れる生徒もいたと考えられる。今後も継続して学習室として開放していきたい。	
町内公民館対抗スポーツ事業		4回	地域事業（体育）	その他	0人	波田地区町内公民館対抗行事として、健康維持増進と参加者相互の親睦を図る。 ・ソフトボール大会 ・男女混合、女子ソフトバレーボール大会 ・男女バレーボール大会 ・マレットゴルフ大会	体育委員主催 波田スポーツ協会共催	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、昨年に引き続き今年度も開催しない旨各種会議等で決定となった。体育委員は各町会から選出されるが、2年任期の役員が多く、大会を経験しないまま新役員へ引き継ぎされることが課題となっており、今後検討が必要。大会自体は伝統ある行事なので、継続開催していきたい。	
波田文化祭		1回	地域事業（文化）	その他	2,000人	生涯学習や、クラブ活動の成果を発表し、地域住民が芸術文化を鑑賞する。これまで使用していた体育館や文化センターを使用せず、規模縮小して波田公民館のみを会場として展示発表、舞台発表を行う。	文化祭実行委員会主催 町会連合会、町内公民館長会協力	2年連続で中止となっていた文化祭。過剰な自粛は、地域とのつながりが希薄になってしまったため、まず事務局から参加者に方針を示し、実行委員会、出展者、出演者のやりたいという思いが共有できたことで、世代を超えた住民相互の交流の場を創出することができた。また規模を縮小し、公民館のみでの開催としたことで、若い世代にも公民館活動を楽しんでもらうことができた。建物が分散してしまうと、中々集客が難しい面もあるが、一つの建屋で開催できたことは効果的であった。生涯学習やクラブ活動の成果を発表する場として、今後も実行委員会を中心に内容等を検討していきたい。	
地区担当職員連絡会議		12回	公民館委員会・各種会議等	その他	140人	社会福祉協議会、公民館、波田地域づくりセンター、健康づくり課、西部包括支援センター、福祉ひろば、市立病院、福祉計画課の職員が参加し、各部署からの事業や地域課題について話し合いを行う。		各部署での取り組みや事業内容、また、地区の課題などについて広い視野での話し合いができる場となっている。	
公民館運営委員会		2回	公民館委員会・各種会議等	その他	18人	公民館の事業計画等についての検討や提言を行う。		積極的に公民館活動へ関わっていただき、事業計画について検討や提言をいただけるようにしていきたい。	

令和4年度 事業報告

波田公民館

事業名	期日	回数	項目	対象	延べ参加人数	事業内容・ねらい	準備過程・共催団体等	評価と反省・今後の方針等	C S
体育委員会		4回	公民館委員会・各種会議等	その他	93人	町内公民館対抗スポーツ事業の企画、運営に携わる。	各地区から選出された委員と波田スポーツ協会の26名で活動を行った。	町内公民館対抗スポーツ事業の見直しも含め、今後の体育事業について検討していきたい。	
文化委員会		17回	公民館委員会・各種会議等	その他	156人	文化祭、イベント、歴史の担当に分かれ、それぞれの活動の企画、運営に携わる。	27地区から選出された委員を3つの担当に分けて活動を行った。	事業の企画・運営に関して積極的に取り組んでいただくことができた。来年度以降も、多くの意見を取り入れながら事業展開をしていきたい。	
館報編集委員会		7回	公民館委員会・各種会議等	その他	74人	松本市公民館報（波田地区版）への原稿執筆、編集等	27地区から選出された委員で館報の原稿執筆、編集等を行った。5月号を事務局と正副委員長で担当。7、9、11、1、3月の各号は残りの委員に割り振り、全委員に1回ずつ担当していただいた。	記事内容はテーマ等を設けず、号毎の担当会議で内容を決定。担当会議までに、記事内容等を考えてきていただくようにした。記事を書くことに難しさを感じている委員も多いが、積極的に取り組んでいただけた。今後もできるだけ多くの地区の人に携わっていただき、地区の様々な情報を記事にしていきたい。	
町内公民館長会		10回	公民館委員会・各種会議等	その他	250人	地区公民館からの連絡事項や地区事業のお知らせ、地域づくり等について研修する。		地区の文化祭や、防災研修会など事業へ積極的に参加・協力をいただいた。新型コロナウイルス感染症の影響により、町内行事を中止した町会もあったようだが、少しずつ行事や親睦を深める飲み会などを復活させてきている町会もあったようだ。来年度以降は、さらに充実した活動ができるよう、地区公民館としても支援していきたい。	

令和4年度（2022年度）松本市公民館長会 定例会等事業報告

No.	期日	会場	内 容	No.	期日	会場	内 容
①	4月20日(水)	中央公民館	<p>【公民館長会総会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度事業報告 ・R3年度会計報告 ・R4年度役員 ・R4年度事業計画(案) ・R4年度予算(案)ほか 	⑦	10月19日(水)	梓川公民館	<p>【地域情報発信】梓川地区</p> <p>【協議事項、報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫路市公民館交流学習会について ・県外視察研修について ・地区公民館長の推薦について <p>【研 修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育顧問と語る ～望ましいCSを目指して～ 信大准教授 荒井英治郎氏
		ホール	理事会 4月5日(火)中公3-1			ホール	理事会 10月4日(火)中公3-2
②	5月18日(水)	里山辺公民館	<p>【地域情報発信】入山辺地区</p> <p>【協議事項、報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治安田生命公民館連携プロジェクト ・国宝松本城及び世界遺産に関する学習会の各地区での取組協力 ・令和4年度の青山様・ぼんぼん <p>【研 修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設研修 里山辺公民館 ・令和4年度公民館長会研修について グループワーク 	⑧	11月24日(木)・25日(金)	県外	<p>【県外視察研修】</p> <p>庁用バス</p> <p>愛知県名古屋方面</p> <p>名古屋科学館</p> <p>トヨタ産業技術記念館</p> <p>熱田神宮</p> <p>名古屋城</p>
		ホール	理事会 5月10日(火)中公3-2			ホール	理事会 11月8日(火)中公3-2
③	6月15日(水)	中央公民館	<p>【協議事項、報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外視察研修 ・公民館長会研修計画 <p>【研 修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムと生活支援体制整備事業 ・生活支援員との連携 ・地区に問われるケアシステムとは？ 高齢福祉課・生活支援員・松本社協 	⑨	12月21日(水)	中央公民館	<p>【地域情報発信】庄内地区</p> <p>【協議事項、報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月定例会の研修について ・新庶務事務システムについて ・公民館のフリースペース利用について ・県外視察研修について <p>【研 修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい学ぶ 基礎知識を持つ・対応のイロハ 長野県松本圏域発達障がい サポートマネージャー 新保文彦氏
		ホール	理事会 6月7日(火)中公3-2			ホール	理事会 12月6日(火)中公3-2
④	7月20日(水)	中央公民館	<p>【協議事項、報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外視察研修 ・文化遺産保存活用協議会の委員選出・第70回長野県公民館大会 ・第2回「公民館職員支援講座」 <p>【研 修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりセンターと公民館 講義・質疑・意見交換・グループワーク 地域づくり課・生涯学習課 <p>【歓迎会(暑気払い)】</p> <p>アルビコプラザホテル</p> <p>参加者29名</p>	⑩	1月18日(水)	中央公民館	<p>【協議事項、報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度プラチナ大学の受入れについて ・未来へつなく 私たちの まちづくりの集いについて ・学都松本推進協議会事業について ・地域づくりセンターに関する行政改革について ・公民館のフリースペース利用について ・地域映画「まつもと日和」上映会の周知等の協力について ・10月定例会研修「教育顧問と語る」の所感について <p>【研 修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館のDX化 DX推進本部 DX推進本部としての公民館活動のデジタル化ビジョン デジタル化ビジョンに基づく具体的な内容 DXの推進で生じている問題 DXを進めにくい地域の実情
		ホール	理事会 7月12日(火)中公3-2			ホール	理事会 1月10日(火)中公3-2
⑤	8月17日(水)	寿公民館	<p>【地域情報発信】寿地区</p> <p>【協議事項、報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本市の社会教育行政における公民館職員の人材育成と人員配置に関わる見直し提案 ・松本大学社会教育実習生の受け入れ ・7月定例会研修グループ討議の集約 ・第44回全国公民館研究集会等 <p>【研 修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクールあり方検討会、校長会・公民館長合同研修を受けて望ましい松本版CSを展望する ・松本市のコミュニティスクール事業のあり方検討会中間まとめ ・今後のコミュニティスクール事業 ・質疑・意見交換 	⑪	2月15日(水)	中央公民館	<p>【地域情報発信】鎌田地区</p> <p>【協議事項、報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりセンター長の権限に係る規則改正について ・令和5年度のコミュニティスクールについて ・長野県議会議員一般選挙及び松本市議会議員一般選挙に関する個人演説会の対応について ・松本市公民館長会役員選出について ・庁内情報システムのメール送付先について <p>【研 修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館長の悩み(交流) グループワーク
		ホール	理事会 8月9日(火)中公4-1			ホール	理事会 2月7日(火)中公3-2
⑥	9月21日(水)	神林公民館	<p>【地域情報発信】神林地区</p> <p>【協議事項、報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来へつなく私たちのまちづくりの集い ・各地区における三九郎の実施 ・令和4年度松本市明るい選挙啓発ポスターの掲示 ・松本市部落差別をはじめとするあらゆる差別撤廃と人権擁護に関する条例の改正 ・地域情報発信 神林地区 <p>【研 修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区防災の悩み交流会 ・地域防災における地区公民館と地区公民館長の役割 危機管理課 福祉避難所 福祉政策課 公民館研究集会をめぐって 主事会幹事長 グループワーク 	⑫	3月14日(火)	中央公民館	<p>【地域情報発信】東部地区</p> <p>【協議事項、報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度公民館長会役員の選出について ・令和5年度社会教育実習の受入れについて ・令和4年度今後の日程及び令和5年度公民館長会の予定について ・退任公民館長のあいさつ <p>【研 修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度振り返り グループワーク
		ホール	理事会 9月6日(火)中公3-2			ホール	理事会 3月7日(火)中公3-2

1 県公民館運営協議会関係

(1) 県公民館長総会並びに研修会大会5月11日(水) 総会は書面開催、研修はオンライン開催

(2) 県公民館大会(上田市サントミュージゼ)9月29日(木)30日(金)

2 姉妹都市交流事業第19回 姫路市・松本市 公民館交流学習会

姫路市から研修受入れ：11月17日(木)、18日(金)

17日 交流学習会(あがたの森文化会館)

18日 視察研修(松本城)

令和4年度 松本市公民館主事会 事業報告

1 公民館主事研修会

公民館主事研修会として全 22 回開催し、延べ 613 人が出席した。各回の内容は次のとおり

回	日時・会場	出席者	研修内容
1	4/14(木) 13:30~17:00 中央公民館	45	<p>テーマ：令和4年度 公民館主事会の運営等及び研修計画について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育長あいさつ（伊佐治教育長） 2 令和4年度中央公民館重点目標について（石川中央公民館長） 3 協議事項・役員選出 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度役員の選出及び事務局の任命 (2) 令和3年度主事会事業報告及び会計報告 (3) 令和4年度公民館主事会の運営等について 4 事務連絡 <ol style="list-style-type: none"> (1) 中央公民館事務分担表について (2) 令和4年度予算について <ol style="list-style-type: none"> ア 公民館管理運営費 イ 公民館講座事業費 ウ 公民館職員のための会計事務の手引き (3) コミュニティスクール事業 (4) 町内公民館振興業務委託料について (5) 公民館委員報償費について (6) 防火管理講習について (7) 令和4年度 松本市小中学校環境教育支援事業について (8) ホームページ「地区の情報」への配布物データ掲載について (9) 全国市長会市民総合賠償補償保険について (10) 公民館総合補償制度対応手順について (11) 長野県公民館主事研修会・総会について
2	4/下旬 ブロック研修会	35	<p>テーマ：今年度の主事研修会で取り扱う内容・テーマの提案</p> <p>各ブロックでそれぞれ担当する回の主事研修会の企画を検討する。</p>
3	5/12(木) 13:00~17:00 中央公民館	30	<p>テーマ：「主事同士のつながりづくり」「コミュニケーションスキルの向上」について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 目的 主事会のチームビルディング 2 事務連絡・協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 『世界の料理いろいろ』の紹介・配付について（日本語学習サロン日本語いろいろ） (2) 主事会プロジェクトについて（事務局 平林） (3) 令和4年度長野県公民館運営協議会事業について（浅井県公運協理事） 3 研修 「主事同士のつながりづくり」「コミュニケーションスキルの向上」について 4 10分間情報発信（安原地区）
4	5/26(木) 13:30~17:00 中央公民館	25	<p>テーマ：「貸館の基礎を学ぶ」、「お悩み相談会」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 研修趣旨 <ol style="list-style-type: none"> (1) 背景 社会教育施設である公民館は、関係法令、条例等に基づき貸館の判断を行っている。人事異動に伴い1～2年目の主事や公民館職員も多く、貸館の判断に迷うケースも散見される。多様な主体に対し、貸館・減免の判断を適正に行う必要がある。孤独になりがちな主事たちの悩みや課題を共有する場が定期的に必要な (2) 目的 貸館の基本となる関係法令や条例を読み解き、公民館の歴史や役割を理

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>解するとともに、過去の判断資料などから適正な貸館判断が出来る主事を目指す。</p> <p>年度初めに疑問が生じた主事たちの悩みの共有の場を提供し、解決策などを自館で活かせる主事を目指す。</p> <p>2 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 参議院議員通常選挙及び長野県知事選挙に関する個人演説会の対応について(選挙管理委員会事務局)</p> <p>(2) スマホ教室開催に係るご提案(松本地域シルバー人材センター)</p> <p>(3) 令和4年度の青山様・ぼんぼんについて(こども育成課)</p> <p>(4) 令和4年度松本市出前講座「いい街つくろう!パートナーシップまつもと」について(生涯学習課)</p> <p>(5) 庁用バスの予約について(幹事会)</p> <p>3 10分間情報発信(芳川地区)</p> <p>4 研修</p> <p>(1) 研修① 関係法令・貸館について</p> <p>(2) 研修② ア グループワーク 貸館ロールプレイング イ ブロックごとに座談会お悩み相談タイム</p>
5	6/9(木) 13:30~17:00 里山辺公民館	32	<p>テーマ：効果的な広報及び公民館のDX推進実務</p> <p>1 研修趣旨</p> <p>(1) 背景</p> <p>第11次基本計画の重点目標の一つのDX推進について、公民館のデジタル化が急務と考えられるが、実施状況については各館でのばらつきが出てしまう。また、新ホームページ開始に伴い、より効果的で、ユーザー目線のホームページを提供する必要がある。</p> <p>(2) 目的</p> <p>研修を通してユーザー目線の多角的な情報提供を積極的に行えるようにする。また、動画による効果的な情報発信について学ぶ機会とする。</p> <p>2 公民館長あいさつ(里山辺公民館 小幡館長)</p> <p>3 研修① 新ホームページ利用研修</p> <p>新ホームページの仕様に合わせたページ作りについて</p> <p>効果的な情報提供について、質疑応答</p> <p>(福泉株式会社東京支店支店長 荻原信彦 氏)</p> <p>4 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 地域映画制作に向けた市民が所有する8mmフィルム収集の周知について(まつもとフィルム commons)</p> <p>(2) スマホ講座・デジタル活用支援員育成研修実施について(DX推進本部)</p> <p>(3) 講座の企画・決裁及び講師謝礼支払い帳票への添付資料について(中央公民館)</p> <p>(4) 出前講座のLoGoフォームでの受講報告について(中央公民館)</p> <p>5 研修② 「動画で伝える」</p> <p>事前学習：塩尻東公民館 YouTube チャンネル</p> <p>(1) 塩尻東公民館 Web 講座を始めたきっかけ</p> <p>(2) 動画作成のハードル、日中の業務との比重について</p> <p>(3) Web 講座実施の反響、今後について</p> <p>(塩尻市中央公民館 安藤主事、塩尻東公民館 林主事)</p> <p>6 10分間地区情報発信(入山辺地区)</p> <p>7 新里山辺公民館施設見学</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
6	6/23(木) 13:30~17:00 安原地区公民館	27	<p>テーマ：実践から学ぶ防災</p> <p>1 研修趣旨</p> <p>(1) 背景 昨年、多くの公民館が豪雨災害により避難所を開設する状況となり、今後も豪雨や地震などによる災害によって、公民館が避難所となる可能性は十分にあることから、主事が避難所運営に携わることは避けられない。 また、自身の館の防災備品がどこにあり、どう使うのか、分からない職員も多いと思われる。</p> <p>(2) 目的 防災備品の組み立てや操作方法を実際にやりながら覚えるとともに、避難所運営ゲームを体験することで、災害が起きて公民館が避難所となった際に、主事がどう行動したらよいのか考えることを目的に開催する。</p> <p>2 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 地区行事や公民館事業におけるマイナンバー出張申請の実施協力について（市民課）</p> <p>(2) 令和4年9月開始予定のキャッシュレス決済・オンライン決済について（中央公民館）</p> <p>3 研修 実践から学ぶ防災</p> <p>4 10分間情報発信（城北地区）</p>
7	7/7(木) 松本城、中央公民館	26	<p>テーマ：松本城世界遺産登録に向けて</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景 松本市のシンボルであり松本市民の宝である松本城は、松本市総合計画で世界遺産登録の推進が掲げられている。また、「国宝松本城」推進実行委員会では、市民と行政による世界遺産登録に向けた取組みが進められている。しかし、そもそもなぜ世界遺産登録を目指しているのか。現在どのような取組みが行われているのか。私たちが知らないことは多く、共通の価値や意識を持つ必要がある。</p> <p>(2) 目的 松本城を研究専門員の案内で見学するとともに、松本城の世界遺産登録に向けての取組みの現状や目的、登録するための方法等について学習し、松本城や世界遺産への関心を高める。 また、各地区の文化的遺産について改めて目を向ける機会としたい。</p> <p>2 研修</p> <p>(1) 松本城見学 ※研究専門員（文化財課城郭整備担当）による案内 ※3グループに分かれ見学</p> <p>(2) 松本城世界遺産登録に向けて 文化振興課（桑島課長補佐）</p> <p>3 事務連絡・協議事項</p> <p>(1) 公民館職員の資質向上に係る人事提案について</p> <p>(2) 公民館主事会費の用途について</p> <p>(3) 第13回主事研修会の日程変更について</p> <p>4 10分間情報発信（島内地区）</p>
8	7/21(木) 13:30~17:00 中央公民館	22	<p>テーマ：講座を企画してみよう！</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景 公民館講座は主事が主体となって進めることが多く、主事一人に判断を委ねられる機会もある。ゆえに企画立案に不安を感じ、どのようなプロセスを踏んで講座を企画すればよいのか悩む主事も多い。また、経験年数が長くなるにつれ、視野が固定化しやすく、新しい講座の企画に苦慮する主事も少なくない。</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>他の主事の意見を聞くことで、多角的な視野を持ち、「人を集め 場をつくる」企画力を養う必要がある。</p> <p>(2) 目的 模擬講座の企画をしながら、他の主事がどのような進め方をしているのかを学び、アイデアを共有することで講座企画力を養う。 また、グループワークで様々な経験年数の主事の意見を聞くことで、多角的な視野で企画する力を身に付け、講座企画に役立てる。</p> <p>2 事務連絡・協議事項 (1) 公民館の使用状況に関する調査の報告について(松本大学教育学部大蔵准教授) (2) 実施計画第53号の資料共有(中央公民館) ア 松本版コミュニティスクール事業 イ デジタル技術を活用したつながりの場創出事業 ウ デジタル社会で活躍する地域づくりリーダー育成事業 (3) 第70回長野県公民館大会の開催</p> <p>3 研修 ① 導入・趣旨説明 ② グループワーク ～模擬講座企画～ 模造紙作成 ③ パネル掲示 各グループの模造紙を見ながらワークシート記入 ④ グループディスカッション</p> <p>4 10分間情報発信(第三地区)</p>
9	8/上旬 ブロック研修会	35	<p>下半期の研修テーマについて検討 日常の業務相談</p>
10	8/25(木) 13:30～17:00 乗鞍高原、ふれあい パーク乗鞍	29	<p>テーマ：持続可能な地域づくりを考える</p> <p>1 趣旨 (1) 背景 時代の流れや社会状況の変化が著しい現代社会において、次の時代へと歩みを進める持続可能な地域づくりが求められている。 (以下、第3次松本市地域づくり実行計画より) 「地域づくり」とは、「安心して、いきいきと暮らせる住みよい地域社会を構築するため、市民が主体となって地域課題を解決していく活動や取組み」(「松本市地域づくりを推進する条例」第2条第1号)のことをいい、その取組みには、①地域力の向上を図る取組みと、②地域課題の解決を図る具体的な取組みの2つがある。</p> <p>(2) 目的 ア のりくら高原ミライズ(※)を共通の価値観として、持続可能な地域づくりが動き出した乗鞍高原で、その活動の一部に触れるもの。 イ 第3次松本市教育振興基本計画(案)の特徴の一つとなっている「遊びや体験の重視」を体感すると同時に、従来の考え方に捉われないことなく、柔軟に対応していく視点を養うもの。 ウ 「ゼロカーボンパーク」の国内第1号に登録された乗鞍高原で、ガイドから地域の取組み等の説明を受けながら散策することで、国を巻き込んだ取組みが進められている地域であることを認識するとともに、各地区の公民館講座企画検討の材料とするもの。</p> <p>※ 乗鞍高原が直面している課題、持続可能な地域づくりのあり方(目指すべき姿)、今後の具体的な取組みについて記載した地域ビジョン。行政(国)がコーディネーターとなり、地元関係者を交えたワーキング等を通じて整理を行い、令和3年3月に作成された。 (一社)アルプス山岳郷が地元住民と行ったワークショップ及びアンケート調査を元に作成した「乗鞍地区の未来へ」という地域住民の思いをまとめた地域の共同概念がベースとなっている。</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			2 事務連絡 (1) 乗鞍高原散策(講師 リトルピークス) (2) 講義 (会場 ふれあいパーク乗鞍) 3 10分間情報発信(笹賀地区)※資料配布のみ
11	9/8(木) 13:30~17:00 中央公民館	32	人が集まる！公民館の事業企画・広報 1 研修趣旨 (1) 背景 講座・イベントを開催しても、人が集まらない、参加者が固定化しているなど、集客に苦慮する事例は多い。公民館事業の価値は集客数だけで決まるものではないが、公費で開催する事業として、また町会配布物としての広報の費用対効果の観点から、事業の効果が多くの市民に波及するように、人が集まる・興味を持つ企画・広報が求められている。 (2) 目的 「事業の目的は何で、どんな人に参加してもらいたいのか。そのためにはどうしたら良いか。」という根本的な問いに立ち返り、事業の企画段階から広報まで、人が集まる・興味を持つ公民館事業を開催する方法について学ぶ。 また、地域課題の啓発や解決などを目的とした(一見して集客が少なそうな)事業について、多くの人に参加し、興味を持ってもらう方法を学ぶ。 2 研修 (1) 講義(講師:NPO法人 男女共同参画おおた 理事長 坂田 静香) (2) ワークショップ 3 事務連絡 (1) 公民館主事の人材育成と人事について (2) 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い(第38回公民館研究集会)について (3) 各地区における三九郎の実施について 4 10分間情報発信(松南地区)
12	9/29(木)・30(金) 上田市交流文化芸術センター、上田市文化センター	23	第70回長野県公民館大会 1 全体会 (1) 研修会 「文化財を活用した地域の魅力発信～上田市とその関連史跡を中心に～」 講師:上田市教育委員会生涯学習・文化財課上田城跡整備担当 政策幹 和根崎 剛 氏 (2) 講演会 「すべての人々の幸せづくり～人生100年公民館」 講師:尚絅学院大学 教授 松田 道雄 氏 2 分科会 9分科会
13	10/6(木) 13:30~17:00 内田公民館	20	テーマ:ロゲイニングで地域を知ろう! 1 趣旨 (1) 背景 地域を知り、関心を持つことで地域への愛着が育まれるが、新しい世代、他の地域から来た人が地域について知る機会が減少している。また、文化財等の地域資源の活用に悩んでいる地区は多い。幅広い世代が地域を知る機会の創出は、地域づくりを担う公民館に求められている役割の一つだと考えられる。 (2) 目的 研修を通して、「第3次松本市教育振興基本計画(案)」で重視されている遊びと体験を意識した内容で地域を知る手法の一つを紹介したい。またロゲイニング体験、情報共有により、主事同士のつながり作りを目指す。 2 公民館×図書館コラボ企画「知る!見る!考える!地域のタカラ」報告 3 研修

回	日時・会場	出席者	研修内容
			(1) ロゲイニング (2) 地域学習の工夫(ツール) 4 事務連絡 (1) 松本市町内公民館館長会研修動画の作成について (2) まちづくりの集い分科会世話人について 5 10分間情報発信(内田地区)
14	11/10(木) 13:30~17:00 城北公民館	20	テーマ：町内公民館館長会との連携／地域に住む外国籍の方との関わり 1 趣旨 (1) 背景 コロナ禍で町内公民館活動が停滞するなか、引継ぎ不十分や相談相手がないなど不安に感じている町内公民館長が多く見受けられる。町内公民館館長会の開催頻度も影響して、地区公民館主事に相談する選択肢を持たない町内公民館長が増えているため、主事との関わりが希薄になっている。 また、松本市には、総人口の約1.6%にあたる3,984人の外国籍の方が暮らしている(令和4年10月1日時点)が、地域で暮らす外国人に対する認知度は低く、公民館活動との直接の結びつきも薄いのが現状と思われる。公民館主事の中でも、どう関わりを持ったらいかが分からないというのが正直なところではないだろうか。 (2) 目的 研修を通して地区公民館主事との関わりを再確認することにより町内公民館活動の活性化につなげていきたい。同時に地区公民館主事も町内公民館について学ぶきっかけを作り、上下関係ではなく、地域づくりという同じ目的に向かっているパートナーという関係を目指したい。 公民館活動の対象には、当然外国籍の方も含まれていることから、まずは主事自身が外国籍の方との関わり方、多文化共生について学び、そこから各地域で実際に何ができるかを考えるきっかけとなることを期待する 2 公民館長あいさつ(城北公民館長) 3 研修 (1) 研修① 町内公民館館長会との連携 ア 館長会研修用DVD視聴 イ 館長会三役との意見交換 (2) 研修② 地域に住む外国籍の方との関わり (講師：人権共生課 梶山 直樹 主任) 4 事務連絡 (1) YouTube松本市公民館公式チャンネルの運用開始について (2) 現金決済のPOS処理について(12月開始予定) (3) 令和5年度 第63回関東甲信越静公民館研究大会の動員について (4) 令和4年度長野県公民館主事研修会(兼第16回主事研修会)について (5) 松本市芸術文化祭(事務局 中央公民館)について 5 10分間情報発信(中央地区)
15	11/24(木) 13:30~17:00 松本市美術館	27	テーマ：美術館と地域のかかわり～もっと美術館を活用しよう！～ 1 趣旨 (1) 背景 地域住民の教養の向上を図ることから各地区で学術・文化に関する事業を実施しているが、「美術」をテーマにした事業は公民館職員に知識・関心がないと企画に苦悩し、講座やイベントへと発展しにくい。 主事自身が実際に現地を見学することで知識を養い、新しい視点から講座やイベントを考えるきっかけづくりとする。 (2) 目的 今年度リニューアルオープンした松本市美術館の学芸員から成り立ちや展示品、地域住民とのかかわりに対する思いを学び、実際に見学することで知識・関心を高め、今後の事業の参考とする。 また、美術館の学芸員と顔見知りになることで、講座の企画・運営等に

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>ついて相談し合える関係を築く。</p> <p>2 事務連絡</p> <p>(1) 現金決済のPOS処理12月開始について</p> <p>ア 関係課最終打合せ(11月28日)</p> <p>イ マニュアルは、DX推進本部から月末に庁内周知の予定</p> <p>(2) コピー機及び印刷機使用料の収納事務の変更について</p> <p>(3) 令和4年度社会教育主事講習B講習受講者について</p> <p>3 研修</p> <p>(1) 「美術館と地域とのかかわりについて」(講師 松本市美術館 武藤補佐)</p> <p>(2) グループディスカッション</p> <p>(3) 館内バックヤード見学(グループごと)</p> <p>(4) 常設展・企画展見学(各自)</p>
16	12/8(日) 13:00~16:40 塩尻市レザンホール、塩尻市総合文化センター	28	<p>令和4年度長野県公民館主事研修会</p> <p>1 全体会(基調講演・意見交換) 防災・減殺の地域づくり~公民館の果たす役割とは~</p> <p>2 分科会 4分科会</p>
17	12/22(木) 13:30~17:00 中央公民館	21	<p>テーマ:地域の歴史的文化遺産を活用した取組みと社会教育・主事の役割ー地域づくりの土壌となる「人・活動」+「自治・主体性」ー</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景</p> <p>松本市の地域づくりシステムにおいて、社会教育機関としての公民館が担う教育活動(実践・講座等)は、地域の土壌づくりとも言える「人と人」「人と活動」をつなげて「自治や主体性」を培う重要な役割を持つ。</p> <p>また、本年7月に主事研修会で取り上げた「世界文化遺産」とは異なり、本市の文化財課で進める「まつもと文化遺産制度」は、単に「地域の歴史的文化遺産の整備・保全・活用」を目的とするものではなく、「取組みを進める主体的な活動主体が地域にあること」や「取組みが地域づくりへつながっていくこと」を大切にしている。つまり、社会教育機関以外の部署が、明確に地域づくりを視野に入れた取組みを進めており、そのためには社会教育・公民館が「人材発掘や育成」「自治を持った地域社会形成」を、教育活動を通じて進める必要性が高まっていると考えられる。</p> <p>(2) 目的</p> <p>ア まつもと文化遺産制度の取組み概要を学び、事業の目的・効果等から他課から向けられる社会教育(公民館)への視点を押さえるとともに、各地域への広がりへもつなげたい。</p> <p>イ 島内地区の地域情報発信やまつもと文化遺産制度の取組みについて押さえながら、社会教育の視点からも捉えなおす。さらに、地域の土壌づくりとなる公民館の教育活動において、社会教育・主事としてどのような役割があるのかを紐解くことで、公民館主事としての役割を再認識することにつなげたい。</p> <p>ウ 前段の研修を踏まえながら、グループワークを通じて、各地域を捉えながら活動を進める上で「主事として持ちたい視点」「主事として各事業へ取組む意味を捉える視点」に気づくようなきっかけにつなげたい。</p> <p>2 公民館長あいさつ</p> <p>3 研修</p> <p>(1) 研修①「地域の歴史的文化遺産を活用した取組みと社会教育・主事の役割ー地域づくりの土壌となる“人・活動”+“自治・主体性”ー」 島内公民館 上嶋秀俊 主査</p> <p>(2) 研修②「まつもと文化遺産制度の取組み」 文化財課 小林一成 主査</p> <p>4 事務連絡</p> <p>(1) カタログポケットの普及等について(秘書広報室)</p> <p>(2) 地区公民館における放課後の居場所の創出について(中央公民館長)</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			(3) 地域づくりセンター長の教育委員会事務局課長の兼務にかかる令和5年度行政改革について（中央公民館長） (4) 新庶務事務システムについて（中央公民館） (5) マイナンバーカードの取得について（中央公民館長） (6) 令和5年度プラチナ大学受入れについて（事務局） (7) 貸館判断について（公民館主事会）
18	1/12(木) 13:30～17:00 中央公民館	26	テーマ：デジタルでつながる多様な交流 1 趣旨 (1) 背景 第11次基本計画の基本施策7分野（別紙）のうち1～3の分野について、デジタルによる繋がりから老若男女・障がいの有無等に囚われず交流することが、持続可能な社会づくりに必要となると考えられるが、その一つの手段としてeスポーツによる実践事例から学べることはないか。 (2) 目的 研修を通して、地域内での高齢者の運動の場の提供、世代間や障がいの有無によらない交流の可能性を学び、課題を克服する手段について考える。 2 研修 (1) 研修① 実践事例研修 北部包括支援センター職員と本郷地区生活支援員による取組み （講師：北部包括支援センター 小澤光竜） (2) 研修② eスポーツ体験会 Nintendo Switchを利用したeスポーツの体験 (3) 研修③ まとめ 研修①、②を受けてのグループディスカッション 3 事務連絡 (1) 令和5年度プラチナ大学受入れについて（事務局） ブロックごと1館受け入れ。ブロック内で来年度当初に選定し、4月中に社協へ報告 (2) 地域映画「まつもと日和」上映会周知等の協力（中央公民館平林）
19	1/26(木) 13:30～17:00 中央公民館	26	テーマ：動画作成を学ぼう！ 1 趣旨 (1) 背景 DXの推進に向け全庁的に対応が進められている中、住民の拠り所とされる公民館は、主に若年層への情報提供の手段として、これまで以上にデジタルを活用していくことが重要とされている。公民館公式YouTubeが開設された今、動画の作成や編集に係る能力は必須と言える。 また、松本市の公式ホームページは令和4年10月から地区の回覧配布物を掲載する等、住民目線に立った改善を進めている。公民館のページも見やすさや掲載頻度等、一定の統一感を持つ必要があるのではないかと考える。 (2) 目的 動画作成のポイントや編集方法を学び、公民館事業の情報発信を積極的に行えるようにする。 また、他地区のホームページ作成方法を学び、情報共有を図り、自館のホームページの拡充を目指す。 2 研修 (1) 動画作成について ア 「動画作成について」（講師：秘書広報室 左治木 佳奈子主任） イ 「動画編集について」（今井公民館 宮澤） （講師：館報全市版編集委員 工藤 太陽 氏） ウ 「動画アップロードについて」（中央公民館 大和主事） (2) ホームページ作成について ア 「ホームページ作成について」（松南地区公民館 伊藤主任）

回	日時・会場	出席者	研修内容
			<p>イ 「ホームページ紹介」</p> <p>(3) グループワーク</p> <p>3 事務連絡</p> <p>(1) おでかけオルガン事業の活用について (音楽文化ホール)</p> <p>(2) 市民タイムス「みんなの掲示板」の活用について (市民タイムス)</p> <p>(3) フューチャーデザインワークショップへの参加について (中央公民館 平林)</p> <p>(4) まちづくりの集いについて (実行委員会事務局 平林)</p> <p>(5) 選挙関連・政治団体等への貸館について (中央公民館 土屋)</p> <p>4 10分間情報発信(神林地区)</p>
19	2/9(木) 13:30~17:00 中央公民館	26	<p>テーマ：共生社会の実現に向けた公民館活動</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景 松本市では「ユニバーサルデザイン推進基本指針」を策定し、誰もが生活しやすい環境・まちづくりを推進している。公民館は、誰もが利用できる身近な場所として、その事業や施設にユニバーサルデザインを取り入れることが求められるが、現状は利用に偏りが見られる。</p> <p>(2) 目的 障がいの有無や年齢・性別等にかかわらず、“すべての人々を対象とする”ユニバーサルデザインの視点や手法を学ぶことで、地域の多様な人々が一緒に楽しめる事業の企画・実施や、誰もが利用しやすい施設環境を整備するための能力を養う。 研修① ユニバーサルデザインの概念や実例を学ぶ。 研修② 誰でも取り組み、楽しむことができる工夫がなされたパラスポーツを実際に体験する。</p> <p>2 研修</p> <p>(1) 「ユニバーサルデザインについて講演」 (講師：一般社団法人まつもとユニバーサルデザイン研究会事務局長 渡邊 幸夫 氏)</p> <p>(2) 「パラスポーツ体験」 (講師：障がい者スポーツ支援センター松本指導員 矢崎 萌斗 氏)</p> <p>(3) グループワーク</p> <p>3 事務連絡</p> <p>(1) 県議選・市議選にかかる立会演説会等の施設予約について (選挙管理委員会事務局)</p> <p>(2) 公民館主事会アドバイザー設置等人材育成について (幹事会)</p> <p>(3) 塩尻市・松本市公民館合同研修会(2月28日)の開催について (事務局)</p> <p>(4) まちづくりの集いについて (実行委員会事務局)</p> <p>(5) 町内公民館振興業務委託の報告書について (宮下主事)</p> <p>4 10分間情報発信(庄内地区)</p>
20	3/10(木) 13:30~17:00 四賀公民館	26	<p>テーマ：「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」の総括</p> <p>1 趣旨</p> <p>(1) 背景 新型コロナウイルスの影響により令和2年度のまちづくりの集いは一部開催となり、令和3年度は開催方法を変更して開催された (分散開催、テーマ設定方法の変更)。初めて集いを経験した主事も多いため、集いの意義の再確認と次年度に向けた検証が必要と思われる。</p> <p>(2) 目的 社会教育・公民館に求められる役割と実践事例など、研修報告をふまえて、「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第37回公民館研究集会 地域づくり市民活動研究集会～」を総括し、これからの地域づくりや公民館の役割を展望する。</p> <p>2 事務連絡・協議事項</p>

回	日時・会場	出席者	研修内容
			(1) 長野県生涯学習推進センターからのお知らせについて ア 塩尻市公民館活動報告会 イ アフタフバーン信州 (2) 令和4年度当初開始予定の利用団体登録のオンライン申請対応について (3) デジタル活用支援事業相談員育成研修について 3 10分間情報発信（本郷地区） 4 研修 (1) 社会教育主事講習受講者の研修報告・質疑応答 (2) 「まちづくりの集い」の検証と次年度へ向けての討議 ア 報告・解説【30分】（幹事長、集会事務局） イ グループ討議（分科会ごとに）
特別	2/28(火) 16:00～17:30 中央公民館	8	テーマ：これからの公民館を担う人たちへのメッセージ「信州の公民館に学ぶ」 1 趣旨 長年、信州の社会教育、公民館や自治会について調査研究されてきた松田武雄先生が、今年3月末で松本大学を退職されるのを機に、 ①松田先生にとって社会教育とは何だったのか？ ②これからの公民館と自治会そして地域団体との関わりはどのようなのか？ ③これからの信州の公民館と職員へ期待することとは？ の3つの視点から、私たち公民館職員へのメッセージをこめ、ご講演をいただくもの。 2 講師 松本大学総合経営学部教授 松田 武雄 氏 3 開催形式 (1) 塩尻市・松本市公民館合同研修会として位置づけて開催し、松本市から公民館長・公民館主事、塩尻市から公民館主事、他に県生涯学習推進センター職員、松本大学教員が出席 (2) 松本市・塩尻市の両主事会事務局が企画
21	3/9(木) 13:30～17:00 寿台公民館	25	テーマ：「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第38回松本市公民館研究集会・令和4年度松本市地域づくり市民活動研究集会～」の評価と次年度に向けた意見交換 1 趣旨 (1) 背景 「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」の開催に価値を見出せず、負担に感じるという意見を耳にする。また、公民館等の学びの分野は、すぐに成果が出るものでないためその役割や存在意義に悩むことがある（特に1～2年目の公民館主事）。毎年繰り返される悩み、知識や経験を無駄にしないために、公民館主事同士で経験に基づいた考えを共有し合いまとめておく必要がある。 (2) 目的 社会教育主事講習受講者の研修報告と「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」に至るまでの公民館研究集会の歴史や意義を再確認したうえで、今年度の集いを評価する。主事目線での評価や気づきを共有することで、ただの反省会に終わらせず、集い開催に対する認識や姿勢の再考および集会の改善に繋げる。また、今までの公民館業務の中で見出した「社会教育、公民館とは」という気づきを共有し合い、公民館主事としての核を改めて形成する場とする。 2 公民館長あいさつ（寿台公民館 坂井館長） 3 社会教育主事講習受講者の研修報告・質疑応答 （発表者：朝倉主事、分部主事、石原主事） 4 研修 (1) 「まちづくりの集い」報告・解説（事務局：平林主任）

回	日時・会場	出席者	研修内容
			(2) ディスカッションの説明・移動 (3) グループディスカッション（分科会ごと） 5 事務連絡 (1) 公民館事業への活用提案について（丸山亜希氏） (2) 町内公民館館長会動画研修のアンケート結果について（宮下主事） (3) 令和4年度主事会会計決算見込みについて（羽田会計） 6 10分間情報発信(寿地区)
22	3/28(木) 13:30～17:00 中央公民館	25	テーマ：松本市公民館の今後の在り方を考える。 1 研修趣旨 (1) 背景 人口減少や役員の高齢化等により、縮小を余儀なくされている公民館活動。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、活動の中止を余儀なくされた今、改めて時代に即した公民館の在り方を考える時期ではないか。 (2) 目的 ア 「公民館の今後の在り方を考える検討委員会」（以下、「検討委員会」という。）をつくり、様々な立場の者が集まり協議を重ねている朝日村 イ その事例に触れることで、公民館の在り方については、多様な意見があることを認識すると同時に、理解を深め、多面的に捉える思考を養う。 ウ そのうえで、松本市の公民館が大切にしてきたことを確認しながら、松本市公民館の今後の在り方を考え、共有し、日常業務に生かす。 2 研修 (1) 趣旨説明 (2) 話題提供 ア 時代に即した公民館の在り方 ～朝日村の事例から～ 講師：上條 靖尚 氏（朝日村教育委員会教育次長。検討委員会事務局） イ 松本市の公民館が大切にしてきたこと 講師：高橋 伸光 氏（教育文化センター所長。前松本市中央公民館長） (3) パネルディスカッション ア ファシリテーター 白戸 洋 氏（松本大学総合経営学部教授。検討委員会有識者） イ パネリスト 上條 靖尚 氏、高橋 伸光 氏 (4) グループワーク 3 事務連絡 (1) コミュニティスクール事業について（小岩井主査） (2) 各地区町内公民館長会と地区公民館との連携について（宮下主事） (3) 地域づくりセンター長の権限について (4) 主事会プロジェクト令和4年度の進捗について（平林主任 他）

※ コロナ禍が落ち着いてきたことから、対面・集団学習の特長を生かした研修内容とした。

※ 主事会のつながり作り(チームビルディング)を図る研修として、屋外研修やレクリエーションの要素を取り入れた研修を実施した。

2 幹事会

全12回の定例幹事会を開催し、主事研修会の企画等を協議・検討した。

コロナ禍が落ち着いてきたことから、対面実施に戻した。

<主な協議事項>

4/7	令和2年度の主事会・幹事会の運営等	10/4	主事研修会企画
5/9	主事研修会(前期)企画	11/1	主事研修会企画
6/3	主事研修会企画	12/6	主事研修会企画
7/4	主事研修会企画	1/10	主事研修会企画
8/2	主事研修会企画、主事研修会(後期)企画	2/7	主事研修会企画
9/6	主事研修会企画	3/7	主事研修会企画、令和5年度の主事会計画案

※ 幹事の都合により、開催日時を8月以降、従来の第1月曜15～17時から、第1火曜14～16時に変更。公民館長会理事会と日時が重なることが多く、主事会→幹事会の2段階での検討が難しく、幹事と理事を同時に担っている地区では、両者が抜けることが難しく欠席することが多かった。要日時再検討

3 県・中信公運協関係、合同研修会など

- (1) 5/上旬 令和4年度長野県公民館主事総会 書面開催。令和4年度から総会と主事会を別開催
- (2) 9/29・30 第70回長野県公民館大会
(上田市交流文化芸術センター・上田市文化センター／兼第12回主事研修会)
- (3) 12/8 長野県公民館主事研修会
(塩尻市レザンホール・塩尻市総合文化センター／第16回主事研修会)
- (4) 12/15 令和4年度中信地区公民館運営協議会館長主事等研修会
「地域とともに創るまちづくり」(松本市第三地区公民館)
- (5) 2/19 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い～第38回公民館研究集会 令和4年度地域づくり
市民活動研究集会～
中央公民館での一会場開催に戻す。YouTubeを活用し四賀サテライト会場(分科会)実施

4 その他(親睦事業など)

歓送迎会・暑気払い・忘年会を企画するが、コロナ禍の影響により中止

令和4年度公民館連絡先一覧表

R4.4.1現在

No.	館名	館長	公民館主事等	センター長	電話番号	内線	FAX番号	郵便番号	所在地	担当地区
1	中央	石川 善啓 (社会教育推進担当) (施設整備担当)	土屋 浩昭 中村 安広 小岩井 一樹 平林 祐介 森田 耀子 宮下 明日香 大和 健司 輪湖 稔 酒井 謙一 伊藤 雄太		32-1132	56200 56201 56201 56202 56202 56204 56203 56203 56212 56212 56211	37-1153	390-0811 //	(南棟) 中央 1-18-1 (北棟) 中央 1-23-2	
2	第一地区	水野 範明	朝倉 光貴	中村 史子	32-1550	/	32-1550	390-0811	中央 1-18-1 Mウイング4F	第一
3	第二地区	早坂 義導	栗田 幸信	二木 昭彦	39-3601	/	39-3602	390-0814	本庄 2-3-23	第二
4	第三地区	武井 保典	矢嶋 美智子	窪田 直美	36-7040	/	35-6344	390-0811	中央 4-7-28	第三
5	東部	宮下 隆夫	古謝 彰貞	滝澤 修	36-8565	/	36-8551	390-0806	女鳥羽 2-1-25	東部
6	城北	小岩井 成人	西澤 瑞恵	増田 香	38-0120	/	38-0121	390-0876	開智 2-3-39	城北
7	大手	遠藤 彰	中條 克明	藤森 千穂	39-5711	/	39-5712	390-0874	大手 3-8-1	中央
8	安原地区	藤野 一男	板花 良太	波多腰 秀美	39-0701	/	39-0702	390-0802	旭 2-11-13	安原
9	城東	佐藤 昭明	三澤 孝吉	降旗 みゆき	34-0191	/	34-0192	390-0803	元町 3-7-1	城東
10	白板地区	内藤 哲夫	片桐 史門	永瀬 幸道	35-7740	/	36-5497	390-0875	城西 1-6-17-3	白板
11	田川	森下 隆弘	大月 悠太	小野 真一	27-3840	/	27-3841	390-0841	渚 3-2-7	田川
12	庄内地区	筒井 文男	小林 大	甕 国人	24-1811	/	24-1812	390-0827	出川 1-5-9	庄内
13	鎌田地区	田中 健太郎	川西 久美	田中 治	26-0206	/	27-2957	390-0848	両島 5-50	鎌田
14	松南地区	白澤 幸男	伊藤 貴浩	金井 稔	26-1083	/	25-5337	399-0002	芳野 4-1	松南
15	島内	上條 光司	上嶋 秀俊	勝家 隆	47-0264	/	40-1264	390-0851	島内 4970-1	島内
16	中山	鈴木 幹夫	宇治 樹	金山 博文	58-5822	/	85-1016	390-0823	中山 3746-1	中山
17	島立	伊藤 悦夫	浅井 勇太	伊藤 和宏	47-2049	/	40-1258	390-0852	島立 3298-2	島立
18	新村	新村 芳男	太田 正太郎	高山 芳伯	48-0375	/	40-1625	390-1241	新村 2179-7	新村
19	和田	萩原 良治	中田 真実	村山 佳子	48-5445	/	40-1259	390-1242	和田 2240-31	和田
20	神林	丸山 勝久	丸山 貴大	伊藤 裕明	58-2039	/	85-1159	390-1243	神林 1557-1	神林
21	笹賀	山田 賢司	矢口 竜也	中原 和彦	58-2046	/	85-1146	399-0033	笹賀 2929	笹賀
22	芳川	柏澤 由紀一	北原 将年	坂上 浩美	58-2034	/	85-1057	399-0034	野溝東 2-10-1	芳川
23	寿	百瀬 康雄	竹村 夕馬	羽田野 千帆	58-2038	/	85-1099	399-0021	寿豊丘 424	寿
24	寿台	坂井 久吉	大津 茜	高山 明洋	58-6561	/	86-7964	399-0021	寿豊丘 649-1	寿台
25	松原地区	下村 純	合津 朋美	牛丸 尚久	57-2322	/	85-3103	399-0022	松原 39-1	松原
26	岡田	深井 久仁彦	田中 貢治	山岸 清治	46-2313	/	45-1001	390-0315	岡田町 517-1	岡田
27	入山辺	小笠原 鉄夫	吉田 将大	村田 誠司	32-1389	/	37-0258	390-0222	入山辺 1509-1	入山辺
28	里山辺	小幡 泰俊	吉田 望花	神田 浩	32-1077	/	37-0640	390-0221	里山辺 2943-1	里山辺
29	今井	櫻井 貞文	宮澤 理沙	塚田 喜代志	59-2001	/	59-1004	390-1131	今井 2231-1	今井
30	内田	丸山 明良	石原 萌	武井 義正	58-2494	/	85-1071	399-0023	内田 2203-1	内田
31	本郷	橋本 真一	分部 哲志	清澤 秀幸	46-1500	/	45-1014	390-0303	浅間温泉 2-9-1	本郷
32	四賀	藤松 正之	小宮山 秀樹	神谷 孝	64-3112	34105	64-2933	399-7402	会田 1001-1	四賀
33	安曇	大野 修	羽田 大樹	大野 晃永	94-2301	35121	94-2918	390-1520	安曇 1061-1	安曇
34	奈川	忠地 愛男	奥原 美鈴	高山 昇	79-2121	3621	79-2903	390-1611	奈川 3301	奈川
35	梓川	川村 吉郎	黒田 晋	田多井 清純	78-3000	33116	78-3942	390-1792	梓川梓 2288-3	梓川
36	波田	輪湖 明	奥原 和宏	百瀬 朋章	92-2268	37171	92-7111	390-1401	波田 4417-1	波田
	あがたの森	中嶋 岳大	小林 泰		32-1812	2470	33-9986	390-0812	県 3-1-1	/
	青少年ホーム	永井 康太郎	小船井 彩乃		26-1083	/	25-5337	399-0002	芳野 4-1	/
	池上百竹亭	指定管理者			32-0141	/	32-0141	390-0873	丸の内 10-31	/
	ふれあいパーク 乗鞍	指定管理者			93-1122	/	93-1122	390-1507	安曇 4855-100	/

松本市公民館長理事役員名簿 (27年度以降)

(敬称略)

年度 役名		27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		会 長	深澤 (城北)	村山 (島立)	村山 (島立)	滝澤 (安原)	滝澤 (安原)	柏澤 (芳川)	柏澤 (芳川)	櫻井 (今井)
副 会 長	村山 (島立)	胡桃 (島内)	原田 (城東)	百瀬 (四賀)	柏澤 (芳川)	田中正 (城北)	田中正 (城北)	小笠原 (入山辺)	小笠原 (入山辺)	
(中央公民館長)	高橋	高橋	高橋	栗田	栗田	栗田	高橋	石川	石川	
理 團	中央1	関口 (第二地区)	北沢 (東部)	阿部 (第一地区)	宮下 (東部)	早坂 (第二地区)	佐藤 (城東)	赤沼 (第三地区)	水野 (第一地区)	武井 (第三地区)
	中央2	滝澤 (安原地区)	内藤 (白板地区)	高野 (大手)	田中 (城北)	内藤 (白板地区)	高野 (大手)	内藤 (白板地区)	藤野 (安原地区)	遠藤 (大手)
	中央3	上條 (松南地区)	草間 (庄内地区)	田中 (鎌田地区)	池上 (田川)	浦澤 (松南地区)	筒井 (庄内地区)	筒井 (庄内地区)	白澤 (松南地区)	小嶋 (鎌田地区)
	河 西	胡桃 (島内)	関 (新村)	渡辺 (和田)	青木 (梓川)	輪湖 (波田)	上條 (島内)	伊藤 (島立)	新村 (新村)	萩原 (和田)
	西 南	藤澤 (今井)	上條 (安曇)	勝山 (奈川)	藤波 (笹賀)	塩原 (神林)	櫻井 (今井)	百瀬 (安曇)	忠地 (奈川)	山田 (笹賀)
	東 南	中嶋 (内田)	藤森 (中山)	柏澤 (芳川)	下村 (松原)	百瀬 (寿)	坂井 (寿台)	丸山 (内田)	鈴木 (中山)	柏澤 (芳川)
	東 山	花岡 (里山辺)	遠山 (入山辺)	百瀬 (四賀)	橋本 (本郷)	富岡 (岡田)	小幡 (里山辺)	小笠原 (入山辺)	藤松 (四賀)	橋本 (本郷)
監 事	宇佐美 (岡田)	中嶋 (内田)	内藤 (白板)	阿部 (第一地区)	田中 (城北)	内藤 (白板地区)	高野 (大手)	丸山 (内田)	水野 (第一地区)	
事務局 (中央公民館)	金井	金井	金井	横山	田口	横山	土屋	土屋	土屋	
中信公運協	村山 (島立)	胡桃 (島内)	原田 (城東)	百瀬 (四賀)	柏澤 (芳川)	田中正 (城北)	田中正 (城北)	小笠原 (入山辺)	小笠原 (入山辺)	
県公運協	深澤 (城北)	村山 (島立)	村山 (島立)	滝澤 (安原)	滝澤 (安原)	柏澤 (芳川)	柏澤 (芳川)	櫻井 (今井)	櫻井 (今井)	

令和5年度 松本市公民館長会理事等 役職分担表

年度 役職名	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		
	館名	氏名	館名	氏名	館名	氏名	館名	氏名	館名	氏名	
県公運協 (R元、R3は会長職)	(安原)	滝澤	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(今井)	櫻井	(今井)	櫻井	
長野県将来世代応援県民会議 (県公運協副会長が就任)											
中信公運協(参与職)	(安原)	滝澤	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(今井)	櫻井	(今井)	櫻井	
中信公運協(評議員職)	(芳川)	柏澤	(城北)	田中	(城北)	田中	(入山辺)	小笠原	(入山辺)	小笠原	
松本市学校部活動の地域クラブ活動への移行検討協議会 R5～									(今井)	櫻井	
松本市差別撤廃人権擁護 審議会(会長職) 同和	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(今井)	櫻井	(今井)	櫻井	
部落解放・人権政策確立要求 松本市実行委員会委員長 (公民館長会 会長)	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(今井)	櫻井	(今井)	櫻井	
“社会を明るくする運動”松本推進委員会(会員)	(松南)	浦澤	(城東)	佐藤	(第三)	赤沼	(第一)	水野	(第三)	武井	
平和祈念式典実行委員会	(波田)	輪湖	(島内)	上條	(白板)	内藤	(新村)	新村	(和田)	萩原	
明るい選挙推進協議会 代議員2名 (うち役員候補者1名)	会長職	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(今井)	櫻井
		(波田)	輪湖	(今井)	櫻井	(白板)	内藤	(奈川)	忠地	(本郷)	橋本
豊かな環境づくり 松本地域会議 (松本地方事務所環境課)	(松南)	浦澤	(城東)	佐藤	(第三)	赤沼	(第一)	水野	(第三)	武井	
教育文化センター 運営委員会	(神林)	塩原	(里山辺)	小幡	(里山辺)	小幡	(里山辺)	小幡	(里山辺)	小幡	
松本市青少年健全育成 市民大会実行委員会	(寿)	百瀬	(里山辺)	小幡	(庄内)	筒井	(新村)	新村	(和田)	萩原	
松本市生活簡素化 実行委員会	(寿)	百瀬	(島内)	上條	(白板)	内藤	(奈川)	忠地	(本郷)	橋本	
学都松本子ども読書活動推進委員会 R元～	(寿)	百瀬	(島内)	上條	(庄内)	筒井	(城北)	小岩井	(城北)	小岩井	
まつもと文化遺産保存活用協議会 R4～							(新村)	新村	(新村)	新村	
館長会研修担当	①通常研修担当	(白板)	内藤	(大手)	高野	(入山辺)	小笠原	(松南)	白澤	(笹賀)	山田
		(岡田)	富岡	(庄内)	筒井	(島立)	伊藤	(安原)	藤野	(大手)	遠藤
	②県外研修担当	(神林)	塩原	(今井)	櫻井	(内田)	丸山	(四賀)	藤松	(芳川)	柏澤
		(第二)	早坂	(寿台)	坂井	(安曇)	百瀬	(中山)	鈴木	(鎌田)	小嶋
学都松本推進協議会 事務局会議委員	(松南)	浦澤	(城東)	佐藤	(第三)	赤沼	(第一)	水野	(第三)	武井	
館長会・主事会 連絡調整委員	(安原)	滝澤	(芳川)	柏澤	(芳川)	柏澤	(今井)	櫻井	(今井)	櫻井	
	(芳川)	柏澤	(城北)	田中	(城北)	田中	(入山辺)	小笠原	(入山辺)	小笠原	
監事	(城北)	田中	(白板)	内藤	(大手)	高野	(内田)	丸山	(第一)	水野	

令和4年度 松本市公民館主事会名簿

ブ ロ ッ ク	公 民 館 名	氏 名	通 算 経 験 年 数	幹 事 長	副 幹 事 長	県 公 運 協 理 事	委 員 行	評 議 員	中 信 公 運 協 員	ブ ロ ッ ク 幹 事	事 務 局
中 公	中 央	土 屋 浩 昭	8								
		中 村 安 広	14								
		小 岩 井 一 樹	1								
		平 林 祐 介	6								○
		森 田 耀 子	5								
		宮 下 明 日 香	1								
		大 和 健 司	1								
		輪 湖 稔	3								
		酒 井 謙 一	0								
伊 藤 雄 太	1										
中 央 1	第 一 地 区	朝 倉 光 貴	2				○				
	第 二 地 区	栗 田 幸 信	8.5								
	第 三 地 区	矢 嶋 美 智 子	2					○	○		
	東 部	古 謝 彰 貞	0								
	城 東	三 澤 孝 吉	14.5								
中 央 2	白 板 地 区	片 桐 史 門	0								
	城 北	西 澤 瑞 恵	2								
	安 原 地 区	板 花 良 太	2							○	
	大 手	中 條 克 明	4		○						
中 央 3	鎌 田 地 区	川 西 久 美	2								
	松 南 地 区	伊 藤 貴 浩	2							○	
	庄 内 地 区	小 林 大	0								
	田 川	大 月 悠 太	2								
河 西 部	島 内	上 嶋 秀 俊	14								
	島 立	浅 井 勇 太	5			○					
	新 村	太 田 正 太 郎	3								
	和 田	中 田 真 実	3								
	梓 川	黒 田 晋	3							○	
波 田	奥 原 和 宏	7									
西 南 部	笹 賀	矢 口 竜 也	0								
	神 林	丸 山 貴 大	0								
	今 井	宮 澤 理 沙	1							○	
	安 曇	羽 田 大 樹	4		○						
	奈 川	奥 原 美 鈴	0								
東 南 部	芳 川	北 原 将 年	3		○						
	寿	竹 村 夕 馬	0								
	寿 台	大 津 茜 萌	1							○	
	内 田	大 石 原	1								
	中 山	宇 治 樹 実	0								
	松 原 地 区	合 津 朋 実	6	○							
東 山 部	岡 田	田 中 貢 治	1.5								
	里 山 辺	吉 田 望 花	1								
	入 山 辺	吉 田 将 大	1								
	本 郷	分 部 哲 志	1.5							○	
四 賀	小 宮 山 秀 樹	12									

令和5年度 松本市公民館主事会名簿

ブ ロ ッ ク	公 民 館 名	氏 名	通 算 経 験 年 数	幹 事 長	副 幹 事 長	県 公 運 協 理 事	委 員 行	評 議 員	中 信 公 運 協	ブ ロ ッ ク 幹 事	事 務 局	学 都 フ ォ ー ラム 担 当
中 公	中 央	土 屋 浩 昭	9									
		中 村 安 広	15									
		小 岩 井 一 樹	2									
		福 村 健 太 郎	3								○	
		森 田 耀 子	6									
		合 津 朋 実	7									
		矢 嶋 美 智 子	3									
		宮 下 明 日 香	2									
		清 水 春 生	0									
		中 野 浩 二	0									
		酒 井 謙 一	1									
伊 藤 雄 太	2											
中 央 1	第 一 地 区	朝 倉 光 貴	3	○						○		
	第 二 地 区	栗 田 幸 信	9.5									
	第 三 地 区	深 澤 佐 恵	0									
	東 部	降 旗 一 博	0									
	城 東	小 林 弘 幸	0									
中 央 2	白 板 地 区	片 桐 史 門	1							○		
	城 北 区	西 澤 瑞 恵	3		○							
	安 原 地 区	板 花 良 太	3									
	大 手	中 條 克 明	5									
中 央 3	鎌 田 地 区	高 山 美 空	0									
	松 南 地 区	伊 藤 貴 浩	3		○							
	庄 内 地 区	小 林 大	1							○		○
	田 川	瀧 川 航 平	2									
河 西 部	島 内	保 科 黄	2									
	島 立	浅 井 勇 太	6			○						
	新 村	太 田 正 太 郎	4		○					○		
	和 田	北 澤 圭 祐	0									
	梓 川	安 藤 ひ か り	0									
波 田	小 松 一 成	0										
西 南 部	笹 賀	矢 口 竜 也	1							○		○
	神 林	丸 山 貴 大	1					○				
	今 井	宮 澤 理 沙	2									
	安 曇	羽 田 大 樹	5									
	奈 川	奥 原 美 鈴	1									
東 南 部	芳 川	藤 澤 智 恵 美	0									
	寿	丸 山 稜 雅	0									
	寿 台	大 津 茜	2							○		
	内 田	小 河 原 萌	2									
	中 松 原 地 区	宇 治 樹 翼	1									○
東 山 部	岡 田	田 中 貢 治	2.5									
	里 山 辺	吉 田 望 花	2							○		
	入 山 辺	齊 川 史 徳	0									
	本 郷	分 部 哲 志	2.5							○		
四 賀	浅 沼 喜 之	0										

松本市公民館運営審議会委員・Mウイング文化センター運営委員名簿

根拠法令等 松本市公民館条例、松本市公民館運営審議会規則、松本市Mウイング文化センター運営委員会設置要綱

活動内容 館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するとともに、Mウイング文化センターの運営について協議する。

区分	氏名	所属団体等
学校教育	五明 佳代	松本市立筑摩小学校長
	阪口 和彦	松本市立松島中学校長
社会教育	御子柴 宏	元 寿公民館長、寿地区学校応援団 顧問
	立石 恵子	NPOフリマネット信州代表
	高橋 昌子	更生保護女性会会長
	降旗 都子	第三地区まちづくり協議会副会長
	染井 伴子	松本市女性団体連絡協議会
	中田 安子	前 第三地区公民館長
	百瀬 壽	松本市町内公民館長会会長
	中島 麻衣	松本BBS会
家庭教育	山口 茂	松本市公民館報全市版編集委員長
	熊谷 留理子	松本市PTA連合会副会長
有識者	久保田 由美	松本みんなのほご教室
	向井 健	松本大学 総合経営学部 准教授
公募者	前田 豊	信州大学 人文学部 助教
	北原 千佐子	公募
	輿 熹	公募

(任期2年:令和5年7月31日まで)

松本市公民館運営審議会委員・Mウイング文化センター運営委員名簿

根拠法令等 松本市公民館条例、松本市公民館運営審議会規則、松本市Mウイング文化センター運営委員会設置要綱

活動内容 館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するとともに、Mウイング文化センターの運営について協議する。

区分	氏名	所属団体等
学校教育	五明 佳代	松本市立筑摩小学校 校長
	阪口 和彦	松本市立松島中学校 校長
社会教育	立石 恵子	フリマネット信州 代表
	降旗 都子	松本市地域づくり市民委員会 委員長 第三地区まちづくり協議会 副会長
	染井 伴子	松本市女性団体連絡協議会
	中田 安子	元 第三地区公民館 館長
	百瀬 壽	松本市町内公民館長会 会長
	中島 麻衣	地域づくり考房「ゆめ」
	山口 茂	松本市公民館報全市版編集委員会 委員長
家庭教育	小穴 一郎	NPO法人信州ソフトウェア協会 代表理事
	熊谷 留理子	松本市PTA連合会 参与
有識者	久保田 由美	松本みんなのほんご教室
	向井 健	松本大学 総合経営学部 准教授
公募者	前田 豊	信州大学 人文学部 准教授
	小峰 悦雄	公募

(任期2年:令和5年8月1日から令和7年7月31日まで)

松本市の公民館（令和5年度）

令和5年9月発行

発行・編集 松本市生涯学習課・中央公民館

松本市中央1-18-1

TEL 0263-32-1132

e-mail:gakushu@city.matsumoto.lg.jp
